

子ども・子育て支援に関するニーズ調査
【乳幼児・小学生・中高生等の保護者】

令和5年度

福岡市

< 目 次 >

I	調査概要	1
1.	調査の目的	1
2.	調査設計及び回収結果	1
3.	調査主体	1
4.	調査結果の見方	1
II	乳幼児の保護者調査結果	3
第1章	対象の子どもと家族の状況について	3
1.	居住区	3
2.	子どもの年齢	3
3.	子どもの人数	4
4.	子どもとの同居・近居の状況	5
5.	調査の回答者	6
6.	調査の回答者の年代	6
7.	世帯年収	7
8.	子育てを主に行っている人	7
9.	家事・育児時間	8
10.	朝食の状況	10
11.	テレビ、携帯・スマートフォン、タブレット等を見せておくこと	11
12.	外で遊ぶ時間	13
第2章	保護者の就労状況について	14
1.	母親の就労状況	14
2.	父親の就労状況	21
第3章	育児休業など職場の両立支援制度について	26
1.	育児休業の取得状況	26
2.	育児休業取得後の職場復帰の状況	28
3.	育児休業を取得しなかった理由	40
4.	継続して就労するために必要な両立支援サービスや環境	42
第4章	子育て環境について	43
1.	子どもをみてもらえる親族・知人	43
2.	子育てについての相談相手	44
3.	子育て相談で立ち寄りやすい身近な場所	47
4.	子育てに関する情報	49
第5章	地域の子育て支援について	54
1.	福岡市のサービスや市が支援しているサービスで現在利用しているもの	54
2.	子どもプラザ、子育て交流サロン、育児サークルの利用について	56
3.	福岡市のサービスや市が支援しているサービスで今後利用したいもの	63
4.	子どもプラザ、子育て交流サロン、育児サークルの今後の利用希望	65
第6章	平日の定期的な保育所等の利用状況について	66
1.	平日の定期的な教育・保育事業の利用状況	66
2.	平日の定期的な教育・保育事業を利用していない理由	74
3.	平日の定期的な教育・保育事業の利用意向	76
4.	「こども誰でも通園制度（仮称）」について	78
第7章	土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な保育所等の利用希望について	80
1.	土曜日・日曜日・祝日の定期的な教育・保育事業の利用意向	80
2.	土曜日・日曜日・祝日に定期的な教育・保育事業を「不定期」に利用したい理由	84
3.	幼稚園利用者の長期休暇中の定期的な教育・保育事業の利用について	86
第8章	病気の際の対応について（平日の保育所等を利用する方のみ）	89

1. 子どもの病気等で平日の定期的な教育・保育事業を利用できなかった経験	89
2. 子どもの病気等で平日の定期的な教育・保育事業を利用できなかった場合の対処方法	90
3. 病児・病後児のための保育施設の利用	92
4. 「仕事を休む」以外の対応になった理由	94
5. 病児・病後児保育の利用を断られた経験	95
第9章 一時的な預かり等の利用について	96
1. 不定期の教育・保育事業の利用状況	96
2. 一時的に子どもを預ける場合の望ましい環境	98
3. 不定期の教育・保育事業を利用していない理由	99
第10章 宿泊を伴う一時預かり等の利用について	103
1. 家族以外に泊まりがけで預けたり、用事や仕事に同行させた経験	103
2. 子どもショートステイの認知度と利用経験	104
3. 子どもショートステイを利用したことがない理由	104
4. 家族以外の施設等に年間何泊預けたいか	105
第11章 小学校就学後の放課後の過ごし方について	106
1. 小学校就学後の放課後の過ごし方の希望	106
2. 学童保育の利用希望（土曜日、日曜日・祝日、長期休業中）	110
第12章 子どもや子育て支援に関する意見	113
1. 子育てを楽しんでいる割合	113
2. 子育ての不安や負担感	115
3. ほしいと思っている子どもの人数、実際に予定している子どもの人数	117
4. ほしい人数よりも予定している人数が少ない理由	120
5. 子育てに関して悩んでいること・気になること	123
6. 家の近くの子どもの遊び場で日ごろ感じていること	126
7. 市内での外出の際、困る・困ったこと	127
8. 福岡市が行っている子ども施策で満足している点	129
9. 充実してほしい子育て施策	131
第13章 自由意見	134

Ⅲ 小学生の保護者調査結果 141

第1章 対象の子どもと家族の状況について	141
1. 居住区	141
2. 子どもの学年	141
3. 子どもの人数	142
4. 子どもとの同居・近居の状況	143
5. 調査の回答者	144
6. 調査の回答者の年代	144
7. 世帯年収	145
8. 子育てを主に行っている人	145
9. 家事時間・育児時間	146
10. 子どもと過ごす時間	150
11. 子どもに対する日ごろのしつけ（態度）について	154
12. 子育てについての相談相手	156
第2章 保護者の就労状況について	159
1. 母親の就労状況	159
2. 父親の就労状況	165
第3章 子育てに関する情報について	170
1. 子育てに関する情報	170
第4章 日常の生活について	176
1. 朝食の状況	176
2. 就寝時刻・起床時刻	177

3. 平日の放課後や休日の過ごし方	179
4. 放課後に子どもだけで留守番をすることの有無	180
5. 外で遊ぶ時間	182
6. 子どもの自宅での学習状況	183
7. 不登校・ひきこもりの経験	184
8. ヤングケアラーについて	186
9. 子どものインターネットの利用状況	187
10. テレビ等を見る時間	188
第5章 遊び場や地域の子育て環境について	189
1. 過去1年間に子どもとともに利用した公共施設	189
2. 過去1年間の子どもとの体験等について	191
3. 地域の子どもたちが活動する団体について	193
4. 地域の子育て環境について	196
5. 子どもが健全に成長するために、必要だと思う体験	198
第6章 放課後児童クラブ等の利用について	199
1. 放課後児童クラブの利用について	199
2. 放課後児童クラブの利用日数	200
3. 放課後児童クラブを利用している理由	201
4. 放課後児童クラブを利用していない理由	202
第7章 病気の時の対応について	203
1. 子どもが病気で学校を休んだ経験の有無	203
2. 病気で学校を休んだ場合の保護者の対処	204
3. 病児・病後児のための保育施設の利用意向	206
4. 病児・病後児のための保育施設を利用したいと思わない理由	207
5. 「仕事を休む」以外の対応になった理由	208
6. 病児・病後児保育の利用を断られた経験	208
第8章 子育て支援サービスの認知度・利用の意向について	209
1. 利用したことがあるサービス	209
2. 福岡市のサービスや市が支援しているサービスで今後利用したいもの	211
第9章 ファミリー・サポート・センターの利用について	214
1. ファミリー・サポート・センターの利用目的	214
2. ファミリー・サポート・センターの利用頻度	215
3. ファミリー・サポート・センターを今後利用したい月当たり回数	216
第10章 子どもショートステイの利用について	217
1. 家族以外に泊まりがけで預けたり、用事や仕事に同行させた経験	217
2. 子どもショートステイの認知	218
3. 子どもショートステイを利用したことがない理由	218
4. 家族以外の施設等に年間何泊預けたいか	219
5. 夜間に施設や同居の家族以外に預けたり、用事や仕事に同行させたことの有無	220
6. 夜間に子どもを預かるサービスの利用希望日数(月)	221
第11章 子ども・子育て支援について	222
1. 子育てを楽しいと感じる割合	222
2. 子育てに関して悩んでいること・気になること	224
3. ほしいと思っている子どもの人数、実際に予定している子どもの人数	227
4. ほしい人数よりも予定している人数が少ない理由	228
5. 福岡市が行っている子ども施策で満足している点	231
6. 充実してほしい子育て施策	233
第12章 自由意見	235

IV 中学生・高校生等の保護者調査結果 239

第1章 対象の子どもと家族の状況について	239
----------------------	-----

1. 居住区.....	239
2. 子どもの所属・性別.....	240
3. 子どもと同居している家族の人数.....	241
4. 子どもとの同居・近居の状況.....	242
5. 調査の回答者.....	244
6. 調査の回答者の年代.....	245
7. 世帯年収.....	246
8. 過去1年間に子どもとともに利用した公共施設.....	247
第2章 保護者の就労状況について.....	249
1. 保護者の就労状況.....	249
2. 保護者の平均的な帰宅時刻.....	250
第3章 子どものことやしつけについて.....	251
1. 子どもとの過ごし方.....	251
2. 携帯電話やインターネットの使用状況について.....	258
3. 子育てに関して悩んでいること・気になること.....	266
4. 日ごろのしつけや態度.....	268
5. ヤングケアラーについて.....	272
6. 子育てについての相談相手.....	273
7. 子どもの自宅での学習状況.....	275
8. 不登校・ひきこもりの経験.....	277
9. 子どもが高校などを選ぶときに大切にす(した)こと.....	279
10. 高校で学んでほしいこと.....	281
第4章 地域について.....	283
1. 地域の子ども達とのかかわりについて.....	283
2. 居住地区の子育て環境で不満なこと.....	284
3. 今の子どもたちは健全に育っていると思うか.....	286
4. 地域で子どもを健全に育むために特に必要だと思うこと.....	287
5. 子どもと保護者の体験.....	289
6. 子どもが健全に成長するために、必要だと思う体験.....	291
第5章 子ども・子育て支援について.....	293
1. 子育てに関する情報の入手先.....	293
2. 子育て施策に関する福岡市の情報発信で改善してほしい点.....	295
3. ほしいと思っている子どもの人数、実際に予定している子どもの人数.....	296
4. ほしい人数よりも予定している人数が少ない理由.....	297
5. 福岡市が行っている子ども施策で満足している点.....	299
6. 充実してほしい子育て施策.....	301
第6章 自由意見.....	305
V 調査票.....	309

I 調查概要

I 調査概要

1. 調査の目的

子育てに関する意識、教育・保育事業及び子ども・子育て支援事業の利用状況や利用希望などを把握し、「第6次福岡市子ども総合計画」（計画期間：令和7年度～令和11年度）を策定するための基礎資料を得ることを目的として調査を実施した。

2. 調査設計及び回収結果

	乳幼児の保護者調査	小学生の保護者調査
調査対象者	就学前児童（0～5歳児）の保護者	小学1年生～6年生の保護者
抽出方法	住民基本台帳による無作為抽出	住民基本台帳による無作為抽出
調査方法	郵送配布、郵送回収・WEB回収	郵送配布、郵送回収・WEB回収
配布数	8,000	4,000
有効回収数 (有効回収率)	3,375 (42.2%)	1,784 (44.6%)
調査期間	令和5年11月	令和5年11月

	中学生・高校生等の保護者調査
調査対象者	中学生・高校生等の保護者
抽出方法	住民基本台帳による無作為抽出
調査方法	郵送配布、郵送回収・WEB回収
配布数	4,000
有効回収数 (有効回収率)	1,746 (43.7%)
調査期間	令和5年11月

3. 調査主体

福岡市子ども未来局子ども政策部子ども政策課

4. 調査結果の見方

- 回答比率の合計は百分比のポイント以下2位を四捨五入しているため、必ずしも100%になるとは限らない。
- 2つ以上の回答を要する（複数回答）質問の場合、その回答比率の合計は100%を超えることがある。
- 数表、図表、文中に示すnは、比率算出上の基数（標本数）である。分析項目によっては対象者が限定されるため、全体の標本数と合わないことがある。
- 「問〇-〇」は、前問で特定の回答をした一部の回答者のみに対して、続けて行った質問である。

I 調査概要

- 文中の選択肢の表記は「」で行い、選択肢のうち2つ以上のものを合計して文中に表記する場合は『』としている。
- 今回の調査は、次の資料と比較分析を行っている。
「平成30年度子ども・子育て支援に関するニーズ調査」平成31年1月～2月実施
※本報告書においては、「前回調査」と記載している。
- 本文または図表中の質問文及び回答選択肢については、コンピュータ入力の都合上、省略して表記している場合があるため、詳細は「V 調査票」を参照のこと。

Ⅱ 乳幼児の保護者調査結果

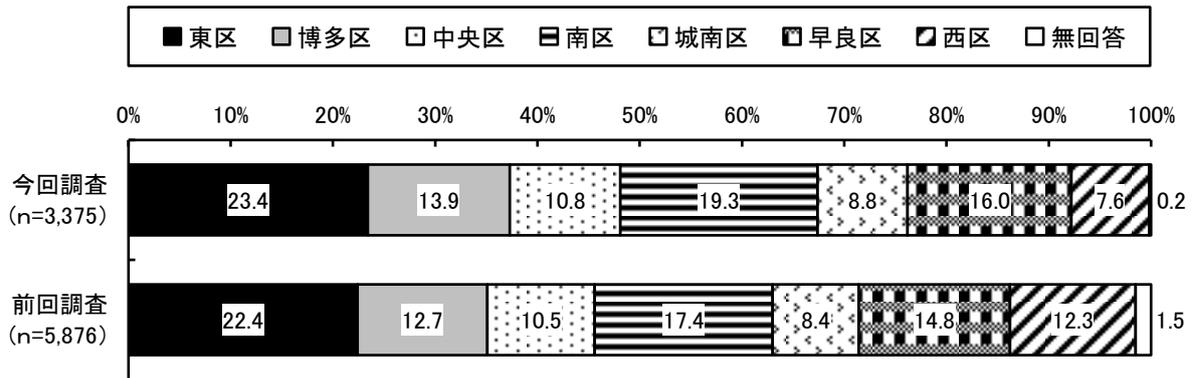
Ⅱ 乳幼児の保護者調査結果

第1章 対象の子どもと家族の状況について

1. 居住区

問1 お住まいの区はどこですか。(〇は1つ)

図表1 居住区



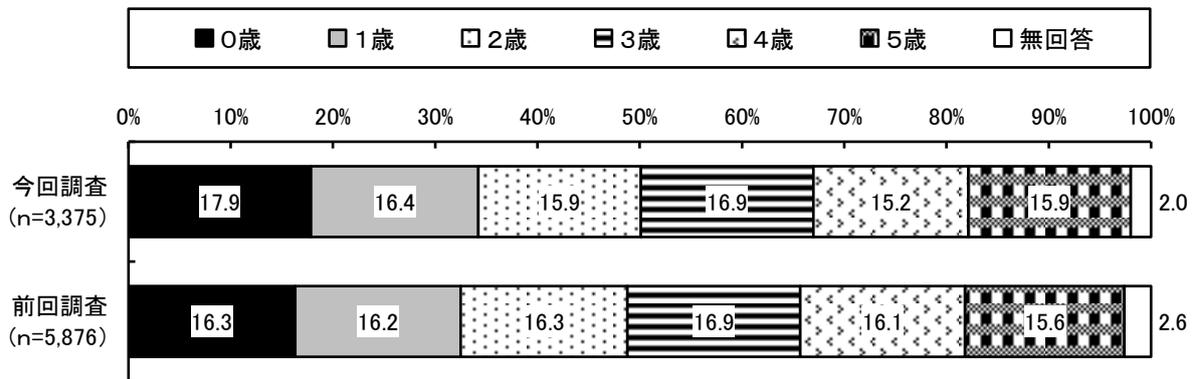
居住区については、「東区」の割合が23.4%で最も高く、次いで「南区」が19.3%で、以下「早良区」が16.0%、「博多区」が13.9%、「中央区」が10.8%、「城南区」が8.8%、「西区」が7.6%の順となっている。

2. 子どもの年齢

問2 あて名のお子さんの生年月をご記入ください。(枠内に数字を記入)

図表2 子どもの年齢

※年月日より算出



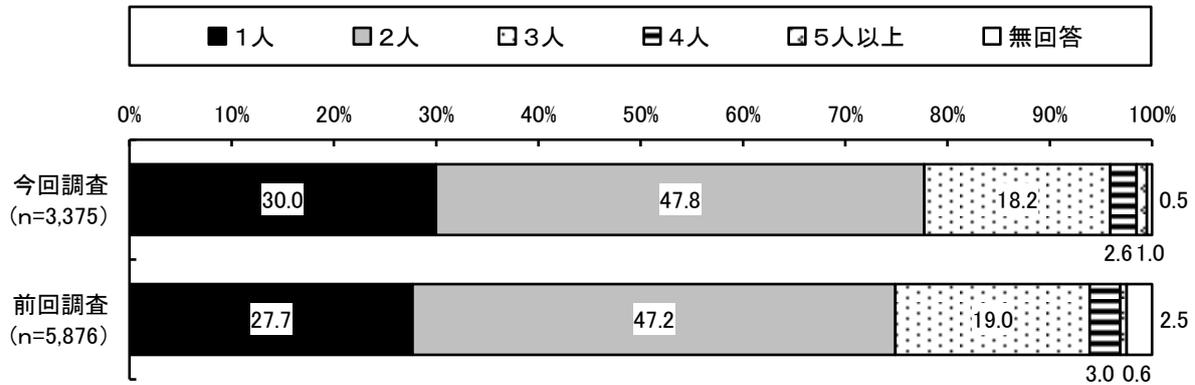
子どもの年齢については、「0歳」の割合が17.9%で最も高く、「1歳」が16.4%、「2歳」が15.9%、「3歳」が16.9%、「4歳」が15.2%、「5歳」が15.9%となっている。

Ⅱ 乳幼児の保護者調査結果

3. 子どもの人数

問3 あて名のお子さんを含め、お子さん（年齢は問いません）は何人いらっしゃいますか。
（枠内に数字を記入）

図表3 子どもの人数

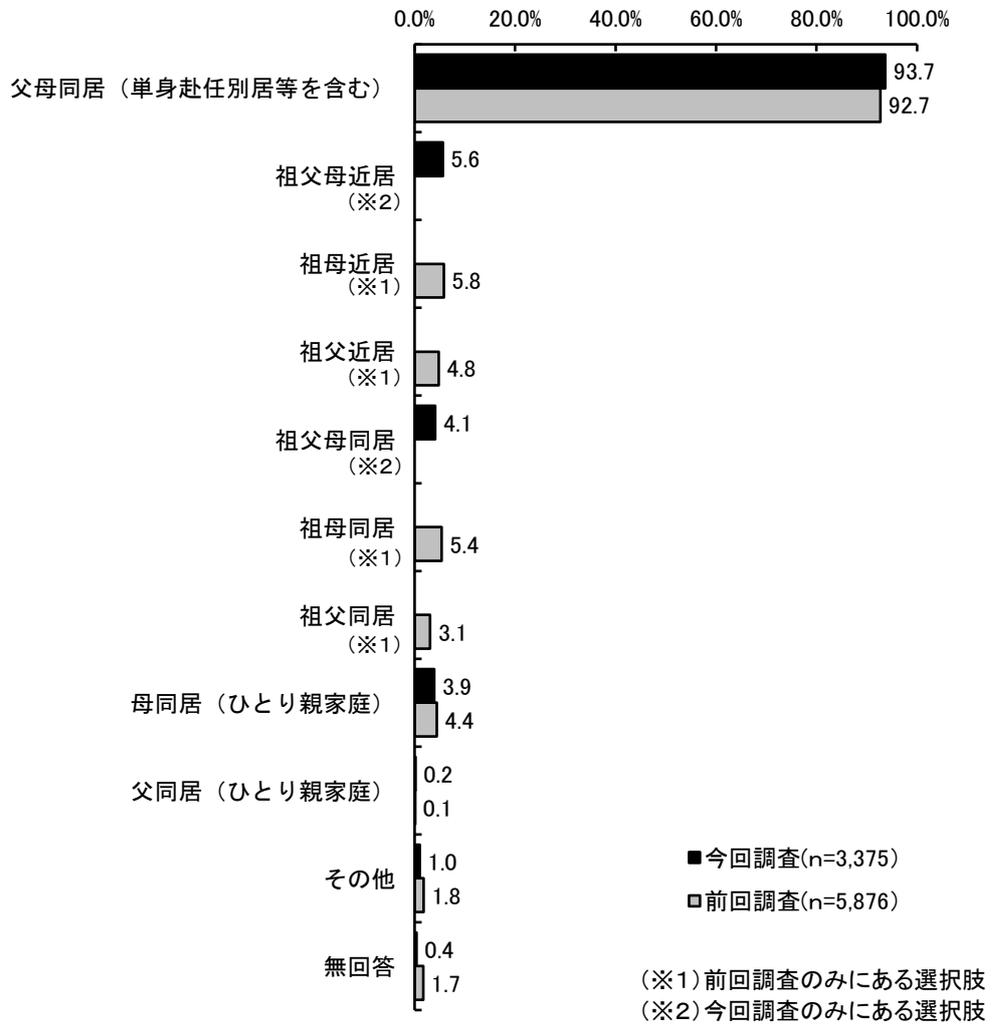


世帯の子どもの人数については、「2人」の割合が47.8%で最も高く、次いで「1人」が30.0%、「3人」が18.2%、「4人」が2.6%、「5人以上」が1.0%となっている。

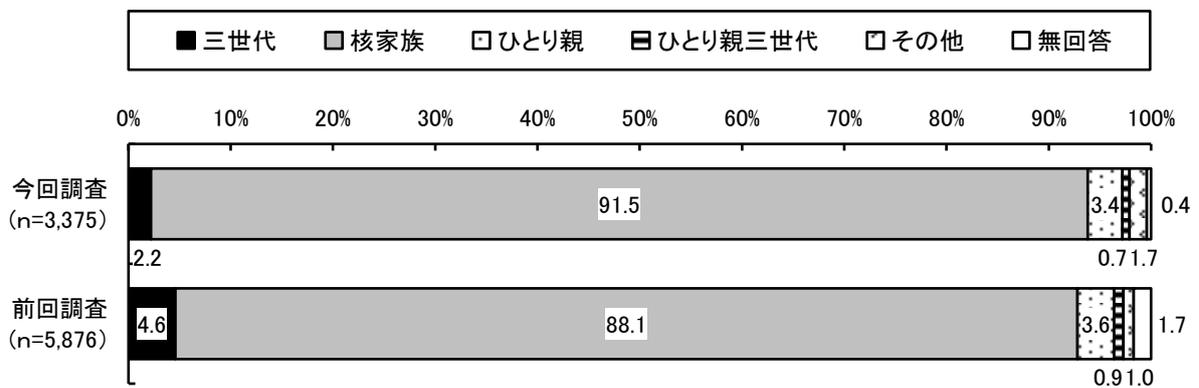
4. 子どもとの同居・近居の状況

問4 あて名のお子さんとの同居の状況について、お答えください。
 (あてはまるものすべてに○)
 あて名のお子さんからみた関係でお答えください。

図表4 子どもとの同居・近居の状況



図表5 世帯分類



II 乳幼児の保護者調査結果

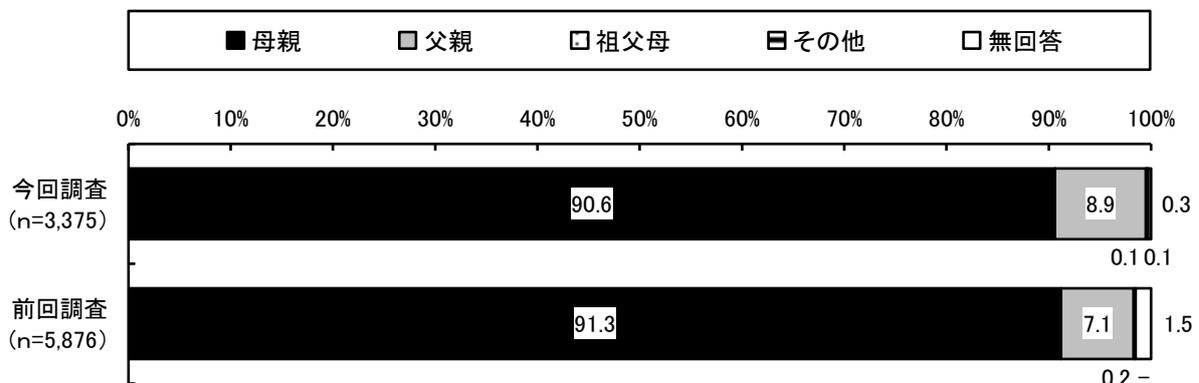
子どもとの同居・近居の状況については、「父母同居（単身赴任別居等を含む）」の割合が9割強（93.7%）と大部分を占めている。『ひとり親家庭』は「母同居（ひとり親家庭）」が3.9%、「父同居（ひとり親家庭）」が0.2%で、合わせて4.1%となっている。祖父母等の同居・近居の状況は、「祖父母近居」が5.6%、「祖父母同居」が4.1%となっている。

同居の状況から世帯を分類すると、「核家族」の割合が91.5%で最も高く、「ひとり親」が3.4%、「三世帯」が2.2%、「ひとり親三世帯」が0.7%、「その他」が1.7%となっている。

5. 調査の回答者

問5 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。（○は1つ）
あて名のお子さんからみた関係でお答えください。

図表6 調査の回答者

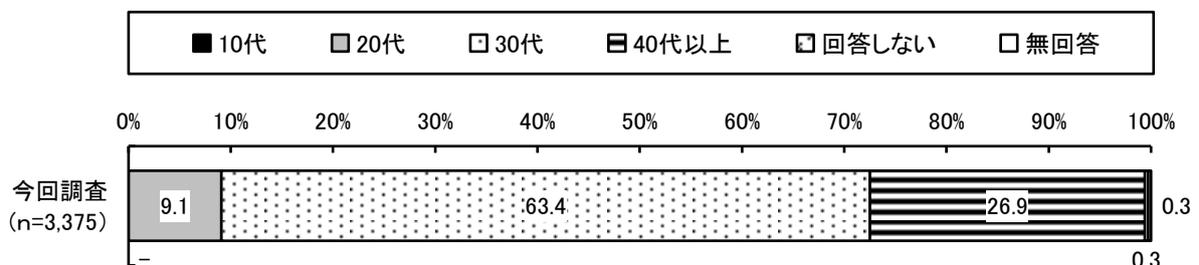


調査の回答者は、「母親」が90.6%とほとんどを占めており、「父親」が8.9%となっている。よって、本調査の結果は、「母親」の立場から見た子どもの生活状況や子育てに関する意識としてとらえられる。

6. 調査の回答者の年代

問6 この調査票にご回答いただく方の年代について、お答えください。（○は1つ）

図表7 調査の回答者の年代

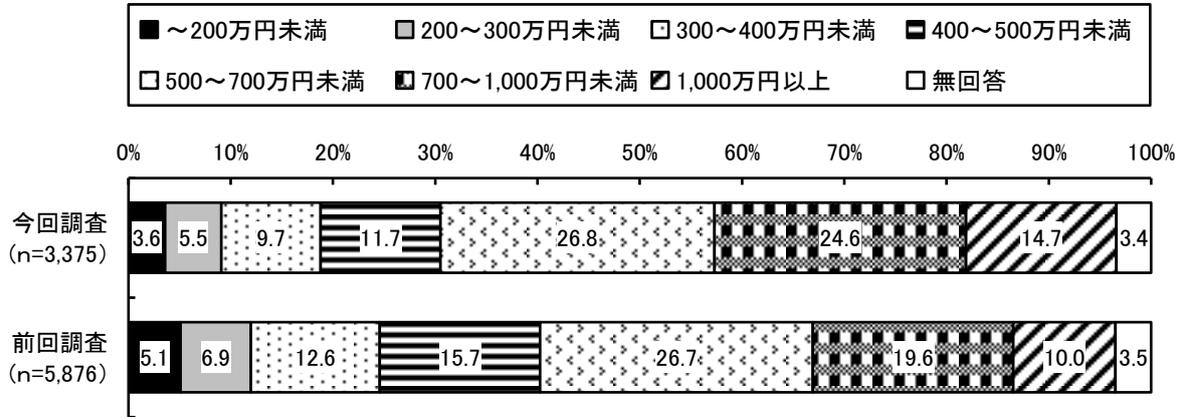


調査の回答者の年代は、「30代」の割合が63.4%で最も高く、「40代以上」が26.9%となっている。

7. 世帯年収

問7 世帯の年収をお伺いします。(○は1つ)

図表8 世帯年収

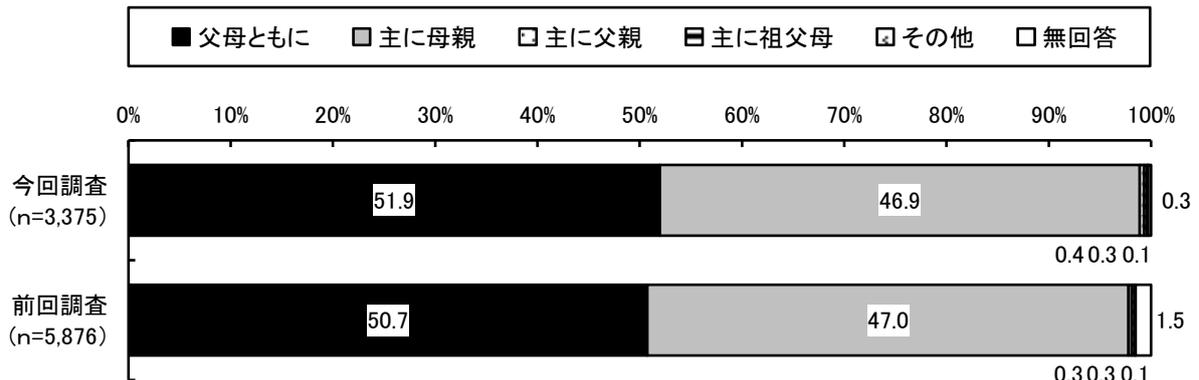


世帯の年収については、「500~700万円未満」の割合が26.8%で最も高く、次いで「700~1,000万円未満」が24.6%、「1,000万円以上」が14.7%、「400~500万円未満」が11.7%、「300~400万円未満」が9.7%、「200~300万円未満」が5.5%、「~200万円未満」が3.6%となっている。

8. 子育てを主に行っている人

問8 ご家庭において、あて名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。あて名のお子さんからみた関係でお答えください。(○は1つ)

図表9 子育てを主に行っている人



子育てを主に行っている人については、「父母ともに」の割合が51.9%で最も高く、「主に母親」が46.9%、「主に父親」が0.4%、「主に祖父母」が0.3%となっている。

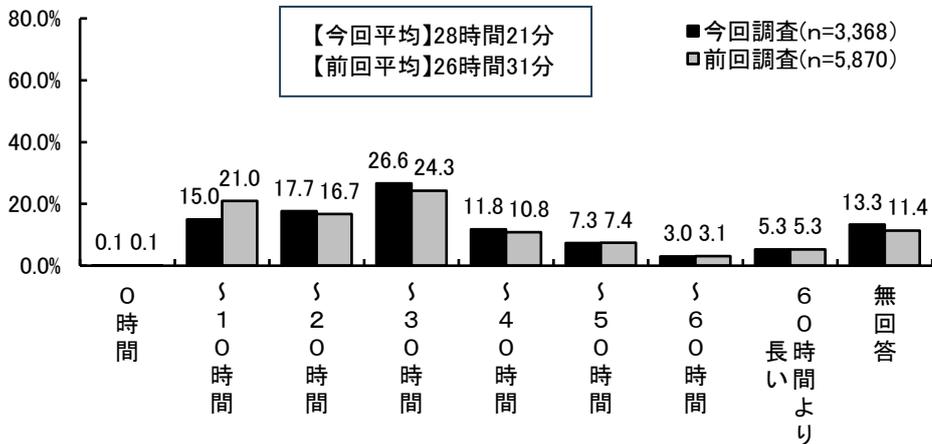
II 乳幼児の保護者調査結果

9. 家事・育児時間

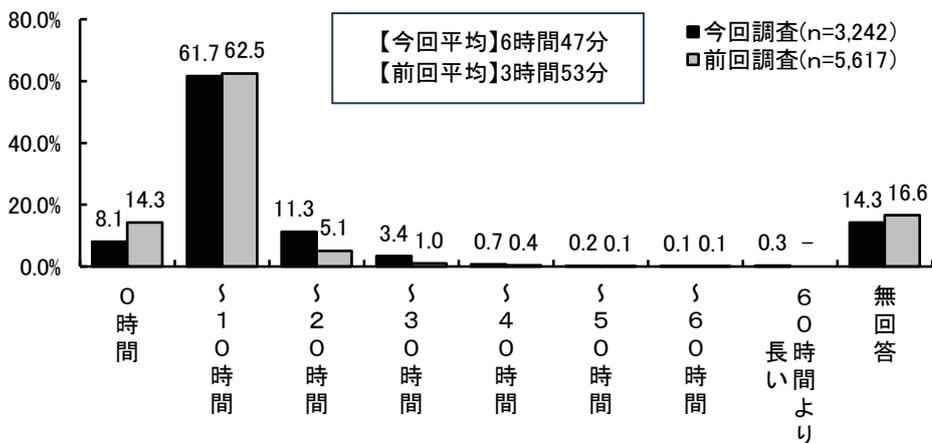
(1) 家事時間

問9 あて名のお子さんの母親・父親の1週間の家事時間はどれくらいですか。
(1週間の時間を合計して枠内に記入)

図表10 家事時間（母親）



図表11 家事時間（父親）



母親の1週間当たりの家事時間については、「～30時間」の割合が26.6%で最も高く、次いで「～20時間」が17.7%、「～10時間」が15.0%、「～40時間」が11.8%となっている。

父親の1週間当たりの家事時間については、「～10時間」の割合が61.7%で最も高く、次いで「～20時間」が11.3%となっている。

前回調査と比較すると、母親の1週間当たりの平均家事時間は1時間50分増加し、父親の1週間当たりの平均家事時間は2時間54分増加している。

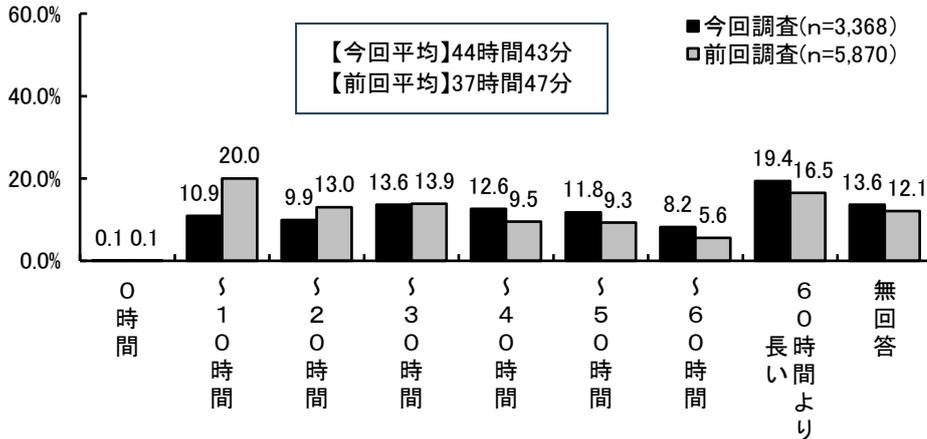
(2) 育児時間

問9 あて名のお子さんの母親・父親の1週間の育児時間はどれくらいですか。

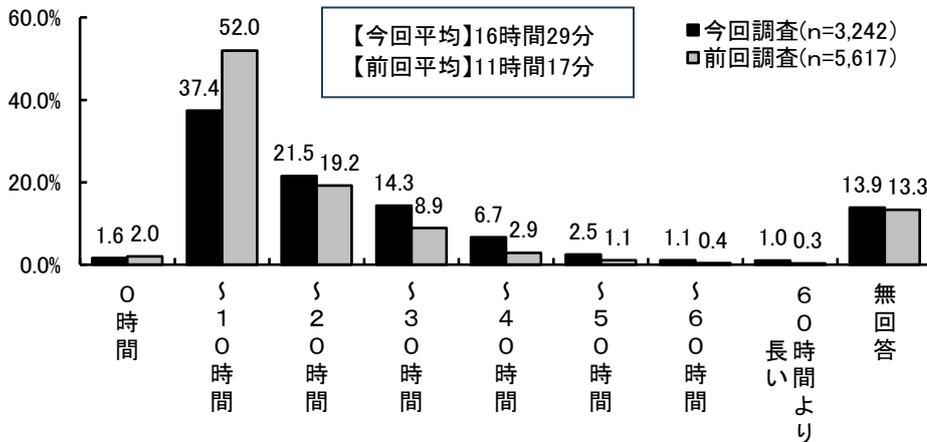
(1週間の時間を合計して枠内に記入)

※「育児時間」とは、子どもの身の回りの世話のほか、遊び相手になること、勉強をみてあげることなど、子どもと一緒に過ごす時間をいいます。

図表12 育児時間（母親）



図表13 育児時間（父親）



母親の1週間当たりの育児時間については、「60時間より長い」の割合が19.4%で最も高く、次いで「～30時間」が13.6%、「～40時間」が12.6%、「～50時間」が11.8%、「～10時間」が10.9%となっている。

父親の1週間当たりの育児時間については、「～10時間」の割合が37.4%で最も高く、次いで「～20時間」が21.5%、「～30時間」が14.3%となっている。

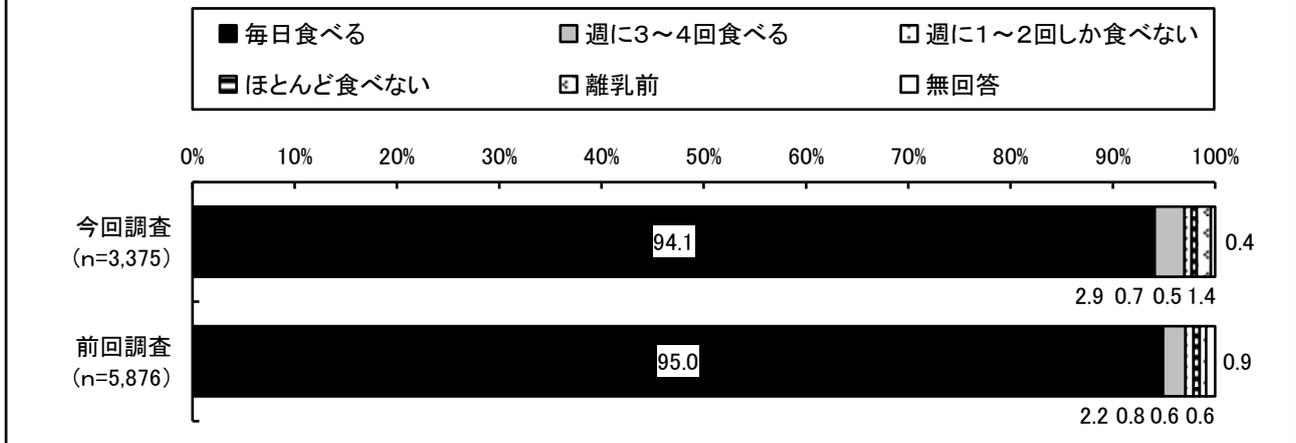
前回調査と比較すると、母親の1週間当たりの平均育児時間は6時間56分増加し、父親の1週間当たりの平均育児時間は5時間12分増加している。

II 乳幼児の保護者調査結果

10. 朝食の状況

問10 あて名のお子さんの朝食のとり方はどうですか。(○は1つ)

図表14 朝食の状況



子どもの朝食の状況については、「毎日食べる」の割合が9割半ば（94.1%）で最も高く、「週に3～4回食べる」が2.9%、「離乳前」が1.4%、「週に1～2回しか食べない」が0.7%、「ほとんど食べない」が0.5%となっている。

世帯分類別にみると、ひとり親及びひとり親三世代は他の世帯と比べて「毎日食べる」の割合（ひとり親：88.8%、ひとり親三世代：79.2%）の割合が低くなっている。

世帯年収別にみると、世帯年収が高いほど「毎日食べる」の割合が高くなっている。

図表15 世帯分類別、世帯年収別 朝食の状況

(単位: %)

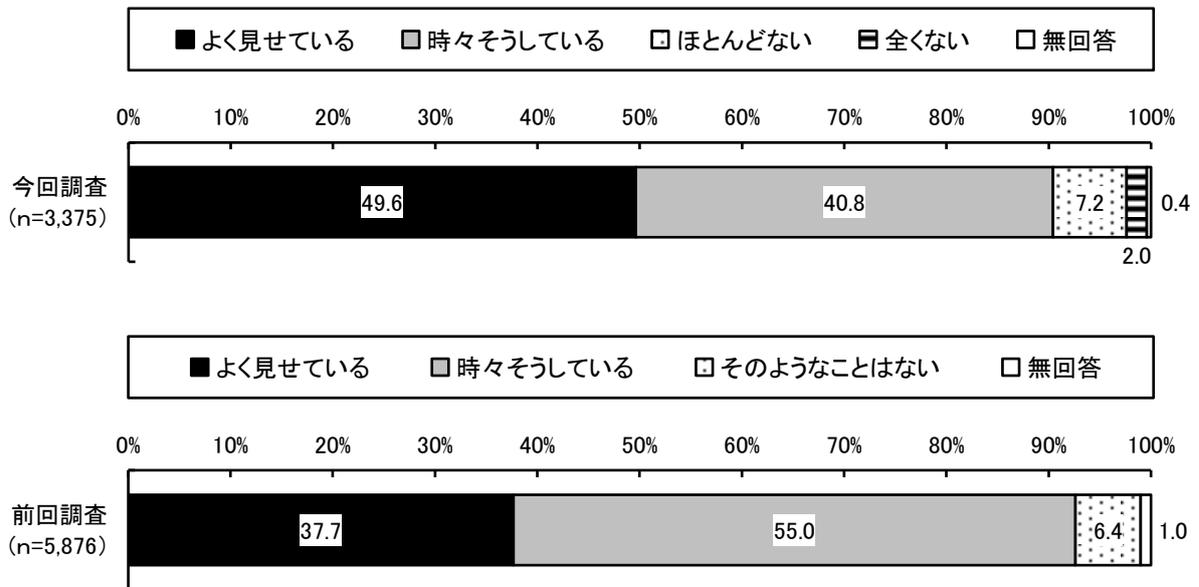
		標本数 (人)	毎日食べる	週に3~4回食べる	週に1~2回しか食べない	ほとんど食べない	離乳前	無回答
全体		3,375	94.1	2.9	0.7	0.5	1.4	0.4
世帯分類別	三世代	75	93.3	4.0	1.3	-	-	1.3
	核家族	3,087	94.5	2.7	0.6	0.5	1.5	0.2
	ひとり親	116	88.8	8.6	0.9	1.7	-	-
	ひとり親三世代	24	79.2	8.3	8.3	4.2	-	-
	その他	59	98.3	-	1.7	-	-	-
	無回答	14	64.3	-	-	-	7.1	28.6
全体		3,375	94.1	2.9	0.7	0.5	1.4	0.4
世帯年収別	200万円未満	121	83.5	8.3	4.1	3.3	-	0.8
	200~300万円未満	185	89.7	6.5	1.1	1.1	0.5	1.1
	300~400万円未満	327	92.7	4.3	0.3	1.2	1.5	-
	400~500万円未満	395	93.9	3.0	1.0	0.3	1.5	0.3
	500~700万円未満	904	93.5	3.4	0.4	0.6	1.8	0.3
	700~1,000万円未満	830	95.5	1.7	0.7	0.1	1.7	0.2
	1,000万円以上	497	98.0	0.8	-	0.2	1.0	-
	無回答	116	94.8	1.7	-	-	0.9	2.6

11. テレビ、携帯・スマートフォン、タブレット等を見せておくこと

(1) テレビ、携帯・スマートフォン、タブレット等を見せておくことの有無

問11 忙しいときなど、何らかの理由で子どもにテレビ、ビデオ、携帯・スマートフォン、パソコン・タブレットなどを見せておくことがありますか。ゲームをさせておくことも含みます。(○は1つ)

図表16 テレビ、携帯・スマートフォン、タブレット等を見せておくことの有無



子どもにテレビ、携帯・スマートフォン、タブレット等を見せておくことの有無については、「よく見せている」の割合が49.6%で最も高く、次いで「時々そうしている」が40.8%、「ほとんどない」が7.2%、「全くない」が2.0%となっている。

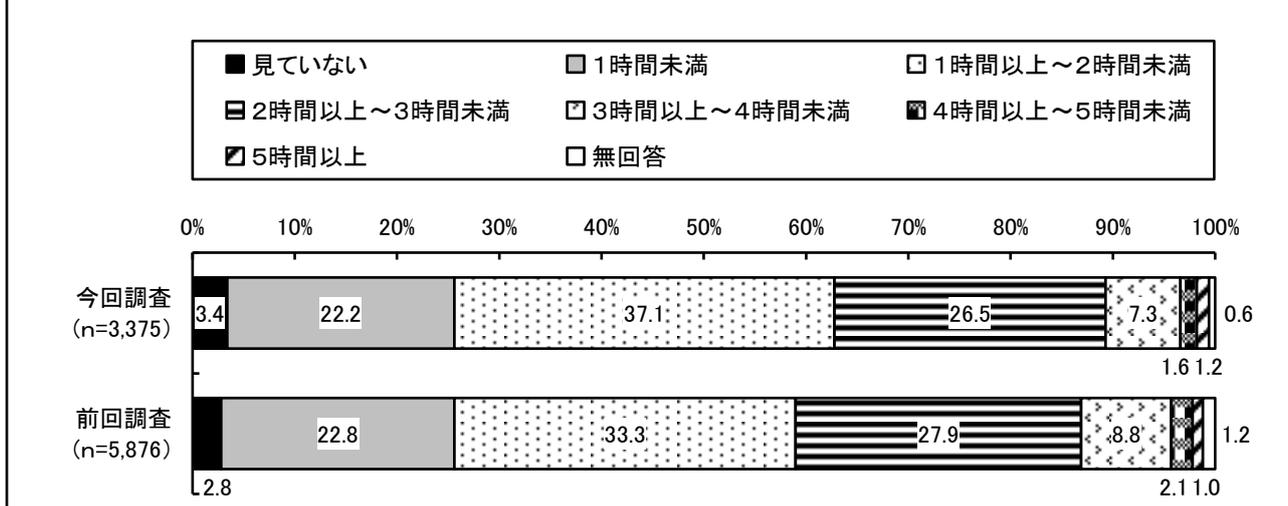
選択肢に相違があるが前回調査と比較すると、「よく見せている」の割合は11.9ポイント増加し、「時々そうしている」の割合は14.2ポイント減少している。

Ⅱ 乳幼児の保護者調査結果

(2) テレビ、携帯・スマートフォン、タブレット等を見せている時間

問12 あて名のお子さんは、平均すると1日どれくらいの時間、テレビ、ビデオ、携帯・スマートフォン、パソコン・タブレットなどを見ていますか。ゲームをしている時間も含まれます。(〇は1つ)

図表17 テレビ、携帯・スマートフォン、タブレット等を見せている時間



テレビ、携帯・スマートフォン、タブレット等を見せている時間については、「1時間以上～2時間未満」の割合が37.1%で最も高く、次いで「2時間以上～3時間未満」が26.5%、「1時間未満」が22.2%、「3時間以上～4時間未満」が7.3%、「見ていない」が3.4%、「4時間以上～5時間未満」が1.6%、「5時間以上」が1.2%となっている。

子どもの年齢別にみると、0歳では「1時間未満」の割合が最も高く、1歳以上では「1時間以上～2時間未満」の割合が最も高くなっている。また、0歳では「見ていない」の割合が他の年齢に比べて高くなっている。

図表18 子どもの年齢別 テレビ、携帯・スマートフォン、タブレット等を見せている時間

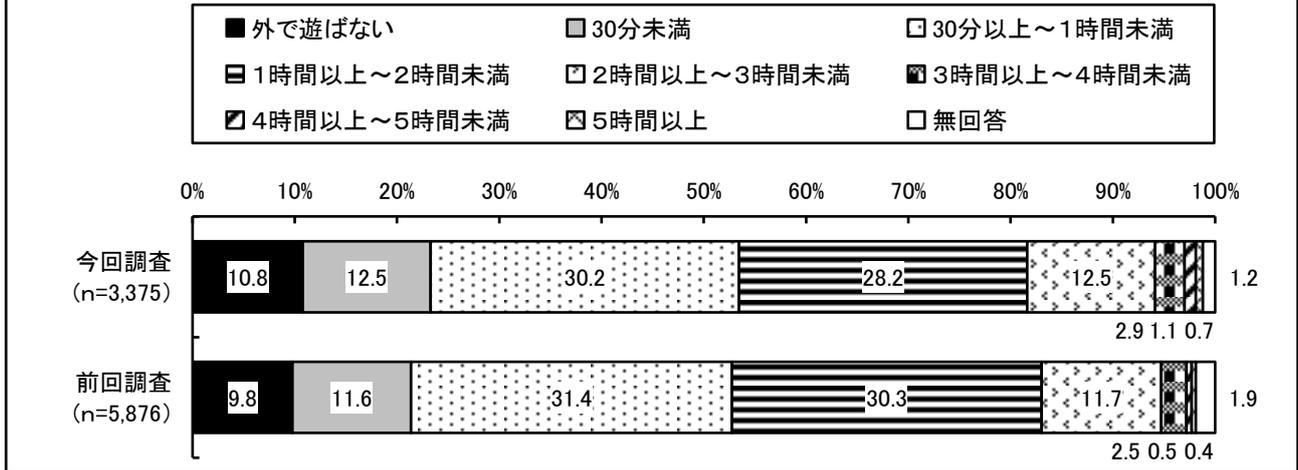
		標本数(人)	見ていない	1時間未満	1時間以上～2時間未満	2時間以上～3時間未満	3時間以上～4時間未満	4時間以上～5時間未満	5時間以上	無回答
全体		3,375	3.4	22.2	37.1	26.5	7.3	1.6	1.2	0.6
子どもの年齢別	0歳	603	13.6	38.6	26.0	13.4	5.6	1.2	1.3	0.2
	1～2歳	1,088	1.5	21.8	37.4	27.3	7.8	1.7	2.1	0.4
	3～5歳	1,618	0.9	16.6	41.0	31.0	7.7	1.7	0.6	0.5
	無回答	66	3.0	18.2	37.9	24.2	6.1	-	1.5	9.1

12. 外で遊ぶ時間

(1) 平日に外で遊ぶ時間

問13 あて名のお子さんは、平均すると1日何時間くらい、外で遊びますか。
(平日・休日それぞれ○は1つ)

図表19 平日に外で遊ぶ時間

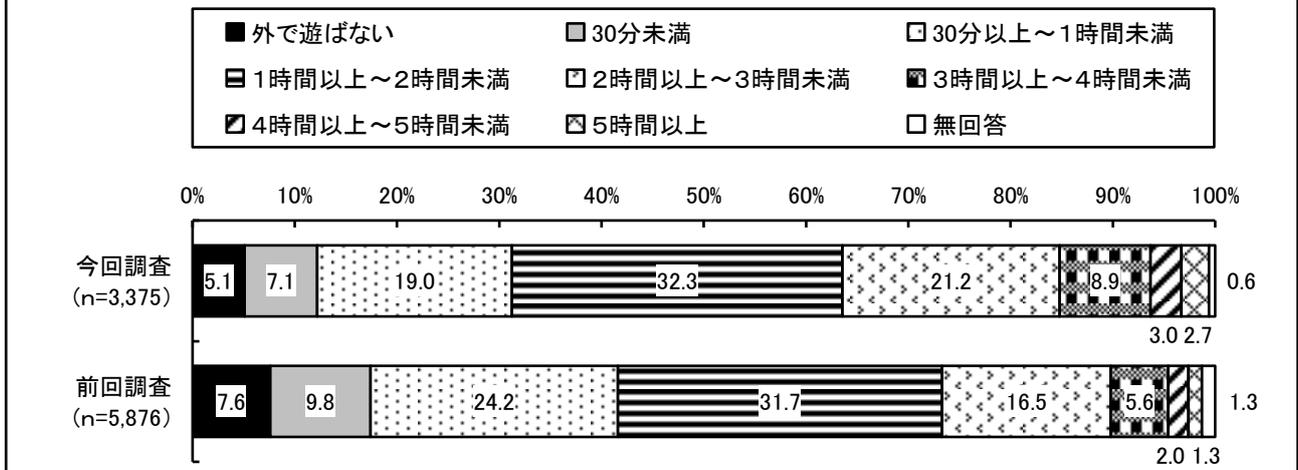


平日に外で遊ぶ時間については、「30分以上～1時間未満」の割合が30.2%で最も高く、次いで「1時間以上～2時間未満」が28.2%、「30分未満」及び「2時間以上～3時間未満」が12.5%となっている。

(2) 休日に外で遊ぶ時間

問13 あて名のお子さんは、平均すると1日何時間くらい、外で遊びますか。
(平日・休日それぞれ○は1つ)

図表20 休日に外で遊ぶ時間



休日に外で遊ぶ時間については、「1時間以上～2時間未満」の割合が32.3%で最も高く、次いで「2時間以上～3時間未満」が21.2%、「30分以上～1時間未満」が19.0%となっている。

前回調査と比較すると、「30分以上～1時間未満」の割合は5.2ポイント減少し、「2時間以上～3時間未満」の割合は4.7ポイント増加している。

第2章 保護者の就労状況について

1. 母親の就労状況

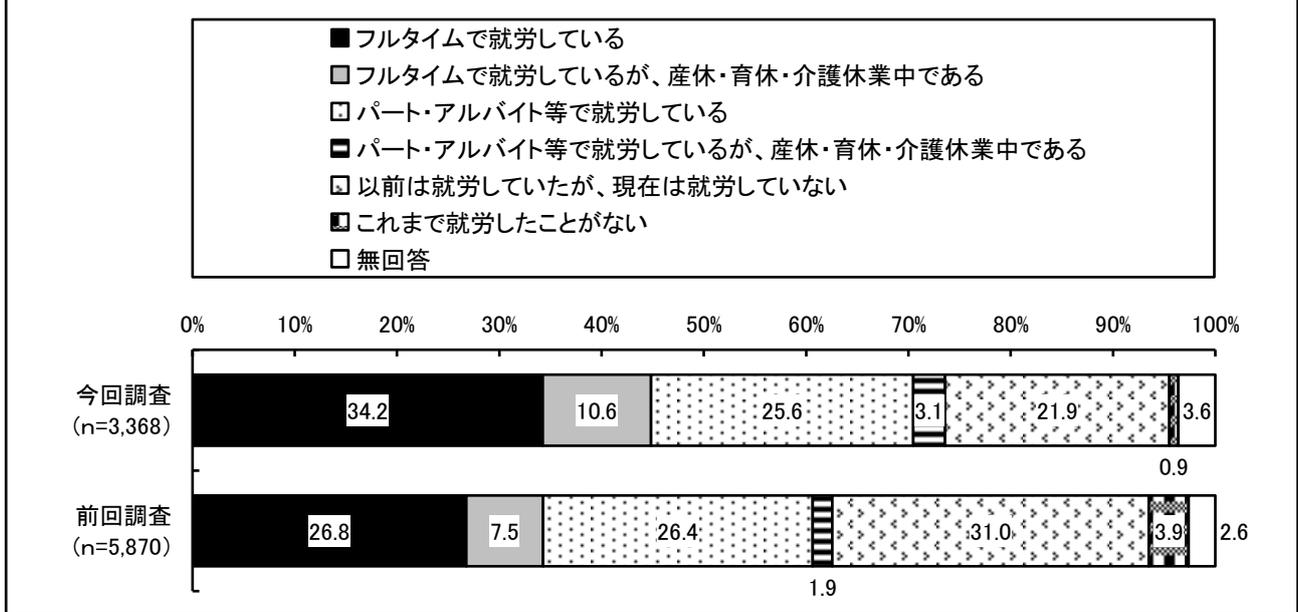
(1) 母親の就労状況

問14 母親の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）について、お答えください。

（○は1つ）

【該当されない場合は記入は不要です】

図表21 母親の就労状況



母親の就労状況については、「フルタイムで就労している」の割合が34.2%で最も高く、次いで「パート・アルバイト等で就労している」が25.6%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が21.9%、「フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である」が10.6%となっている。

前回調査と比較すると、「フルタイムで就労している」の割合は7.4ポイント増加し、「以前は就労していたが、現在は就労していない」の割合は9.1ポイント減少している。

子どもの年齢別にみると、0歳では「フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である」の割合が他の年齢に比べて高くなっている。

図表22 子どもの年齢別 母親の就労状況

(単位:%)

	標本数(人)	フルタイムで就労している	フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	パート・アルバイト等で就労している	パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	以前は就労していたが、現在は就労していない	これまで就労したことがない	無回答	
全体	3,368	34.2	10.6	25.6	3.1	21.9	0.9	3.6	
子どもの年齢別	0歳	603	23.2	29.9	13.9	5.0	24.7	1.0	2.3
	1～2歳	1,087	37.7	10.0	21.0	4.0	23.2	0.7	3.4
	3～5歳	1,613	36.4	3.8	32.9	2.0	19.8	1.0	4.0
	無回答	65	24.6	9.2	29.2	1.5	26.2	1.5	7.7

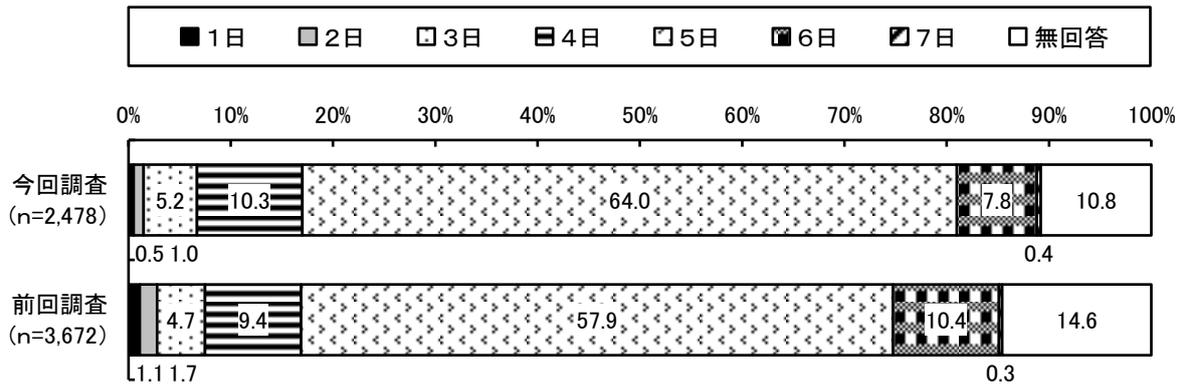
(2) 母親の就労日数・就労時間

問14で「1」～「4」に○をつけた方にうかがいます。

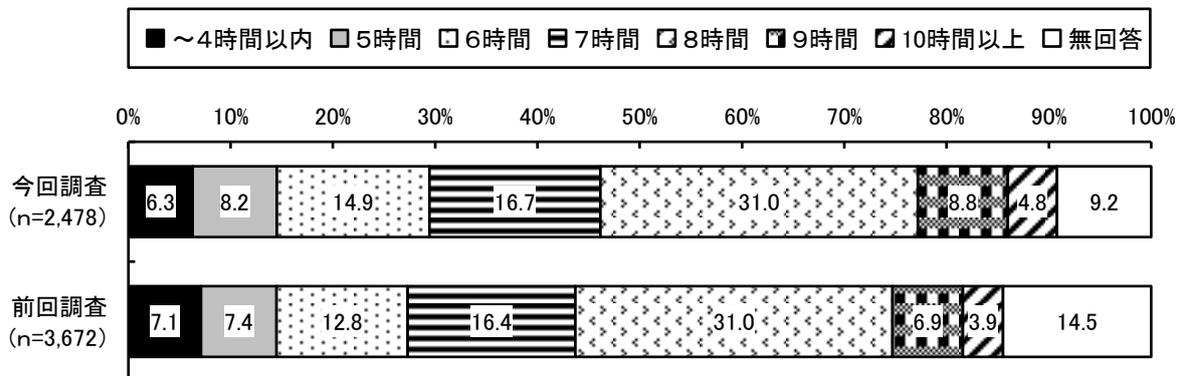
問14-1 1週当たりの就労日数、1日当たりの就労時間（残業時間を含む）をお答えください。
（枠内に数字を記入）

一定でない場合はもっとも多いパターンについて、産休・育休・介護休業中の方は休業に入る前の状況について、お答えください。

図表23 1週当たりの母親の就労日数



図表24 1日当たりの母親の就労時間



フルタイム及びパート・アルバイト等で就労している母親に就労日数と就労時間をたずねた。週当たりの就労日数は、「5日」の割合が64.0%で最も高く、次いで「4日」が10.3%となっている。

前回調査と比較すると、「5日」の割合は6.1ポイント増加している。

また、1日当たりの就労時間については、「8時間」の割合が31.0%で最も高く、次いで「7時間」が16.7%、「6時間」が14.9%となっている。

前回調査と比較しても、大きな違いは見られない。

II 乳幼児の保護者調査結果

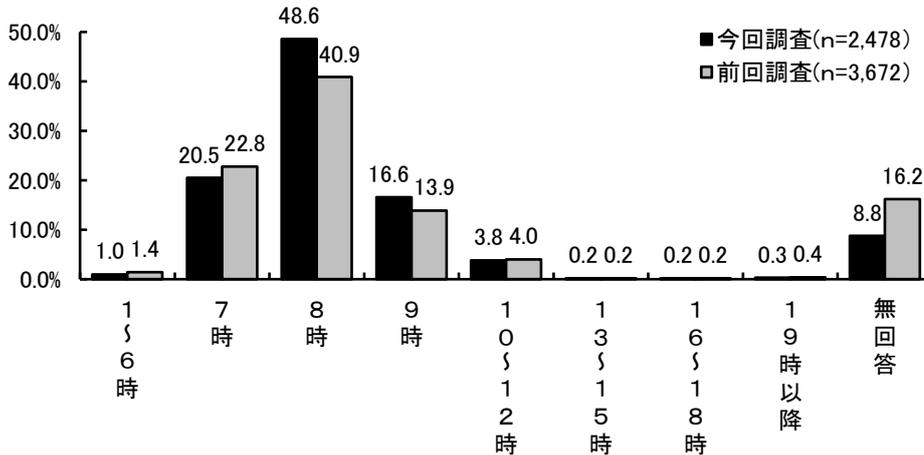
(3) 母親の出勤時刻・帰宅時刻

問14で「1」～「4」に○をつけた方にうかがいます。

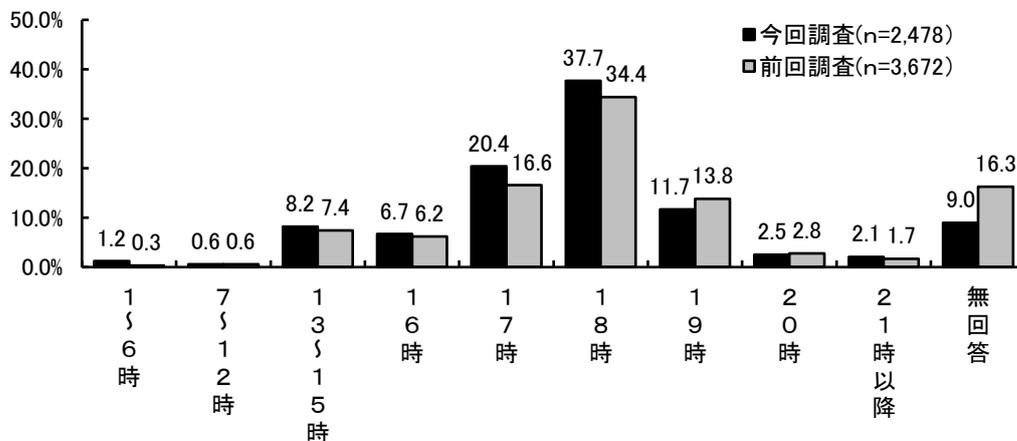
問14-2 家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。(枠内に時間を記入。(例) 18時)

一定でない場合はもっとも多いパターンについて、産休・育休・介護休業中の方は休業に入る前の状況について、お答えください。

図表25 母親の出勤時刻



図表26 母親の帰宅時刻



フルタイム及びパート・アルバイト等で就労している母親に出勤・帰宅時刻をたずねた。

出勤時刻は、「8時」の割合が48.6%で最も高く、次いで「7時」が20.5%、「9時」が16.6%となっている。

前回調査と比較すると、「8時」の割合は7.7ポイント増加している。

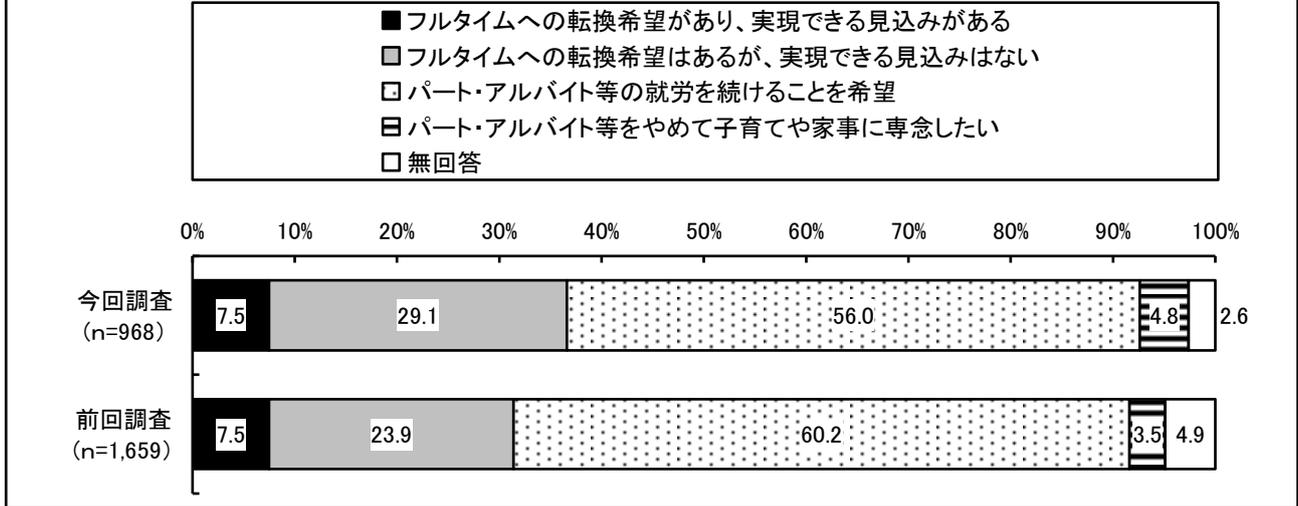
また、帰宅時刻は、「18時」の割合が37.7%で最も高く、次いで「17時」が20.4%、「19時」が11.7%、「13～15時」が8.2%となっている。

前回調査と比較しても、大きな違いは見られない。

(4) 母親のフルタイムへの転換希望

問14で「3」または「4」に○をつけた方にうかがいます。
問14-3 フルタイムへの転換希望についてお答えください。(○は1つ)

図表27 母親のフルタイムへの転換希望



パート・アルバイト等で就労している母親のフルタイムへの転換希望については、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」の割合が56.0%で最も高く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が29.1%、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」が7.5%、「パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい」が4.8%となっている。

前回調査と比較すると、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」の割合は5.2ポイント増加している。

子どもの年齢別にみると、3～5歳では「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」の割合が他の年齢に比べて高くなっている。

世帯年収別にみると、概ね世帯年収が高いほど「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」の割合が高くなっている。

図表28 子どもの年齢別、世帯年収別 母親のフルタイムへの転換希望

(単位:%)

	標本数(人)	希望があり、実現できる見込みがある	希望はあるが、実現できる見込みはない	パート・アルバイト等の就労を続けることを希望	パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい	無回答	
全体	968	7.5	29.1	56.0	4.8	2.6	
子どもの年齢別	0歳	114	8.8	30.7	52.6	5.3	2.6
	1～2歳	271	10.7	28.0	52.8	5.2	3.3
	3～5歳	563	5.9	29.0	58.6	4.4	2.1
	無回答	20	5.0	40.0	45.0	5.0	5.0
全体	968	7.5	29.1	56.0	4.8	2.6	
世帯年収別	200万円未満	40	12.5	40.0	45.0	2.5	-
	200～300万円未満	76	11.8	39.5	40.8	5.3	2.6
	300～400万円未満	127	4.7	33.9	53.5	6.3	1.6
	400～500万円未満	167	9.6	31.1	53.3	4.2	1.8
	500～700万円未満	264	8.7	30.7	53.8	3.8	3.0
	700～1,000万円未満	165	6.7	24.8	60.6	4.8	3.0
	1,000万円以上	87	3.4	17.2	71.3	6.9	1.1
	無回答	42	-	9.5	76.2	4.8	9.5

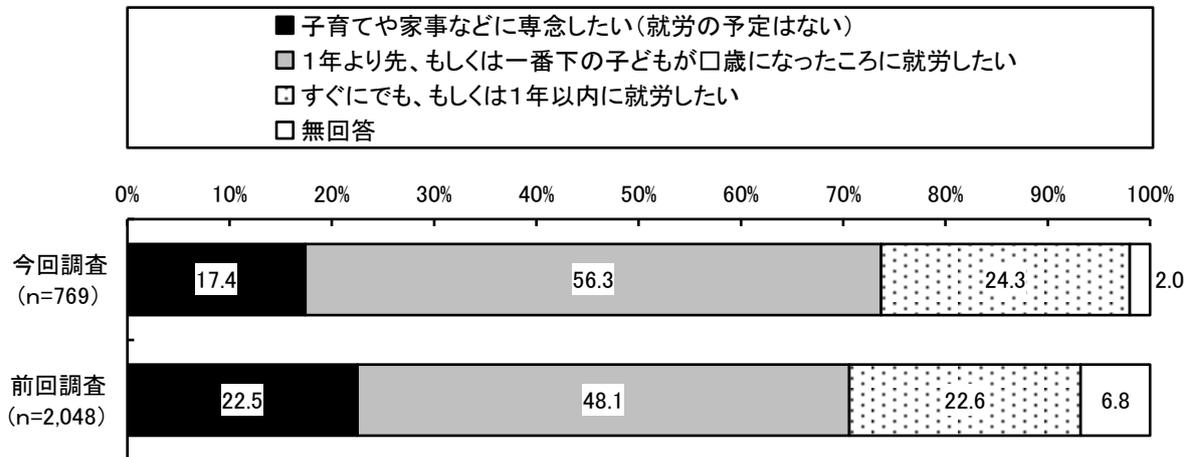
II 乳幼児の保護者調査結果

(5) 現在就労していない母親の就労希望

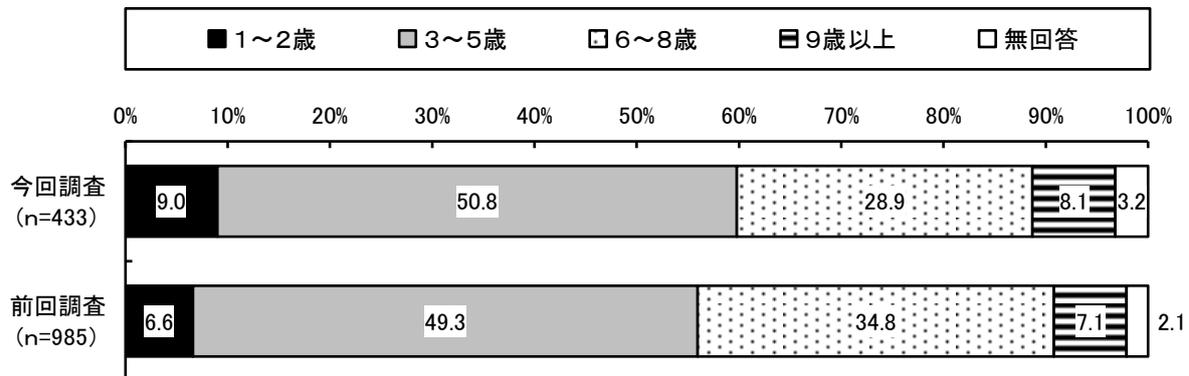
問14で「5」または「6」に○をつけた方にうかがいます。

問14-4 就労への希望についてお答えください。(○は1つ。枠内に数字を記入)

図表29 現在就労していない母親の就労希望



図表30 一番下の子どもが何歳になったら就労したいか



現在就労していない母親の就労希望については、「1年より先、もしくは一番下の子どもが〇歳になったところに就労したい」の割合が56.3%で最も高く、次いで「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が24.3%、「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」が17.4%となっている。

前回調査と比較すると、「1年より先、もしくは一番下の子どもが〇歳になったところに就労したい」の割合は8.2ポイント増加し、「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」の割合は5.1ポイント減少している。

一番下の子どもが何歳になったら就労したいかについては、「3～5歳」の割合が50.8%で最も高く、次いで「6～8歳」が28.9%、「1～2歳」が9.0%、「9歳以上」が8.1%となっている。

前回調査と比較すると、「6～8歳」の割合は5.9ポイント減少している。

現在就労していない母親の就労希望を子どもの年齢別にみると、1歳以上では「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」の割合は2割程度となっている。

世帯年収別にみると、世帯年収が低い世帯ほど「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」の割合が高くなっている。

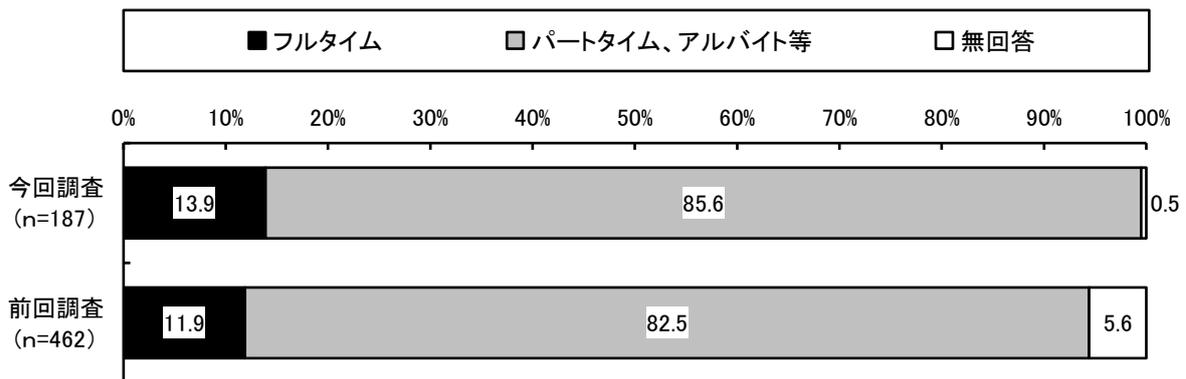
図表31 子どもの年齢別、世帯年収別 現在就労していない母親の就労希望

(単位: %)

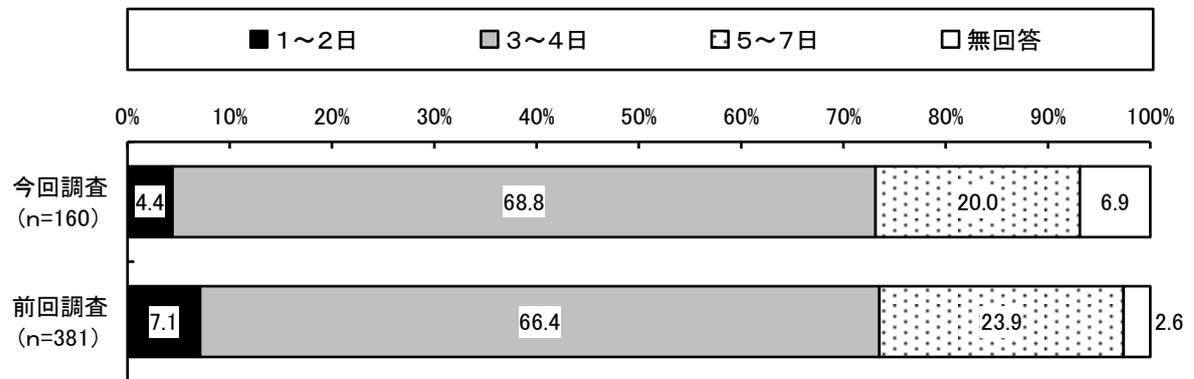
		標本数 (人)	いし子 した育 い(て や家 就事 のな 予ど 定に は専 念	な番1 つ下年 たのよ こ子り ろど先 にも、 就がも 労口し した歳 たには い一	年す 以ぐ 内に にで も、 就も 労し たく は1	無 回 答
全 体		769	17.4	56.3	24.3	2.0
子 ど も の 年 齢 別	0歳	155	10.3	63.2	24.5	1.9
	1～2歳	260	20.0	55.4	22.7	1.9
	3～5歳	336	18.8	53.6	26.2	1.5
	無回答	18	16.7	61.1	11.1	11.1
全 体		769	17.4	56.3	24.3	2.0
世 帯 年 収 別	200万円未満	35	25.7	17.1	51.4	5.7
	200～300万円未満	38	10.5	50.0	39.5	-
	300～400万円未満	87	5.7	62.1	29.9	2.3
	400～500万円未満	91	11.0	57.1	29.7	2.2
	500～700万円未満	207	16.4	57.5	25.1	1.0
	700～1,000万円未満	184	20.7	59.2	17.4	2.7
	1,000万円以上	98	26.5	61.2	10.2	2.0
	無回答	29	27.6	48.3	24.1	-

II 乳幼児の保護者調査結果

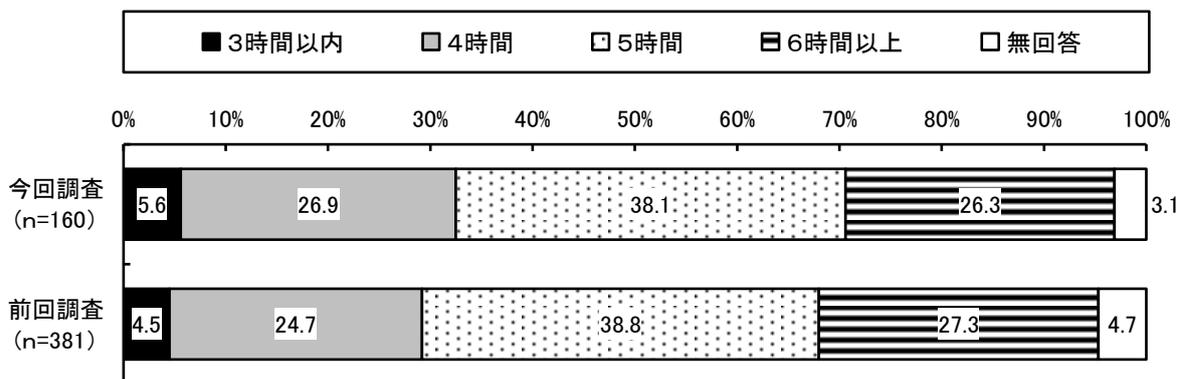
図表32 現在就労していない母親が希望する就労形態



図表33 1週当たりの希望就労日数（パート・アルバイト等での就労を希望する母親）



図表34 1日当たりの希望就労時間（パート・アルバイト等での就労を希望する母親）



現在就労していない母親のうち「すぐにも、もしくは1年以内に就労したい」母親が希望する就労形態については、「パートタイム、アルバイト等」の割合が85.6%となっている。

現在就労していない母親のうち「すぐにも、もしくは1年以内に就労したい」母親で、「パート・アルバイト等」での就労を希望する場合の1週当たりの希望就労日数については、「3～4日」の割合が68.8%で最も高く、次いで「5～7日」が20.0%、「1～2日」が4.4%となっている。

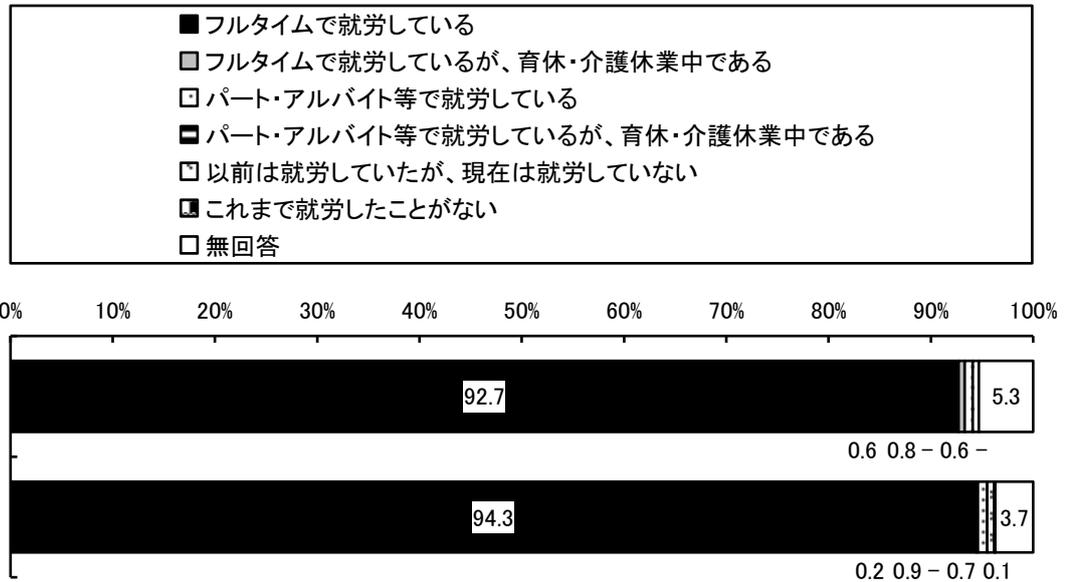
また、1日当たりの希望就労時間については、「5時間」の割合が38.1%で最も高く、次いで「4時間」が26.9%、「6時間以上」が26.3%、「3時間以内」が5.6%となっている。

2. 父親の就労状況

(1) 父親の就労状況

問15 父親の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）について、お答えください。
（○は1つ）

図表35 父親の就労状況



父親の就労状況については、前回調査と同様、「フルタイムで就労している」の割合が92.7%で、9割を超えている。

Ⅱ 乳幼児の保護者調査結果

(2) 父親の就労日数・就労時間

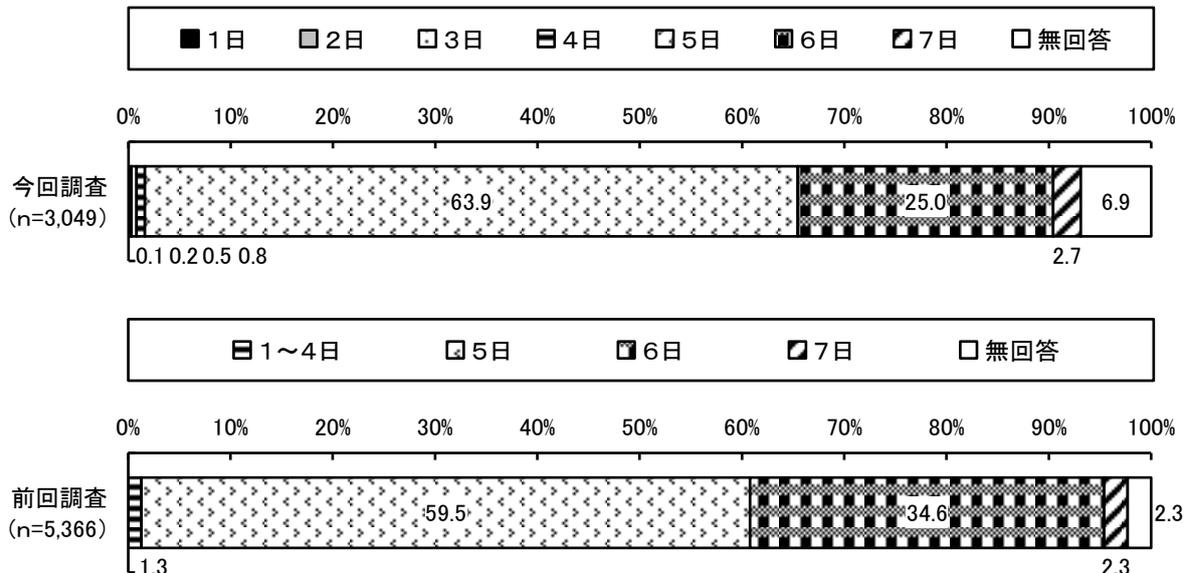
問15で「1」～「4」に○をつけた方にうかがいます。

問15-1 1週当たりの就労日数、1日当たりの就労時間（残業時間を含む）をお答えください。

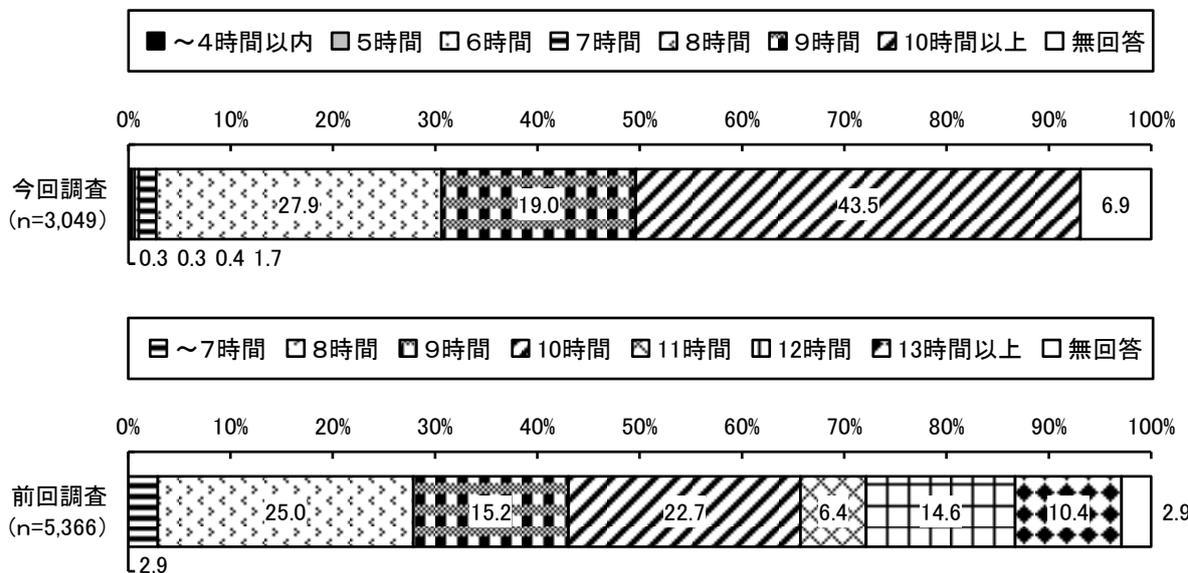
（枠内に数字を記入）

一定でない場合はもっとも多いパターンについて、育休・介護休業中の方は休業に入る前の状況についてお答えください。

図表36 1週当たりの父親の就労日数



図表37 1日当たりの父親の就労時間



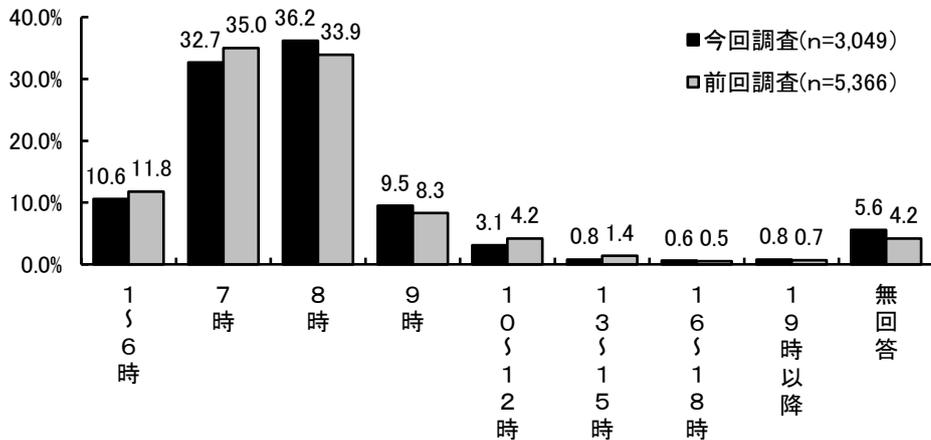
フルタイム及びパート・アルバイト等で就労している父親に就労日数と就労時間をたずねた。週当たりの就労日数については、「5日」の割合が63.9%で最も高く、次いで「6日」が25.0%となっている。

1日当たりの就労時間については、「10時間以上」の割合が43.5%で最も高く、次いで「8時間」が27.9%、「9時間」が19.0%となっている。

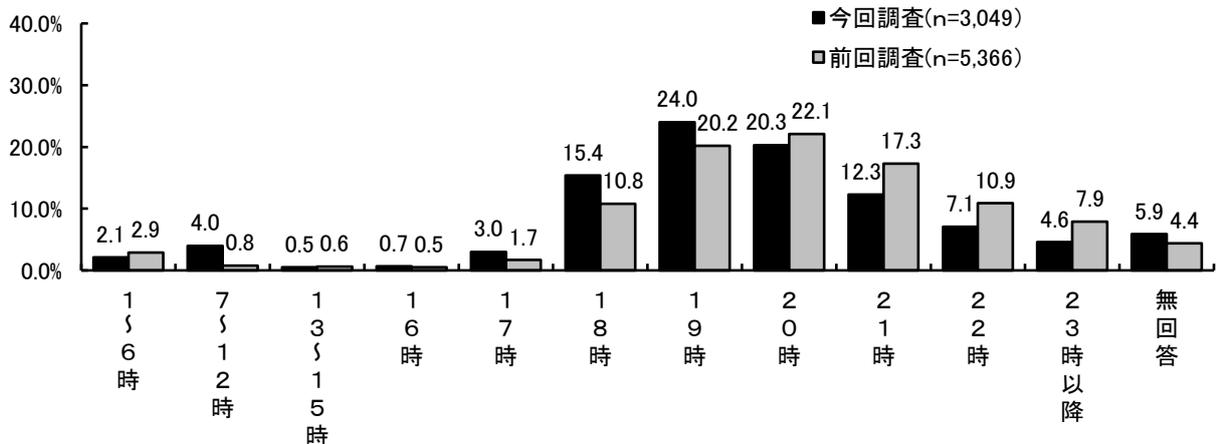
(3) 父親の出勤時刻・帰宅時刻

問15-2 家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。(枠内に時間を記入(例)18時)
一定でない場合はもっとも多いパターンについて、育休・介護休業中の方は休業に入る前の状況についてお答えください。

図表38 父親の出勤時刻



図表39 父親の帰宅時刻



フルタイム及びパート・アルバイト等で就労している父親に出勤・帰宅時刻をたずねた。

出勤時刻は、「8時」の割合が36.2%で最も高く、次いで「7時」が32.7%、「1~6時」が10.6%、「9時」が9.5%となっている。

また、帰宅時刻は、「19時」の割合が24.0%で最も高く、次いで「20時」が20.3%、「18時」が15.4%、「21時」が12.3%となっている。

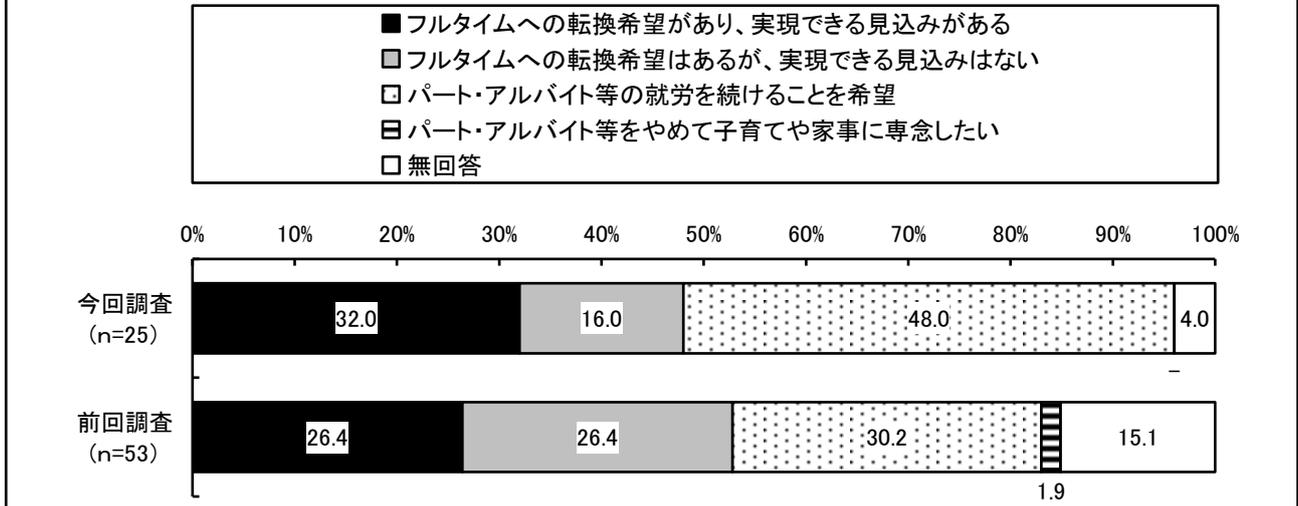
Ⅱ 乳幼児の保護者調査結果

(4) 父親のフルタイムへの転換希望

問15で「3」または「4」に○をつけた方にうかがいます。

問15-3 フルタイムへの転換希望についてお答えください。(○は1つ)

図表40 父親のフルタイムへの転換希望



パート・アルバイト等で就労している父親のフルタイムへの転換希望については、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」の割合が48.0%で最も高く、次いで「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」が32.0%、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が16.0%となっている。

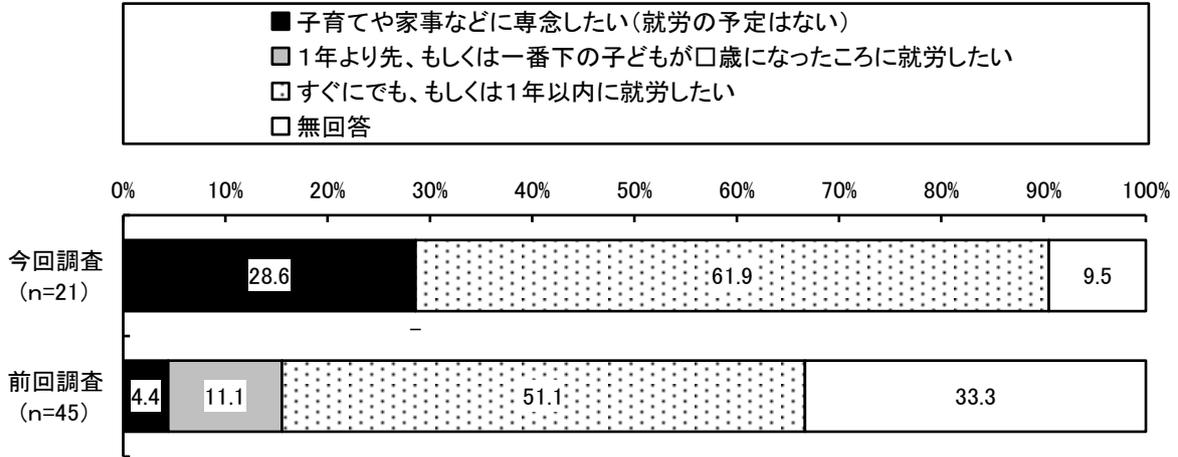
前回調査と比較すると、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」の割合は17.8ポイント増加している。

(5) 現在就労していない父親の就労希望

問15で「5」または「6」に○をつけた方にうかがいます。

問15-4 就労への希望についてお答えください。(○は1つ。枠内に数字を記入)

図表41 現在就労していない父親の就労希望



現在就労していない父親の就労希望については、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」の割合が61.9%で最も高く、次いで「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」が28.6%となっている。

前回調査と比較すると、「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」の割合は24.2ポイント増加し、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」の割合は10.8ポイント増加している。

また、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」と回答した父親(13人)に希望する就労形態をたずねたところ、7人が「フルタイム」、6人が「パートタイム、アルバイト等」と回答しており、「パートタイム、アルバイト等」と回答した父親の1週当たりの希望就労日数は、「3~4日」(3人)、「5~7日」(2人)、1日当たりの希望就労時間は、「6時間以上」(4人)、「5時間」(1人)、「4時間」(1人)となっている。

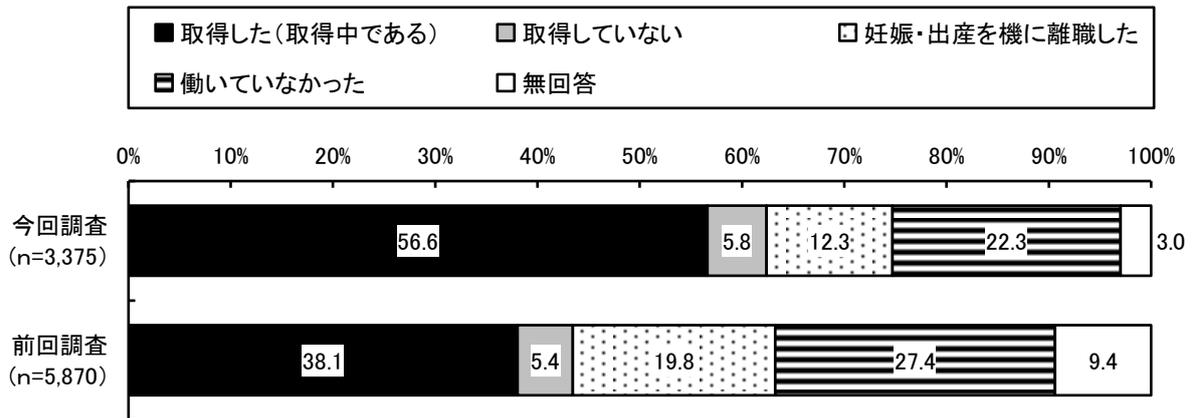
第3章 育児休業など職場の両立支援制度について

1. 育児休業の取得状況

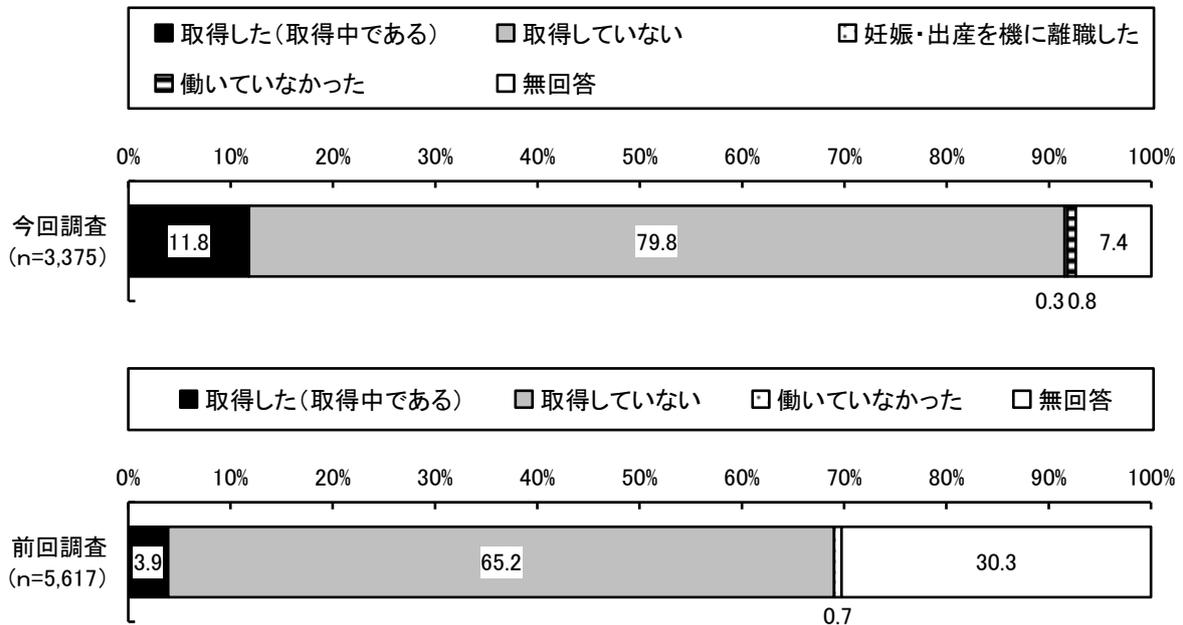
問16～問16-8は、あて名のお子さんの母親・父親それぞれの状況をお答えください。

問16 あて名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。(それぞれ〇は1つ)

図表42 育児休業の取得状況（母親）



図表43 育児休業の取得状況（父親）



母親の育児休業取得状況については、「取得した（取得中である）」の割合が56.6%で最も高く、次いで「働いていなかった」が22.3%、「妊娠・出産を機に離職した」が12.3%、「取得していない」が5.8%となっている。

前回調査と比較すると、「取得した（取得中である）」の割合は18.5ポイント増加し、「妊娠・出産を機に離職した」の割合は7.5ポイント減少し、「働いていなかった」の割合は5.1ポイント減少している。

父親の育児休業取得状況については、「取得していない」の割合が79.8%で最も高く、次いで「取得した（取得中である）」が11.8%となっている。

選択肢に相違があるが前回調査と比較すると、「取得した（取得中である）」の割合は7.9ポイント増加し、「取得していない」の割合は14.6ポイント増加している。

母親の育児休業の取得状況を母親の就労状況別にみると、フルタイムで就労している場合には取得率（「取得した（取得中である）」の割合）が8割半ば（86.3%）となっている。

図表44 母親の就労状況別 育児休業の取得状況（母親）

(単位:%)

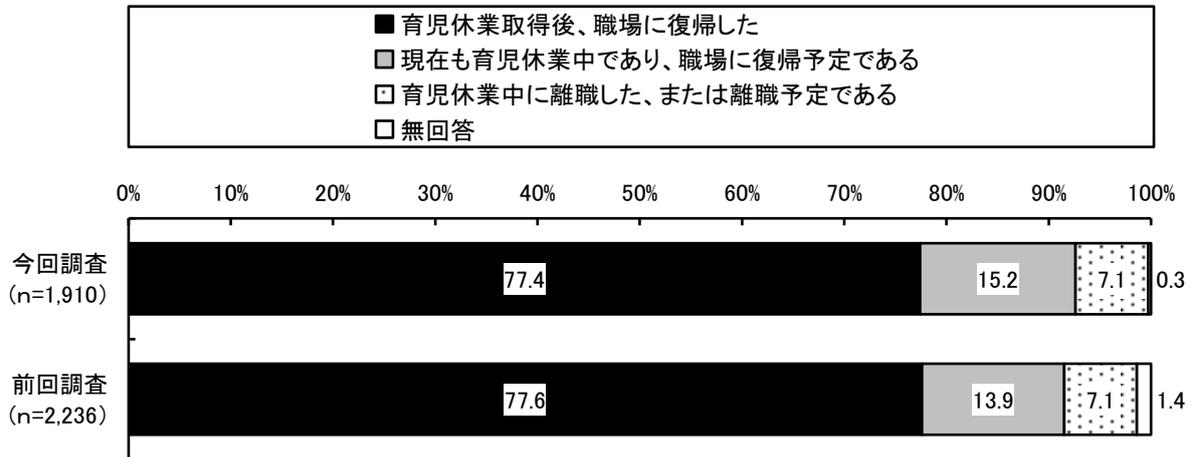
		標本数 (人)	取得した (取得中であ る)	取得して いない	妊娠・出産を機 に離職し	働いて いなかった	無回 答
全 体		3,368	56.7	5.8	12.3	22.4	2.9
母 親 の 就 労 状 況 別	フルタイムで就労	1,510	86.3	5.2	3.6	3.8	1.1
	パート・アルバイト等で就労	968	48.2	7.9	17.1	24.0	2.8
	以前は就労していたが、 現在は就労していない	738	12.9	3.5	24.4	56.1	3.1
	これまで就労したことがない	31	3.2	-	9.7	80.6	6.5
	無回答	121	34.7	12.4	9.1	20.7	23.1

2. 育児休業取得後の職場復帰の状況

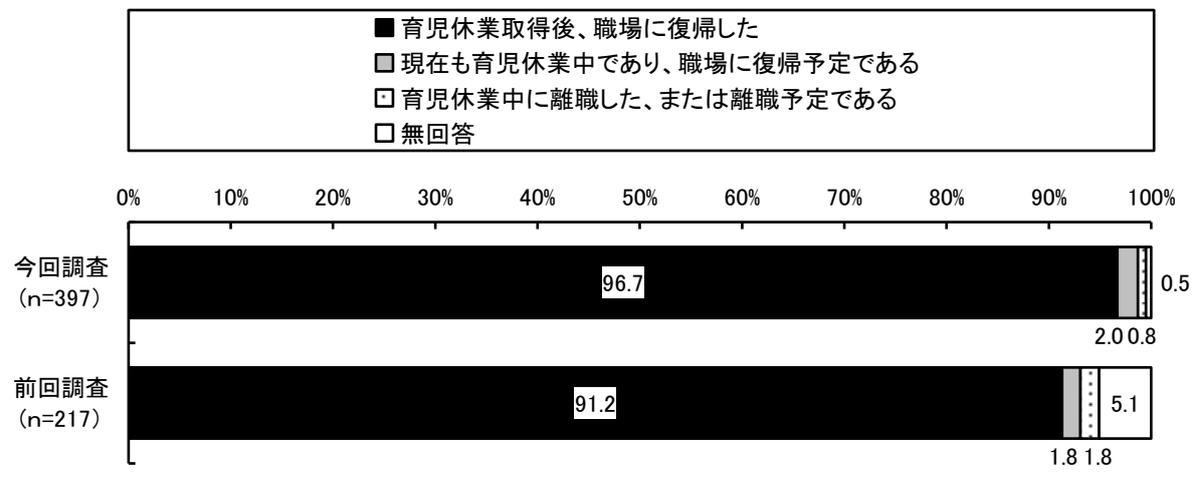
(1) 職場復帰の状況

問16で「1. 取得した（取得中である）」と回答した方にうかがいます。
 問16-1 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。（それぞれ○は1つ）

図表45 母親の職場復帰の状況



図表46 父親の職場復帰の状況



育児休業取得後の母親の職場復帰の状況については、「育児休業取得後、職場に復帰した」の割合が77.4%で最も高く、次いで「現在も育児休業中であり、職場に復帰予定である」が15.2%となっている。

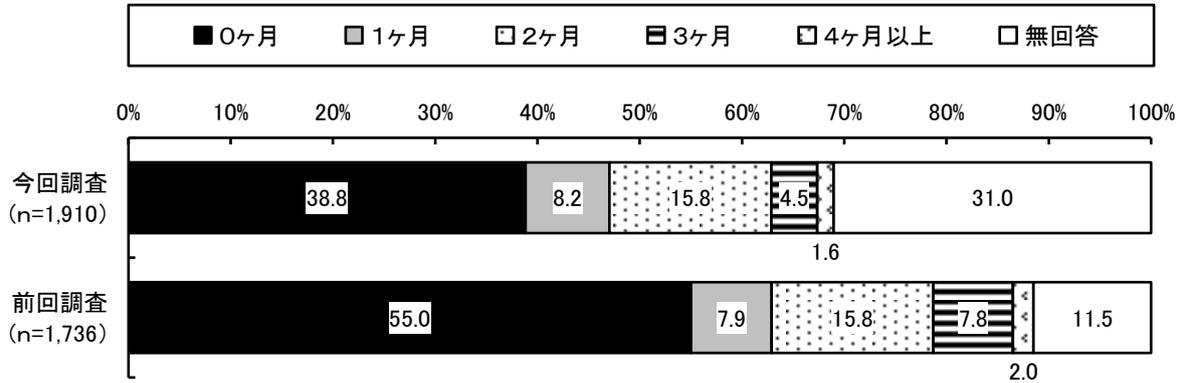
育児休業取得後の父親の職場復帰の状況については、「育児休業取得後、職場に復帰した」の割合が96.7%で最も高くなっている。

前回調査と比較すると、「育児休業取得後、職場に復帰した」の割合は5.5ポイント増加している。

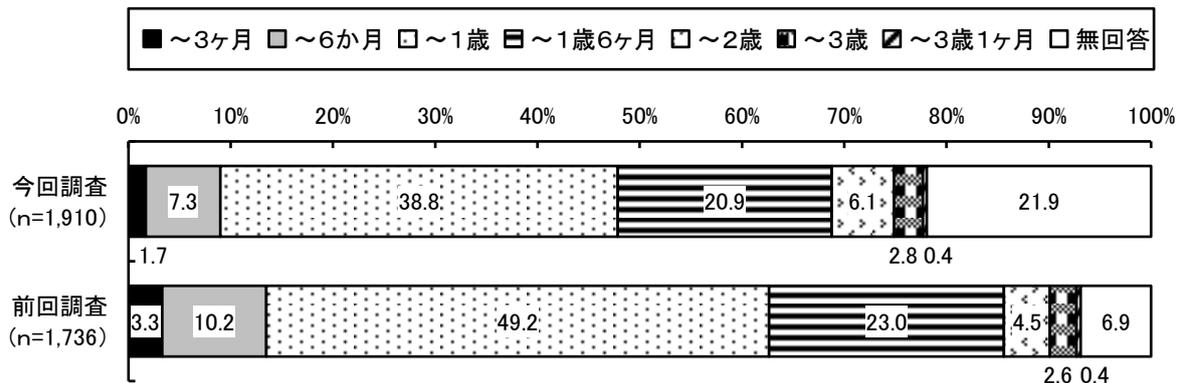
(2) 育児休業の取得期間（実際と希望）

問16-2 育児休業は、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月から何歳何ヶ月の間、取得されましたか。また、「希望」は何歳何ヶ月から何歳何ヶ月の間取りたかったですか。
 (枠内に数字を記入)

図表47 実際の取得期間（開始年齢）母親



図表48 実際の取得期間（終了年齢）母親



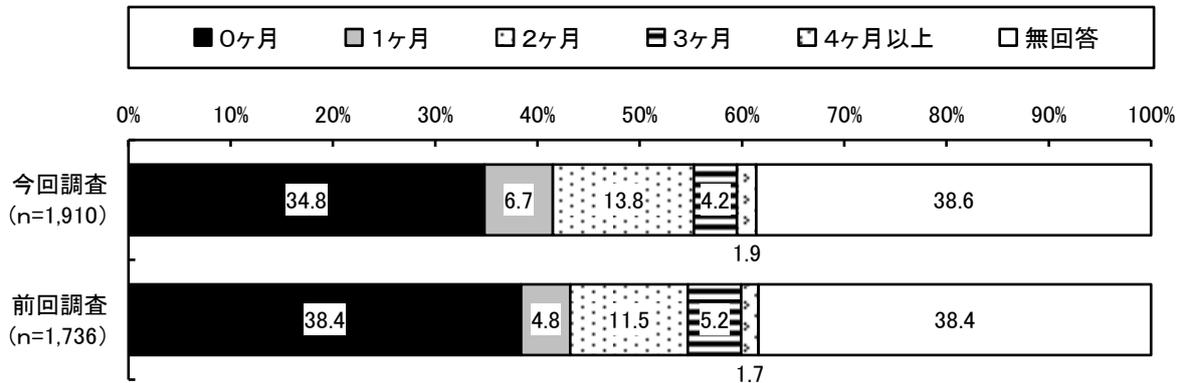
母親が育児休業を実際に取得開始した際の子どもの年齢は、「0ヶ月」の割合が38.8%で最も高く、次いで「2ヶ月」が15.8%となっている。

前回調査と比較すると、「0ヶ月」の割合は16.2ポイント減少している。

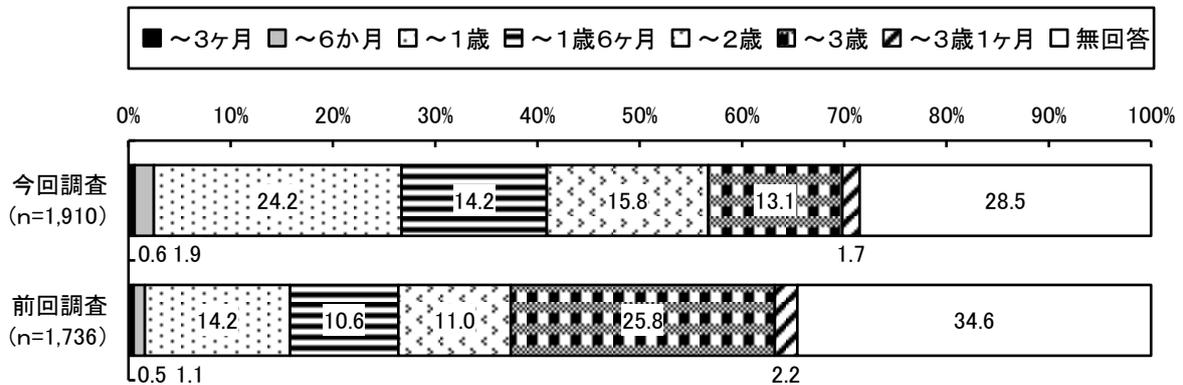
また、終了した（する）際の子どもの年齢は、「~1歳」の割合が38.8%で最も高く、次いで「~1歳6ヶ月」が20.9%となっている。

前回調査と比較すると、「~1歳」の割合は10.4ポイント減少している。

図表49 希望の取得期間（開始年齢）母親



図表50 希望の取得期間（終了年齢）母親

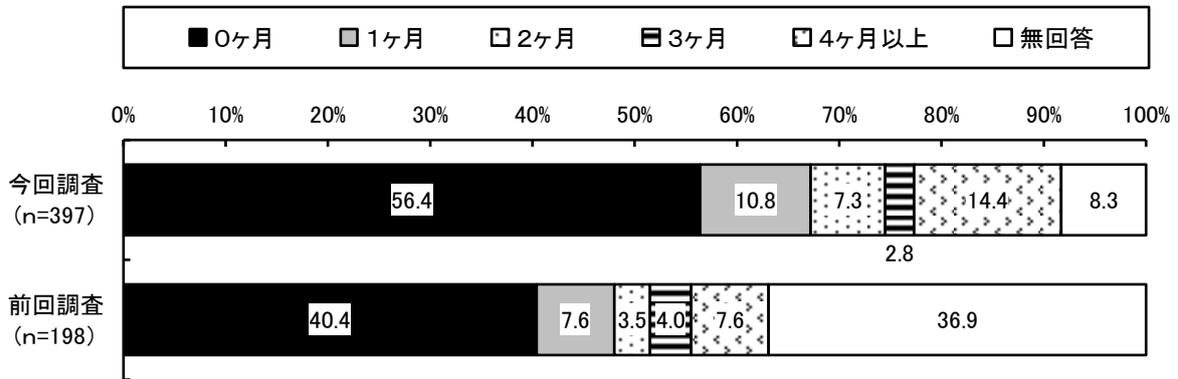


母親が育児休業を取得開始したかった子どもの年齢は、「0ヶ月」の割合が34.8%で最も高く、次いで「2ヶ月」が13.8%となっている。

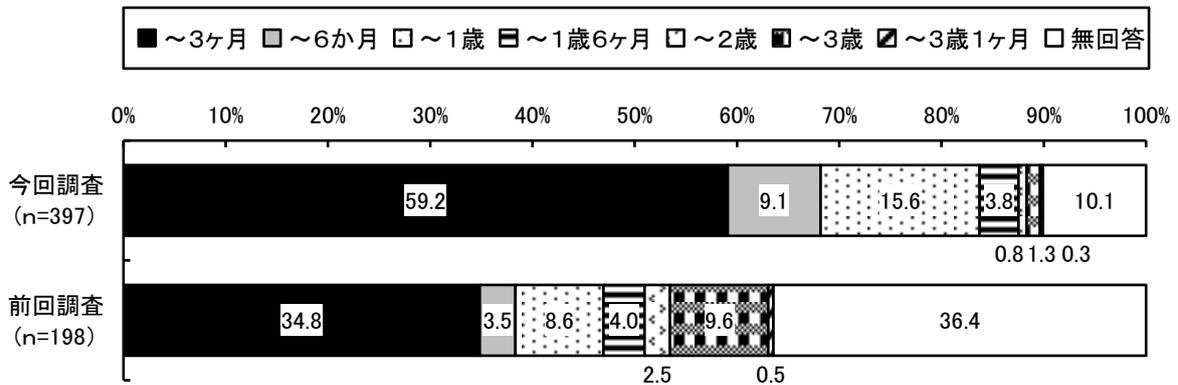
また、終了したかった子どもの年齢は、「~1歳」の割合が24.2%で最も高く、次いで「~2歳」が15.8%、「~1歳6ヶ月」が14.2%、「~3歳」が13.1%となっている。

前回調査と比較すると、「~1歳」の割合は10.0ポイント増加し、「~3歳」の割合は12.7ポイント減少している。

図表51 実際の取得期間（開始年齢）父親



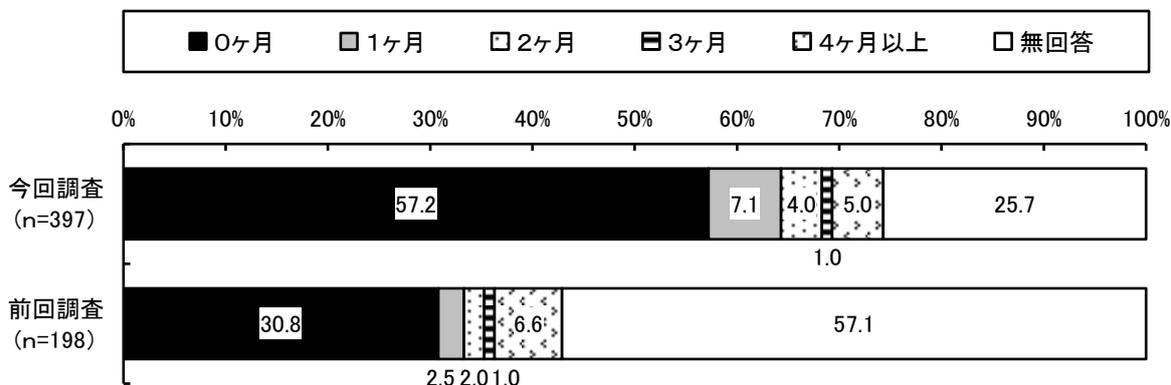
図表52 実際の取得期間（終了年齢）父親



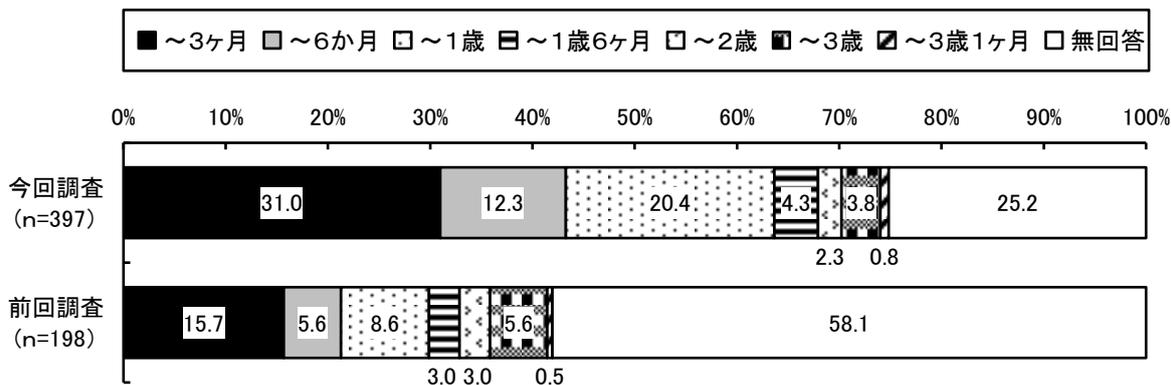
父親が育児休業を実際に取得開始した際の子どもの年齢は、「0ヶ月」の割合が56.4%で最も高く、次いで「4ヶ月以上」が14.4%、「1ヶ月」が10.8%となっている。

また、終了した（する）際の子どもの年齢は、「~3ヶ月」の割合が59.2%で最も高く、次いで「~1歳」が15.6%となっている。

図表53 希望の取得期間（開始年齢）父親



図表54 希望の取得期間（終了年齢）父親



父親が育児休業を取得開始したかった子どもの年齢は、「0ヶ月」の割合が57.2%で最も高くなっている。

また、終了したかった子どもの年齢は、「~3ヶ月」の割合が31.0%で最も高く、次いで「~1歳」が20.4%、「~6か月」が12.3%となっている。

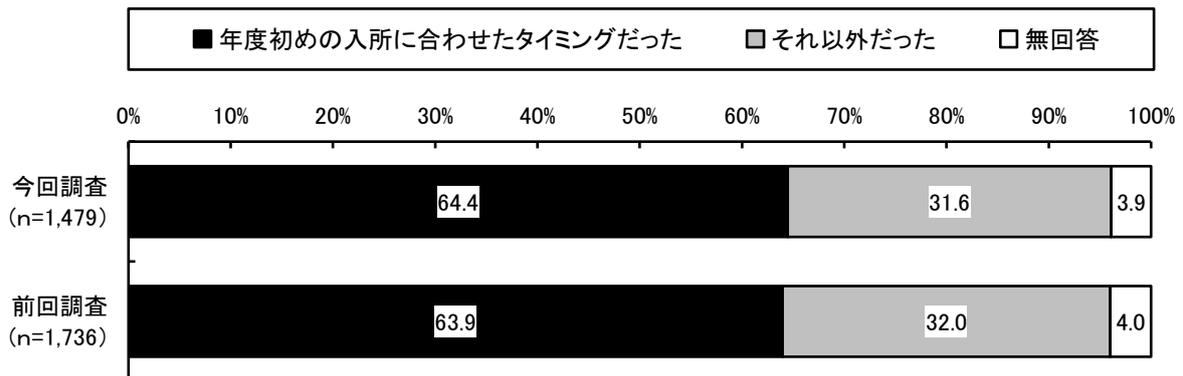
(3) 復職のタイミング

問16-1で「1. 復帰した」と回答した方にうかがいます。

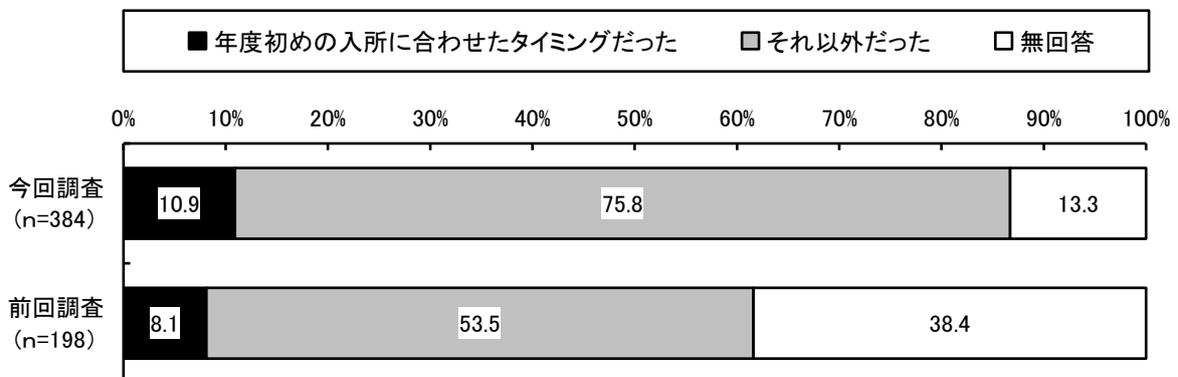
問16-3 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所(園)入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。(それぞれ○は1つ)

※年度初めでの認可保育所(園)入所を希望して、1月～2月頃復帰して一時的に認可外保育所(園)に入所した場合なども「1.」に当てはまります。また、年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育所(園)に入所できなかったという場合も「1.」を選択してください。

図表55 復職のタイミング (母親)



図表56 復職のタイミング (父親)



育児休業から復職したタイミングについては、母親は「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」の割合が64.4%、「それ以外だった」が31.6%となっている。

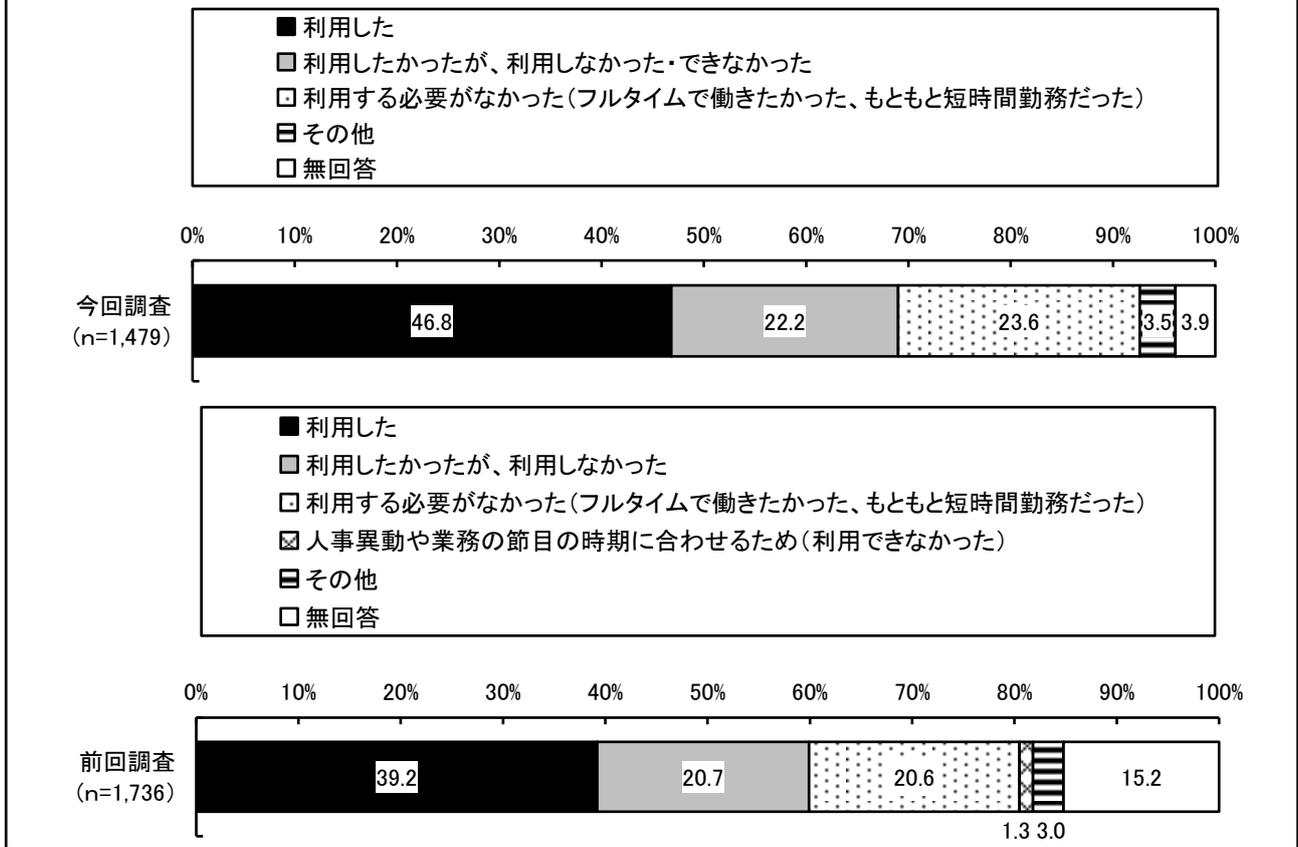
また父親は、「それ以外だった」の割合が75.8%、「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」が10.9%となっている。

II 乳幼児の保護者調査結果

(4) 職場復帰時の短時間勤務制度の利用状況

問16-4 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。(それぞれ〇は1つ)

図表57 職場復帰時の短時間勤務制度の利用状況（母親）



育児休業を取得した母親が職場復帰する際に短時間勤務制度を利用したかどうかについては、「利用した」の割合が46.8%で最も高く、次いで「利用する必要がなかった(フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった)」が23.6%、「利用したかったが、利用しなかった・できなかった」が22.2%となっている。

選択肢に相違があるが前回調査と比較すると、「利用した」の割合は7.6ポイント増加している。

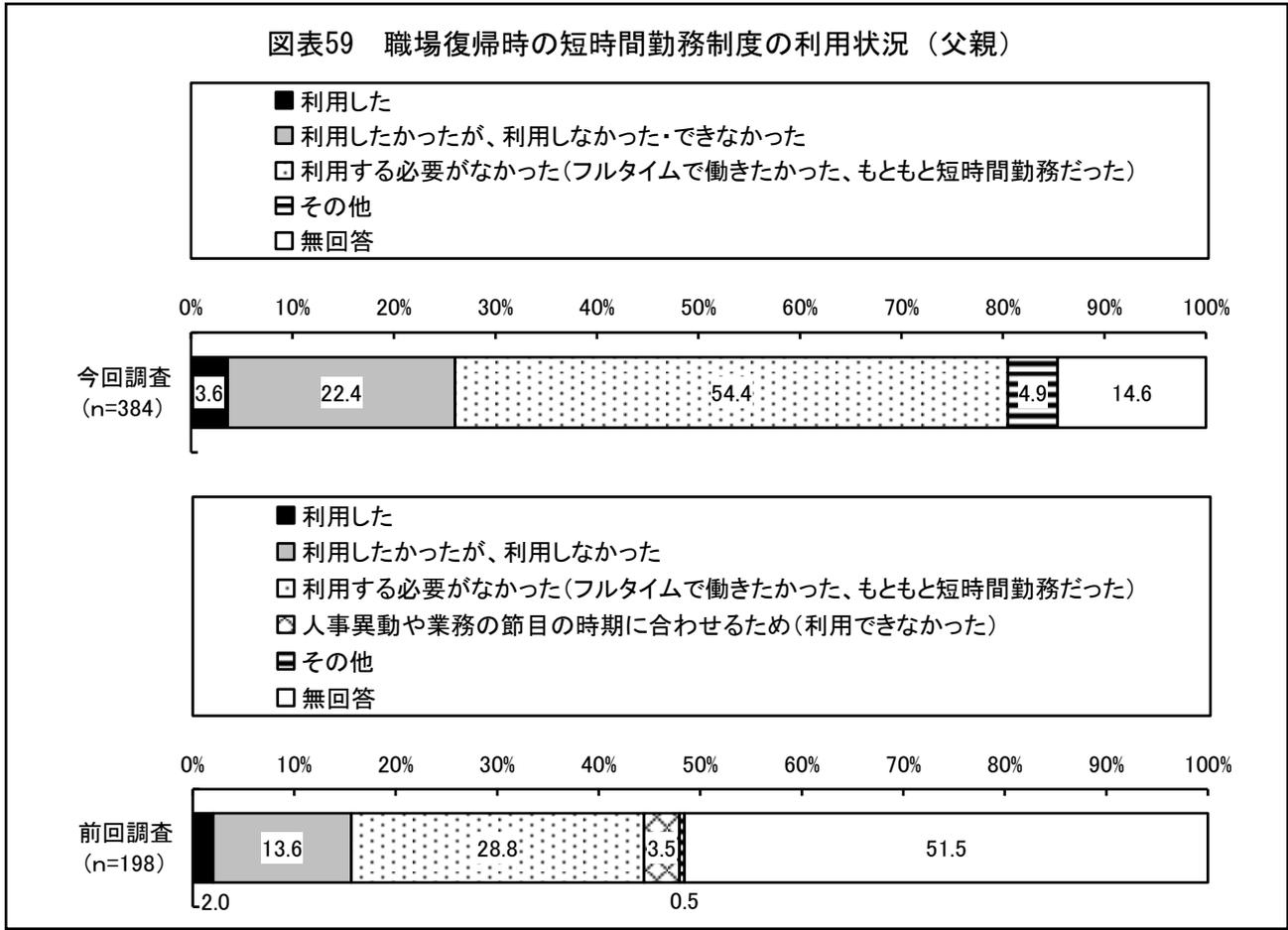
母親の就労状況別にみると、フルタイムで就労している場合では「利用したかったが、利用しなかった・できなかった」の割合が他の就労状況に比べて高くなっている。

図表58 母親の就労状況別 職場復帰時の短時間勤務制度の利用状況（母親）

(単位: %)

		標本数 (人)	利用した	利用しなかったが、利用しなかった・できなかった	利用する必要がなかった(フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった)	その他	無回答
全体		1,477	46.8	22.2	23.6	3.5	3.9
母親の就労状況別	フルタイムで就労	1,042	48.2	25.5	20.4	2.9	3.0
	パート・アルバイト等で就労	372	43.0	13.2	32.5	5.1	6.2
	以前は就労していたが、現在は就労していない	30	46.7	10.0	30.0	10.0	3.3
	これまで就労したことがない	0	-	-	-	-	-
	無回答	33	45.5	30.3	15.2	-	9.1

図表59 職場復帰時の短時間勤務制度の利用状況（父親）



育児休業を取得した父親が職場復帰する際に短時間勤務制度を利用したかどうかについては、「利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった）」の割合が54.4%で最も高く、次いで「利用したかったが、利用しなかった・できなかった」が22.4%となっている。

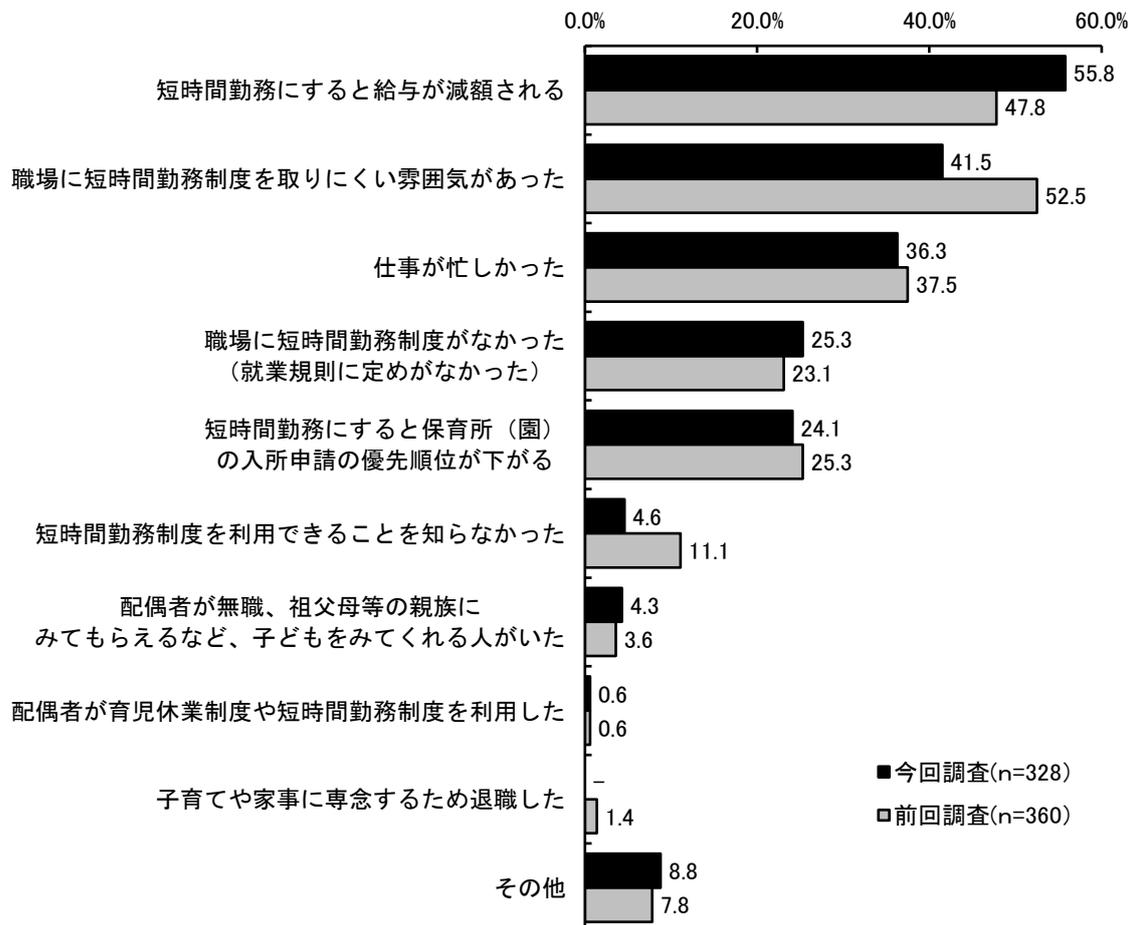
II 乳幼児の保護者調査結果

(5) 短時間勤務制度を利用しなかった理由

問16-4で「2. 利用しなかったが、利用しなかった・できなかった」と回答した方にうかがいます。

問16-5 短時間勤務制度を利用しなかった（利用できなかった）理由はなぜですか。
（枠内にあてはまるものすべてを記入）

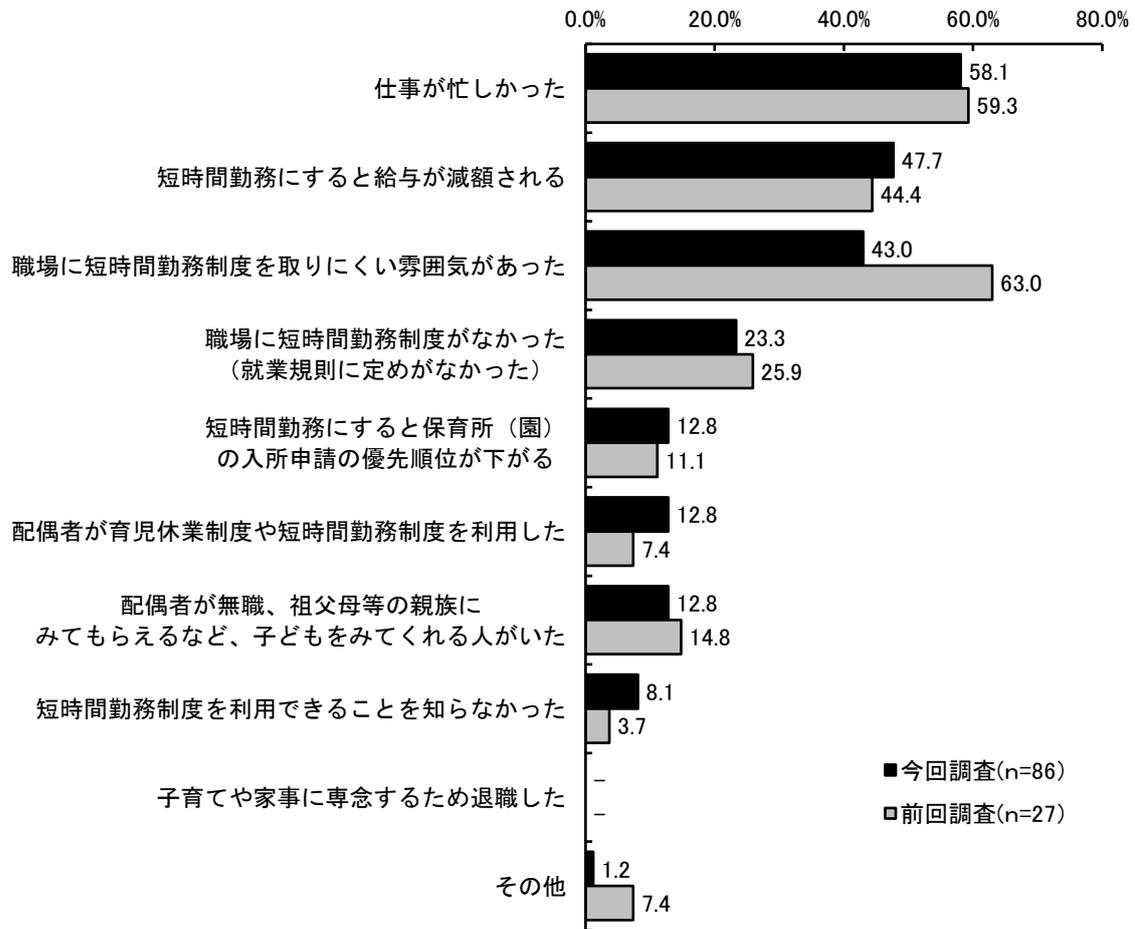
図表60 短時間勤務制度を利用しなかった理由（母親）



育児休業から復帰した際に母親が短時間勤務制度を利用しなかった（できなかった）理由としては、「短時間勤務にすると給与が減額される」の割合が55.8%で最も高く、次いで「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」が41.5%、「仕事が忙しかった」が36.3%、「職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」が25.3%、「短時間勤務にすると保育所（園）の入所申請の優先順位が下がる」が24.1%となっている。

前回調査と比較すると、「短時間勤務にすると給与が減額される」の割合は8.0ポイント増加し、「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」の割合は11.0ポイント減少している。

図表61 短時間勤務制度を利用しなかった理由（父親）



育児休業から復帰した際に父親が短時間勤務制度を利用しなかった（できなかった）理由としては、「仕事が忙しかった」の割合が58.1%で最も高く、次いで「短時間勤務にすると給与が減額される」が47.7%、「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」が43.0%、「職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」が23.3%、「短時間勤務にすると保育所（園）の入所申請の優先順位が下がる」が12.8%、「配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した」が12.8%、「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、子どもをみてくれる人がいた」が12.8%となっている。

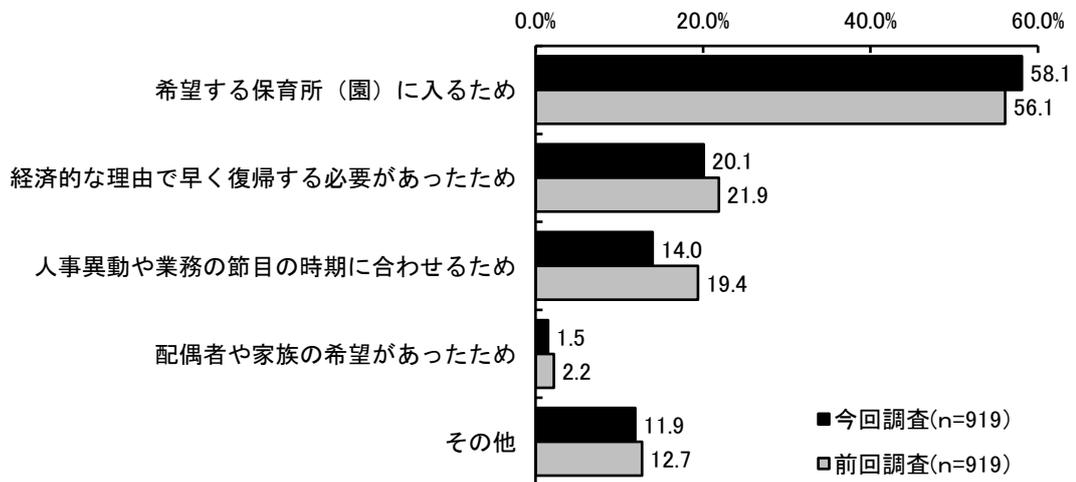
前回調査と比較すると、「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」の割合は20.0ポイント減少している。

II 乳幼児の保護者調査結果

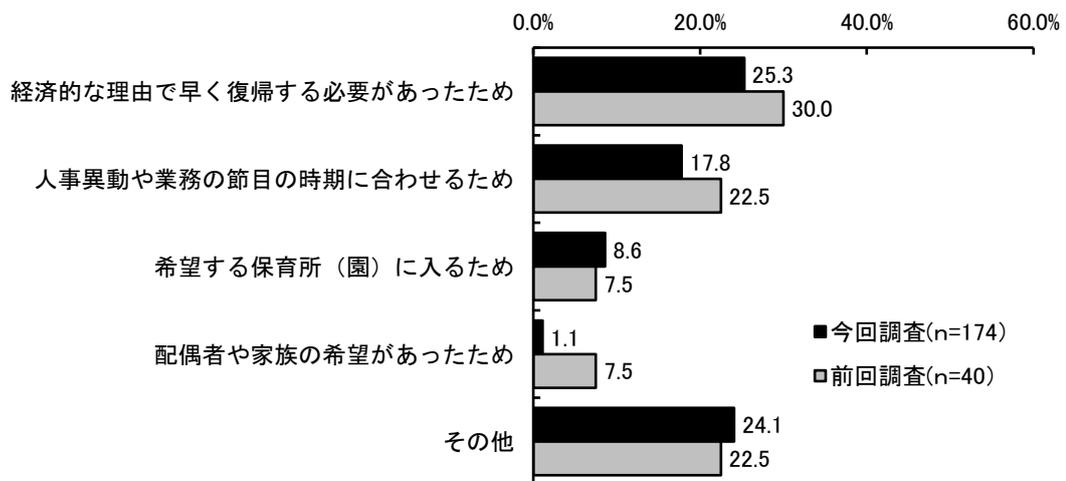
(6) 希望時期に職場復帰しなかった理由

育児休業からの復帰時期について、希望の復帰時期と実際の復帰が異なる方にうかがいます。
問16-6 希望の時期に職場復帰しなかった理由についてお答えください。(それぞれあてはまるものすべてに○)

図表62 希望時期より早く復帰した理由（母親）



図表63 希望時期より早く復帰した理由（父親）



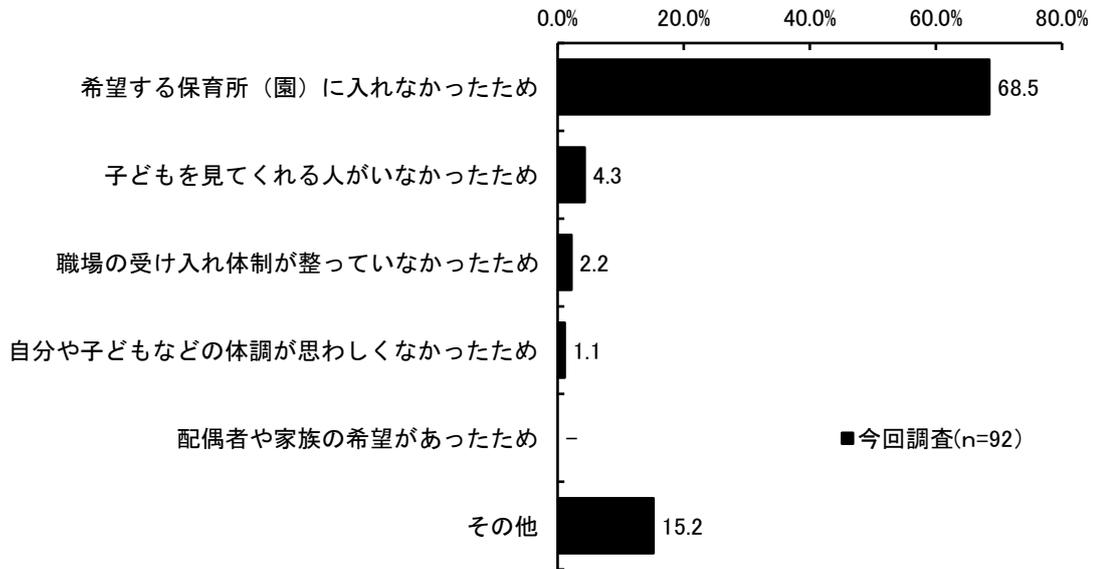
育児休業から職場復帰する時期が希望と実際に異なる母親のうち、希望よりも早く復帰する（した）理由としては、「希望する保育所（園）に入るため」の割合が58.1%で最も高く、次いで「経済的な理由で早く復帰する必要があったため」が20.1%、「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」が14.0%となっている。

前回調査と比較すると、「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」の割合は5.4ポイント減少している。

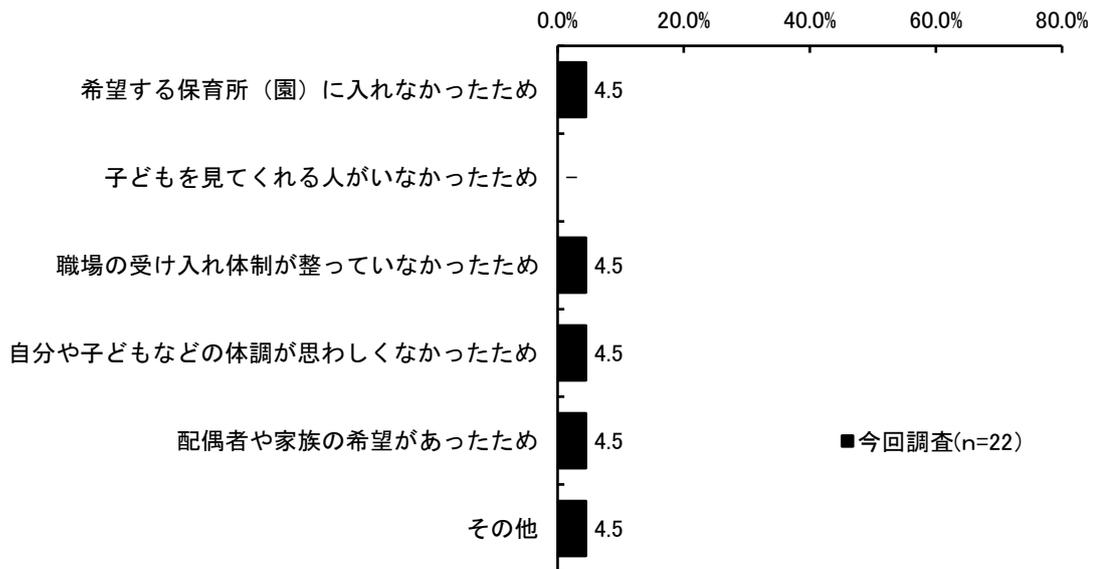
また父親では、「経済的な理由で早く復帰する必要があったため」の割合が25.3%で最も高く、次いで「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」が17.8%となっている。

前回調査と比較すると、「配偶者や家族の希望があったため」の割合は6.4ポイント減少している。

図表64 希望時期より遅く復帰した理由（母親）



図表65 希望時期より遅く復帰した理由（父親）



育児休業から職場復帰する時期が希望と実際に異なる母親のうち、希望よりも遅く復帰する（した）理由としては、「希望する保育所（園）に入れなかったため」の割合が68.5%で最も高くなっている。

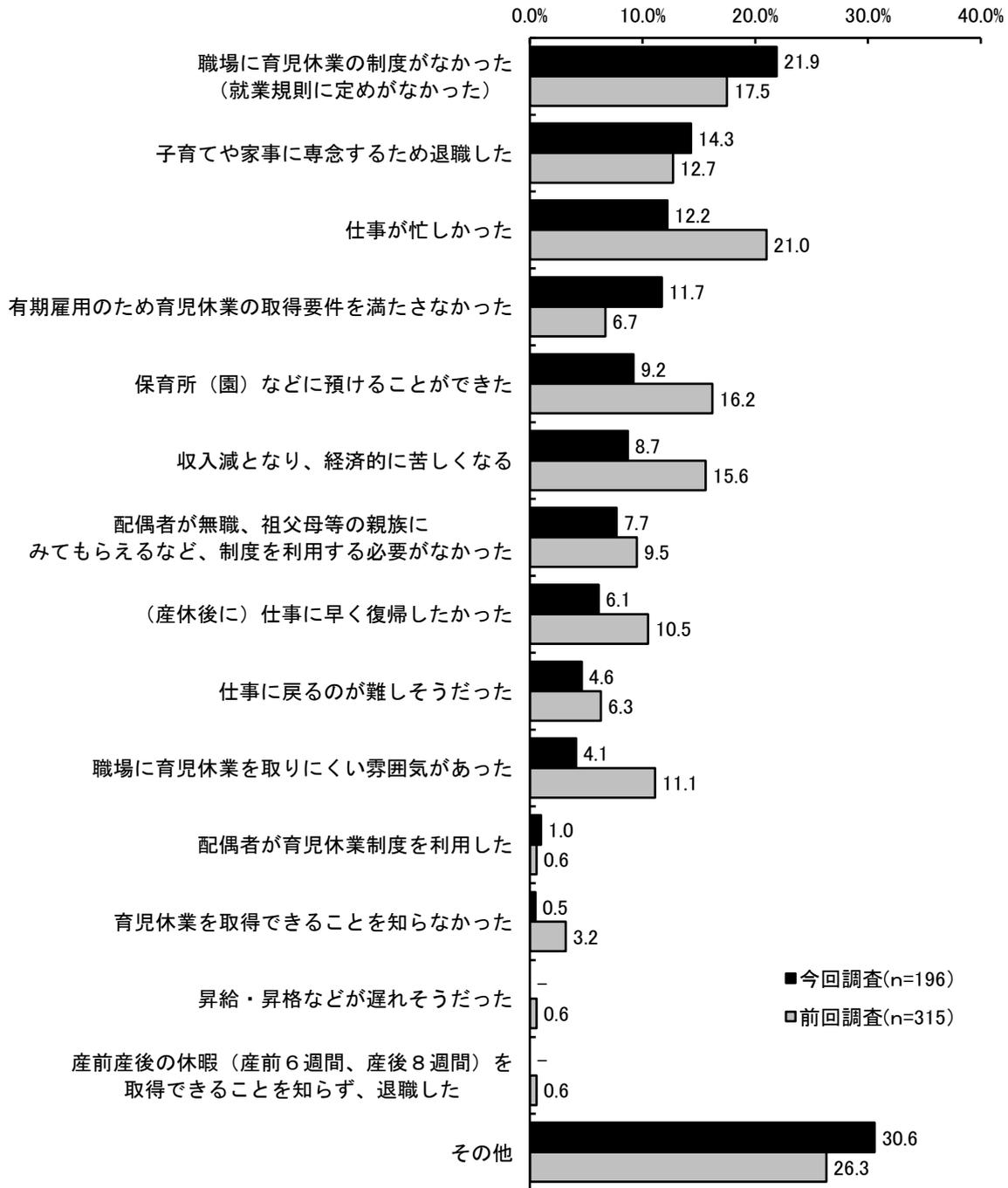
また父親では、「希望する保育所（園）に入れなかったため」「職場の受け入れ体制が整っていなかったため」「自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため」「配偶者や家族の希望があったため」がいずれも4.5%となっている。

3. 育児休業を取得しなかった理由

問16で「2. 取得していない」と回答した方にうかがいます。

問16-7 育児休業を取得されなかった理由はなぜですか。(枠内にあてはまるものすべてを記入)

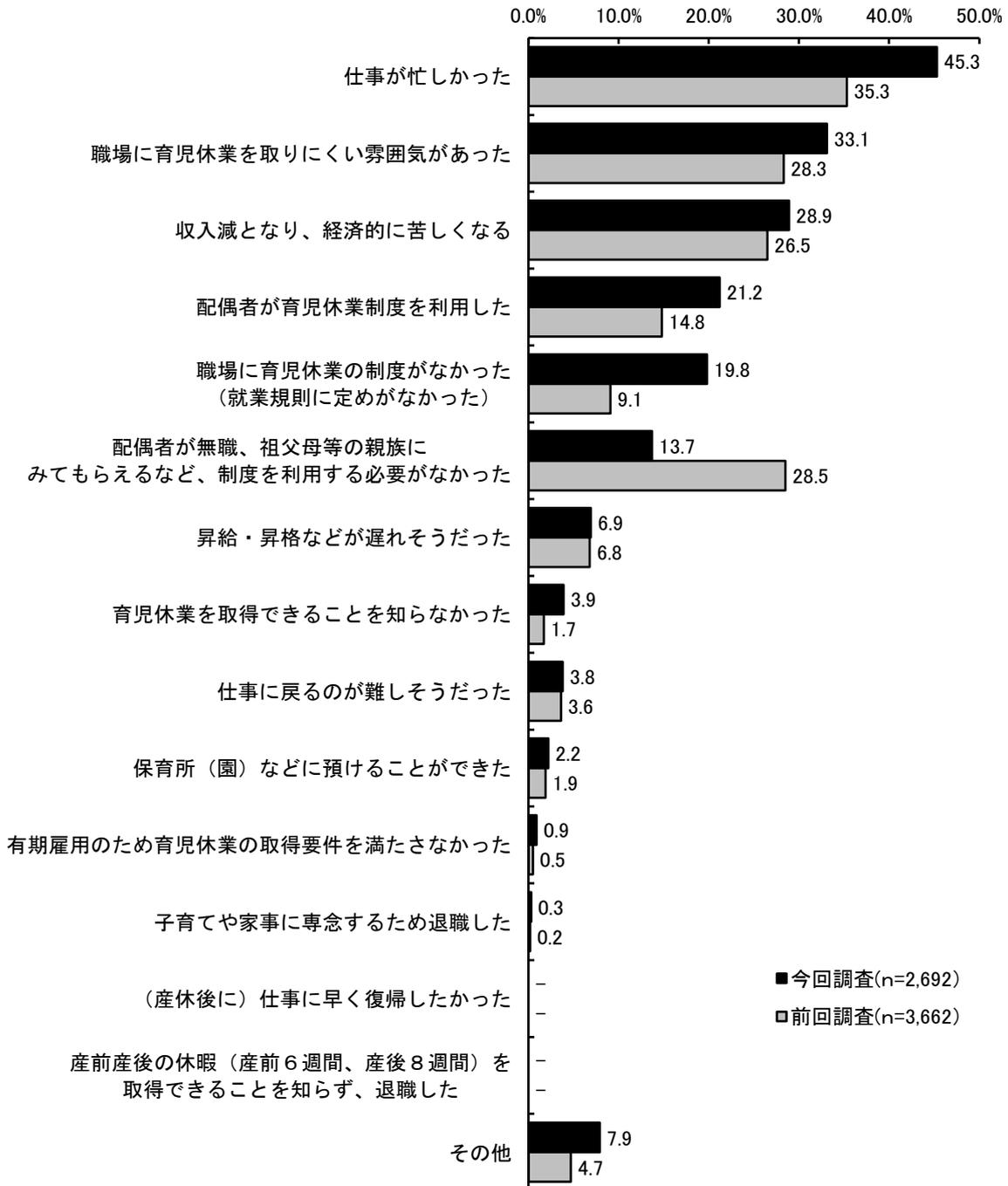
図表66 育児休業を取得しなかった理由（母親）



母親が育児休業を取得しなかった理由としては、「職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)」の割合が21.9%で最も高く、次いで「子育てや家事に専念するため退職した」が14.3%、「仕事が忙しかった」が12.2%となっている。

前回調査と比較すると、「仕事が忙しかった」の割合は8.8ポイント減少している。

図表67 育児休業を取得しなかった理由（父親）



父親が育児休業を取得しなかった理由としては、「仕事が忙しかった」の割合が45.3%で最も高く、次いで「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が33.1%、「収入減となり、経済的に苦しくなる」が28.9%となっている。

前回調査と比較すると、「職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」の割合は10.7ポイント増加し、「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」の割合は14.8ポイント減少している。

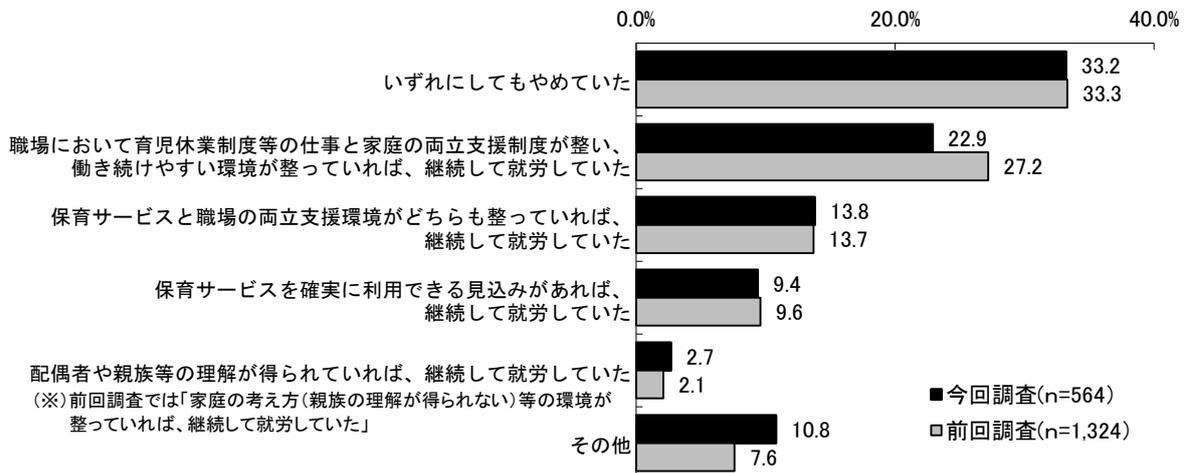
II 乳幼児の保護者調査結果

4. 継続して就労するために必要な両立支援サービスや環境

問16で「3. 妊娠・出産を機に離職した」と回答した方および、問16-1で「3. 育児休業中に離職した、または離職予定である」と回答した方にうかがいます。

問16-8 仕事と家庭の両立を支援する保育サービスや環境が整っていたら、就労を継続しましたか。(○は1つ)

図表68 継続して就労するために必要な両立支援サービスや環境



妊娠・出産・育児休業の際に離職した(する)人が就労を継続するために必要な両立支援サービスや環境については、サービスや環境があっても「いずれにしてもやめていた」の割合が33.2%で最も高く、次いで「職場において育児休業制度等の仕事と家庭の両立支援制度が整い、働き続けやすい環境が整っていれば、継続して就労していた」が22.9%、「保育サービスと職場の両立支援環境がどちらも整っていれば、継続して就労していた」が13.8%となっている。

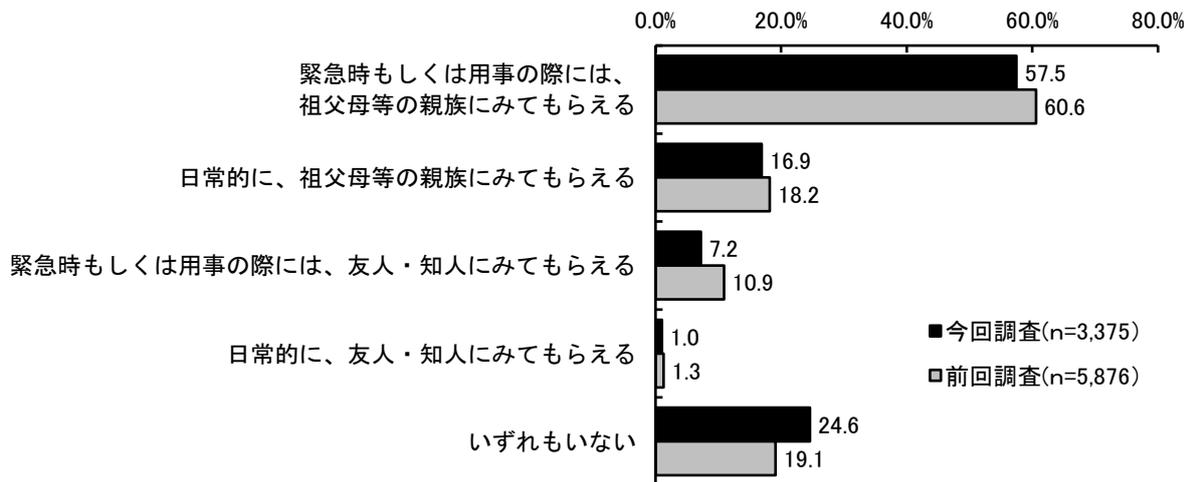
第4章 子育て環境について

1. 子どもをみてもらえる親族・知人

(1) 子どもをみてもらえる親族・知人

問17 日頃、または緊急時に、あて名のお子さんをみてもらえる親族・知人についてお答えください。(あてはまるものすべてに○)

図表69 子どもをみてもらえる親族・知人



子どもをみてもらえる親族・知人の状況については、「緊急時もしくは用事の際には、祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が57.5%で最も高く、次いで「いずれもない」が24.6%、「日常的に、祖父母等の親族にみてもらえる」が16.9%となっている。

前回調査と比較すると、「いずれもない」の割合は5.5ポイント増加している。

II 乳幼児の保護者調査結果

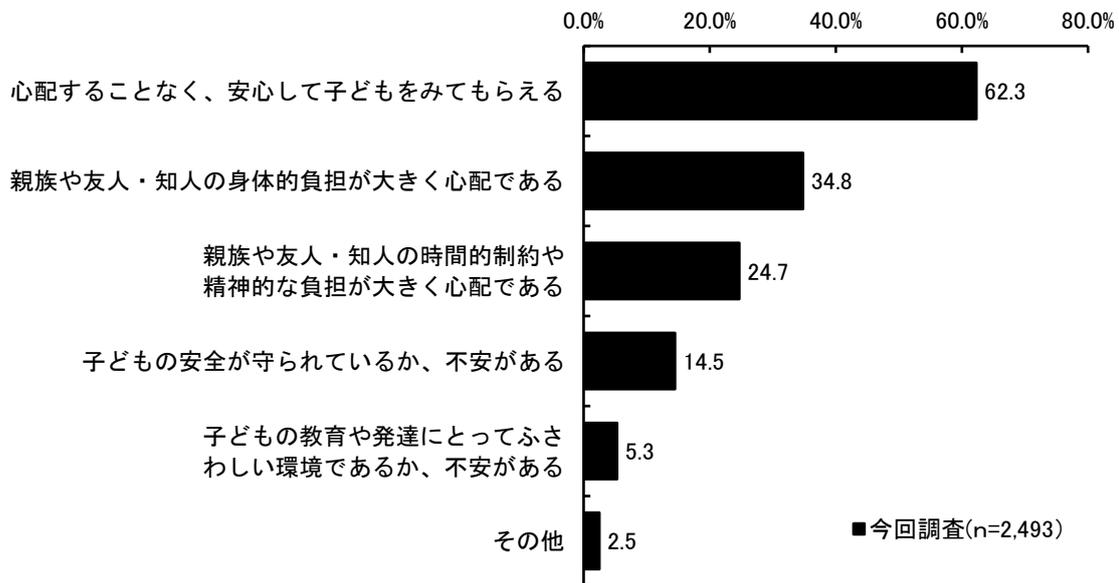
(2) 子どもをみてもらうときの気持ち

問17で「1」～「4」に○をつけた方にうかがいます。

問17-1 親族や友人・知人にお子さんをみてもらうときの気持ちについてお答えください。

(あてはまるものすべてに○)

図表70 子どもをみてもらうときの気持ち



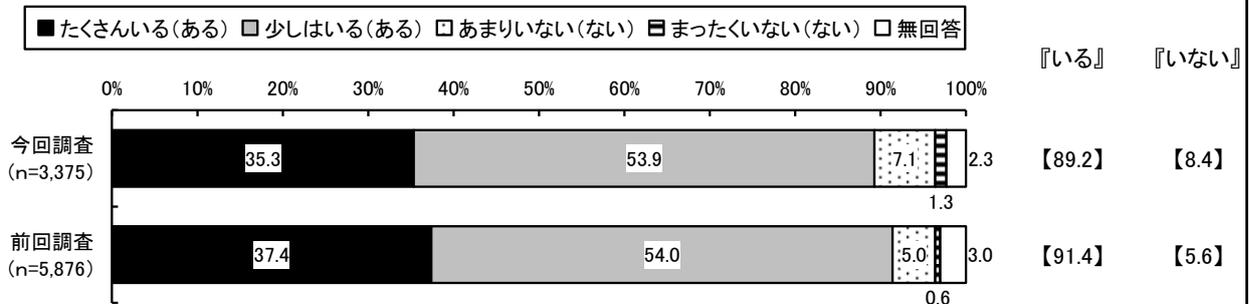
子どもをみてもらう時の気持ちについては、「心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」の割合が62.3%で最も高く、次いで「親族や友人・知人の身体的負担が大きく心配である」が34.8%、「親族や友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」が24.7%、「子どもの安全が守られているか、不安がある」が14.5%となっている。

2. 子育てについての相談相手

(1) 子育てについての相談相手の有無

問18 あて名のお子さんの子育てをする上で、気軽に相談できる人、また、相談できる場所についてお答えください。(○は1つ)

図表71 子育てについての相談相手の有無



子育てについての相談相手の有無については、『いる(ある)』(「たくさんいる(ある)」と「少しはある(ある)」を合わせた割合)は89.2%となっている。

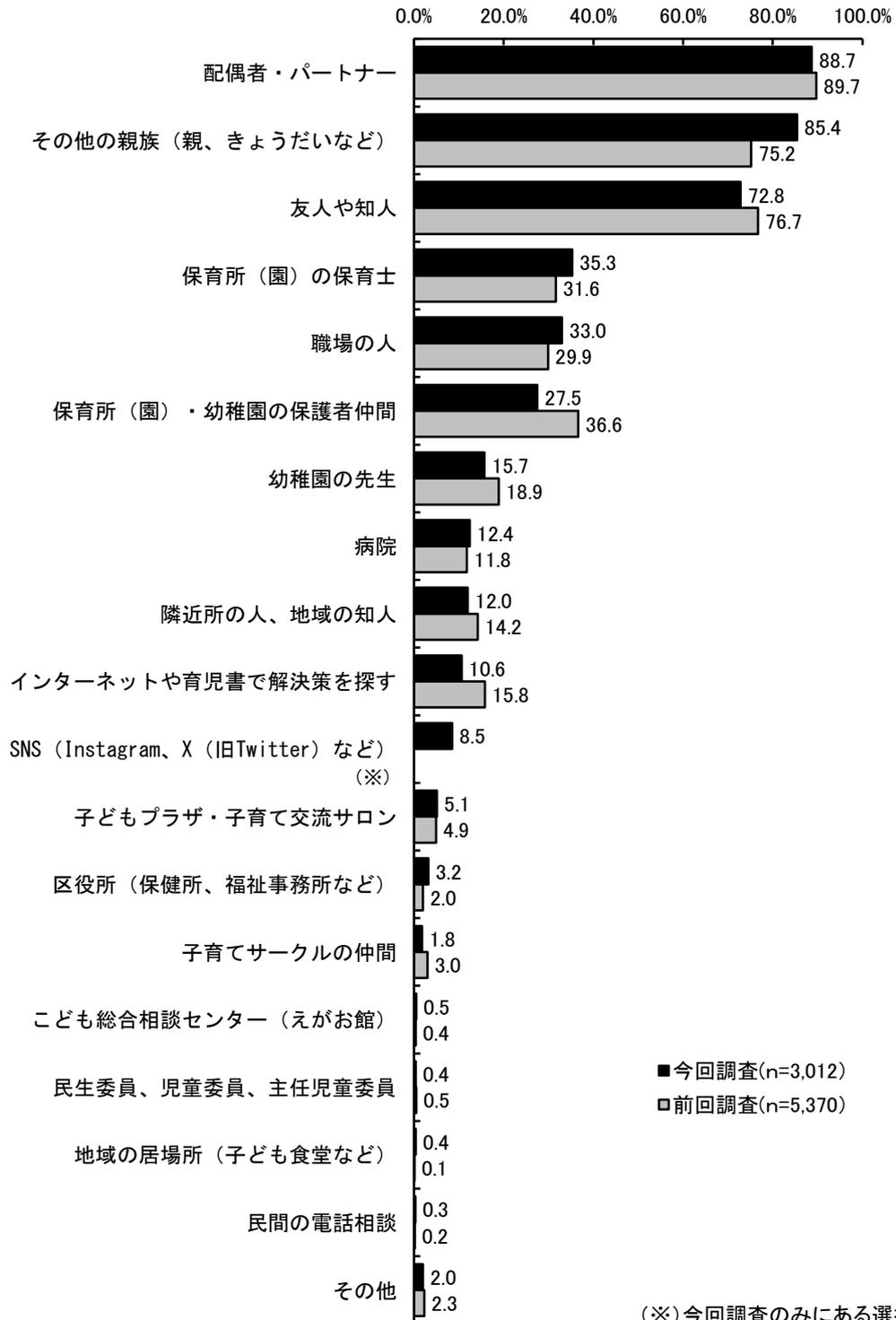
(2) 子育てについての相談相手

問18で「1」または「2」に○をつけた方にうかがいます。

問18-1 お子さんの子育てに関して、気軽に相談できる先についてお答えください。

(あてはまるものすべてに○)

図表72 子育てについての相談相手



(※)今回調査のみにある選択肢

Ⅱ 乳幼児の保護者調査結果

子育てについての相談相手としては、「配偶者・パートナー」の割合が88.7%で最も高く、次いで「その他の親族（親、きょうだいなど）」が85.4%、「友人や知人」が72.8%となっている。

選択肢に相違があるが前回調査と比較すると、「その他の親族（親、きょうだいなど）」の割合は10.2ポイント増加し、「保育所（園）・幼稚園の保護者仲間」の割合は9.1ポイント減少している。

子どもの年齢別にみると、0歳では「子どもプラザ・子育て交流サロン」、1～2歳では「保育所（園）の保育士」、3～5歳では「幼稚園の先生」の割合が他の年齢に比べて高くなっている。

母親の就労状況別にみると、フルタイム及びパート・アルバイト等で就労している場合は「職場の人」や「保育所（園）の保育士」、現在就労していない場合は「幼稚園の先生」の割合が高い。

図表73 子どもの年齢別、母親の就労状況別 子育てについての相談相手

(単位:%)

	標本数(人)	配偶者・パートナー	その他の親族(親、きょうだいなど)	友人や知人	隣近所の人、地域の知人	職場の人	保育所(園)・幼稚園の保護者仲間	子育てサークルの仲間	保育所(園)の保育士	幼稚園の先生	区役所(保健所、福祉事務所など)	
全体	3,012	88.7	85.4	72.8	12.0	33.0	27.5	1.8	35.3	15.7	3.2	
子どもの年齢別	0歳	529	93.0	87.0	75.6	9.8	25.3	16.4	3.4	27.0	5.3	5.7
	1～2歳	974	90.7	86.7	71.8	11.6	32.9	24.5	1.8	43.8	11.9	3.5
	3～5歳	1,457	86.0	84.1	72.4	13.1	36.0	33.4	1.2	33.2	22.1	2.1
	無回答	52	84.6	82.7	76.9	11.5	32.7	28.8	-	21.2	15.4	1.9
全体	3,007	88.8	85.4	72.9	12.0	33.1	27.5	1.8	35.3	15.8	3.2	
母親の就労状況別	フルタイムで就労	1,360	88.2	84.8	71.0	9.8	44.0	23.8	1.1	46.4	5.7	3.0
	パート・アルバイト等で就労	882	87.4	85.9	74.3	14.2	40.0	33.2	0.8	41.2	17.2	2.5
	以前は就労していたが、現在は就労していない	641	91.7	85.5	74.6	14.7	2.3	25.4	4.2	5.3	32.8	4.1
	これまで就労したことがない	28	89.3	89.3	64.3	-	3.6	35.7	3.6	-	39.3	7.1
	無回答	96	90.6	87.5	78.1	10.4	27.1	37.5	4.2	35.4	24.0	4.2

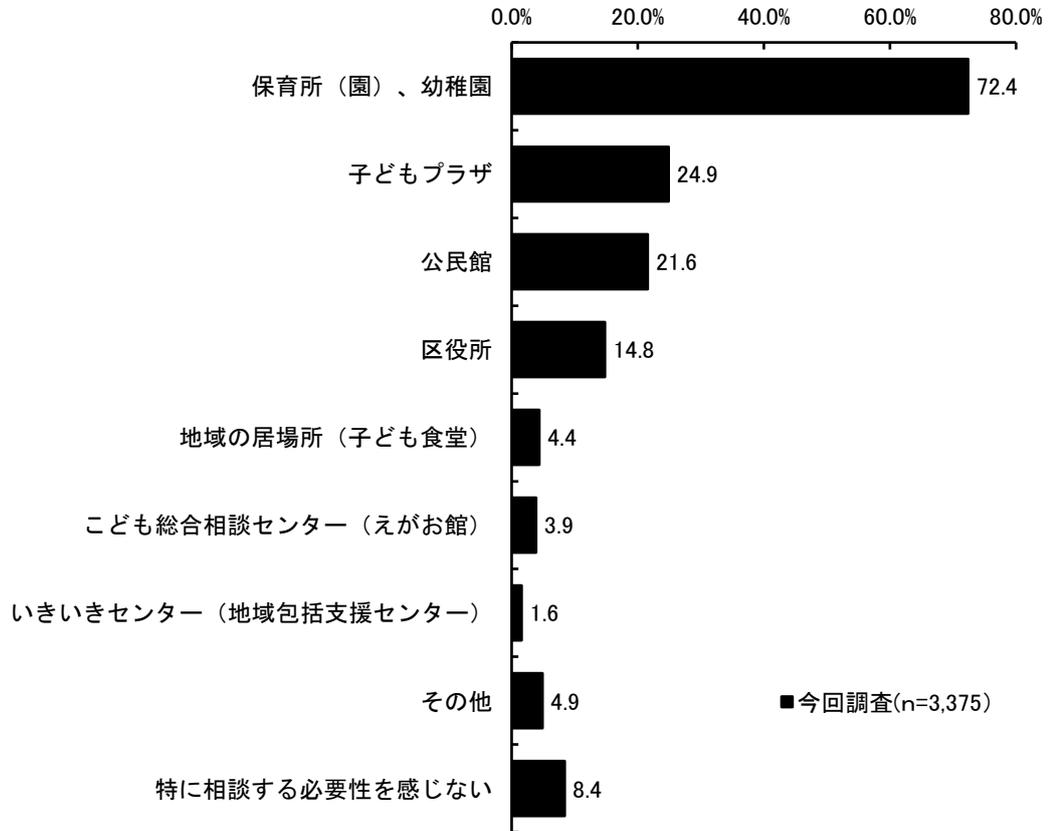
(単位:%)

	標本数(人)	子ども総合相談センター(えがお館)	子どもプラザ・子育て交流サロン	病院	民生委員、児童委員、主任児童委員	地域の居場所(子ども食堂など)	民間の電話相談	インターネットや育児書で解決策を探す	インターネットや育児書(eamNS(X旧Twitter)など)	その他	無回答	
全体	3,012	0.5	5.1	12.4	0.4	0.4	0.3	10.6	8.5	2.0	0.2	
子どもの年齢別	0歳	529	0.2	12.5	15.9	-	0.6	0.2	13.2	12.5	2.1	-
	1～2歳	974	0.5	5.9	14.3	0.5	0.2	0.6	12.0	10.5	1.3	-
	3～5歳	1,457	0.6	2.0	10.1	0.5	0.4	0.1	8.9	6.0	2.5	0.3
	無回答	52	1.9	1.9	7.7	-	1.9	-	7.7	1.9	-	1.9
全体	3,007	0.5	5.1	12.4	0.4	0.4	0.3	10.6	8.5	2.0	0.2	
母親の就労状況別	フルタイムで就労	1,360	0.5	5.1	13.4	0.4	0.4	0.1	11.3	8.6	1.8	0.3
	パート・アルバイト等で就労	882	0.6	2.2	12.0	0.5	0.5	0.3	9.0	8.4	1.5	0.1
	以前は就労していたが、現在は就労していない	641	0.3	9.5	11.4	0.3	0.3	0.6	12.5	9.8	2.8	-
	これまで就労したことがない	28	-	3.6	-	-	-	-	7.1	-	3.6	-
	無回答	96	2.1	3.1	13.5	1.0	1.0	1.0	6.3	3.1	4.2	-

3. 子育て相談で立ち寄りやすい身近な場所

問19 子育ての相談ができる身近な場所として、どこであれば立ち寄りやすいと思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

図表74 子育て相談で立ち寄りやすい身近な場所



子育て相談で立ち寄りやすい身近な場所としては、「保育所（園）、幼稚園」の割合が72.4%で最も高く、次いで「子どもプラザ」が24.9%、「公民館」が21.6%、「区役所」が14.8%となっている。

II 乳幼児の保護者調査結果

子どもの年齢別にみると、0歳では「子どもプラザ」の割合が他の年齢に比べて高くなっている。
 母親の就労状況別にみると、以前は就労していたが、現在は就労していない場合では「子どもプラザ」、「公民館」の割合が他の就労状況に比べて高くなっている。

図表75 子どもの年齢別、母親の就労状況別 子育て相談で立ち寄りやすい身近な場所

(単位:%)

		標本数(人)	保育所(園)、幼稚園	区役所	子ども総合相談センター(えがお館)	子どもプラザ	公民館	地域の居場所(子ども食堂)	いきいき支援センター(地域)	その他
全体		3,375	72.4	14.8	3.9	24.9	21.6	4.4	1.6	4.9
子どもの年齢別	0歳	603	59.0	20.2	4.1	40.3	27.2	4.1	1.5	5.6
	1~2歳	1,088	74.4	16.2	4.0	26.7	20.3	3.1	1.3	4.3
	3~5歳	1,618	76.6	12.0	4.0	18.2	20.5	5.5	1.9	4.9
	無回答	66	60.6	10.6	1.5	16.7	19.7	3.0	-	6.1
全体		3,368	72.4	14.8	3.9	24.9	21.6	4.5	1.6	4.9
母親の就労状況別	フルタイムで就労	1,510	76.8	15.4	3.2	23.2	18.5	4.2	1.7	5.0
	パート・アルバイト等で就労	968	75.1	14.9	4.5	21.0	20.8	5.2	1.5	4.4
	以前は就労していたが、現在は就労していない	738	61.7	13.7	4.3	35.0	29.8	3.7	1.6	5.8
	これまで就労したことがない	31	58.1	19.4	6.5	16.1	19.4	6.5	3.2	-
	無回答	121	66.9	13.2	5.8	19.0	17.4	5.8	-	3.3

(単位:%)

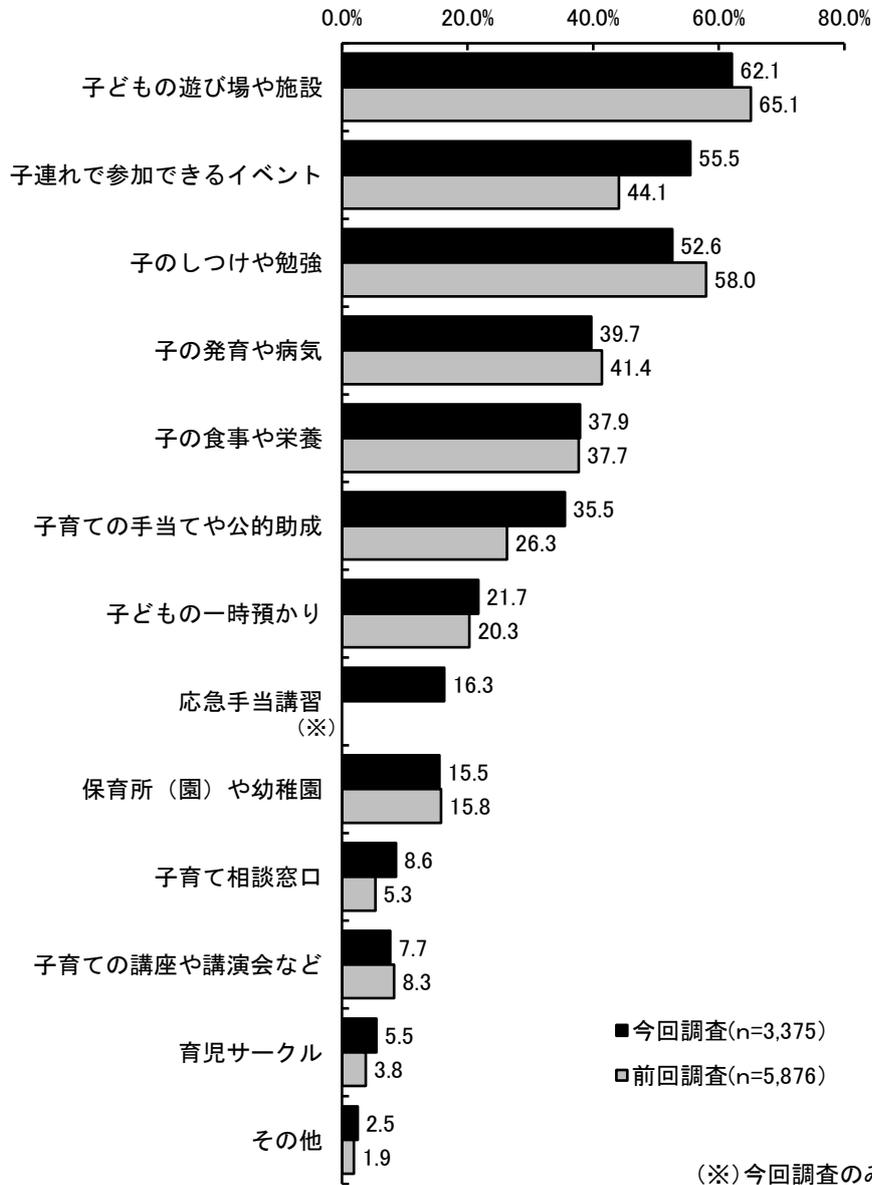
		標本数(人)	特に相談する必要性を感じない	無回答
全体		3,375	8.4	2.4
子どもの年齢別	0歳	603	7.6	2.5
	1~2歳	1,088	7.5	2.0
	3~5歳	1,618	9.1	2.3
	無回答	66	12.1	7.6
全体		3,368	8.4	2.3
母親の就労状況別	フルタイムで就労	1,510	7.0	2.5
	パート・アルバイト等で就労	968	9.3	1.5
	以前は就労していたが、現在は就労していない	738	9.8	2.4
	これまで就労したことがない	31	16.1	-
	無回答	121	9.1	7.4

4. 子育てに関する情報

(1) 子育てについて得たい情報

問20 いま子育てについてどんな情報を得たいと思っていますか。(あてはまるものすべてに○)

図表76 子育てについて得たい情報



(※) 今回調査のみにある選択肢

子育てについて得たい情報としては、「子どもの遊び場や施設」の割合が62.1%で最も高く、次いで「子連れで参加できるイベント」が55.5%、「子のしつけや勉強」が52.6%、「子の発育や病気」が39.7%、「子の食事や栄養」が37.9%、「子育ての手当てや公的助成」が35.5%、「子どもの一時預かり」が21.7%、「応急手当講習」が16.3%、「保育所(園)や幼稚園」が15.5%となっている。

選択肢に相違があるが前回調査と比較すると、「子連れで参加できるイベント」の割合は11.4ポイント増加し、「子育ての手当てや公的助成」の割合は9.2ポイント増加し、「子のしつけや勉強」の割合は5.4ポイント減少している。

II 乳幼児の保護者調査結果

子どもの年齢別にみると、0歳では「子の食事や栄養」、「保育所（園）や幼稚園」の割合が他の年齢に比べて高くなっている。

母親の就労状況別にみると、以前は就労していたが、現在は就労していない場合では「子どもの一時預かり」の割合が他の就労状況に比べて高くなっている。

世帯分類別にみると、ひとり親では「子育ての手当てや公的助成」の割合が他の世帯に比べて高くなっている。

図表77 子どもの年齢別、母親の就労状況別、世帯分類別 子育てについて得たい情報

(単位:%)

		標本数(人)	子の食事や栄養	子の発育や病気	子のしつけや勉強	保育所(園)や幼稚園	子どもの一時預かり	子どもの遊び場や施設	子ども連れで参加できるイベント	育児サークル
全体		3,375	37.9	39.7	52.6	15.5	21.7	62.1	55.5	5.5
子どもの年齢別	0歳	603	57.4	51.4	50.7	34.2	27.9	68.0	61.7	11.3
	1～2歳	1,088	40.0	39.7	51.8	17.6	23.3	63.8	58.1	6.3
	3～5歳	1,618	29.4	35.2	53.6	7.2	18.2	58.9	51.5	3.0
	無回答	66	34.8	40.9	54.5	15.2	21.2	60.6	54.5	4.5
全体		3,368	37.9	39.7	52.5	15.5	21.7	62.1	55.6	5.6
母親の就労状況別	フルタイムで就労	1,510	40.7	41.3	56.9	14.6	20.7	60.9	55.6	4.8
	パート・アルバイト等で就労	968	34.9	38.7	51.1	12.2	16.9	61.2	54.2	4.6
	以前は就労していたが、現在は就労していない	738	36.4	38.9	47.3	22.8	31.0	67.1	59.1	8.1
	これまで就労したことがない	31	45.2	41.9	41.9	19.4	19.4	61.3	45.2	12.9
	無回答	121	33.9	32.2	43.8	8.3	15.7	55.4	47.1	5.0
全体		3,375	37.9	39.7	52.6	15.5	21.7	62.1	55.5	5.5
世帯分類別	三世帯	75	42.7	42.7	58.7	9.3	10.7	62.7	61.3	8.0
	核家族	3,087	38.2	40.1	52.5	16.0	22.1	62.5	55.7	5.7
	ひとり親	116	36.2	33.6	57.8	9.5	19.8	56.0	51.7	0.9
	ひとり親三世帯	24	37.5	50.0	58.3	4.2	20.8	45.8	37.5	4.2
	その他	59	25.4	23.7	39.0	11.9	22.0	66.1	55.9	3.4
	無回答	14	21.4	21.4	35.7	14.3	7.1	35.7	28.6	7.1

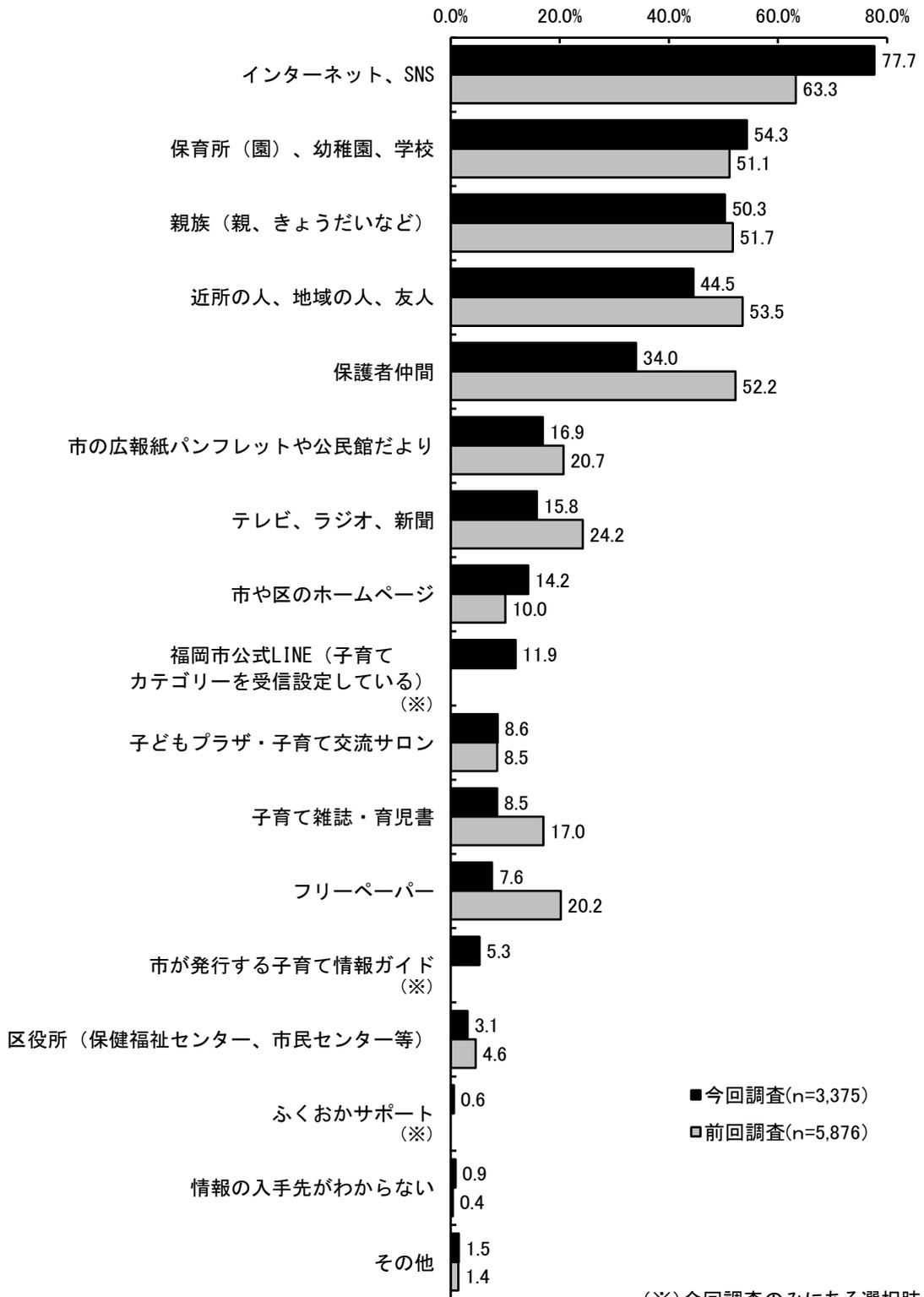
(単位:%)

		標本数(人)	子育ての講座や講演会など	子育て相談窓口	子育ての手当てや公的助成	応急手当講習	その他	無回答
全体		3,375	7.7	8.6	35.5	16.3	2.5	3.0
子どもの年齢別	0歳	603	10.9	11.6	39.5	22.4	1.2	1.8
	1～2歳	1,088	6.7	8.1	36.9	15.0	2.0	2.8
	3～5歳	1,618	7.3	7.9	33.1	14.7	3.3	3.3
	無回答	66	6.1	6.1	31.8	19.7	3.0	10.6
全体		3,368	7.7	8.6	35.5	16.3	2.5	3.0
母親の就労状況別	フルタイムで就労	1,510	7.6	7.9	35.2	16.5	2.6	2.7
	パート・アルバイト等で就労	968	7.3	9.2	38.8	16.2	2.6	3.3
	以前は就労していたが、現在は就労していない	738	8.8	9.6	33.1	16.1	1.8	1.9
	これまで就労したことがない	31	6.5	3.2	41.9	6.5	6.5	3.2
	無回答	121	6.6	6.6	24.8	18.2	5.0	9.9
全体		3,375	7.7	8.6	35.5	16.3	2.5	3.0
世帯分類別	三世帯	75	10.7	13.3	34.7	18.7	-	1.3
	核家族	3,087	8.0	8.4	34.9	16.5	2.7	2.6
	ひとり親	116	4.3	12.1	51.7	13.8	2.6	6.0
	ひとり親三世帯	24	-	20.8	50.0	12.5	-	8.3
	その他	59	1.7	1.7	32.2	10.2	-	8.5
	無回答	14	-	-	28.6	7.1	-	35.7

(2) 子育てに関する情報の入手先

問21 子育てに関する情報をどこから入手していますか。(あてはまるものすべてに○)

図表78 子育てに関する情報の入手先



(※)今回調査のみにある選択肢

II 乳幼児の保護者調査結果

子育てに関する情報の入手先については、「インターネット、SNS」の割合が77.7%で最も高く、次いで「保育所（園）、幼稚園、学校」が54.3%、「親族（親、きょうだいなど）」が50.3%、「近所の人、地域の人、友人」が44.5%、「保護者仲間」が34.0%、「市の広報紙パンフレットや公民館だより」が16.9%、「テレビ、ラジオ、新聞」が15.8%、「市や区のホームページ」が14.2%、「福岡市公式LINE（子育てカテゴリーを受信設定している）」が11.9%となっている。

選択肢に相違があるが前回調査と比較すると、「インターネット、SNS」の割合は14.4ポイント増加し、「保護者仲間」の割合は18.2ポイント減少している。

子どもの年齢別にみると、子どもの年齢が上がるにつれて「保育所（園）、幼稚園、学校」「保護者仲間」の割合が高くなっている。また、子どもの年齢が下がるにつれて「インターネット、SNS」の割合が高くなっている。

世帯分類別にみると、三世代では「親族（親、きょうだいなど）」「保育所（園）、幼稚園、学校」の割合が6割を超えている。

図表79 子どもの年齢別、世帯分類別 子育てに関する情報の入手先

(単位:%)

	標本数(人)	親族(親、きょうだいなど)	近所の人、地域の人、友人	保育所(園)、幼稚園、学校	保護者仲間	インターネット、SNS	市や区のホームページ	福岡市公式LINE(子育てカテゴリーを受信設定している)	福岡市公式LINE(子育てカテゴリーを受信設定している)	ふくおかサポート	テレビ、ラジオ、新聞
全体	3,375	50.3	44.5	54.3	34.0	77.7	14.2	11.9	0.6	15.8	
子どもの年齢別	0歳	603	53.9	41.8	38.8	23.1	84.4	18.4	14.4	0.7	16.9
	1~2歳	1,088	51.7	42.5	53.4	29.1	80.0	13.1	11.9	0.7	14.6
	3~5歳	1,618	48.5	46.9	60.8	41.2	74.0	13.4	11.0	0.4	16.3
	無回答	66	40.9	43.9	53.0	39.4	72.7	13.6	9.1	-	12.1
全体	3,375	50.3	44.5	54.3	34.0	77.7	14.2	11.9	0.6	15.8	
世帯分類別	三世代	75	62.7	50.7	61.3	44.0	78.7	13.3	14.7	-	21.3
	核家族	3,087	50.1	44.9	54.5	34.3	78.5	14.6	12.2	0.6	15.6
	ひとり親	116	47.4	36.2	48.3	21.6	68.1	8.6	5.2	0.9	16.4
	ひとり親三世代	24	62.5	41.7	66.7	12.5	70.8	12.5	8.3	-	12.5
	その他	59	54.2	37.3	50.8	37.3	67.8	6.8	5.1	-	18.6
無回答	14	21.4	28.6	28.6	35.7	50.0	7.1	-	-	-	

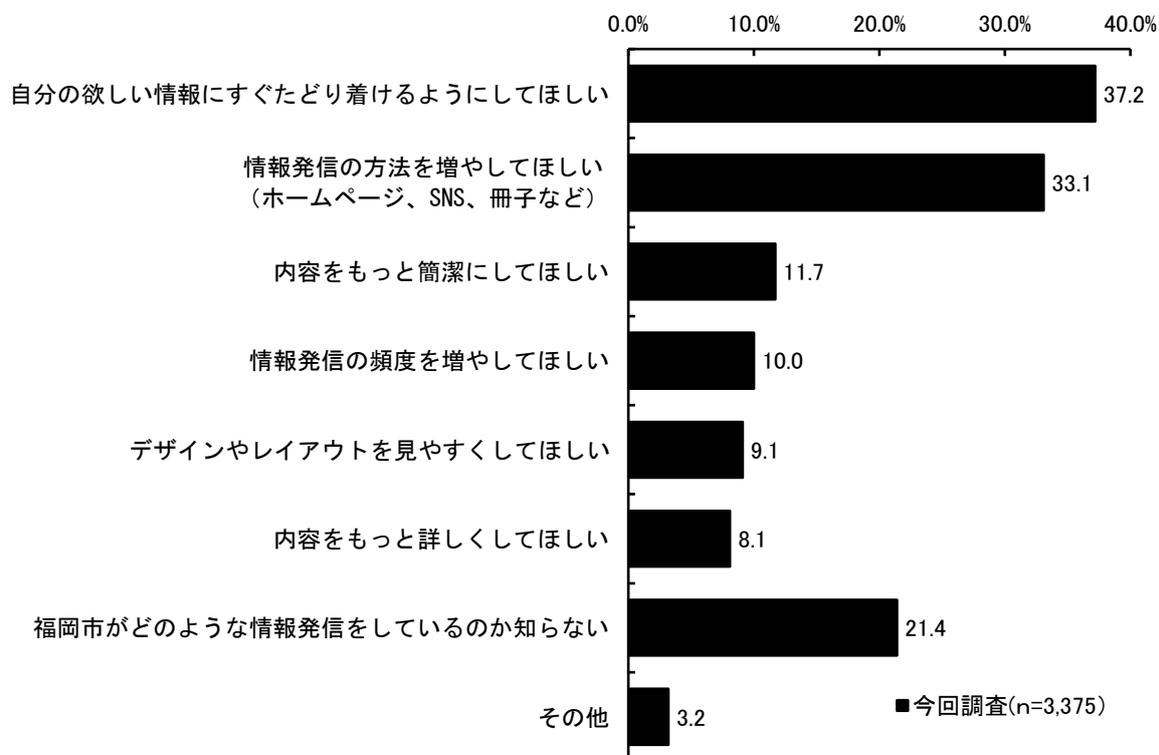
(単位:%)

	標本数(人)	区役所(保健福祉センター等)	子どもプラザ・子育て交流サロン	市の広報紙パンフレット	市が発行する子育て情報ガイド	子育て雑誌・育児書	フリーペーパー	情報の入手先がわからない	その他	無回答
全体	3,375	3.1	8.6	16.9	5.3	8.5	7.6	0.9	1.5	0.7
子どもの年齢別	0歳	603	-	2.7	13.3	8.0	10.7	8.0	1.3	2.7
	1~2歳	1,088	3.1	9.1	17.2	5.3	8.7	7.8	0.8	1.5
	3~5歳	1,618	6.0	4.3	8.6	5.2	4.3	3.4	2.6	0.9
	無回答	66	-	4.2	20.8	-	4.2	8.3	-	-
全体	3,375	3.1	8.6	16.9	5.3	8.5	7.6	0.9	1.5	0.7
世帯分類別	三世代	75	-	2.7	13.3	8.0	10.7	8.0	1.3	2.7
	核家族	3,087	3.1	9.1	17.2	5.3	8.7	7.8	0.8	1.5
	ひとり親	116	6.0	4.3	8.6	5.2	4.3	3.4	2.6	0.9
	ひとり親三世代	24	-	4.2	20.8	-	4.2	8.3	-	-
	その他	59	-	1.7	16.9	6.8	6.8	3.4	1.7	1.7
無回答	14	7.1	-	14.3	-	7.1	14.3	-	-	28.6

(3) 子育て施策に関する福岡市の情報発信で改善してほしい点

問22 子育て施策に関する福岡市の情報発信について、改善してほしいと思う点がありますか。
(〇は3つまで)

図表80 子育て施策に関する福岡市の情報発信で改善してほしい点



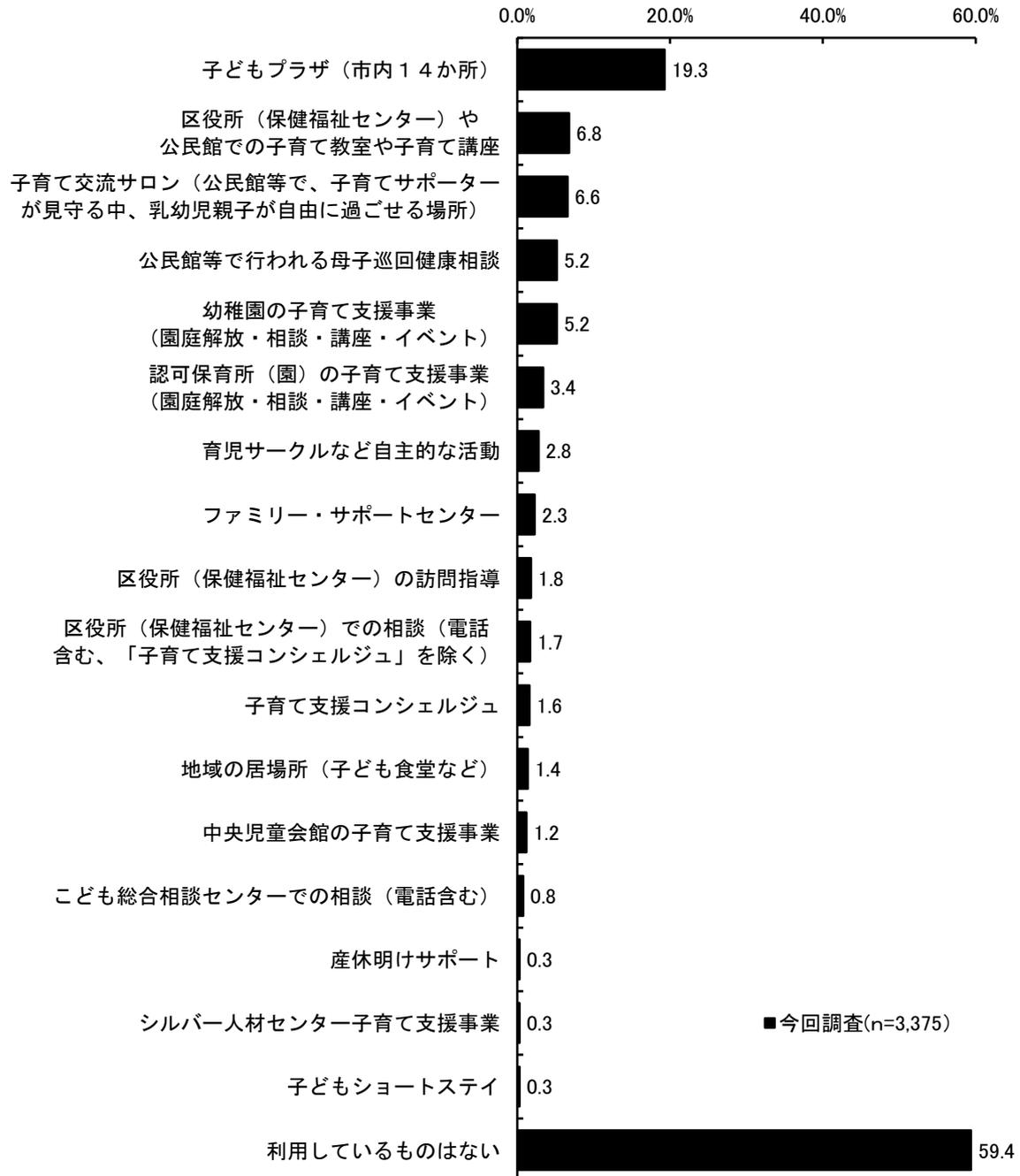
子育て施策に関する福岡市の情報発信で改善してほしい点については、「自分の欲しい情報にすぐたどり着けるようにしてほしい」の割合が37.2%で最も高く、次いで「情報発信の方法を増やしてほしい(ホームページ、SNS、冊子など)」が33.1%、「内容をもっと簡潔にほしい」が11.7%、「情報発信の頻度を増やしてほしい」が10.0%となっている。

第5章 地域の子育て支援について

1. 福岡市のサービスや市が支援しているサービスで現在利用しているもの

問23 福岡市のサービスや市が支援している活動で、現在利用しているものはありますか。
 (あてはまるものすべてに○)
 ※サービスや事業によっては、お住まいの地域で実施されていないものもあります。

図表81 福岡市のサービスや市が支援しているサービスで現在利用しているもの



福岡市のサービスや市が支援しているサービスで現在利用しているものについては、「利用しているものはない」の割合が59.4%で最も高くなっている。利用されているものの中では「子どもプラザ（市内14か所）」が19.3%で最も高くなっている。

子どもの年齢別にみると、0歳では「区役所（保健福祉センター）や公民館での子育て教室や子育て講座」、「公民館等で行われる母子巡回健康相談」、「子どもプラザ（市内14か所）」、「子育て交流サロン（公民館等で、子育てサポーターが見守る中、親子が自由に過ごせる場所）」の割合が他の年齢に比べて高くなっている。また、年齢が上がるにつれて「利用しているものはない」の割合が高くなっている。

図表82 子どもの年齢別
福岡市のサービスや市が支援しているサービスで現在利用しているもの

		(単位:%)										
		標本数(人)	区役所(保健福祉センター)や公民館の子育て講座	公民館等で行われる母子巡回健康相談	区役所(保健福祉センター)の訪問指導	区役所(保健福祉センター)での相談(電話含む)「子育て支援コンシェルジュ」を除く	産休明けサポート	子育て支援コンシェルジュ	子ども総合相談センターでの相談(電話含む)	認可保育所(園)の子育て支援事業(園庭解放・相談・講座・イベント)	幼稚園の子育て支援事業(園庭解放・相談・講座)	ファミリー・サポートセンター
全体		3,375	6.9	3.7	1.4	1.5	4.4	6.2	3.1	10.8	10.4	13.1
子どもの年齢別	0歳	603	9.1	7.8	2.3	1.7	6.8	9.3	4.1	21.4	17.4	13.6
	1~2歳	1,088	7.4	4.0	1.5	1.8	6.2	7.4	2.6	12.1	10.4	14.6
	3~5歳	1,618	5.9	2.2	0.9	1.4	2.5	4.4	3.2	6.0	8.0	12.2
	無回答	66	1.5	1.5	1.5	-	-	3.0	1.5	9.1	3.0	6.1

		(単位:%)									
		標本数(人)	シルバー人材センター子育て支援事業	中央児童会館の子育て支援事業	子どもプラザ(市内14か所)	子育て交流サロン	育児サークルなど自主的な活動	地域の居場所(子ども食堂など)	子どもショートステイ	利用したものはない	無回答
全体		3,375	3.6	3.7	11.3	7.6	3.7	10.0	7.1	36.1	9.1
子どもの年齢別	0歳	603	4.1	6.0	14.9	14.3	6.0	6.6	8.5	24.9	7.0
	1~2歳	1,088	3.6	3.6	15.1	8.8	4.1	8.8	6.3	31.8	8.6
	3~5歳	1,618	3.3	3.1	7.5	4.3	2.5	12.0	7.0	42.9	9.9
	無回答	66	4.5	1.5	7.6	6.1	4.5	12.1	7.6	43.9	16.7

II 乳幼児の保護者調査結果

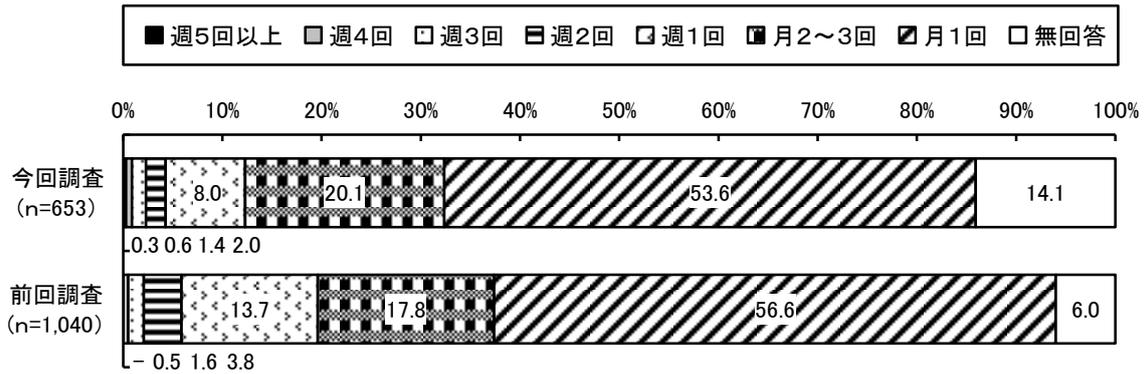
2. 子どもプラザ、子育て交流サロン、育児サークルの利用について

(1) 子どもプラザ、子育て交流サロン、育児サークルの利用頻度

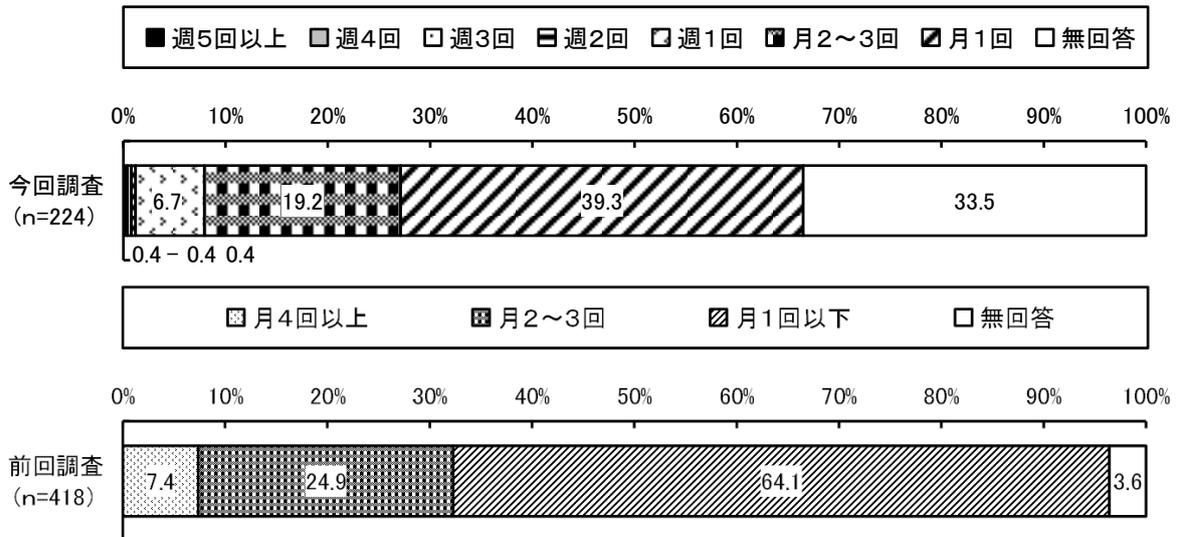
問23で「13 (子どもプラザ)」～「15 (育児サークル)」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。

問23-1 あて名のお子さんと、どの程度利用していますか。(枠内におおよその利用回数を記入) また、今後利用を増やしたいと思いますか。

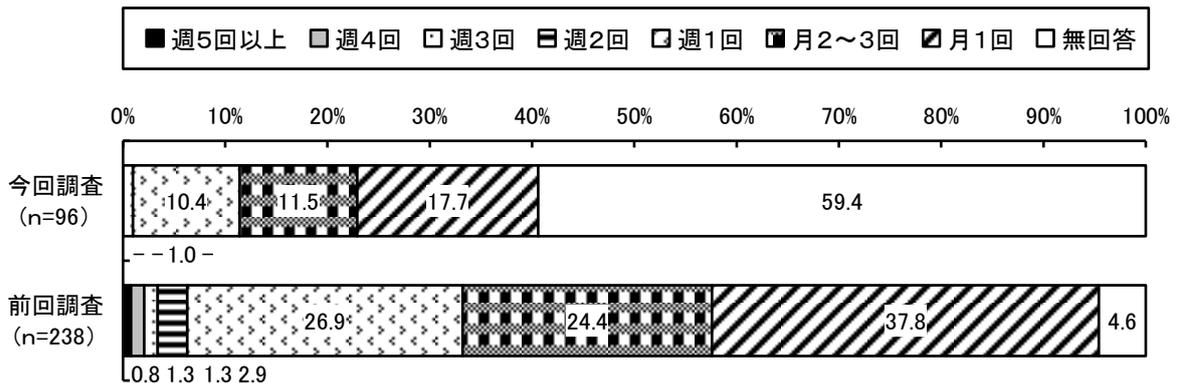
図表83 子どもプラザの利用頻度



図表84 子育て交流サロンの利用頻度



図表85 育児サークルの利用頻度



子育てプラザの利用頻度としては、「月1回」の割合が53.6%で最も高く、次いで「月2～3回」が20.1%となっている。

前回調査と比較すると、「週1回」の割合は5.7ポイント減少している。

子育て交流サロンの利用頻度としては、「月1回」の割合が39.3%で最も高く、次いで「月2～3回」が19.2%となっている。

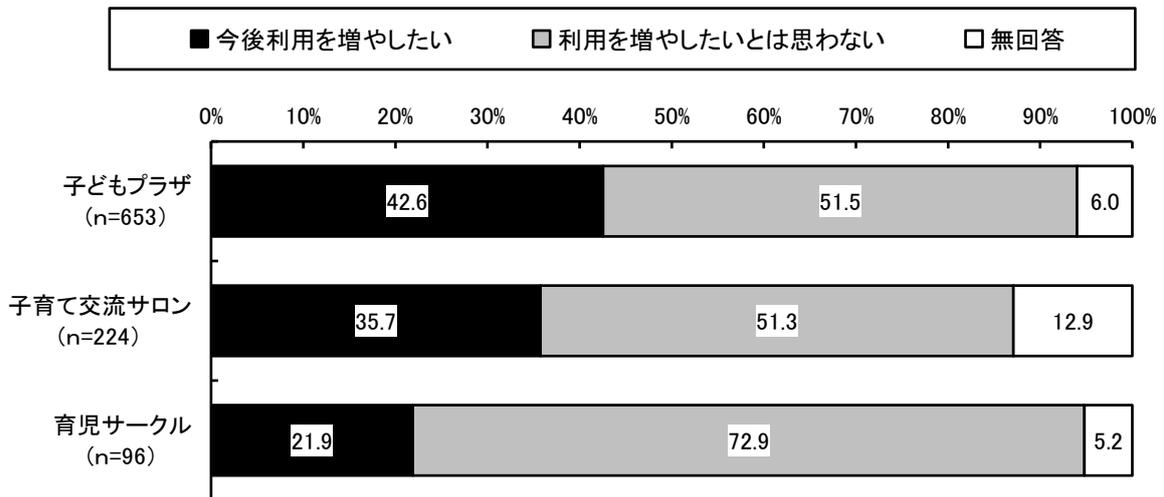
育児サークルの利用頻度としては、「月1回」の割合が17.7%で最も高く、次いで「月2～3回」が11.5%、「週1回」が10.4%となっている。

(2) 子どもプラザ、子育て交流サロン、育児サークルの今後の利用意向

問23で「13 (子どもプラザ)」～「15 (育児サークル)」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。

問23-1 あて名のお子さんと、どの程度利用していますか。(枠内におおよその利用回数を記入) また、今後利用を増やしたいと思いませんか。

図表86 子どもプラザ、子育て交流サロン、育児サークルの今後の利用意向



子どもプラザの利用を増やしたいかどうかについては、「今後利用を増やしたい」の割合は42.6%となっている。

子育て交流サロンの利用を増やしたいかどうかについては、「今後利用を増やしたい」の割合は35.7%となっている。

育児サークルの利用を増やしたいかどうかについては、「今後利用を増やしたい」の割合は21.9%となっている。

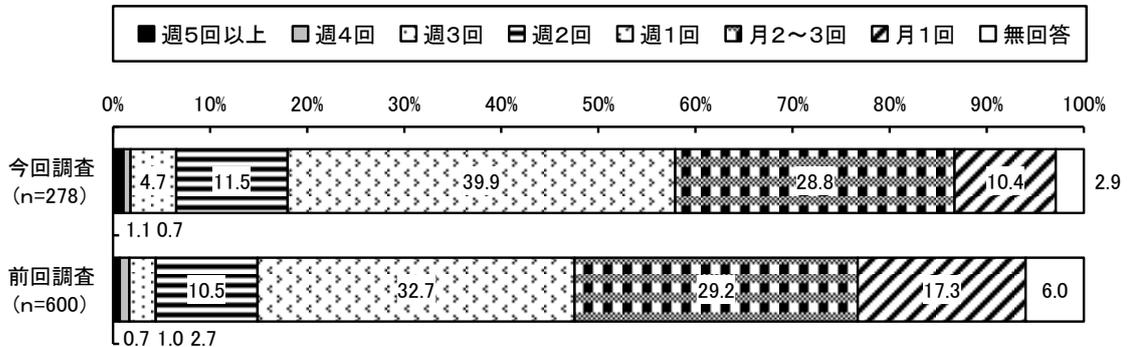
II 乳幼児の保護者調査結果

(3) 子どもプラザ、子育て交流サロン、育児サークルの希望する利用頻度

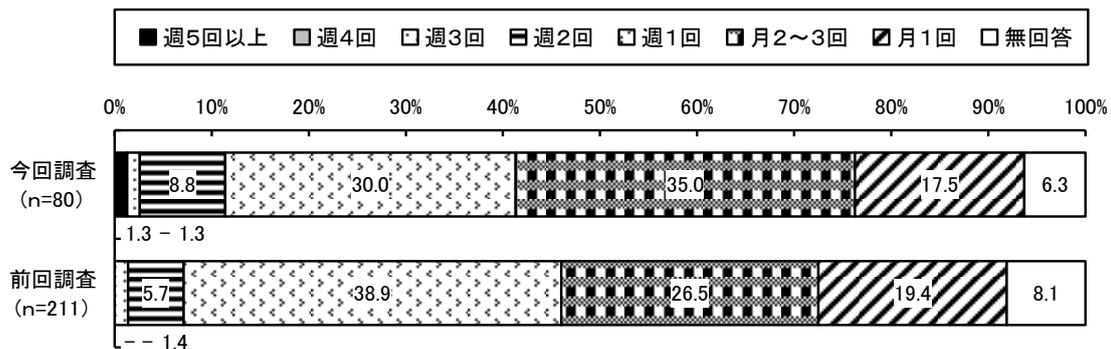
問23で「13 (子どもプラザ)」～「15 (育児サークル)」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。

問23-1 あて名のお子さんと、どの程度利用していますか。(枠内におおよその利用回数を記入) また、今後利用を増やしたいと思いませんか。

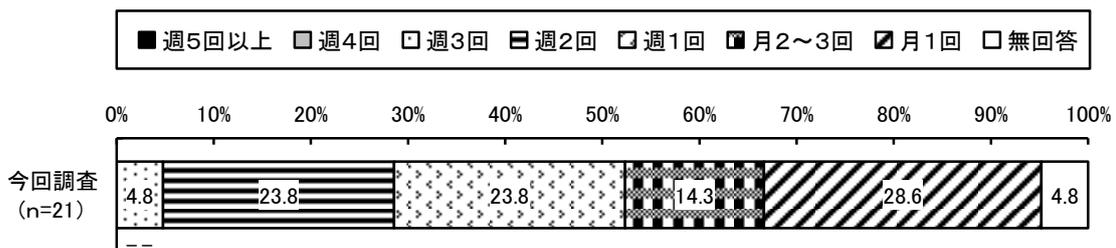
図表87 希望利用頻度 (子どもプラザ)



図表88 希望利用頻度 (子育て交流サロン)



図表89 希望利用頻度 (育児サークル)



※育児サークルは今回調査のみにある項目

子どもプラザの希望利用頻度については、「週1回」の割合が39.9%で最も高く、次いで「月2～3回」が28.8%、「週2回」が11.5%、「月1回」が10.4%となっている。

前回調査と比較すると、「週1回」の割合は7.2ポイント増加し、「月1回」の割合は6.9ポイント減少している。

子育て交流サロンの希望利用頻度については、「月2～3回」の割合が35.0%で最も高く、次いで「週1回」が30.0%、「月1回」が17.5%となっている。

前回調査と比較すると、「月2～3回」の割合は8.5ポイント増加し、「週1回」の割合は8.9ポイント減少している。

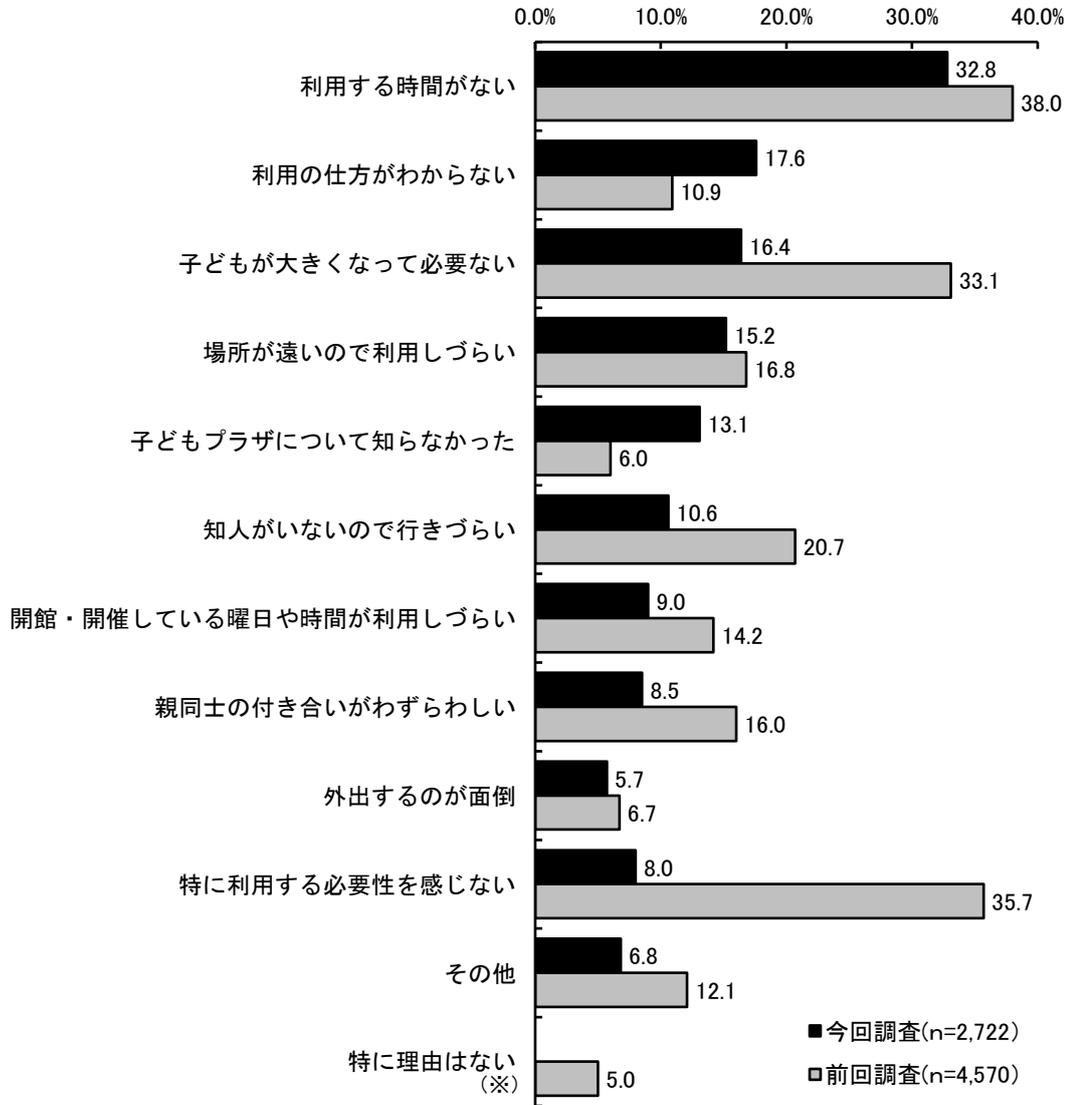
育児サークルの希望利用頻度については、「月1回」の割合が28.6%で最も高く、「週2回」が23.8%、「週1回」が23.8%、「月2～3回」が14.3%、「週3回」が4.8%となっている。

(4) 子どもプラザや子育て交流サロンを利用していない理由

問23で「13 (子どもプラザ)」または「14 (子育て交流サロン)」に○をつけなかった方 (利用していない方に) にかかっています。

問23-2 現在、利用していない理由についてお答えください。(あてはまるものすべてに○)
 ※利用している場合は、回答不要です。

図表90 子どもプラザを利用していない理由



(※) 前回調査のみにある選択肢

子どもプラザを利用していない理由としては、「利用する時間がない」の割合が32.8%で最も高く、次いで「利用の仕方がわからない」が17.6%、「子どもが大きくなって必要ない」が16.4%、「場所が遠いので利用しづらい」が15.2%、「子どもプラザについて知らなかった」が13.1%、「知人がいないので行きづらい」が10.6%となっている。

選択肢に相違があるが前回調査と比較すると、「子どもプラザについて知らなかった」の割合は7.1ポイント増加し、「利用の仕方がわからない」の割合は6.7ポイント増加し、「子どもが大きくなって必要ない」の割合は16.7ポイント減少し、「特に利用する必要性を感じない」の割合は27.7ポイント減少している。

II 乳幼児の保護者調査結果

子どもの年齢別にみると、0歳では「利用の仕方がわからない」の割合は2割となっている。また、3～5歳では「子どもが大きくなって必要ない」の割合が他の年齢に比べて高くなっている。さらに、年齢が下がるにつれて「場所が遠いので利用しづらい」「知人がいないので行きづらい」「子どもプラザについて知らなかった」の割合が高くなっている。

母親の就労状況別にみると、フルタイム及びパート・アルバイト等で就労している場合では「利用する時間がない」の割合が最も高くなっている。

図表91 子どもの年齢別、母親の就労状況別 子どもプラザを利用していない理由

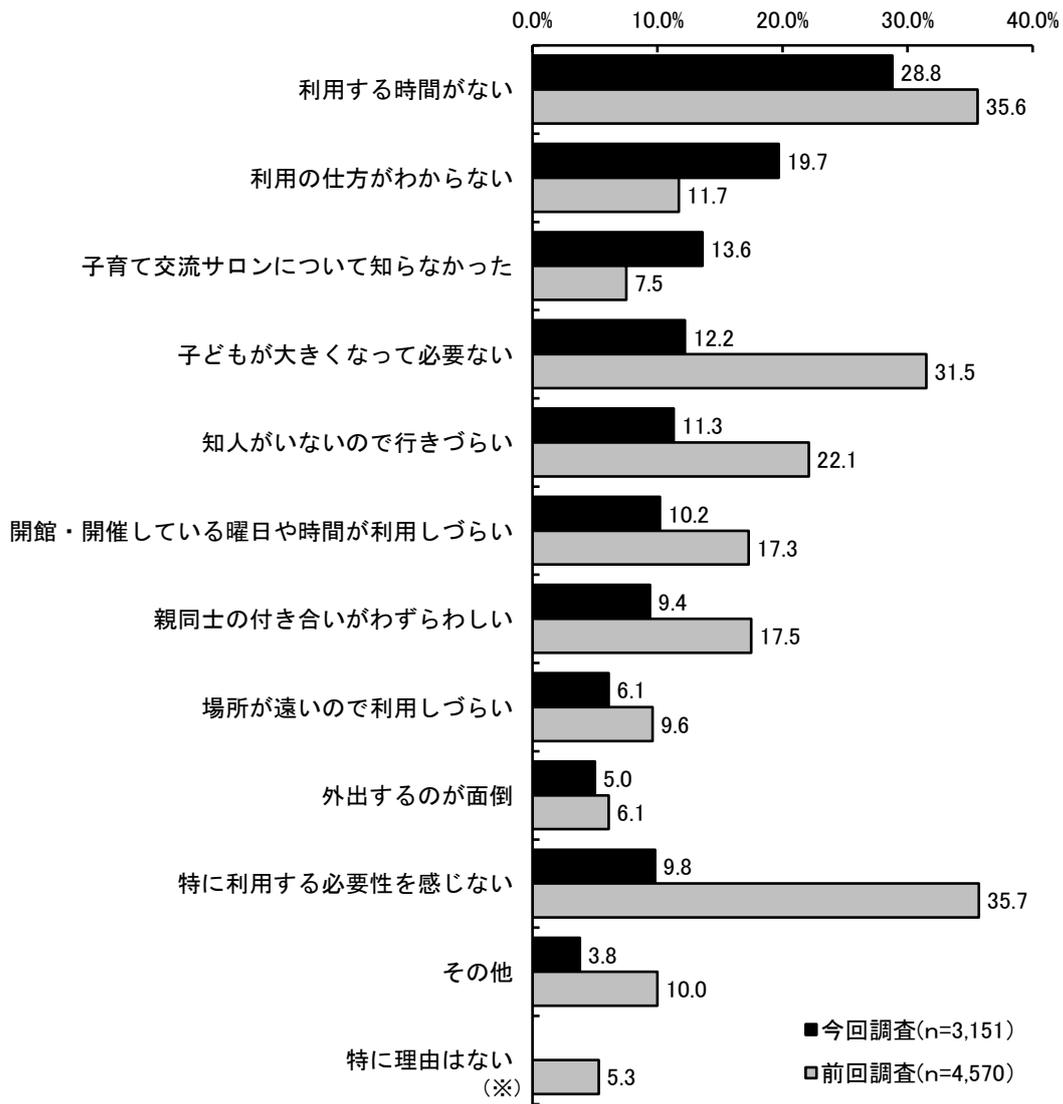
(単位: %)

		標本数(人)	利用する時間がない	利用の仕方がわからない	や開館時間・開催している曜日が利用しづらい	場所が遠いので利用しづらい	知人がいないので行きづらい	親同士の付き合いがわず	外出するのが面倒	子どもプラザについて知らない
全体		2,722	32.8	17.6	9.0	15.2	10.6	8.5	5.7	13.1
子どもの年齢別	0歳	359	28.1	21.7	10.9	19.2	15.9	8.9	12.3	16.4
	1～2歳	841	34.4	17.5	10.5	15.3	11.3	8.2	4.8	12.7
	3～5歳	1,466	33.3	16.9	7.9	14.1	9.0	8.6	4.6	12.6
	無回答	56	25.0	12.5	3.6	17.9	8.9	7.1	8.9	10.7
全体		2,715	32.8	17.6	9.0	15.2	10.6	8.4	5.7	13.1
母親の就労状況別	フルタイムで就労	1,218	39.1	19.9	11.4	14.1	9.8	8.3	5.0	14.9
	パート・アルバイト等で就労	840	36.4	16.9	7.9	13.8	10.0	8.3	6.0	12.1
	以前は就労していたが、現在は就労していない	528	15.9	13.8	5.3	20.3	14.0	8.7	6.1	12.1
	これまで就労したことがない	26	19.2	23.1	11.5	15.4	7.7	11.5	11.5	3.8
	無回答	103	18.4	14.6	8.7	14.6	7.8	8.7	8.7	7.8

(単位: %)

		標本数(人)	子どもが大きくなって必要ない	特に利用する必要性を感じない	その他	無回答
全体		2,722	16.4	8.0	6.8	19.0
子どもの年齢別	0歳	359	0.3	7.2	8.6	20.6
	1～2歳	841	8.8	8.7	8.6	17.8
	3～5歳	1,466	24.6	7.8	5.5	19.0
	無回答	56	19.6	7.1	3.6	28.6
全体		2,715	16.4	8.0	6.8	18.9
母親の就労状況別	フルタイムで就労	1,218	12.9	7.2	7.2	15.7
	パート・アルバイト等で就労	840	20.1	8.1	6.3	19.2
	以前は就労していたが、現在は就労していない	528	18.9	9.5	7.4	22.9
	これまで就労したことがない	26	7.7	19.2	11.5	19.2
	無回答	103	17.5	6.8	1.9	35.0

図表92 子育て交流サロンを利用していない理由



(※) 前回調査のみにある選択肢

子育て交流サロンを利用していない理由としては、「利用する時間がない」の割合が28.8%で最も高く、次いで「利用の仕方がわからない」が19.7%、「子育て交流サロンについて知らなかった」が13.6%、「子どもが大きくなって必要ない」が12.2%、「知人がいないので行きづらい」が11.3%、「開館・開催している曜日や時間が利用しづらい」が10.2%となっている。

選択肢に相違があるが前回調査と比較すると、「利用の仕方がわからない」の割合は8.0ポイント増加し、「子育て交流サロンについて知らなかった」の割合は6.1ポイント増加し、「特に利用する必要性を感じない」の割合は25.9ポイント減少している。

II 乳幼児の保護者調査結果

子どもの年齢別にみると、年齢が下がるにつれて「利用の仕方がわからない」「開館・開催している曜日や時間が利用しづらい」「知人がいないので行きづらい」「外出するのが面倒」「子育て交流サロンについて知らなかった」の割合が高くなっている。また、年齢が上がるにつれて「利用する時間がない」「子どもが大きくなって必要ない」「特に利用する必要性を感じない」の割合が高くなっている。

母親の就労状況別にみると、フルタイム及びパート・アルバイト等で就労している場合には「利用する時間がない」の割合が最も高く、以前は就労していたが、現在は就労していない場合には「利用の仕方がわからない」の割合が最も高くなっている。

図表93 子どもの年齢別、母親の就労状況別 子育て交流サロンを利用していない理由

(単位:%)

		標本数 (人)	利用する時間がない	利用の仕方がわからない	や開館・開催している曜日	場所が遠いので利用しづらい	知人がいないので行きづらい	親同士の付き合いがわず	外出するのが面倒	子育て交流サロンについて
全体		3,151	28.8	19.7	10.2	6.1	11.3	9.4	5.0	13.6
子どもの年齢別	0歳	504	20.6	23.4	12.9	6.7	13.7	9.9	10.1	14.7
	1～2歳	1,010	30.3	20.5	11.7	5.5	12.7	8.6	3.9	13.8
	3～5歳	1,575	30.5	18.3	8.6	6.3	9.9	9.8	3.9	13.0
	無回答	62	25.8	14.5	1.6	6.5	6.5	6.5	8.1	14.5
全体		3,144	28.8	19.7	10.1	6.1	11.4	9.4	5.0	13.5
母親の就労状況別	フルタイムで就労	1,423	34.1	21.6	11.8	5.7	10.7	9.0	4.4	15.5
	パート・アルバイト等で就労	937	33.0	18.9	9.4	5.9	10.6	8.9	4.6	12.3
	以前は就労していたが、現在は就労していない	640	13.6	17.2	8.0	7.3	14.8	10.8	6.4	12.7
	これまで就労したことがない	30	13.3	23.3	10.0	6.7	3.3	13.3	6.7	-
	無回答	114	16.7	16.7	7.9	7.0	8.8	8.8	6.1	8.8

(単位:%)

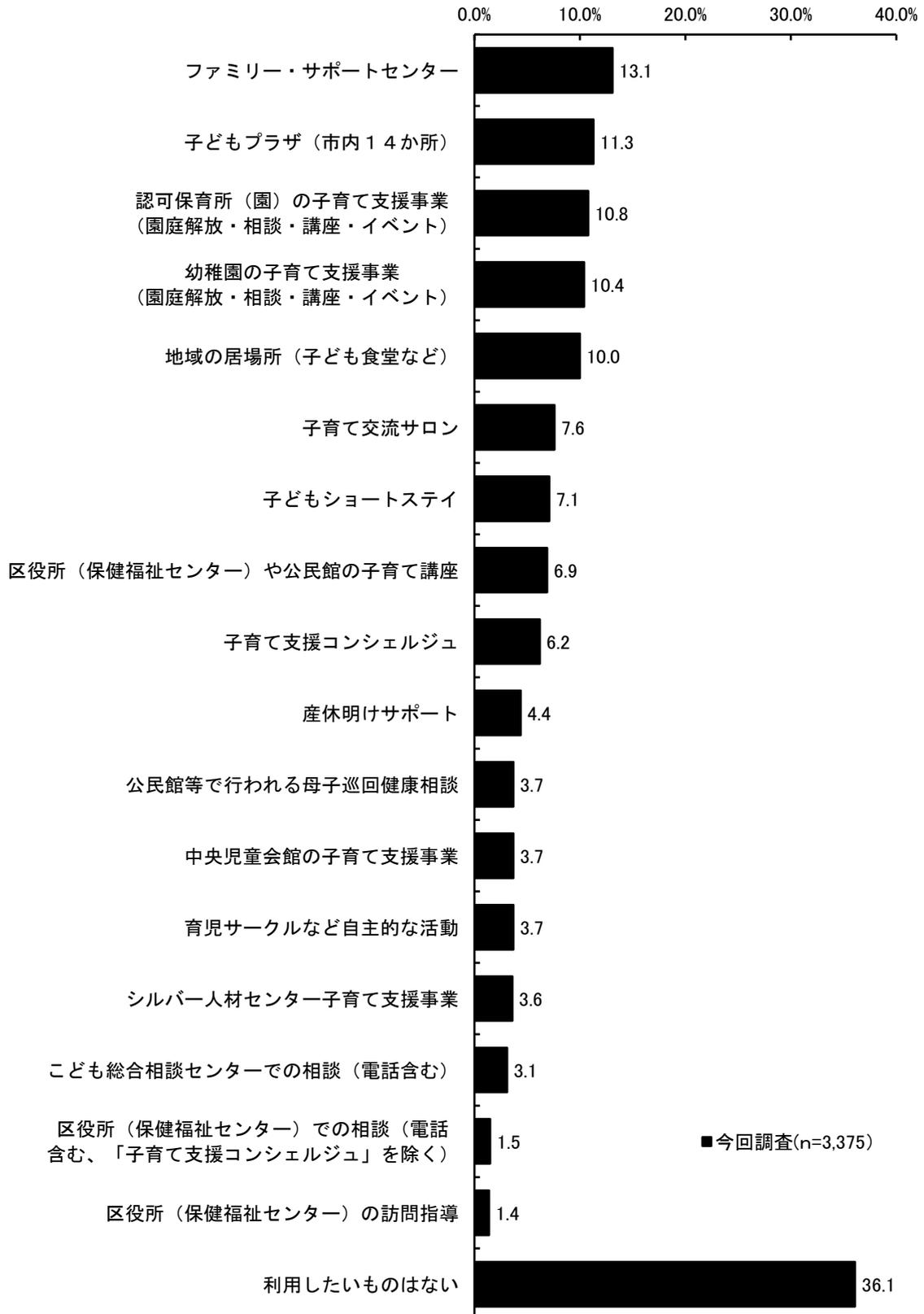
		標本数 (人)	子どもが大きくなって必要ない	特に利用する必要性を感じない	その他	無回答
全体		3,151	12.2	9.8	3.8	25.3
子どもの年齢別	0歳	504	0.2	6.9	4.2	33.3
	1～2歳	1,010	5.0	9.9	4.7	25.2
	3～5歳	1,575	20.4	10.7	3.2	22.5
	無回答	62	16.1	9.7	3.2	30.6
全体		3,144	12.2	9.9	3.8	25.2
母親の就労状況別	フルタイムで就労	1,423	9.1	9.8	3.7	21.9
	パート・アルバイト等で就労	937	15.4	10.4	4.3	24.3
	以前は就労していたが、現在は就労していない	640	14.7	9.8	3.9	30.6
	これまで就労したことがない	30	6.7	13.3	6.7	33.3
	無回答	114	12.3	6.1	0.9	41.2

3. 福岡市のサービスや市が支援しているサービスで今後利用したいもの

すべての方にかがいます。

問24 福岡市のサービスや市が支援している活動で、利用していないサービスのうち、今後利用したいサービスはありますか。(あてはまるものすべてに○)

図表94 福岡市のサービスや市が支援しているサービスで今後利用したいもの



II 乳幼児の保護者調査結果

福岡市のサービスや市が支援しているサービスで今後利用したいものとしては、「利用したいものはない」の割合が36.1%で最も高くなっている。利用したいものの中では「ファミリー・サポートセンター」が13.1%、「子どもプラザ（市内14か所）」が11.3%、「認可保育所（園）の子育て支援事業（園庭解放・相談・講座・イベント）」が10.8%、「幼稚園の子育て支援事業（園庭解放・相談・講座・イベント）」が10.4%、「地域の居場所（子ども食堂など）」が10.0%となっている。

子どもの年齢別にみると、0歳では「認可保育所（園）の子育て支援事業（園庭解放・相談・講座・イベント）」、「幼稚園の子育て支援事業（園庭解放・相談・講座・イベント）」、「子育て交流サロン」の割合が他の年齢に比べて高くなっている。また、年齢が上がるにつれて「利用したいものはない」の割合が高くなっている。

図表95 子どもの年齢別 福岡市のサービスや市が支援しているサービスで今後利用したいもの

(単位:%)

	標本数(人)	区役所(保健福祉センター)や公民館の子育て講座	公民館等で行われる母子巡回健康相談	区役所(保健福祉センター)の訪問指導	区役所(保健福祉センター)での相談(電話含む)「子育て支援(電話含む)」を除外	産休明けサポート	子育て支援コンシェルジュ	子ども総合相談センターでの相談(電話含む)	認可保育所(園)の放子育相談・講座・イベント	幼稚園の子育て支援事業(園庭解放・相談・講座・イベント)	ファミリー・サポートセンター	
全体	3,375	6.9	3.7	1.4	1.5	4.4	6.2	3.1	10.8	10.4	13.1	
子どもの年齢別	0歳	603	9.1	7.8	2.3	1.7	6.8	9.3	4.1	21.4	17.4	13.6
	1～2歳	1,088	7.4	4.0	1.5	1.8	6.2	7.4	2.6	12.1	10.4	14.6
	3～5歳	1,618	5.9	2.2	0.9	1.4	2.5	4.4	3.2	6.0	8.0	12.2
	無回答	66	1.5	1.5	1.5	-	-	3.0	1.5	9.1	3.0	6.1

(単位:%)

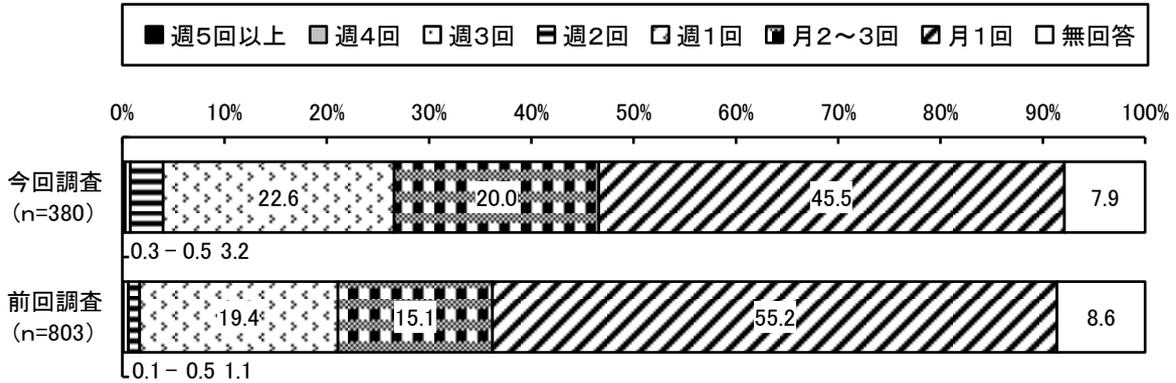
	標本数(人)	子育て交流サロン	中央児童会館の子育て支援事業	子どもプラザ(市内14か所)	子育て交流サロン	育児サークルなど自主的な活動	地域の居場所(子ども食堂など)	子どもショートステイ	利用したいものはない	無回答	
全体	3,375	3.6	3.7	11.3	7.6	3.7	10.0	7.1	36.1	9.1	
子どもの年齢別	0歳	603	4.1	6.0	14.9	14.3	6.0	6.6	8.5	24.9	7.0
	1～2歳	1,088	3.6	3.6	15.1	8.8	4.1	8.8	6.3	31.8	8.6
	3～5歳	1,618	3.3	3.1	7.5	4.3	2.5	12.0	7.0	42.9	9.9
	無回答	66	4.5	1.5	7.6	6.1	4.5	12.1	7.6	43.9	16.7

4. 子どもプラザ、子育て交流サロン、育児サークルの今後の利用希望

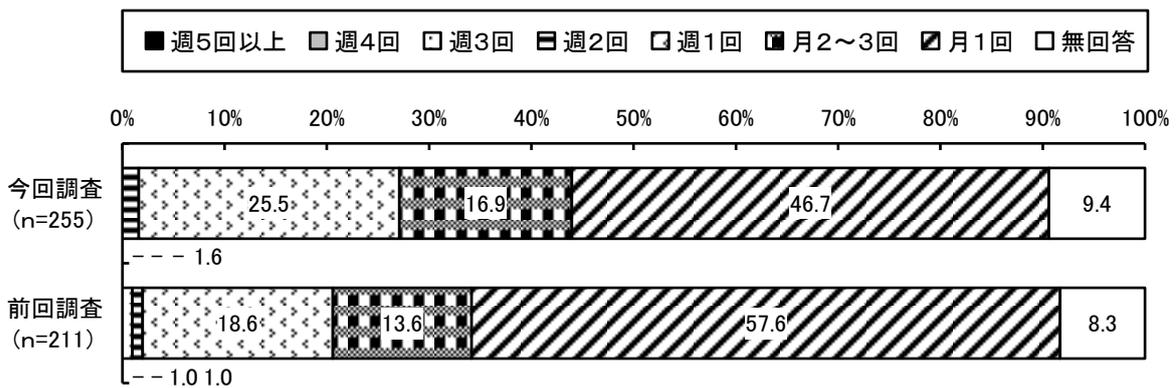
問24で「13 (子どもプラザ)」～「15 (育児サークル)」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。

問24-1 あて名のお子さんと、子どもプラザや子育て交流サロン、育児サークルについて、今後の程度利用したいと思いますか (枠内におおよその利用回数を記入)

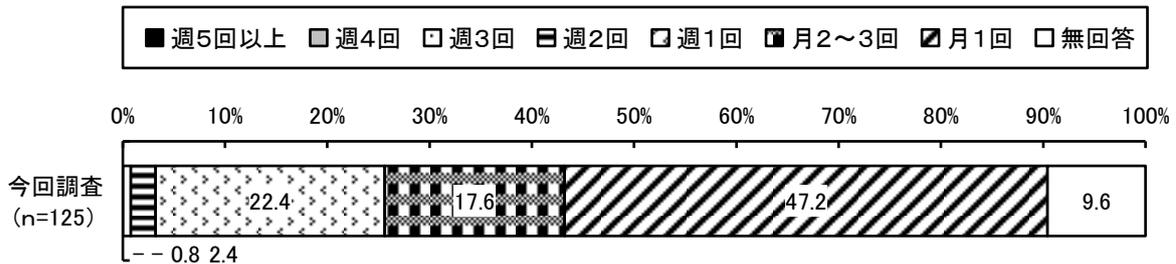
図表96 今後の利用希望 (子どもプラザ)



図表97 今後の利用希望 (子育て交流サロン)



図表98 今後の利用希望 (育児サークル)



※育児サークルは今回調査のみにある項目

子どもプラザの希望する利用回数については、「月1回」の割合が45.5%で最も高く、次いで「週1回」が22.6%、「月2~3回」が20.0%となっている。

前回調査と比較すると、「月1回」の割合は9.7ポイント減少している。

子育て交流サロンの希望する利用回数については、「月1回」の割合が46.7%で最も高く、次いで「週1回」が25.5%、「月2~3回」が16.9%となっている。

前回調査と比較すると、「週1回」の割合は6.9ポイント増加し、「月1回」の割合は10.9ポイント減少している。

育児サークルの希望する利用回数については、「月1回」の割合が47.2%で最も高く、次いで「週1回」が22.4%、「月2~3回」が17.6%となっている。

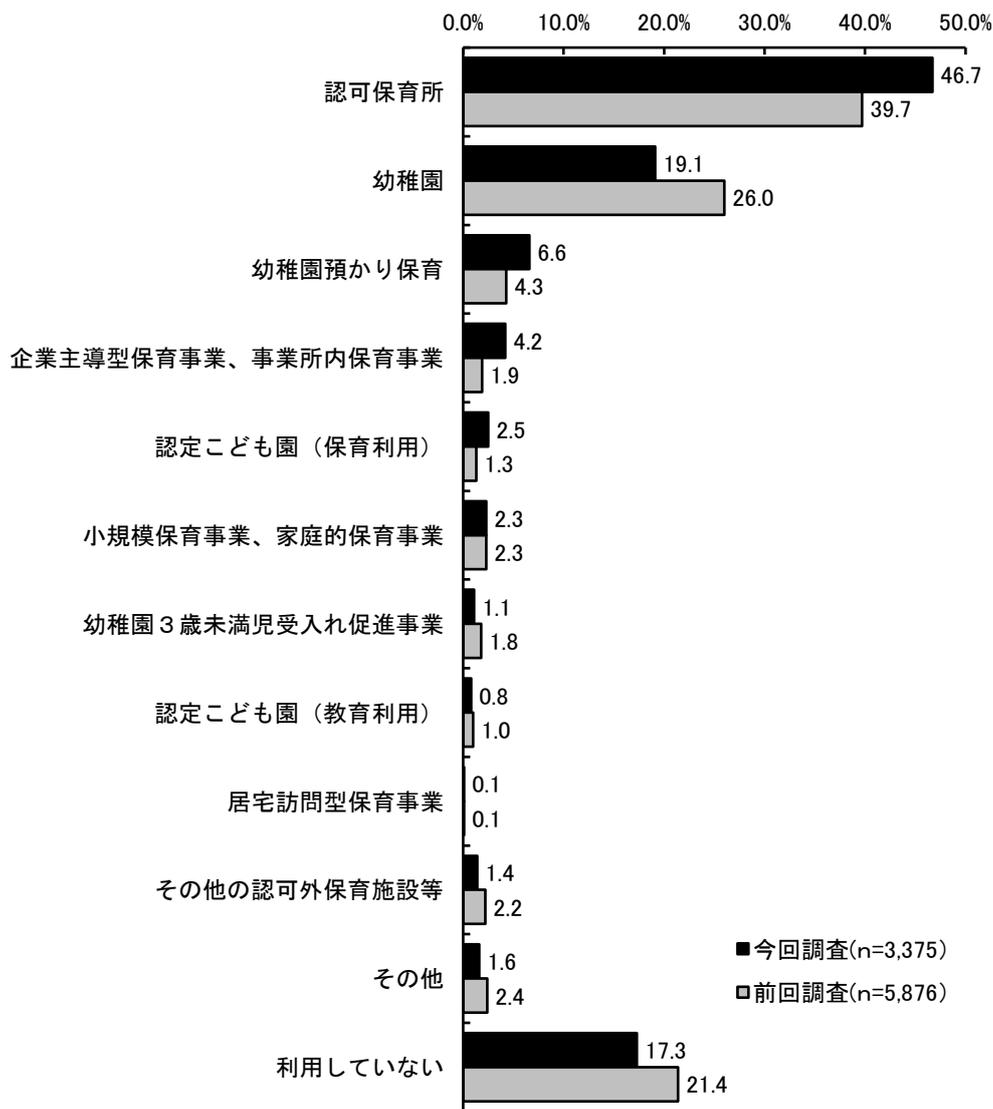
第6章 平日の定期的な保育所等の利用状況について

1. 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況

(1) 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況

問25 あて名のお子さんは、平日どのような保育所等を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用しているものについてお答えください。(あてはまるものすべてに○)

図表99 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況



平日における定期的な教育・保育事業の利用状況は、「認可保育所」の割合が46.7%で最も高く、次いで「幼稚園」が19.1%となっている。また、「利用していない」が17.3%となっている。前回調査と比較すると、「認可保育所」の割合は7.0ポイント増加し、「幼稚園」の割合は6.9ポイント減少している。

第6章 平日の定期的な保育所等の利用状況について

子どもの年齢別にみると、0歳では事業未利用者が61.4%を占めているが、以降、年齢とともに事業利用者の割合が高まり、3～5歳は事業利用者が9割以上となっている。

図表100 子どもの年齢別 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況

(単位: %)

		標本数(人)	幼稚園	幼稚園預かり保育	認定こども園(教育利用)	幼稚園3歳未満児受入れ促進事業	認可保育所	認定こども園(保育利用)	小規模保育事業、家庭的保育事業	企業主導型保育事業、事業所内保育事業
全体		3,375	19.1	6.6	0.8	1.1	46.7	2.5	2.3	4.2
子どもの年齢別	0歳	603	-	-	0.2	0.2	27.4	0.5	2.7	4.1
	1～2歳	1,088	-	-	0.6	3.3	49.7	3.0	5.1	7.7
	3～5歳	1,618	38.8	13.7	1.1	-	51.9	2.8	0.3	1.9
	無回答	66	27.3	1.5	1.5	-	43.9	1.5	-	3.0

(単位: %)

		標本数(人)	居宅訪問型保育事業	その他の認可外保育施設等	その他	利用していない	無回答
全体		3,375	0.1	1.4	1.6	17.3	4.1
子どもの年齢別	0歳	603	-	1.0	1.0	61.4	2.3
	1～2歳	1,088	-	1.5	2.7	18.2	8.8
	3～5歳	1,618	0.1	1.6	1.2	0.5	1.4
	無回答	66	-	-	-	12.1	10.6

Ⅱ 乳幼児の保護者調査結果

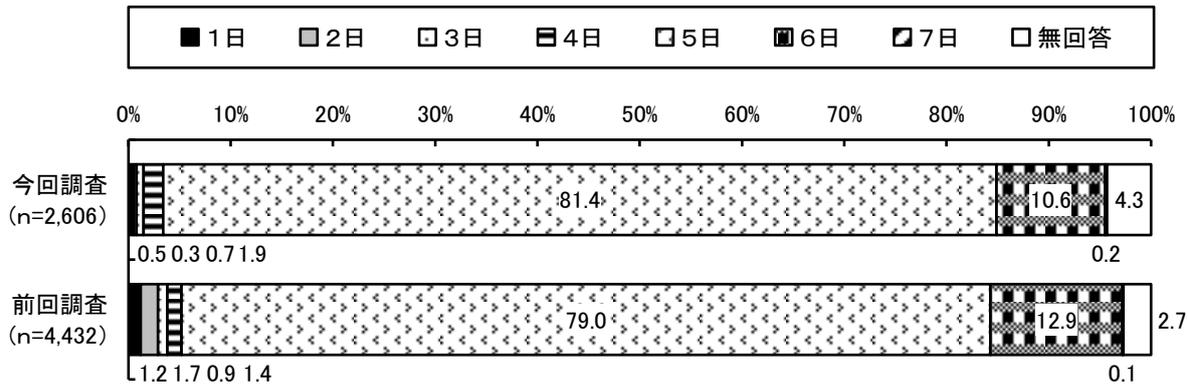
(2) 平日の定期的な教育・保育事業の利用日数・時間

問25で「1～10」に○をつけた方にうかがいます。

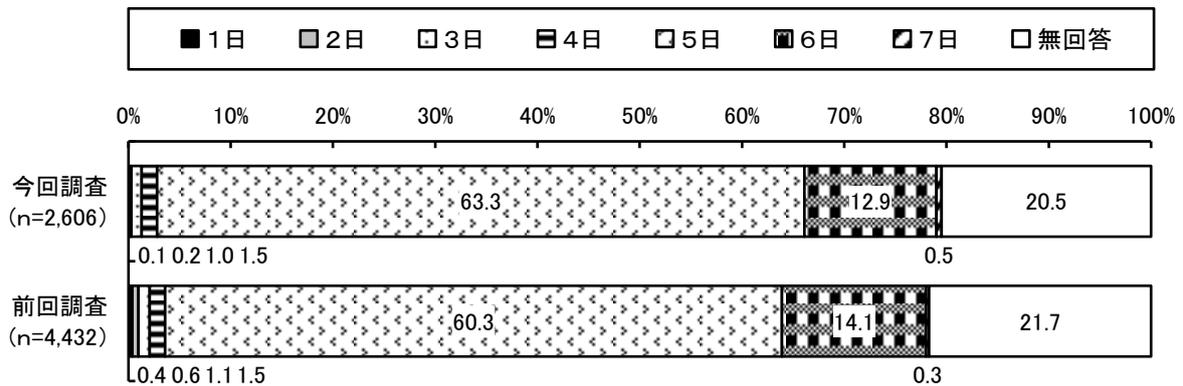
問25-1 平日に定期的に利用している保育所等について、全部あわせてどのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。

(枠内に数字を記入。時間は、(例) 9時～18時のように24時間制で記入)

図表101 平日の定期的な教育・保育事業の週当たり利用日数 (現在)



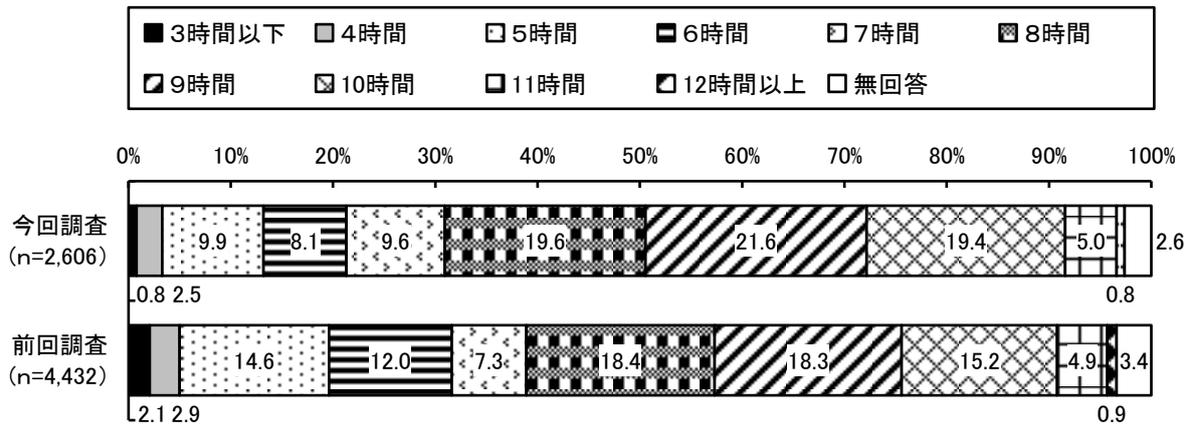
図表102 平日の定期的な教育・保育事業の週当たり利用日数 (希望)



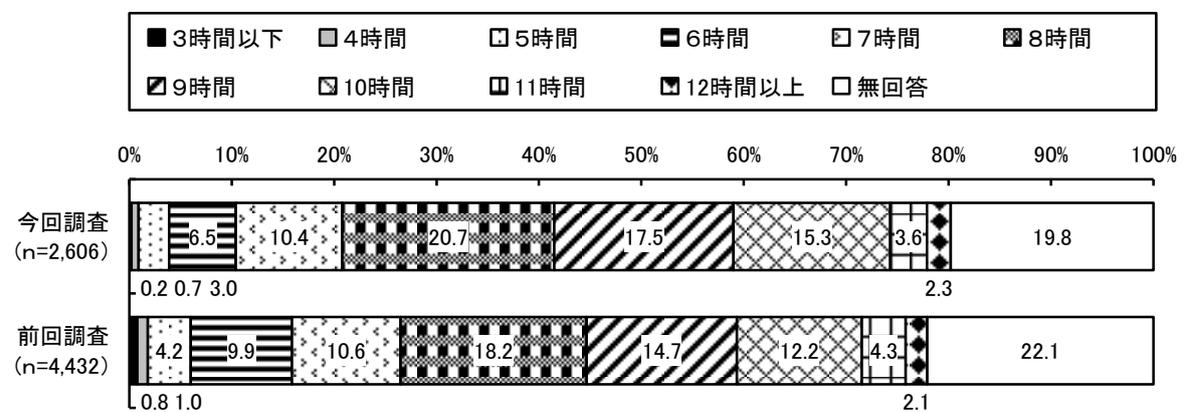
平日の定期的な教育・保育事業の週当たり利用日数については、「5日」の割合が81.4%で最も高く、次いで「6日」が10.6%となっている。

また、希望する利用日数としては、「5日」の割合が63.3%で最も高く、次いで「6日」が12.9%となっている。

図表103 平日の定期的な教育・保育事業の1日当たり利用時間（現在）



図表104 平日の定期的な教育・保育事業の1日当たり利用時間（希望）



平日の定期的な教育・保育事業の1日当たり利用時間については、「9時間」の割合が21.6%で最も高く、次いで「8時間」が19.6%、「10時間」が19.4%となっている。

また、希望する利用時間としては、「8時間」の割合が20.7%で最も高く、次いで「9時間」が17.5%、「10時間」が15.3%、「7時間」が10.4%となっている。

平日の定期的な教育・保育事業の1日当たり利用時間について子どもの年齢別にみると、いずれの年齢でも「9時間」の割合が最も高くなっている。

また、希望する利用時間についてはいずれの年齢でも「8時間」の割合が最も高くなっている。

II 乳幼児の保護者調査結果

図表105 子どもの年齢別 平日の定期的な教育・保育事業の1日当たり利用時間（現在）

（単位：％）

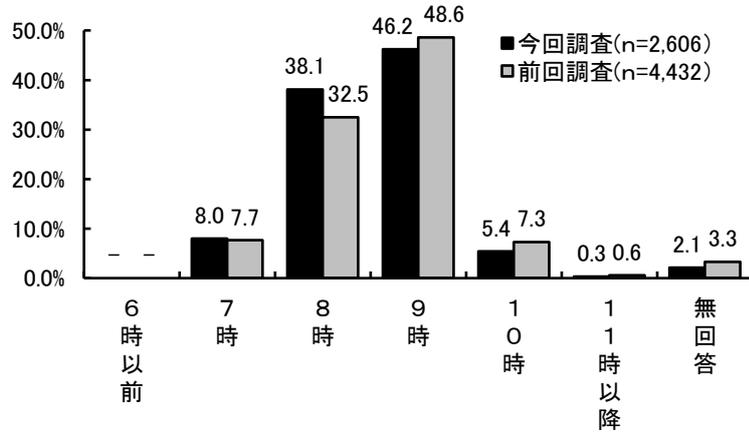
		標本数（人）	3時間以下	4時間	5時間	6時間	7時間	8時間	9時間	10時間	11時間	12時間以上	無回答
全体		2,606	0.8	2.5	9.9	8.1	9.6	19.6	21.6	19.4	5.0	0.8	2.6
子どもの年齢別	0歳	213	1.4	-	0.5	2.8	9.9	28.6	30.5	19.7	2.8	1.9	1.9
	1～2歳	766	1.7	0.9	1.0	3.3	11.5	23.9	25.8	23.1	6.1	0.7	2.0
	3～5歳	1,576	0.4	3.6	15.2	11.0	8.9	16.3	18.6	17.6	4.9	0.7	2.9
	無回答	51	-	2.0	17.6	11.8	3.9	19.6	13.7	19.6	2.0	-	9.8

図表106 子どもの年齢別 平日の定期的な教育・保育事業の1日当たり利用時間（希望）

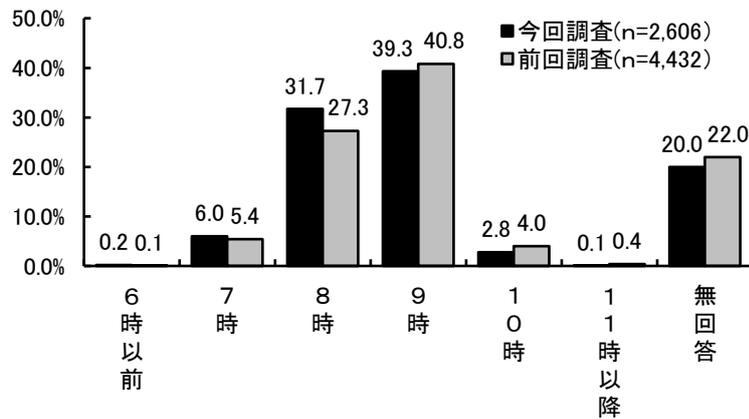
（単位：％）

		標本数（人）	3時間以下	4時間	5時間	6時間	7時間	8時間	9時間	10時間	11時間	12時間以上	無回答
全体		2,606	0.2	0.7	3.0	6.5	10.4	20.7	17.5	15.3	3.6	2.3	19.8
子どもの年齢別	0歳	213	-	-	0.5	3.3	8.0	28.2	20.7	17.4	3.3	2.3	16.4
	1～2歳	766	0.7	0.3	1.7	2.6	8.4	21.5	20.2	19.1	5.1	2.1	18.4
	3～5歳	1,576	0.1	1.0	3.9	8.8	11.4	19.5	16.1	13.2	3.0	2.5	20.7
	無回答	51	-	-	5.9	9.8	17.6	15.7	7.8	13.7	3.9	-	25.5

図表107 平日の定期的な教育・保育事業の利用開始時刻（現在）



図表108 平日の定期的な教育・保育事業の利用開始時刻（希望）

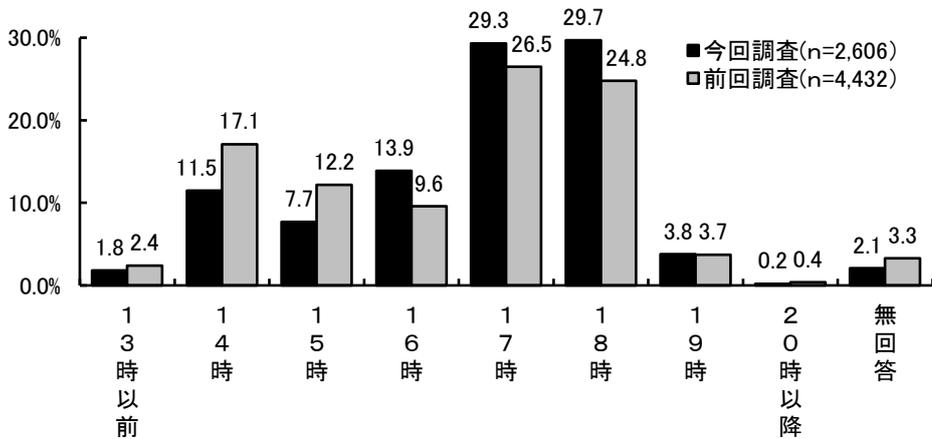


平日の定期的な教育・保育事業の利用開始時刻については、「9時」の割合が46.2%で最も高く、次いで「8時」が38.1%となっている。

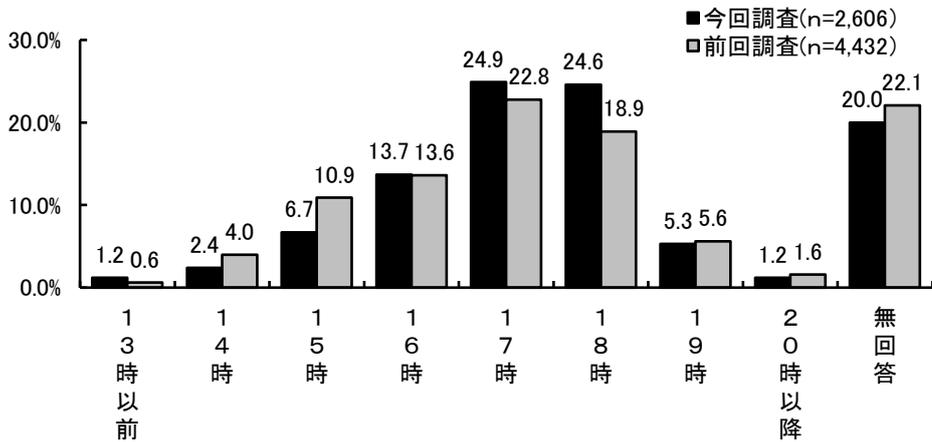
前回調査と比較すると、「8時」の割合は5.6ポイント増加している。

また、希望する利用開始時刻としては、「9時」の割合が39.3%で最も高く、次いで「8時」が31.7%となっている。

図表109 平日の定期的な教育・保育事業の利用終了時刻（現在）



図表110 平日の定期的な教育・保育事業の利用終了時刻（希望）



平日の定期的な教育・保育事業の利用終了時刻については、「18時」の割合が29.7%で最も高く、次いで「17時」が29.3%、「16時」が13.9%、「14時」が11.5%となっている。

前回調査と比較すると、「14時」の割合は5.6ポイント減少している。

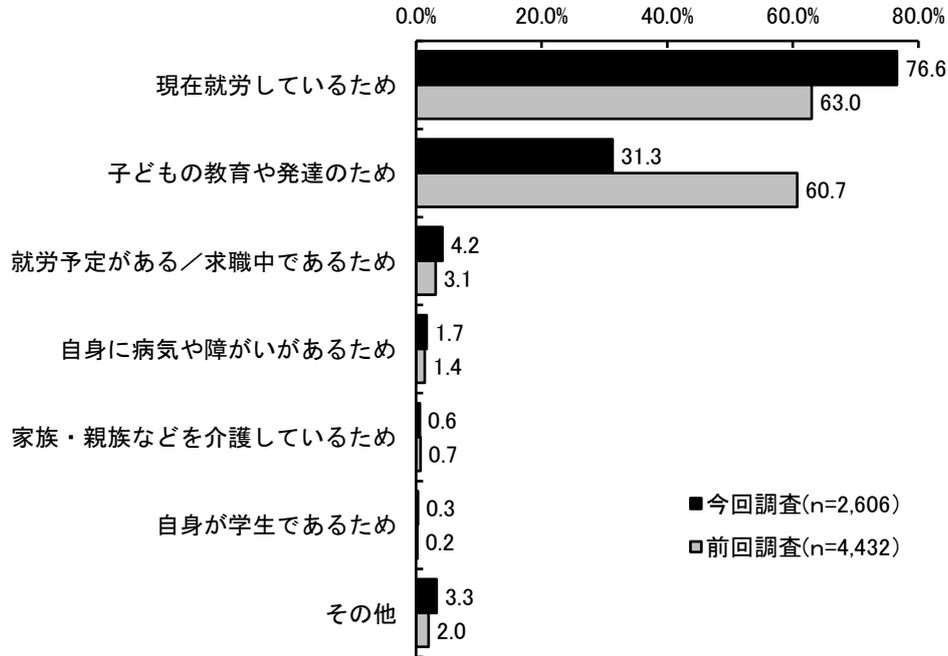
また、希望する利用終了時刻としては、「17時」の割合が24.9%で最も高く、次いで「18時」が24.6%、「16時」が13.7%となっている。

前回調査と比較すると、「18時」の割合は5.7ポイント増加している。

(3) 平日の定期的な教育・保育事業を利用している理由

問25-2 平日に定期的に保育所等を利用している主な理由についてお答えください。
(あてはまるものすべてに○)

図表111 平日の定期的な教育・保育事業を利用している理由



平日の定期的な教育・保育事業を利用している理由としては、「現在就労しているため」の割合が76.6%で最も高く、次いで「子どもの教育や発達のため」が31.3%となっている。

前回調査と比較すると、「現在就労しているため」の割合は13.6ポイント増加し、「子どもの教育や発達のため」の割合は29.4ポイント減少している。

子どもの年齢別にみると、子どもの年齢が下がるにつれて「現在就労しているため」の割合が高くなっている。また、子どもの年齢が上がるにつれて「子どもの教育や発達のため」の割合が高くなっている。

図表112 子どもの年齢別 平日の定期的な教育・保育事業を利用している理由

(単位: %)

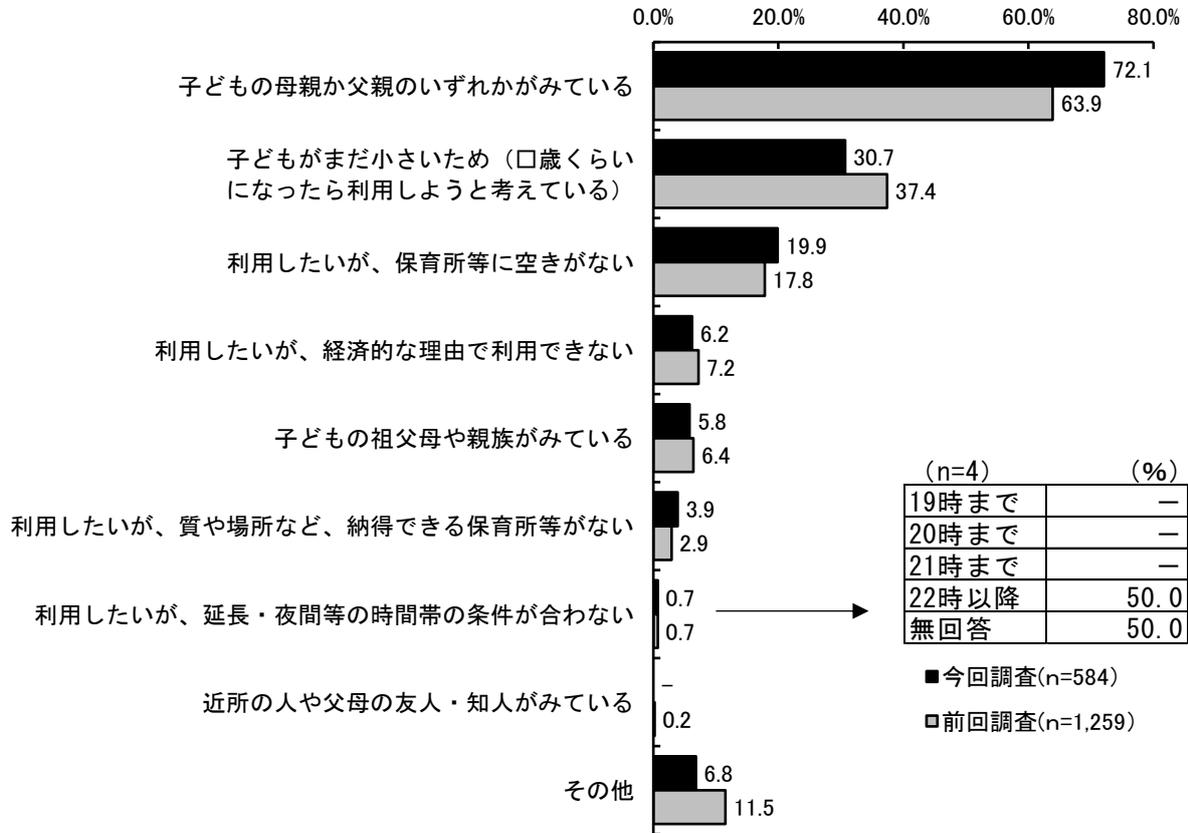
	標本数(人)	現在就労しているため	就労予定がある／求職中	子どもの教育や発達のため	家族・親族などを介護しているため	自身に病気や障がいがあるため	自身が学生であるため	その他	無回答	
全体	2,606	76.6	4.2	31.3	0.6	1.7	0.3	3.3	3.1	
子どもの年齢別	0歳	213	93.9	5.2	15.0	0.5	1.9	-	1.9	0.5
	1～2歳	766	84.6	5.0	20.1	0.8	1.4	0.4	5.7	2.1
	3～5歳	1,576	70.6	3.7	38.8	0.6	1.8	0.3	2.4	3.8
	無回答	51	66.7	3.9	35.3	-	2.0	2.0	2.0	7.8

2. 平日の定期的な教育・保育事業を利用していない理由

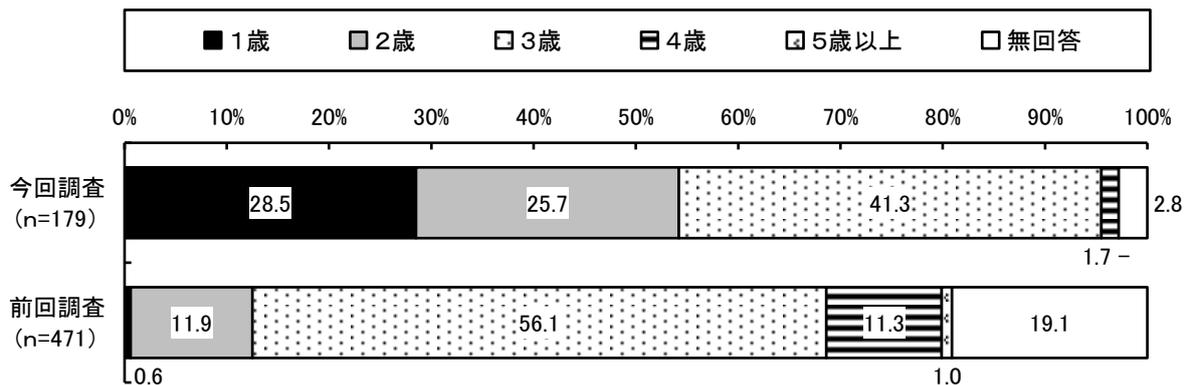
問25で「12. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。

問25-3 利用していない理由についてお答えください。(あてはまるものすべてに○)

図表113 平日の定期的な教育・保育事業を利用していない理由



図表114 定期的な教育・保育事業の利用を考えている子どもの年齢



平日の定期的な教育・保育事業を利用していない理由としては、「子どもの母親か父親のいずれかがみている」の割合が72.1%で最も高く、次いで「子どもがまだ小さいため(□歳くらいになったら利用しようと考えている)」が30.7%、「利用したいが、保育所等に空きがない」が19.9%となっている。

前回調査と比較すると、「子どもの母親か父親のいずれかがみている」の割合は8.2ポイント増加し、「子どもがまだ小さいため(□歳くらいになったら利用しようと考えている)」の割合は6.7ポイント減少している。

第6章 平日の定期的な保育所等の利用状況について

「こどもがまだ小さいため」と回答した人に、子どもが何歳くらいになったら事業を利用しようと考えているかたずねたところ、「3歳」の割合が41.3%で最も高く、次いで「1歳」が28.5%、「2歳」が25.7%となっている。

前回調査と比較すると、「1歳」の割合は27.9ポイント増加し、「2歳」の割合は13.8ポイント増加し、「3歳」の割合は14.8ポイント減少し、「4歳」の割合は9.6ポイント減少している。

子どもの年齢別にみると、0歳では「利用したいが、保育所等に空きがない」の割合が2割強となっている。

母親の就労状況別にみると、フルタイムで就労している場合では「利用したいが、保育所等に空きがない」の割合が3割弱となっている。

図表115 子どもの年齢別、母親の就労状況別
平日の定期的な教育・保育事業を利用していない理由

(単位: %)

	標本数(人)	子どもがまだ小さいため	子どもの祖父母や親族が	近所の人や友人の友人	に利用したいが、保育所等	理由で利用できない	間等利用したいが、延長が合夜	など、納得できる保育場所	(単位: %)	
									利用したいが、保育所等に空きがない	利用しよらうと考えると小さいため
全体	584	72.1	5.8	-	19.9	6.2	0.7	3.9	30.7	
子どもの年齢別	0歳	370	70.5	4.9	-	22.2	6.8	0.8	3.0	34.9
	1~2歳	198	76.3	7.6	-	15.7	5.1	0.5	4.5	23.7
	3~5歳	8	62.5	12.5	-	37.5	-	-	12.5	12.5
	無回答	8	50.0	-	-	-	12.5	-	25.0	25.0
全体	584	72.1	5.8	-	19.9	6.2	0.7	3.9	30.7	
母親の就労状況別	フルタイムで就労	199	67.3	4.5	-	28.1	3.5	1.5	3.0	28.6
	パート・アルバイト等で就労	63	54.0	15.9	-	22.2	7.9	1.6	4.8	31.7
	以前は就労していたが、現在は就労していない	294	78.2	4.1	-	14.6	7.5	-	4.4	32.0
	これまで就労したことがない	10	100.0	20.0	-	-	-	-	-	30.0
	無回答	18	72.2	5.6	-	16.7	11.1	-	5.6	27.8

(単位: %)

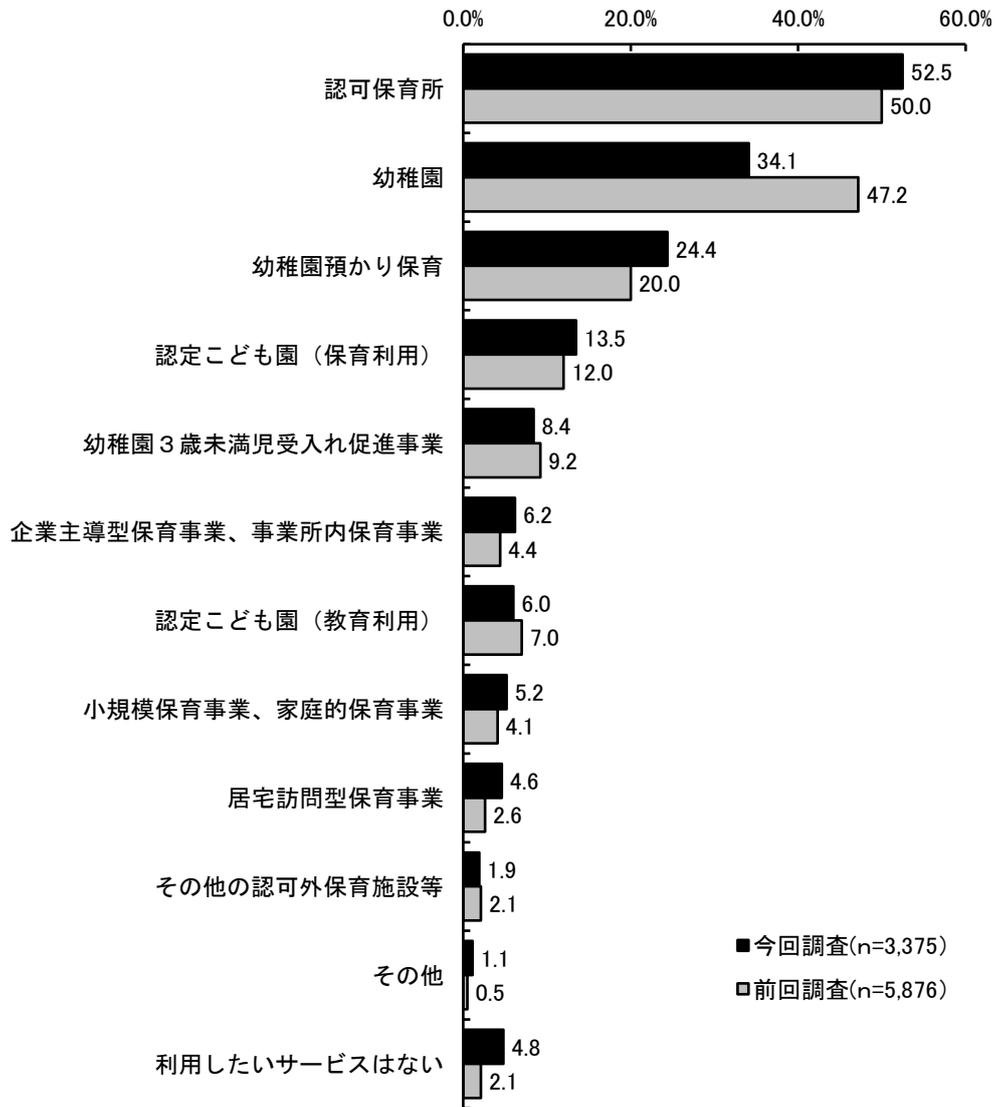
	標本数(人)	(単位: %)		
		その他	無回答	
全体	584	6.8	0.9	
子どもの年齢別	0歳	370	6.2	1.1
	1~2歳	198	8.1	0.5
	3~5歳	8	12.5	-
	無回答	8	-	-
全体	584	6.8	0.9	
母親の就労状況別	フルタイムで就労	199	7.5	0.5
	パート・アルバイト等で就労	63	4.8	3.2
	以前は就労していたが、現在は就労していない	294	6.1	0.7
	これまで就労したことがない	10	-	-
	無回答	18	22.2	-

3. 平日の定期的な教育・保育事業の利用意向

(1) 平日の定期的な教育・保育事業の利用意向

問26 現在、利用している・利用していないにかかわらず、あて名のお子さんの平日の保育所等として、「定期的に」利用したいと考えるものについて、お答えください。
(あてはまるものすべてに○)

図表116 平日の定期的な教育・保育事業の利用意向



平日の定期的な教育・保育事業として利用したいものについては、「認可保育所」の割合が52.5%で最も高く、次いで「幼稚園」が34.1%、「幼稚園預かり保育」が24.4%、「認定こども園（保育利用）」が13.5%となっている。

前回調査と比較すると、「幼稚園」の割合は13.1ポイント減少している。

子どもの年齢別にみると、いずれの年齢でも「認可保育所」の割合が最も高く、0歳では6割強となっている。また、3～5歳では「幼稚園預かり保育」の割合が約3割となっている。

図表117 子どもの年齢別 平日の定期的な教育・保育事業の利用意向 (単位:%)

	標本数(人)	幼稚園	幼稚園預かり保育	用認定こども園(教育利)	幼稚園3歳未満児受入れ	認可保育所	用認定こども園(保育利)	小規模保育事業、家庭的	業主内導型保育事業、事	
全体	3,375	34.1	24.4	6.0	8.4	52.5	13.5	5.2	6.2	
子どもの年齢別	0歳	603	24.9	17.7	9.3	17.4	63.8	19.1	11.1	11.8
	1～2歳	1,088	32.8	21.7	6.5	12.1	53.8	15.3	7.3	8.3
	3～5歳	1,618	38.3	29.0	4.4	2.7	48.0	10.5	1.7	2.8
	無回答	66	34.8	16.7	7.6	6.1	39.4	7.6	1.5	1.5

(単位:%)

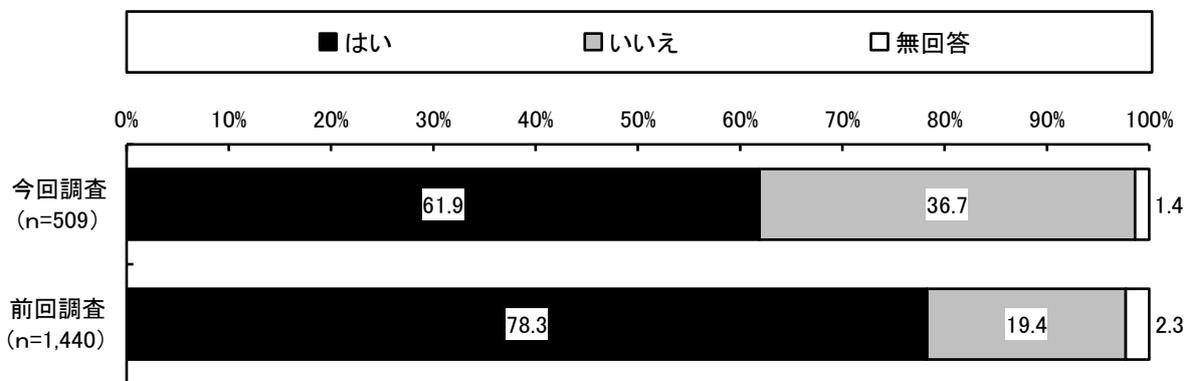
	標本数(人)	居宅訪問型保育事業	等その他の認可外保育施設	その他	利用したいサービスはな	無回答	
全体	3,375	4.6	1.9	1.1	4.8	3.8	
子どもの年齢別	0歳	603	5.1	2.0	0.8	5.1	3.0
	1～2歳	1,088	4.8	1.9	1.6	4.9	3.7
	3～5歳	1,618	4.4	1.9	0.9	4.7	3.6
	無回答	66	3.0	-	3.0	4.5	18.2

(2) 幼稚園利用の強い希望

問26で「1～4」に○をつけ、かつ「5～10のいずれかに1つ以上」○をつけた方にうかがいます。

問26-1 特に幼稚園(幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合も含む)の利用を強く希望しますか。(○は1つ)

図表118 幼稚園利用の強い希望



平日の定期的な教育・保育事業で幼稚園等の利用を希望しており、かつその他の教育・保育事業も希望している人に、特に幼稚園の利用を強く希望するかをたずねたところ、「はい」は61.9%、「いいえ」が36.7%となっている。

前回調査と比較すると、「いいえ」の割合は17.3ポイント増加している。

II 乳幼児の保護者調査結果

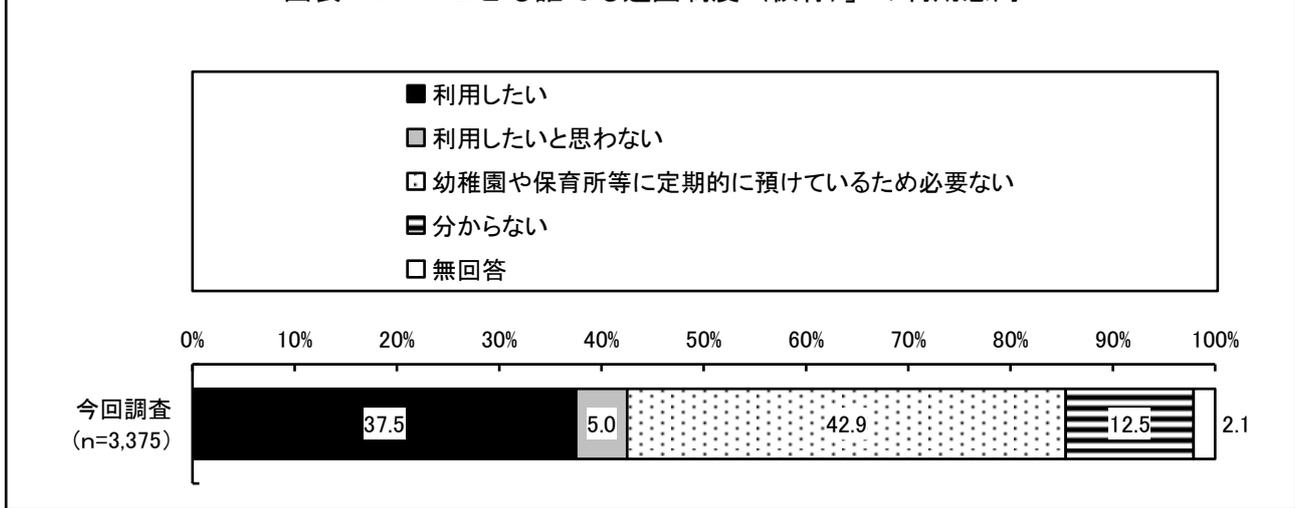
4. 「こども誰でも通園制度（仮称）」について

(1) 「こども誰でも通園制度（仮称）」の利用意向

問27 現在、国において、月一定時間の範囲内で、保護者が仕事をしていなくても保育所等を時間単位等で利用できる「こども誰でも通園制度（仮称）」の検討を進めています。このような制度があった場合、利用したいと思いますか。（○は1つ）

※なお、これらの施設の利用には、一定の利用者負担が発生する可能性があります。

図表119 「こども誰でも通園制度（仮称）」の利用意向



「こども誰でも通園制度（仮称）」を利用したいかについては、「幼稚園や保育所等に定期的に預けているため必要ない」の割合が42.9%で最も高く、次いで「利用したい」が37.5%、「分からない」が12.5%となっている。

子どもの年齢別にみると、子どもの年齢が下がるにつれて「利用したい」の割合が高くなっており、0歳では半数が「利用したい」と回答している。

世帯分類別にみると、「利用したい」の割合はひとり親で最も低くなっており、2割半ばとなっている。

図表120 子どもの年齢別、世帯分類別
「こども誰でも通園制度（仮称）」の利用意向

(単位: %)

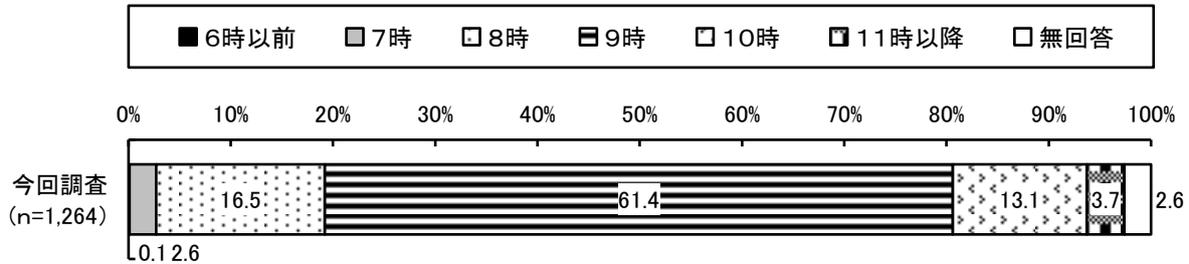
		標本数 (人)	利用 したい	利用 したい と思わ ない	な 的幼 い に 預 園 け や て 保 育 所 等 に 必 定 期	分 か ら な い	無 回 答
全体		3,375	37.5	5.0	42.9	12.5	2.1
子 ど も の 年 齢 別	0歳	603	51.4	6.5	22.9	18.2	1.0
	1～2歳	1,088	40.3	4.4	41.5	11.9	1.8
	3～5歳	1,618	30.3	4.9	51.9	10.5	2.3
	無回答	66	37.9	1.5	27.3	21.2	12.1
全体		3,375	37.5	5.0	42.9	12.5	2.1
世 帯 分 類 別	三世帯	75	29.3	8.0	45.3	16.0	1.3
	核家族	3,087	38.2	4.9	42.7	12.3	1.9
	ひとり親	116	25.0	6.0	51.7	13.8	3.4
	ひとり親三世帯	24	29.2	12.5	29.2	25.0	4.2
	その他	59	35.6	1.7	44.1	11.9	6.8
	無回答	14	42.9	-	14.3	14.3	28.6

(2) 「こども誰でも通園制度（仮称）」を利用したい時間帯・日数

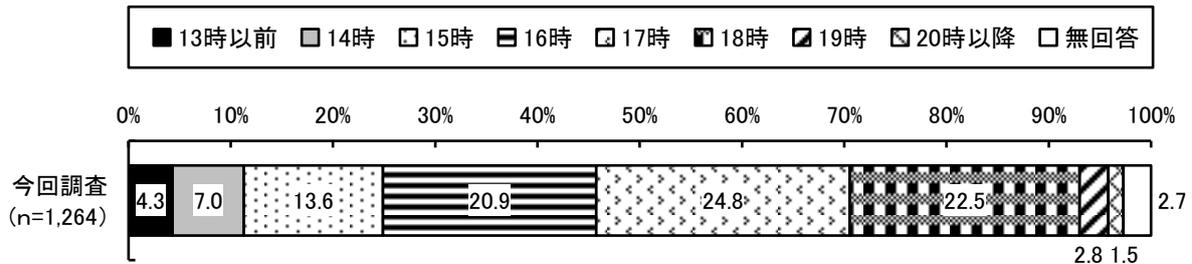
問27で「1. 利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

問27-1 「こども誰でも通園制度（仮称）」について、どのような利用を希望しますか。
 (希望する時間帯、日数を枠内に記入)

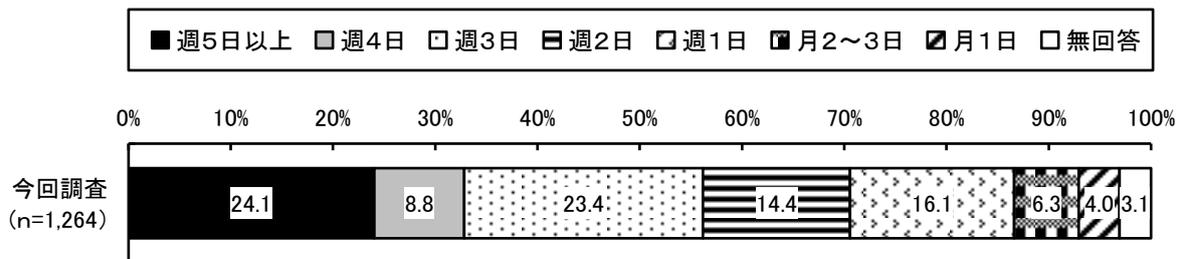
図表121 「こども誰でも通園制度（仮称）」を利用したい時間帯（開始時刻）



図表122 「こども誰でも通園制度（仮称）」を利用したい時間帯（終了時刻）



図表123 「こども誰でも通園制度（仮称）」を利用したい日数



「こども誰でも通園制度（仮称）」の希望する利用開始時刻は、「9時」の割合が61.4%で最も高く、次いで「8時」が16.5%、「10時」が13.1%となっている。

また、希望する利用終了時刻は、「17時」の割合が24.8%で最も高く、次いで「18時」が22.5%、「16時」が20.9%、「15時」が13.6%となっている。

利用したい日数については、「週5日以上」の割合が24.1%で最も高く、次いで「週3日」が23.4%、「週1日」が16.1%、「週2日」が14.4%となっている。

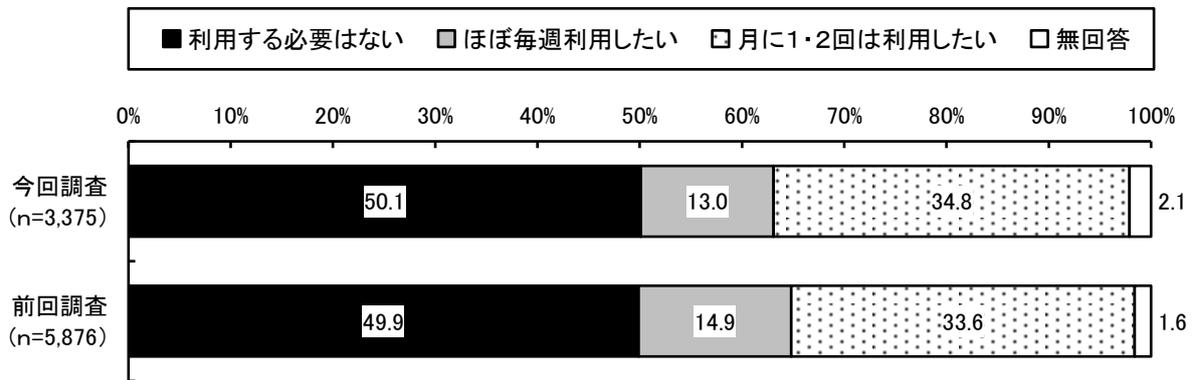
第7章 土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な保育所等の利用希望について

1. 土曜日・日曜日・祝日の定期的な教育・保育事業の利用意向

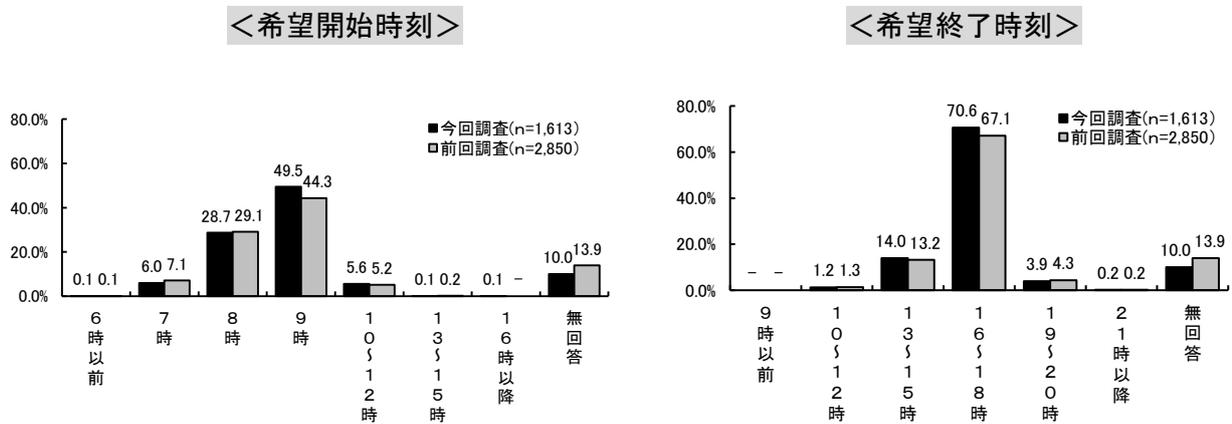
(1) 土曜日の定期的な教育・保育事業の利用意向

問28 あて名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な保育所等の利用希望はありますか。一時的な利用は除きます。
 (土曜・日祝日それぞれ○は1つ。希望時間を枠内に記入。(例)9~18時)
 ※保育所等には、幼稚園、保育所(園)、認可外保育施設などを指し、親族・知人による預かりは含みません。

図表124 土曜日の定期的な教育・保育事業の利用意向



図表125 土曜日の定期的な教育・保育事業の希望開始・終了時刻



土曜日の定期的な教育・保育事業の利用意向としては、「利用する必要はない」の割合が50.1%で最も高く、次いで「月に1・2回は利用したい」が34.8%、「ほぼ毎週利用したい」が13.0%となっている。

土曜日の利用希望者（「ほぼ毎週利用したい」「月に1・2回は利用したい」と回答した人）に、希望する利用開始・終了時刻をたずねたところ、希望開始時刻は、「9時」の割合が49.5%で最も高く、希望終了時刻は、「16~18時」の割合が70.6%で最も高くなっている。

子どもの年齢別にみても、大きな違いは見られない。

母親の就労状況別にみると、「ほぼ毎週利用したい」と「月に1・2回は利用したい」を合わせた割合は、フルタイムで就労している場合で58.4%、パート・アルバイト等で就労している場合で50.3%となっている。

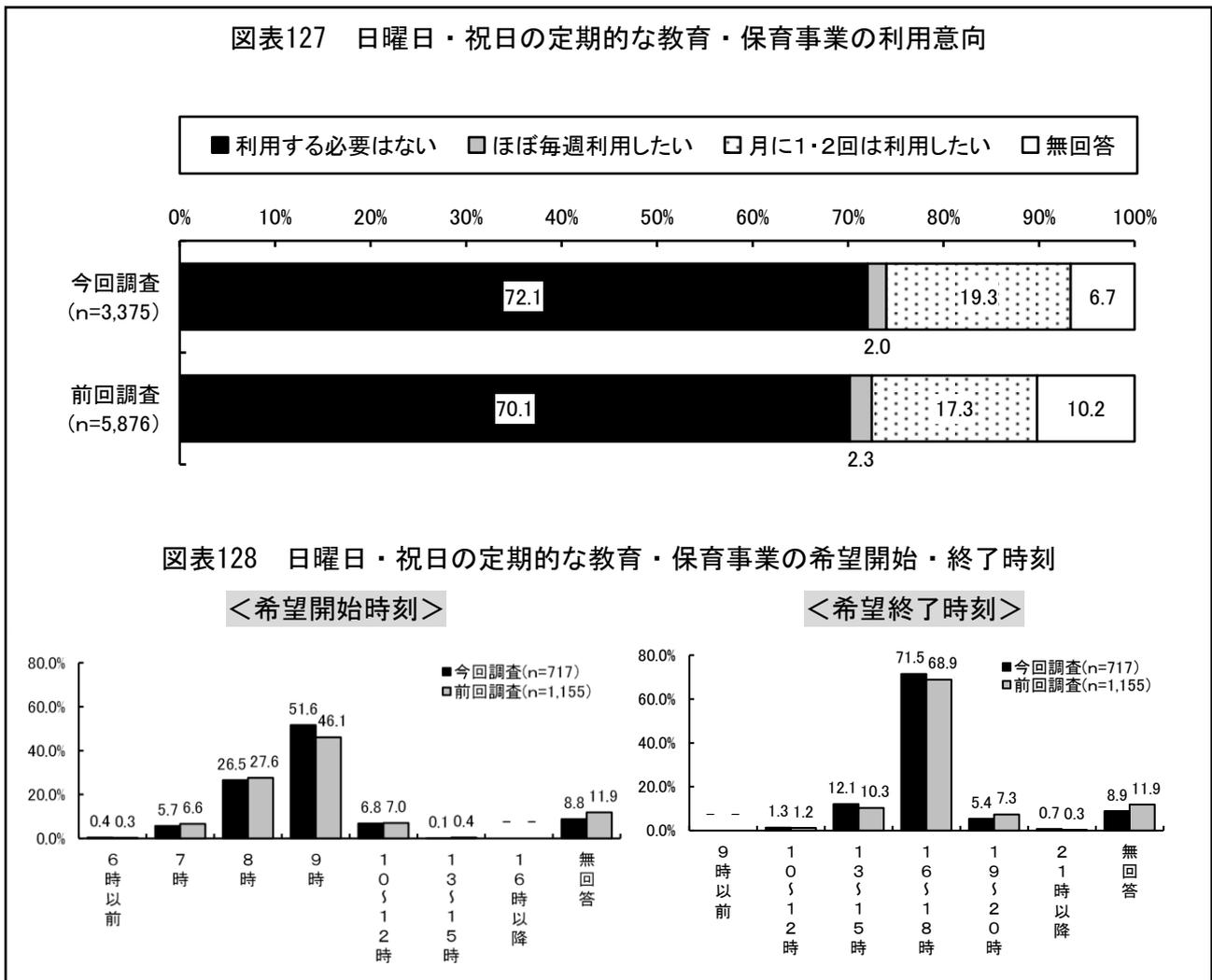
図表126 子どもの年齢別、母親の就労状況別 土曜日の定期的な教育・保育事業の利用意向

(単位:%)

		標本数 (人)	利用する 必要はない	ほぼ毎週 利用したい	月に1・2 回は利用した	無回答
全体		3,375	50.1	13.0	34.8	2.1
子どもの 年齢別	0歳	603	51.6	12.4	34.0	2.0
	1～2歳	1,088	47.9	14.7	35.5	1.9
	3～5歳	1,618	51.2	12.0	34.9	1.9
	無回答	66	45.5	13.6	30.3	10.6
全体		3,368	50.1	13.0	34.8	2.1
母親の 就労 状況別	フルタイムで就労	1,510	39.9	18.7	39.7	1.8
	パート・アルバイト等で就労	968	47.8	12.7	37.6	1.9
	以前は就労していたが、 現在は就労していない	738	71.3	3.4	23.2	2.2
	これまで就労したことがない	31	80.6	-	19.4	-
	無回答	121	59.5	5.8	26.4	8.3

Ⅱ 乳幼児の保護者調査結果

(2) 日曜日・祝日の定期的な教育・保育事業の利用意向



日曜日・祝日の定期的な教育・保育事業の利用意向としては、「利用する必要はない」の割合が72.1%で最も高く、次いで「月に1・2回は利用したい」が19.3%、「ほぼ毎週利用したい」が2.0%となっている。

日曜日・祝日の利用希望者（「ほぼ毎週利用したい」「月に1・2回は利用したい」と回答した人）に、希望する利用開始・終了時刻をたずねたところ、希望開始時刻は、「9時」の割合が51.6%で最も高く、希望終了時刻は、「16～18時」の割合が71.5%で最も高くなっている。

母親の就労状況別にみると、「ほぼ毎週利用したい」と「月に1・2回は利用したい」を合わせた割合は、フルタイムで就労している場合で26.9%、パート・アルバイト等で就労している場合で19.9%となっている。

図表129 子どもの年齢別、母親の就労状況別
日曜日・祝日の定期的な教育・保育事業の利用意向

(単位:%)

		標本数 (人)	利用する 必要はない	ほぼ毎週 利用したい	月に1・2 回は利用した	無回答
全体		3,375	72.1	2.0	19.3	6.7
子どもの 年齢別	0歳	603	73.8	2.8	16.9	6.5
	1～2歳	1,088	71.0	2.1	20.9	6.0
	3～5歳	1,618	72.7	1.5	18.9	6.9
	無回答	66	59.1	1.5	25.8	13.6
全体		3,368	72.1	1.9	19.3	6.7
母親の 就労 状況別	フルタイムで就労	1,510	67.5	2.5	24.4	5.6
	パート・アルバイト等で就労	968	72.7	2.1	17.8	7.4
	以前は就労していたが、 現在は就労していない	738	80.8	0.8	12.2	6.2
	これまで就労したことがない	31	80.6	-	12.9	6.5
	無回答	121	69.4	0.8	13.2	16.5

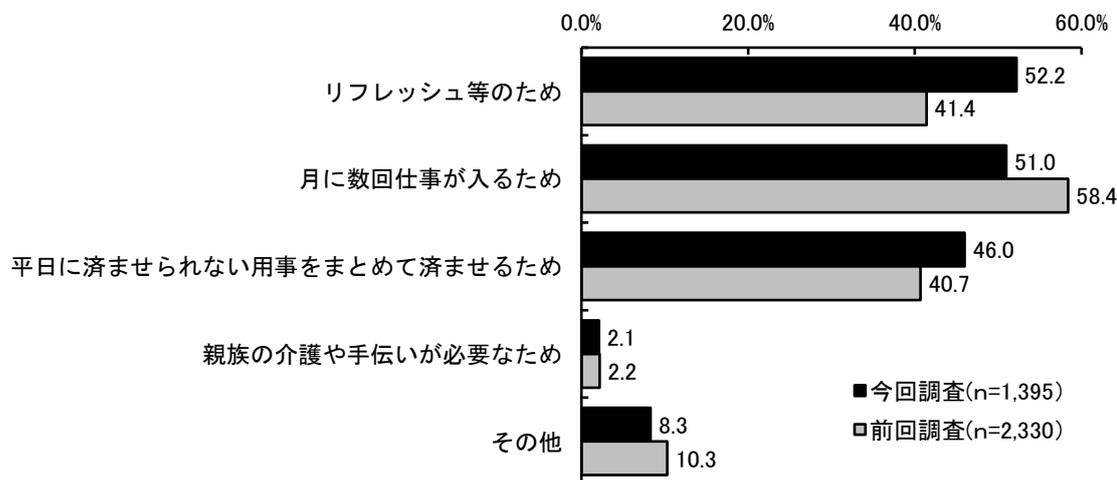
2. 土曜日・日曜日・祝日に定期的な教育・保育事業を「不定期」に利用したい理由

問28で「3. 月に1・2回は利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

問28-1 毎週ではなく、月に1・2回だけ利用したい理由は何ですか。

(あてはまるものすべてに○)

図表130 土曜日・日曜日・祝日に定期的な教育・保育事業を「不定期」に利用したい理由



土曜日・日曜日・祝日に定期的な教育・保育事業を「月に1・2回は利用したい」と回答した人に、その理由をたずねたところ、「リフレッシュ等のため」の割合が52.2%で最も高く、次いで「月に数回仕事が入るため」が51.0%、「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」が46.0%となっている。

前回調査と比較すると、「リフレッシュ等のため」の割合は10.8ポイント増加し、「月に数回仕事が入るため」の割合は7.4ポイント減少している。

第7章 土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な保育所等の利用希望について

母親の就労状況別にみると、フルタイム及びパート・アルバイト等で就労している場合には「月に数回仕事が入るため」の割合が5割半ばから6割弱で最も高く、以前は就労していたが、現在は就労していない場合には「リフレッシュ等のため」の割合が最も高くなっている。

図表131 子どもの年齢別、母親の就労状況別
土曜日・日曜日・祝日に定期的な教育・保育事業を「不定期」に利用したい理由

(単位:%)

		標本数 (人)	月に数回仕事が入るため	平日をまめ め事をまと め済ませ て済ませ ないため	親族の介 護や手伝 いが必 要なため	リフレッ シュ等 のため	その他	無回答
全体		1,395	51.0	46.0	2.1	52.2	8.3	1.1
子どもの 年齢別	0歳	237	53.6	44.3	2.1	54.9	8.0	1.7
	1～2歳	464	50.6	49.1	2.4	52.2	8.8	0.4
	3～5歳	669	49.8	44.5	1.8	51.7	8.4	1.5
	無回答	25	68.0	44.0	4.0	40.0	-	-
全体		1,392	50.9	46.1	2.1	52.2	8.3	1.1
母親の 就労状 況別	フルタイムで就労	738	57.5	48.1	1.6	49.9	7.6	1.2
	パート・アルバイト等で就労	429	55.9	42.2	2.1	48.0	7.2	0.9
	以前は就労していたが、 現在は就労していない	181	13.8	49.2	4.4	73.5	12.2	1.7
	これまで就労したことがない	7	-	42.9	-	57.1	28.6	-
	無回答	37	54.1	37.8	-	43.2	13.5	-

Ⅱ 乳幼児の保護者調査結果

3. 幼稚園利用者の長期休暇中の定期的な教育・保育事業の利用について

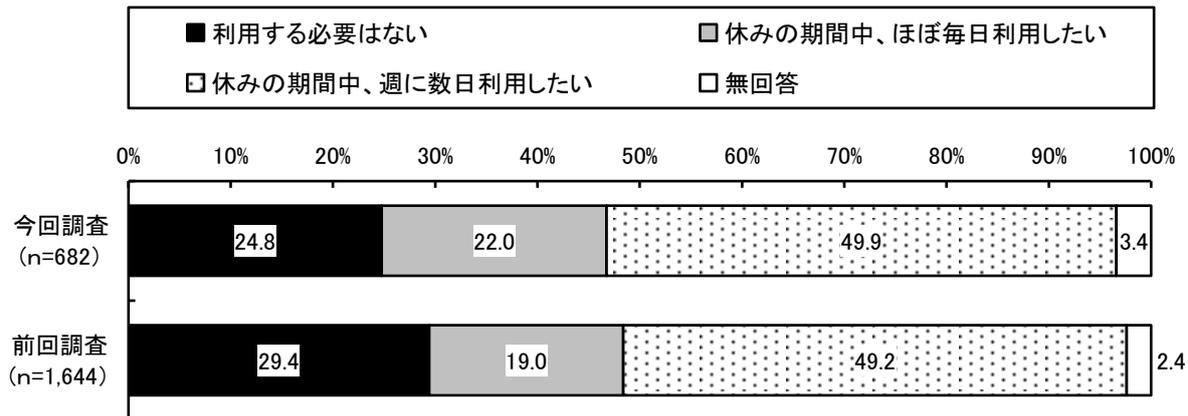
(1) 幼稚園利用者の長期休暇中の定期的な教育・保育事業の利用意向

「幼稚園」を利用されている方にうかがいます。

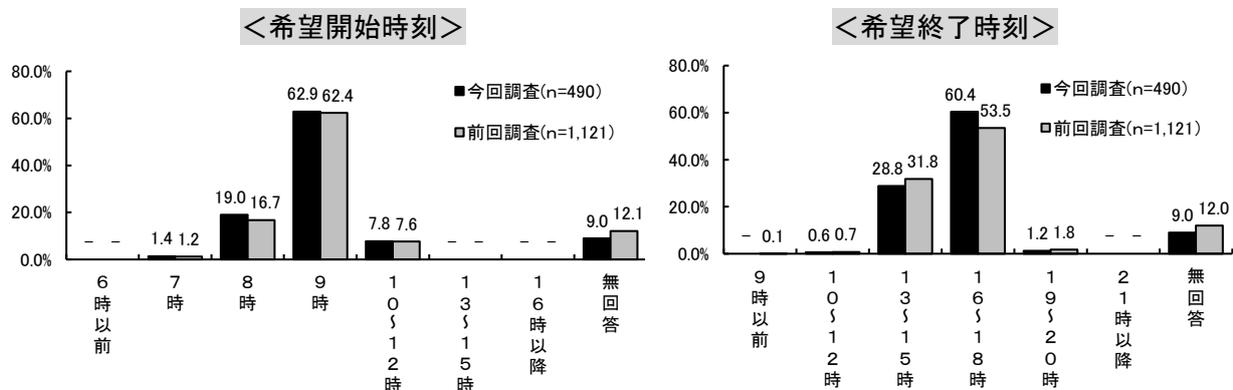
問29 あて名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休業期間中の保育所等の利用を希望しますか。(○は1つ。希望時間を枠内に記入。(例)9~18時)

※なお、これらの施設の利用には、一定の利用者負担が発生します。

図表132 幼稚園利用者の長期休暇中の定期的な教育・保育事業の利用意向



図表133 幼稚園利用者の長期休暇中の定期的な教育・保育事業の利用希望開始・終了時刻



幼稚園利用者の長期休暇中の定期的な教育・保育事業の利用意向については、「休みの期間中、週に数日利用したい」の割合が49.9%で最も高く、次いで「利用する必要はない」が24.8%、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」が22.0%となっている。

長期休暇中の利用希望者（「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」「休みの期間中、週に数日利用したい」と回答した人）に希望する利用開始・終了時刻をたずねたところ、希望開始時刻は、「9時」の割合が62.9%で最も高く、利用希望終了時刻は、「16~18時」の割合が60.4%で最も高くなっている。

前回調査と比較すると、利用希望終了時刻が「16~18時」の割合は6.9ポイント増加している。

母親の就労状況別にみると、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」と「休みの期間中、週に数日利用したい」を合わせた割合は、フルタイムで就労している場合で84.7%、パート・アルバイト等で就労している場合で81.3%となっている。

図表134 母親の就労状況別
幼稚園利用者の長期休暇中の定期的な教育・保育事業の利用意向

(単位: %)

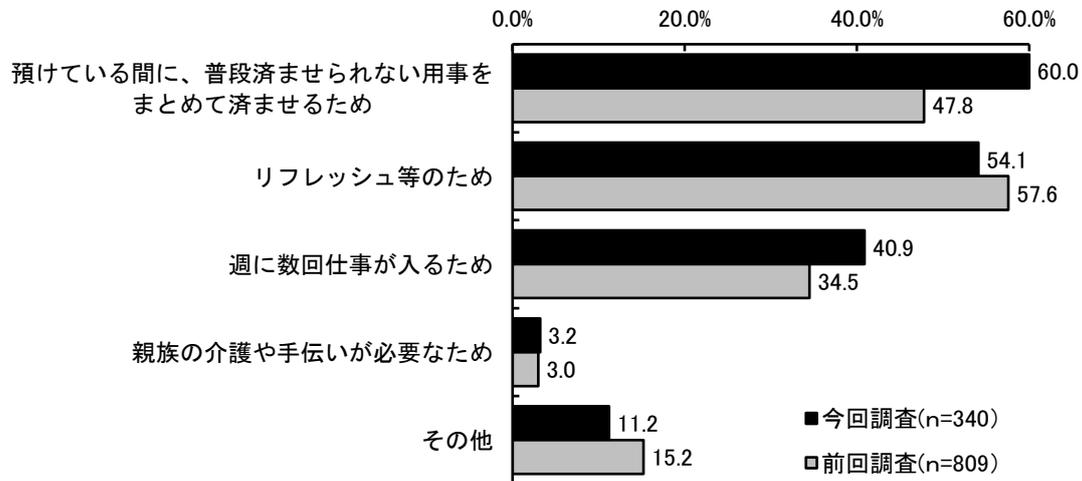
		標本数 (人)	利用する 必要はない	休みの期間中、 ほぼ毎日 利用したい	休みの期間中、 週に数日 利用したい	無回答
全 体		682	24.8	22.0	49.9	3.4
母 親 の 就 労 状 況 別	フルタイムで就労	92	9.8	54.3	30.4	5.4
	パート・アルバイト等で就労	235	17.0	30.2	51.1	1.7
	以前は就労していたが、 現在は就労していない	304	32.6	7.6	56.3	3.6
	これまで就労したことがない	15	66.7	13.3	20.0	-
	無回答	36	30.6	11.1	50.0	8.3

II 乳幼児の保護者調査結果

(2) 幼稚園利用者の長期休暇中の定期的な教育・保育事業をたまに利用したい理由

問29で「3. 休みの期間中、週に数日利用したい」に○をつけた方にうかがいます。
問29-1 毎日ではなく、週に数日だけ利用したい理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

図表135 幼稚園利用者の長期休暇中の定期的な教育・保育事業をたまに利用したい理由



幼稚園等利用者で長期休暇中に定期的な教育・保育事業を「休みの期間中、週に数日利用したい」と回答した人に、その理由をたずねたところ、「預けている間に、普段済ませられない用事をまとめて済ませるため」の割合が60.0%で最も高く、次いで「リフレッシュ等のため」が54.1%、「週に数回仕事が入るため」が40.9%となっている。

前回調査と比較すると、「預けている間に、普段済ませられない用事をまとめて済ませるため」の割合は12.2ポイント増加し、「週に数回仕事が入るため」の割合は6.4ポイント増加している。

母親の就労状況別にみると、パート・アルバイト等で就労している場合では「週に数回仕事が入るため」の割合が最も高く、以前は就労していたが、現在は就労していない場合では「預けている間に、普段済ませられない用事をまとめて済ませるため」の割合が最も高くなっている。

図表136 母親の就労状況別
幼稚園利用者の長期休暇中の定期的な教育・保育事業をたまに利用したい理由

		標本数(人)	週に数回仕事が入るため	預けている間に、普段済ませられない用事をまとめて済ませるため	親族の介護や手伝いが必要なため	リフレッシュ等のため	その他	無回答
全体		340	40.9	60.0	3.2	54.1	11.2	0.6
母親の就労状況別	フルタイムで就労	28	64.3	46.4	-	32.1	17.9	3.6
	パート・アルバイト等で就労	120	85.0	35.0	5.0	36.7	5.0	0.8
	以前は就労していたが、現在は就労していない	171	7.0	80.1	2.9	68.4	15.2	-
	これまで就労したことがない	3	-	66.7	-	100.0	33.3	-
	無回答	18	38.9	55.6	-	61.1	-	-

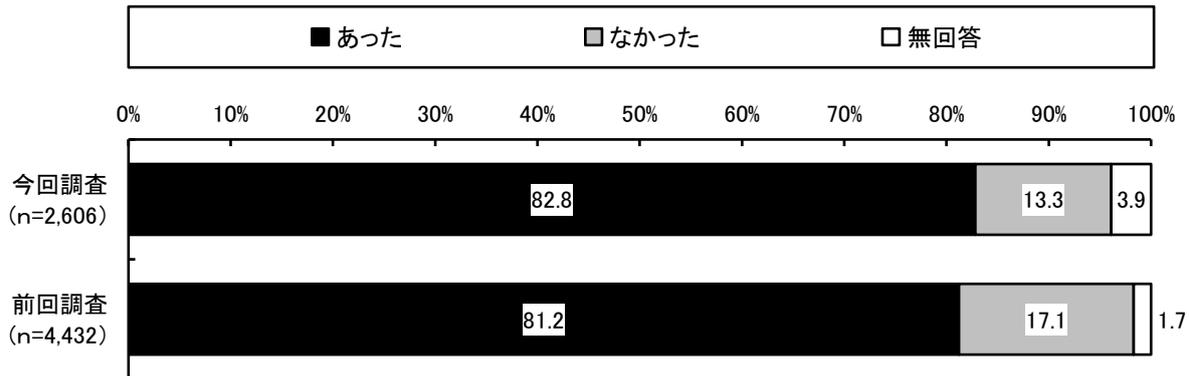
第8章 病気の際の対応について（平日の保育所等を利用する方のみ）

1. 子どもの病気等で平日の定期的な教育・保育事業を利用できなかった経験

平日、定期的に保育所等を利用していると答えた方（問25で1～10に○をつけた方）にうかがいます。

問30 この1年間に、あて名のお子さんが病気やけがで普段利用している施設・事業が利用できなかったことはありますか。（○は1つ）

図表137 子どもの病気等で平日の定期的な教育・保育事業を利用できなかった経験



子どもの病気等で平日の定期的な教育・保育事業を利用できなかった経験については、「あった」の割合が82.8%となっている。

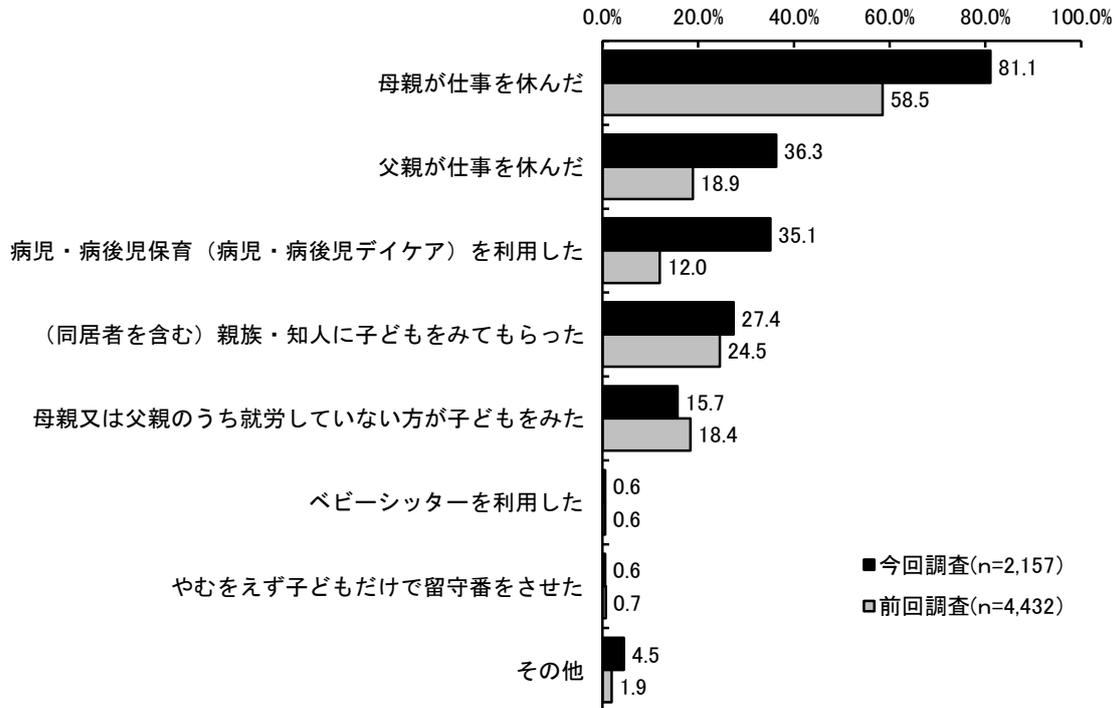
II 乳幼児の保護者調査結果

2. 子どもの病気等で平日の定期的な教育・保育事業を利用できなかった場合の対処方法

問30で「1. あった」に○をつけた方にかがいます。

問30-1 あて名のお子さんが病気やけがで普段利用している保育所等が利用できなかった場合に、この1年間に行った対応についてお答えください。
 (あてはまるものすべてに○。枠内にそれぞれの日数を記入。半日程度の場合も1日とカウント。)

図表138 子どもの病気等で平日の定期的な教育・保育事業を利用できなかった場合の対処方法



子どもの病気等で平日の定期的な教育・保育事業を利用できなかった場合の対処方法としては、「母親が仕事を休んだ」の割合が81.1%で最も高く、「父親が仕事を休んだ」が36.3%、「病児・病後児保育(病児・病後児デイケア)を利用した」が35.1%、「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」が27.4%、「母親又は父親のうち就労していない方が子どもをみた」が15.7%となっている。

前回調査と比較すると、「病児・病後児保育(病児・病後児デイケア)を利用した」の割合は23.1ポイント増加し、「母親が仕事を休んだ」の割合は22.6ポイント増加し、「父親が仕事を休んだ」の割合は17.4ポイント増加している。

子どもの年齢別にみると、子どもの年齢が下がるにつれて「父親が仕事を休んだ」「病児・病後児保育(病児・病後児デイケア)を利用した」の割合が高くなっている。また、子どもの年齢が上がるにつれて「母親又は父親のうち就労していない方が子どもをみた」の割合が高くなっている。

母親の就労状況別にみると、就労している場合では「母親が仕事を休んだ」の割合が9割を超えている。

子どもの病気等で平日の定期的な教育・保育事業を利用できなかった場合の対処方法別の日数は、<母親が仕事を休んだ>では「11日以上」、<父親が仕事を休んだ>では「6~10日」、<(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった>では「6~10日」、<ベビーシッターを利用した>では「3日」、<やむをえず子どもだけで留守番をさせた>では「1日」、<母親又は父親のうち就労していない方が子どもをみた>では「11日以上」、<病児・病後児保育(病児・病後児デイケア)を利用した>では「1日」の割合がそれぞれ最も高くなっている。

図表139 子どもの年齢別、母親の就労状況別
子どもの病気等で平日の定期的な教育・保育事業を利用できなかった場合の対処方法

(単位:%)

		標本数(人)	母親が仕事を休んだ	父親が仕事を休んだ	知人(同居者を含む)に子どもをみてもらった	ベビーシッターを利用した	やむをえず子どもだけで留守番をさせた	みた	母親又は父親のうち就労していない方が子どもをみた	利用した	病児・病後児保育(病児・病後児デイケア)を	その他	無回答
全体		2,157	81.1	36.3	27.4	0.6	0.6	15.7	35.1	4.5	0.7		
子どもの年齢別	0歳	184	89.1	47.3	31.0	2.2	0.5	4.3	46.2	4.3	-		
	1~2歳	676	89.5	46.3	31.5	0.6	0.4	8.9	35.5	4.4	0.7		
	3~5歳	1,265	75.5	29.8	24.6	0.2	0.7	20.9	33.4	4.5	0.7		
	無回答	32	78.1	21.9	31.3	3.1	-	18.8	34.4	3.1	3.1		
全体		2,151	81.3	36.3	27.3	0.6	0.6	15.8	35.1	4.5	0.7		
母親の就労状況別	フルタイムで就労	1,108	90.5	50.0	34.7	0.5	0.7	5.2	42.0	5.8	0.3		
	パート・アルバイト等で就労	715	92.7	27.3	25.0	0.8	0.7	7.0	31.0	3.6	0.6		
	以前は就労していたが、現在は就労していない	251	12.7	5.6	4.4	-	-	82.5	19.1	1.6	2.8		
	これまで就労したことがない	7	-	-	-	-	-	100.0	42.9	-	-		
	無回答	70	71.4	24.3	18.6	1.4	-	24.3	24.3	2.9	1.4		

図表140 子どもの病気等で平日の定期的な教育・保育事業を利用できなかった場合の対処方法別日数

(単位:%)

	標本数(人)	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日以上	無回答	平均日数(年間)
母親が仕事を休んだ	1,749	3.4	5.1	6.8	2.4	14.2	29.3	30.2	8.5	12.2				12.2
父親が仕事を休んだ	784	13.4	18.1	15.3	3.8	17.6	19.5	5.7	6.5	5.4				5.4
(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった	591	12.0	14.0	11.8	4.4	17.8	19.0	11.0	10.0	6.6				6.6
ベビーシッターを利用した	12	8.3	-	25.0	-	16.7	16.7	16.7	16.7	7.3				7.3
やむをえず子どもだけで留守番をさせた	13	46.2	7.7	23.1	7.7	7.7	-	-	7.7	2.2				2.2
母親又は父親のうち就労していない方が子どもをみた	339	5.0	3.8	5.0	0.6	9.1	25.4	39.5	11.5	15.5				15.5
病児・病後児保育(病児・病後児デイケア)を利用した	758	8.6	6.7	6.2	2.1	5.5	7.5	4.7	58.6	5.9				5.9
その他	96	5.2	5.2	5.2	4.2	12.5	27.1	16.7	24.0	11.2				11.2

Ⅱ 乳幼児の保護者調査結果

3. 病児・病後児のための保育施設の利用

(1) 病児・病後児のための保育施設の利用意向

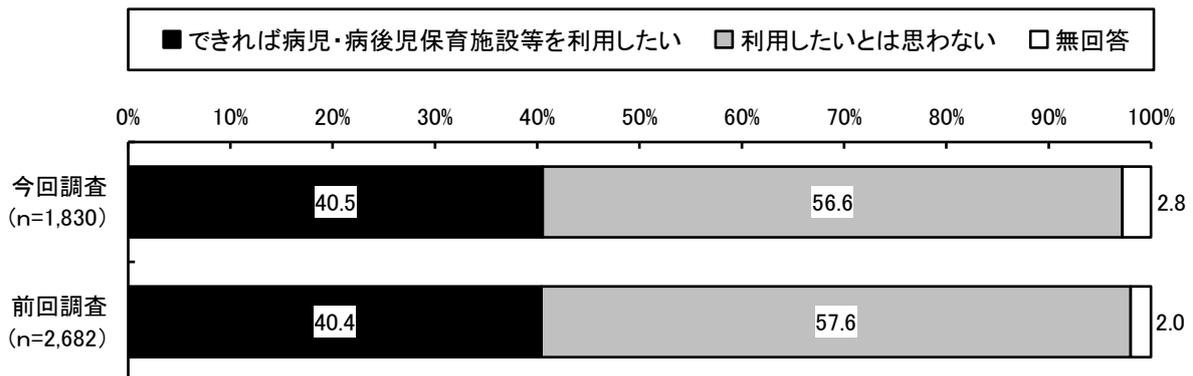
問30-1で「1」～「5」のいずれかに回答した方がいます。

問30-2 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設を利用したい」と思われましたか。

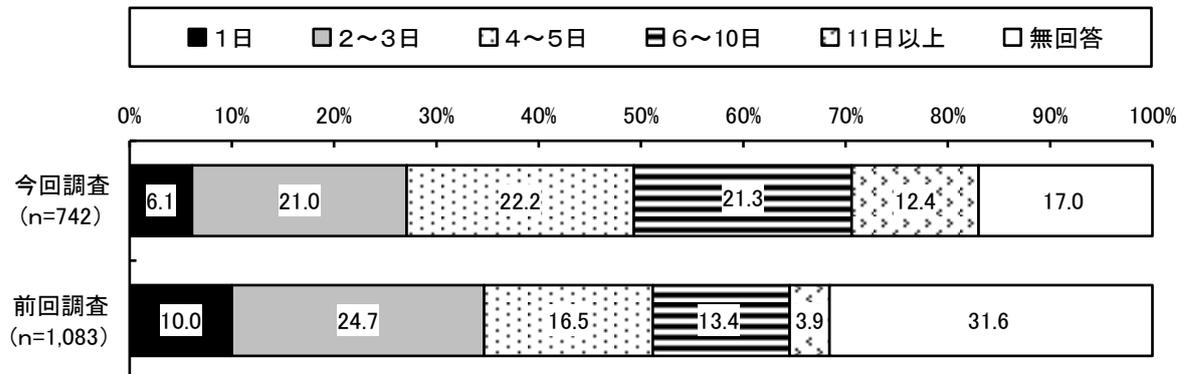
(○は1つ。枠内に日数を記入)

※病児・病後児のための保育施設の利用には、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

図表141 病児・病後児のための保育施設の利用意向



図表142 病児・病後児のための保育施設の希望利用日数



病児・病後児のための保育施設を利用したいかについては、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」の割合は40.5%となっている。

病児・病後児のための保育施設の希望利用日数については、「4～5日」の割合が22.2%で最も高く、次いで「6～10日」が21.3%、「2～3日」が21.0%、「11日以上」が12.4%、「1日」が6.1%となっている。

第8章 病気の際の対応について（平日の保育所等を利用する方のみ）

子どもの年齢別にみると、子どもの年齢が下がるにつれて「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」の割合が高くなっており、0歳では5割弱となっている。

母親の就労状況別にみると、フルタイムで就労している場合では「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」の割合が他の年齢に比べて高くなっている。

図表143 子どもの年齢別、母親の就労状況別 病児・病後児のための保育施設の利用意向

(単位:%)

		標本数 (人)	育 施 設 等 を 利 用 し た い ・ 病 後 児 保 育	利 用 し た い と は 思 わ な い	無 回 答
全 体		1,830	40.5	56.6	2.8
子 ど も の 年 齢 別	0歳	170	48.2	49.4	2.4
	1～2歳	627	45.1	51.8	3.0
	3～5歳	1,008	36.0	61.1	2.9
	無回答	25	56.0	44.0	-
全 体		1,824	40.4	56.8	2.8
母 親 の 就 労 状 況 別	フルタイムで就労	1,044	45.1	52.7	2.2
	パート・アルバイト等で就労	681	34.4	62.4	3.2
	以前は就労していたが、 現在は就労していない	47	31.9	63.8	4.3
	これまで就労したことがない	0	-	-	-
	無回答	52	32.7	59.6	7.7

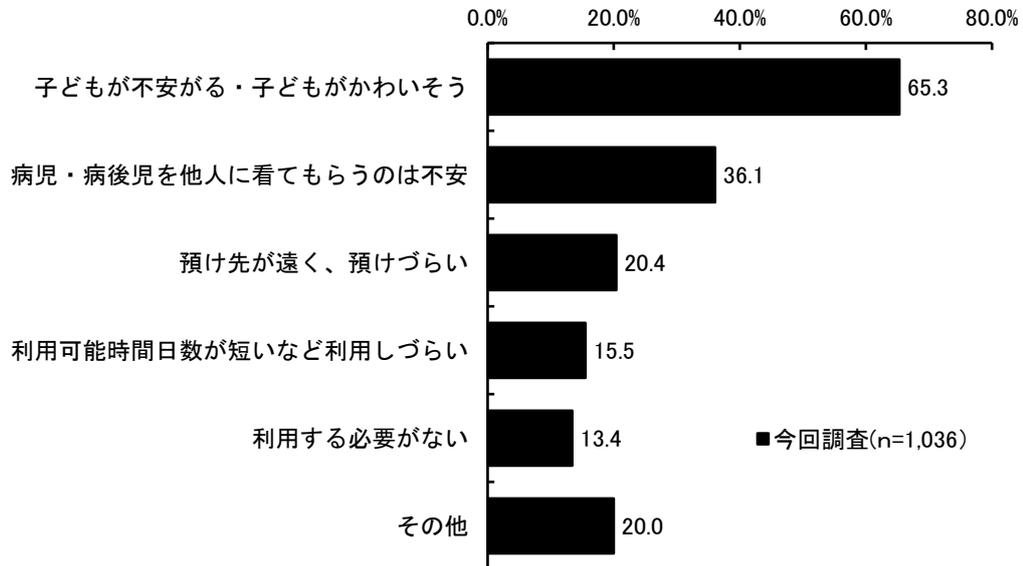
II 乳幼児の保護者調査結果

(2) 病児・病後児のための保育施設を利用したいと思わない理由

問30-2で「2. 利用したいと思わない」に○をつけた方にうかがいます。

問30-3 利用したいと思わない理由についてお答えください。(あてはまるものすべてに○)

図表144 病児・病後児のための保育施設を利用したいと思わない理由



病児・病後児のための保育施設を利用したいと思わない理由としては、「子どもが不安がる・子どもがかわいそう」の割合が65.3%で最も高く、次いで「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」が36.1%、「預け先が遠く、預けづらい」が20.4%、「利用可能時間日数が短いなど利用しづらい」が15.5%、「利用する必要がある」が13.4%となっている。

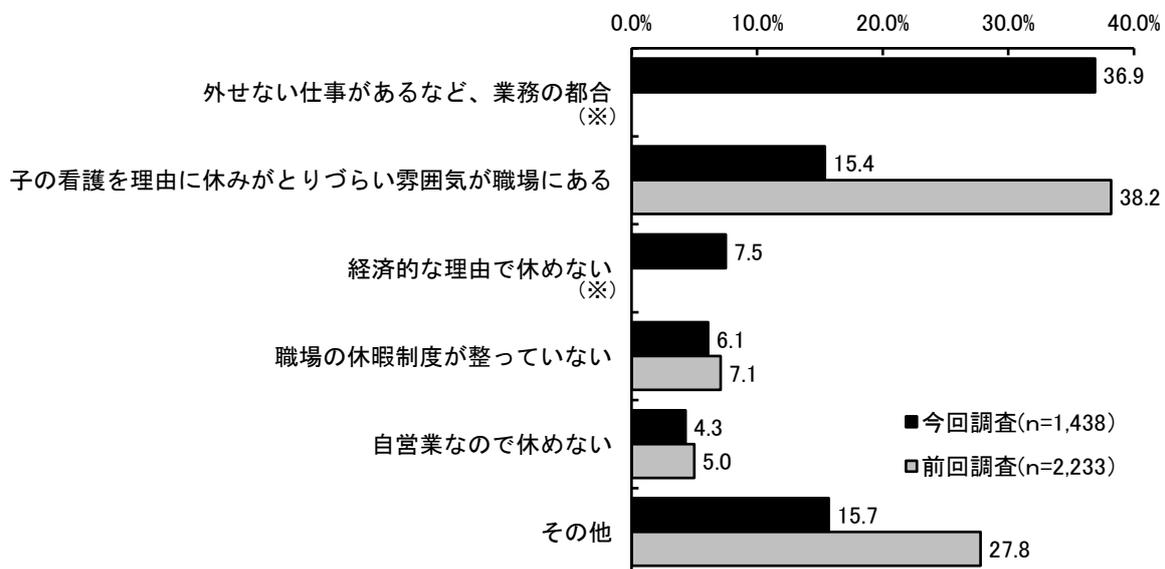
4. 「仕事を休む」以外の対応になった理由

問30-1で「3」～「8」のいずれかに回答した方にうかがいます。

問30-4 「仕事を休む」以外の対応を行った理由についてお答えください。

(あてはまるものすべてに○)

図表145 「仕事を休む」以外の対応になった理由



(※) 今回調査のみにある選択肢

仕事を休む以外の対応になった理由としては、「外せない仕事があるなど、業務の都合」の割合が36.9%で最も高く、次いで「子の看護を理由に休みがとりづらい雰囲気職場にある」が15.4%となっている。

選択肢に相違があるが前回調査と比較すると、「子の看護を理由に休みがとりづらい雰囲気職場にある」の割合は22.8ポイント減少している。

世帯年収別にみると、1,000万円以上では「外せない仕事があるなど、業務の都合」の割合が他の世帯年収に比べて高くなっている。また概ね世帯年収が低い世帯ほど「経済的な理由で休めない」の割合が高くなっている。

図表146 世帯年収別 「仕事を休む」以外の対応になった理由

(単位:%)

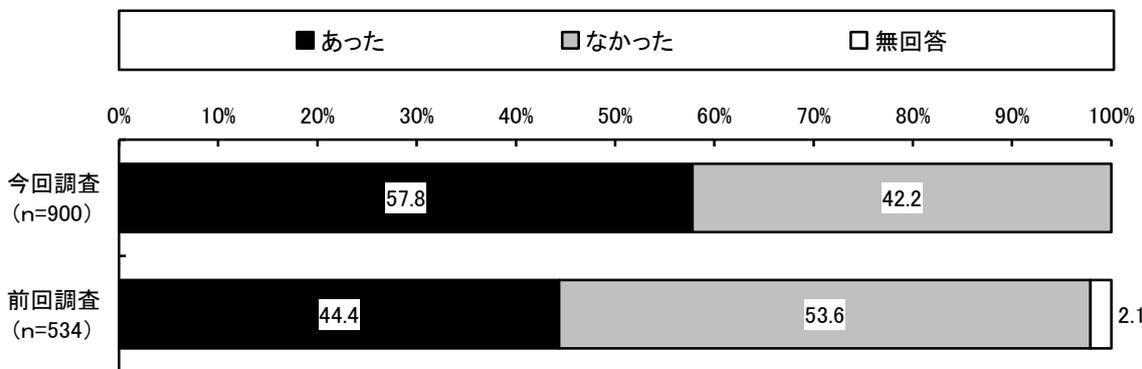
	標本数(人)	職場の いない 休暇 制度が 整って	子 の あ つ ら い 看 護 を 理 由 に 休 み が と り づ ら い 雰 囲 気 が 職 場 に あ る	自 営 業 な の で 休 め な い	ど 外 せ な い 業 務 の 仕 事 が あ る な い	経 済 的 な 理 由 で 休 め な い	そ の 他	無 回 答	
全 体	1,438	6.1	15.4	4.3	36.9	7.5	15.7	37.5	
世帯 年 収 別	200万円未満	45	13.3	17.8	4.4	17.8	20.0	11.1	51.1
	200～300万円未満	66	6.1	16.7	4.5	28.8	24.2	15.2	36.4
	300～400万円未満	122	8.2	15.6	3.3	32.0	13.9	12.3	42.6
	400～500万円未満	148	4.7	12.8	4.1	20.3	9.5	19.6	46.6
	500～700万円未満	386	4.9	14.0	5.7	36.8	7.5	18.1	37.0
	700～1,000万円未満	388	6.7	18.3	2.6	41.8	4.1	15.7	33.0
	1,000万円以上	247	5.3	13.8	4.0	50.6	2.0	12.1	33.2
	無回答	36	5.6	16.7	13.9	13.9	5.6	16.7	50.0

5. 病児・病後児保育の利用を断られた経験

病児・病後児保育を利用した（利用しようとした）方にうかがいます。

問31 利用申し込みをした際に、空きがないという理由で断られたことがありましたか。
（○は1つ）

図表147 病児・病後児保育の利用を断られた経験



※今回調査では「無回答」を除いて集計している

病児・病後児保育の利用を断られた経験については、「あった」が57.8%、「なかった」が42.2%となっている。

第9章 一時的な預かり等の利用について

1. 不定期の教育・保育事業の利用状況

問32 利用している事業に〔現在の利用日数〕を記入してください。また、今後利用したい事業（現在利用している事業を含む）に〔今後の利用希望日数〕を記入し、〔利用希望の理由〕をア～エから1つ選んで○をしてください。

※各事業の利用には、一定の利用料がかかります

図表148 不定期の教育・保育事業の現在の利用日数・今後の利用希望日数

(単位:%)

		標 本 数 (人)	1 0 日 以 内	1 1 ~ 5 0 日	5 1 ~ 5 1 0 0 日	1 0 1 日 以 上	無 回 答	平 均 日 数 (年 間)
現 在 の 利 用 日 数 (年 間)	一時預かり	591	24.2	6.9	0.7	4.6	63.6	37.7
	幼稚園の預かり保育	591	28.9	17.8	5.4	8.6	39.3	44.0
	ファミリー・サポート・センター	591	2.9	1.5	0.2	0.3	95.1	23.5
	ベビーシッター	591	2.7	1.0	0.5	0.2	95.6	23.2
	その他	591	1.7	0.3	0.2	0.2	97.6	23.7
今 後 の 利 用 希 望 日 数 (年 間)	一時預かり	591	16.4	10.8	1.7	4.6	66.5	47.2
	幼稚園の預かり保育	591	16.6	20.5	4.7	9.6	48.6	54.9
	ファミリー・サポート・センター	591	4.4	2.9	0.2	0.3	92.2	23.1
	ベビーシッター	591	4.6	2.9	0.5	0.5	91.5	27.9
	その他	591	0.7	0.7	0.3	0.3	98.0	45.8

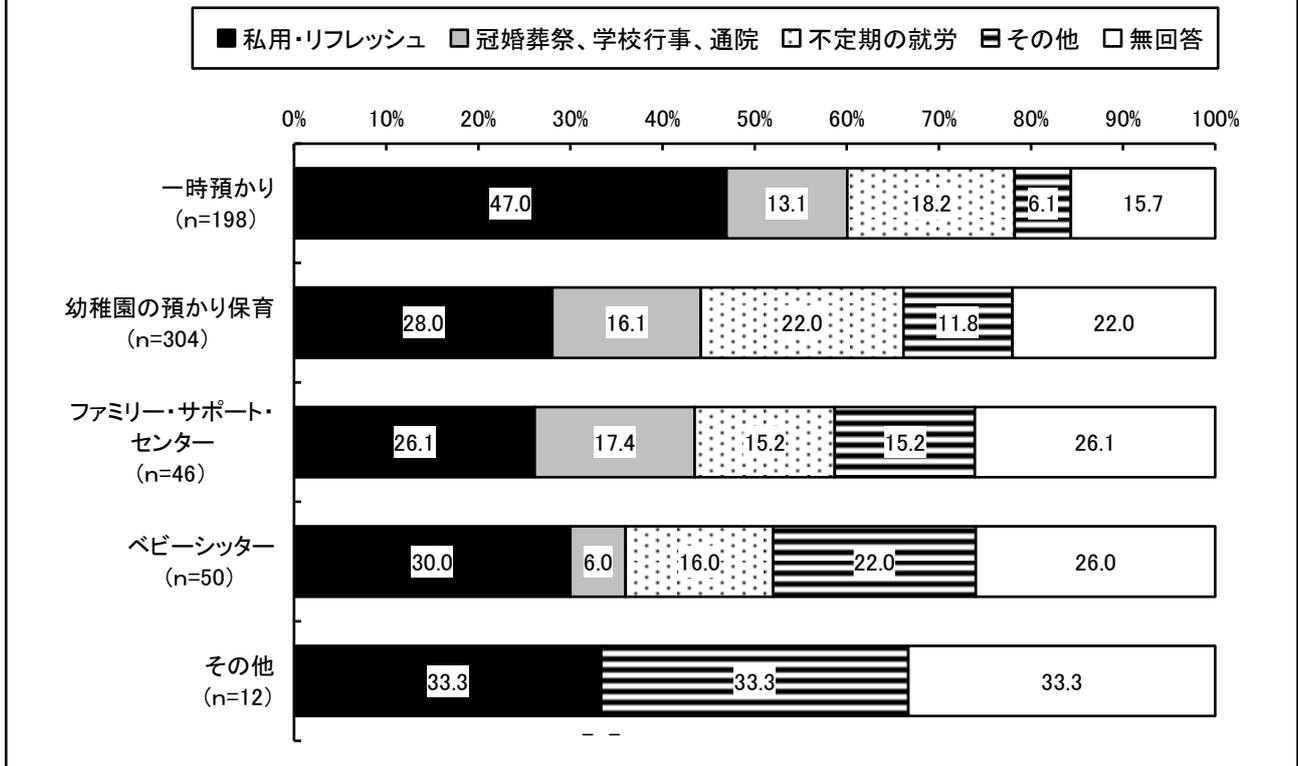
不定期の教育・保育事業の利用日数について、〈一時預かり〉の現在の利用日数は、「10日以内」の割合が24.2%で最も高く、利用希望日数も、「10日以内」の割合が16.4%で最も高く、次いで「11~50日」が10.8%となっている。

〈幼稚園の預かり保育〉の現在の利用日数は、「10日以内」の割合が28.9%で最も高く、次いで「11~50日」が17.8%、利用希望日数は、「11~50日」の割合が20.5%で最も高く、次いで「10日以内」が16.6%となっている。

〈ファミリー・サポート・センター〉の現在の利用日数は、「10日以内」の割合が2.9%で最も高く、利用希望日数も、「10日以内」の割合が4.4%で最も高くなっている。

〈ベビーシッター〉は、「10日以内」の割合が2.7%で最も高く、利用希望日数も「10日以内」の割合が4.6%で最も高くなっている。

図表149 不定期の教育・保育事業の利用を希望する理由



不定期の教育・保育事業の利用希望の理由としては、〈一時預かり〉については、「私用・リフレッシュ」の割合が47.0%で最も高く、次いで「不定期の就労」が18.2%、「冠婚葬祭、学校行事、通院」が13.1%となっている。

〈幼稚園の預かり保育〉については、「私用・リフレッシュ」の割合が28.0%で最も高く、次いで「不定期の就労」が22.0%、「冠婚葬祭、学校行事、通院」が16.1%、「その他」が11.8%となっている。

〈ファミリー・サポート・センター〉については、「私用・リフレッシュ」の割合が26.1%で最も高く、次いで「冠婚葬祭、学校行事、通院」が17.4%、「不定期の就労」が15.2%、「その他」が15.2%となっている。

〈ベビーシッター〉については、「私用・リフレッシュ」の割合が30.0%で最も高く、次いで「その他」が22.0%、「不定期の就労」が16.0%となっている。

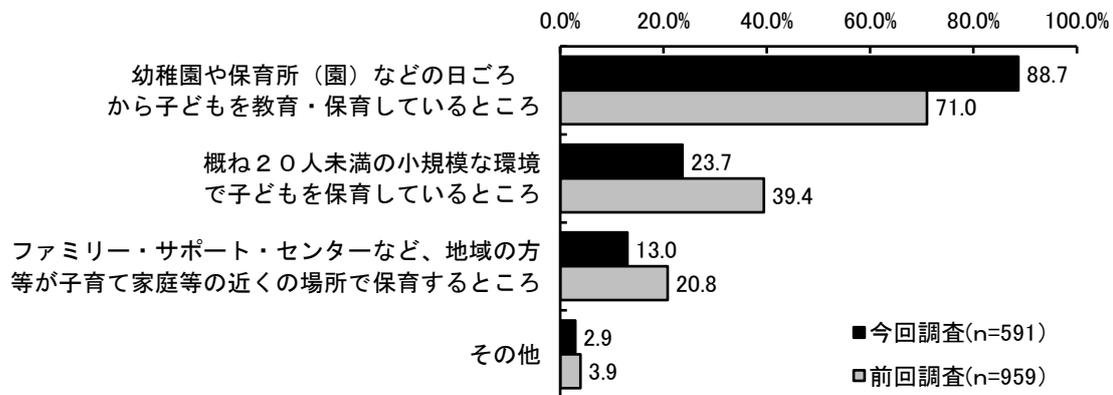
II 乳幼児の保護者調査結果

2. 一時的に子どもを預ける場合の望ましい環境

問32で「1」～「5」のいずれかを利用している方にうかがいます。

問32-1 一時的にお子さんを預ける場合、こういった環境が望ましいと思われませんか。
(あてはまるものすべてに○)

図表150 一時的に子どもを預ける場合の望ましい環境



一時的に子どもを預ける場合の望ましい環境については、「幼稚園や保育所（園）などの日ごろから子どもを教育・保育しているところ」の割合が88.7%で最も高く、次いで「概ね20人未満の小規模な環境で子どもを保育しているところ」が23.7%、「ファミリー・サポート・センターなど、地域の方等が子育て家庭等の近くの場所で保育するところ」が13.0%となっている。

前回調査と比較すると、「幼稚園や保育所（園）などの日ごろから子どもを教育・保育しているところ」の割合は17.7ポイント増加し、「概ね20人未満の小規模な環境で子どもを保育しているところ」の割合は15.7ポイント減少している。

子どもの年齢別にみると、子どもの年齢が上がるにつれて「幼稚園や保育所（園）などの日ごろから子どもを教育・保育しているところ」の割合が高くなっている。また、子どもの年齢が下がるにつれて「概ね20人未満の小規模な環境で子どもを保育しているところ」の割合が高くなっている。

図表151 子どもの年齢別 一時的に子どもを預ける場合の望ましい環境

(単位: %)

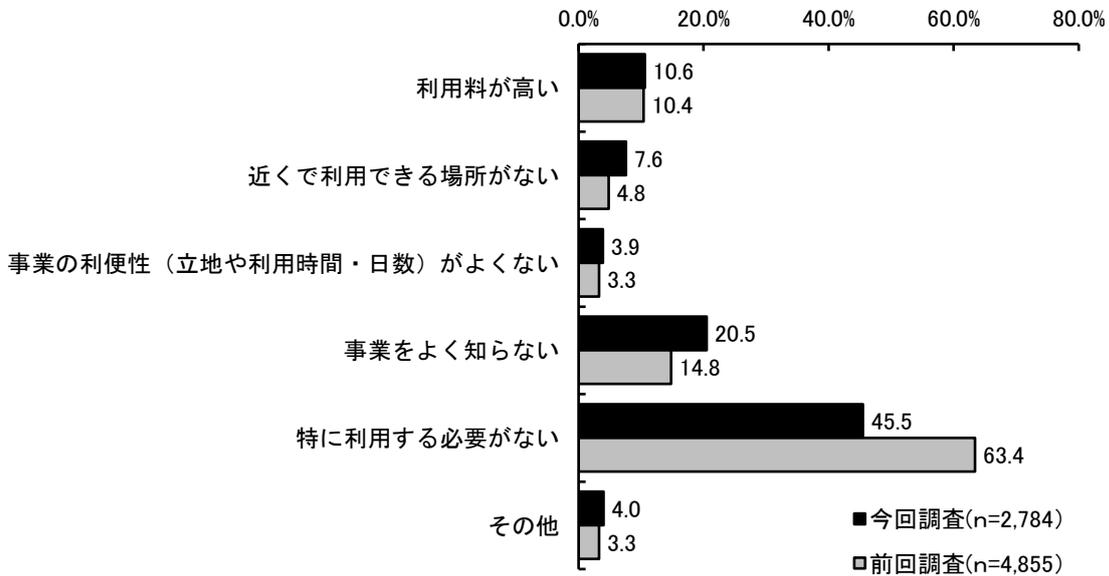
子どもの年齢別	標準数(人)	望ましい環境					無回答
		幼稚園や保育所（園）などから子どもを教育・保育しているところ	概ね20人未満の小規模な環境で子どもを保育しているところ	ファミリー・サポート・センターなど、地域の方等が子育て家庭等の近くの場所で保育するところ	その他	無回答	
全体	591	88.7	23.7	13.0	2.9	4.9	
子どもの年齢別	0歳	72	81.9	54.2	15.3	11.1	2.8
	1～2歳	137	83.2	32.8	15.3	0.7	6.6
	3～5歳	373	92.0	14.2	12.1	2.1	4.6
	無回答	9	88.9	33.3	-	-	11.1

3. 不定期の教育・保育事業を利用していない理由

問32で「6. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。

問32-2 現在利用していない理由は何ですか。(事業ごとに、あてはまるものすべてに○) また、[今後の利用希望日数]を記入し、[利用希望の理由]をア～エから1つ選んで○をしてください。利用希望がない場合は利用希望日数に「0」を記入してください。

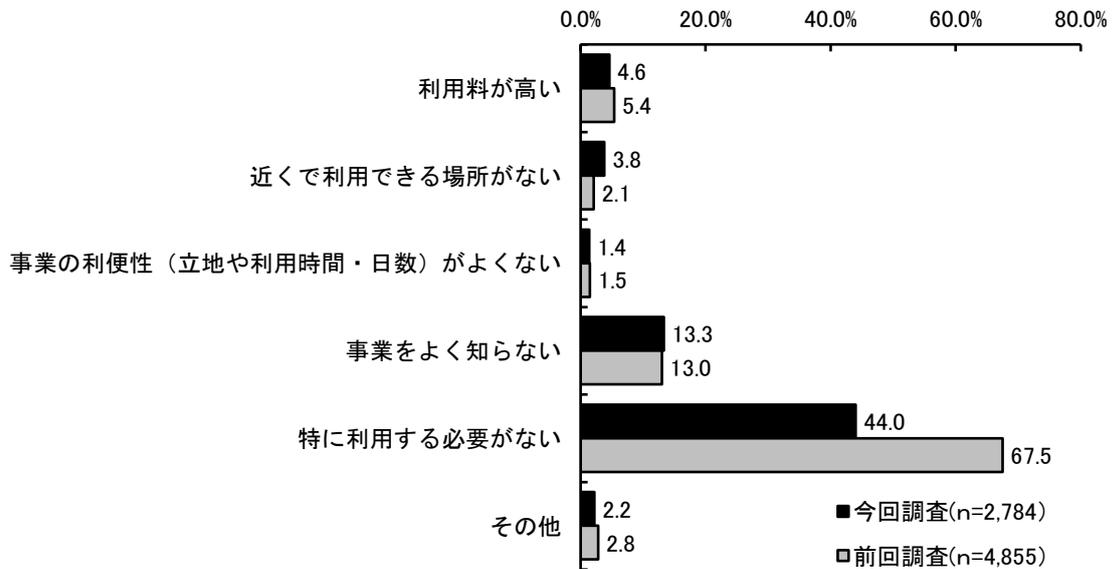
図表152 利用していない理由（一時預かり）



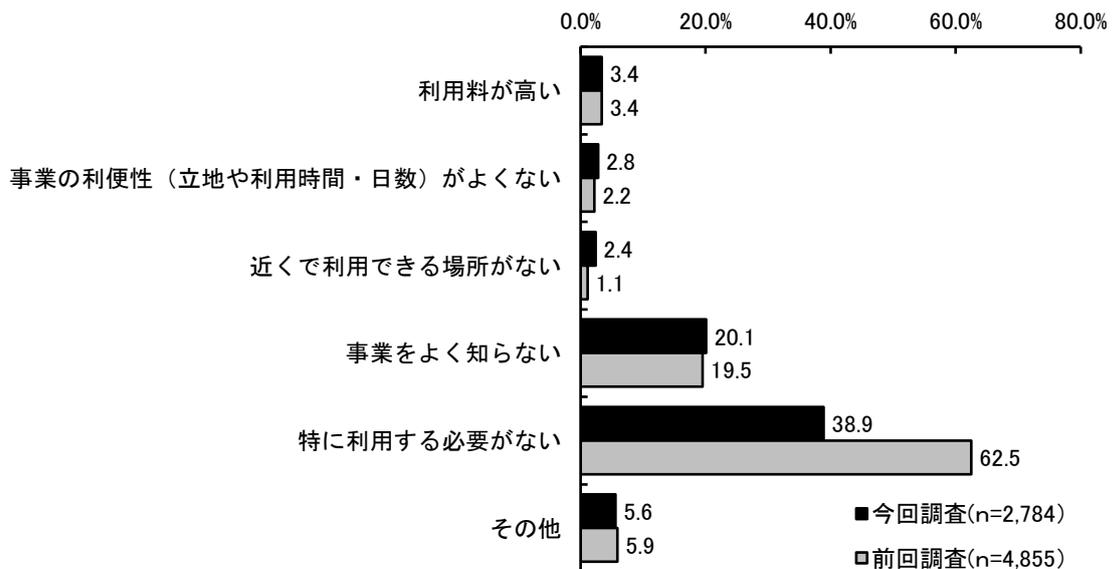
一時預かりを利用していない理由としては、「特に利用する必要がない」の割合が45.5%で最も高く、「事業をよく知らない」が20.5%、「利用料が高い」が10.6%となっている。

前回調査と比較すると、「事業をよく知らない」の割合は5.7ポイント増加し、「特に利用する必要がない」の割合は17.9ポイント減少している。

図表153 利用していない理由（幼稚園の預かり保育）



図表154 利用していない理由（ファミリー・サポート・センター）



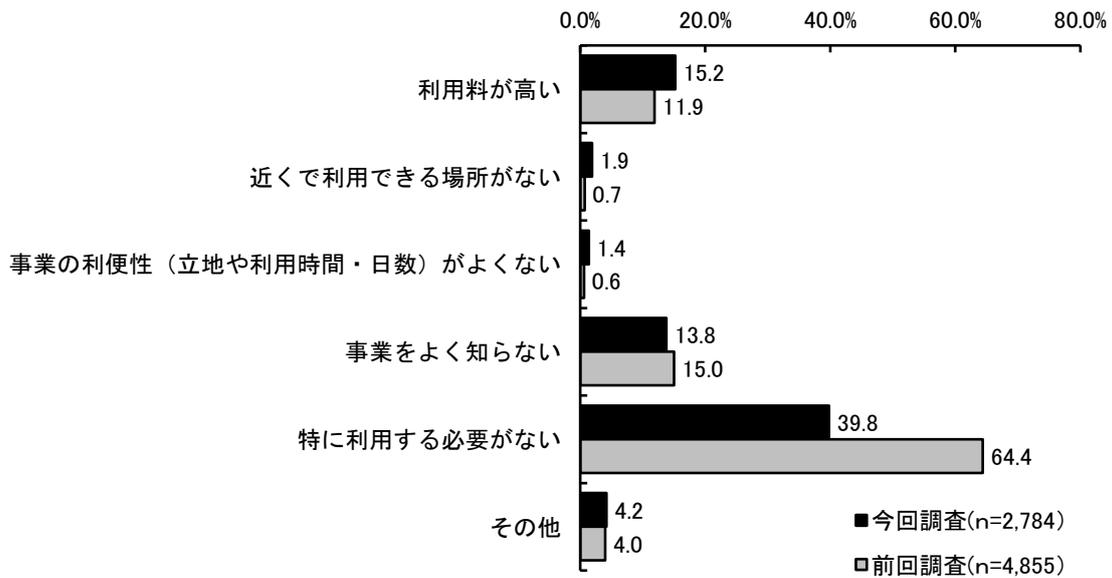
幼稚園の預かり保育を利用していない理由としては、「特に利用する必要がない」の割合が44.0%で最も高く、次いで「事業をよく知らない」が13.3%となっている。

前回調査と比較すると、「特に利用する必要がない」の割合は23.5ポイント減少している。

ファミリー・サポート・センターを利用していない理由としては、「特に利用する必要がない」の割合が38.9%で最も高く、次いで「事業をよく知らない」が20.1%となっている。

前回調査と比較すると、「特に利用する必要がない」の割合は23.6ポイント減少している。

図表155 利用していない理由（ベビーシッター）



ベビーシッターを利用していない理由としては、「特に利用する必要がない」の割合が39.8%で最も高く、次いで「利用料が高い」が15.2%、「事業をよく知らない」が13.8%となっている。前回調査と比較すると、「特に利用する必要がない」の割合は24.6ポイント減少している。

II 乳幼児の保護者調査結果

図表156 不定期の教育・保育事業の新たな利用を希望する日数

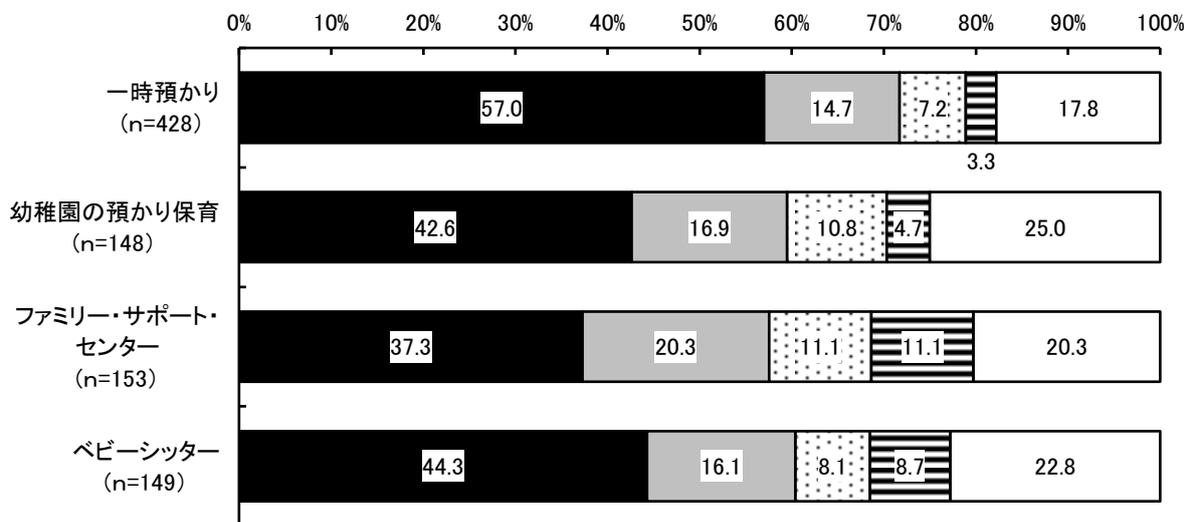
(単位:%)

	標本数 (人)	0日	1 ~ 10日	11 ~ 50日	51 ~ 100日	101 日以上	無回答	平均日数 (年間)
一時預かり	2,784	12.1	9.6	5.2	0.4	0.1	72.5	8.1
幼稚園の預かり保育	2,784	14.8	2.9	1.9	0.2	0.3	79.9	6.6
ファミリー・サポート・センター	2,784	14.6	3.7	1.7	0.1	-	79.9	3.3
ベビーシッター	2,784	15.2	3.5	1.7	0.1	-	79.4	3.3

現在利用していない人の今後の利用希望日数については、いずれの事業も「0日」の割合が最も高くなっている。

図表157 不定期の教育・保育事業の新たな利用を希望する理由

■ 私用・リフレッシュ □ 冠婚葬祭、学校行事、通院 □ 不定期の就労 □ その他 □ 無回答



現在利用していない人が新たに利用を希望する理由としては、いずれの事業も「私用・リフレッシュ」の割合が最も高くなっている。

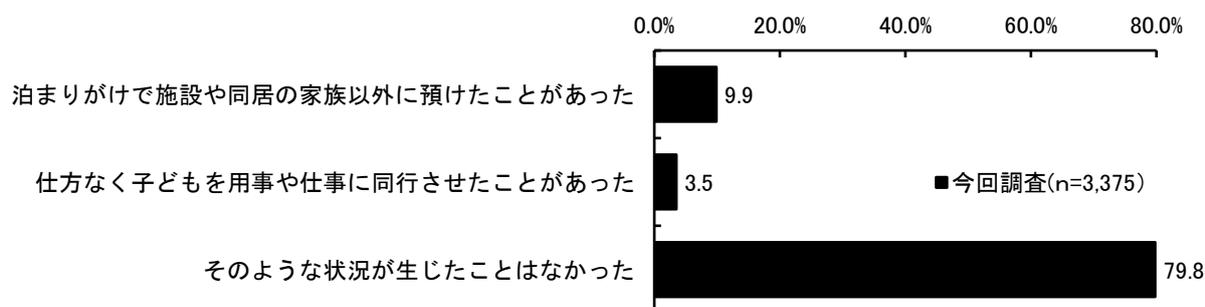
第10章 宿泊を伴う一時預かり等の利用について

1. 家族以外に泊まりがけで預けたり、用事や仕事に同行させた経験

問33 この1年間に、保護者の用事・仕事・病気などにより、あて名のお子さんを、施設や同居の家族以外に泊まりがけで預けたり、仕方なく用事や仕事に同行させたりしたことがありますか。

あてはまるものすべてに○をし、その宿泊数（1年間の合計）を枠内に記入してください。

図表158 家族以外に泊まりがけで預けたり、用事や仕事に同行させた経験



家族以外に泊まりがけで預けたり、用事や仕事に同行させた経験については、「そのような状況が生じたことはなかった」の割合が79.8%で最も高くなっている。

平均泊数（年間）は、〈泊まりがけで施設や同居の家族以外に預けたことがあった〉では、「2～3日」が最も高く、「1日」から「6～10日」まで分散している。〈仕方なく子どもを用事や仕事に同行させたことがあった〉では、「2～3日」と「1日」が高く、比較的日数は少ない。

図表159 施設や同居の家族以外に泊まりがけで預けた日数、用事や仕事に同行させた日数

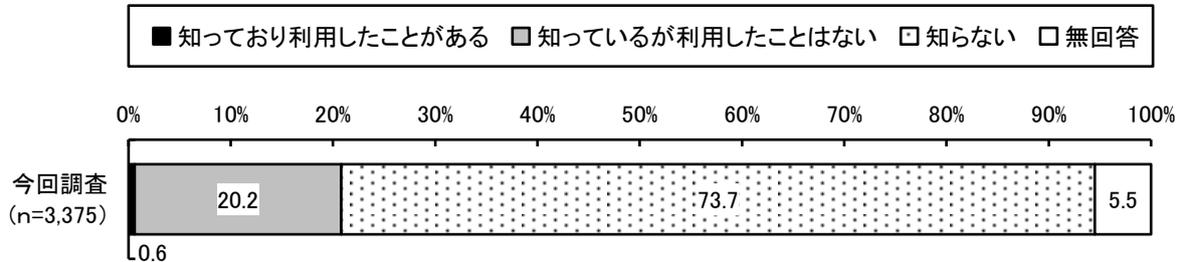
	標本数 (人)	(単位: %)									平均泊数 (年間)
		1日	2日	4日	6日	11日	31日	51日以上	無回答		
泊まりがけで施設や同居の家族以外に預けたことがあった	334	22.5	29.9	18.0	15.3	8.4	0.9	0.9	4.2		6.0
仕方なく子どもを用事や仕事に同行させたことがあった	118	19.5	31.4	9.3	11.0	2.5	-	1.7	24.6		6.4

II 乳幼児の保護者調査結果

2. 子どもショートステイの認知度と利用経験

問33-1 子どもの預け先として「子どもショートステイ」があることを知っていますか。
(○は1つ)

図表160 子どもショートステイの認知度と利用経験



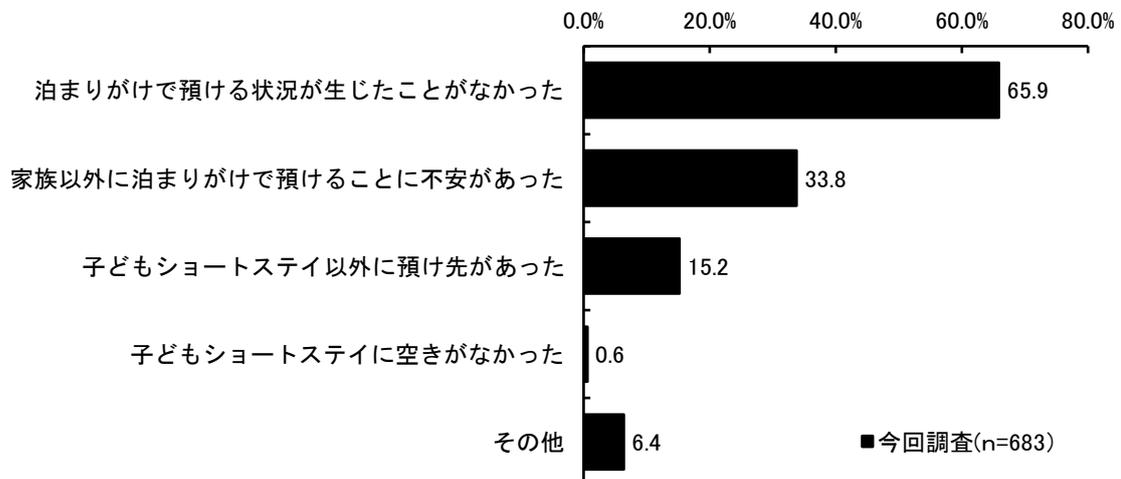
子どもショートステイの認知度と利用経験については、「知らない」の割合が73.7%で最も高く、「知っているが利用したことはない」が20.2%となっている。

3. 子どもショートステイを利用したことがない理由

問33-1で「2」と答えた方にうかがいます。

問33-2 子どもの預け先として子どもショートステイを利用したことがない理由は何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

図表161 子どもショートステイを利用したことがない理由

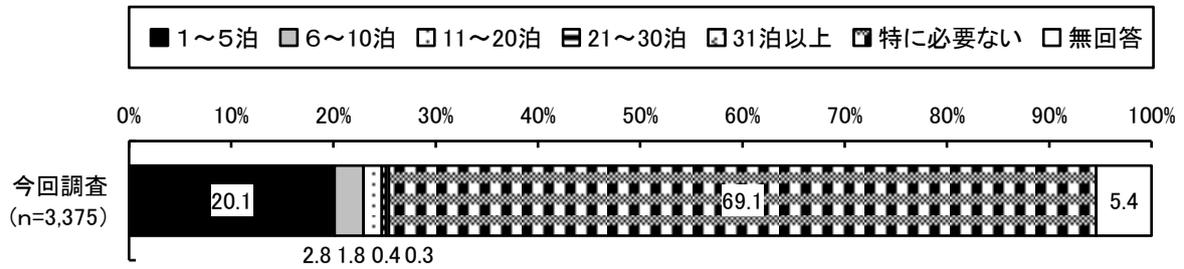


子どもショートステイを利用したことがない理由としては、「泊まりがけで預ける状況が生じたことがなかった」の割合が65.9%で最も高く、次いで「家族以外に泊まりがけで預けることに不安があった」が33.8%、「子どもショートステイ以外に預け先があった」が15.2%となっている。

4. 家族以外の施設等に年間何泊預けたいか

問33-3 あて名のお子さんについて、保護者の育児疲れや育児不安により、泊まりがけで年間何泊くらい家族以外の施設等に預けたいと思いますか。(〇は1つ)

図表162 家族以外の施設等に年間何泊預けたいか



家族以外の施設等に年間何泊預けたいかについては、「特に必要ない」の割合が69.1%で最も高く、次いで「1～5泊」が20.1%となっている。

第11章 小学校就学後の放課後の過ごし方について

1. 小学校就学後の放課後の過ごし方の希望

⇒ あて名のお子さんが5歳未満の方は、問35へ

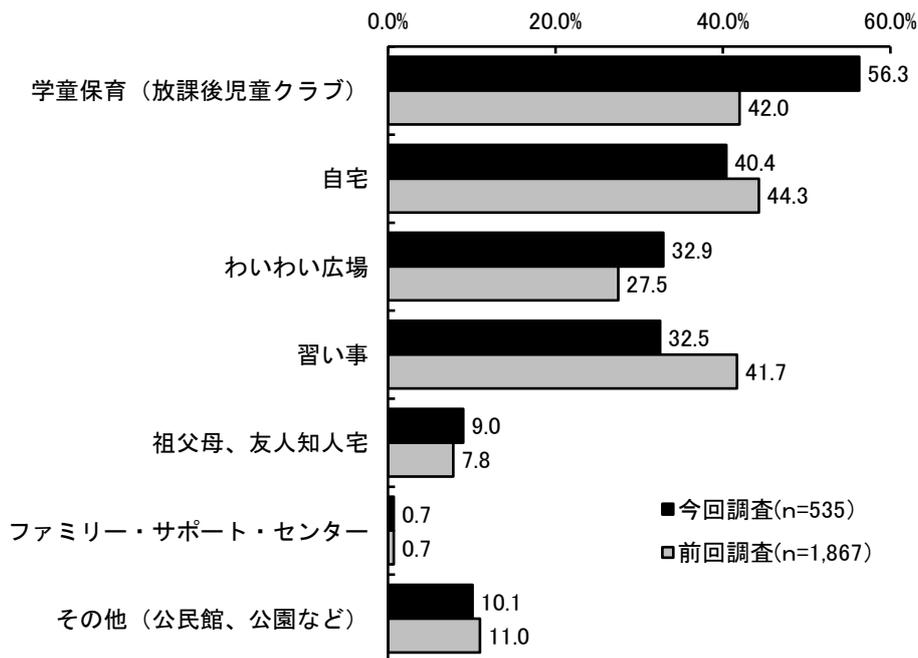
問34 あて名のお子さんについて、放課後（平日の小学校終了後）をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。

（あてはまるものすべてに○。それぞれ枠内に日数を記入）

また、学童保育（放課後児童クラブ）の場合には、希望時間もお答えください。

（枠内に日数を記入。（例）18時）

図表163 小学校就学後の放課後の過ごし方の希望



5歳以上の子どもの保護者に、小学校入学後の放課後の過ごし方についての意向を尋ねた結果、「学童保育（放課後児童クラブ）」の割合が56.3%で最も高く、次いで「自宅」が40.4%、「わいわい広場」が32.9%、「習い事」が32.5%、「その他（公民館、公園など）」が10.1%、となっている。

前回調査と比較すると、「学童保育（放課後児童クラブ）」の割合は14.3ポイント増加し、「習い事」の割合は9.2ポイント減少している。

母親の就労状況別にみると、就労している場合は「学童保育（放課後児童クラブ）」の割合が高く、就労していない場合は「自宅」「習い事」の割合が高くなっている。

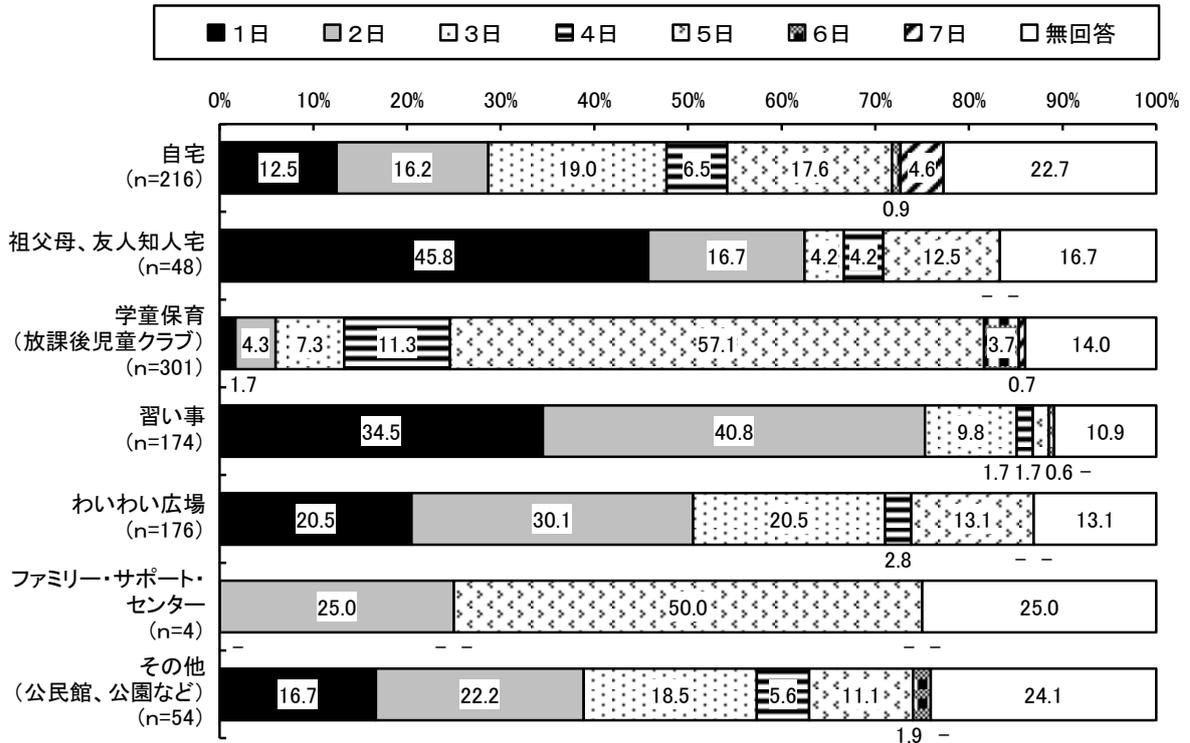
図表164 母親の就労状況別 小学校就学後の放課後の過ごし方の希望

(単位:%)

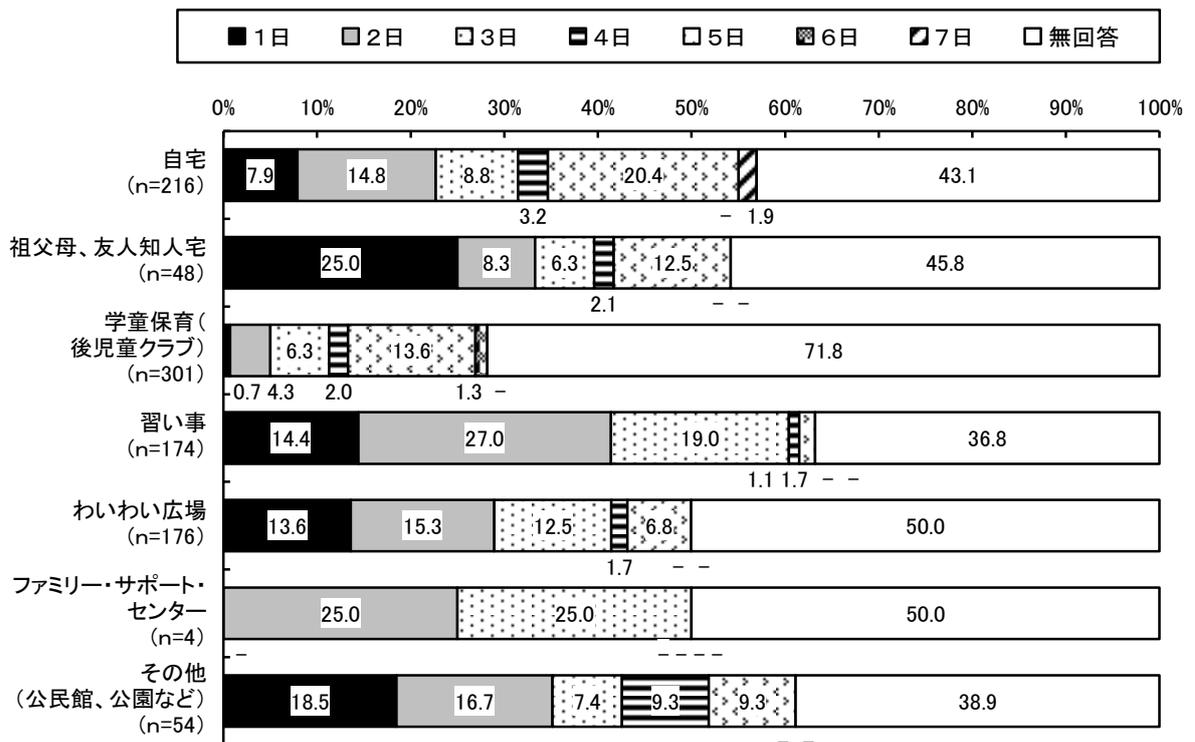
		標本数 (人)	自宅	祖父母、 友人知人宅	学童保育 (放課後児童ク ラブ)	習い事	わいわい広場	ファミリ ー・サポ ート・セ ンター	その他 (公民館、公園 な)	無回 答
全 体		533	40.3	9.0	56.3	32.6	33.0	0.8	10.1	18.8
母 親 の 就 労 状 況 別	フルタイムで就労	208	24.0	10.6	73.1	28.8	30.3	1.0	6.7	17.8
	パート・アルバイト等で就労	207	44.0	8.2	54.1	30.4	34.8	0.5	8.7	20.3
	以前は就労していたが、 現在は就労していない	94	64.9	8.5	26.6	42.6	37.2	1.1	19.1	17.0
	これまで就労したことがない	7	42.9	14.3	57.1	57.1	28.6	-	28.6	14.3
	無回答	17	58.8	-	41.2	41.2	23.5	-	11.8	23.5

II 乳幼児の保護者調査結果

図表165 放課後に過ごさせたい場所の日数（小学校1～3年生）



図表166 放課後に過ごさせたい場所の日数（小学校4～6年生）



放課後に過ごさせたい場所の日数（小学校1～3年生）は、〈自宅〉については、「3日」の割合が19.0%で最も高く、「5日」が17.6%、「2日」が16.2%、「1日」が12.5%となっている。

〈祖父母、友人知人宅〉については、「1日」の割合が45.8%で最も高く、「2日」が16.7%となっている。

〈学童保育（放課後児童クラブ）〉については、「5日」の割合が57.1%で最も高く、「4日」が11.3%となっている。

〈習い事〉については、「2日」の割合が40.8%で最も高く、「1日」が34.5%となっている。

〈わいわい広場〉については、「2日」の割合が30.1%で最も高く、「1日」が20.5%、「3日」が20.5%、「5日」が13.1%となっている。

〈ファミリー・サポート・センター〉については、「5日」の割合が50.0%で最も高く、「2日」が25.0%となっている。

〈その他（公民館、公園など）〉については、「2日」の割合が22.2%で最も高く、「3日」が18.5%、「1日」が16.7%、「5日」が11.1%となっている。

放課後に過ごさせたい場所の日数（小学校4～6年生）は、〈自宅〉については、「5日」の割合が20.4%で最も高く、「2日」が14.8%となっている。

〈祖父母、友人知人宅〉については、「1日」の割合が25.0%で最も高く、「5日」が12.5%となっている。

〈学童保育（放課後児童クラブ）〉については、「5日」の割合が13.6%で最も高くなっている。

〈習い事〉については、「2日」の割合が27.0%で最も高く、「3日」が19.0%、「1日」が14.4%となっている。

〈わいわい広場〉については、「2日」の割合が15.3%で最も高く、「1日」が13.6%、「3日」が12.5%となっている。

〈ファミリー・サポート・センター〉については、「2日」の割合が25.0%で最も高く、「3日」が25.0%となっている。

〈その他（公民館、公園など）〉については、「1日」の割合が18.5%で最も高く、「2日」が16.7%となっている。

〈学童保育（放課後児童クラブ）〉の希望時間としては、小学校1～3年生、小学校4～6年生ともに「18時まで」の割合が最も高くなっている。

図表167 学童保育の希望時間

	標本数（人）	希望時間（%）								
		14時まで	15時まで	16時まで	17時まで	18時まで	19時まで	20時まで	21時まで	無回答
小学校1～3年生	301	-	0.7	6.0	32.9	35.9	8.6	-	-	15.9
小学校4～6年生	301	-	0.3	1.7	9.6	12.6	3.0	0.3	-	72.4

Ⅱ 乳幼児の保護者調査結果

2. 学童保育の利用希望（土曜日、日曜日・祝日、長期休業中）

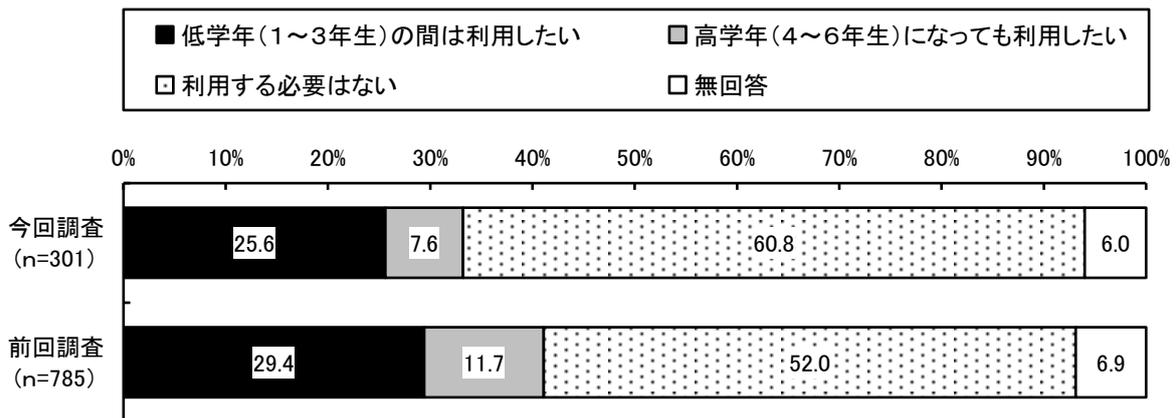
問34で「3. 学童保育（放課後児童クラブ）」に○をつけた方にうかがいます。

問34-1 あて名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日、長期休業中（夏休み冬休みなど）に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。

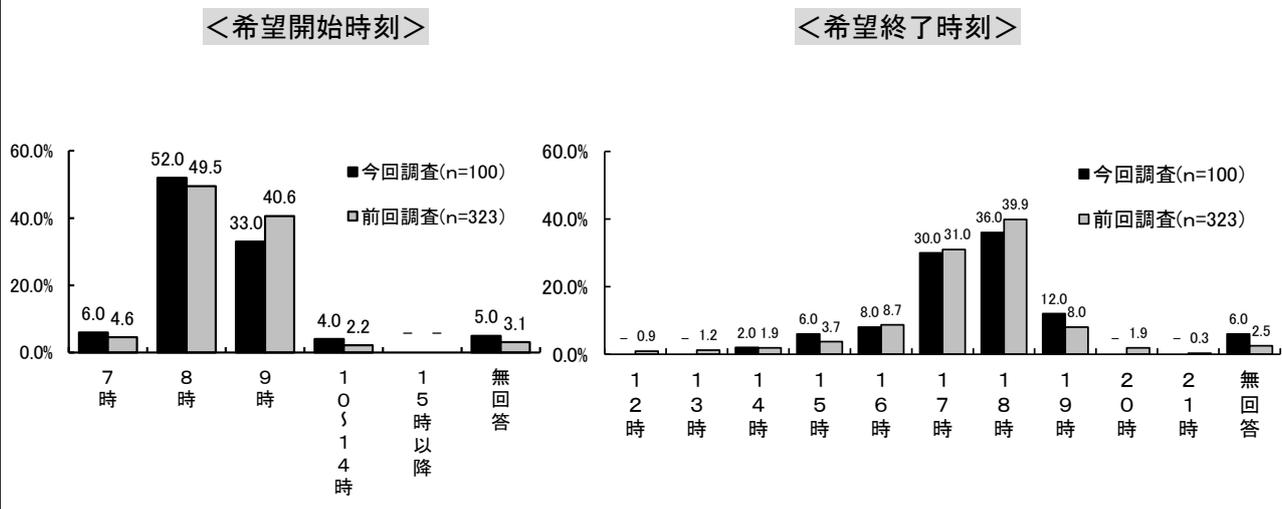
（○は1つ。枠内に時間帯を記入。（例）9時～18時）

※事業の利用には、一定の利用料がかかります。

図表168 学童保育の利用希望（土曜日）



図表169 学童保育の利用希望時刻（土曜日）



土曜日の学童保育の利用希望については、「利用する必要はない」の割合が60.8%で最も高く、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」が25.6%となっている。

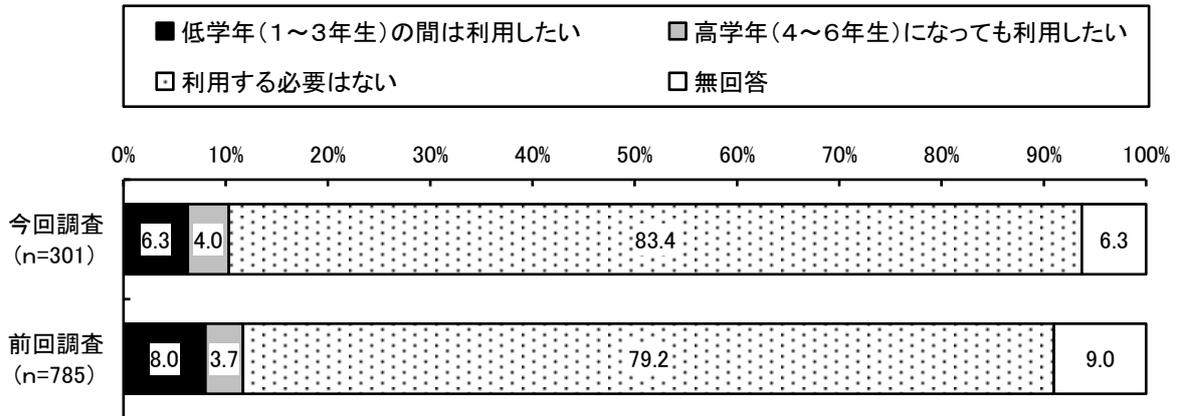
前回調査と比較すると、「利用する必要はない」の割合は8.8ポイント増加している。

土曜日の学童保育の利用希望開始時刻は、「8時」の割合が52.0%で最も高く、「9時」が33.0%となっている。

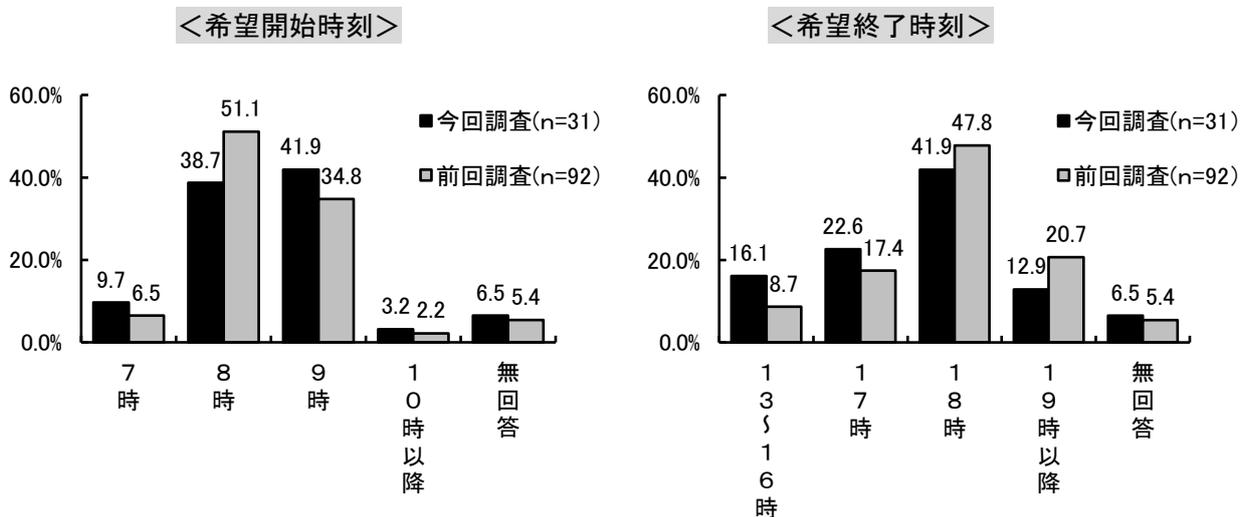
また、利用希望終了時刻は、「18時」の割合が36.0%で最も高く、「17時」が30.0%、「19時」が12.0%となっている。

前回調査と比較すると、利用開始希望時刻の「9時」の割合は7.6ポイント減少している。

図表170 学童保育の利用希望（日曜日・祝日）



図表171 学童保育の利用希望時刻（日曜日・祝日）



日曜日・祝日の学童保育の利用希望については、「利用する必要はない」の割合が83.4%で最も高くなっている。

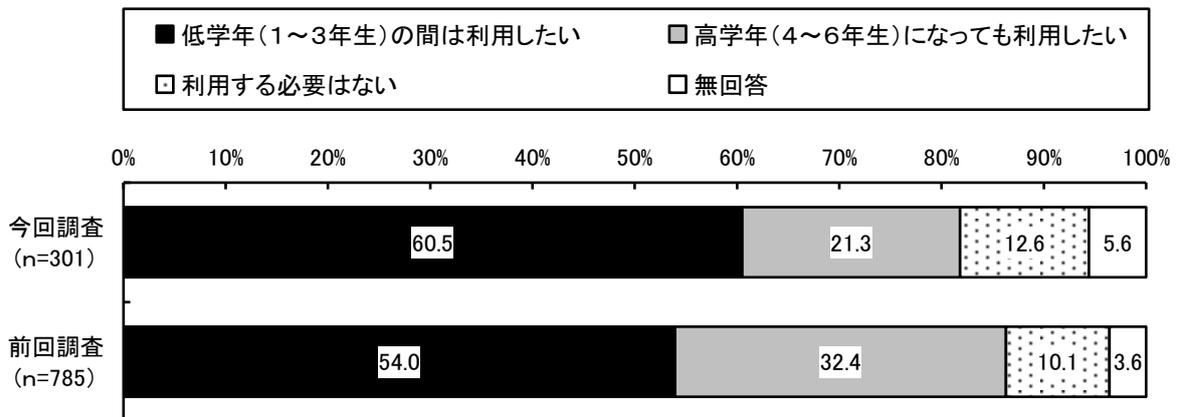
日曜日・祝日の学童保育の利用希望開始時刻は、「9時」の割合が41.9%で最も高く、「8時」が38.7%となっている。

前回調査と比較すると、「9時」の割合は7.1ポイント増加し、「8時」の割合は12.4ポイント減少している。

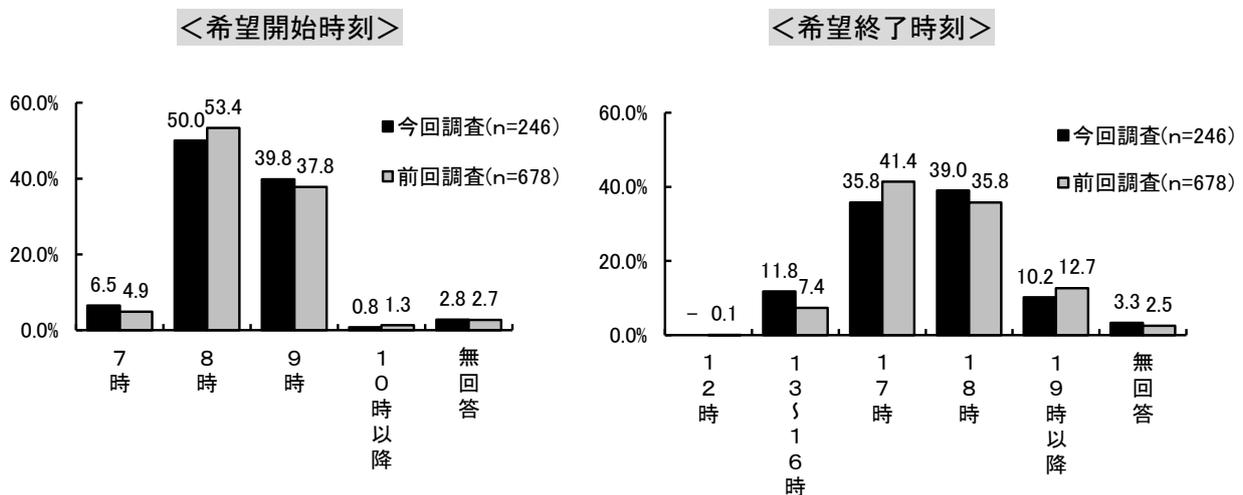
また、利用希望終了時刻は、「18時」の割合が41.9%で最も高く、「17時」が22.6%、「13~16時」が16.1%、「19時以降」が12.9%となっている。

前回調査と比較すると、「13~16時」の割合は7.4ポイント増加し、「19時以降」の割合は7.8ポイント減少している。

図表172 学童保育の利用希望（長期休業）



図表173 学童保育の利用希望開始時刻（長期休業）



長期休業中の学童保育の利用希望については、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」の割合が60.5%で最も高く、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が21.3%、「利用する必要はない」が12.6%となっている。

前回調査と比較すると、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」の割合は6.5ポイント増加し、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」の割合は11.1ポイント減少している。

長期休業の学童保育の利用希望開始時刻は、「8時」の割合が50.0%で最も高く、「9時」が39.8%となっている。

また、利用希望終了時刻は、「18時」の割合が39.0%で最も高く、次いで「17時」が35.8%、「13～16時」が11.8%、「19時以降」が10.2%となっている。

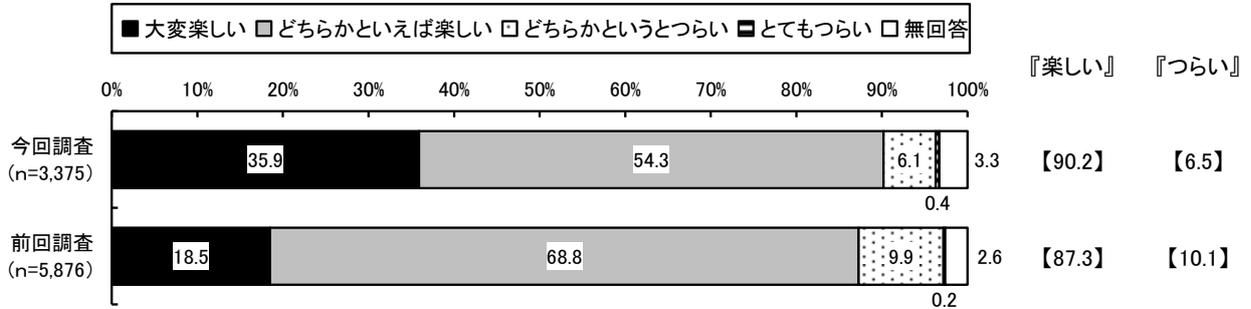
前回調査と比較すると、「17時」の割合は5.6ポイント減少している。

第12章 子どもや子育て支援に関する意見

1. 子育てを楽しんでいる割合

問35 あなたは、子育てが楽しいですか。(〇は1つ)

図表174 子育てを楽しんでいる割合



子育てが楽しいと感じる割合については、『楽しい』（「大変楽しい」と「どちらかといえば楽しい」を合わせた割合）は90.2%となっている。

前回調査と比較すると、「大変楽しい」の割合は17.4ポイント増加している。

II 乳幼児の保護者調査結果

子どもの年齢別にみると、年齢が下がるにつれて『楽しい』の割合が高くなっており、0歳では93.4%となっている。

母親の就労状況別にみると、フルタイムで就労及びこれまで就労したことがない場合では『楽しい』の割合が9割を超えている。

世帯分類別にみると、三世代及びひとり親では『楽しい』の割合は8割半ばとなっており、他の世帯に比べてやや低くなっている。

子育てを主に行っている人別にみると、『楽しい』の割合は〔父母ともに〕で91.6%、〔主に母親〕で88.9%となっている。

図表175 子どもの年齢別、母親の就労状況別、世帯分類別、子育てを主に行っている人別
子育てを楽しんでいる割合

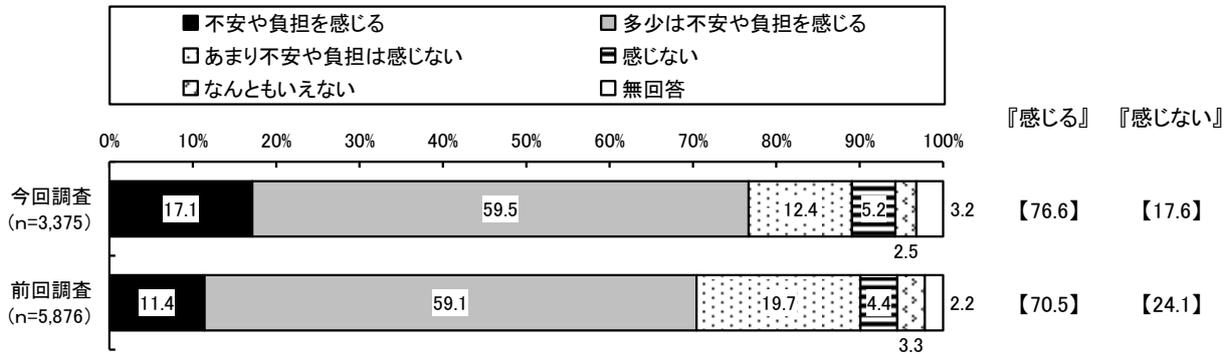
(単位:%)

		標本数 (人)	大変 楽しい	どちらか といえば 楽しい	どちらか という とつらい	とても つらい	無 回答	『 楽しい 』	『 つらい 』
全 体		3,375	35.9	54.3	6.1	0.4	3.3	90.2	6.5
子 ど も の 年 齢 別	0歳	603	44.8	48.6	3.2	0.7	2.8	93.4	3.9
	1～2歳	1,088	36.5	54.0	6.0	0.6	3.0	90.5	6.6
	3～5歳	1,618	32.4	56.7	7.2	0.3	3.3	89.1	7.5
	無回答	66	27.3	51.5	10.6	-	10.6	78.8	10.6
全 体		3,368	35.8	54.3	6.1	0.4	3.3	90.1	6.5
母 親 の 就 労 状 況 別	フルタイムで就労	1,510	38.2	53.2	4.7	0.3	3.5	91.4	5.0
	パート・アルバイト等で就労	968	32.5	56.7	6.9	0.3	3.5	89.2	7.2
	以前は就労していたが、 現在は就労していない	738	35.1	53.8	8.4	0.9	1.8	88.9	9.3
	これまで就労したことがない	31	35.5	61.3	3.2	-	-	96.8	3.2
	無回答	121	37.2	50.4	4.1	-	8.3	87.6	4.1
全 体		3,375	35.9	54.3	6.1	0.4	3.3	90.2	6.5
世 帯 分 類 別	三世代	75	46.7	40.0	10.7	-	2.7	86.7	10.7
	核家族	3,087	35.9	54.6	6.0	0.4	3.1	90.5	6.4
	ひとり親	116	28.4	57.8	7.8	1.7	4.3	86.2	9.5
	ひとり親三世代	24	33.3	58.3	4.2	-	4.2	91.6	4.2
	その他	59	42.4	49.2	5.1	-	3.4	91.6	5.1
無回答	14	14.3	35.7	7.1	7.1	35.7	50.0	14.2	
全 体		3,375	35.9	54.3	6.1	0.4	3.3	90.2	6.5
子 育 て を 主 に 行 っ て い る 人 別	父母ともに	1,752	41.2	50.4	4.5	0.2	3.8	91.6	4.7
	主に母親	1,584	29.9	59.0	8.0	0.8	2.5	88.9	8.8
	主に父親	14	50.0	42.9	7.1	-	-	92.9	7.1
	主に祖父母	9	22.2	55.6	-	-	22.2	77.8	-
	その他	5	60.0	40.0	-	-	-	100.0	-
	無回答	11	36.4	18.2	9.1	-	36.4	54.6	9.1

2. 子育ての不安や負担感

問36 子育てに関して不安や負担などはお感じですか。(○は1つ)

図表176 子育ての不安や負担感



子育ての不安や負担感については、『感じる』（「不安や負担を感じる」と「多少は不安や負担を感じる」を合わせた割合）は76.6%となっている。

前回調査と比較すると、『感じる』の割合は6.1ポイント増加している。

II 乳幼児の保護者調査結果

子どもの年齢別にみると、0歳では『不安や負担は感じない』の割合が他の年齢に比べてやや高くなっている。

世帯分類別にみると、ひとり親では「不安や負担を感じる」の割合が他の世帯に比べて高くなっている。

世帯年収別にみると、200～300万円未満及び400～500万円未満では『不安や負担を感じる』の割合は8割となっている。また200万円未満では『不安や負担を感じる』（67.8%）の割合が他の世帯年収に比べて低くなっている。

子育てを主に行っている人別にみると、『不安や負担を感じる』の割合は〔父母ともに〕で73.9%、〔主に母親〕で80.2%となっている。

図表177 子どもの年齢別、世帯分類別、世帯年収別、子育てを主に行っている人別
子育ての不安や負担感

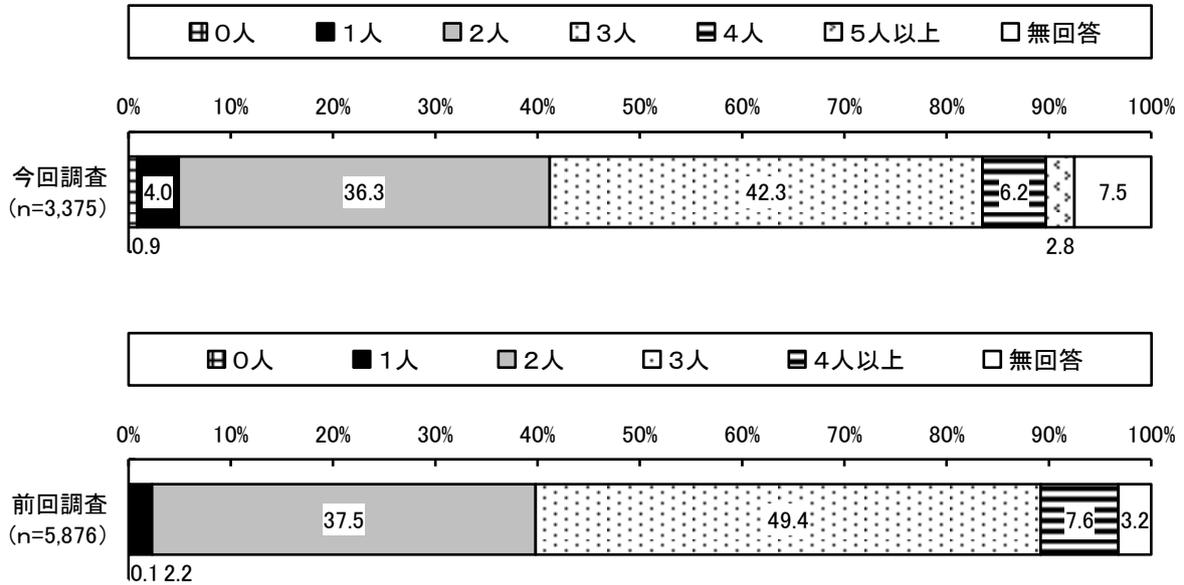
(単位:%)

		標本数(人)	不安や負担を感じる	多少は不安や負担を感じる	あまり不安や負担は感じない	感じない	なんともいえない	無回答	『不安や負担を感じる』	『不安や負担は感じない』
全体		3,375	17.1	59.5	12.4	5.2	2.5	3.2	76.6	17.6
子どもの年齢別	0歳	603	15.4	60.5	14.6	5.5	1.2	2.8	75.9	20.1
	1～2歳	1,088	18.2	58.8	11.8	5.1	2.8	3.3	77.0	16.9
	3～5歳	1,618	16.7	59.8	12.2	5.4	2.7	3.1	76.5	17.6
	無回答	66	24.2	53.0	9.1	1.5	3.0	9.1	77.2	10.6
	全体	3,375	17.1	59.5	12.4	5.2	2.5	3.2	76.6	17.6
世帯分類別	三世帯	75	17.3	60.0	12.0	5.3	2.7	2.7	77.3	17.3
	核家族	3,087	16.8	60.0	12.4	5.3	2.3	3.1	76.8	17.7
	ひとり親	116	24.1	53.4	10.3	4.3	3.4	4.3	77.5	14.6
	ひとり親三世帯	24	20.8	54.2	16.7	-	4.2	4.2	75.0	16.7
	その他	59	16.9	50.8	16.9	6.8	6.8	1.7	67.7	23.7
	無回答	14	21.4	35.7	7.1	-	-	35.7	57.1	7.1
全体		3,375	17.1	59.5	12.4	5.2	2.5	3.2	76.6	17.6
世帯年収別	200万円未満	121	15.7	52.1	14.0	9.1	3.3	5.8	67.8	23.1
	200～300万円未満	185	22.7	57.3	8.1	5.4	2.7	3.8	80.0	13.5
	300～400万円未満	327	16.2	56.3	13.1	8.0	2.8	3.7	72.5	21.1
	400～500万円未満	395	14.9	65.3	10.1	4.8	2.3	2.5	80.2	14.9
	500～700万円未満	904	17.0	61.3	11.3	4.2	2.8	3.4	78.3	15.5
	700～1,000万円未満	830	15.7	60.1	14.0	5.4	2.3	2.5	75.8	19.4
	1,000万円以上	497	18.9	57.1	15.3	5.0	1.2	2.4	76.0	20.3
	無回答	116	23.3	51.7	9.5	2.6	5.2	7.8	75.0	12.1
全体		3,375	17.1	59.5	12.4	5.2	2.5	3.2	76.6	17.6
子育てを主に行っている人別	父母ともに	1,752	14.3	59.6	13.8	6.2	2.6	3.5	73.9	20.0
	主に母親	1,584	20.5	59.7	11.0	3.9	2.3	2.7	80.2	14.9
	主に父親	14	14.3	50.0	14.3	21.4	-	-	64.3	35.7
	主に祖父祖母	9	22.2	22.2	11.1	11.1	11.1	22.2	44.4	22.2
	その他	5	-	20.0	20.0	60.0	-	-	20.0	80.0
	無回答	11	-	72.7	-	-	-	27.3	72.7	-

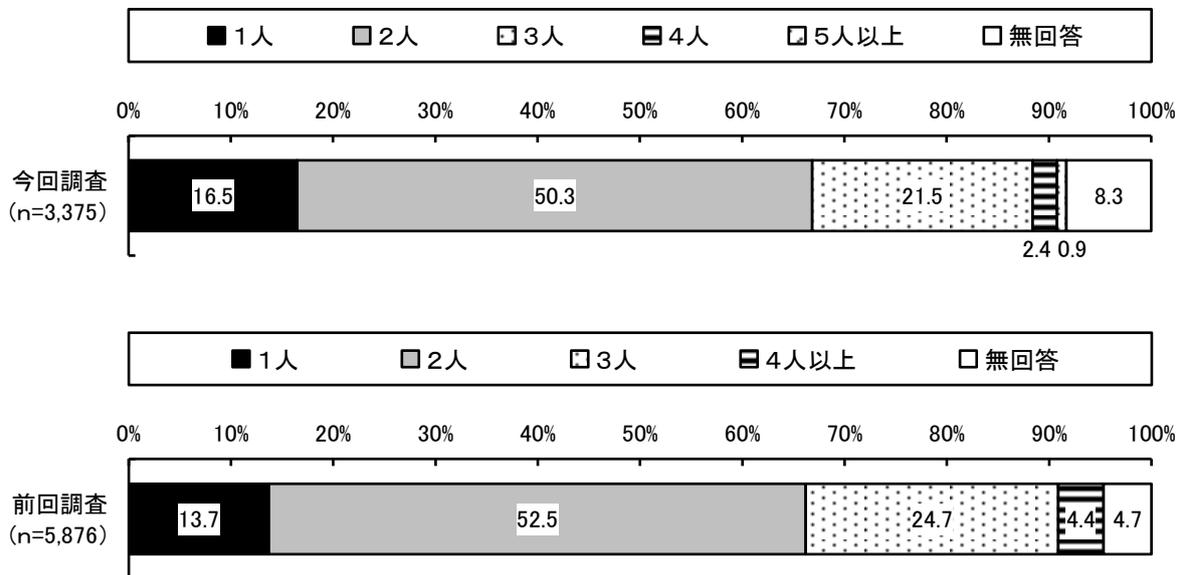
3. ほしいと思っている子どもの人数、実際に予定している子どもの人数

問37 あなたにとって、ほしいと思っている子どもの数、実際に予定している子どもの数は何人ですか。(枠内に数字を記入)

図表178 ほしいと思っている子どもの人数



図表179 実際に予定している子どもの人数



ほしいと思っている子どもの人数については、「3人」の割合が42.3%で最も高く、次いで「2人」が36.3%となっている。

また、実際に予定している子どもの人数については、「2人」の割合が50.3%で最も高く、次いで「3人」が21.5%、「1人」が16.5%となっている。

Ⅱ 乳幼児の保護者調査結果

ほしいと思っている子どもの人数について母親の就労状況別にみると、就労している場合には「3人」の割合が最も高く、以前は就労していたが、現在は就労していないでは「2人」の割合が最も高くなっている。

世帯年収別にみると、200万円未満では「2人」の割合が最も高くなっている。また、その他の区分では「3人」の割合が最も高くなっており、その割合は世帯年収が高い世帯ほど高くなっている。

図表180 母親の就労状況別、世帯年収別 ほしいと思っている子どもの人数

(単位:%)

		標本数 (人)	0人	1人	2人	3人	4人	5人以上	無回答
全体		3,368	0.9	4.0	36.3	42.3	6.2	2.8	7.4
母親の 就労 状況 別	フルタイムで就労	1,510	0.7	3.8	38.9	41.6	5.8	2.6	6.5
	パート・アルバイト等で就労	968	1.2	3.4	30.9	46.6	6.5	3.2	8.2
	以前は就労していたが、 現在は就労していない	738	0.9	5.1	40.0	38.9	6.4	2.2	6.5
	これまで就労したことがない	31	-	6.5	22.6	45.2	9.7	3.2	12.9
	無回答	121	0.8	4.1	28.1	38.0	6.6	5.8	16.5
全体		3,375	0.9	4.0	36.3	42.3	6.2	2.8	7.5
世帯 年 収 別	200万円未満	121	3.3	9.9	33.1	21.5	7.4	3.3	21.5
	200～300万円未満	185	2.2	7.6	31.4	34.6	8.6	7.0	8.6
	300～400万円未満	327	1.2	5.5	34.6	38.5	6.1	3.7	10.4
	400～500万円未満	395	1.3	4.6	39.0	40.3	6.8	2.0	6.1
	500～700万円未満	904	0.9	3.3	37.1	44.4	5.4	2.2	6.7
	700～1,000万円未満	830	0.4	2.8	38.2	45.4	5.5	2.8	4.9
	1,000万円以上	497	0.2	3.2	34.2	47.3	7.0	3.0	5.0
	無回答	116	1.7	3.4	33.6	32.8	6.0	0.9	21.6

また、実際に予定している子どもの人数について母親の就労状況別にみると、いずれの場合でも「2人」の割合が最も高く、5割程度となっている。

世帯年収別にみると、実際に予定している子どもの人数が3人以下では、概ね世帯年収が高い世帯ほど予定している子どもの人数は多くなっている。

図表181 母親の就労状況別、世帯年収別 実際に予定している子どもの人数

(単位: %)

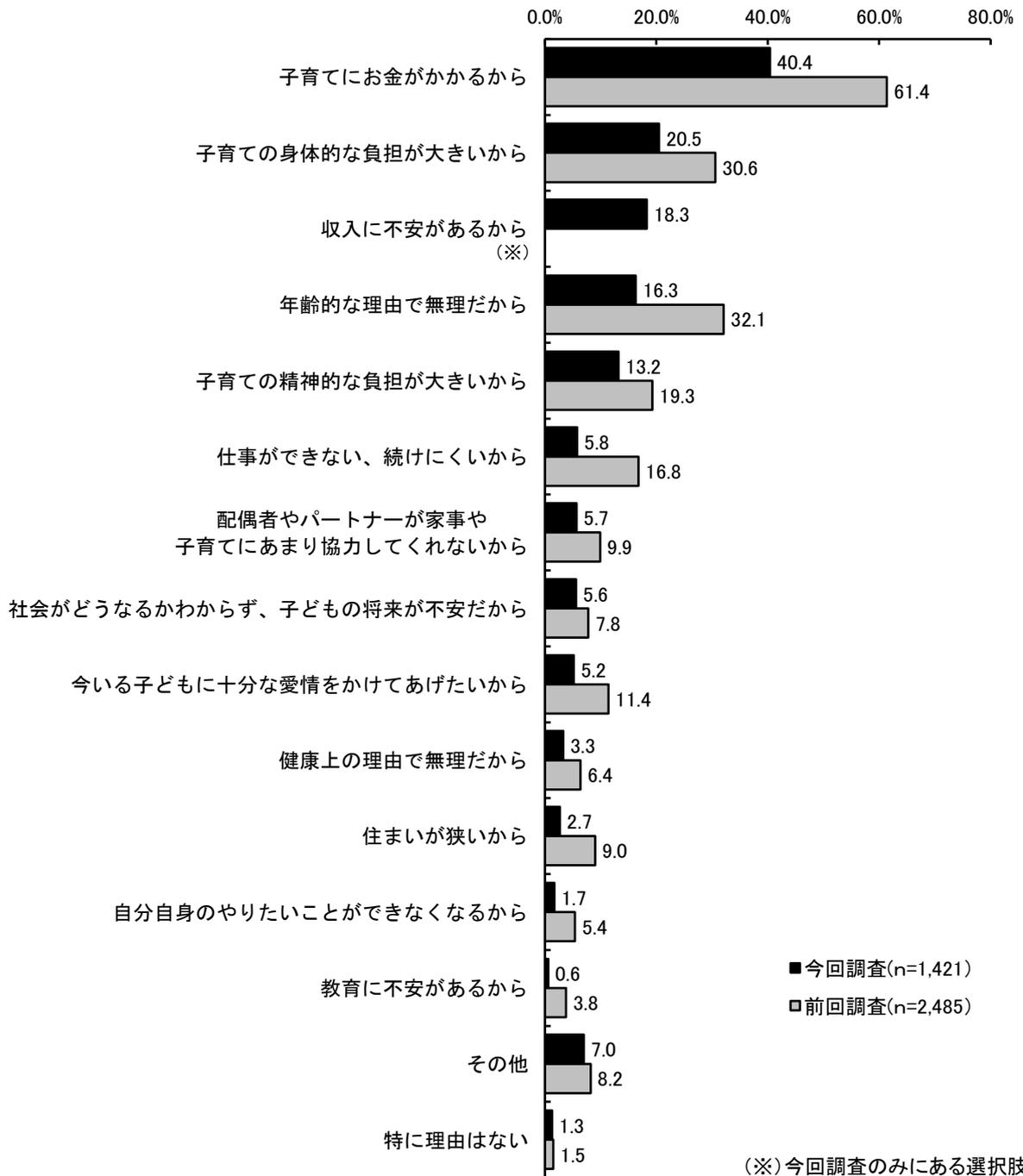
		標本数 (人)	1 人	2 人	3 人	4 人	5 人 以上	無 回 答
全 体		3,368	16.5	50.4	21.6	2.4	0.9	8.2
母 親 の 就 労 状 況 別	フルタイムで就労	1,510	18.6	51.6	19.5	2.2	0.6	7.5
	パート・アルバイト等で就労	968	13.3	49.9	23.3	2.7	1.8	9.0
	以前は就労していたが、 現在は就労していない	738	16.7	50.5	23.4	1.9	0.4	7.0
	これまで就労したことがない	31	6.5	48.4	32.3	-	-	12.9
	無回答	121	17.4	38.0	19.0	7.4	1.7	16.5
全 体		3,375	16.5	50.3	21.5	2.4	0.9	8.3
世 帯 年 収 別	200万円未満	121	26.4	32.2	10.7	2.5	3.3	24.8
	200～300万円未満	185	22.7	45.4	15.7	3.8	2.2	10.3
	300～400万円未満	327	23.2	41.3	20.8	2.4	1.5	10.7
	400～500万円未満	395	14.4	50.4	26.3	1.8	0.3	6.8
	500～700万円未満	904	14.7	53.8	22.1	1.8	0.1	7.5
	700～1,000万円未満	830	15.4	52.7	22.4	2.9	1.2	5.4
	1,000万円以上	497	13.7	53.9	22.3	3.2	1.2	5.6
	無回答	116	19.0	43.1	13.8	0.9	-	23.3

4. ほしい人数よりも予定している人数が少ない理由

問37で「ほしいと思っている子どもの数」よりも、「実際に予定している子どもの数」が少ない方にうかがいます。

問37-1 その理由はどのようなことですか。(〇は2つまで)

図表182 ほしい人数よりも予定している人数が少ない理由



ほしい人数よりも予定している人数が少ない理由としては、「子育てにお金がかかるから」の割合が40.4%で最も高く、次いで「子育ての身体的な負担が大きいから」が20.5%、「収入に不安があるから」が18.3%、「年齢的な理由で無理だから」が16.3%、「子育ての精神的な負担が大きいから」が13.2%となっている。

前回調査と比較すると、「子育ての精神的な負担が大きいから」の割合は6.1ポイント減少、「今いる子どもに十分な愛情をかけてあげたいから」の割合は6.2ポイント減少、「住まいが狭いから」の割合は6.3ポイント減少、「子育ての身体的な負担が大きいから」の割合は10.1ポイント減少、「仕事ができない、続けにくいから」の割合は11.0ポイント減少、「年齢的な理由で無理だから」の割合は15.8ポイント減少している。また、「子育てにお金がかかるから」の割合は21.0ポイント減少しているが、今回調査では選択肢に「収入に不安があるから」が追加され、経済的な理由についての選択肢が増えたため、前回調査と比較すると割合が減ったものと考えられる。

回答者の年代別にみると、20代及び30代では「子育てにお金がかかるから」の割合が最も高く、40代以上では「年齢的な理由で無理だから」の割合が最も高くなっている。

母親の就労状況別にみると、パート・アルバイト等で就労している場合では「収入に不安があるから」の割合が他の就労状況に比べてやや高くなっている。

世帯年収別にみると、1,000万円以上では「年齢的な理由で無理だから」の割合が他の世帯年収に比べて高くなっている。

図表183 回答者の年代別、母親の就労状況別、世帯年収別
ほしい人数よりも予定している人数が少ない理由（1/2）

(単位:%)

		標本数(人)	大きいから 子育ての身体的な負担が	大きいから 子育ての精神的な負担が	配りや偶々子育てに しにくくないから （パートナーが協力家）	子育てにお金がかかるから	収入に不安があるから	住まいが狭いから	教育に不安があるから	年齢的な理由で無理だから
全体		1,421	20.5	13.2	5.7	40.4	18.3	2.7	0.6	16.3
回答者の年代別	10代	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	20代	141	9.2	12.8	5.7	43.3	31.9	3.5	-	1.4
	30代	915	22.1	14.9	6.0	45.1	18.3	3.2	0.7	8.2
	40代以上	356	21.3	9.0	4.8	27.2	13.2	1.4	0.6	43.3
	回答しない	4	-	25.0	25.0	25.0	-	-	-	-
	無回答	5	-	-	-	40.0	20.0	-	-	-
全体		1,419	20.5	13.2	5.7	40.5	18.3	2.7	0.6	16.3
母親の就労状況別	フルタイムで就労	685	21.5	12.0	6.0	39.7	17.8	2.8	0.7	18.5
	パート・アルバイト等で就労	395	19.2	15.7	5.6	43.3	21.0	2.8	0.5	12.4
	以前は就労していたが、現在は就労していない	276	21.7	14.1	6.2	40.2	17.0	2.9	0.4	16.7
	これまで就労したことがない	12	16.7	-	-	41.7	16.7	-	-	16.7
	無回答	51	11.8	7.8	2.0	29.4	11.8	2.0	-	13.7
全体		1,421	20.5	13.2	5.7	40.4	18.3	2.7	0.6	16.3
世帯年収別	200万円未満	35	11.4	8.6	5.7	25.7	22.9	5.7	-	11.4
	200～300万円未満	82	17.1	13.4	4.9	36.6	31.7	3.7	-	4.9
	300～400万円未満	145	8.3	7.6	7.6	42.1	33.1	3.4	0.7	11.7
	400～500万円未満	147	10.9	14.3	5.4	46.3	24.5	1.4	0.7	12.9
	500～700万円未満	384	21.4	13.8	5.5	45.6	22.4	3.6	0.8	14.3
	700～1,000万円未満	362	25.1	13.0	5.8	39.5	12.2	2.8	0.6	18.0
	1,000万円以上	221	29.9	16.3	5.4	33.0	4.5	1.4	0.5	27.6
	無回答	45	13.3	11.1	4.4	33.3	4.4	-	-	13.3

II 乳幼児の保護者調査結果

図表184 回答者の年代別、母親の就労状況別、世帯年収別
ほしい人数よりも予定している人数が少ない理由（2/2）

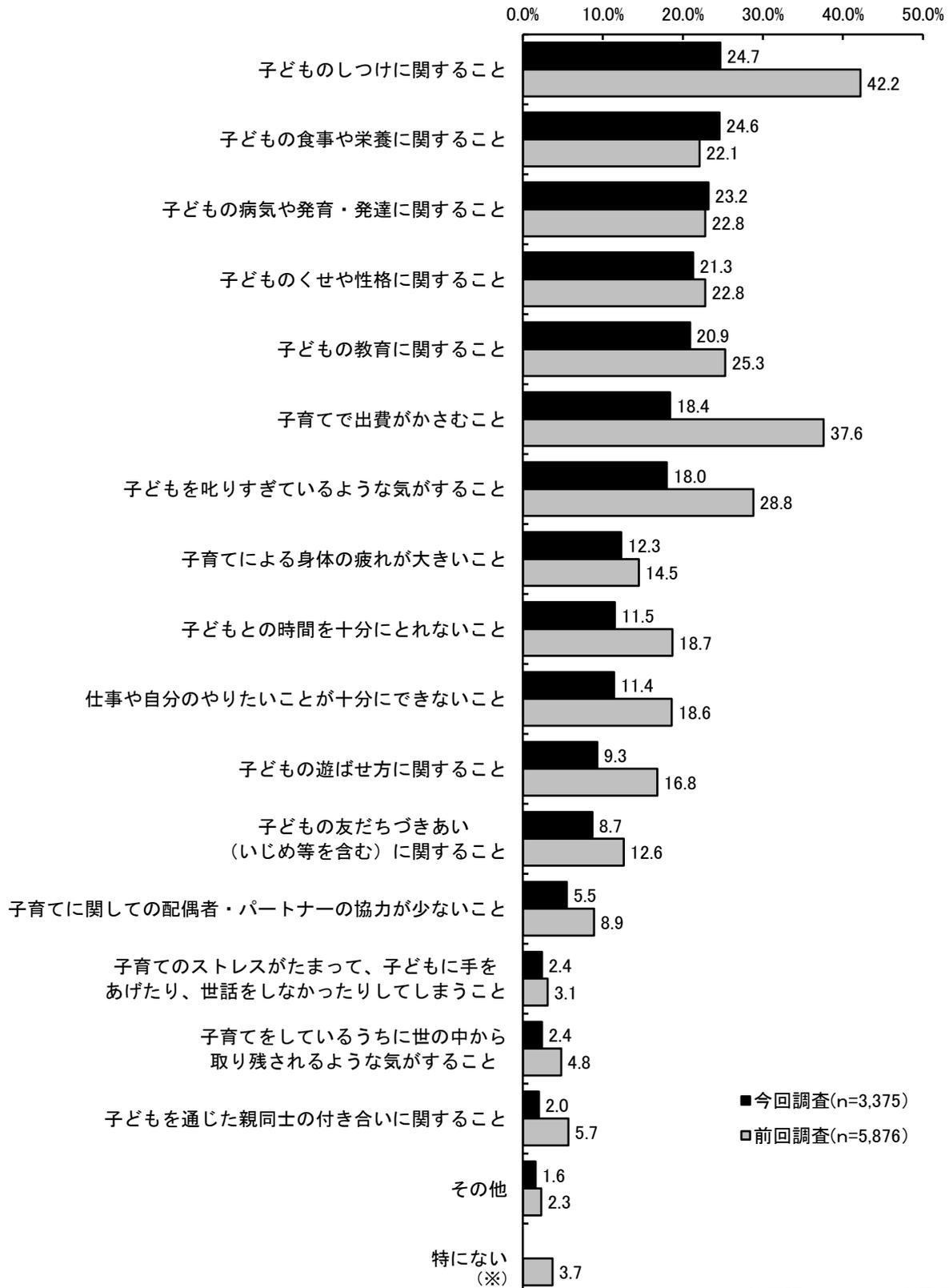
(単位:%)

		標本数(人)	健康上の理由で無理だから	小さい仕事からできない、続ける	自分自身でやるから	今いる子どもに十分な愛情をかけてあげたいから	社会がどうなるかわからない	その他	特に理由はない	無回答
全体		1,421	3.3	5.8	1.7	5.2	5.6	7.0	1.3	18.8
回答者の年代別	10代	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	20代	141	2.1	3.5	2.8	7.1	9.2	5.7	2.1	22.0
	30代	915	2.6	7.0	2.1	5.5	6.4	7.5	1.4	18.3
	40代以上	356	5.6	3.7	0.3	3.9	2.0	6.2	0.6	18.0
	回答しない	4	-	-	-	-	-	-	-	50.0
無回答	5	-	20.0	-	-	-	-	-	60.0	
全体		1,419	3.3	5.8	1.7	5.2	5.6	6.9	1.3	18.7
母親の就労状況別	フルタイムで就労	685	3.8	8.0	1.6	5.3	5.4	6.7	1.2	16.6
	パート・アルバイト等で就労	395	3.3	3.5	1.3	4.8	6.3	7.6	1.0	19.2
	以前は就労していたが、現在は就労していない	276	2.5	4.0	2.5	6.2	5.4	7.6	1.1	18.5
	これまで就労したことがない	12	-	-	-	-	-	-	8.3	41.7
	無回答	51	2.0	5.9	2.0	3.9	3.9	2.0	3.9	39.2
全体		1,421	3.3	5.8	1.7	5.2	5.6	7.0	1.3	18.8
世帯年収別	200万円未満	35	-	-	-	11.4	5.7	17.1	11.4	14.3
	200～300万円未満	82	2.4	2.4	1.2	1.2	2.4	12.2	1.2	22.0
	300～400万円未満	145	3.4	4.8	0.7	6.9	5.5	6.2	0.7	22.8
	400～500万円未満	147	1.4	7.5	2.0	4.1	4.8	6.1	0.7	22.4
	500～700万円未満	384	2.1	3.9	1.0	4.9	4.2	6.3	0.8	19.5
	700～1,000万円未満	362	4.4	5.2	1.7	6.1	7.2	5.0	1.7	18.2
	1,000万円以上	221	5.0	10.9	3.6	5.4	6.3	9.5	0.9	10.4
無回答	45	6.7	11.1	2.2	-	8.9	4.4	-	31.1	

5. 子育てに関して悩んでいること・気になること

問38 子育てに関して、日ごろ悩んでいること、または気になることはありますか。
(○は3つまで)

図表185 子育てに関して悩んでいること・気になること



(※) 前回調査のみにある選択肢

Ⅱ 乳幼児の保護者調査結果

子育てに関して悩んでいること・気になることとしては、「子どものしつけに関すること」の割合が24.7%で最も高く、次いで「子どもの食事や栄養に関すること」が24.6%、「子どもの病気や発育・発達に関すること」が23.2%、「子どものくせや性格に関すること」が21.3%、「子どもの教育に関すること」が20.9%、「子育てで出費がかさむこと」が18.4%、「子どもを叱りすぎているような気がする」と18.0%、「子育てによる身体の疲れが大きいこと」が12.3%、「子どもとの時間を十分にとれないこと」が11.5%、「仕事や自分のやりたいことが十分にできないこと」が11.4%となっている。

選択肢に相違があるが前回調査と比較すると、「子どもを叱りすぎているような気がする」との割合は10.8ポイント減少し、「子どものしつけに関すること」の割合は17.5ポイント減少し、「子育てで出費がかさむこと」の割合は19.2ポイント減少している。

子どもの年齢別にみると、0歳では「子どもの食事や栄養に関すること」の割合が他の年齢に比べて高く、3～5歳では「子どものくせや性格に関すること」の割合が他の年齢に比べて高くなっている。

世帯分類別にみると、三世帯及び核家族では「子どもの食事や栄養に関すること」の割合が他の世帯に比べて高くなっている。また、ひとり親では「子どもとの時間を十分にとれないこと」「子どもを叱りすぎているような気がする」との割合が他の世帯に比べて高くなっている。

子育ての不安感・負担感別にみると、『不安や負担を感じる』では「子どもの病気や発育・発達に関すること」、「子どものくせや性格に関すること」、「子どもを叱りすぎているような気がする」と、「仕事や自分のやりたいことが十分にできないこと」の割合が『不安や負担は感じない』に比べて5ポイント以上高くなっている。

図表186 子どもの年齢別、世帯分類別、子育ての不安感・負担感別
子育てに関して悩んでいること・気になること（1/2）

		標本数 (人)	子どもの食事や栄養に関すること	子どもの病気や発育・発達に関すること	子どものくせや性格に関すること	子どものしつけに関すること	子どもの教育に関すること	子どもの遊ばせ方に関すること	子どもの友達(含む)に関すること	子育てで出費がかさむこと	子育てによる身体の疲れ
全体		3,375	24.6	23.2	21.3	24.7	20.9	9.3	8.7	18.4	12.3
子どもの年齢別	0歳	603	37.3	28.2	13.9	20.2	17.6	14.4	3.6	21.9	17.1
	1～2歳	1,088	27.5	24.8	19.6	26.8	18.9	9.5	6.1	17.7	14.3
	3～5歳	1,618	18.0	20.7	25.0	25.2	23.2	7.2	12.0	17.7	9.5
	無回答	66	24.2	13.6	25.8	21.2	24.2	10.6	15.2	15.2	4.5
全体		3,375	24.6	23.2	21.3	24.7	20.9	9.3	8.7	18.4	12.3
世帯分類別	三世帯	75	25.3	21.3	25.3	25.3	26.7	9.3	5.3	13.3	8.0
	核家族	3,087	25.1	23.6	21.2	24.8	20.9	9.5	8.5	18.7	12.6
	ひとり親	116	16.4	17.2	19.8	23.3	16.4	1.7	10.3	17.2	6.9
	ひとり親三世帯	24	20.8	16.7	37.5	29.2	16.7	8.3	33.3	8.3	8.3
	その他	59	20.3	22.0	18.6	23.7	22.0	15.3	10.2	16.9	13.6
無回答	14	14.3	7.1	14.3	21.4	14.3	-	7.1	21.4	14.3	
全体		3,375	24.6	23.2	21.3	24.7	20.9	9.3	8.7	18.4	12.3
子育ての不安感・負担感別	『不安や負担を感じる』	2,586	24.9	25.4	22.7	26.4	20.8	9.7	9.2	19.6	13.9
	『不安や負担は感じない』	597	26.3	17.4	17.6	21.8	24.1	9.4	7.9	16.1	7.7
	なんともいえない	83	28.9	18.1	26.5	20.5	18.1	4.8	6.0	16.9	8.4
	無回答	109	6.4	8.3	4.6	4.6	5.5	1.8	2.8	4.6	2.8

図表187 子どもの年齢別、世帯分類別、子育ての不安感・負担感別
子育てに関して悩んでいること・気になること（2/2）

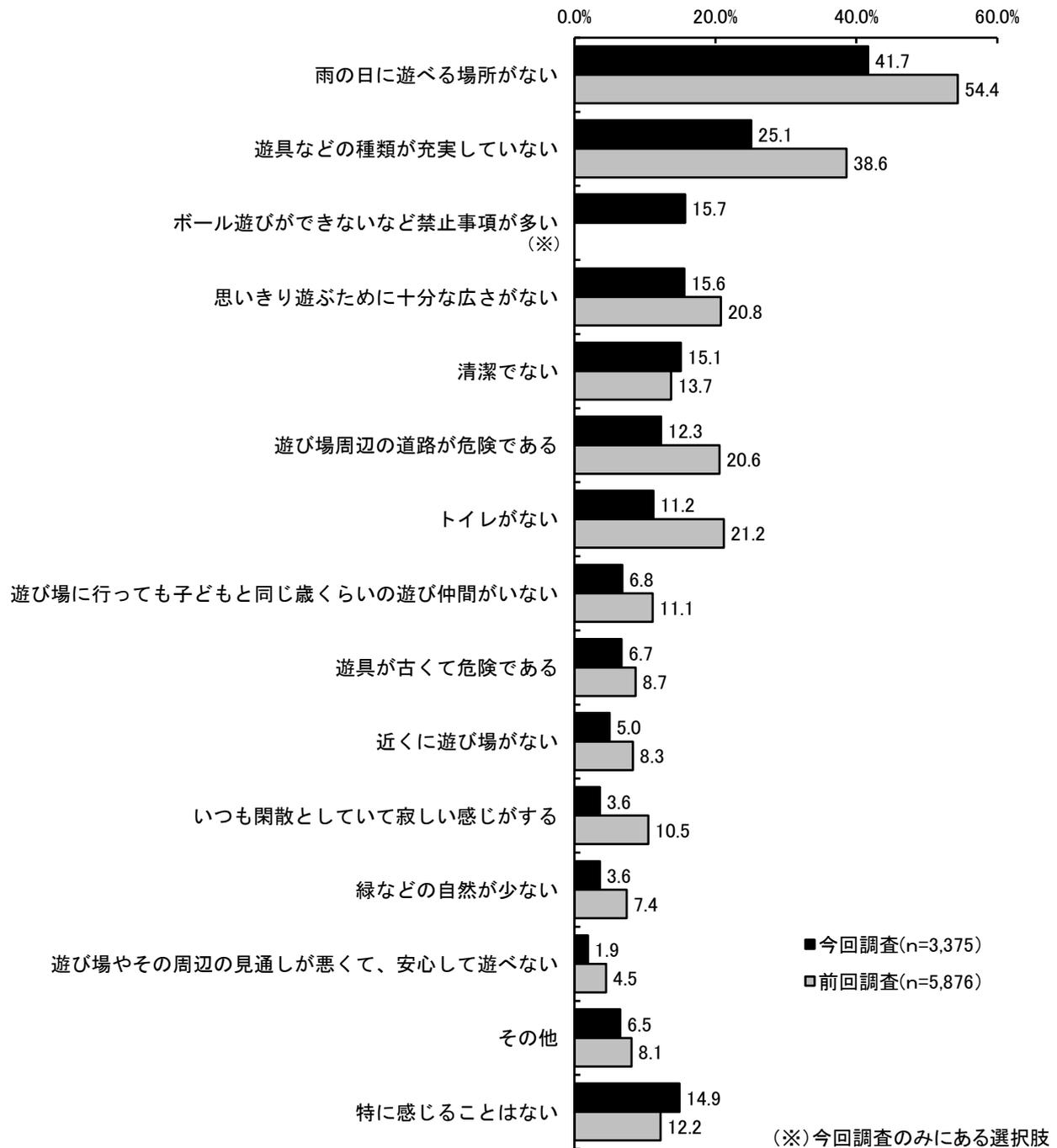
（単位：％）

	標本数（人）	子どもとの時間を十分に とれないこと	子どもを叱りすぎている ような気がする	子育てのストレスがた まったり、世話をしな かたりしてしまふこと	子育てに関する配 偶が 少ないこと トナーの協力	世の中から取り残さ れる ような気がする	仕事や自分のやりたいこ とが十分にできないこと	子どもを通じた親同士の 付き合いに関する	その他	無回答	
全体	3,375	11.5	18.0	2.4	5.5	2.4	11.4	2.0	1.6	16.0	
子どもの 年齢別	0歳	603	9.1	13.1	1.8	3.6	5.1	13.8	1.0	1.8	13.9
	1～2歳	1,088	12.5	18.1	2.9	5.1	2.2	12.2	1.5	1.4	16.3
	3～5歳	1,618	12.0	20.0	2.2	6.6	1.5	10.1	2.6	1.7	16.3
	無回答	66	6.1	10.6	3.0	4.5	1.5	7.6	4.5	1.5	24.2
全体	3,375	11.5	18.0	2.4	5.5	2.4	11.4	2.0	1.6	16.0	
世帯分 類別	三世帯	75	8.0	9.3	1.3	12.0	1.3	5.3	5.3	1.3	20.0
	核家族	3,087	11.2	18.1	2.4	5.4	2.5	11.8	2.0	1.6	15.5
	ひとり親	116	22.4	23.3	4.3	6.0	0.9	7.8	0.9	3.4	20.7
	ひとり親三世帯	24	12.5	20.8	-	4.2	-	8.3	-	-	16.7
	その他	59	10.2	11.9	1.7	3.4	-	3.4	-	1.7	20.3
無回答	14	7.1	7.1	-	-	-	14.3	-	-	50.0	
全体	3,375	11.5	18.0	2.4	5.5	2.4	11.4	2.0	1.6	16.0	
子育ての不安 感・ 負担感別	『不安や負担を感じる』	2,586	12.3	20.2	2.8	6.2	2.7	12.8	1.6	1.4	13.5
	『不安や負担は感じない』	597	10.4	10.6	1.2	2.8	1.5	7.5	4.0	2.7	14.9
	なんともいえない	83	6.0	14.5	-	6.0	1.2	8.4	1.2	2.4	21.7
	無回答	109	4.6	7.3	0.9	2.8	-	1.8	0.9	-	76.1

6. 家の近くの子どもの遊び場で日ごろ感じていること

問39 家の近くの子どもの遊び場について、日ごろ感じていることがありますか。
 (○は3つまで)

図表188 家の近くの子どもの遊び場で日ごろ感じていること



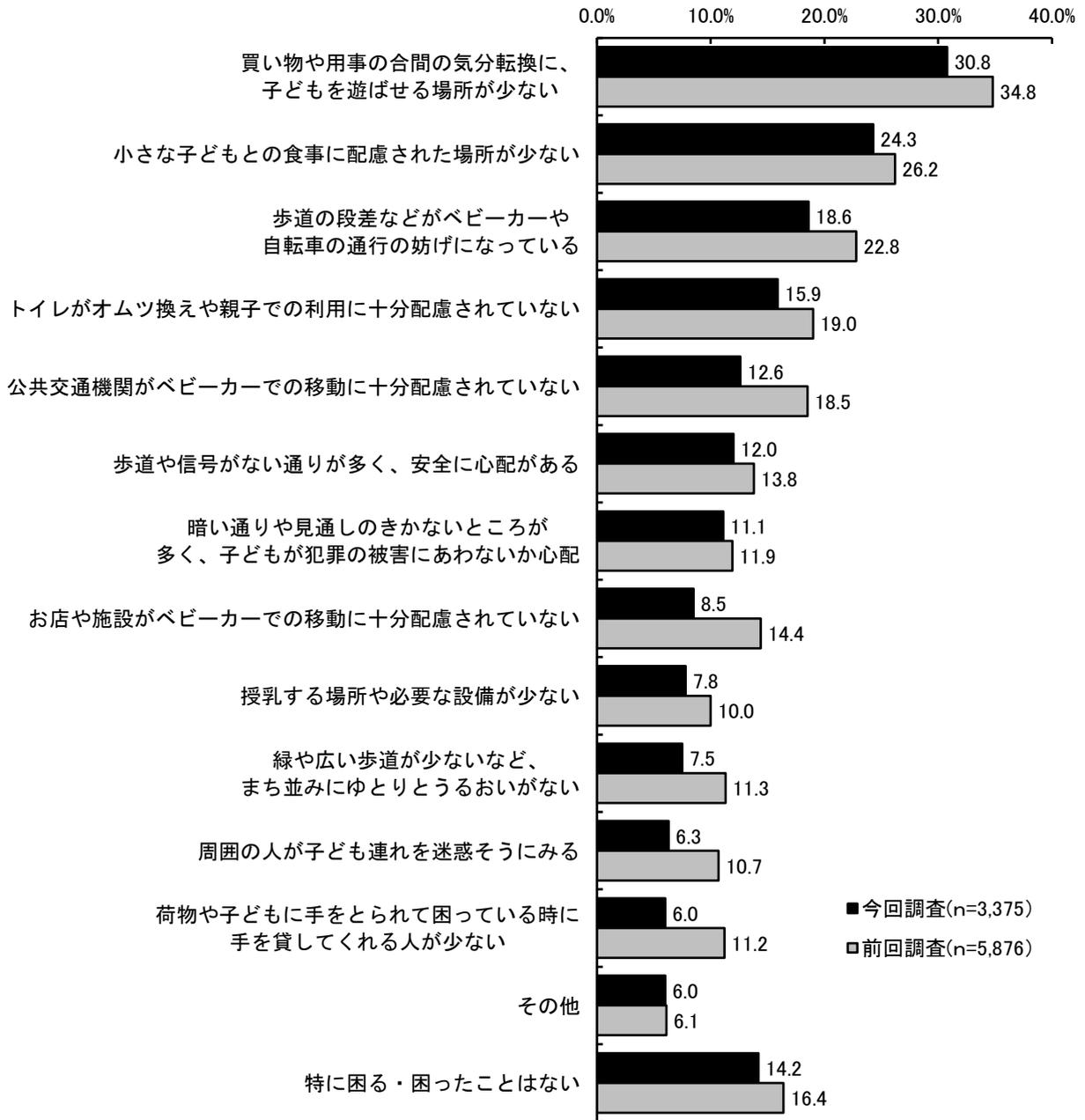
家の近くの子どもの遊び場で日ごろ感じていることについては、「雨の日に遊べる場所がない」の割合が41.7%で最も高く、次いで「遊具などの種類が充実していない」が25.1%、「ボール遊びができないなど禁止事項が多い」が15.7%となっている。

選択肢に相違があるが前回調査と比較すると、「思いきり遊ぶために十分な広さがない」の割合は5.2ポイント減少し、「いつも閑散としていて寂しい感じがする」の割合は6.9ポイント減少し、「遊び場周辺の道路が危険である」の割合は8.3ポイント減少し、「トイレがない」の割合は10.0ポイント減少し、「雨の日に遊べる場所がない」の割合は12.7ポイント減少し、「遊具などの種類が充実していない」の割合は13.5ポイント減少している。

7. 市内での外出の際、困る・困ったこと

問40 市内においてお子さんと外出する際、困ること・困ったことは何ですか。(〇は3つまで)

図表189 市内での外出の際、困る・困ったこと



市内での外出の際、困ること・困ったことについては、「買い物や用事の合間の気分転換に、子どもを遊ばせる場所が少ない」の割合が30.8%で最も高く、次いで「小さな子どもとの食事に配慮された場所が少ない」が24.3%、「歩道の段差などがベビーカーや自転車の通行の妨げになっている」が18.6%、「トイレがオムツ換えや親子での利用に十分配慮されていない」が15.9%、「特に困る・困ったことはない」が14.2%、「公共交通機関がベビーカーでの移動に十分配慮されていない」が12.6%、「歩道や信号がない通りが多く、安全に心配がある」が12.0%、「暗い通りや見通しのきかないところが多く、子どもが犯罪の被害にあわないか心配」が11.1%となっている。

II 乳幼児の保護者調査結果

前回調査と比較すると、「荷物や子どもに手をとられて困っている時に手を貸してくれる人が少ない」の割合は5.2ポイント減少し、「公共交通機関がベビーカーでの移動に十分配慮されていない」の割合は5.9ポイント減少し、「お店や施設がベビーカーでの移動に十分配慮されていない」の割合は5.9ポイント減少している。

子どもの年齢別にみると、0歳では「歩道の段差などがベビーカーや自転車の通行の妨げになっている」、「小さな子どもとの食事に配慮された場所が少ない」の割合が他の年齢に比べて高くなっている。

図表190 子どもの年齢別 市内での外出の際、困る・困ったこと

(単位:%)

	標本数(人)	多く歩道や安全に心配がある	歩道や段差などの通行の妨げ	公共交通機関がベビーカーに十分配慮されていない	お店や施設がベビーカーでの移動に十分配慮されていない	子どもや利用者に十分配慮されていない	授乳する場所や必要な設備が少ない	小さな子どもとの食事に配慮されていない	せ分買換場所や用事の合間の気	
全体	3,375	12.0	18.6	12.6	8.5	15.9	7.8	24.3	30.8	
子どもの年齢別	0歳	603	9.6	27.5	18.6	15.6	21.6	13.1	35.8	28.2
	1～2歳	1,088	9.8	19.8	14.8	8.8	19.9	7.9	27.7	30.1
	3～5歳	1,618	14.3	14.3	9.1	5.7	11.6	5.6	18.0	32.6
	無回答	66	10.6	22.7	7.6	6.1	6.1	9.1	19.7	25.8

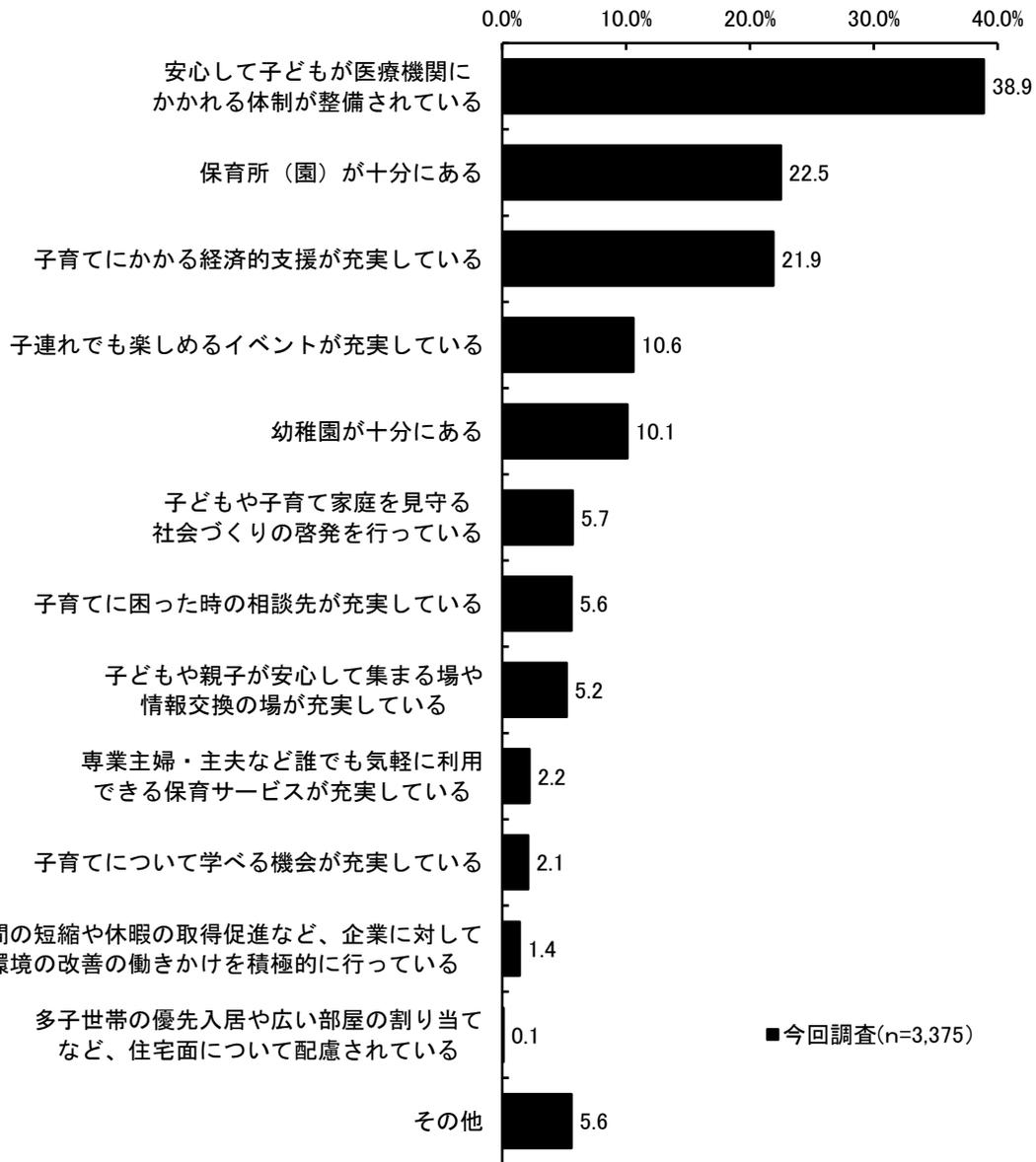
(単位:%)

	標本数(人)	うど緑や広い歩道が少ない	いもな暗い通りや見通しにくく、子どもなどが通行の妨げ	迷惑そうにみられる	貸物や子どもに手をとられて困っている人が少ない	その他	特に困る・困ったことは	無回答	
全体	3,375	7.5	11.1	6.3	6.0	6.0	14.2	9.7	
子どもの年齢別	0歳	603	6.6	5.3	3.0	5.0	6.6	9.3	8.6
	1～2歳	1,088	6.4	7.4	6.2	6.3	5.1	13.1	11.3
	3～5歳	1,618	8.5	15.4	7.7	6.2	6.5	16.8	8.7
	無回答	66	9.1	19.7	4.5	7.6	6.1	13.6	18.2

8. 福岡市が行っている子ども施策で満足している点

問41 福岡市が行っている子ども施策について、満足している点はありませんか。(〇は3つまで)

図表191 福岡市が行っている子ども施策で満足している点



福岡市が行っている子ども施策で満足している点については、「安心して子どもが医療機関にかかれる体制が整備されている」の割合が38.9%で最も高く、次いで「保育所（園）が十分にある」が22.5%、「子育てにかかる経済的支援が充実している」が21.9%、「子連れでも楽しめるイベントが充実している」が10.6%、「幼稚園が十分にある」が10.1%となっている。

子どもの年齢別にみると、2歳以下では「子育てにかかる経済的支援が充実している」の割合は、3～5歳に比べて高くなっている。

母親の就労状況別にみると、フルタイムで就労している場合では「子育てにかかる経済的支援が充実している」の割合が他の就労状況に比べて高くなっている。また、就労していない場合では「幼稚園が十分にある」の割合が他の就労状況に比べて高くなっている。

世帯分類別にみると、核家族では「子育てにかかる経済的支援が充実している」の割合が他の世帯に比べて高くなっている。

II 乳幼児の保護者調査結果

図表192 子どもの年齢別、母親の就労状況別、世帯分類別
福岡市が行っている子ども施策で満足している点

(単位:%)

	標本数(人)	保育所(園)が十分に ある	幼稚園が十分に ある	専業主婦・主夫など誰 も気軽に利用できている サービスが充実している	子育てにかかっている 経済的支援が充実している	子どもや親子が安心して 集まる場や情報交換の場 が充実している	子育てについて学べる機 会が充実している	子育てに困った時の相談 先が充実している	子ども連れでも楽しめるイベ ントが充実している
全体	3,375	22.5	10.1	2.2	21.9	5.2	2.1	5.6	10.6
子どもの 年齢別	0歳	603	18.1	5.1	2.7	27.9	8.5	3.2	9.1
	1~2歳	1,088	24.4	8.4	2.3	25.6	6.3	2.1	5.3
	3~5歳	1,618	23.1	13.0	2.0	17.6	3.3	1.8	4.6
	無回答	66	16.7	13.6	1.5	10.6	3.0	-	1.5
全体	3,368	22.5	10.2	2.2	21.9	5.2	2.1	5.6	10.7
母親の 就労状況別	フルタイムで就労	1,510	30.9	3.8	1.5	27.0	5.0	1.6	5.6
	パート・アルバイト等で就労	968	22.4	10.2	2.1	20.4	4.0	2.5	5.4
	以前は就労していたが、 現在は就労していない	738	7.0	21.7	4.1	16.0	7.3	2.3	6.2
	これまで就労したことがない	31	9.7	29.0	6.5	9.7	6.5	-	3.2
	無回答	121	15.7	13.2	-	9.9	3.3	5.0	4.1
全体	3,375	22.5	10.1	2.2	21.9	5.2	2.1	5.6	10.6
世帯分 類別	三世帯	75	26.7	10.7	-	17.3	1.3	-	5.3
	核家族	3,087	22.2	10.3	2.4	22.5	5.6	2.2	5.6
	ひとり親	116	25.0	4.3	1.7	13.8	-	0.9	5.2
	ひとり親三世帯	24	29.2	-	-	8.3	-	-	4.2
	その他	59	27.1	16.9	-	16.9	1.7	1.7	5.1
無回答	14	14.3	7.1	-	7.1	-	-	-	

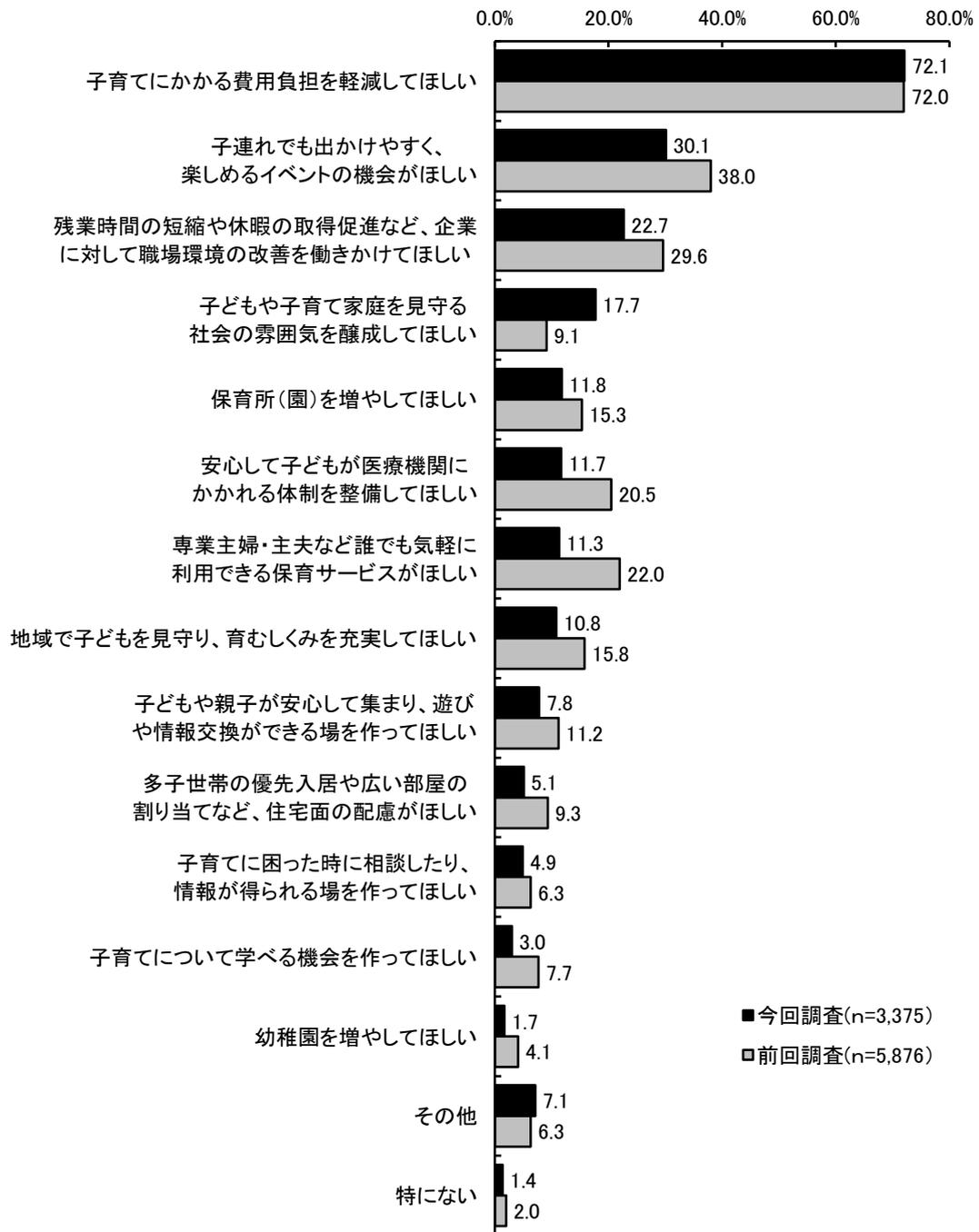
(単位:%)

	標本数(人)	安全にかける 配慮が整備されている	多世帯の優 待が実施されている	住宅の確保 がされている	子育ての環境 が改善されている	残業時間の短縮 がされている	得業時間 が確保されている	子どもや 子育ての家庭 を支援している	その他	無 回 答
全体	3,375	38.9	0.1	1.4	5.7	5.6	22.5			
子どもの 年齢別	0歳	603	45.4	-	1.0	7.5	18.2			
	1~2歳	1,088	38.6	0.1	1.8	6.1	22.0			
	3~5歳	1,618	37.2	0.2	1.2	5.1	23.4			
	無回答	66	25.8	-	1.5	-	47.0			
全体	3,368	38.9	0.1	1.4	5.7	5.6	22.4			
母親の 就労状況別	フルタイムで就労	1,510	40.5	0.1	1.9	6.8	19.3			
	パート・アルバイト等で就労	968	36.0	0.2	1.9	4.1	25.7			
	以前は就労していたが、 現在は就労していない	738	40.5	0.3	0.1	6.1	22.2			
	これまで就労したことがない	31	29.0	-	-	-	35.5			
	無回答	121	36.4	-	-	5.0	32.2			
全体	3,375	38.9	0.1	1.4	5.7	5.6	22.5			
世帯分 類別	三世帯	75	42.7	-	-	2.7	28.0			
	核家族	3,087	39.4	0.1	1.4	5.7	21.7			
	ひとり親	116	30.2	0.9	2.6	6.0	30.2			
	ひとり親三世帯	24	12.5	-	4.2	-	41.7			
	その他	59	39.0	-	1.7	15.3	23.7			
無回答	14	21.4	-	-	-	57.1				

9. 充実してほしい子育て施策

問42 あなたは、どのような子育て施策の充実を図ってほしいですか。(〇は3つまで)

図表193 充実してほしい子育て施策



充実してほしい子育て施策については、「子育てにかかる費用負担を軽減してほしい」の割合が72.1%で最も高く、次いで「子連れでも出かけやすく、楽しめるイベントの機会がほしい」が30.1%、「残業時間の短縮や休暇の取得促進など、企業に対して職場環境の改善を働きかけてほしい」が22.7%、「子どもや子育て家庭を見守る社会の雰囲気醸成してほしい」が17.7%、「保育所(園)を増やしてほしい」が11.8%、「安心して子どもが医療機関にかかれる体制を整備してほしい」が11.7%、「専業主婦・主夫など誰でも気軽に利用できる保育サービスがほしい」が11.3%、「地域で子どもを見守り、育むしくみを充実してほしい」が10.8%となっている。

II 乳幼児の保護者調査結果

前回調査と比較すると、「子どもや子育て家庭を見守る社会の雰囲気醸成してほしい」の割合は8.6ポイント増加し、「専業主婦・主夫など誰でも気軽に利用できる保育サービスがほしい」の割合は10.7ポイント減少している。

子どもの年齢別にみると、0歳では「保育所（園）を増やしてほしい」の割合が他の年齢に比べて高くなっている。

母親の就労状況別にみると、フルタイムで就労している場合では「残業時間の短縮や休暇の取得促進など、企業に対して職場環境の改善を働きかけてほしい」の割合が他の就労状況に比べて高くなっている。また、以前は就労していたが、現在は就労していない場合では「専業主婦・主夫など誰でも気軽に利用できる保育サービスがほしい」の割合が他の就労状況に比べて高くなっている。

世帯分類別にみると、ひとり親では「多子世帯の優先入居や広い部屋の割り当てなど、住宅面の配慮がほしい」の割合が他の世帯に比べて高くなっている。

子育ての不安感・負担感別にみると、『不安や負担を感じる』では「残業時間の短縮や休暇の取得促進など、企業に対して職場環境の改善を働きかけてほしい」の割合が『不安や負担は感じない』に比べて6.7ポイント高くなっている。

図表194 子どもの年齢別、母親の就労状況別、世帯分類別、子育ての不安感・負担感別
充実してほしい子育て施策（1/2）

		標本数（人）	子育てにかかるといえる費用負担を軽減してほしい	子どもや親が安心して遊ばせることができる場を確保してほしい	子どもや親が安心して遊ばせる場を確保してほしい						
全体		3,375	72.1	7.8	30.1	10.8	4.9	11.8	1.7	11.3	
子どもの年齢別	0歳	603	73.5	9.8	29.9	8.3	4.3	22.6	2.5	14.1	
	1～2歳	1,088	73.3	7.9	33.5	9.4	5.1	12.7	2.0	13.2	
	3～5歳	1,618	71.0	7.0	28.1	12.7	5.0	7.2	1.2	9.1	
	無回答	66	66.7	9.1	28.8	9.1	6.1	12.1	3.0	9.1	
全体		3,368	72.1	7.8	30.1	10.7	4.9	11.8	1.7	11.3	
母親の就労状況別	フルタイムで就労	1,510	72.0	7.3	32.4	11.1	4.2	13.8	1.0	3.7	
	パート・アルバイト等で就労	968	74.6	6.9	28.2	11.6	5.7	11.2	1.2	7.7	
	以前は就労していたが、現在は就労していない	738	70.9	10.4	30.1	9.9	6.0	9.5	3.7	31.6	
	これまで就労したことがない	31	71.0	16.1	25.8	6.5	6.5	9.7	6.5	16.1	
	無回答	121	61.2	4.1	19.0	6.6	1.7	7.4	1.7	10.7	
全体		3,375	72.1	7.8	30.1	10.8	4.9	11.8	1.7	11.3	
世帯分類別	三世代核家族	75	73.3	8.0	29.3	14.7	2.7	6.7	-	8.0	
	ひとり親	3,087	72.5	7.9	30.4	10.8	5.1	12.1	1.8	11.8	
	ひとり親三世代	116	69.8	5.2	24.1	6.9	6.0	9.5	0.9	2.6	
	その他	24	70.8	4.2	8.3	20.8	4.2	-	-	-	
	無回答	59	59.3	8.5	42.4	8.5	-	10.2	1.7	11.9	
全体		14	42.9	7.1	7.1	-	-	7.1	-	7.1	
全体		3,375	72.1	7.8	30.1	10.8	4.9	11.8	1.7	11.3	
子育ての不安感・負担感別	『不安や負担を感じる』	2,586	74.5	7.9	30.9	10.8	5.5	12.4	1.8	11.7	
	『不安や負担は感じない』	597	70.9	8.5	28.8	11.7	2.8	11.2	1.7	10.4	
	なんともいえない	83	67.5	6.0	34.9	8.4	3.6	7.2	1.2	14.5	
	無回答	109	25.7	3.7	14.7	5.5	4.6	4.6	0.9	4.6	

図表195 子どもの年齢別、母親の就労状況別、世帯分類別、子育ての不安感・負担感別
充実してほしい子育て施策（2/2）

(単位:%)

	標本数(人)	関心を 示してほ かしてい る	安心し てほしか かしてい る	子ども の医療 体制を 整備機 能	多子世 帯の優 先入居 や、広 い部屋 の割り 当てが ほしく い	住居の 環境の 改善を 働き かけ てほし く	取得時 間の短 縮や休 暇の対 応	残業等 の短縮 や、休 暇の対 応	子ども の社会 や子育て の環境 を醸成 する機 会	子育て について 学べる 機会	その他	特にな い	無回 答
全体	3,375	11.7	5.1	22.7	17.7	3.0	7.1	1.4	8.1				
子どもの 年齢別	0歳	603	8.6	4.5	23.4	15.9	3.0	6.6	1.2	7.5			
	1~2歳	1,088	11.5	5.3	23.3	16.5	2.8	6.0	0.8	9.5			
	3~5歳	1,618	12.8	5.1	22.2	19.1	3.2	8.2	1.9	7.2			
	無回答	66	15.2	4.5	18.2	18.2	-	6.1	1.5	12.1			
全体	3,368	11.6	5.1	22.7	17.7	3.0	7.2	1.4	8.1				
母親の 就労状 況別	フルタイムで就労	1,510	12.2	4.3	28.9	18.9	3.6	8.1	1.1	8.0			
	パート・アルバイト等で就労	968	12.6	7.0	20.1	17.3	2.2	6.8	1.5	8.3			
	以前は就労していたが、 現在は就労していない	738	9.2	3.8	15.0	16.5	3.0	6.1	1.9	6.1			
	これまで就労したことがない	31	12.9	6.5	16.1	12.9	-	3.2	3.2	6.5			
	無回答	121	11.6	6.6	14.0	14.0	1.7	5.0	0.8	19.8			
全体	3,375	11.7	5.1	22.7	17.7	3.0	7.1	1.4	8.1				
世帯分 類別	三世代	75	9.3	1.3	24.0	18.7	2.7	6.7	2.7	6.7			
	核家族	3,087	12.0	4.7	22.9	17.8	3.1	7.1	1.3	7.6			
	ひとり親	116	5.2	14.7	16.4	18.1	1.7	6.9	3.4	12.9			
	ひとり親三世代	24	12.5	4.2	16.7	12.5	-	12.5	-	16.7			
	その他	59	13.6	8.5	22.0	11.9	1.7	6.8	1.7	13.6			
無回答	14	7.1	7.1	28.6	14.3	-	14.3	-	35.7				
全体	3,375	11.7	5.1	22.7	17.7	3.0	7.1	1.4	8.1				
子育て の不安 感・負 担感別	『不安や負担を感じる』	2,586	11.9	5.1	24.8	18.8	3.2	7.4	1.1	6.1			
	『不安や負担は感じない』	597	11.9	6.0	18.1	15.4	2.0	6.4	2.5	6.0			
	なんともいえない	83	16.9	4.8	15.7	18.1	2.4	4.8	3.6	9.6			
	無回答	109	1.8	-	1.8	4.6	2.8	6.4	-	64.2			

第13章 自由意見

◆教育・保育環境の充実や子育て支援など、福岡市の子ども施策に関する取り組みに関して福岡市へのご意見がございましたら、自由にご記入ください。

回答者1,291人から、2,510件の意見が挙げられている。
 主な項目を整理すると、以下のとおりである。

図表196 自由意見（1／6）

分 類	件数
産前・産後のサポートについて	39
満足点・維持希望	8
産後ケア事業について	5
産前・産後ヘルパー派遣事業について	2
ショートステイについて	1
不満点・改善希望	31
産後ケア事業について	16
ベビーシッターの充実(時間など)	8
産前・産後ヘルパー派遣事業について	7
保育園について	403
満足点・維持希望	84
保育料の軽減・補助・無償化	77
保育園の増設、待機児童の解消	3
その他	4
不満点・改善希望	319
保育士の増員、処遇の改善	76
保育園の増設、待機児童の解消	52
保育園入園・継続条件の緩和	44
保育料の軽減・補助・無償化	37
年度途中に入園できるようにしてほしい	13
一時預かりを充実させてほしい	12
手続きが分かりにくい、煩雑	12
保育内容の充実	10
障がいに関する受け入れ態勢の充実	9
土曜・日曜・長期休暇に預かってほしい	9
受入れ時間の延長	6
病児を預かってほしい	4
保育士について(資質、教育など)	4
保育園の施設の整備、環境の充実	2
きょうだいと同じところに預けられるようにしてほしい	2
その他	27

図表197 自由意見（2／6）

分 類	件数
幼稚園について	59
不満点・改善希望	59
保育料の軽減・補助・無償化	22
教員について(人数と待遇の充実、教員の教育など)	10
受入れ時間の延長、土曜・日曜・長期休暇に預かってほしい	5
認定こども園について(幼稚園と保育園を一体化した施設がほしい)	3
保育内容の充実(英語教育に力をいれる、保育レベルの統一など)	3
入園の困難さ、入園枠の拡張	2
1・2歳児の受入れ制度について	2
その他	12
病児・病後児デイケア、一時預かりについて	139
満足点・維持希望	22
病児・病後児デイケアの無償化	18
気軽に子どもを預けられる場所の設置(親のリフレッシュなど)	4
不満点・改善希望	117
病児・病後児デイケアの受入れ体制などの充実	67
気軽に子どもを預けられる場所の設置(親のリフレッシュなど)	31
利用しやすい料金設定	8
緊急時の預かり場所の設置	7
個々のニーズに沿った預かり施設の設置	4
保健、医療	49
満足点・維持希望	3
医療体制の充実	3
不満点・改善希望	46
夜間・休日・緊急対応	15
健診について	11
小児科等の増設	9
新型コロナウイルスに関する対応の充実	3
その他	8
相談、交流、情報	140
満足点・維持希望	11
育児相談窓口の充実	6
子育てに関する情報の提供	4
イベントの充実、交流	1
不満点・改善希望	129
子育てに関する情報の提供	70
イベントの充実、交流	33
育児相談窓口の充実	26

図表198 自由意見（3／6）

分 類	件数
学校、教育、放課後等について	168
満足点・維持希望	1
給食の充実	1
不満点・改善希望	167
放課後児童クラブについて(利用時間の延長、利用条件の緩和など)	45
給食費の補助・無償化	30
教師の増員、処遇の改善	10
教育内容の充実	10
低料金で利用できる習い事教室がほしい	9
給食の充実	9
支援級・情緒級の充実	9
保護者の負担解消(PTA、育成会など)	8
放課後等の遊び場づくり事業の充実(教室・校庭の利用など)	6
ランドセルや教材持ち帰りの見直し	6
校区割の見直し	4
施設の整備(校舎、エアコン、トイレなど)	4
その他	17
児童会館、子どもプラザについて	81
満足点・維持希望	3
精神的な支えになった	3
不満点・改善希望	78
雨天時や猛暑日などにも遊べる屋内の施設の設置	31
児童会館など子どもの遊び場の増設	15
子どもの年齢に応じた遊び場の設置	7
施設の充実(玩具・遊具・目的別スペースなど)	6
駐車場の整備(広さ、料金補助)	5
利用日や時間の拡張	4
イベントや特典の充実	3
子どもプラザでの一時預かりの実施	2
施設の管理、整備(老朽化、清掃、防犯等)	2
児童会館の一時預かり料金の見直し	1
利用人数制限の解消	1
子ども向けの体験学習や講座を開いてほしい	1

図表199 自由意見（4／6）

分 類	件数
公園や公共施設について	122
満足点・維持希望	6
公園の管理・整備(トイレや遊具の充実、清掃、安全など)	2
公園が多い	2
公民館(子育てサロン、サークルなど)	1
公的施設について	1
不満点・改善希望	116
公園の管理・整備(トイレや遊具の充実、清掃、安全など)	56
公園の増設	18
公民館(子育てサロン、サークルなど)	14
公的施設について	11
図書館の充実	6
屋内の遊び場の充実	6
遊園地の充実	2
その他	3
交通、移動、安全	116
満足点・維持希望	2
道路・歩道の整備	1
公共交通機関でのベビーカーや子ども連れへの配慮	1
不満点・改善希望	114
道路・歩道の整備	42
公共交通機関での妊婦やベビーカー、子ども連れへの配慮	22
自動車・自転車のマナーが悪い	12
犯罪抑制への取組み	11
エレベーターがないなどベビーカーでの移動に不便	8
タバコやゴミのマナー	6
駐車場の利用について	5
交通機関の料金軽減	3
公共交通機関の利便性(延伸や増便等)	2
その他	3
住環境、地域	31
不満点・改善希望	31
地域における理解・協力	16
住宅	15

図表200 自由意見（5／6）

分 類	件数
経済的支援について	433
満足点・維持希望	54
子どもの医療費助成制度の拡充	48
多子家庭への助成	4
ひとり親家庭への助成	1
その他	1
不満点・改善希望	379
教育費負担の軽減	85
児童手当の増額・延長・所得制限撤廃	48
子どもの医療費助成制度の拡充	44
多子家庭への助成	37
小学生以上の子育てにかかる助成	15
予防接種費用の助成	15
妊婦健診・出産時の負担軽減	10
ひとり親家庭に限らない助成	10
ひとり親家庭への助成	9
多胎児家庭への助成	6
ベビー用品費用の負担軽減	6
住宅費の補助	6
不妊治療への助成	5
手当の受給までのスピードや受給日の柔軟化	5
出産育児一時金や産前・産後休業・育児休業中の給付金の充実	4
就学援助の対象拡大	2
児童扶養手当の所得制限撤廃	1
特別児童扶養手当の所得制限撤廃	1
その他	70
障がい児への支援	59
満足点・維持希望	2
放課後等デイサービス料金の軽減・補助	1
その他	1
不満点・改善希望	57
療育施設の充実（増設、預かり時間の延長等）	25
発達相談の充実	6
放課後デイサービスの充実（受入れ条件緩和、時間の延長等）	5
障がい児支援に関する情報提供	5
発達が気になる子どもや知的・発達障がい児への支援充実	5
通級指導教室や特別支援学級の充実、それに伴う教師の増員	3
障がい児も安心して遊べる施設の設置	3
その他	5

図表201 自由意見（6／6）

分 類	件数
仕事と子育ての両立支援について	123
不満点・改善希望	123
仕事と子育ての両立ができる職場の環境整備、企業への働きかけ	46
育児休業制度・時間短縮制度をとりやすくする	24
雇用、働き方について	16
男性の育児に関わる休暇取得の促進・勤務時間の見直し	12
緊急時に有給休暇をとりやすい環境に	9
看護休暇の有給化	9
自営業での育児休業制度の導入	2
その他	5
その他	549
満足点・維持希望	272
おむつと安心定期便	203
市の子育てに対する施策や姿勢	43
子育てしやすい、住みやすい	13
アンケートについて	4
その他	9
不満点・改善希望	274
おむつと安心定期便	66
その他市の施策・事業に対する意見、要望	54
アンケートについて	30
民間施設・店舗などについて	28
市の職員の対応	20
経済状況について	15
ファミリー・サポート・センター事業について	14
男性の育児・家事等への参加	11
その他	36
満足にも不満にも非該当	3
その他	3

Ⅲ 小学生の保護者調査結果

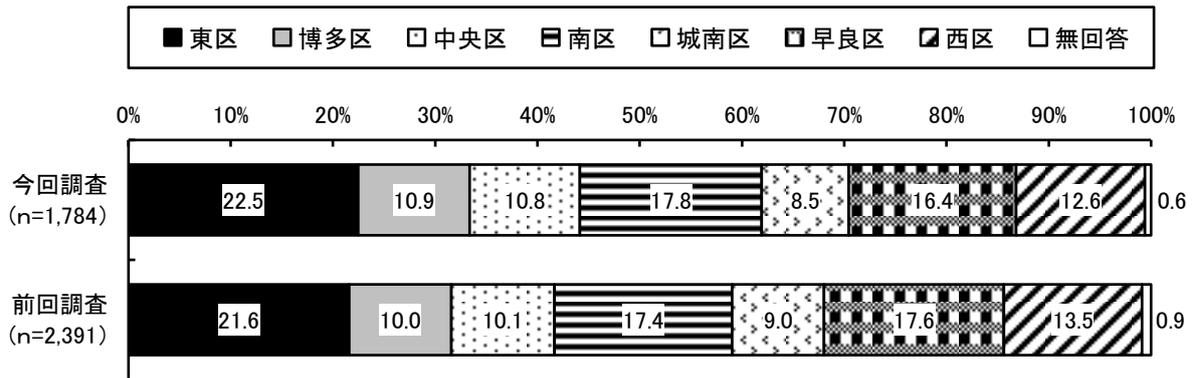
Ⅲ 小学生の保護者調査結果

第1章 対象の子どもと家族の状況について

1. 居住区

問1 お住まいの区はどこですか。(○は1つ)

図表1 居住区

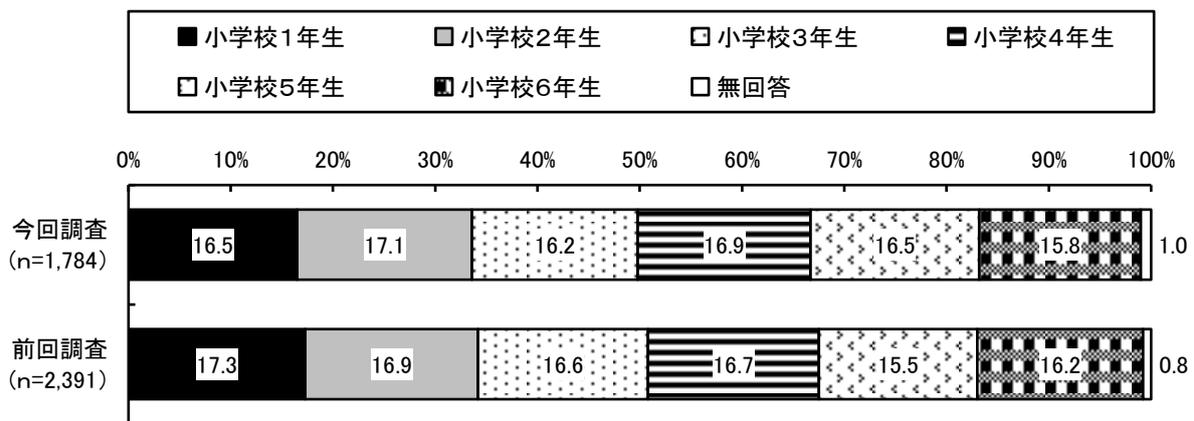


居住区については、「東区」の割合が22.5%で最も高く、次いで「南区」が17.8%で、以下「早良区」が16.4%、「西区」が12.6%、「博多区」が10.9%、「中央区」が10.8%、「城南区」が8.5%の順となっている。

2. 子どもの学年

問2 あて名のお子さんは何年生ですか。(○は1つ)

図表2 子どもの学年



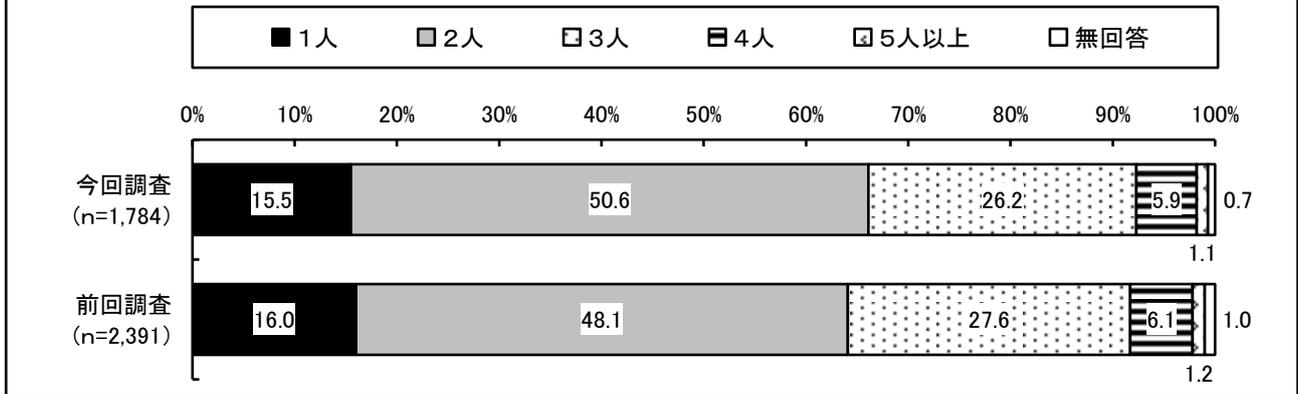
子どもの学年については、「小学校2年生」の割合が17.1%で最も高く、次いで「小学校4年生」が16.9%、「小学校1年生」及び「小学校5年生」が16.5%、「小学校3年生」が16.2%、「小学校6年生」が15.8%となっている。

Ⅲ 小学生の保護者調査結果

3. 子どもの人数

問3 あて名のお子さんを含め、お子さん（年齢は問いません）は何人いらっしゃいますか。
（枠内に数字を記入）

図表3 子どもの人数

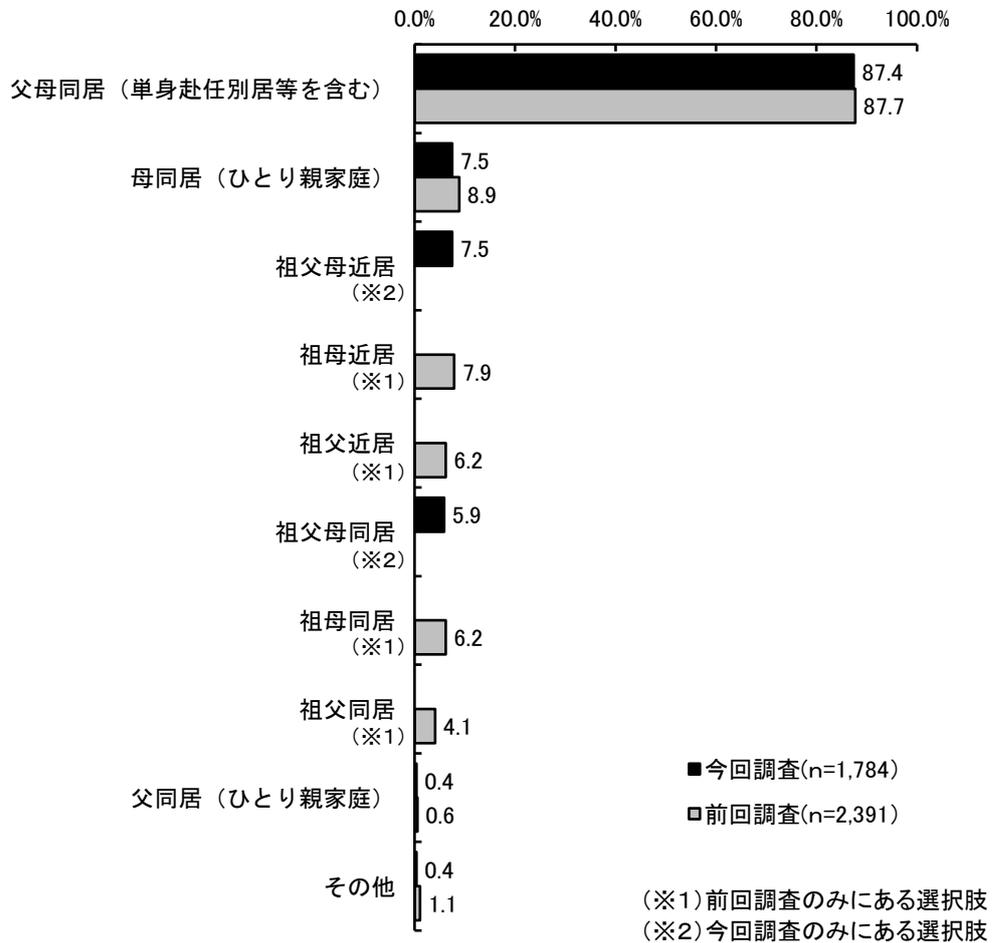


世帯の子どもの人数については、「2人」の割合が50.6%で最も高く、次いで「3人」が26.2%、「1人」が15.5%、「4人」が5.9%、「5人以上」が1.1%となっている。

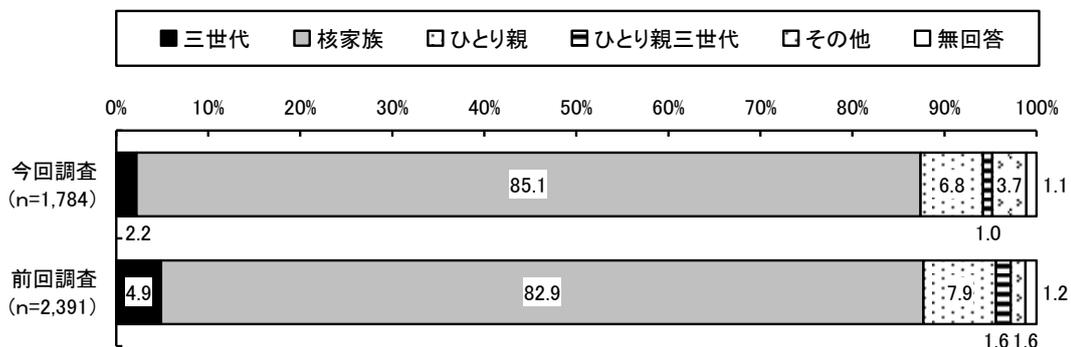
4. 子どもとの同居・近居の状況

問8 あて名のお子さんとの同居・近居の状況について、選んでください。
 (あてはまるものすべてに○)
 あて名のお子さんからみた関係でお答えください。

図表4 子どもとの同居・近居の状況



図表5 世帯分類



子どもとの同居・近居の状況については、「父母同居 (単身赴任別居等を含む)」の割合が87.4%と大部分を占めている。『ひとり親家庭』は「母同居 (ひとり親家庭)」が7.5%、「父同居 (ひとり親家庭)」が0.4%で、合わせて7.9%となっている。祖父母等の同居・近居の状況は、「祖父母近居」が7.5%、「祖父母同居」が5.9%となっている。

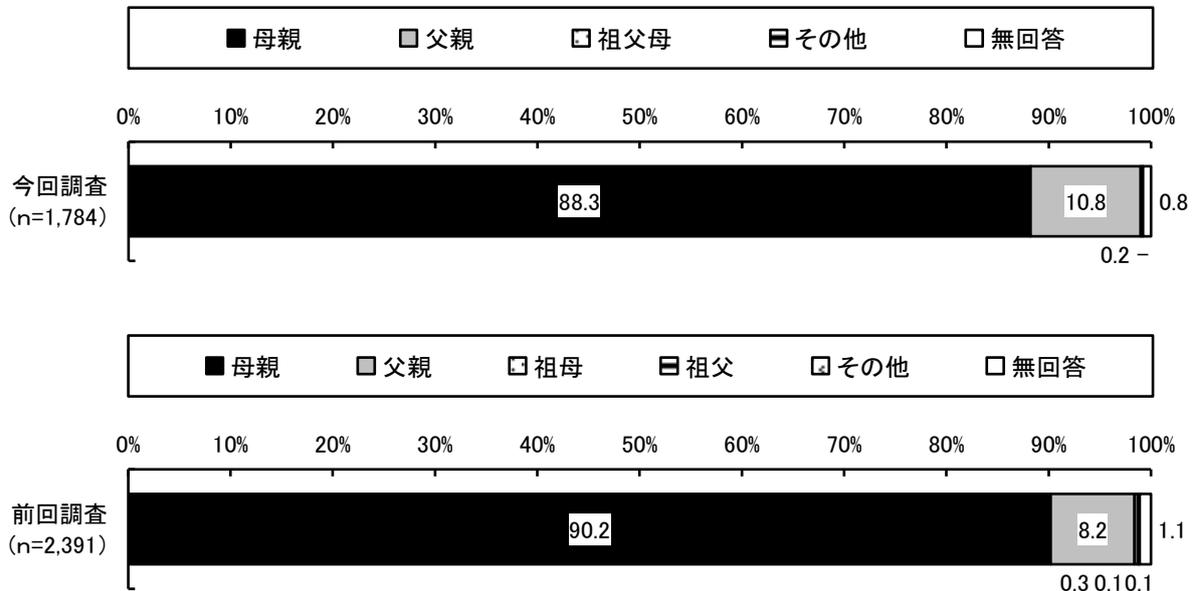
同居の状況から世帯を分類すると、「核家族」の割合が85.1%で最も高く、「ひとり親」が6.8%、「三世帯」が2.2%、「ひとり親三世帯」が1.0%となっている。

Ⅲ 小学生の保護者調査結果

5. 調査の回答者

問5 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。(○は1つ) あて名のお子さんからみた関係でお答えください。

図表6 調査の回答者

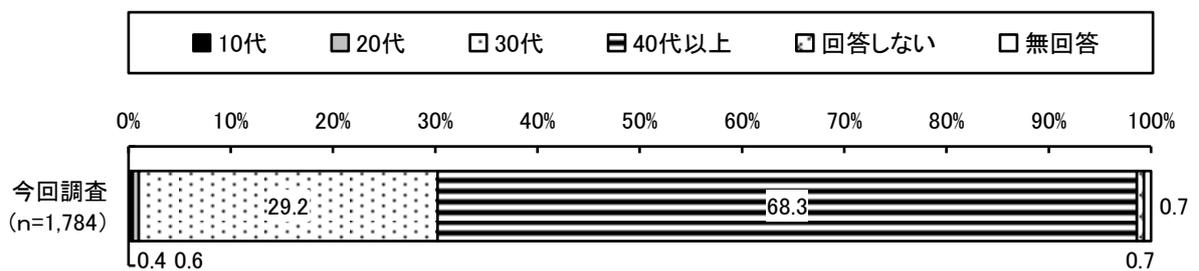


調査の回答者は、「母親」が88.3%とほとんどを占めており、「父親」が10.8%となっている。

6. 調査の回答者の年代

問6 この調査票にご回答いただく方の年代について、お答えください。(○は1つ)

図表7 調査の回答者の年代

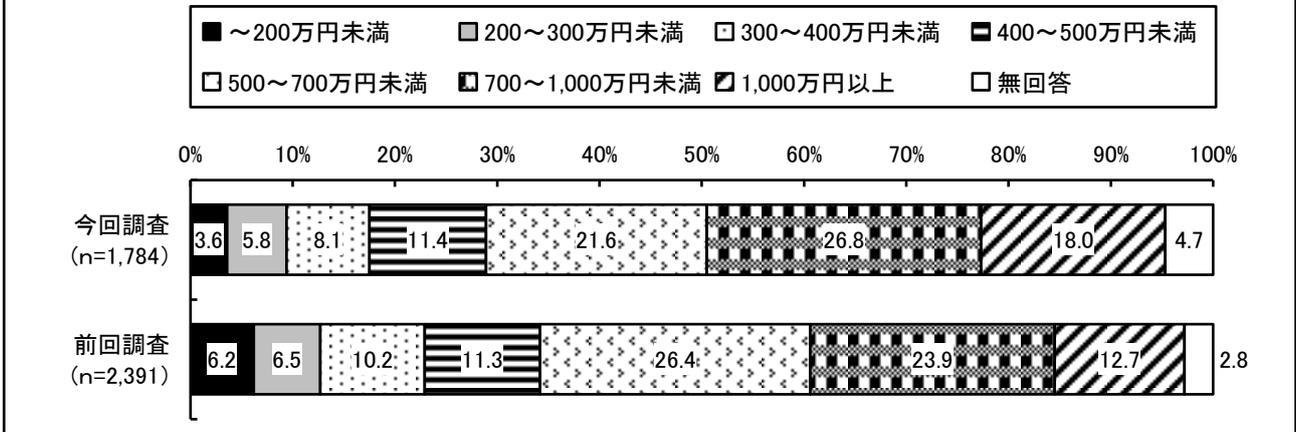


調査の回答者の年代は、「40代以上」の割合が68.3%で最も高く、次いで「30代」が29.2%となっている。

7. 世帯年収

問7 世帯の年収をお伺いします。(○は1つ)

図表8 世帯年収



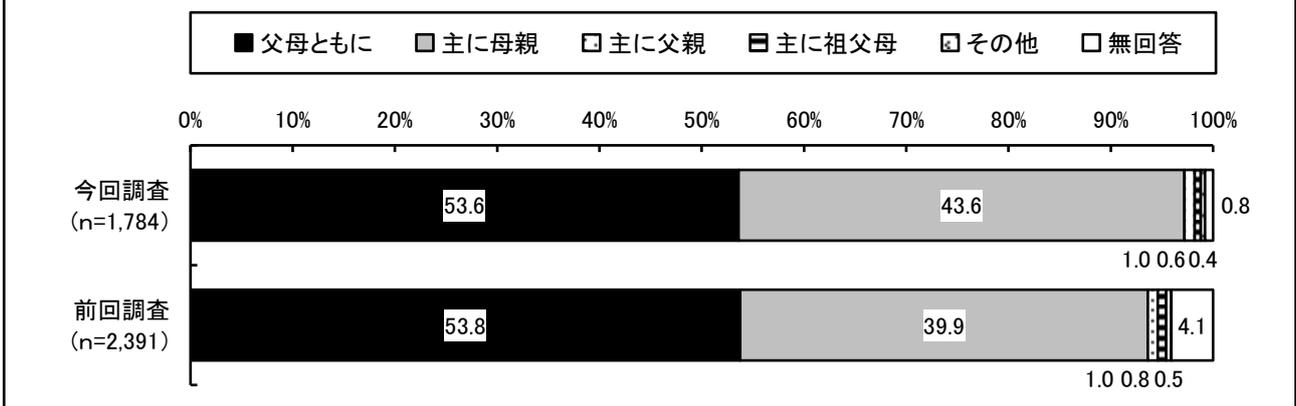
世帯の年収については、「700~1,000万円未満」の割合が26.8%で最も高く、次いで「500~700万円未満」が21.6%、「1,000万円以上」が18.0%、「400~500万円未満」が11.4%、「300~400万円未満」が8.1%、「200~300万円未満」が5.8%、「~200万円未満」が3.6%となっている。

前回調査と比較すると、「1,000万円以上」の割合は5.3ポイント増加している。

8. 子育てを主に行っている人

問4 ご家庭において、あて名のお子さんの子育て（教育を含む）を主にしている方はどなたですか。あて名のお子さんから見た関係でお答えください。(○は1つ)

図表9 子育てを主に行っている人



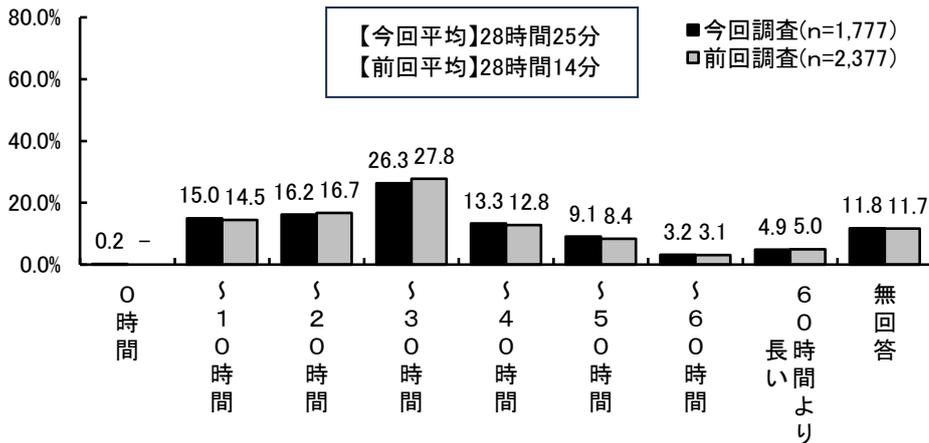
子育てを主に行っている人については、「父母ともに」の割合が53.6%で最も高く、次いで「主に母親」が43.6%、「主に父親」が1.0%、「主に祖父母」が0.6%となっている。

9. 家事時間・育児時間

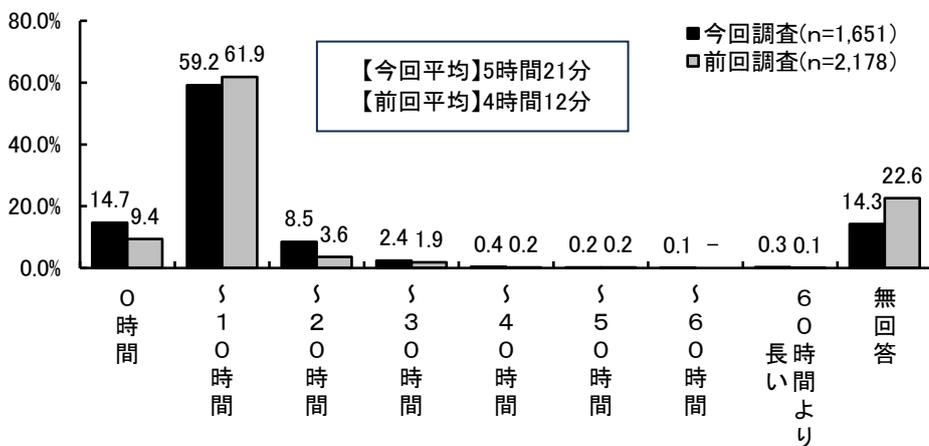
(1) 家事時間

問9 あて名のお子さんの母親と父親の1週間の家事・育児時間はどれくらいですか。
 (1週間の時間を合計して枠内に記入)
 ※「育児時間」とは、子どもの身の回りの世話や遊び相手、勉強をみてあげることなど、子どもと一緒に過ごす時間をいいます。

図表10 家事時間（母親）



図表11 家事時間（父親）



母親の1週間当たりの家事時間については、「～30時間」の割合が26.3%で最も高く、次いで「～20時間」が16.2%、「～10時間」が15.0%となっている。

父親の1週間当たりの家事時間については、「～10時間」の割合が59.2%で最も高く、次いで「0時間」が14.7%となっている。

前回調査と比較すると、母親の1週間当たりの平均家事時間は11分増加し、父親の1週間当たりの平均家事時間は1時間9分増加している。

母親の1週間当たりの家事時間について母親の就労状況別にみると、いずれの場合でも「～30時間」の割合が最も高く、フルタイムで就労している場合では3割となっている。

父親の1週間当たりの家事時間について母親の就労状況別にみると、いずれの場合でも「～10時間」の割合が最も高く、6割前後となっている。

図表12 母親の就労状況別 家事時間（母親）

(単位:%)

		標本数 (人)	0時間	10時間	20時間	30時間	40時間	50時間	60時間	60時間より長い	無回答
全体		1,777	0.2	15.0	16.2	26.3	13.3	9.1	3.2	4.9	11.8
母親の 就労 状況 別	フルタイムで就労	707	0.3	19.8	22.2	30.6	9.1	5.7	1.4	2.1	8.9
	パート・アルバイト等で就労	668	-	12.3	14.5	25.9	15.9	10.9	3.1	4.3	13.0
	以前は就労していたが、 現在は就労していない	312	0.3	10.6	9.0	21.8	16.0	12.2	6.7	11.2	12.2
	これまで就労したことがない	33	-	12.1	9.1	15.2	15.2	15.2	3.0	12.1	18.2
	無回答	57	-	12.3	5.3	10.5	19.3	10.5	7.0	7.0	28.1

図表13 母親の就労状況別 家事時間（父親）

(単位:%)

		標本数 (人)	0時間	10時間	20時間	30時間	40時間	50時間	60時間	60時間より長い	無回答
全体		1,644	14.7	59.2	8.5	2.3	0.4	0.2	0.1	0.3	14.4
母親の 就労 状況 別	フルタイムで就労	615	11.7	59.3	12.0	3.9	0.5	0.3	0.2	0.7	11.4
	パート・アルバイト等で就労	639	15.3	61.2	6.9	0.6	0.5	0.2	-	0.2	15.2
	以前は就労していたが、 現在は就労していない	303	17.8	59.1	5.3	2.3	-	-	-	-	15.5
	これまで就労したことがない	33	24.2	48.5	9.1	-	-	-	-	-	18.2
	無回答	54	18.5	42.6	3.7	5.6	-	-	-	-	29.6

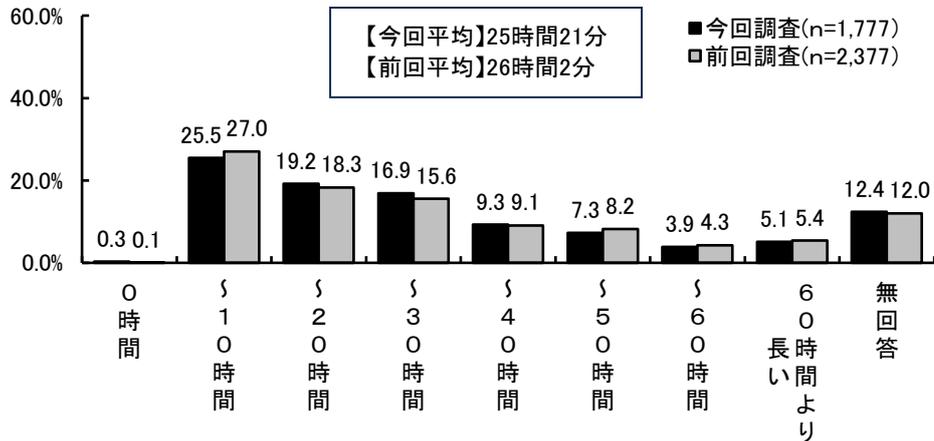
Ⅲ 小学生の保護者調査結果

(2) 育児時間

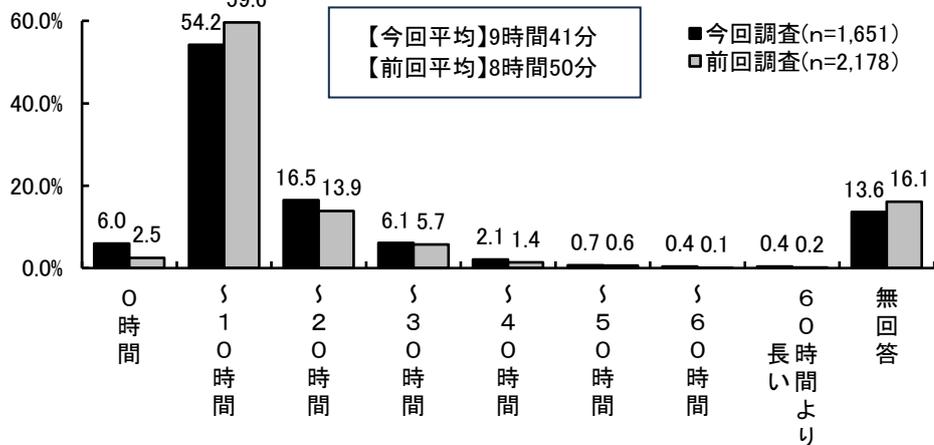
問9 あて名のお子さんの母親と父親の1週間の家事・育児時間はどれくらいですか。
 (1週間の時間を合計して枠内に記入)

※「育児時間」とは、子どもの身の回りの世話や遊び相手、勉強をみてあげることなど、子どもと一緒に過ごす時間をいいます。

図表14 育児時間（母親）



図表15 育児時間（父親）



母親の1週間当たりの育児時間については、「～10時間」の割合が25.5%で最も高く、次いで「～20時間」が19.2%、「～30時間」が16.9%となっている。

父親の1週間当たりの育児時間については、「～10時間」の割合が54.2%で最も高く、次いで「～20時間」が16.5%となっている。

前回調査と比較すると、母親の1週間当たりの平均育児時間は41分減少し、父親の1週間当たりの平均育児時間は51分増加している。

母親の1週間当たりの育児時間について母親の就労状況別にみると、フルタイムで就労している場合は「～10時間」の割合が他の就労状況に比べて高くなっている。

父親の1週間当たりの育児時間について母親の就労状況別にみると、いずれの場合でも「～10時間」の割合が最も高く、半数以上となっている。

図表16 母親の就労状況別 育児時間（母親）

(単位:%)

		標本数 (人)	0時間	10時間	20時間	30時間	40時間	50時間	60時間	60時間より長い	無回答
全体		1,777	0.3	25.5	19.2	16.9	9.3	7.3	3.9	5.1	12.4
母親の 就労 状況 別	フルタイムで就労	707	0.4	33.4	22.2	15.1	8.8	4.8	2.8	3.1	9.3
	パート・アルバイト等で就労	668	0.1	22.9	18.7	18.4	10.2	7.6	4.5	4.8	12.7
	以前は就労していたが、 現在は就労していない	312	0.3	15.1	16.3	18.6	9.0	12.5	5.4	9.3	13.5
	これまで就労したことがない	33	-	24.2	9.1	18.2	6.1	3.0	3.0	15.2	21.2
	無回答	57	-	17.5	10.5	12.3	10.5	8.8	1.8	3.5	35.1

図表17 母親の就労状況別 育児時間（父親）

(単位:%)

		標本数 (人)	0時間	10時間	20時間	30時間	40時間	50時間	60時間	60時間より長い	無回答
全体		1,644	6.0	54.2	16.5	6.1	2.1	0.7	0.4	0.4	13.6
母親の 就労 状況 別	フルタイムで就労	615	5.5	55.4	17.9	6.2	2.6	0.5	0.7	0.7	10.6
	パート・アルバイト等で就労	639	6.7	54.0	16.4	5.5	1.9	0.8	0.3	0.3	14.1
	以前は就労していたが、 現在は就労していない	303	6.3	53.8	14.5	7.6	2.0	1.0	0.3	-	14.5
	これまで就労したことがない	33	9.1	60.6	9.1	6.1	-	-	-	-	15.2
	無回答	54	-	40.7	16.7	3.7	1.9	-	-	-	37.0

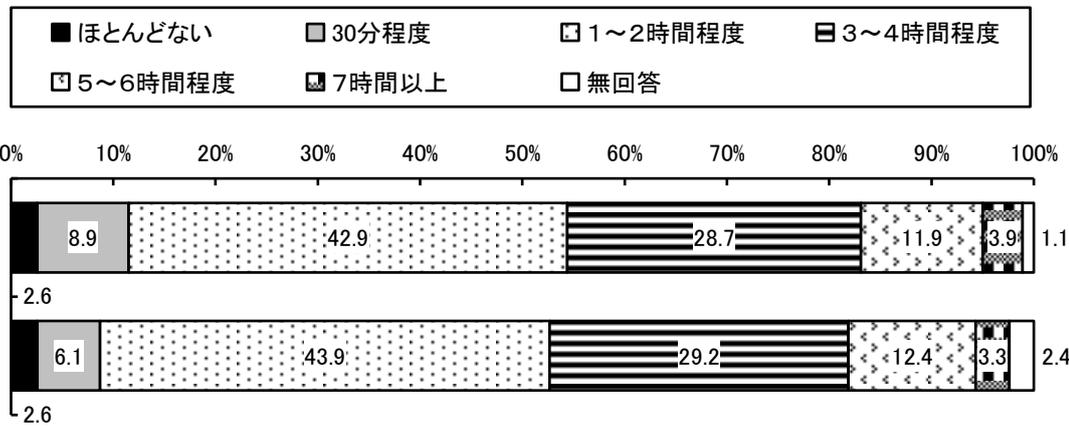
Ⅲ 小学生の保護者調査結果

10. 子どもと過ごす時間

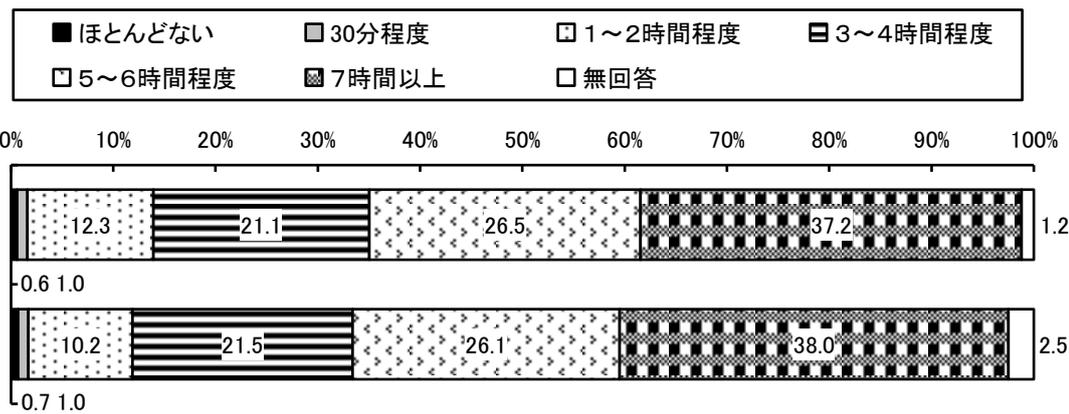
(1) 子どもと過ごす時間

問10 あなたは、あて名のお子さんと一緒に何かをしたり、相手をしたりしている時間が1日にどのくらいありますか。食事時間を含みます。(平日・休日それぞれに○は1つつ)

図表18 子どもと過ごす時間（平日）



図表19 子どもと過ごす時間（休日）



平日の子どもと過ごす時間については、「1～2時間程度」の割合が42.9%で最も高く、次いで「3～4時間程度」が28.7%、「5～6時間程度」が11.9%となっている。

休日の子どもの過ごす時間については、「7時間以上」の割合が37.2%で最も高く、次いで「5～6時間程度」が26.5%、「3～4時間程度」が21.1%、「1～2時間程度」が12.3%となっている。

平日の子どもと過ごす時間について母親の就労状況別にみると、就労している場合に比べて、就労していない場合に時間が長い傾向にある。

休日の子どもの過ごす時間について母親の就労状況別にみると、いずれの場合でも「7時間以上」の割合が最も高くなっている。

図表20 母親の就労状況別、世帯分類別 子どもと過ごす時間（平日）

(単位:%)

		標本数 (人)	ほとんどない	30分程度	1 ～ 2時間程度	3 ～ 4時間程度	5 ～ 6時間程度	7時間以上	無回答
全体		1,777	2.6	8.9	42.9	28.8	11.8	3.9	1.1
母親の 就労 状況 別	フルタイムで就労	707	4.1	11.7	49.1	26.3	6.9	1.1	0.7
	パート・アルバイト等で就労	668	1.5	7.3	43.3	29.8	13.6	3.9	0.6
	以前は就労していたが、 現在は就労していない	312	2.2	5.1	31.1	32.4	18.6	9.0	1.6
	これまで就労したことがない	33	-	6.1	39.4	30.3	15.2	9.1	-
	無回答	57	1.8	15.8	28.1	26.3	12.3	7.0	8.8
全体		1,784	2.6	8.9	42.9	28.7	11.9	3.9	1.1
世帯 分類 別	三世帯	40	2.5	10.0	40.0	35.0	12.5	-	-
	核家族	1,519	2.5	8.4	43.0	29.2	12.2	4.1	0.5
	ひとり親	122	6.6	13.1	40.2	25.4	11.5	3.3	-
	ひとり親三世帯	18	-	22.2	55.6	11.1	11.1	-	-
	その他	66	-	9.1	53.0	28.8	6.1	3.0	-
	無回答	19	-	5.3	15.8	15.8	5.3	-	57.9

図表21 母親の就労状況別、世帯分類別 子どもと過ごす時間（休日）

(単位:%)

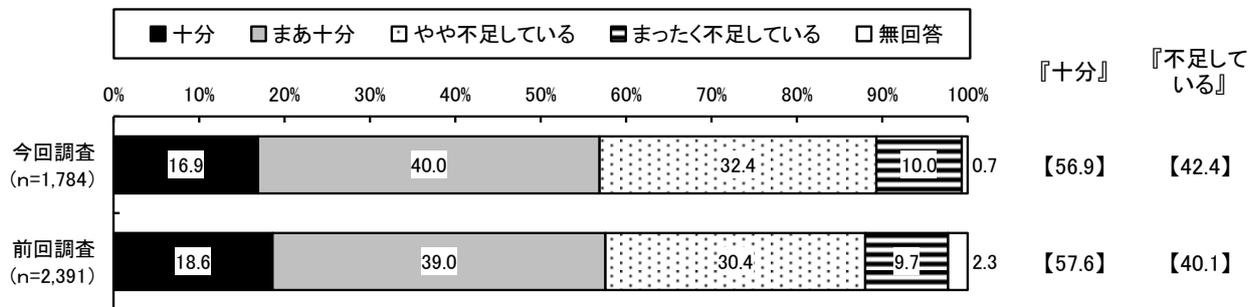
		標本数 (人)	ほとんどない	30分程度	1 ～ 2時間程度	3 ～ 4時間程度	5 ～ 6時間程度	7時間以上	無回答
全体		1,777	0.6	1.0	12.3	21.2	26.6	37.1	1.2
母親の 就労 状況 別	フルタイムで就労	707	0.8	1.4	15.3	20.8	27.3	33.5	0.8
	パート・アルバイト等で就労	668	0.1	0.6	10.8	22.6	25.7	39.5	0.6
	以前は就労していたが、 現在は就労していない	312	0.6	0.6	7.4	20.2	27.6	41.3	2.2
	これまで就労したことがない	33	-	-	15.2	27.3	21.2	36.4	-
	無回答	57	3.5	3.5	17.5	10.5	24.6	31.6	8.8
全体		1,784	0.6	1.0	12.3	21.1	26.5	37.2	1.2
世帯 分類 別	三世帯	40	-	-	17.5	12.5	15.0	55.0	-
	核家族	1,519	0.6	0.9	11.8	21.3	26.9	37.7	0.7
	ひとり親	122	1.6	1.6	17.2	23.8	28.7	27.0	-
	ひとり親三世帯	18	-	5.6	11.1	27.8	16.7	38.9	-
	その他	66	-	1.5	12.1	18.2	27.3	40.9	-
	無回答	19	-	5.3	5.3	10.5	10.5	10.5	57.9

Ⅲ 小学生の保護者調査結果

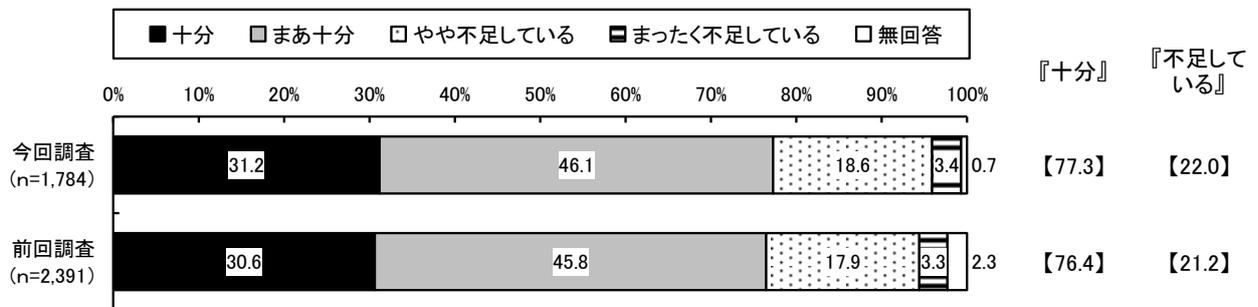
(2) 子どもと過ごす時間の評価

問11 あなたは、ご自分があて名のお子さんと一緒に過ごしている時間は十分だと思いますか。
(平日・休日それぞれに○は1つずつ)

図表22 子どもと過ごす時間の評価（平日）



図表23 子どもと過ごす時間の評価（休日）



平日の子どもと過ごす時間の評価については、『十分』（「十分」と「まあ十分」を合わせた割合）は56.9%となっている。

休日の子供と過ごす時間の評価については、『十分』（「十分」と「まあ十分」を合わせた割合）は77.3%となっている。

平日の子どもと過ごす時間の評価について母親の就労状況別にみると、フルタイムで就労している場合には『不足している』の割合が他の就労状況に比べて高くなっている。

世帯分類別にみると、ひとり親では『不足している』の割合が7割弱となっている。

世帯年収別にみると、200～300万円未満では『不足している』の割合が他の世帯年収に比べて高くなっている。

休日の子供と過ごす時間の評価について母親の就労状況別にみると、フルタイムで就労している場合には『不足している』の割合が他の就労状況に比べて高くなっている。

世帯分類別にみると、ひとり親では『不足している』の割合が3割半ばとなっている。

世帯年収別にみると、200～300万円未満及び300～400万円未満では『不足している』の割合が他の世帯年収に比べて高くなっている。

図表24 母親の就労状況別、世帯分類別、世帯年収別 子どもと過ごす時間の評価（平日）

		標本数（人）	十分	まあ十分	やや不足している	まったく不足している	無回答	『十分』	『不足している』
全体		1,777	17.0	40.1	32.3	10.0	0.7	57.1	42.3
母親の就労状況別	フルタイムで就労	707	8.1	31.4	41.7	18.4	0.4	39.5	60.1
	パート・アルバイト等で就労	668	17.4	47.9	29.3	4.8	0.6	65.3	34.1
	以前は就労していたが、現在は就労していない	312	34.0	42.9	18.6	4.2	0.3	76.9	22.8
	これまで就労したことがない	33	39.4	42.4	18.2	-	-	81.8	18.2
	無回答	57	17.5	38.6	33.3	3.5	7.0	56.1	36.8
全体		1,784	16.9	40.0	32.4	10.0	0.7	56.9	42.4
世帯分類別	三世帯	40	15.0	37.5	40.0	7.5	-	52.5	47.5
	核家族	1,519	18.1	41.9	31.2	8.7	0.1	60.0	39.9
	ひとり親	122	9.0	23.0	41.8	26.2	-	32.0	68.0
	ひとり親三世帯	18	-	5.6	55.6	38.9	-	5.6	94.5
	その他	66	12.1	48.5	33.3	6.1	-	60.6	39.4
無回答	19	10.5	10.5	26.3	-	52.6	21.0	26.3	
全体		1,784	16.9	40.0	32.4	10.0	0.7	56.9	42.4
世帯年収別	200万円未満	64	14.1	32.8	34.4	17.2	1.6	46.9	51.6
	200～300万円未満	104	9.6	29.8	41.3	19.2	-	39.4	60.5
	300～400万円未満	145	15.2	38.6	36.6	9.7	-	53.8	46.3
	400～500万円未満	203	16.7	43.3	32.5	7.4	-	60.0	39.9
	500～700万円未満	385	17.7	41.8	30.9	9.4	0.3	59.5	40.3
	700～1,000万円未満	478	17.6	41.8	31.4	9.2	-	59.4	40.6
	1,000万円以上	321	20.6	36.4	32.7	10.3	-	57.0	43.0
	無回答	84	10.7	47.6	23.8	6.0	11.9	58.3	29.8

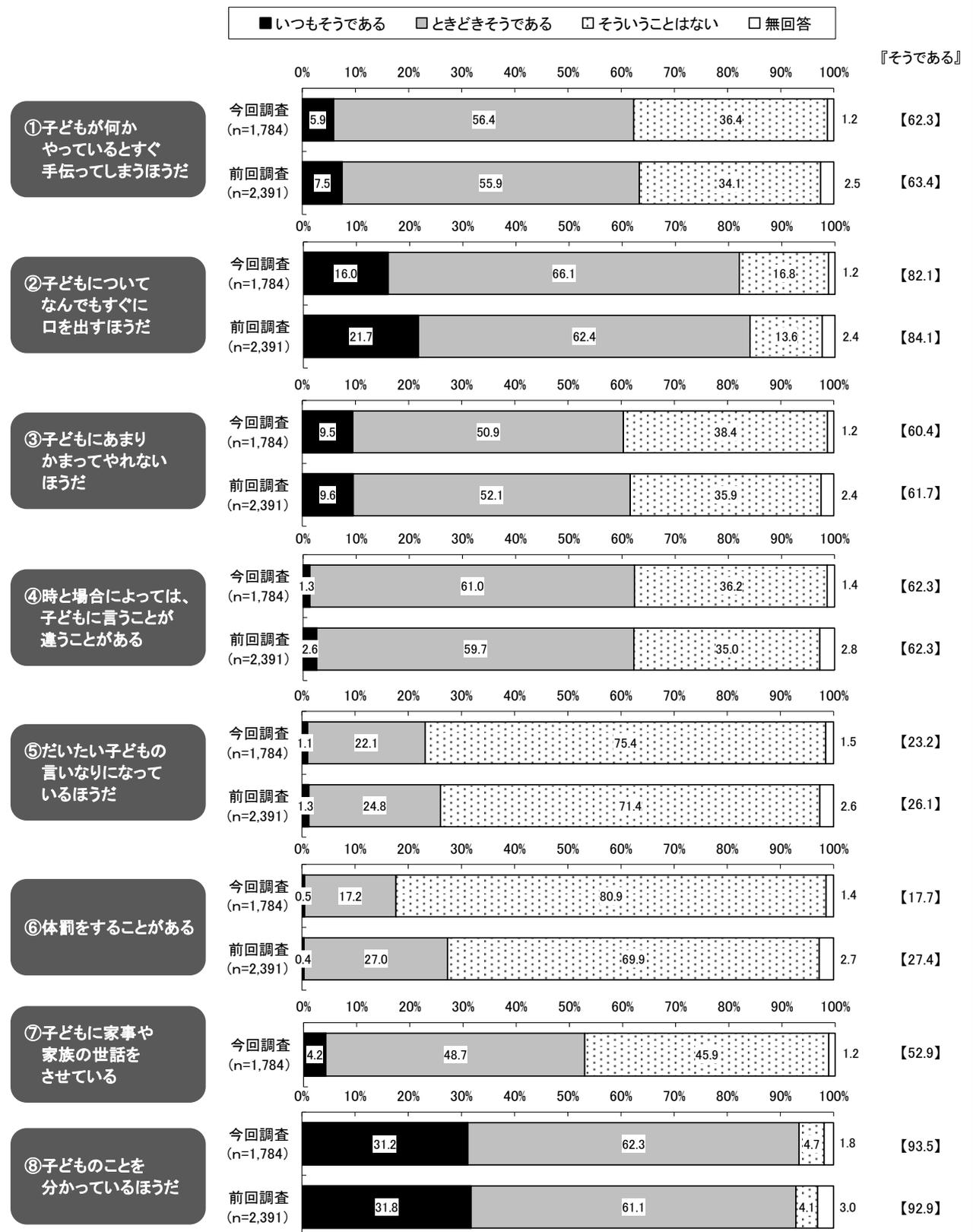
図表25 母親の就労状況別、世帯分類別、世帯年収別 子どもと過ごす時間の評価（休日）

		標本数（人）	十分	まあ十分	やや不足している	まったく不足している	無回答	『十分』	『不足している』
全体		1,777	31.2	46.1	18.6	3.4	0.7	77.3	22.0
母親の就労状況別	フルタイムで就労	707	23.1	47.5	22.3	6.5	0.6	70.6	28.8
	パート・アルバイト等で就労	668	34.4	46.4	17.4	1.2	0.6	80.8	18.6
	以前は就労していたが、現在は就労していない	312	42.3	42.9	12.5	1.9	0.3	85.2	14.4
	これまで就労したことがない	33	39.4	42.4	18.2	-	-	81.8	18.2
	無回答	57	28.1	43.9	19.3	1.8	7.0	72.0	21.1
全体		1,784	31.2	46.1	18.6	3.4	0.7	77.3	22.0
世帯分類別	三世帯	40	30.0	45.0	20.0	5.0	-	75.0	25.0
	核家族	1,519	32.3	47.1	17.8	2.6	0.2	79.4	20.4
	ひとり親	122	23.0	42.6	24.6	9.8	-	65.6	34.4
	ひとり親三世帯	18	27.8	38.9	11.1	22.2	-	66.7	33.3
	その他	66	27.3	43.9	24.2	4.5	-	71.2	28.7
無回答	19	15.8	10.5	21.1	-	52.6	26.3	21.1	
全体		1,784	31.2	46.1	18.6	3.4	0.7	77.3	22.0
世帯年収別	200万円未満	64	32.8	45.3	15.6	6.3	-	78.1	21.9
	200～300万円未満	104	23.1	47.1	21.2	8.7	-	70.2	29.9
	300～400万円未満	145	24.8	44.1	26.2	4.8	-	68.9	31.0
	400～500万円未満	203	32.0	45.3	19.2	3.0	0.5	77.3	22.2
	500～700万円未満	385	29.6	50.9	16.4	2.6	0.5	80.5	19.0
	700～1,000万円未満	478	33.7	45.4	18.2	2.7	-	79.1	20.9
	1,000万円以上	321	34.3	43.9	19.0	2.8	-	78.2	21.8
	無回答	84	29.8	41.7	13.1	3.6	11.9	71.5	16.7

11. 子どもに対する日ごろのしつけ（態度）について

問12 あて名のお子さんに対する、あなたの日ごろのしつけ（態度）はどのようにされていますか。（①～⑧について、それぞれに○は1つずつ）

図表26 子どもに対する日ごろのしつけ（態度）について



※⑦は今回調査のみにある項目

子どもに対する日ごろのしつけ（態度）として『そうである』（「いつもそうである」と「ときどきそうである」を合わせた割合）をみると、

＜①子どもが何かやっているとすぐ手伝ってしまうほうだ＞は、62.3%であり、前回調査とほぼ同様の結果となっている。

＜②子どもについてなんでもすぐに口を出すほうだ＞は、82.1%であり、前回調査とほぼ同様の結果となっている。

＜③子どもにあまりかまってやれないほうだ＞は、60.4%であり、前回調査とほぼ同様の結果となっている。

＜④時と場合によっては、子どもに言うことが違うことがある＞は、62.3%であり、前回調査と同様の結果となっている。

＜⑤だいたい子どもの言いなりになっているほうだ＞は、23.2%であり、前回調査とほぼ同様の結果となっている。

＜⑥体罰をすることがある＞は、17.7%であり、前回調査から約10ポイント減少している。

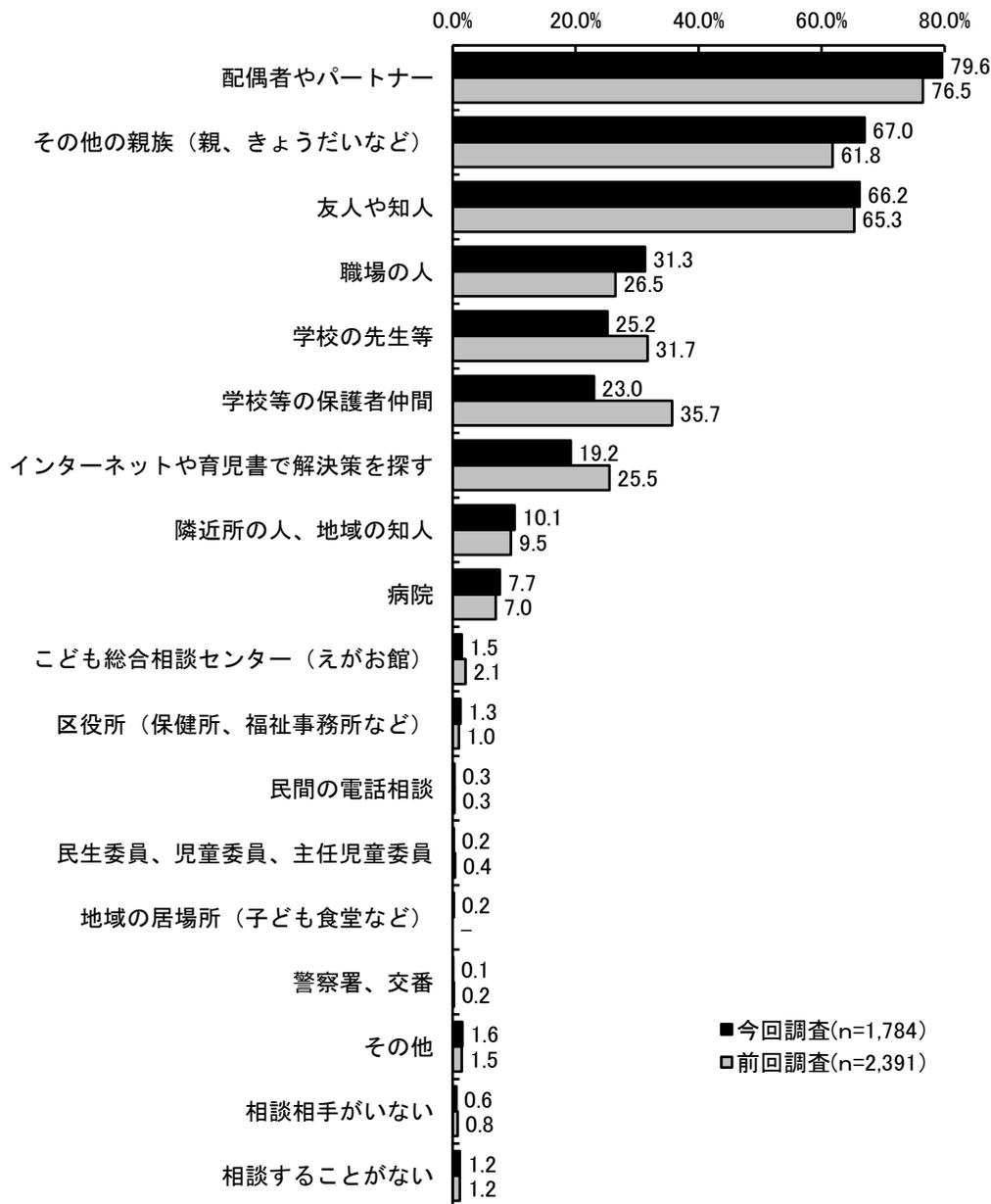
＜⑦子どもに家事や家族の世話をさせている＞は、52.9%となっている。

＜⑧子どものことを分かっているほうだ＞は、93.5%であり、前回調査とほぼ同様の結果となっている。

12. 子育てについての相談相手

問13 あなたが子育てについて不安に思ったり、困ったりすることやわからないことがある場合、誰（どこ）に相談されますか。（あてはまるものすべてに○）

図表27 子育てについての相談相手



子育てについての相談相手としては、「配偶者やパートナー」の割合が79.6%で最も高く、次いで「その他の親族（親、きょうだいなど）」が67.0%、「友人や知人」が66.2%、「職場の人」が31.3%、「学校の先生等」が25.2%、「学校等の保護者仲間」が23.0%、「インターネットや育児書で解決策を探す」が19.2%、「隣近所の人、地域の知人」が10.1%となっている。

前回調査と比較すると、「その他の親族（親、きょうだいなど）」の割合は5.2ポイント増加し、「学校等の保護者仲間」の割合は12.7ポイント減少している。

子どもの学年別にみても、大きな違いは見られない。

母親の就労状況別にみると、フルタイム及びパート・アルバイト等で就労している場合には「職場の人」、パート・アルバイト等で就労及び以前は就労していたが、現在は就労していない場合には「学校等の保護者仲間」、以前は就労していたが、現在は就労していない場合には「学校の先生等」の割合が他の就労状況に比べて高くなっている。

世帯分類別にみると、核家族では「学校等の保護者仲間」の割合が他の世帯に比べて高くなっている。

図表28 子どもの学年別、母親の就労状況別、世帯分類別
子育てについての相談相手（1/2）

(単位:%)

		標本数(人)	配偶者やパートナー	その他の親族(親、きょうだいなど)	友人や知人	隣近所の人、地域の知人	職場の人	学校等の保護者仲間	学校の先生等	区役所(保健所、福祉事務所など)	こども総合相談センター(えがお館)	病院
全体		1,784	79.6	67.0	66.2	10.1	31.3	23.0	25.2	1.3	1.5	7.7
子どもの学年別	小学校1～3年生	889	81.3	66.7	64.7	11.1	30.1	23.2	25.5	2.1	1.7	8.3
	小学校4～6年生	878	77.9	67.1	67.7	9.0	32.7	22.8	24.9	0.6	1.4	6.9
	無回答	17	76.5	82.4	70.6	11.8	17.6	29.4	23.5	-	-	17.6
全体		1,777	79.9	67.1	66.2	10.1	31.3	23.0	25.2	1.4	1.5	7.8
母親の就労状況別	フルタイムで就労	707	74.8	66.8	64.1	8.9	41.3	18.7	21.2	0.8	0.7	6.6
	パート・アルバイト等で就労	668	83.5	68.1	69.9	11.2	36.7	26.2	26.2	1.9	2.1	8.1
	以前は就労していたが、現在は就労していない	312	87.5	68.3	67.9	9.6	5.1	27.9	33.0	1.6	2.2	10.3
	これまで就労したことがない	33	75.8	75.8	60.6	15.2	3.0	15.2	21.2	-	-	9.1
	無回答	57	59.6	47.4	42.1	10.5	5.3	17.5	22.8	-	1.8	3.5
全体		1,784	79.6	67.0	66.2	10.1	31.3	23.0	25.2	1.3	1.5	7.7
世帯分類別	三世帯	40	90.0	60.0	65.0	7.5	47.5	10.0	22.5	5.0	2.5	7.5
	核家族	1,519	86.4	67.2	66.4	10.7	30.3	24.4	25.4	1.1	1.6	7.8
	ひとり親	122	9.8	63.9	70.5	5.7	37.7	16.4	23.8	4.1	0.8	7.4
	ひとり親三世帯	18	5.6	83.3	55.6	5.6	27.8	5.6	22.2	-	-	11.1
	その他	66	71.2	69.7	62.1	7.6	37.9	18.2	27.3	1.5	-	3.0
無回答		19	57.9	63.2	52.6	10.5	10.5	21.1	21.1	-	-	21.1

Ⅲ 小学生の保護者調査結果

図表29 子どもの学年別、母親の就労状況別、世帯分類別
子育てについての相談相手（2/2）

(単位:%)

		標本数(人)	警察署、 交番	民生委員、 児童委員、 児童委員、主 任	地域の居場所(子ども食 堂など)	民間の電話相談	インターネットや育児書 で解決策を探す	その他	相談相手がない	相談することがない	無回答
全 体		1,784	0.1	0.2	0.2	0.3	19.2	1.6	0.6	1.2	0.9
学 年 別	小学校1～3年生	889	0.1	0.1	0.3	0.2	19.2	1.7	0.7	1.2	1.2
	小学校4～6年生	878	-	0.2	0.1	0.3	19.5	1.5	0.6	1.3	0.5
	無回答	17	-	5.9	-	-	5.9	-	-	-	5.9
全 体		1,777	0.1	0.2	0.2	0.3	19.2	1.6	0.6	1.2	0.9
母 親 の 就 労 状 況 別	フルタイムで就労	707	-	-	0.1	0.3	17.5	1.7	0.8	1.8	0.3
	パート・アルバイト等で就労	668	-	0.3	0.3	0.1	20.5	1.2	0.4	0.9	0.3
	以前は就労していたが、 現在は就労していない	312	-	0.3	0.3	0.6	21.2	2.2	0.3	0.3	-
	これまで就労したことがない	33	3.0	3.0	-	-	21.2	-	-	3.0	-
	無回答	57	-	-	-	-	14.0	1.8	1.8	-	21.1
全 体		1,784	0.1	0.2	0.2	0.3	19.2	1.6	0.6	1.2	0.9
世 帯 分 類 別	三世代	40	-	-	-	-	12.5	-	-	-	2.5
	核家族	1,519	0.1	0.2	0.2	0.3	19.9	1.4	0.6	1.1	0.7
	ひとり親	122	-	-	0.8	-	19.7	4.1	1.6	4.9	-
	ひとり親三世代	18	-	-	-	-	16.7	-	-	-	-
	その他	66	-	-	-	-	12.1	1.5	-	-	1.5
	無回答	19	-	5.3	-	-	-	-	-	-	15.8

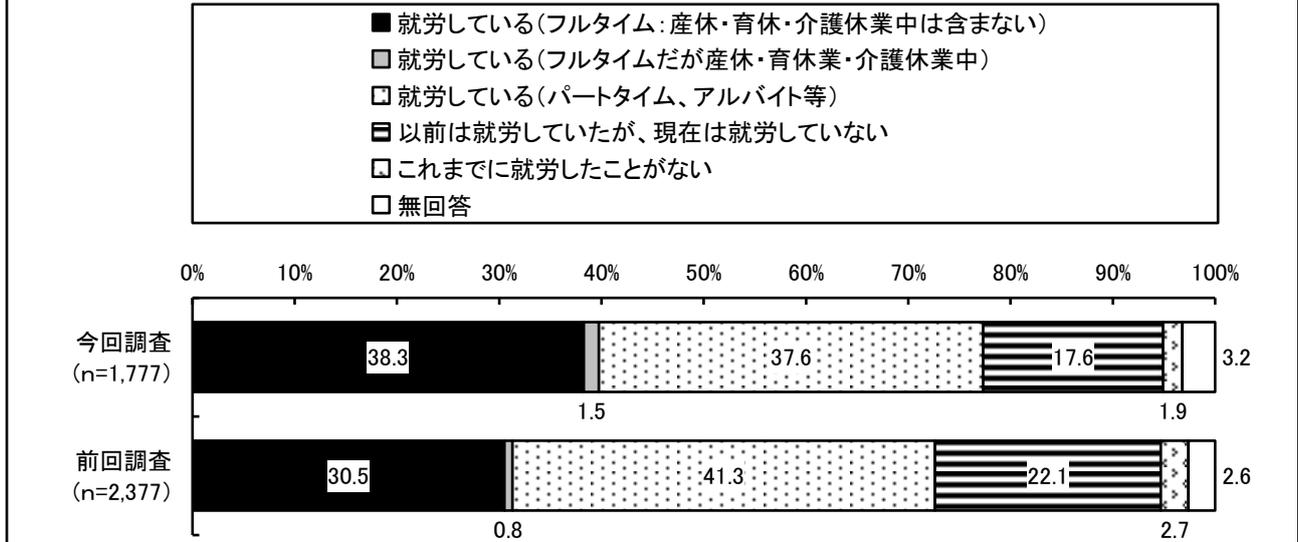
第2章 保護者の就労状況について

1. 母親の就労状況

(1) 母親の就労状況

問14 母親の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）について、お答えください。
 （○は1つ。枠内に数字を記入）【該当されない場合は記入は不要です】

図表30 母親の就労状況

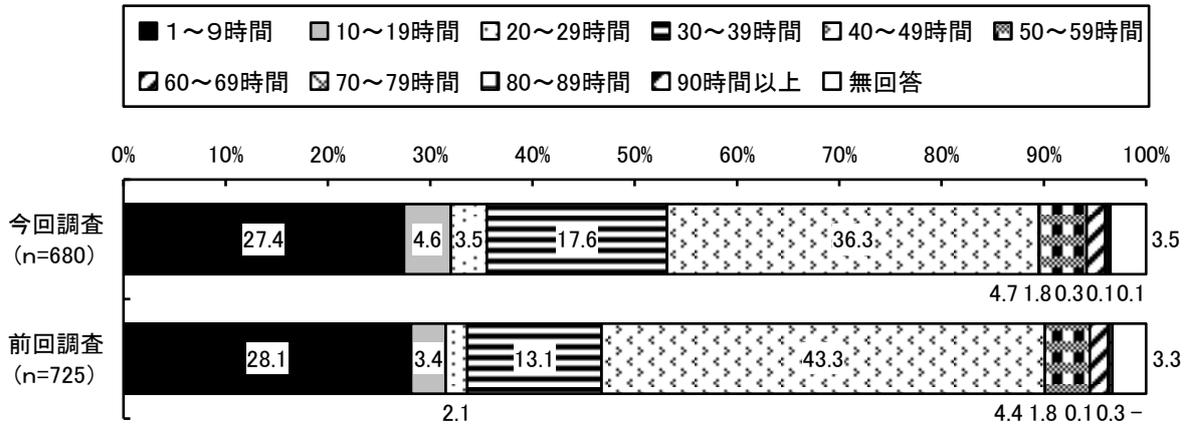


母親の就労状況については、「就労している（フルタイム：産休・育休・介護休業中は含まない）」の割合が38.3%で最も高く、次いで「就労している（パートタイム、アルバイト等）」が37.6%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が17.6%となっている。

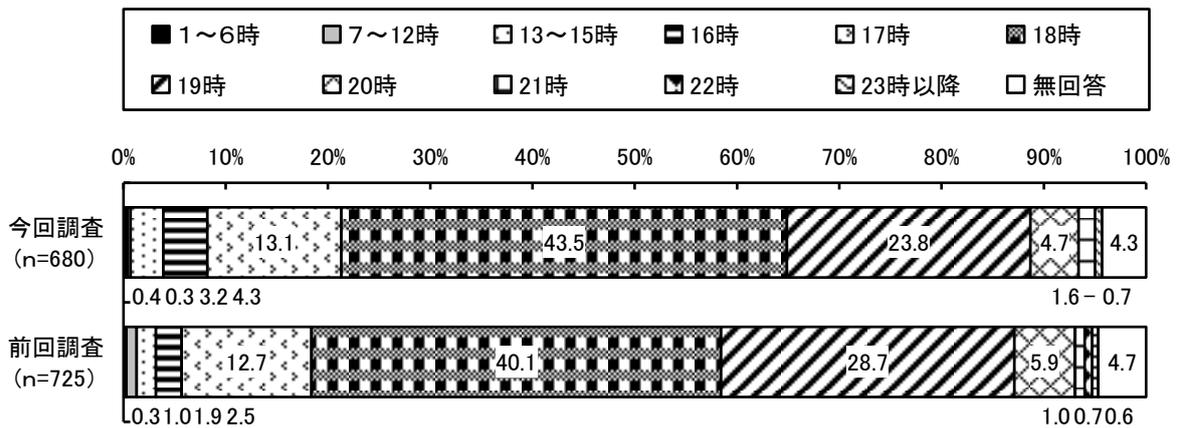
前回調査と比較すると、「就労している（フルタイム：産休・育休・介護休業中は含まない）」の割合は7.8ポイント増加している。

Ⅲ 小学生の保護者調査結果

図表31 1週当たりの就労時間（フルタイムの母親）



図表32 帰宅時刻（フルタイムの母親）

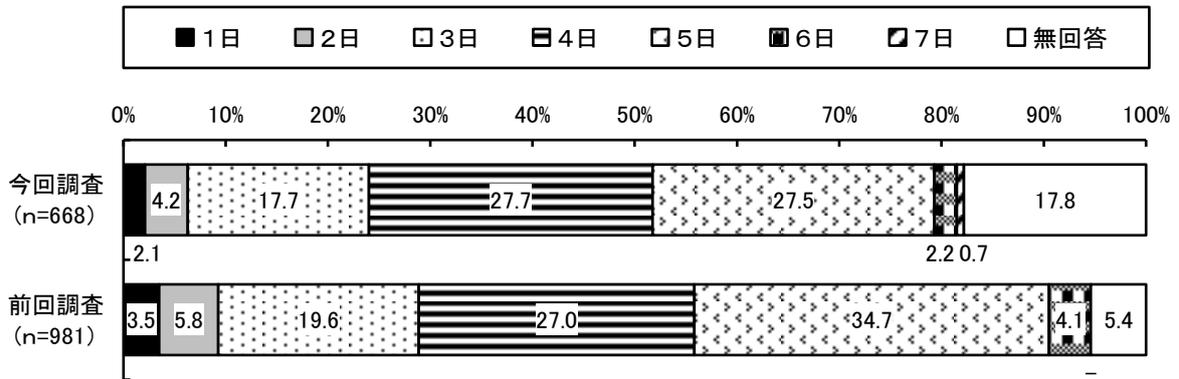


フルタイムの母親の1週当たりの就労時間については、「40～49時間」の割合が36.3%で最も高く、次いで「1～9時間」が27.4%、「30～39時間」が17.6%となっている。

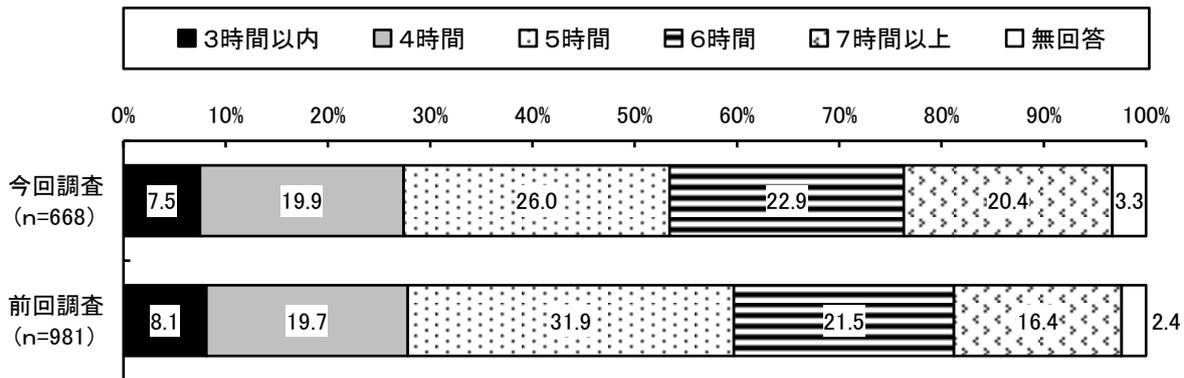
前回調査と比較すると、「40～49時間」の割合は7.0ポイント減少している。

また、帰宅時刻については、「18時」の割合が43.5%で最も高く、次いで「19時」が23.8%、「17時」が13.1%となっている。

図表33 1週当たりの就労日数（パート・アルバイト等の母親）



図表34 1日当たりの就労時間（パート・アルバイト等の母親）



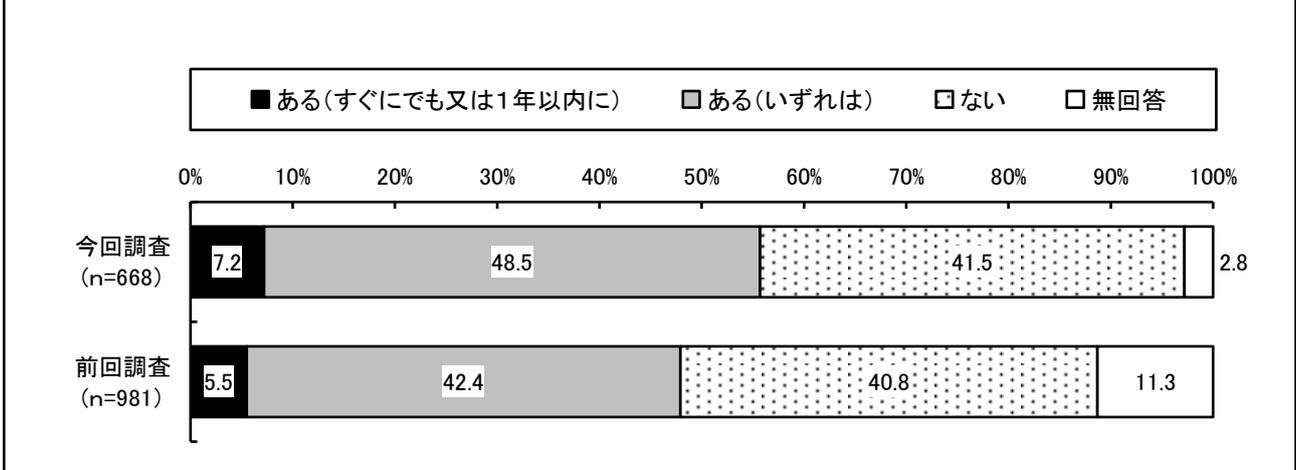
パート・アルバイト等の母親の1週当たりの就労日数については、「4日」の割合が27.7%で最も高く、次いで「5日」が27.5%、「3日」が17.7%となっている。

前回調査と比較すると、「5日」の割合は7.2ポイント減少している。

また、1日当たりの就労時間については、「5時間」の割合が26.0%で最も高く、次いで「6時間」が22.9%、「7時間以上」が20.4%、「4時間」が19.9%となっている。

前回調査と比較すると、「5時間」の割合は5.9ポイント減少している。

図表35 母親のフルタイムへの転換希望

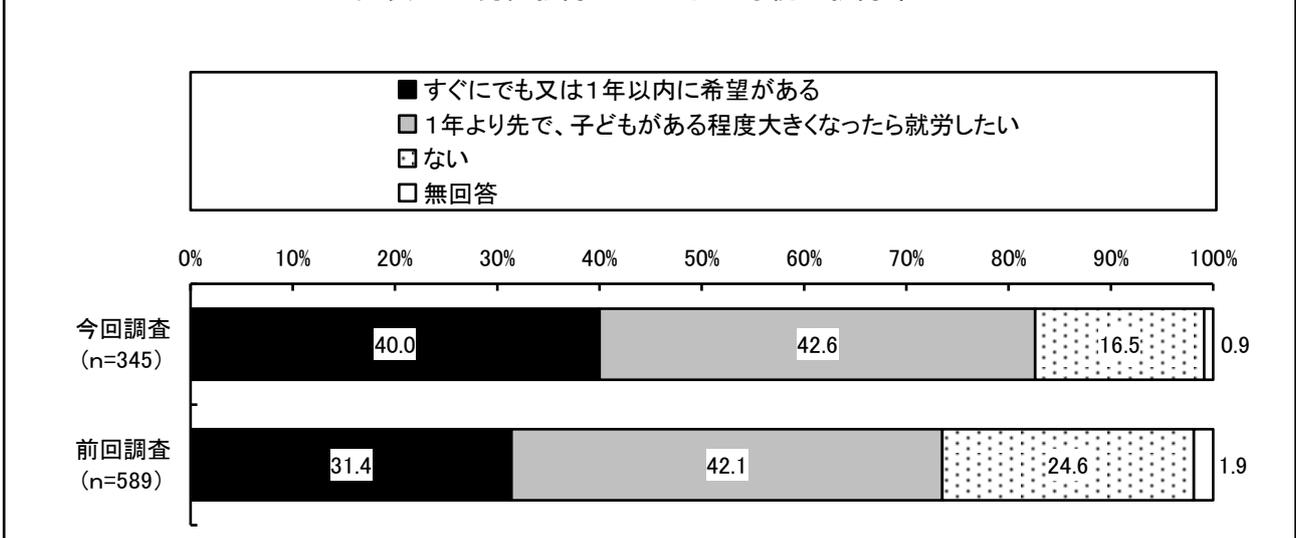


母親のフルタイムへの転換希望については、「ある(いずれは)」の割合が48.5%で最も高く、次いで「ない」が41.5%、「ある(すぐにでも又は1年以内に)」が7.2%となっている。
 前回調査と比較すると、「ある(いずれは)」の割合は6.1ポイント増加している。

(2) 現在就労していない母親の就労希望

問14で「4」または「5」を選んだ方にうかがいます。
 問14-1 就労への希望についてお答えください。(○は1つ)

図表36 現在就労していない母親の就労希望

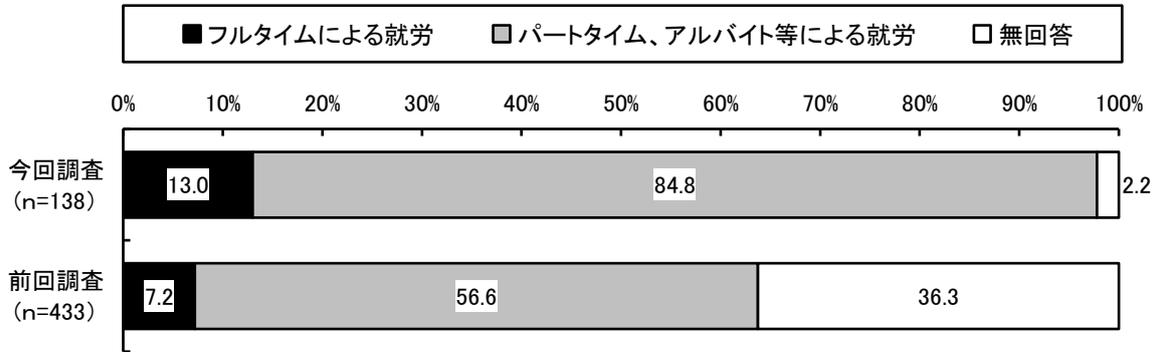


現在就労していない母親の就労希望については、「1年より先で、子どもがある程度大きくなったら就労したい」の割合が42.6%で最も高く、次いで「すぐにでも又は1年以内に希望がある」が40.0%、「ない」が16.5%となっている。
 前回調査と比較すると、「すぐにでも又は1年以内に希望がある」の割合は8.6ポイント増加し、「ない」の割合は8.1ポイント減少している。

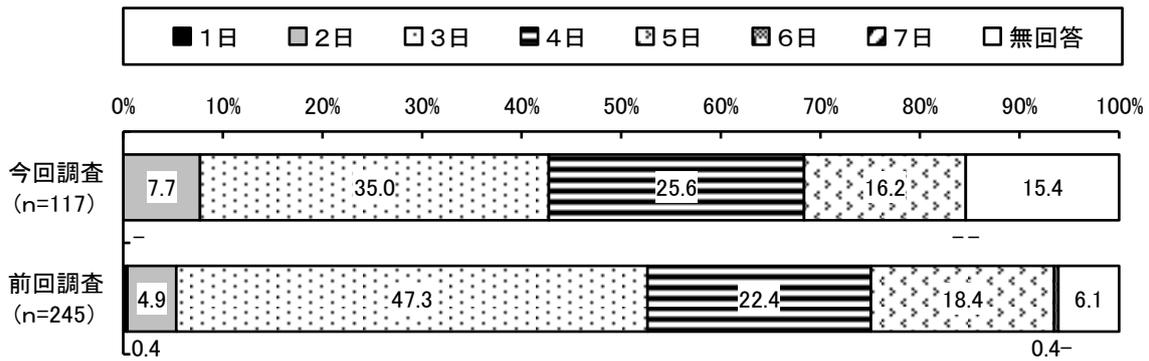
(3) 現在就労していない母親が希望する就労形態

問14-1で「1. すぐにでも又は1年以内に希望がある」を選んだ方にうかがいます。
 問14-2 希望する就労の形態はどのようなものですか。(○は1つ。枠内に数字を記入)

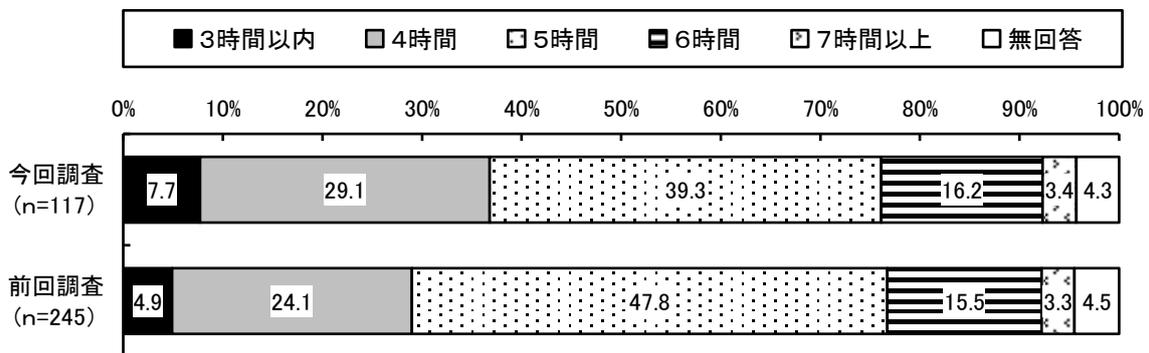
図表37 現在就労していない母親が希望する就労形態



図表38 1週当たりの希望就労日数 (パート・アルバイト等での就労を希望する母親)



図表39 1日当たりの希望就労時間 (パート・アルバイト等での就労を希望する母親)



Ⅲ 小学生の保護者調査結果

現在就労していない母親が希望する就労形態については、「パートタイム、アルバイト等による就労」の割合が84.8%となっている。

前回調査と比較すると、「パートタイム、アルバイト等による就労」の割合は28.2ポイント増加し、「フルタイムによる就労」の割合は5.8ポイント増加している。

また、パート・アルバイト等を希望する母親の1週当たりの希望就労日数については、「3日」の割合が35.0%で最も高く、次いで「4日」が25.6%、「5日」が16.2%となっている。

前回調査と比較すると、「3日」の割合は12.3ポイント減少している。

さらに、パート・アルバイト等を希望する母親の1日当たりの希望就労時間については、「5時間」の割合が39.3%で最も高く、次いで「4時間」が29.1%、「6時間」が16.2%となっている。

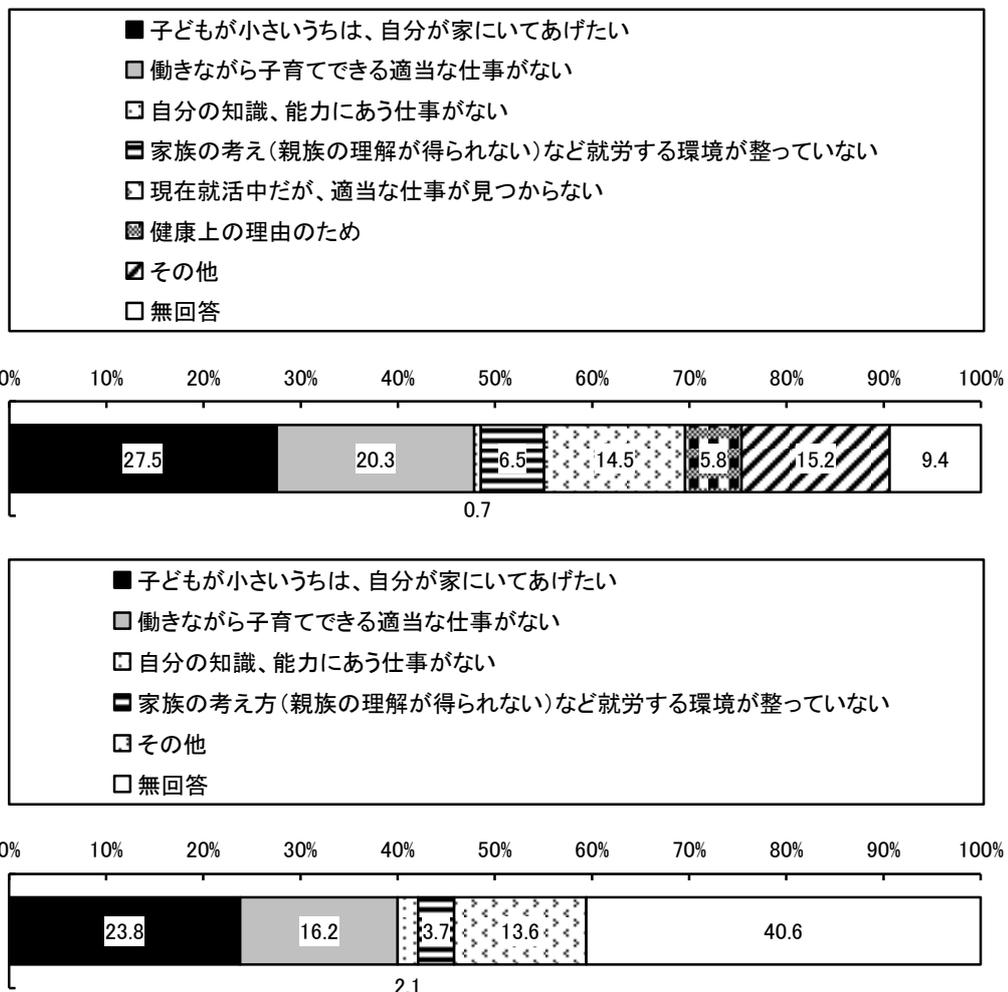
前回調査と比較すると、「5時間」の割合は8.5ポイント減少している。

(4) 就労希望がありながら働いていない理由（母親）

問14-1で「1. すぐにも又は1年以内に希望がある」を選んだ方にかがいます。

問14-3 現在働いていない理由としてもっとも近いものを選んでください。(○は1つ)

図表40 就労希望がありながら働いていない理由（母親）



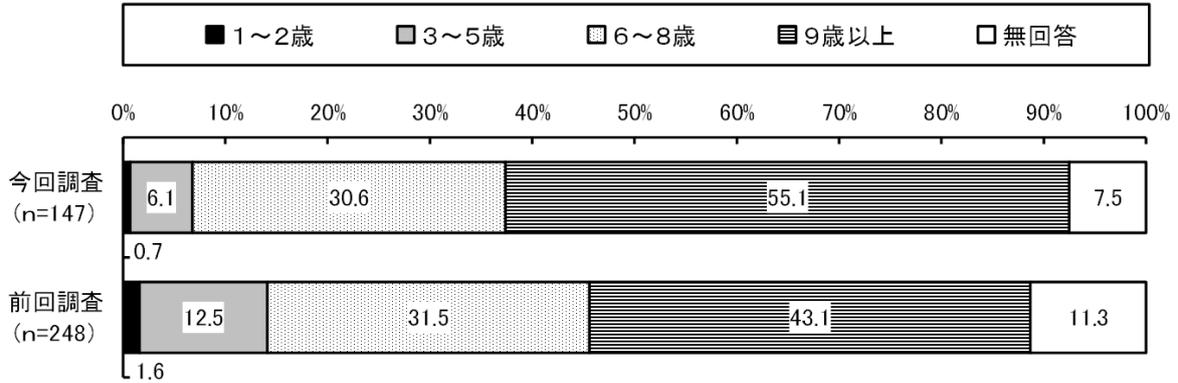
就労希望がありながら働いていない母親の理由としては、「子どもが小さいうちは、自分が家においてあげたい」の割合が27.5%で最も高く、次いで「働きながら子育てできる適当な仕事がない」が20.3%、「その他」が15.2%、「現在就活中だが、適当な仕事が見つからない」が14.5%となっている。

(5) 一番下の子どもが何歳になったら就労したいか（母親）

問14-1で「2. 1年より先で、子どもがある程度大きくなったら就労したい」を選んだ方にかがいます。

問14-4 あて名のお子さんも含めて、一番年齢の低い子が何歳になったら就労を希望されますか。（枠内に数字を記入）

図表41 一番下の子どもが何歳になったら就労したいか（母親）



一番下の子どもが何歳になったら就労したいかについては、「9歳以上」の割合が55.1%で最も高く、次いで「6～8歳」が30.6%となっている。

前回調査と比較すると、「9歳以上」の割合は12.0ポイント増加し、「3～5歳」の割合は6.4ポイント減少している。

2. 父親の就労状況

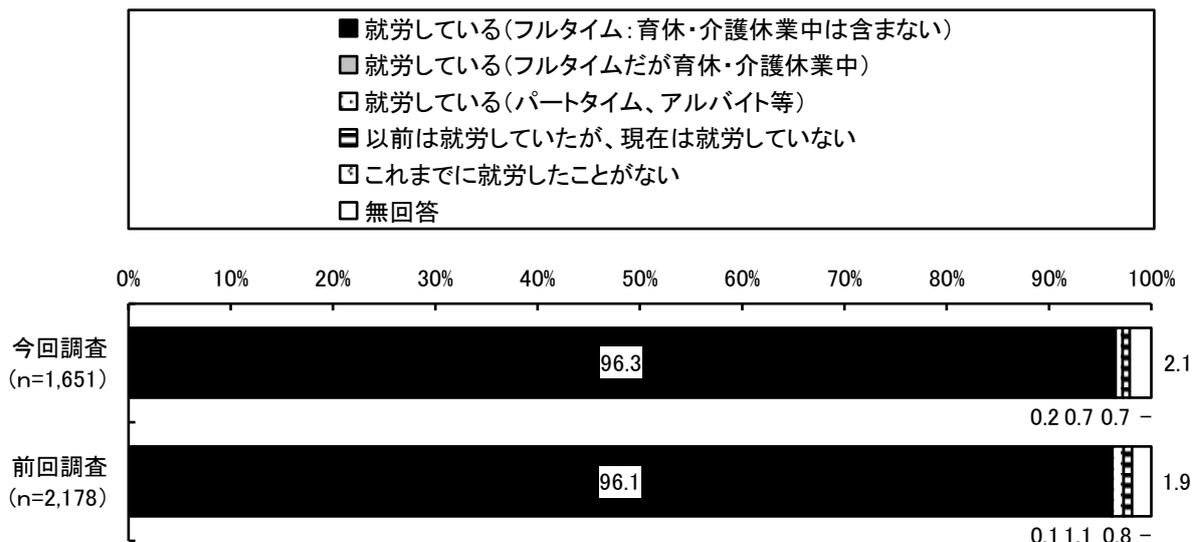
(1) 父親の就労状況

すべての方にかがいます。

問15 父親の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）について、お答えください。

（○は1つ。枠内に数字を記入）【該当しない場合は記入不要です。】

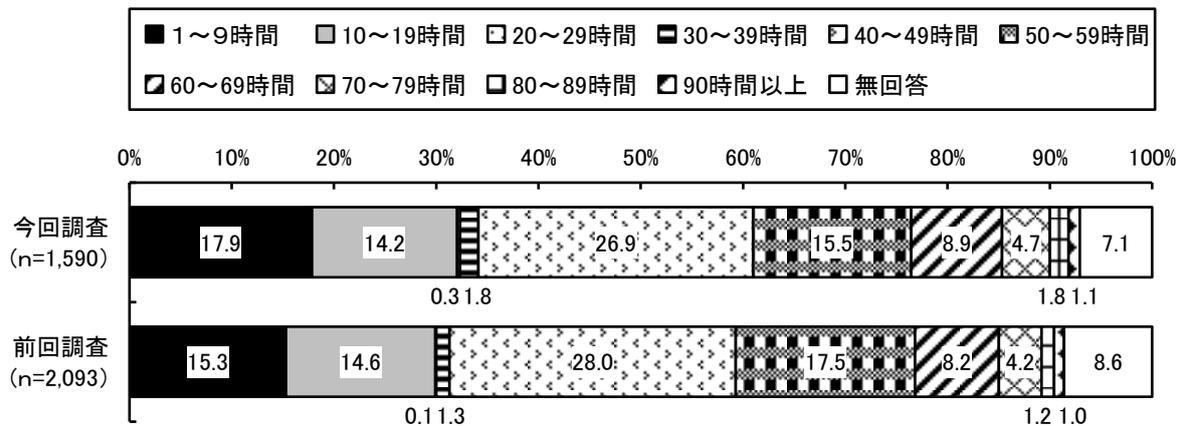
図表42 父親の就労状況



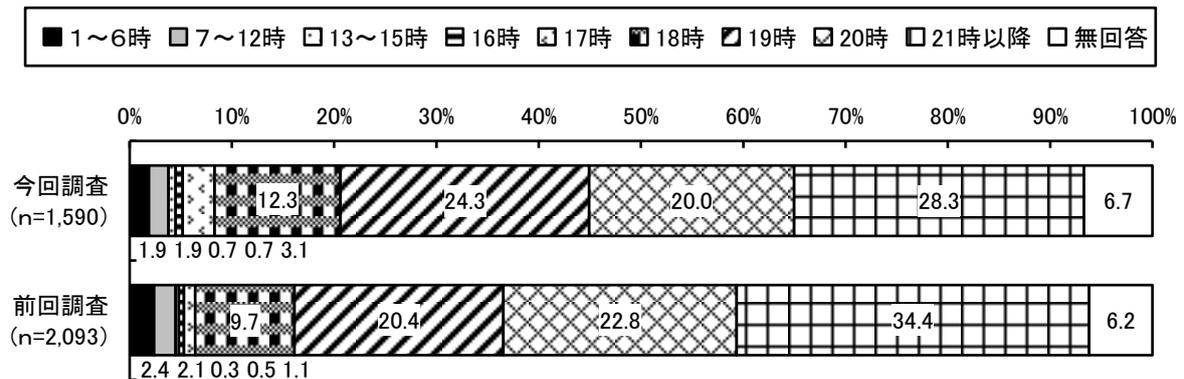
父親の就労状況については、「就労している（フルタイム：育休・介護休業中は含まない）」の割合が9割を超えている。

Ⅲ 小学生の保護者調査結果

図表43 1週当たりの就労時間（フルタイムの父親）



図表44 帰宅時刻（フルタイムの父親）

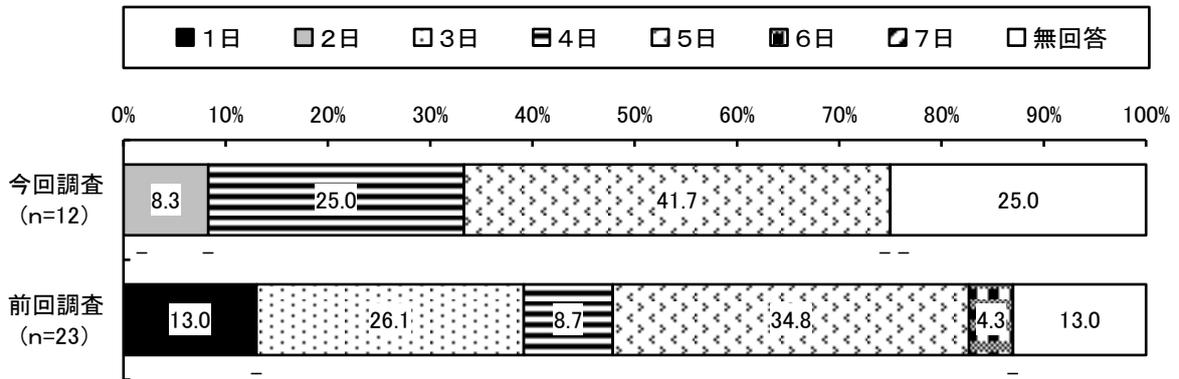


フルタイムの父親の1週当たりの就労時間については、「40～49時間」の割合が26.9%で最も高く、次いで「1～9時間」が17.9%、「50～59時間」が15.5%、「10～19時間」が14.2%となっている。

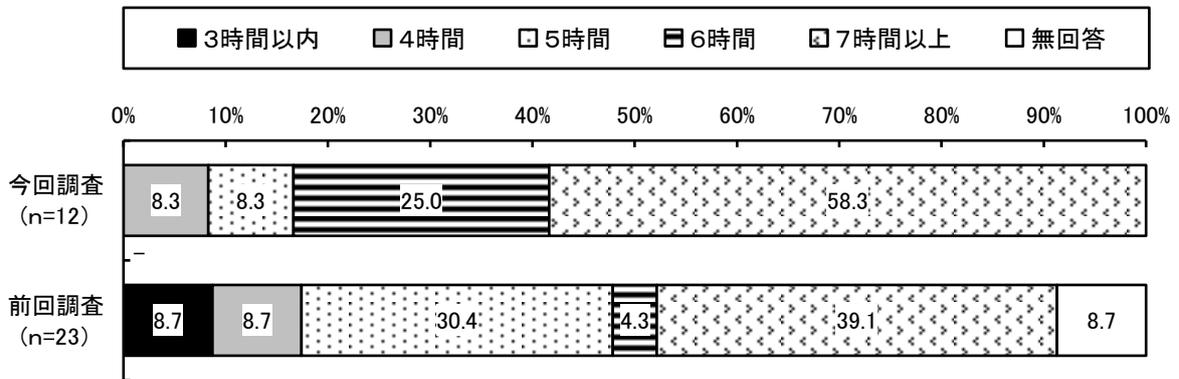
また、帰宅時刻については、「21時以降」の割合が28.3%で最も高く、次いで「19時」が24.3%、「20時」が20.0%、「18時」が12.3%となっている。

前回調査と比較すると、「21時以降」の割合は6.1ポイント減少している。

図表45 1週当たりの就労日数（パート・アルバイト等の父親）



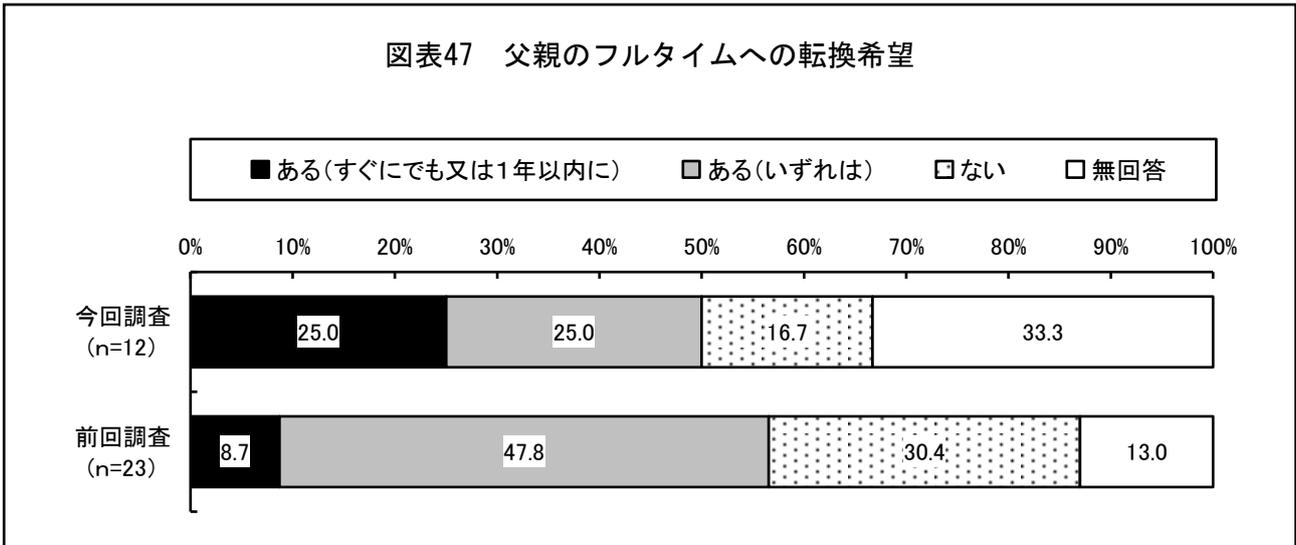
図表46 1日当たりの就労時間（パート・アルバイト等の父親）



パート・アルバイト等の父親の1週当たりの就労日数については、「5日」の割合が41.7%で最も高く、次いで「4日」が25.0%となっている。

また、1日当たりの就労時間については、「7時間以上」の割合が58.3%で最も高く、次いで「6時間」が25.0%となっている。

図表47 父親のフルタイムへの転換希望



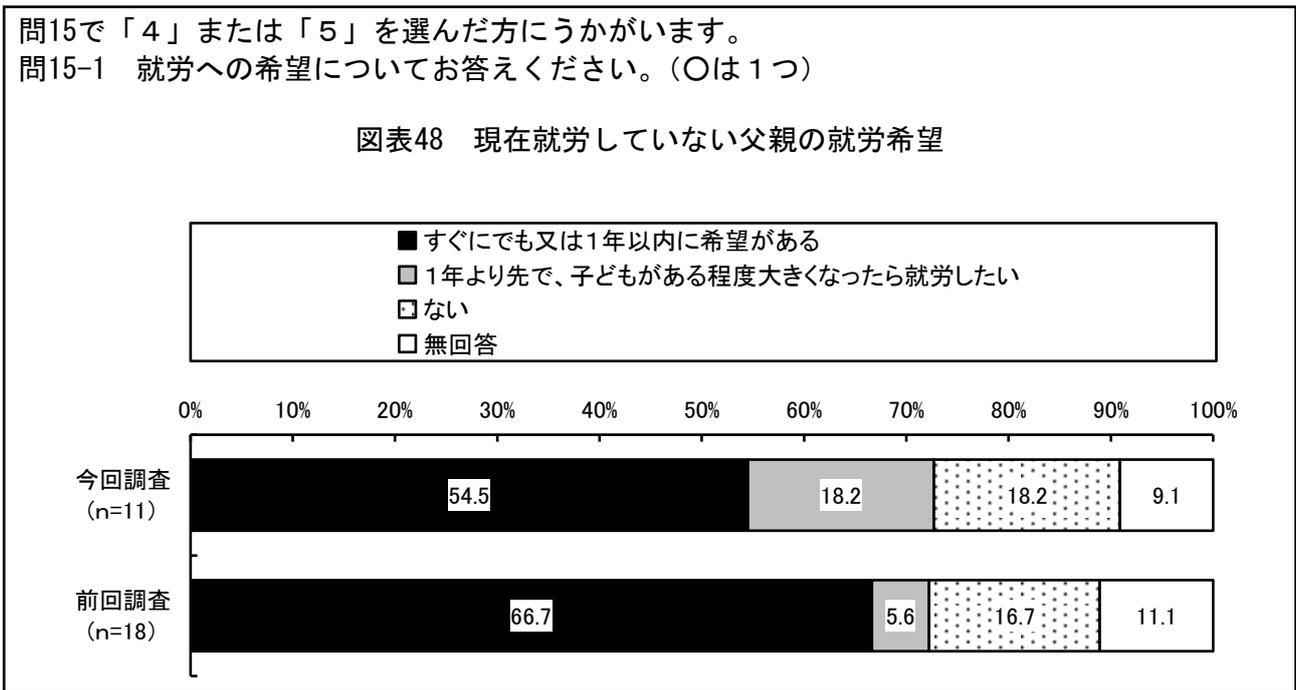
父親のフルタイムへの転換希望については、「ある(すぐにでも又は1年以内に)」「ある(いずれは)」の割合がともに25.0%、「ない」が16.7%となっている。

前回調査と比較すると、「ある(すぐにでも又は1年以内に)」の割合は16.3ポイント増加し、「ない」の割合は13.7ポイント減少し、「ある(いずれは)」の割合は22.8ポイント減少している。

(2) 現在就労していない父親の就労希望

問15で「4」または「5」を選んだ方にうかがいます。
問15-1 就労への希望についてお答えください。(○は1つ)

図表48 現在就労していない父親の就労希望



現在就労していない父親の就労希望については、「すぐにでも又は1年以内に希望がある」の割合が54.5%で最も高く、次いで「1年より先で、子どもがある程度大きくなったら就労したい」及び「ない」が18.2%となっている。

前回調査と比較すると、「1年より先で、子どもがある程度大きくなったら就労したい」の割合は12.6ポイント増加し、「すぐにでも又は1年以内に希望がある」の割合は12.2ポイント減少している。

(3) 現在就労していない父親が希望する就労形態

問15-1で「1. すぐにでも又は1年以内に希望がある」を選んだ方にうかがいます。
 問15-2 希望する就業の形態はどのようなものですか。(○は1つ。枠内に数字を記入)

「1. すぐにでも又は1年以内に希望がある」と回答した父親(6人)に希望する就労形態をたずねたところ、4人が「フルタイムによる就労」、2人が「パートタイム、アルバイト等による就労」と回答しており、パート・アルバイト等を希望する父親の1週当たりの希望就労日数については、「4日」(1人)、「5日」(1人)、1日当たりの希望就労時間については、「6時間」(1人)、「7時間以上」(1人)となっている。

(4) 就労希望がありながら働いていない理由(父親)

問15-3 現在働いていない理由としてもっとも近いものを選んでください。(○は1つ)

就労希望がありながら働いていない父親(6人)にその理由をたずねたところ、「健康上の理由のため」(2人)、「自分の知識、能力にあう仕事がない」(1人)、「現在就活中だが、適当な仕事が見つからない」(1人)、「その他」(1人)と回答している。

(5) 一番下の子どもが何歳になったら就労したいか(父親)

問15-1で「2. 1年より先で、子どもがある程度大きくなったら就労したい」を選んだ方にうかがいます。
 問15-4 あて名のお子さんも含めて、一番年齢の低い子が何歳になったら就労を希望されますか。(枠内に数字を記入)

「2. 1年より先で、子どもがある程度大きくなったら就労したい」と回答した父親(2人)に一番下の子どもが何歳になったら就労したいかたずねたところ、「9歳以上」(2人)と回答している。

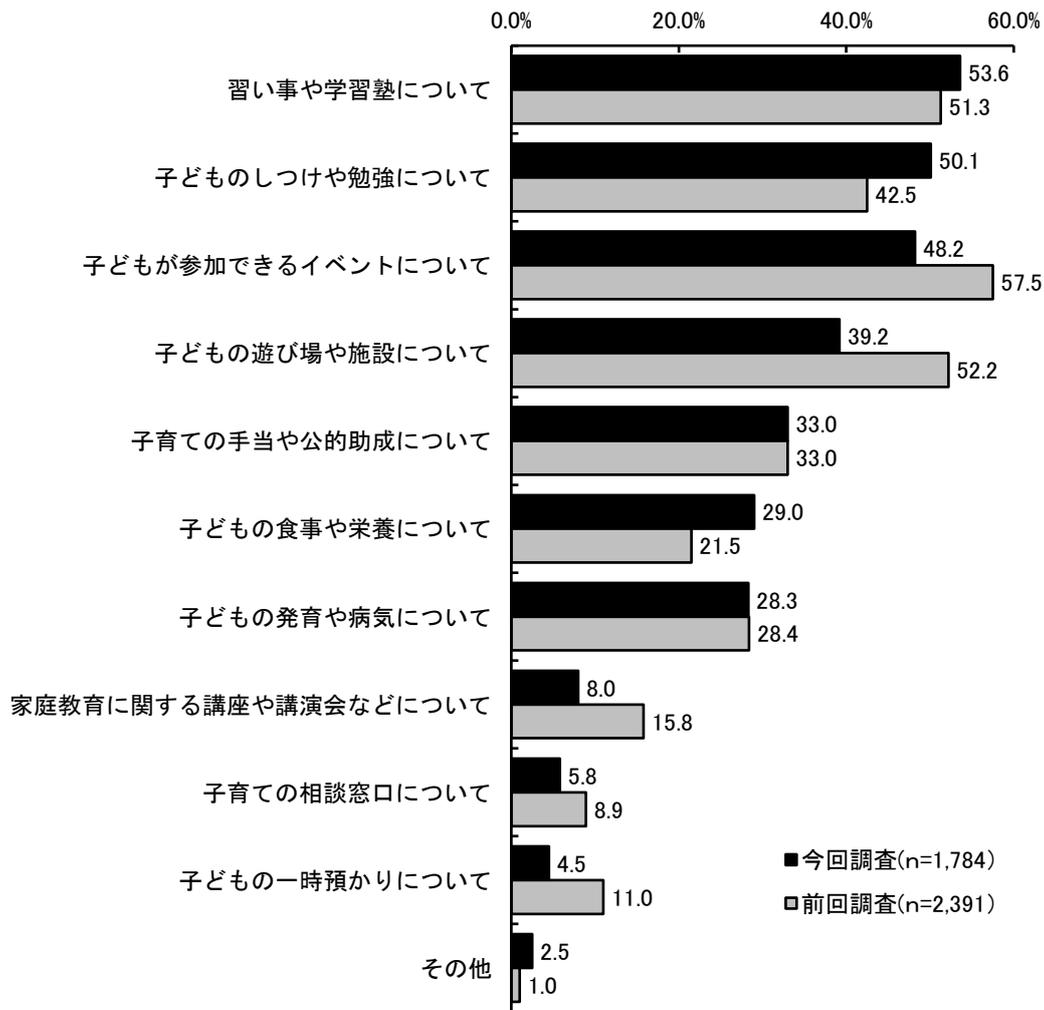
第3章 子育てに関する情報について

1. 子育てに関する情報

(1) 子育てについて得たい情報

問16 あなたは、いま子育てについてどんな情報を得たいと思っていますか。
(あてはまるものすべてに○)

図表49 子育てについて得たい情報



子育てについて得たい情報については、「習い事や学習塾について」の割合が53.6%で最も高く、次いで「子どものしつけや勉強について」が50.1%、「子どもが参加できるイベントについて」が48.2%、「子どもの遊び場や施設について」が39.2%、「子育ての手当や公的助成について」が33.0%、「子どもの食事や栄養について」が29.0%、「子どもの発育や病気について」が28.3%となっている。

前回調査と比較すると、「子どものしつけや勉強について」の割合は7.6ポイント増加し、「子どもの食事や栄養について」の割合は7.5ポイント増加し、「子どもの一時預かりについて」の割合は6.5ポイント減少し、「家庭教育に関する講座や講演会などについて」の割合は7.8ポイント減少し、「子どもが参加できるイベントについて」の割合は9.3ポイント減少し、「子どもの遊び場や施設について」の割合は13.0ポイント減少している。

子どもの学年別にみると、小学校1～3年生では「子どもの遊び場や施設について」「子どもが参加できるイベントについて」の割合が小学校4～6年生に比べて10ポイント以上高くなっている。世帯分類別にみると、ひとり親では「子育ての手当や公的助成について」の割合が他の世帯に比べて高くなっている。

図表50 子どもの学年別、世帯分類別 子育てについて得たい情報

(単位:%)

		標本数(人)	子どもの食事や栄養について	子どもの発育や病気について	子どものしつけや勉強について	習い事や学習塾について	子どもの遊び場や施設について	子どもの一時預かりについて	子どもが参加できるイベントについて	家庭教育などに関する講座や講演会などについて
全体		1,784	29.0	28.3	50.1	53.6	39.2	4.5	48.2	8.0
子どもの学年別	小学校1～3年生	889	27.3	27.8	52.6	52.3	48.6	6.7	56.1	8.7
	小学校4～6年生	878	30.4	28.8	48.1	54.9	29.6	2.3	40.3	7.3
	無回答	17	41.2	29.4	23.5	52.9	47.1	-	41.2	5.9
全体		1,784	29.0	28.3	50.1	53.6	39.2	4.5	48.2	8.0
世帯分類別	三世帯	40	40.0	35.0	60.0	55.0	35.0	-	37.5	7.5
	核家族	1,519	29.2	28.4	50.8	54.7	39.7	4.2	49.4	8.1
	ひとり親	122	27.9	28.7	43.4	46.7	36.9	9.8	42.6	4.9
	ひとり親三世帯	18	5.6	27.8	50.0	50.0	22.2	-	44.4	16.7
	その他	66	25.8	19.7	50.0	42.4	37.9	4.5	40.9	9.1
	無回答	19	31.6	31.6	15.8	47.4	47.4	5.3	42.1	5.3

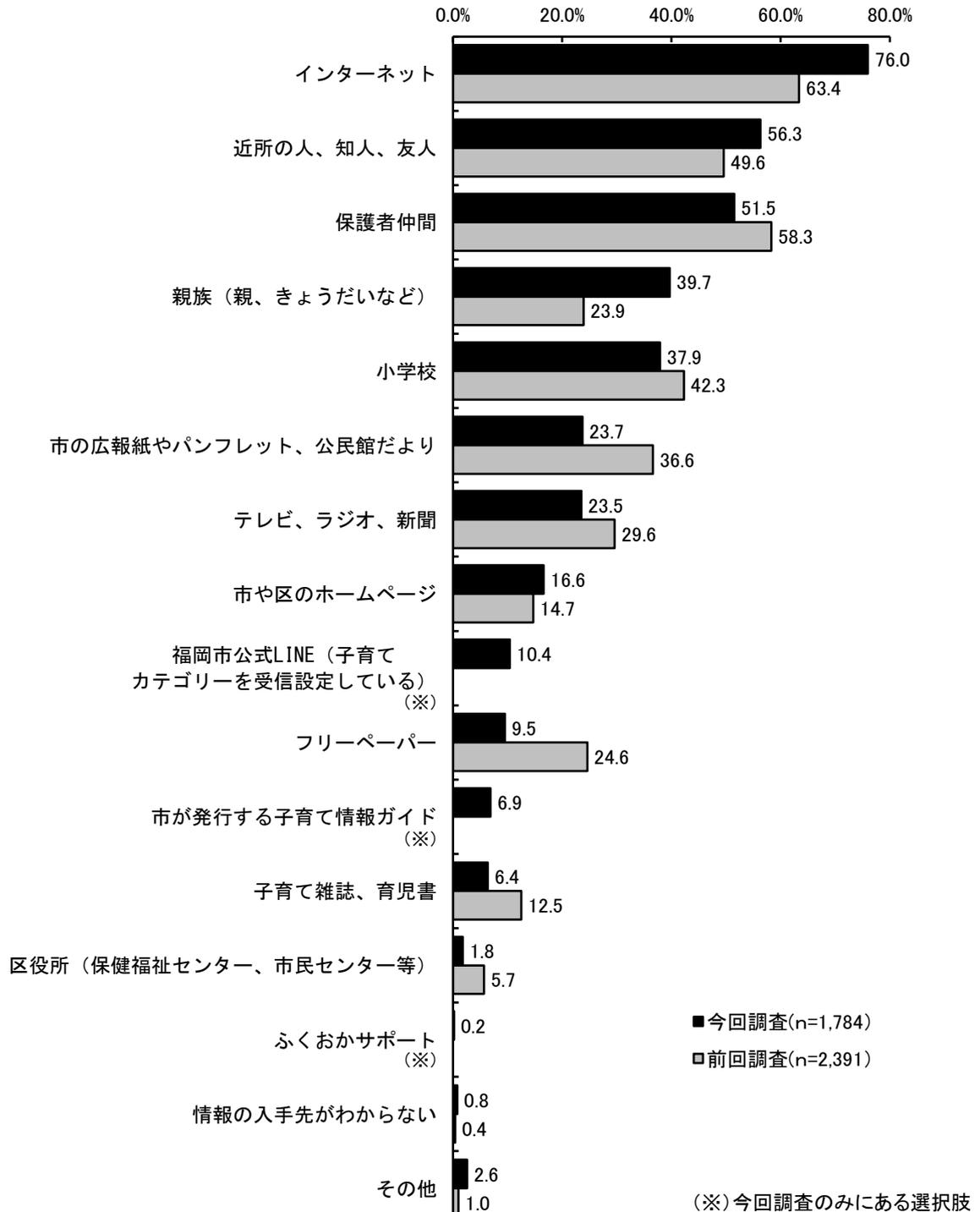
(単位:%)

		標本数(人)	子育ての相談窓口について	子育ての手当や公的助成	その他	無回答
全体		1,784	5.8	33.0	2.5	3.1
子どもの学年別	小学校1～3年生	889	6.0	34.1	1.8	2.1
	小学校4～6年生	878	5.7	31.9	3.2	3.9
	無回答	17	5.9	29.4	5.9	11.8
全体		1,784	5.8	33.0	2.5	3.1
世帯分類別	三世帯	40	-	32.5	-	2.5
	核家族	1,519	5.5	31.1	2.6	2.4
	ひとり親	122	9.8	51.6	2.5	8.2
	ひとり親三世帯	18	11.1	50.0	5.6	5.6
	その他	66	7.6	36.4	1.5	4.5
	無回答	19	5.3	31.6	5.3	21.1

(2) 子育てに関する情報の入手先

問17 あなたは、子育てについて知りたい情報を何から得ていますか。
(あてはまるものすべてに○)

図表51 子育てに関する情報の入手先



子育てに関する情報の入手先については、「インターネット」の割合が76.0%で最も高く、次いで「近所の人、知人、友人」が56.3%、「保護者仲間」が51.5%、「親族（親、きょうだいなど）」が39.7%、「小学校」が37.9%、「市の広報紙やパンフレット、公民館だより」が23.7%、「テレビ、ラジオ、新聞」が23.5%、「市や区のホームページ」が16.6%、「福岡市公式LINE（子育てカテゴリーを受信設定している）」が10.4%となっている。

選択肢に相違があるが前回調査と比較すると、「親族（親、きょうだいなど）」の割合は15.8ポイント増加し、「インターネット」の割合は12.6ポイント増加し、「市の広報紙やパンフレット、公民館だより」の割合は12.9ポイント減少し、「フリーペーパー」の割合は15.1ポイント減少している。

Ⅲ 小学生の保護者調査結果

母親の就労状況別にみると、フルタイムで就労している場合では「保護者仲間」の割合が他の就労状況に比べて低くなっている。

世帯分類別にみると、ひとり親では「近所の人、知人、友人」(42.6%)の割合が他の世帯に比べて低くなっている。

図表52 母親の就労状況別、世帯分類別 子育てに関する情報の入手先

(単位:%)

		標本数(人)	ど親族(親、きょうだいなど)	近所の人、知人、友人	小学校	保護者仲間	インターネット	市や区のホームページ	子育てカテゴリーを定めている(福岡市公式LINE(子育てカテゴリー)を受信している)	ふくおかサポート	テレビ、ラジオ、新聞
全体		1,777	39.8	56.3	37.9	51.5	76.1	16.5	10.4	0.2	23.5
母親の就労状況別	フルタイムで就労	707	41.2	55.3	37.8	46.7	73.4	14.7	10.0	-	21.2
	パート・アルバイト等で就労	668	39.4	60.0	38.5	55.8	79.6	19.8	11.8	0.3	22.8
	以前は就労していたが、現在は就労していない	312	38.5	51.9	37.8	52.9	77.6	16.0	9.0	-	28.5
	これまで就労したことがない	33	39.4	45.5	33.3	48.5	75.8	18.2	15.2	3.0	33.3
	無回答	57	35.1	56.1	35.1	54.4	59.6	3.5	3.5	-	28.1
全体		1,784	39.7	56.3	37.9	51.5	76.0	16.6	10.4	0.2	23.5
世帯分類別	三世帯	40	50.0	60.0	27.5	50.0	85.0	7.5	2.5	-	25.0
	核家族	1,519	39.5	57.5	39.2	53.3	76.6	17.1	10.7	0.1	23.8
	ひとり親	122	41.8	42.6	26.2	32.8	73.0	17.2	10.7	0.8	15.6
	ひとり親三世帯	18	27.8	50.0	33.3	27.8	72.2	-	-	-	22.2
	その他	66	37.9	57.6	39.4	53.0	72.7	15.2	13.6	-	33.3
	無回答	19	42.1	42.1	26.3	47.4	42.1	10.5	-	-	15.8

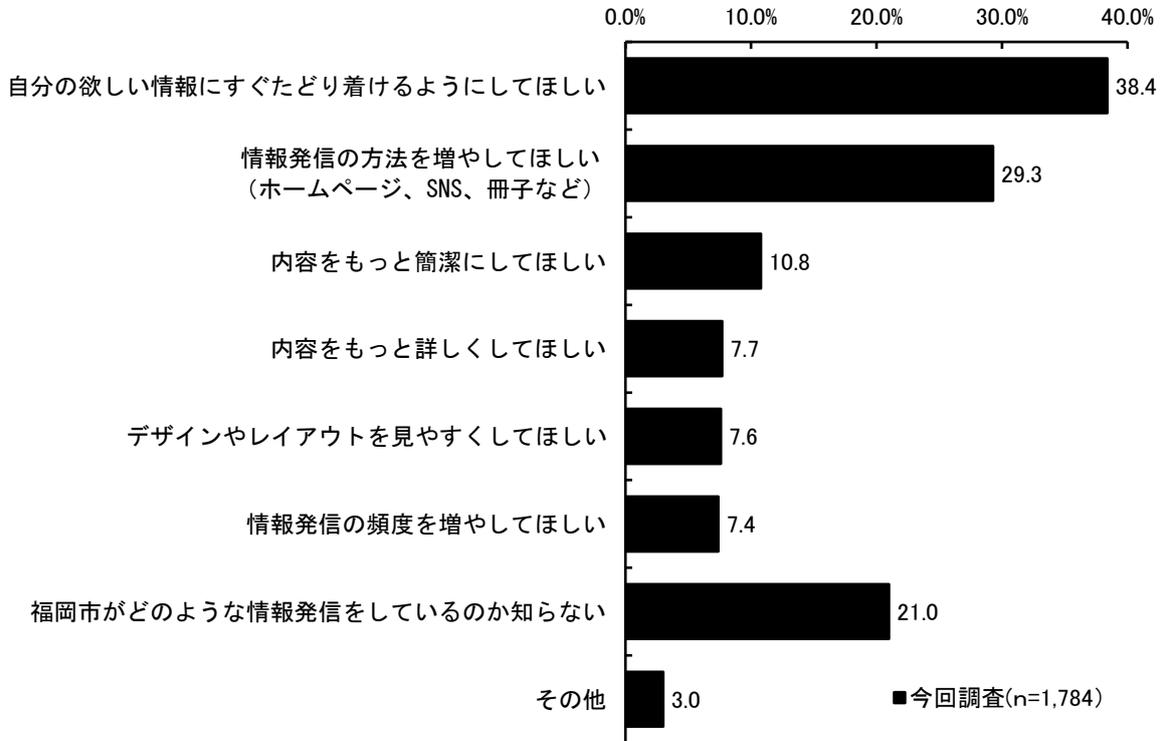
(単位:%)

		標本数(人)	区役所、市民センター等	市の広報紙やパンフレット、公民館だより	市が発行する子育て情報ガイド	子育て雑誌、育児書	フリーペーパー	情報の入手先がわからない	その他	無回答
全体		1,777	1.9	23.8	6.9	6.4	9.6	0.7	2.6	0.9
母親の就労状況別	フルタイムで就労	707	1.6	20.9	6.1	6.2	9.1	0.6	2.4	0.4
	パート・アルバイト等で就労	668	1.8	25.7	6.3	6.3	9.9	0.7	1.9	0.4
	以前は就労していたが、現在は就労していない	312	2.9	27.2	10.6	7.7	11.2	0.6	3.8	1.6
	これまで就労したことがない	33	-	27.3	6.1	6.1	12.1	3.0	-	-
	無回答	57	1.8	15.8	5.3	3.5	1.8	-	7.0	8.8
全体		1,784	1.8	23.7	6.9	6.4	9.5	0.8	2.6	0.9
世帯分類別	三世帯	40	-	12.5	2.5	5.0	2.5	-	2.5	-
	核家族	1,519	1.9	24.8	6.9	6.6	10.3	0.7	2.4	0.5
	ひとり親	122	3.3	23.0	9.0	4.9	4.1	2.5	4.1	3.3
	ひとり親三世帯	18	-	16.7	11.1	-	5.6	5.6	5.6	-
	その他	66	-	13.6	4.5	4.5	4.5	-	3.0	1.5
	無回答	19	-	10.5	5.3	10.5	15.8	-	5.3	21.1

(3) 子育て施策に関する福岡市の情報発信で改善してほしい点

問18 子育て施策に関する福岡市の情報発信について、改善してほしいと思う点がありますか。
(〇は3つまで)

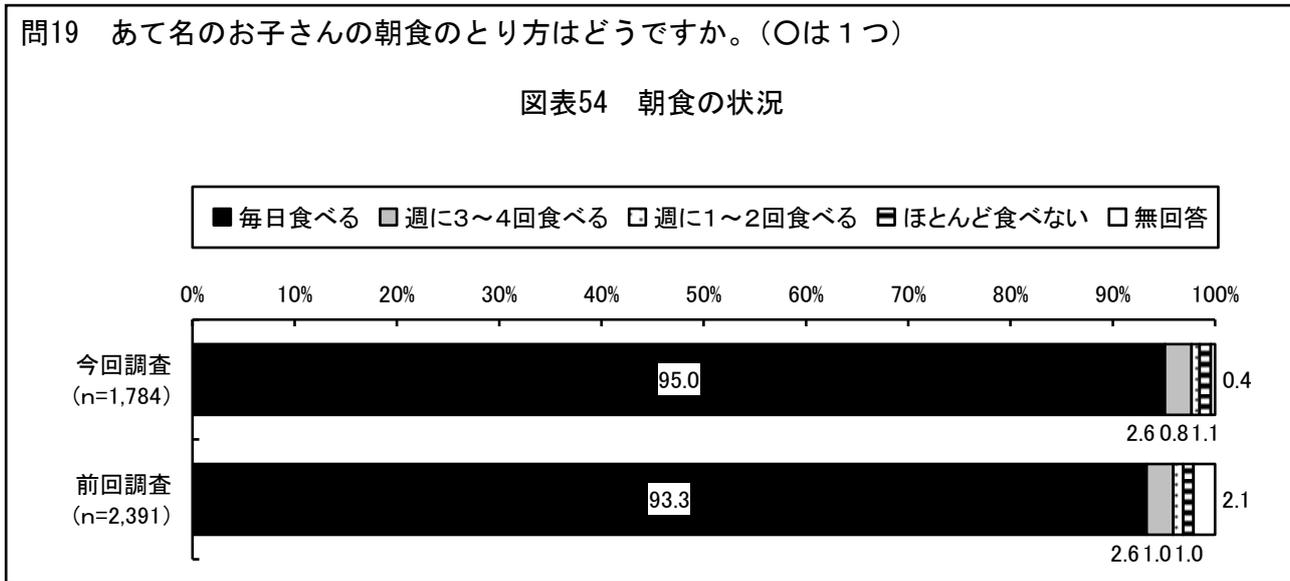
図表53 子育て施策に関する福岡市の情報発信で改善してほしい点



子育て施策に関する福岡市の情報発信で改善してほしい点としては、「自分の欲しい情報にすぐたどり着けるようにしてほしい」の割合が38.4%で最も高く、次いで「情報発信の方法を増やしてほしい（ホームページ、SNS、冊子など）」が29.3%、「福岡市がどのような情報発信をしているのか知らない」が21.0%、「内容をもっと簡潔にほしい」が10.8%となっている。

第4章 日常生活について

1. 朝食の状況



朝食の状況については、「毎日食べる」の割合が9割半ばで大半を占めている。

世帯分類別にみると、ひとり親では「毎日食べる」の割合が他の世帯に比べてやや低くなっている。

世帯年収別にみると、300万円未満では「毎日食べる」の割合が8割台となっており、他の世帯年収に比べて低くなっている。

図表55 世帯分類別、世帯年収別 朝食の状況

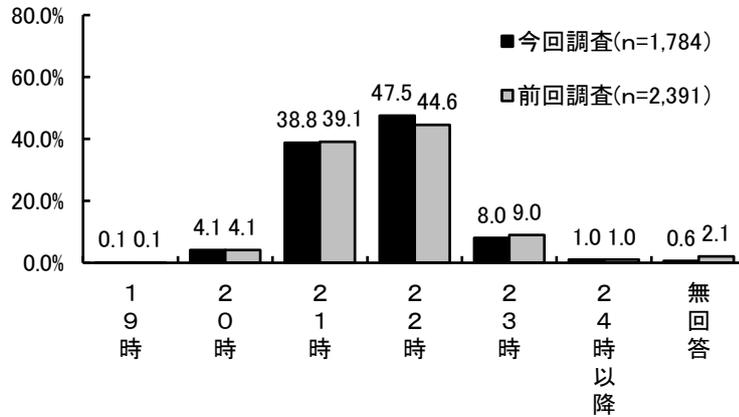
(単位:%)

		標本数 (人)	毎日 食べる	週に 3~ 4 回 食べる	週に 1~ 2 回 食べる	ほと んど 食べ ない	無 回 答
全体		1,784	95.0	2.6	0.8	1.1	0.4
世帯 分類 別	三世帯	40	92.5	2.5	2.5	2.5	-
	核家族	1,519	95.8	2.4	0.6	1.0	0.2
	ひとり親	122	88.5	5.7	2.5	2.5	0.8
	ひとり親三世帯	18	88.9	5.6	-	5.6	-
	その他	66	97.0	1.5	1.5	-	-
	無回答	19	78.9	-	-	-	21.1
全体		1,784	95.0	2.6	0.8	1.1	0.4
世帯 年 収 別	200万円未満	64	82.8	9.4	1.6	4.7	1.6
	200~300万円未満	104	87.5	9.6	1.0	1.9	-
	300~400万円未満	145	95.2	2.1	1.4	1.4	-
	400~500万円未満	203	97.0	2.5	-	0.5	-
	500~700万円未満	385	97.1	1.6	1.0	0.3	-
	700~1,000万円未満	478	96.9	2.1	0.4	0.4	0.2
	1,000万円以上	321	94.7	1.6	0.9	2.5	0.3
	無回答	84	89.3	2.4	1.2	1.2	6.0

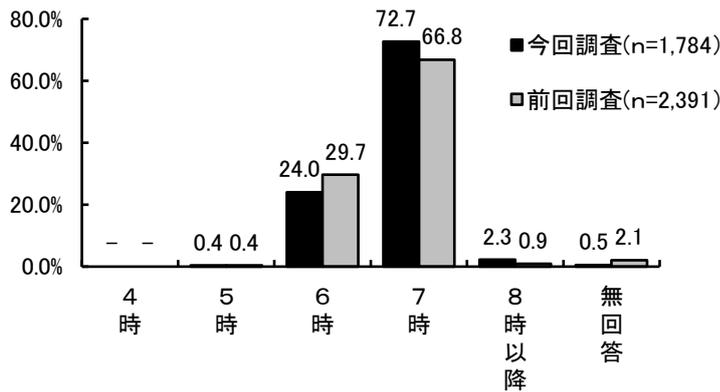
2. 就寝時刻・起床時刻

問20 普段、あて名のお子さんの寝る時刻と起きる時刻は何時頃ですか。(枠内に数字を記入)

図表56 就寝時刻



図表57 起床時刻



子どもの就寝時刻は、「22時」の割合が47.5%で最も高く、次いで「21時」が38.8%となっている。

また、子どもの起床時刻は、「7時」の割合が72.7%で最も高く、次いで「6時」が24.0%となっている。

前回調査と比較すると、「7時」の割合は5.9ポイント増加し、「6時」の割合は5.7ポイント減少している。

就寝時刻について子どもの学年別にみると、小学校1～3年生では「21時」の割合が最も高く、小学校4～6年生では「22時」の割合が最も高くなっている。

母親の就労状況別にみると、フルタイムで就労している場合では「22時」の割合が他の就労状況に比べて高くなっている。

起床時刻について子どもの学年別にみても、大きな違いは見られない。

母親の就労状況別にみると、以前は就労していたが、現在は就労していない場合では「7時」の割合が他の就労状況に比べて低くなっている。

Ⅲ 小学生の保護者調査結果

図表58 子どもの学年別、母親の就労状況別 就寝時刻

(単位:%)

		標本数 (人)	1 9 時	2 0 時	2 1 時	2 2 時	2 3 時	2 4 時 以降	無 回 答
全 体		1,784	0.1	4.1	38.8	47.5	8.0	1.0	0.6
子 ど も の 学 年 別	小学校1～3年生	889	0.1	7.1	50.3	38.9	2.6	0.6	0.4
	小学校4～6年生	878	-	1.3	26.9	56.5	13.4	1.4	0.6
	無回答	17	-	-	52.9	35.3	5.9	-	5.9
全 体		1,777	0.1	4.2	38.8	47.6	7.9	0.9	0.6
母 親 の 就 労 状 況 別	フルタイムで就労	707	-	2.5	35.1	51.9	9.2	0.8	0.4
	パート・アルバイト等で就労	668	-	3.4	42.4	45.4	8.2	0.4	0.1
	以前は就労していたが、 現在は就労していない	312	0.3	9.3	40.1	43.6	4.5	1.6	0.6
	これまで就労したことがない	33	-	3.0	36.4	45.5	12.1	3.0	-
	無回答	57	-	5.3	38.6	42.1	5.3	1.8	7.0

図表59 子どもの学年別、母親の就労状況別 起床時刻

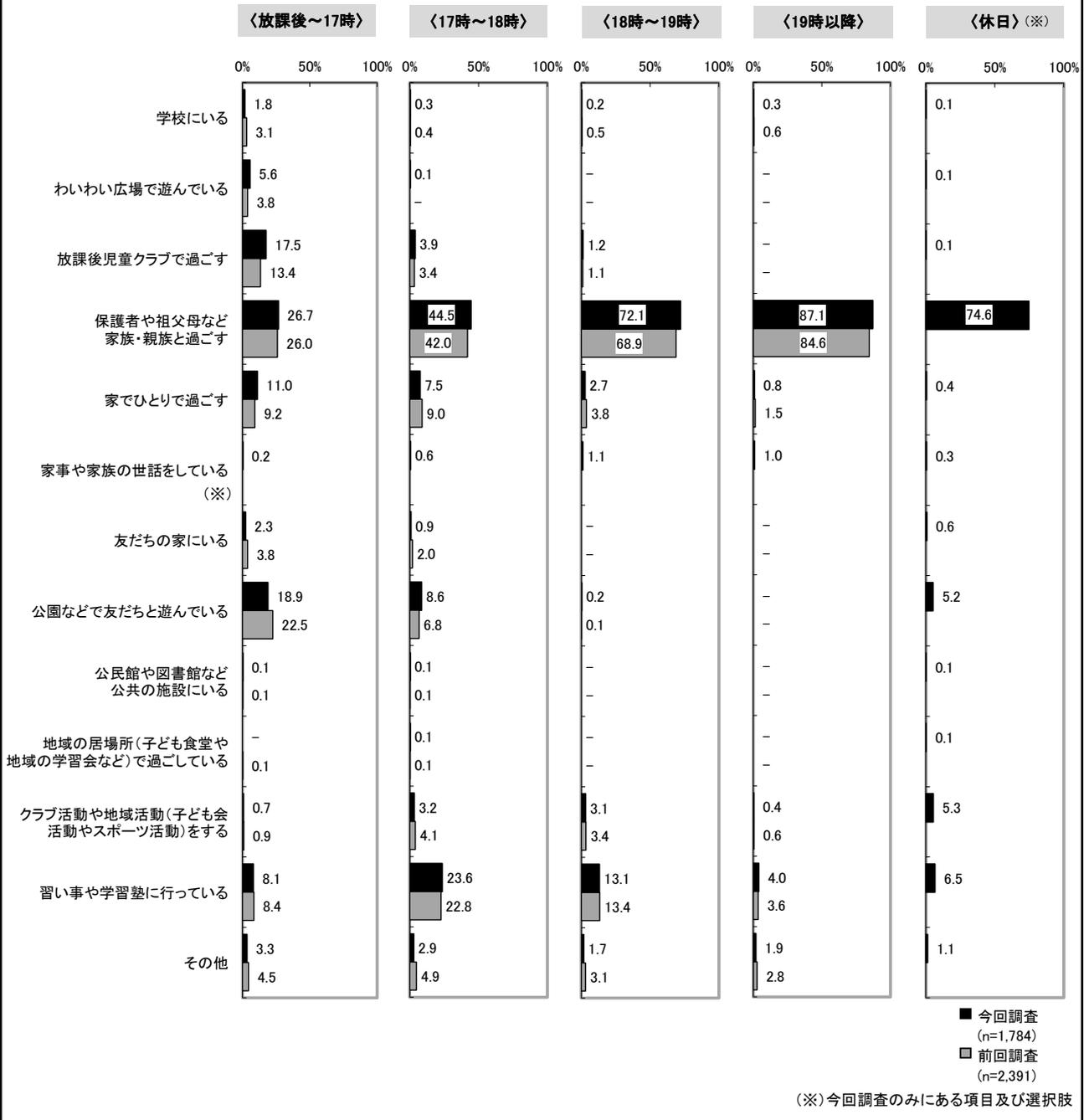
(単位:%)

		標本数 (人)	4 時	5 時	6 時	7 時	8 時 以降	無 回 答
全 体		1,784	-	0.4	24.0	72.7	2.3	0.5
子 ど も の 学 年 別	小学校1～3年生	889	-	0.2	25.8	71.9	1.7	0.4
	小学校4～6年生	878	-	0.7	22.2	73.7	3.0	0.5
	無回答	17	-	-	29.4	64.7	-	5.9
全 体		1,777	-	0.5	24.0	72.8	2.3	0.5
母 親 の 就 労 状 況 別	フルタイムで就労	707	-	0.4	24.5	72.4	2.3	0.4
	パート・アルバイト等で就労	668	-	0.4	22.3	75.7	1.5	-
	以前は就労していたが、 現在は就労していない	312	-	0.6	27.6	66.7	4.5	0.6
	これまで就労したことがない	33	-	-	24.2	75.8	-	-
	無回答	57	-	-	17.5	73.7	1.8	7.0

3. 平日の放課後や休日の過ごし方

問21 平日の放課後や休日、あて名のお子さんは、主にどのように過ごされていますか。
 (時間帯ごとに、最も多いものをそれぞれ1つずつ選び、下の表に番号を記入)

図表60 平日の放課後や休日の過ごし方

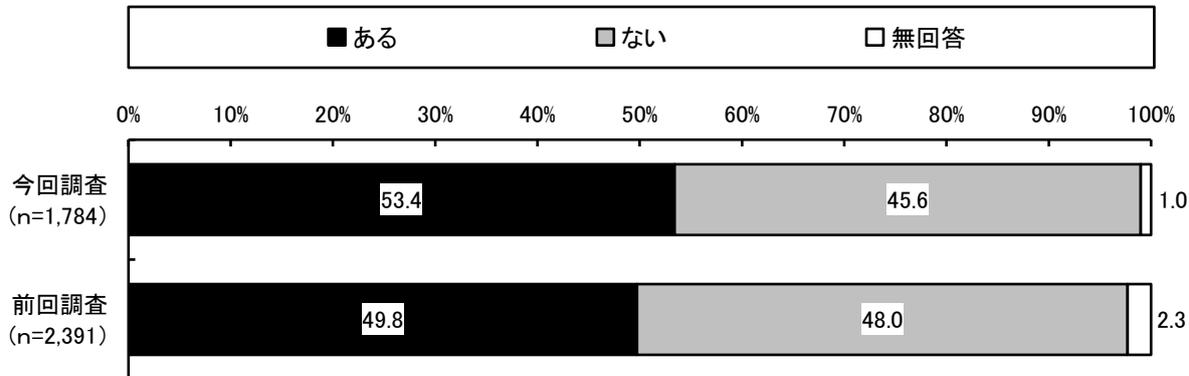


平日の放課後や休日の過ごし方として、平日、休日ともに「保護者や祖父母など家族・親族と過ごす」の割合が最も高くなっている。

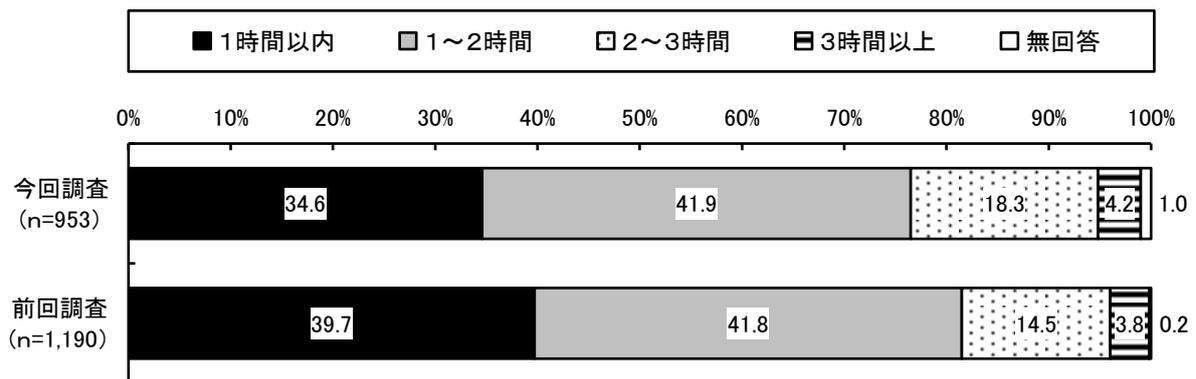
4. 放課後に子どもだけで留守番をすることの有無

問22 あて名のお子さんは、普段、放課後に子どもだけ（きょうだい含む）で留守番をすることがありますか。（○は1つ）

図表61 放課後に子どもだけで留守番をすることの有無



図表62 子どもだけで留守番をする時間



放課後に子どもだけで留守番をすることの有無については、「ある」の割合が53.4%となっている。

子どもだけで留守番をする時間については、「1～2時間」の割合が41.9%で最も高く、「1時間以内」が34.6%、「2～3時間」が18.3%となっている。

前回調査と比較すると、「1時間以内」の割合は5.1ポイント減少し、「2～3時間以上」の割合は3.8ポイント増加している。

放課後に子どもだけで留守番をすることの有無について子どもの学年別にみると、「ある」の割合は小学校1～3年生で43.0%、小学校4～6年生で64.4%となっている。

世帯分類別にみると、ひとり親では「ある」の割合が他の世帯に比べて高くなっている。

子どもだけで留守番をする時間について子どもの学年別にみると、小学校1～3年生では「1時間以内」の割合が最も高く、小学校4～6年生では「1～2時間」の割合が最も高くなっている。

世帯分類別にみると、ひとり親では「2～3時間」、「3時間以上」の割合が他の世帯に比べて高くなっている。

図表63 子どもの学年別、世帯分類別 放課後に子どもだけで留守番をすることの有無

(単位:%)

		標本数 (人)	ある	ない	無回答
全体		1,784	53.4	45.6	1.0
子どもの 学年別	小学校1～3年生	889	43.0	56.5	0.6
	小学校4～6年生	878	64.4	34.3	1.4
	無回答	17	35.3	58.8	5.9
全体		1,784	53.4	45.6	1.0
世帯 分類別	三世帯	40	25.0	72.5	2.5
	核家族	1,519	53.8	45.5	0.7
	ひとり親	122	72.1	27.9	-
	ひとり親三世帯	18	22.2	72.2	5.6
	その他	66	42.4	56.1	1.5
	無回答	19	31.6	47.4	21.1

図表64 子どもの学年別、世帯分類別 子どもだけで留守番をする時間

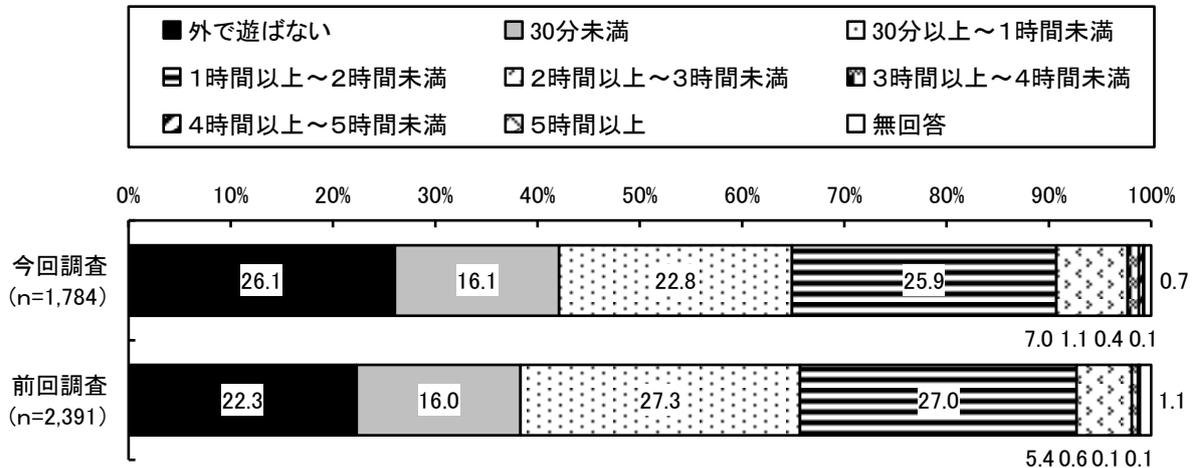
(単位:%)

		標本数 (人)	1時間 以内	1 ～ 2 時間	2 ～ 3 時間	3 時間 以上	無 回 答
全体		953	34.6	41.9	18.3	4.2	1.0
子どもの 学年別	小学校1～3年生	382	44.8	36.1	13.4	4.2	1.6
	小学校4～6年生	565	28.0	45.5	21.6	4.2	0.7
	無回答	6	16.7	66.7	16.7	-	-
全体		953	34.6	41.9	18.3	4.2	1.0
世帯 分類別	三世帯	10	60.0	10.0	20.0	-	10.0
	核家族	817	36.8	41.6	17.1	3.3	1.1
	ひとり親	88	12.5	47.7	26.1	13.6	-
	ひとり親三世帯	4	25.0	75.0	-	-	-
	その他	28	35.7	39.3	21.4	3.6	-
	無回答	6	16.7	33.3	50.0	-	-

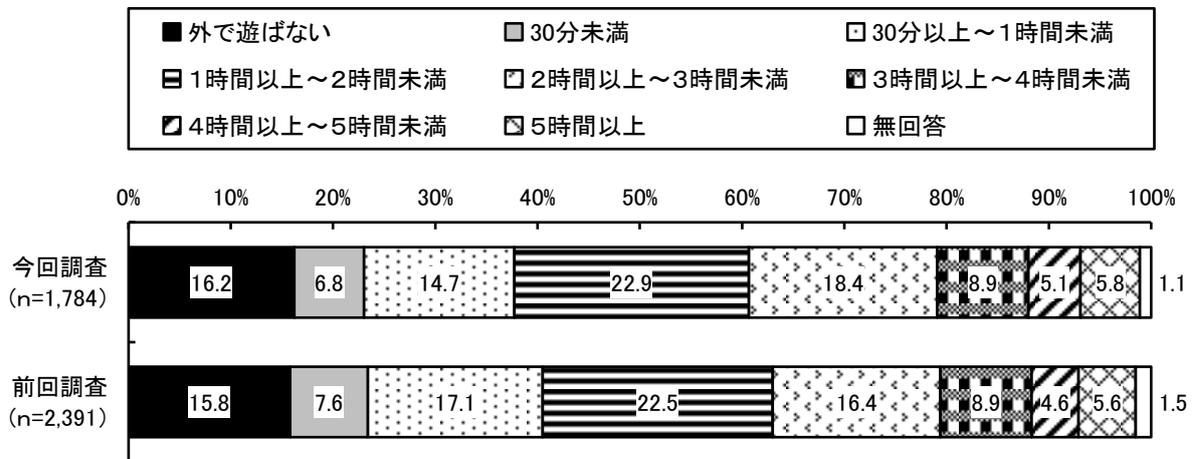
5. 外で遊ぶ時間

問23 あて名のお子さんは、平均すると1日にどれくらいの時間、外で遊びますか。
(平日・休日それぞれに○は1つずつ)

図表65 平日に外で遊ぶ時間



図表66 休日に外で遊ぶ時間



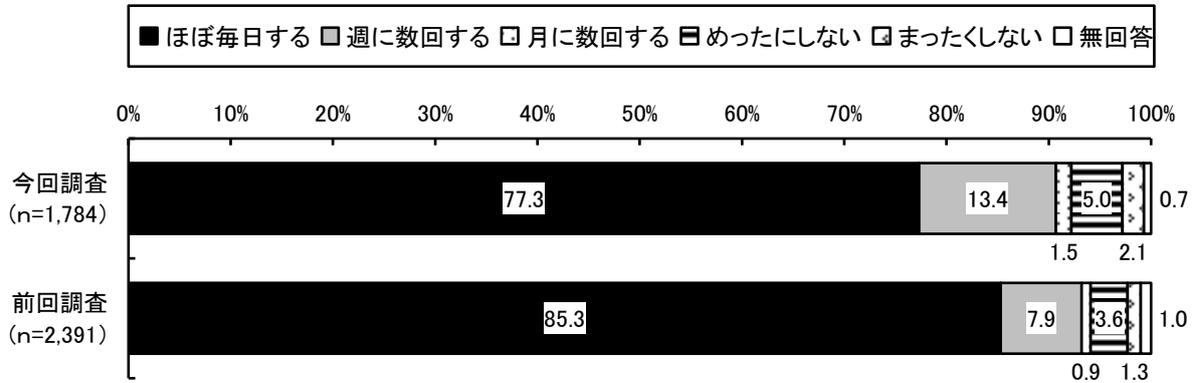
平日に外で遊ぶ時間については、「外で遊ばない」の割合が26.1%で最も高く、次いで「1時間以上～2時間未満」が25.9%、「30分以上～1時間未満」が22.8%、「30分未満」が16.1%となっている。

休日に外で遊ぶ時間については、「1時間以上～2時間未満」の割合が22.9%で最も高く、次いで「2時間以上～3時間未満」が18.4%、「外で遊ばない」が16.2%、「30分以上～1時間未満」が14.7%となっている。

6. 子どもの自宅での学習状況

問24 あて名のお子さんは自宅で学習をしていますか。(○は1つ)

図表67 子どもの自宅での学習状況



自宅での学習状況については、「ほぼ毎日する」の割合が77.3%で最も高く、次いで「週に数回する」が13.4%となっている。

前回調査と比較すると、「週に数回する」の割合は5.5ポイント増加し、「ほぼ毎日する」の割合は8.0ポイント減少している。

世帯年収別にみると、世帯年収が高い世帯ほど「ほぼ毎日する」の割合が高くなっている。

図表68 子どもの学年別、世帯年収別 子どもの自宅での学習状況

(単位:%)

		標本数(人)	ほぼ毎日する	週に数回する	月に数回する	めったにしない	まったくしない	無回答
全体		1,784	77.3	13.4	1.5	5.0	2.1	0.7
子どもの学年別	小学校1～3年生	889	78.7	12.0	1.2	5.3	2.0	0.7
	小学校4～6年生	878	75.9	14.8	1.7	4.9	2.2	0.6
	無回答	17	76.5	11.8	5.9	-	-	5.9
全体		1,784	77.3	13.4	1.5	5.0	2.1	0.7
世帯年収別	200万円未満	64	54.7	23.4	1.6	12.5	6.3	1.6
	200～300万円未満	104	62.5	21.2	5.8	7.7	2.9	-
	300～400万円未満	145	71.0	14.5	-	11.0	2.8	0.7
	400～500万円未満	203	74.9	14.3	2.0	5.4	3.0	0.5
	500～700万円未満	385	75.6	14.5	1.3	5.5	2.6	0.5
	700～1,000万円未満	478	82.6	11.3	1.9	2.3	1.5	0.4
	1,000万円以上	321	83.2	11.8	0.6	3.4	0.9	-
	無回答	84	84.5	4.8	-	4.8	-	6.0

Ⅲ 小学生の保護者調査結果

7. 不登校・ひきこもりの経験

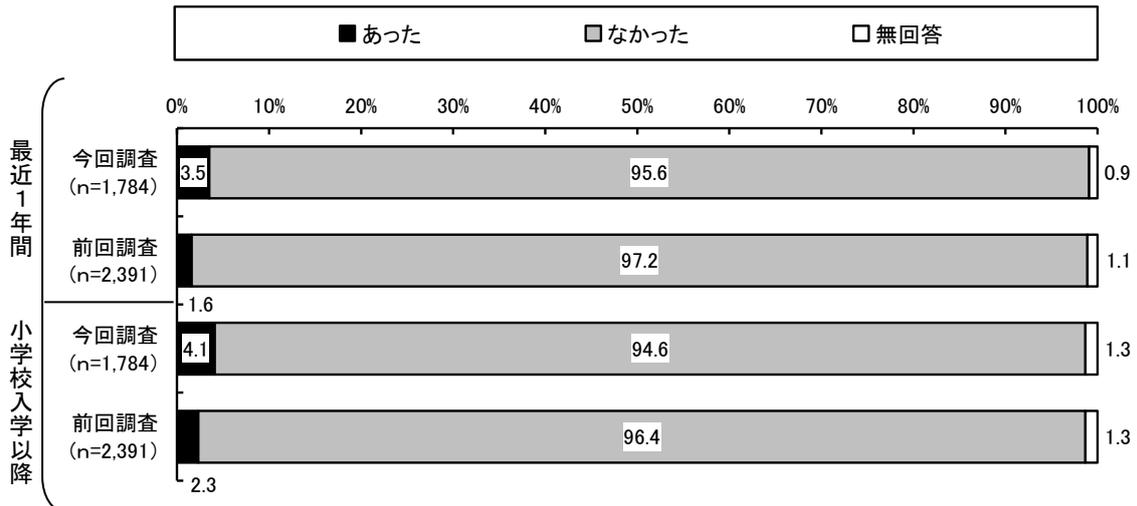
問25 あて名のお子さんは次の経験がありますか。

(それぞれについて、「あった」「なかった」のいずれかに○)

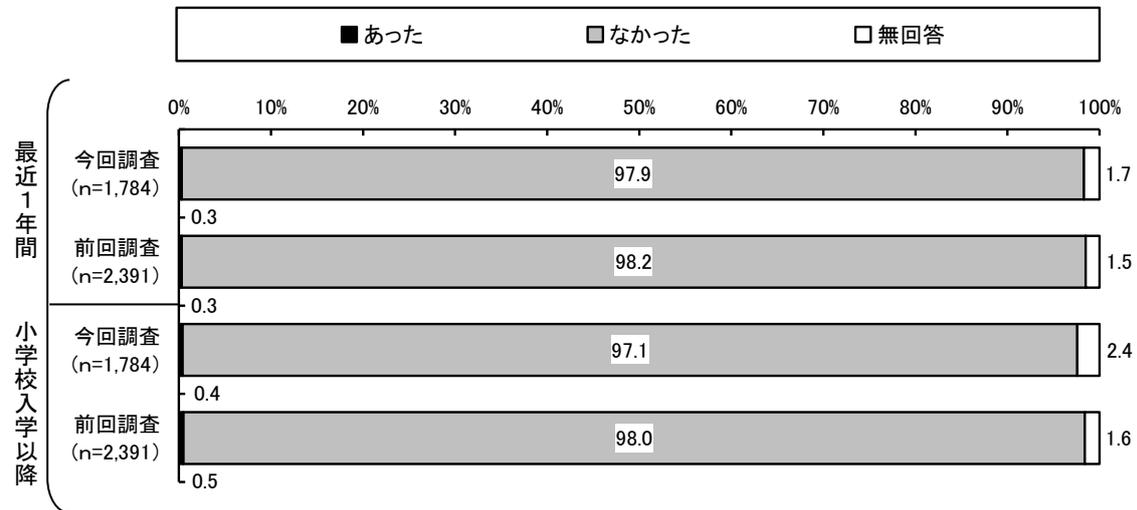
不登校 : 病気やケガ以外の理由でおおむね年間30日以上学校を欠席したこと

ひきこもり : おおむね半年以上ほとんど外出せず自宅内にこもっている状態

図表69 不登校の経験



図表70 ひきこもりの経験



不登校の経験について「あった」の割合は、最近1年間では3.5%、小学校入学以降では4.1%となっている。

ひきこもりの経験について「あった」の割合は、最近1年間では0.3%、小学校入学以降では0.4%となっている。

世帯年収別にみると、200万円未満では不登校の経験が最近1年間にあった割合が1割となっており、他の世帯年収に比べて高くなっている。

図表71 世帯年収別 不登校・ひきこもりの経験

(単位:%)

	標本数 (人)	不登校の経験		ひきこもりの経験		
		最近1年間にあった	小学校入学以降にあった	最近1年間にあった	小学校入学以降にあった	
全体	1,784	3.5	4.1	0.3	0.4	
世帯年収別	200万円未満	64	10.9	7.8	3.1	1.6
	200～300万円未満	104	4.8	5.8	-	-
	300～400万円未満	145	4.1	5.5	0.7	0.7
	400～500万円未満	203	1.5	2.0	-	0.5
	500～700万円未満	385	3.6	4.7	-	0.3
	700～1,000万円未満	478	2.9	3.6	0.4	0.6
	1,000万円以上	321	3.7	4.4	0.3	0.3
	無回答	84	2.4	1.2	-	-

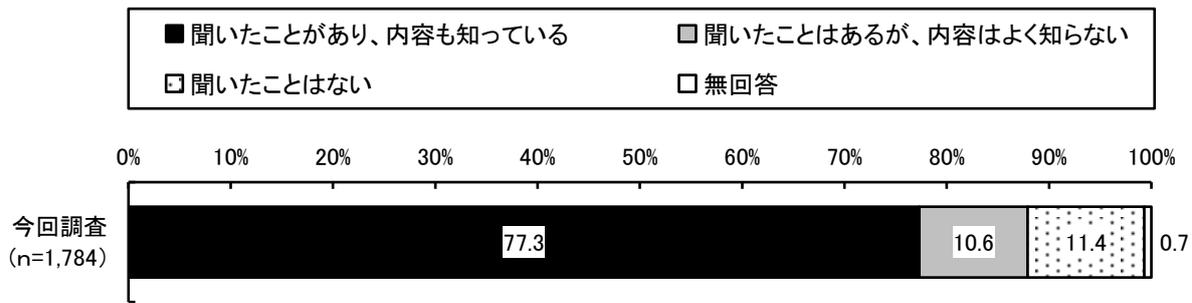
Ⅲ 小学生の保護者調査結果

8. ヤングケアラーについて

(1) 「ヤングケアラー」という言葉の認知度

問26 あなたは、「ヤングケアラー」という言葉を聞いたことがありますか。(○は1つ)
 ※「ヤングケアラー」とは、本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを、日常的に行っている子どものこととされています。

図表72 「ヤングケアラー」という言葉の認知度

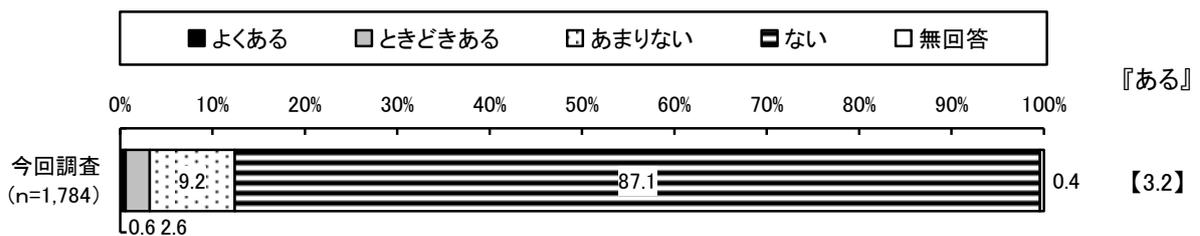


「ヤングケアラー」という言葉を聞いたことがあるかについては、「聞いたことがあります、内容も知っている」の割合が77.3%で最も高く、次いで「聞いたことはない」が11.4%、「聞いたことはあるが、内容はよく知らない」が10.6%となっている。

(2) 子どもが家事や家族の世話等でやりたいことができないことがあるか

問27 あて名のお子さんは、家事や家族の世話をすることで、お子さん自身のことをする時間が取れなかったり、やりたいこと（勉強・部活動・遊び・睡眠等）ができなかったりすることがありますか。(○は1つ)

図表73 子どもが家事や家族の世話等でやりたいことができないことがあるか

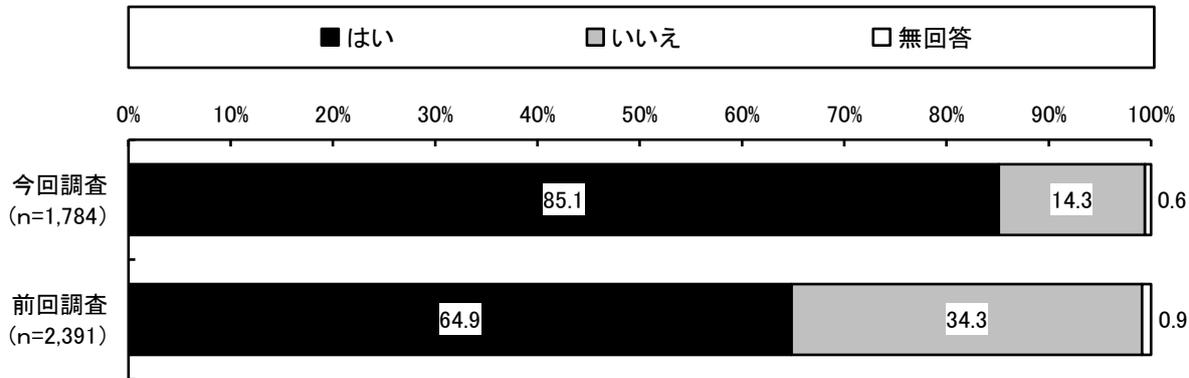


子どもが家事や家族の世話等でやりたいことができないことなどの有無について、『ある』（「よくある」と「ときどきある」を合わせた割合）は3.2%となっている。

9. 子どものインターネットの利用状況

問28 あて名のお子さんは、ご家庭でパソコンや携帯電話、スマートフォン、タブレットなどでインターネットを使っていますか。(○は1つ)

図表74 子どものインターネットの利用状況



子どものインターネットの利用状況については、「はい」の割合が85.1%となっている。前回調査と比較すると、「はい」の割合は20.2ポイント増加し、「いいえ」の割合は20.0ポイント減少している。

子どもの学年別にみると、小学校4～6年生では「はい」の割合が小学校1～3年生に比べて15.2ポイント高くなっている。

図表75 子どもの学年別 子どものインターネットの利用状況

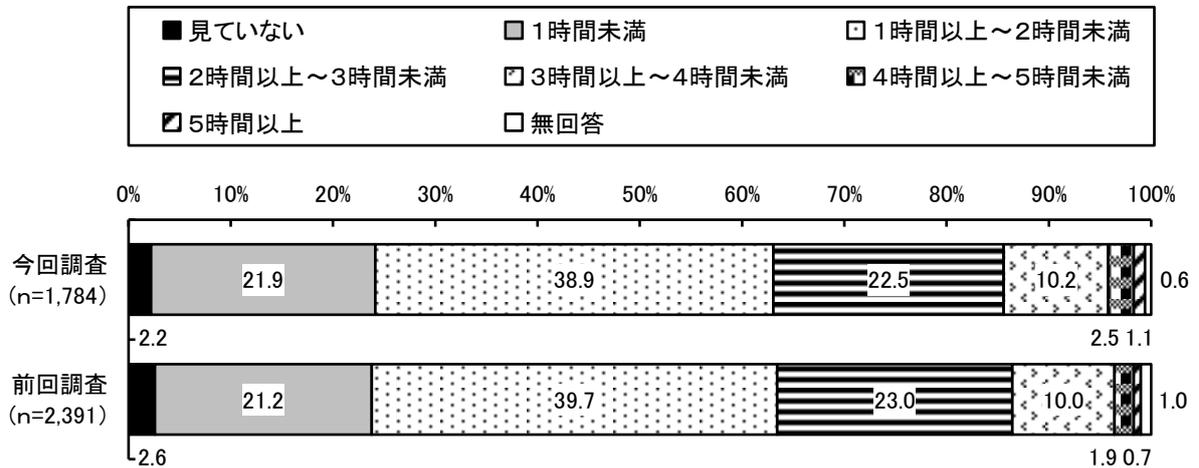
(単位: %)

		標本数 (人)	はい	いいえ	無回答
全体		1,784	85.1	14.3	0.6
子どもの学年別	小学校1～3年生	889	77.7	21.9	0.3
	小学校4～6年生	878	92.9	6.4	0.7
	無回答	17	70.6	23.5	5.9

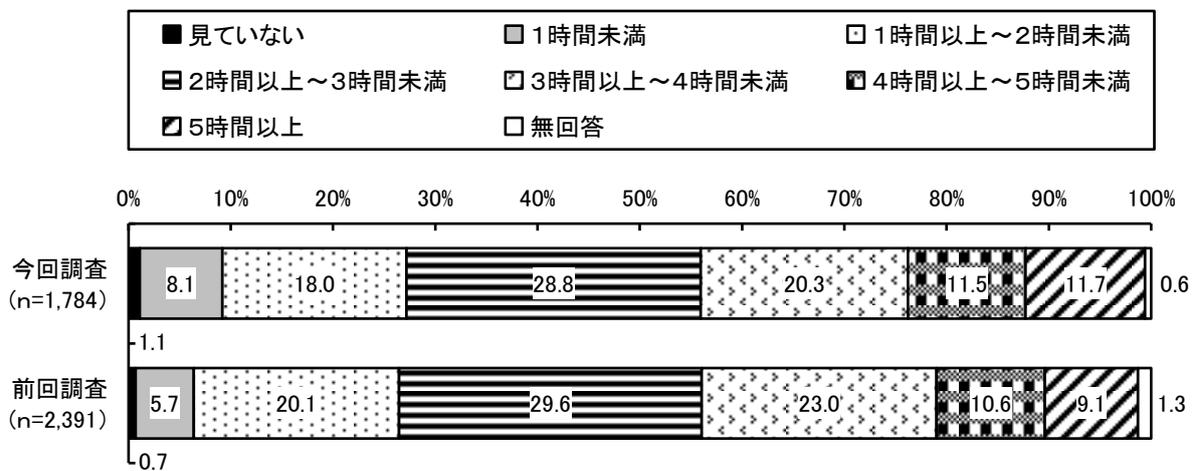
10. テレビ等を見る時間

問29 あて名のお子さんは、平均すると1日どれくらいの時間、テレビやパソコン、スマートフォン、タブレットなどで動画を見たりゲームをしたりしていますか。
 (平日・休日それぞれに○は1つずつ)

図表76 平日にテレビ等を見る時間



図表77 休日にテレビ等を見る時間



平日にテレビ等を見る時間については、「1時間以上～2時間未満」の割合が38.9%で最も高く、次いで「2時間以上～3時間未満」が22.5%、「1時間未満」が21.9%、「3時間以上～4時間未満」が10.2%となっている。

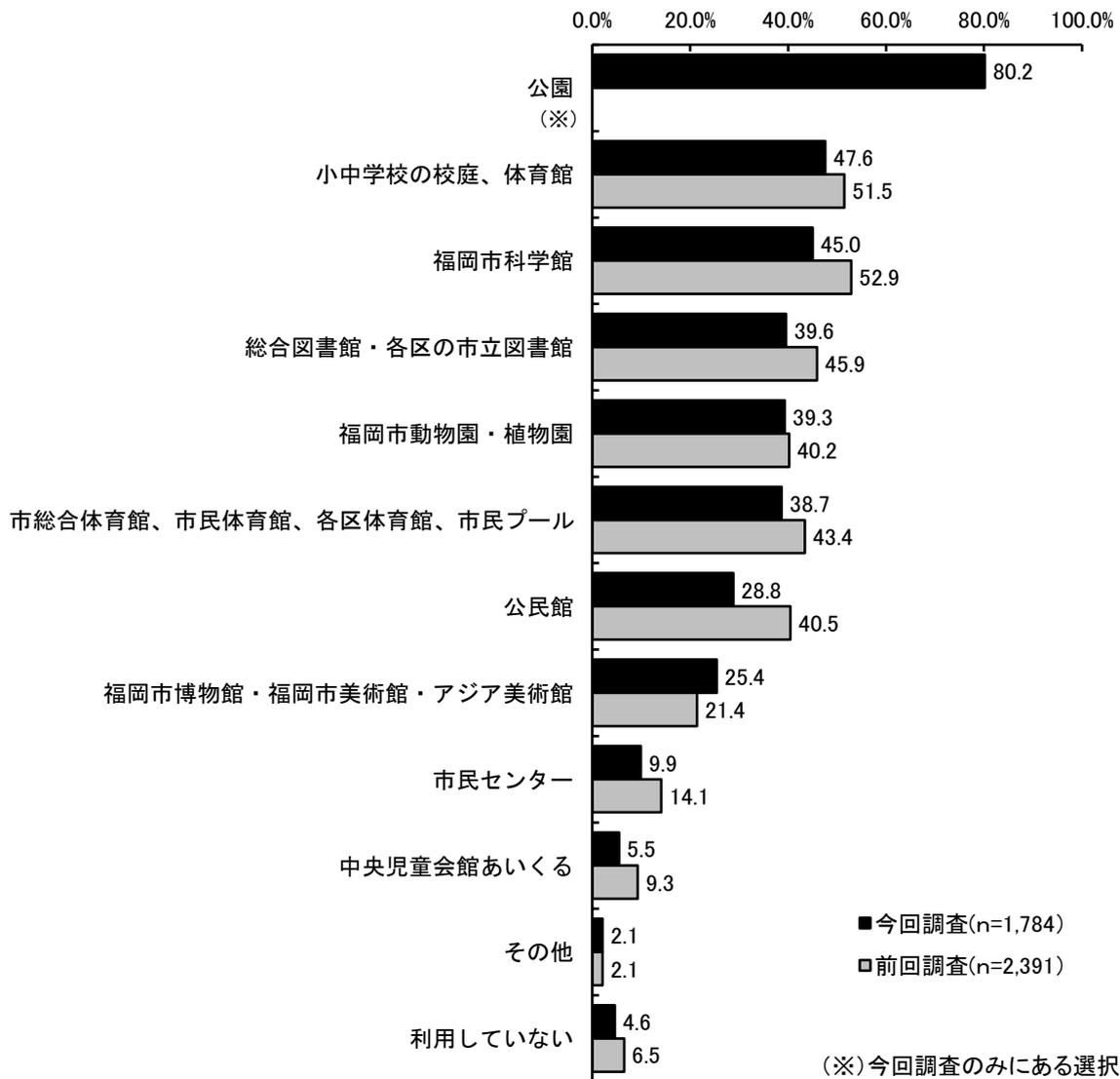
休日にテレビ等を見る時間については、「2時間以上～3時間未満」の割合が28.8%で最も高く、次いで「3時間以上～4時間未満」が20.3%、「1時間以上～2時間未満」が18.0%、「5時間以上」が11.7%、「4時間以上～5時間未満」が11.5%となっている。

第5章 遊び場や地域の子育て環境について

1. 過去1年間に子どもとともに利用した公共施設

問30 過去1年間にあて名のお子さんとともに利用した公共施設はどこですか。
(あてはまるものすべてに○)

図表78 過去1年間に子どもとともに利用した公共施設



過去1年間に子どもとともに利用した公共施設については、「公園」の割合が80.2%で最も高く、次いで「小中学校の校庭、体育館」が47.6%、「福岡市科学館」が45.0%、「総合図書館・各区の市立図書館」が39.6%、「福岡市動物園・植物園」が39.3%、「市総合体育館、市民体育館、各区体育館、市民プール」が38.7%、「公民館」が28.8%、「福岡市博物館・福岡市美術館・アジア美術館」が25.4%となっている。

選択肢に相違があるが前回調査と比較すると、「公民館」の割合は11.7ポイント減少している。

子どもの学年別にみると、小学校1～3年生では「福岡市動物園・植物園」の割合が小学校4～6年生に比べて17.1ポイント高くなっている。

世帯分類別にみると、核家族では「総合図書館・各区の市立図書館」の割合が他の世帯に比べて高くなっている。

世帯年収別にみると、概ね世帯年収が高い世帯ほど「総合図書館・各区の市立図書館」の割合が高くなっている。

Ⅲ 小学生の保護者調査結果

図表79 子どもの学年別、世帯分類別、世帯年収別
過去1年間に子どもとともに利用した公共施設

(単位:%)

		標本数(人)	公民館	市民センター	総合図書館・各区の市立図書館	市総合体育館、市民体育館、各区体育館	小中学校の校庭、体育館	福岡市博物館・福岡市美術館・アジア美術館	中央児童会館あいくる	福岡市科学館
全体		1,784	28.8	9.9	39.6	38.7	47.6	25.4	5.5	45.0
子どもの学年別	小学校1～3年生	889	31.0	10.7	42.5	36.6	52.0	26.9	6.9	48.3
	小学校4～6年生	878	26.1	8.9	37.0	41.2	43.5	24.0	4.3	41.3
	無回答	17	47.1	17.6	23.5	23.5	29.4	17.6	-	58.8
全体		1,784	28.8	9.9	39.6	38.7	47.6	25.4	5.5	45.0
世帯分類別	三世帯	40	25.0	5.0	32.5	27.5	35.0	20.0	2.5	40.0
	核家族	1,519	29.2	10.3	41.7	40.5	48.9	26.4	6.0	46.5
	ひとり親	122	21.3	9.8	26.2	26.2	41.0	18.0	2.5	32.8
	ひとり親三世帯	18	27.8	5.6	27.8	38.9	44.4	16.7	11.1	38.9
	その他	66	33.3	4.5	31.8	36.4	47.0	28.8	3.0	40.9
無回答		19	31.6	5.3	10.5	10.5	15.8	-	-	31.6
全体		1,784	28.8	9.9	39.6	38.7	47.6	25.4	5.5	45.0
世帯年収別	200万円未満	64	18.8	10.9	23.4	26.6	42.2	20.3	4.7	34.4
	200～300万円未満	104	20.2	7.7	29.8	19.2	27.9	20.2	2.9	36.5
	300～400万円未満	145	26.2	6.9	29.0	35.2	48.3	20.7	7.6	42.1
	400～500万円未満	203	27.6	10.3	32.0	34.0	44.8	20.7	3.9	37.9
	500～700万円未満	385	30.4	9.4	39.7	39.5	49.6	30.1	4.9	43.1
	700～1,000万円未満	478	31.0	9.4	45.6	45.0	49.6	24.3	6.5	47.9
	1,000万円以上	321	29.6	12.8	46.7	43.9	51.1	30.2	5.9	54.5
無回答		84	31.0	9.5	39.3	31.0	47.6	21.4	6.0	40.5

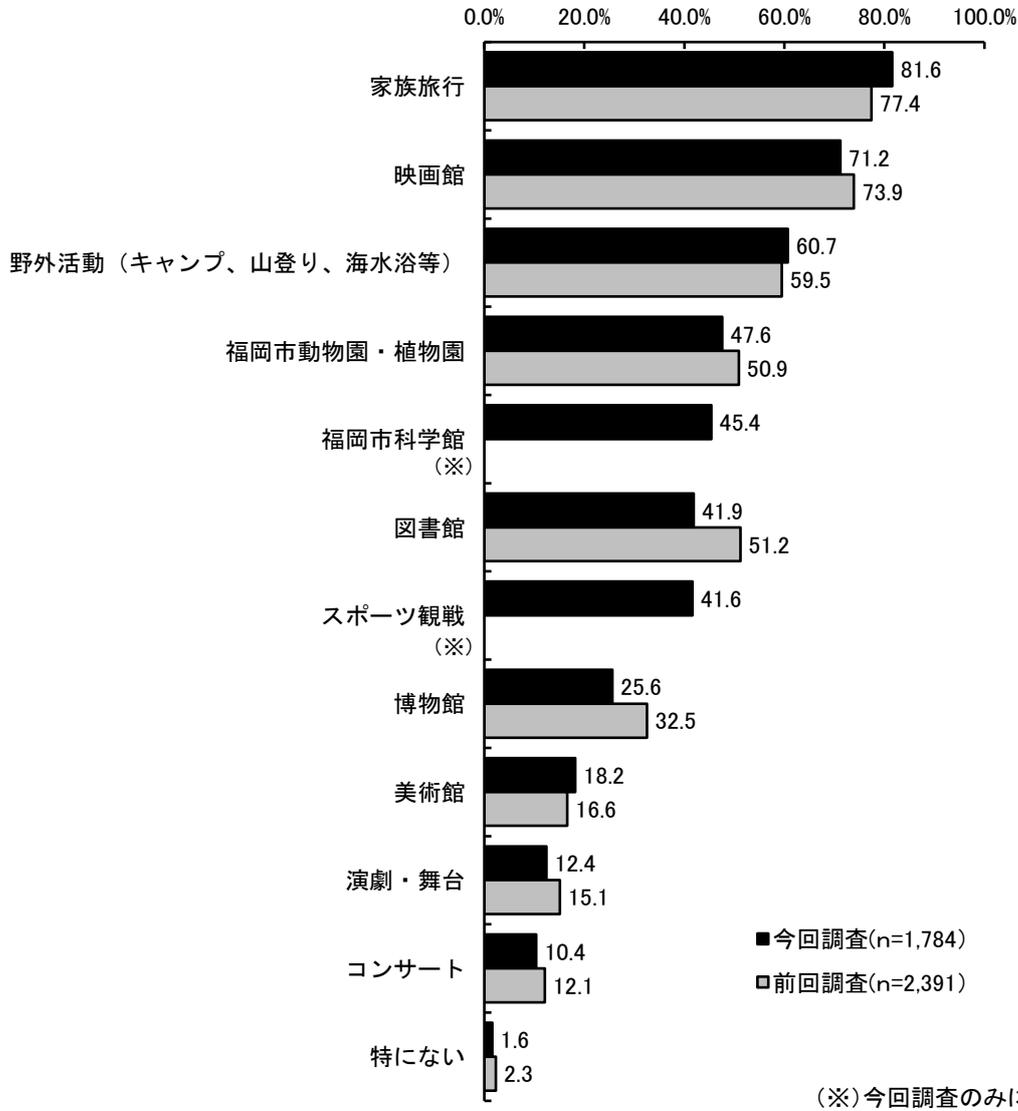
(単位:%)

		標本数(人)	福岡市動物園・植物園	公園	その他	利用していない	無回答
全体		1,784	39.3	80.2	2.1	4.6	0.7
子どもの学年別	小学校1～3年生	889	48.0	85.2	1.9	2.6	0.2
	小学校4～6年生	878	30.9	75.1	2.3	6.7	1.0
	無回答	17	23.5	82.4	-	-	5.9
全体		1,784	39.3	80.2	2.1	4.6	0.7
世帯分類別	三世帯	40	25.0	77.5	-	12.5	-
	核家族	1,519	41.0	80.8	1.8	3.9	0.4
	ひとり親	122	28.7	74.6	5.7	9.8	0.8
	ひとり親三世帯	18	44.4	83.3	-	5.6	5.6
	その他	66	31.8	80.3	1.5	6.1	-
無回答		19	26.3	68.4	5.3	5.3	21.1
全体		1,784	39.3	80.2	2.1	4.6	0.7
世帯年収別	200万円未満	64	29.7	81.3	4.7	6.3	-
	200～300万円未満	104	34.6	74.0	4.8	9.6	1.0
	300～400万円未満	145	38.6	83.4	0.7	3.4	-
	400～500万円未満	203	40.9	79.8	1.0	6.4	1.0
	500～700万円未満	385	41.8	80.5	3.1	5.2	-
	700～1,000万円未満	478	41.2	77.8	1.5	4.0	1.0
	1,000万円以上	321	35.8	84.4	1.9	2.2	-
無回答		84	41.7	77.4	1.2	4.8	4.8

2. 過去1年間の子どもとの体験等について

問31 過去1年間に、あて名のお子さんと次のような体験をしたり行ったりしたことがありますか。(あてはまるものすべてに○)

図表80 過去1年間の子どもとの体験等について



過去1年間に、子どもと体験したことについては、「家族旅行」の割合が81.6%で最も高く、次いで「映画館」が71.2%、「野外活動(キャンプ、山登り、海水浴等)」が60.7%、「福岡市動物園・植物園」が47.6%、「福岡市科学館」が45.4%、「図書館」が41.9%、「スポーツ観戦」が41.6%、「博物館」が25.6%、「美術館」が18.2%、「演劇・舞台」が12.4%、「コンサート」が10.4%となっている。

選択肢に相違があるが前回調査と比較すると、「博物館」の割合は6.9ポイント減少し、「図書館」の割合は9.3ポイント減少している。

Ⅲ 小学生の保護者調査結果

世帯年収別にみると、400万円未満では「野外活動（キャンプ、山登り、海水浴等）」、500万円未満では「家族旅行」「図書館」「映画館」の割合が他の世帯年収に比べて低くなっている。

図表81 世帯年収別 過去1年間の子どもの体験等について

(単位:%)

		標本数 (人)	家族旅行	登野 り、外 活動 (キャンプ、 海水浴等)	ス ポ ー ツ 観 戦	図 書 館	博 物 館	美 術 館	福 岡 市 科 学 館	福 岡 市 動 物 園 ・ 植 物 園
全 体		1,784	81.6	60.7	41.6	41.9	25.6	18.2	45.4	47.6
世 帯 年 収 別	200万円未満	64	54.7	45.3	28.1	23.4	18.8	21.9	31.3	39.1
	200～300万円未満	104	68.3	45.2	20.2	31.7	24.0	11.5	36.5	38.5
	300～400万円未満	145	66.9	50.3	35.2	33.1	22.1	15.2	40.0	46.2
	400～500万円未満	203	68.0	61.1	35.5	33.5	18.2	14.8	39.4	47.3
	500～700万円未満	385	83.6	63.1	39.0	41.0	26.5	22.1	46.0	50.9
	700～1,000万円未満	478	89.3	64.9	50.2	48.5	26.2	16.9	46.9	51.0
	1,000万円以上	321	93.8	66.4	48.6	49.5	32.1	20.9	55.1	45.5
	無回答	84	77.4	52.4	41.7	40.5	23.8	16.7	42.9	42.9

(単位:%)

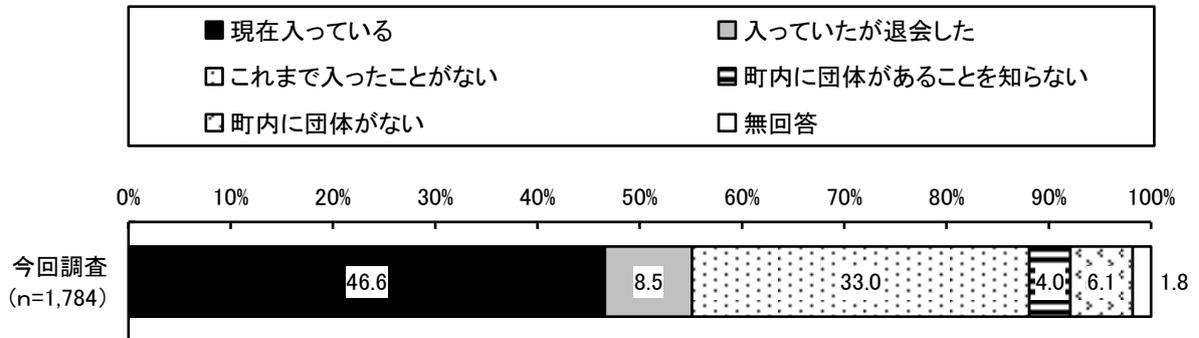
		標本数 (人)	映 画 館	演 劇 ・ 舞 台	コ ン サ ー ト	特 に な い	無 回 答
全 体		1,784	71.2	12.4	10.4	1.6	0.6
世 帯 年 収 別	200万円未満	64	64.1	15.6	10.9	4.7	-
	200～300万円未満	104	64.4	12.5	6.7	3.8	-
	300～400万円未満	145	64.8	9.7	6.2	4.8	-
	400～500万円未満	203	64.0	8.9	5.4	3.0	1.0
	500～700万円未満	385	71.2	10.9	10.4	0.8	-
	700～1,000万円未満	478	74.3	12.6	10.5	1.0	0.6
	1,000万円以上	321	79.4	15.9	16.5	-	-
	無回答	84	64.3	15.5	9.5	1.2	6.0

3. 地域の子どもたちが活動する団体について

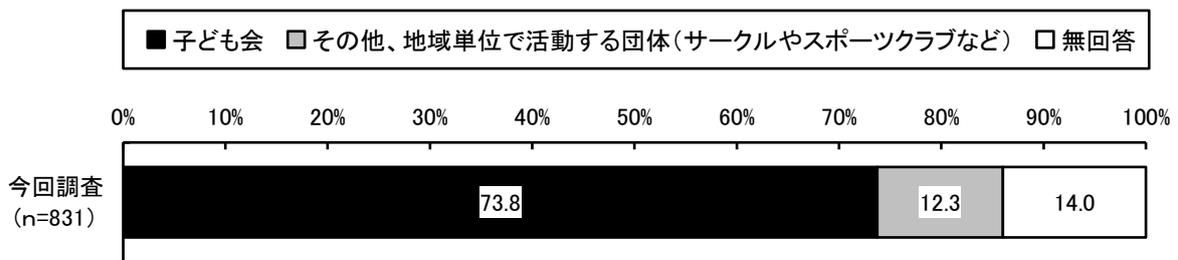
(1) 地域の子どもたちが活動する団体への入会状況

問32 あて名のお子さんは、地域の子どもたちが活動する団体（子ども会など）へ入っていますか。（○は1つ。「1」を選んだ場合は、入っている団体に○をつける）

図表82 地域の子どもたちが活動する団体への入会状況



図表83 現在入っている団体



地域の子どもたちが活動する団体への入会状況については、「現在入っている」の割合が46.6%で最も高く、次いで「これまで入ったことがない」が33.0%となっている。

入っている団体の種類としては、「子ども会」の割合が73.8%で最も高く、「その他、地域単位で活動する団体（サークルやスポーツクラブなど）」が12.3%となっている。

Ⅲ 小学生の保護者調査結果

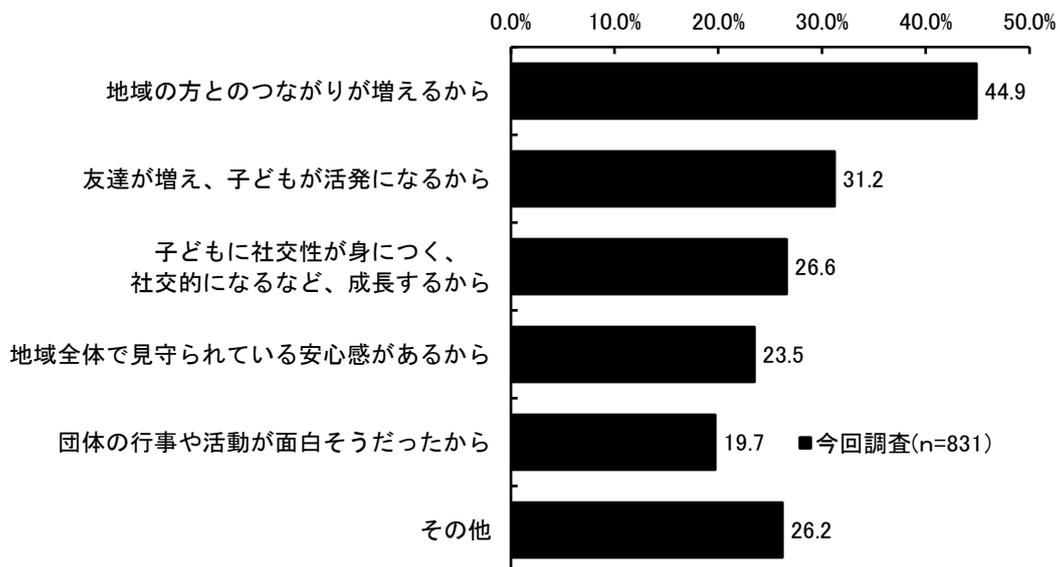
(2) 地域の子どもたちが活動する団体に入会した理由

問32で「1. 現在入っている」を選んだ方にうかがいます。

問32-1 地域の子どもたちが活動する団体（子ども会など）に入った理由は何ですか。

(○は3つまで)

図表84 地域の子どもたちが活動する団体に入会した理由



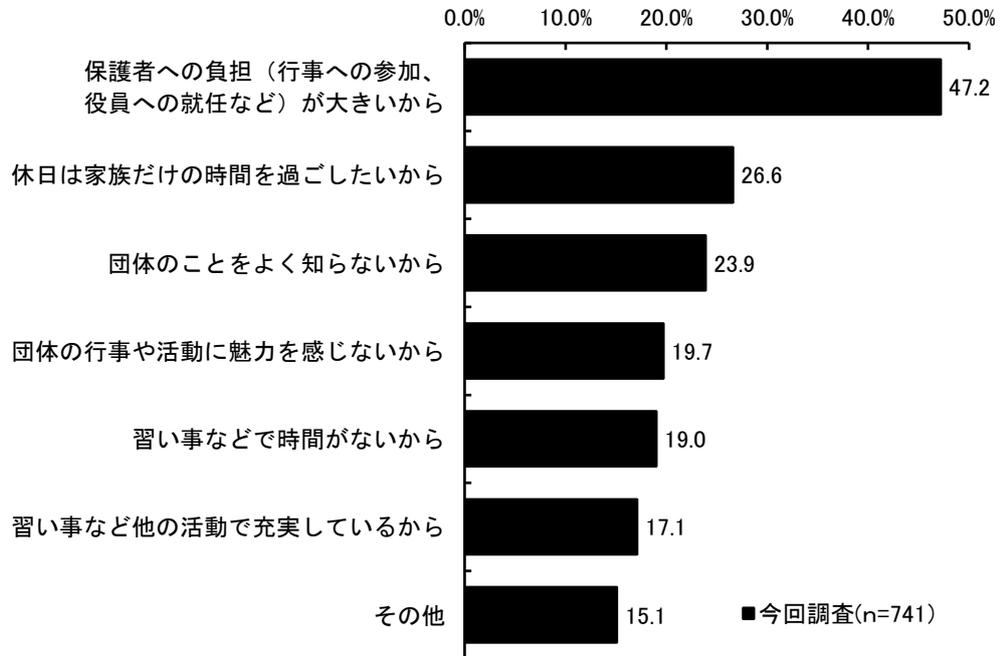
地域の子どもたちが活動する団体に入会した理由としては、「地域の方とのつながりが増えるから」の割合が44.9%で最も高く、次いで「友達が増え、子どもが活発になるから」が31.2%、「子どもに社交性が身につく、社会的になるなど、成長するから」が26.6%、「その他」が26.2%、「地域全体で見守られている安心感があるから」が23.5%、「団体の行事や活動が面白そうだったから」が19.7%となっている。

(3) 地域の子どもたちが活動する団体に入会していない理由

問32で「2」または「3」を選んだ方にうかがいます。

問32-2 地域の子どもたちが活動する団体（子ども会など）に入っていない理由は何ですか。
 (〇は3つまで)

図表85 地域の子どもたちが活動する団体に入会していない理由



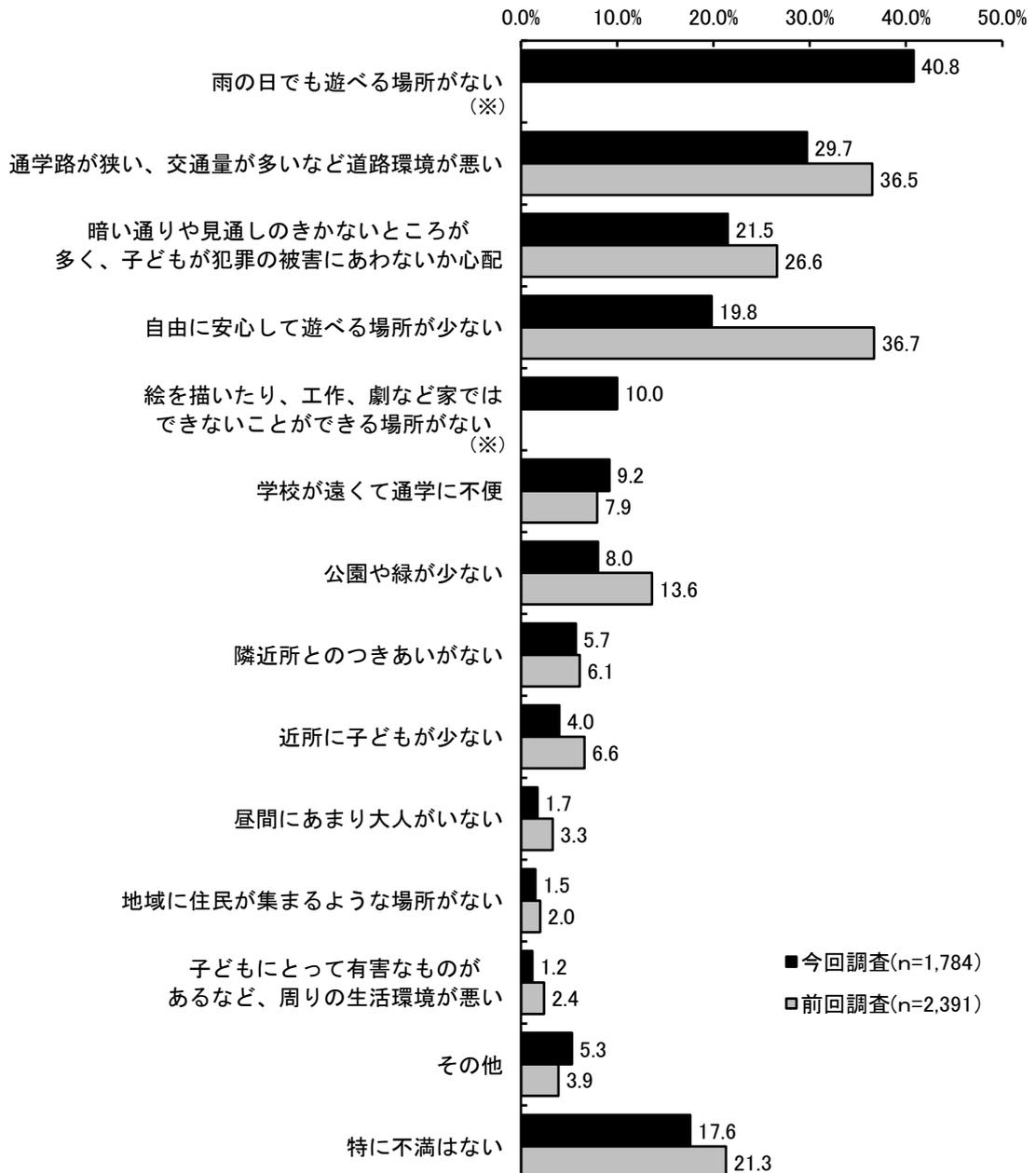
地域の子どもたちが活動する団体に入会していない理由としては、「保護者への負担（行事への参加、役員への就任など）が大きいから」の割合が47.2%で最も高く、次いで「休日は家族だけの時間を過ごしたいから」が26.6%、「団体のことをよく知らないから」が23.9%、「団体の行事や活動に魅力を感じないから」が19.7%、「習い事などで時間がないから」が19.0%、「習い事など他の活動で充実しているから」が17.1%、「その他」が15.1%となっている。

4. 地域の子育て環境について

(1) 居住地区の子育て環境で不満なこと

問33 お住まいの地域の子育て環境で不満なことは何ですか。(〇は3つまで)

図表86 居住地区の子育て環境で不満なこと



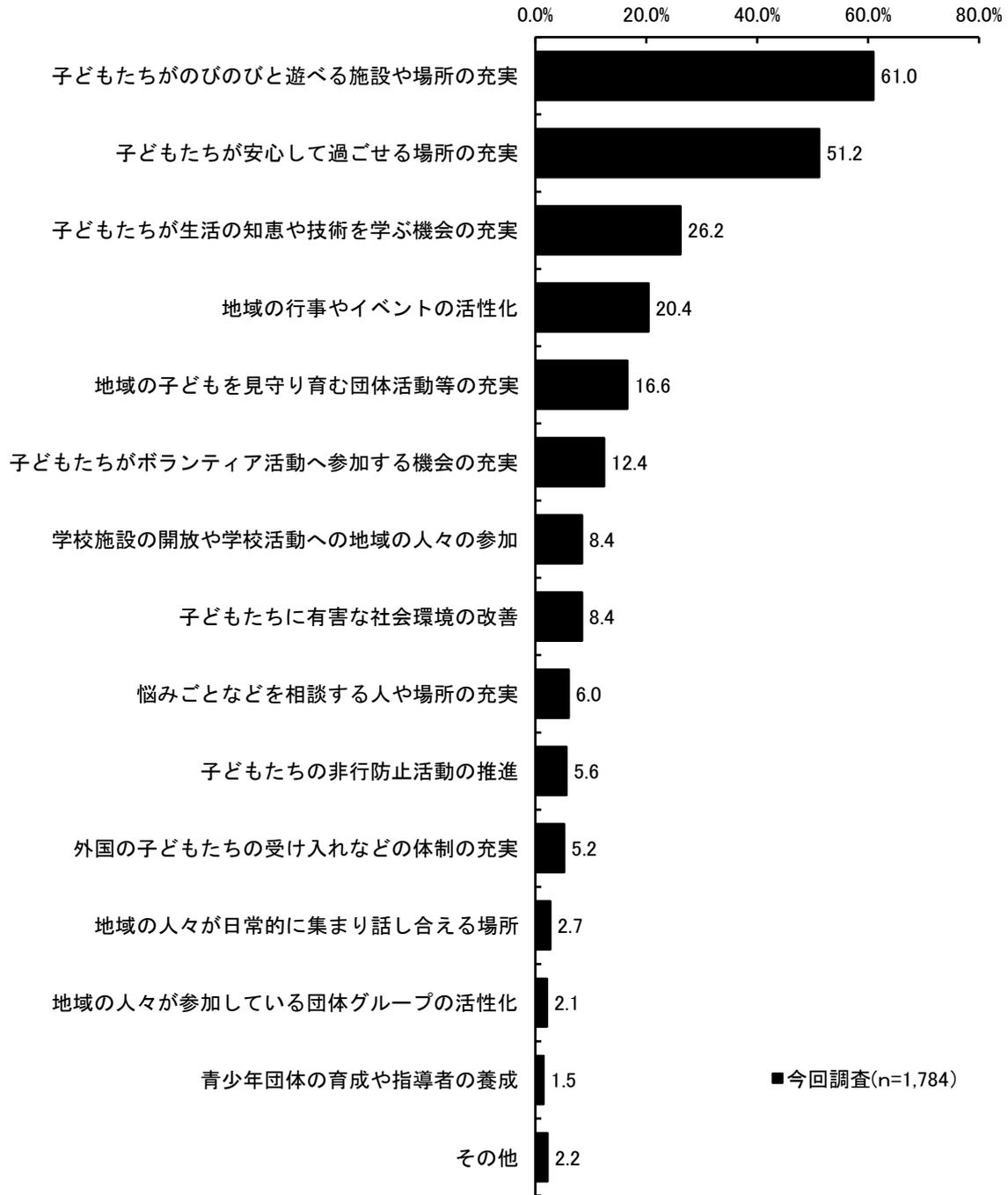
居住地区の子育て環境で不満なことについては、「雨の日でも遊べる場所がない」の割合が40.8%で最も高く、次いで「通学路が狭い、交通量が多いなど道路環境が悪い」が29.7%、「暗い通りや見通しのきかないところが多く、子どもが犯罪の被害にあわないか心配」が21.5%、「自由に安心して遊べる場所が少ない」が19.8%、「特に不満はない」が17.6%、「絵を描いたり、工作、劇など家ではできないことができる場所がない」が10.0%となっている。

選択肢に相違があるが前回調査と比較すると、「自由に安心して遊べる場所が少ない」の割合は16.9ポイント減少している。

(2) 地域で子どもを健全に育むために特に必要だと思うこと

問34 あなたは、地域で子どもを健全に育むために、特にどのようなことが必要だと思いますか。
(○は3つまで)

図表87 地域で子どもを健全に育むために特に必要だと思うこと

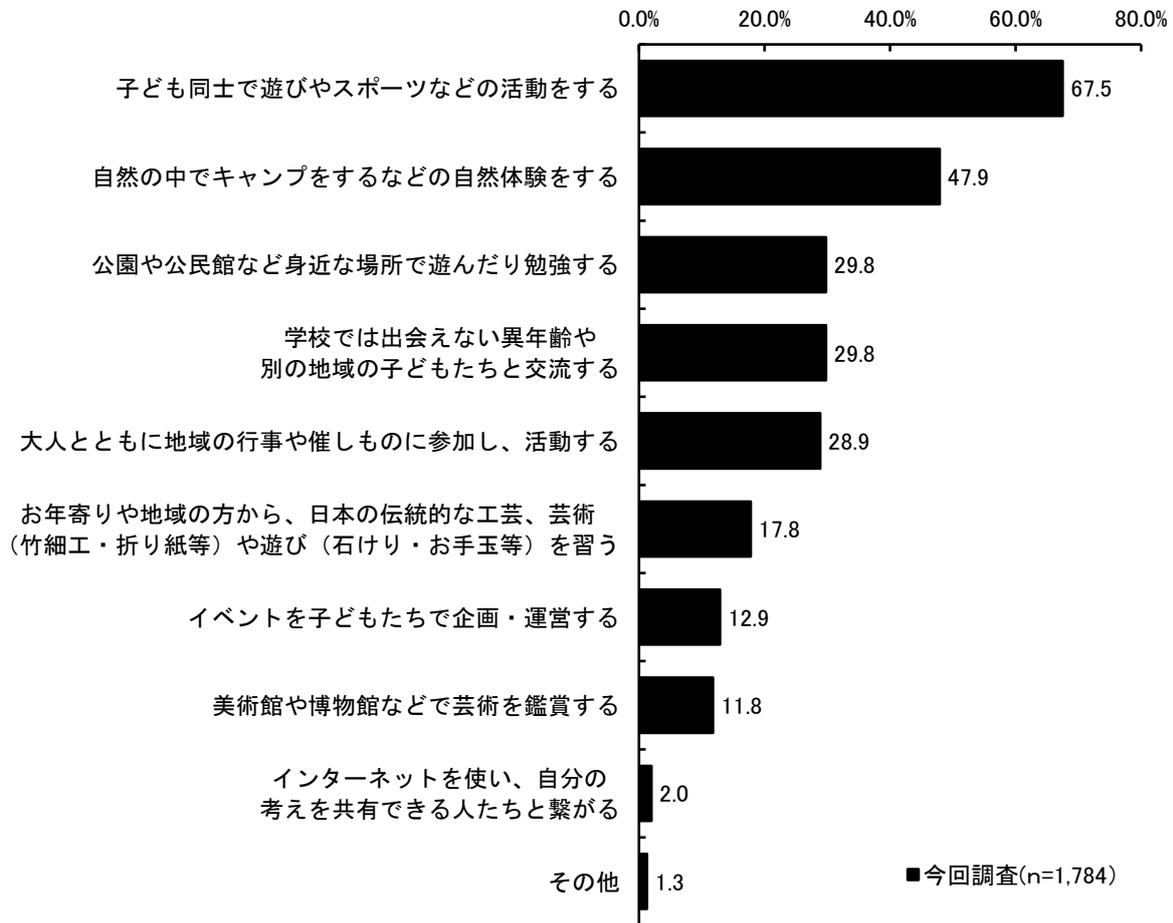


地域で子どもを健全に育むために特に必要だと思うことについては、「子どもたちがのびのびと遊べる施設や場所の充実」の割合が61.0%で最も高く、次いで「子どもたちが安心して過ごせる場所の充実」が51.2%、「子どもたちが生活の知恵や技術を学ぶ機会の充実」が26.2%、「地域の行事やイベントの活性化」が20.4%、「地域の子どもの見守り育む団体活動等の充実」が16.6%、「子どもたちがボランティア活動へ参加する機会の充実」が12.4%となっている。

5. 子どもが健全に成長するために、必要だと思う体験

問35 あなたは、子どもが健全に成長するためには、子どもたちにどのような体験が必要だと思いますか。(〇は3つまで)

図表88 子どもが健全に成長するために、必要だと思う体験



健全に成長するために必要だと思う体験については、「子ども同士で遊びやスポーツなどの活動をする」の割合が67.5%で最も高く、次いで「自然の中でキャンプをするなどの自然体験をする」が47.9%、「公園や公民館など身近な場所で遊んだり勉強する」が29.8%、「学校では出会えない異年齢や別の地域の子どもたちと交流する」が29.8%、「大人とともに地域の行事や催しものに参加し、活動する」が28.9%、「お年寄りや地域の方から、日本の伝統的な工芸、芸術(竹細工・折り紙等)や遊び(石けり・お手玉等)を習う」が17.8%、「イベントを子どもたちで企画・運営する」が12.9%、「美術館や博物館などで芸術を鑑賞する」が11.8%となっている。

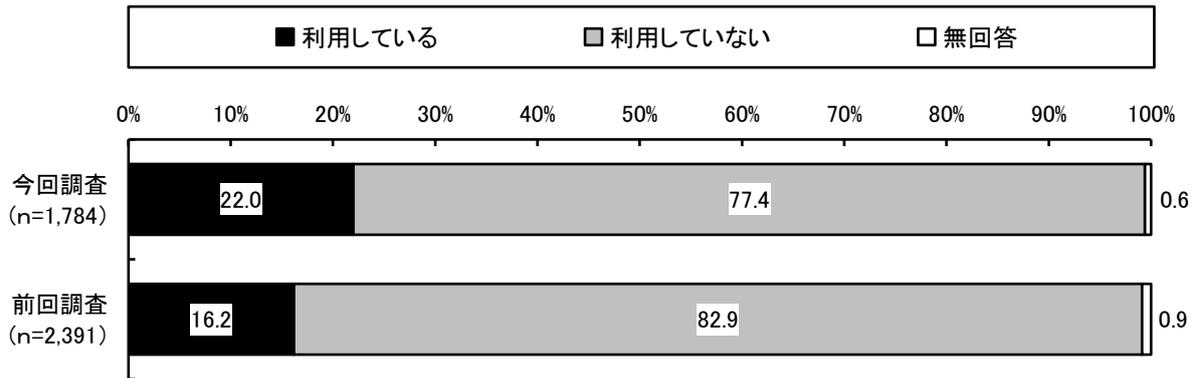
第6章 放課後児童クラブ等の利用について

1. 放課後児童クラブの利用について

(1) 放課後児童クラブの利用状況

問36 あて名のお子さんについて、現在、放課後児童クラブ（旧・留守家庭子ども会）を利用していますか。（○は1つ）

図表89 放課後児童クラブの利用状況



放課後児童クラブの利用状況については、「利用している」の割合は22.0%となっている。前回調査と比較すると、「利用している」の割合は5.8ポイント増加している。

子どもの学年別にみると、小学校1～3年生では「利用している」の割合が小学校4～6年生に比べて30.6ポイント高くなっている。

図表90 子どもの学年別 放課後児童クラブの利用状況

(単位: %)

		標本数 (人)	利用している	利用していない	無回答
全体		1,784	22.0	77.4	0.6
子どもの学年別	小学校1～3年生	889	37.3	62.5	0.1
	小学校4～6年生	878	6.7	92.4	0.9
	無回答	17	11.8	76.5	11.8

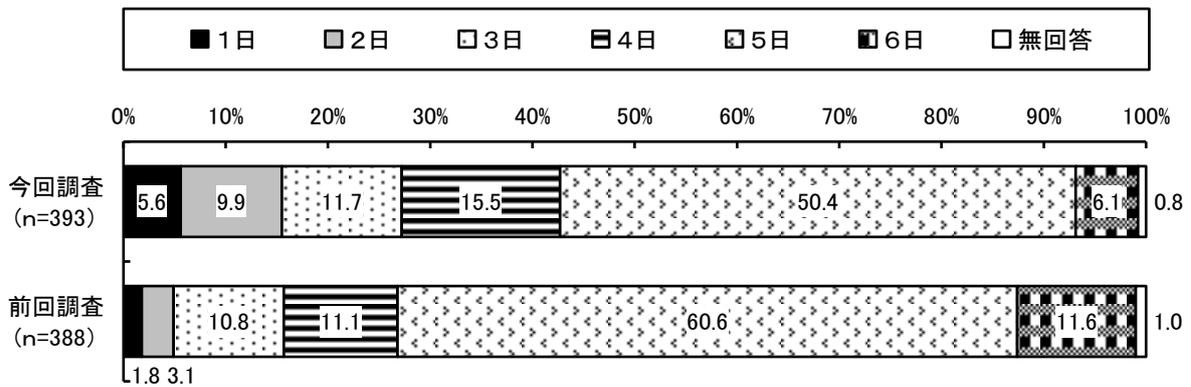
Ⅲ 小学生の保護者調査結果

2. 放課後児童クラブの利用日数

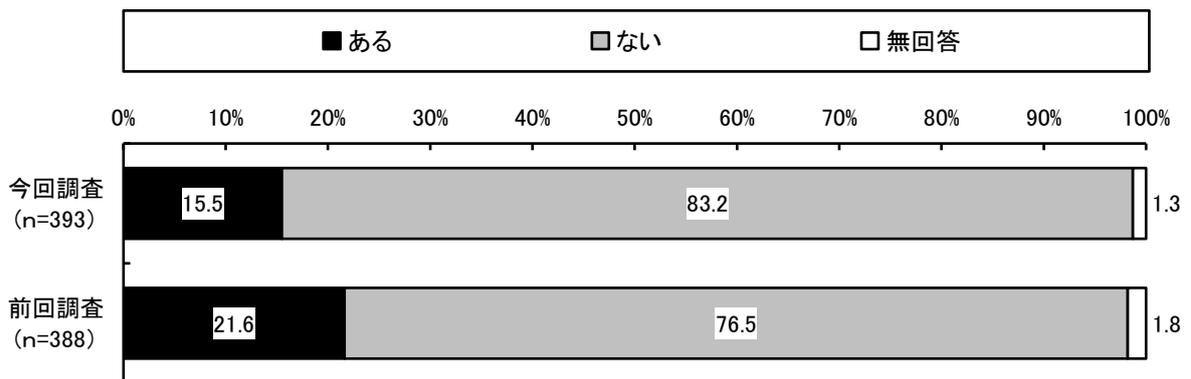
問36で「1. 利用している」を選んだ方にうかがいます。

問36-1① 放課後児童クラブ（旧・留守家庭子ども会）の利用日数はどれくらいですか。
（枠内に数字を記入）

図表91 放課後児童クラブの利用日数（週）



図表92 放課後児童クラブの土曜日の利用状況



放課後児童クラブの利用日数は、週当たり「5日」の割合が50.4%で最も高く、次いで「4日」が15.5%、「3日」が11.7%となっている。

前回調査と比較すると、「2日」の割合は6.8ポイント増加し、「6日」の割合は5.5ポイント減少し、「5日」の割合は10.2ポイント減少している。

また、放課後児童クラブの利用者のうち、土曜日の利用者の割合は15.5%となっている。前回調査と比較すると、6.1ポイント減少している。

放課後児童クラブの利用日数について子どもの学年別にみると、小学校4～6年生では「1日」の割合が小学校1～3年生に比べて9.4ポイント高くなっている。

図表93 子どもの学年別 放課後児童クラブの利用日数（週・土曜日）

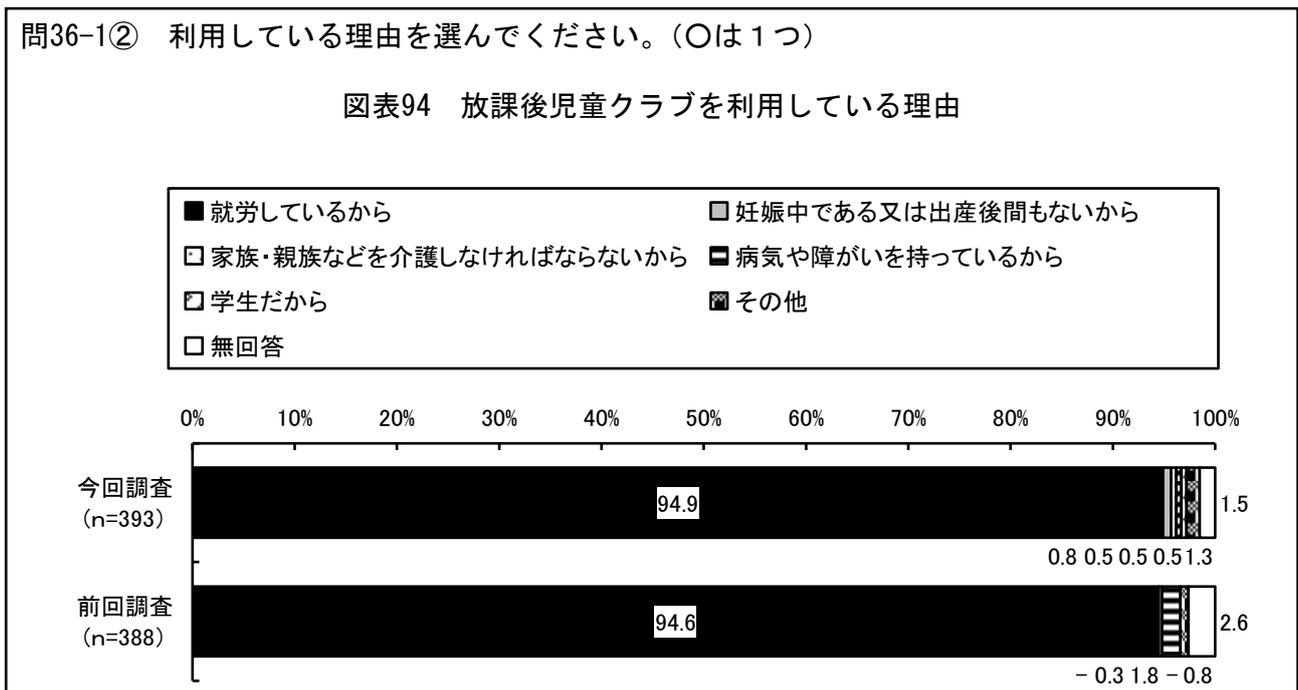
（単位：％）

	標本数（人）	利用日数（週）							土曜日の利用状況			
		1日	2日	3日	4日	5日	6日	無回答	ある	ない	無回答	
全体	393	5.6	9.9	11.7	15.5	50.4	6.1	0.8	15.5	83.2	1.3	
子どもの学年別	小学校1～3年生	332	4.2	9.6	12.0	16.6	50.3	6.3	0.9	15.7	83.1	1.2
	小学校4～6年生	59	13.6	10.2	10.2	10.2	50.8	5.1	-	15.3	83.1	1.7
	無回答	2	-	50.0	-	-	50.0	-	-	-	100.0	-

3. 放課後児童クラブを利用している理由

問36-1② 利用している理由を選んでください。（○は1つ）

図表94 放課後児童クラブを利用している理由

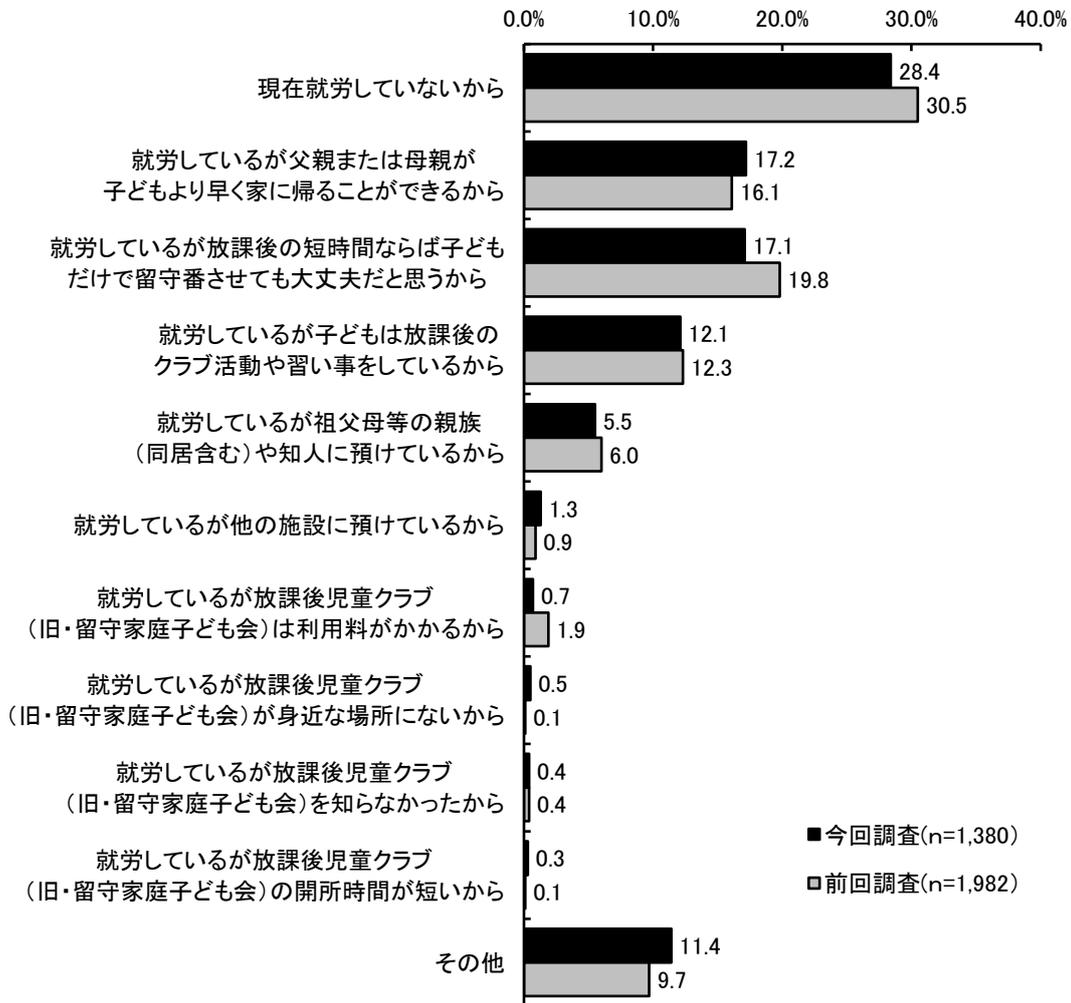


放課後児童クラブを利用している理由としては、主たる保護者が「就労しているから」の割合が9割半ばと大半を占めている。

4. 放課後児童クラブを利用していない理由

問36で「2. 利用していない」を選んだ方にうかがいます。
 問36-2 利用していない理由を選んでください。(○は1つ)

図表95 放課後児童クラブを利用していない理由



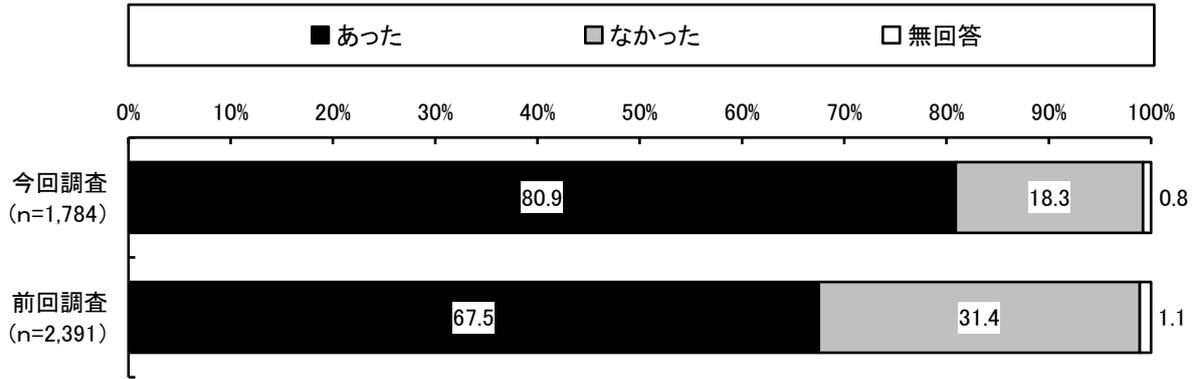
放課後児童クラブを利用していない理由としては、「現在就労していないから」の割合が28.4%で最も高く、次いで「就労しているが父親または母親が子どもより早く家に帰ることができるから」が17.2%、「就労しているが放課後の短時間ならば子どもだけで留守番させても大丈夫だと思うから」が17.1%、「就労しているが子どもは放課後のクラブ活動や習い事をしているから」が12.1%、「その他」が11.4%となっている。

第7章 病気の時の対応について

1. 子どもが病気で学校を休んだ経験の有無

問37 この1年間に、あて名のお子さんが病気で学校を休まなければならなかったことはありますか。(○は1つ)

図表96 子どもが病気で学校を休んだ経験の有無



子どもが病気で学校を休んだ経験の有無については、「あった」の割合が80.9%となっている。前回調査と比較すると、「あった」の割合は13.4ポイント増加している。

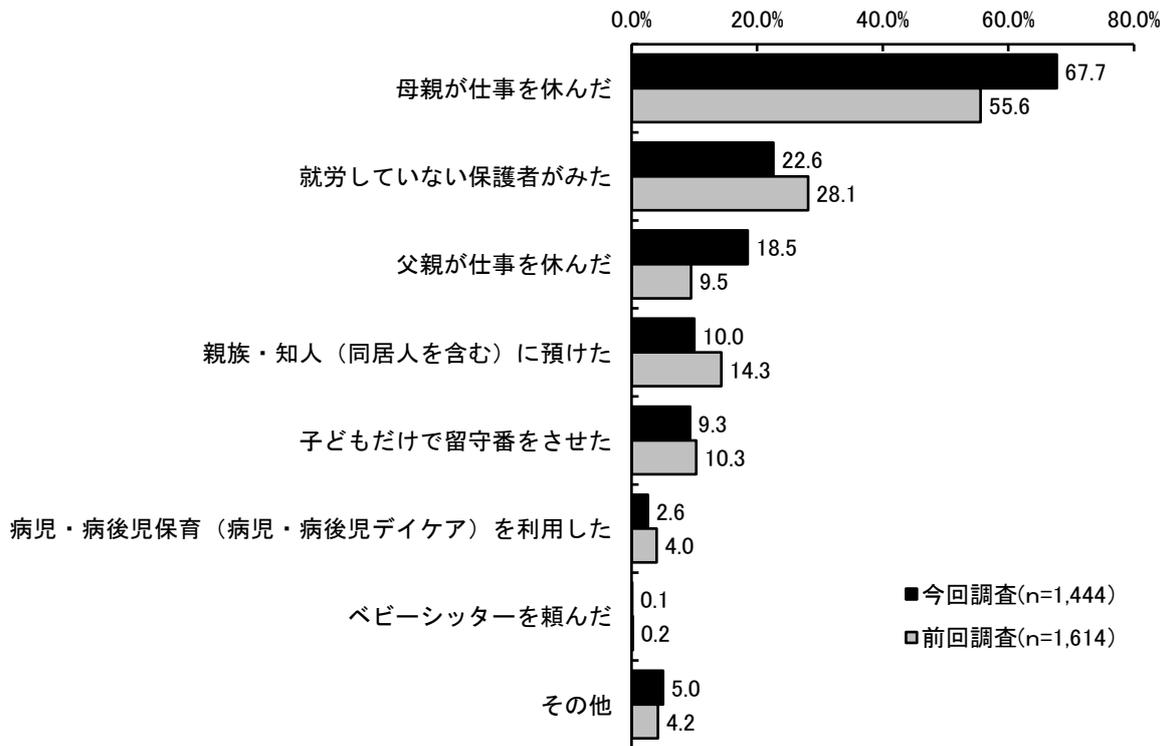
2. 病気で学校を休んだ場合の保護者の対処

問37で「1. あった」を選んだ方にうかがいます。

問37-1 この1年間の対処はどのようにされましたか。(あてはまるものすべてに○。枠内にそれぞれの日数を記入。半日程度についても1日としてカウント。)

※「病児・病後児保育」とは、お子さんが病気の際、保護者の仕事の都合などで、自宅で看病できない場合、病院等の病児デイケアルームで預かる制度。

図表97 病気で学校を休んだ場合の保護者の対処



子どもが病気で学校を休んだ場合の保護者の対処については、「母親が仕事を休んだ」の割合が67.7%で最も高く、次いで「就労していない保護者がみた」が22.6%、「父親が仕事を休んだ」が18.5%、「親族・知人（同居人を含む）に預けた」が10.0%となっている。

前回調査と比較すると、「母親が仕事を休んだ」の割合は12.1ポイント増加し、「父親が仕事を休んだ」の割合は9.0ポイント増加し、「就労していない保護者がみた」の割合は5.5ポイント減少している。

子どもの学年別にみると、小学校4～6年生では「子どもだけで留守番をさせた」の割合が小学校1～3年生に比べて9.9ポイント高くなっている。

世帯分類別にみると、ひとり親では「母親が仕事を休んだ」の割合が他の就労状況に比べて高くなっている。

子どもが病気で学校を休んだ場合の保護者の対処方法別の日数は、＜母親が仕事を休んだ＞では「6～10日」、＜父親が仕事を休んだ＞では「1日」、＜親族・知人（同居者を含む）に子どもをみてもらった＞では「1日」、＜子どもだけで留守番をさせた＞では「1日」、＜就労していない保護者がみた＞では「6～10日」の割合がそれぞれ最も高くなっている。

図表98 子どもの学年別、世帯分類別 病気で学校を休んだ場合の保護者の対処

(単位:%)

		標本数(人)	母親が仕事を休んだ	父親が仕事を休んだ	親族・知人(同居人を含む)に預けた	ベビーシッターを頼んだ	子どもだけで留守番をさせた	就労していない保護者がみた	病児・病後児保育(病児・病後児デイケア)を利用した	その他	無回答
全体		1,444	67.7	18.5	10.0	0.1	9.3	22.6	2.6	5.0	1.2
子どもの学年別	小学校1~3年生	744	69.4	20.0	10.6	0.1	4.7	24.3	3.9	5.5	0.9
	小学校4~6年生	686	66.2	16.8	9.2	0.1	14.6	20.6	1.3	4.5	1.3
	無回答	14	50.0	21.4	21.4	-	-	28.6	-	-	7.1
全体		1,444	67.7	18.5	10.0	0.1	9.3	22.6	2.6	5.0	1.2
世帯分類別	三世帯	35	51.4	14.3	28.6	-	5.7	31.4	2.9	-	5.7
	核家族	1,227	67.5	20.0	7.5	0.2	8.8	23.9	2.2	5.2	1.1
	ひとり親	105	81.0	4.8	21.9	-	18.1	4.8	8.6	4.8	-
	ひとり親三世帯	14	64.3	7.1	35.7	-	14.3	14.3	-	-	-
	その他	48	62.5	18.8	29.2	-	8.3	20.8	2.1	6.3	-
	無回答	15	46.7	13.3	6.7	-	-	33.3	-	-	13.3

図表99 病気で学校を休んだ場合の保護者の対処方法別日数

(単位:%)

	標本数(人)	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日以上	無回答	平均日数(年間)
母親が仕事を休んだ	977	15.8	16.6	16.3	6.2	16.5	17.1	5.6	5.9	4.8			4.8
父親が仕事を休んだ	267	33.3	20.2	17.2	3.7	11.6	5.6	2.6	5.6	3.0			3.0
親族・知人(同居人を含む)に預けた	145	27.6	22.1	20.7	1.4	9.0	9.7	3.4	6.2	3.5			3.5
ベビーシッターを頼んだ	2	50.0	-	-	-	50.0	-	-	-	3.0			3.0
子どもだけで留守番をさせた	135	43.0	27.4	11.9	3.0	4.4	3.0	0.7	6.7	2.4			2.4
就労していない保護者がみた	326	7.1	12.6	12.6	3.7	12.9	25.2	9.8	16.3	6.7			6.7
病児・病後児保育(病児・病後児デイケア)を利用した	38	31.6	23.7	10.5	-	13.2	10.5	2.6	7.9	3.3			3.3
その他	72	20.8	18.1	8.3	4.2	11.1	15.3	1.4	20.8	4.0			4.0

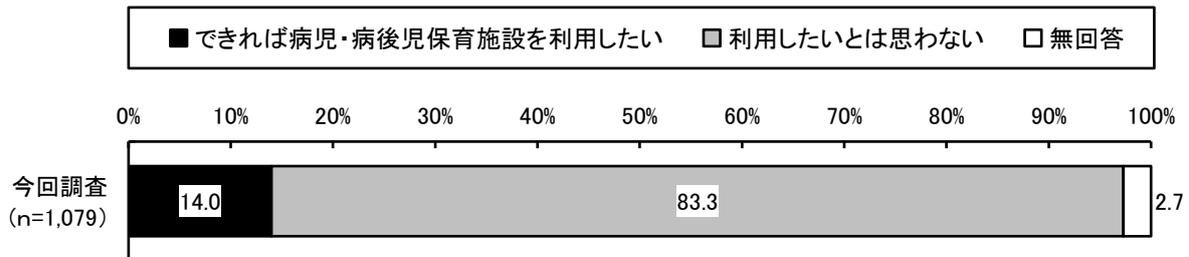
3. 病児・病後児のための保育施設の利用意向

問37-1で「1」～「5」のいずれかに回答した方にかがいます。

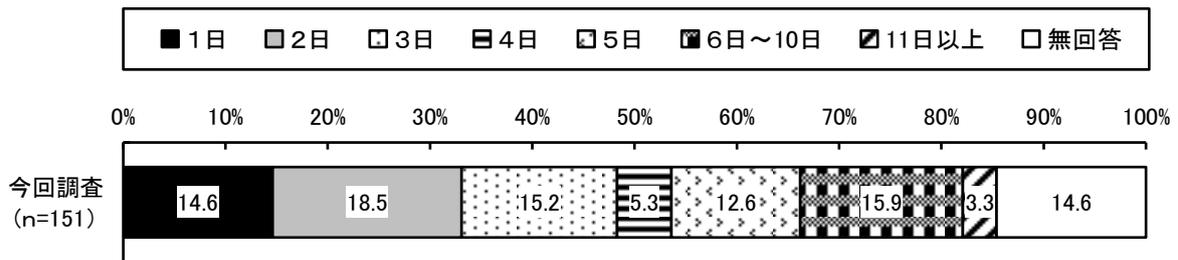
問37-2 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設を利用したい」と思われましたか。
 (○は1つ。枠内に日数を記入)

※病児・病後児のための保育施設の利用には、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

図表100 病児・病後児のための保育施設の利用意向



図表101 病児・病後児のための保育施設の希望利用日数



病児・病後児のための保育施設の利用意向については、「できれば病児・病後児保育施設を利用したい」の割合は14.0%となっている。

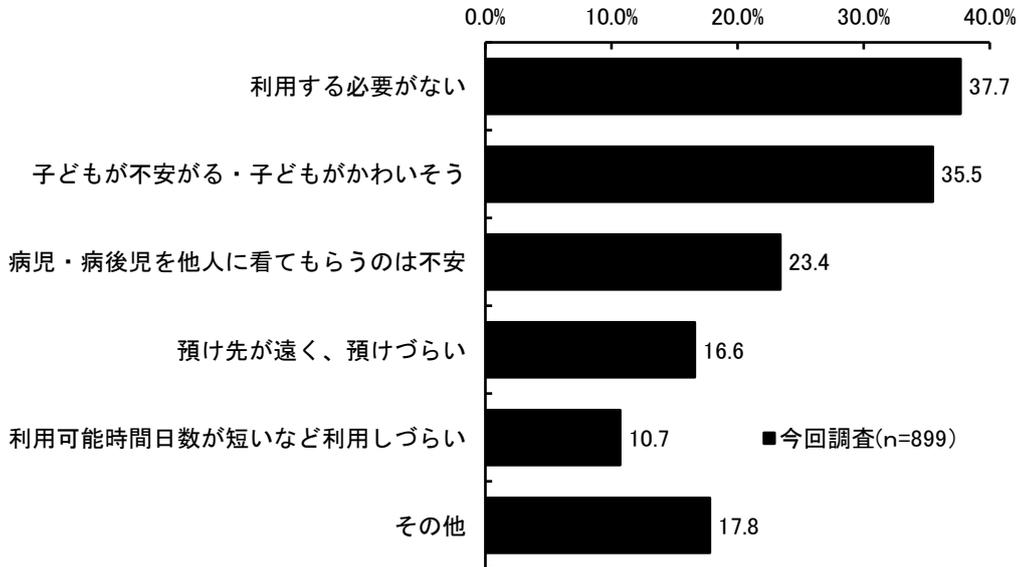
病児・病後児デイケアルーム等の希望利用日数は、「2日」の割合が18.5%で最も高く、次いで「6日～10日」が15.9%、「3日」が15.2%、「1日」が14.6%、「5日」が12.6%となっている。

4. 病児・病後児のための保育施設を利用したいと思わない理由

問37-2で「2. 利用したいとは思わない」に○をつけた方にうかがいます。

問37-3 利用したいと思わない理由についてお答えください。(あてはまるものすべてに○)

図表102 病児・病後児のための保育施設を利用したいと思わない理由



病児・病後児のための保育施設を利用したいと思わない理由については、「利用する必要がない」の割合が37.7%で最も高く、次いで「子どもが不安がる・子どもがかawaiiそう」が35.5%、「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」が23.4%、「預け先が遠く、預けづらい」が16.6%、「利用可能時間日数が短いなど利用しづらい」が10.7%となっている。

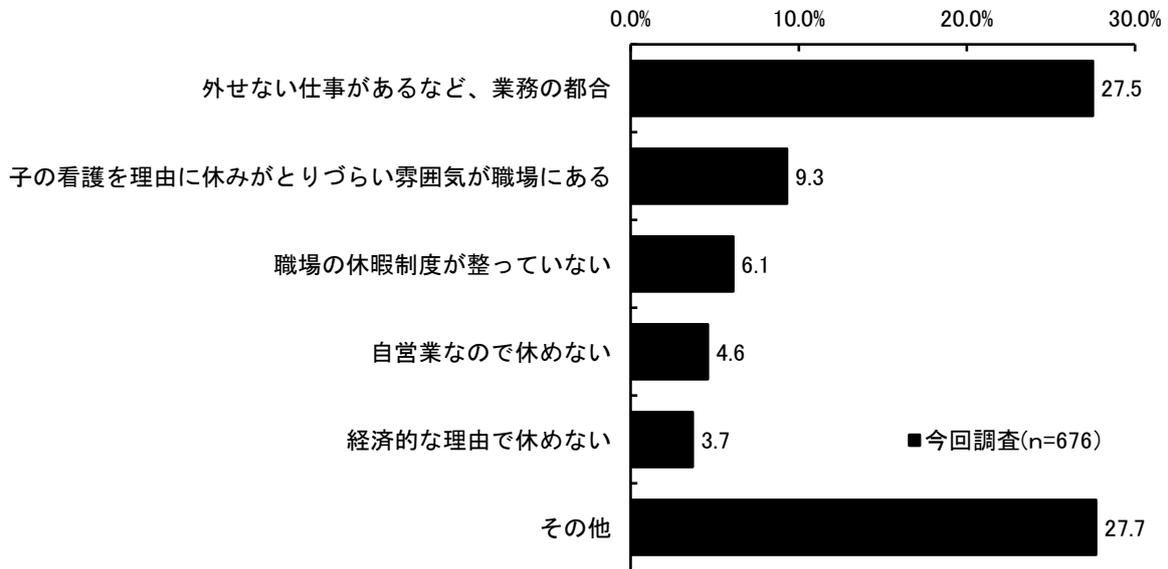
Ⅲ 小学生の保護者調査結果

5. 「仕事を休む」以外の対応になった理由

問37-1で「3」～「8」のいずれかに回答した方にうかがいます。

問37-4 「仕事を休む」以外の対応を行った理由についてお答えください。
(あてはまるものすべてに○)

図表103 「仕事を休む」以外の対応になった理由



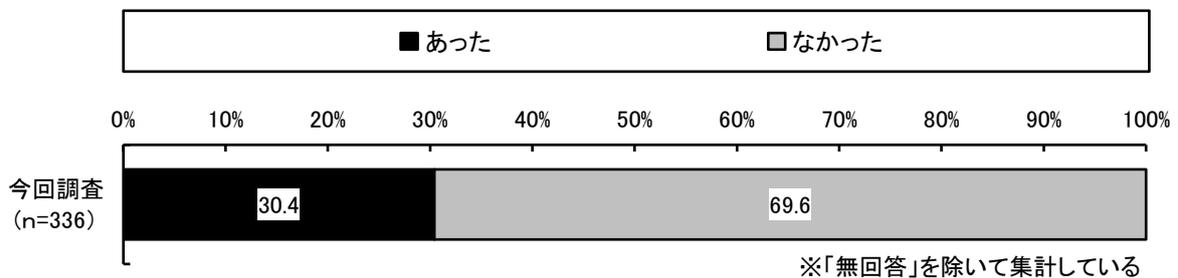
仕事を休む以外の対応になった理由としては、「その他」の割合が27.7%で最も高くなっており、「その他」の内容としては「現在、就労していないから」や「在宅勤務しているから」が多くなっている。また、「外せない仕事があるなど、業務の都合」が27.5%となっている。

6. 病児・病後児保育の利用を断られた経験

病児・病後児保育を利用した（利用しようとした）方にうかがいます。

問37-5 利用申し込みをした際に、空きがないという理由で断られたことがありますか。
(○は1つ)

図表104 病児・病後児保育の利用を断られた経験



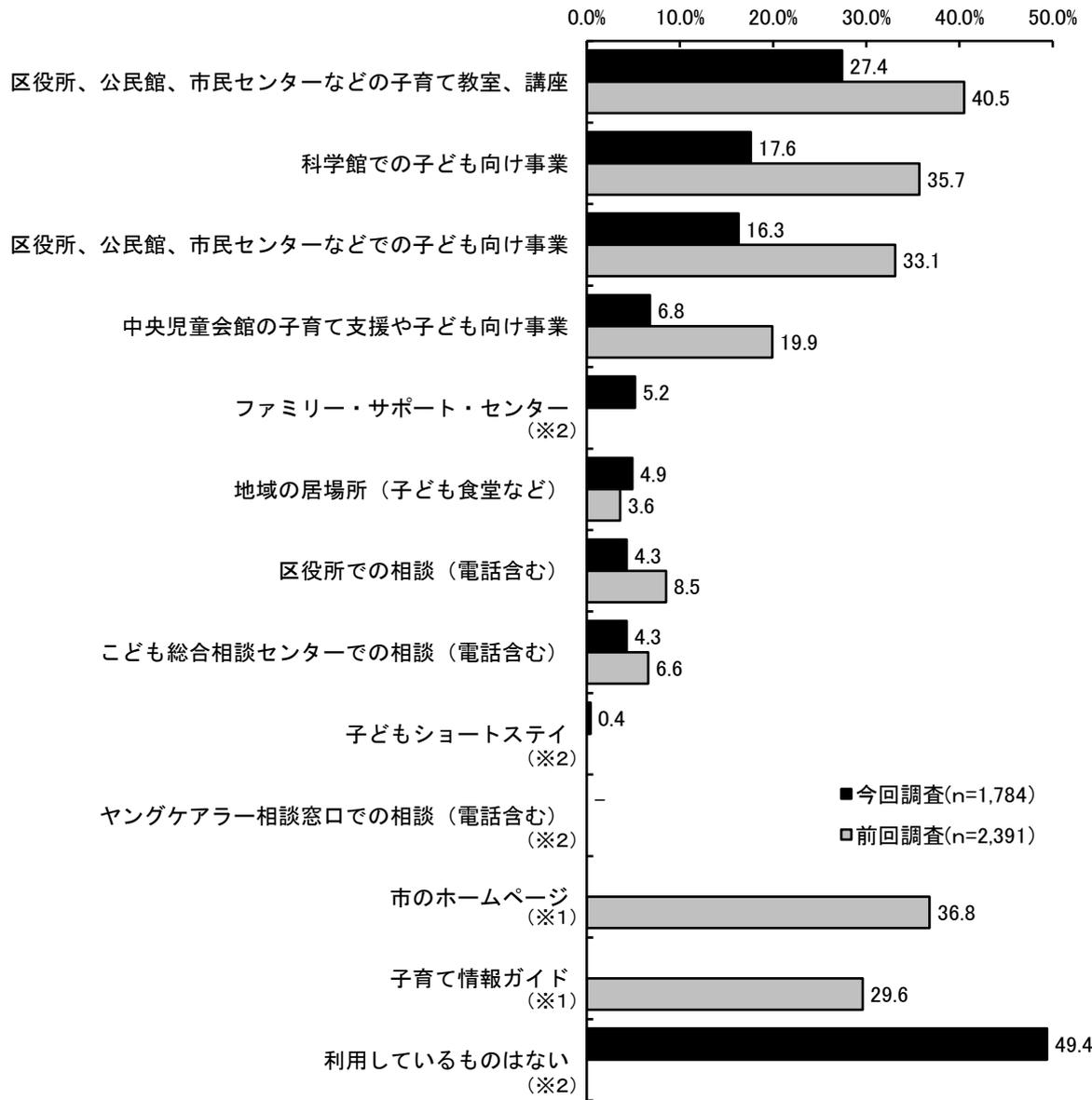
病児・病後児保育の利用を断られた経験については、「あった」の割合が30.4%、「なかった」が69.6%となっている。

第8章 子育て支援サービスの認知度・利用の意向について

1. 利用したことがあるサービス

問38 福岡市のサービスや市が支援しているサービスについて、利用したことはありますか。
(あてはまるものすべてに○)

図表105 利用したことがあるサービス



(※1) 前回調査のみにある選択肢
(※2) 今回調査のみにある選択肢

利用したことがあるサービスについては、「利用しているものはない」の割合が49.4%で最も高く、次いで「区役所、公民館、市民センターなどの子育て教室、講座」が27.4%、「科学館での子ども向け事業」が17.6%、「区役所、公民館、市民センターなどでの子ども向け事業」が16.3%となっている。

選択肢に相違があるが前回調査と比較すると、「区役所、公民館、市民センターなどの子育て教室、講座」の割合は13.1ポイント減少し、「中央児童会館の子育て支援や子ども向け事業」の割合は13.1ポイント減少し、「区役所、公民館、市民センターなどでの子ども向け事業」の割合は16.8ポイント減少し、「科学館での子ども向け事業」の割合は18.1ポイント減少している。

Ⅲ 小学生の保護者調査結果

世帯年収別にみると、200万円以上では世帯年収が高い世帯ほど「科学館での子ども向け事業」の割合が高くなっている。また、200～300万円未満及び300～400万円未満では「利用しているものはない」の割合が6割弱と他の世帯年収に比べて高くなっている。

図表106 世帯年収別 利用したことがあるサービス

(単位: %)

	標本数(人)	区役所、公民館、市民センターなどの子育て教室、講座	区役所での相談(電話含む)	子ども総合相談センターでの相談(電話含む)	ヤングケアラー相談窓口での相談(電話含む)	区役所、公民館、市民センターなどでの子ども向け事業	科学館での子ども向け事業	中央児童会館の子育て支援や子ども向け事業	子どもショートステイ
全体	1,784	27.4	4.3	4.3	-	16.3	17.6	6.8	0.4
世帯年収別	200万円未満	64	15.6	10.9	6.3	-	7.8	14.1	4.7
	200～300万円未満	104	14.4	3.8	1.9	-	11.5	7.7	1.9
	300～400万円未満	145	22.8	5.5	6.9	-	13.8	14.5	6.2
	400～500万円未満	203	33.5	2.5	3.9	-	14.3	15.8	8.9
	500～700万円未満	385	28.8	3.4	3.4	-	19.7	17.4	7.5
	700～1,000万円未満	478	28.7	4.8	3.8	-	18.0	18.2	7.1
	1,000万円以上	321	29.3	4.0	5.3	-	15.9	23.1	6.9
無回答	84	23.8	3.6	6.0	-	14.3	19.0	6.0	

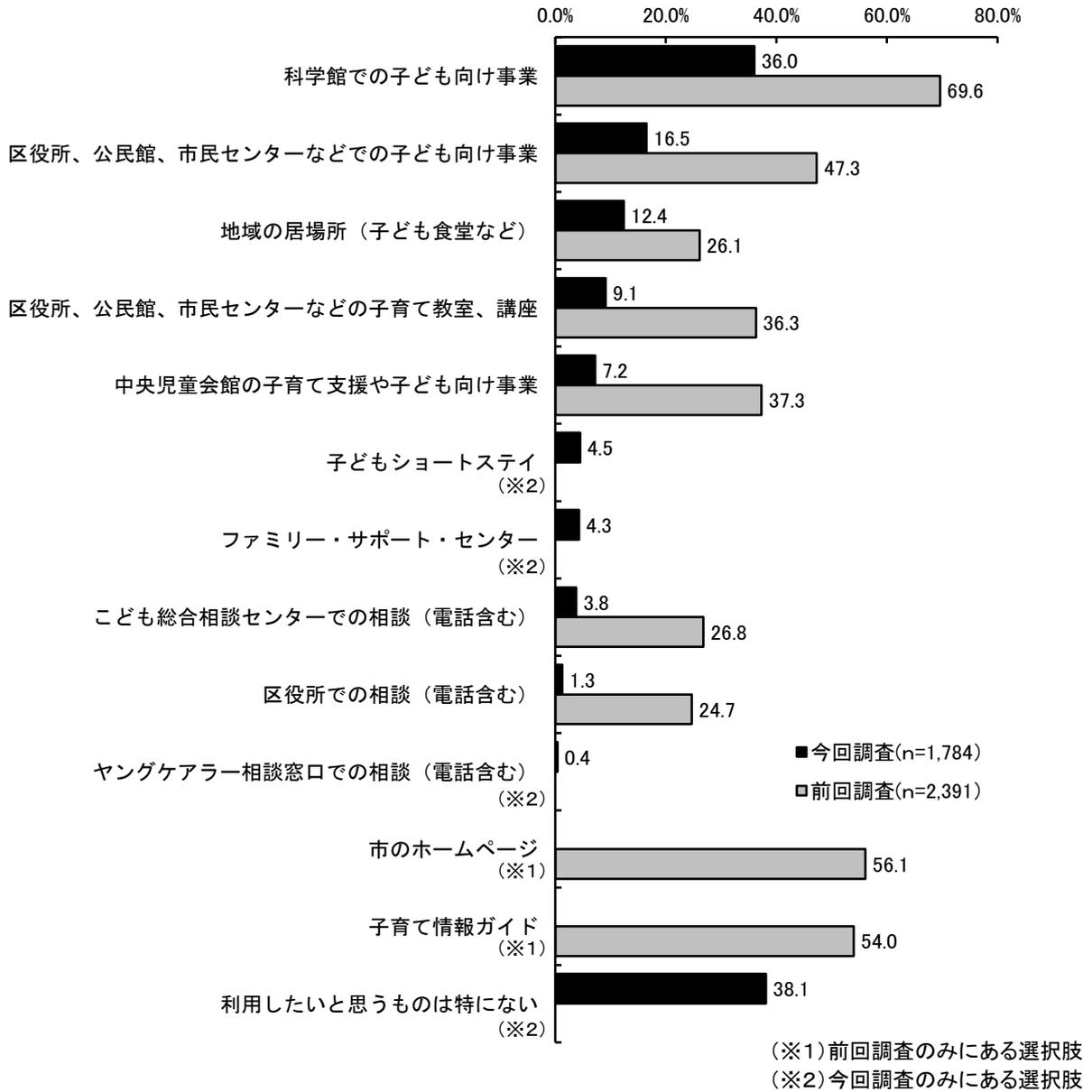
(単位: %)

	標本数(人)	ファミリー・サポート・センター	地域の居場所(子ども食堂など)	利用しているものはない	無回答
全体	1,784	5.2	4.9	49.4	4.6
世帯年収別	200万円未満	64	3.1	4.7	50.0
	200～300万円未満	104	2.9	7.7	58.7
	300～400万円未満	145	3.4	7.6	57.9
	400～500万円未満	203	3.0	5.4	49.3
	500～700万円未満	385	6.0	4.4	48.1
	700～1,000万円未満	478	5.9	4.6	49.6
	1,000万円以上	321	7.5	3.1	47.0
無回答	84	2.4	6.0	36.9	

2. 福岡市のサービスや市が支援しているサービスで今後利用したいもの

問38-1 福岡市のサービスや市が支援しているサービスについて、利用していないサービスのうち今後利用したいサービスはありますか。(あてはまるものすべてに○)

図表107 福岡市のサービスや市が支援しているサービスで今後利用したいもの



※前回調査では現在利用している、していないに関わらず今後利用したいサービスについて調査
今回調査では利用していないサービスのうち今後利用したいサービスについて調査

今後利用したいサービスについては、「利用したいと思うものは特にない」の割合が38.1%で最も高く、次いで「科学館での子ども向け事業」が36.0%、「区役所、公民館、市民センターなどでの子ども向け事業」が16.5%、「地域の居場所（子ども食堂など）」が12.4%となっている。

設問文に相違があるため、前回調査から各選択肢の割合が下がっているものの、共通する選択肢に注目すると、前回調査、今回調査ともに「科学館での子ども向け事業」の割合が最も高く、次いで「区役所、公民館、市民センターなどでの子ども向け事業」となっている。3番目に高い選択肢については、前回調査では「中央児童会館の子育て支援や子ども向け事業」、今回調査では「地域の居場所（子ども食堂など）」となっている。

Ⅲ 小学生の保護者調査結果

子どもの学年別にみると、小学校1～3年生では「科学館での子ども向け事業」の割合が小学校4～6年生に比べて6.6ポイント高くなっている。また、小学校4～6年生では「利用したいと思うものは特にない」の割合が小学校1～3年生に比べて6.3ポイント高くなっている。

世帯分類別にみると、ひとり親では「地域の居場所（子ども食堂など）」の割合が他の世帯に比べて高くなっている。

世帯年収別にみると、概ね世帯年収が低い世帯ほど「地域の居場所（子ども食堂など）」の割合が高くなっている。

図表108 子どもの学年別、世帯分類別、世帯年収別
福岡市のサービスや市が支援しているサービスで今後利用したいもの（1/2）

(単位:%)

		標本数(人)	区役所、公民館、市民センターなどの子育て教室	区役所での相談(電話含む)	子ども総合相談センターでの相談(電話含む)	ヤングケアラー相談窓口での相談(電話含む)	区役所、公民館、市民センターなどの子ども向け事業	科学館での子ども向け事業	中央児童会館の子育て支援や子ども向け事業	子どもショートステイ
全体		1,784	9.1	1.3	3.8	0.4	16.5	36.0	7.2	4.5
子どもの学年別	小学校1～3年生	889	10.2	1.2	3.7	0.4	17.1	39.4	9.1	5.1
	小学校4～6年生	878	8.0	1.5	4.0	0.3	15.9	32.8	5.4	3.9
	無回答	17	11.8	-	-	-	17.6	23.5	5.9	5.9
全体		1,784	9.1	1.3	3.8	0.4	16.5	36.0	7.2	4.5
世帯分類別	三世帯	40	15.0	-	2.5	-	10.0	27.5	2.5	10.0
	核家族	1,519	9.4	1.5	3.8	0.4	17.4	37.5	7.8	4.1
	ひとり親	122	5.7	0.8	4.1	0.8	10.7	26.2	4.1	8.2
	ひとり親三世帯	18	-	-	5.6	-	22.2	44.4	5.6	5.6
	その他	66	9.1	-	4.5	-	12.1	28.8	6.1	1.5
無回答		19	5.3	-	5.3	-	5.3	10.5	-	5.3
全体		1,784	9.1	1.3	3.8	0.4	16.5	36.0	7.2	4.5
世帯年収別	200万円未満	64	10.9	3.1	6.3	1.6	10.9	25.0	6.3	10.9
	200～300万円未満	104	1.0	1.0	5.8	-	8.7	33.7	4.8	7.7
	300～400万円未満	145	9.7	2.1	4.1	-	16.6	31.0	6.9	4.8
	400～500万円未満	203	7.9	1.0	3.4	0.5	12.3	32.0	4.4	1.5
	500～700万円未満	385	10.6	1.3	4.4	0.8	20.0	37.1	8.8	3.6
	700～1,000万円未満	478	10.7	1.3	3.1	0.4	15.5	40.8	7.3	5.0
	1,000万円以上	321	7.5	1.2	3.1	-	20.6	37.4	8.4	4.4
無回答		84	10.7	1.2	3.6	-	15.5	27.4	6.0	3.6

図表109 子どもの学年別、世帯分類別、世帯年収別
福岡市のサービスや市が支援しているサービスで今後利用したいもの（2/2）

(単位:%)

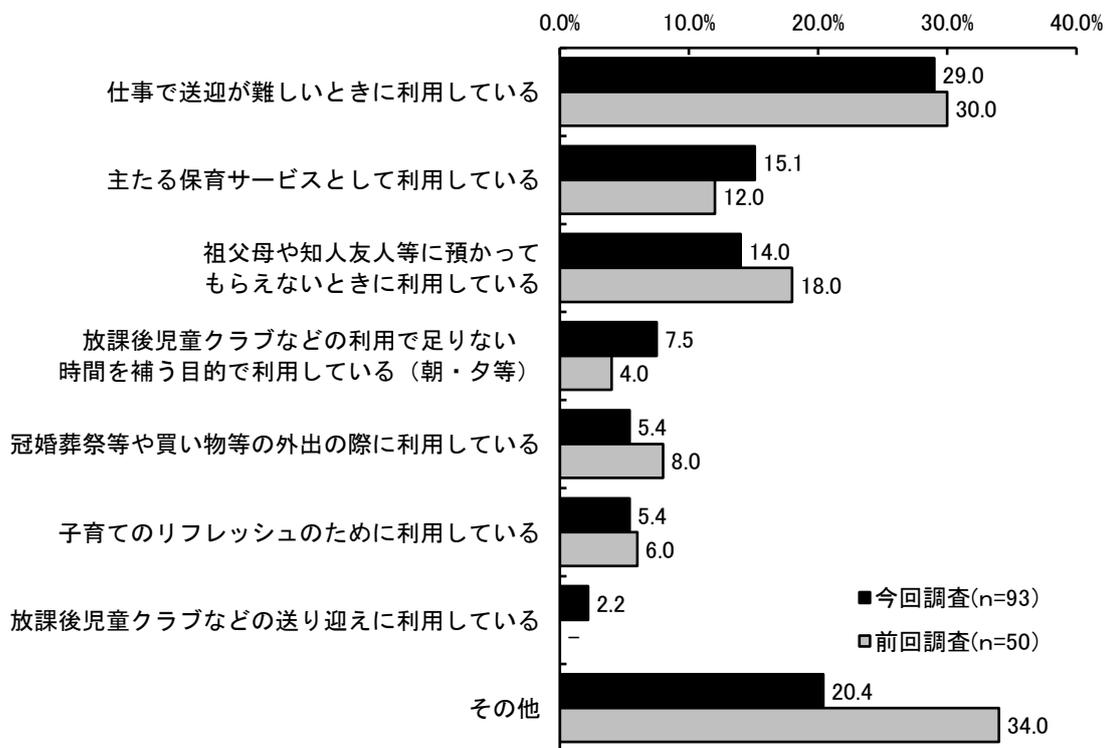
		標本数 (人)	ファミリ- センター・ サポート・	地域の居場所 (子ども食 堂など)	利用し ない と思 う もの は	無 回 答
全 体		1,784	4.3	12.4	38.1	7.1
子 ど も の 学 年 別	小学校1～3年生	889	5.2	13.0	35.0	6.1
	小学校4～6年生	878	3.4	11.7	41.3	7.6
	無回答	17	-	17.6	29.4	35.3
全 体		1,784	4.3	12.4	38.1	7.1
世 帯 分 類 別	三世帯	40	5.0	10.0	50.0	-
	核家族	1,519	4.1	11.6	37.7	6.8
	ひとり親	122	6.6	24.6	41.8	8.2
	ひとり親三世帯	18	5.6	22.2	22.2	5.6
	その他	66	4.5	9.1	39.4	7.6
	無回答	19	-	10.5	31.6	36.8
全 体		1,784	4.3	12.4	38.1	7.1
世 帯 年 収 別	200万円未満	64	7.8	23.4	32.8	12.5
	200～300万円未満	104	4.8	21.2	37.5	7.7
	300～400万円未満	145	4.8	15.2	40.0	4.1
	400～500万円未満	203	2.0	16.3	42.9	6.4
	500～700万円未満	385	3.6	12.5	37.9	5.5
	700～1,000万円未満	478	4.4	11.1	38.9	5.0
	1,000万円以上	321	5.9	5.9	36.8	7.2
	無回答	84	1.2	11.9	28.6	28.6

第9章 ファミリー・サポート・センターの利用について

1. ファミリー・サポート・センターの利用目的

問38で「9. ファミリー・サポート・センター」を選んだ方にうかがいます。
 問38-2 どのような目的で利用していますか。(あてはまるものすべてに○)

図表110 ファミリー・サポート・センターの利用目的

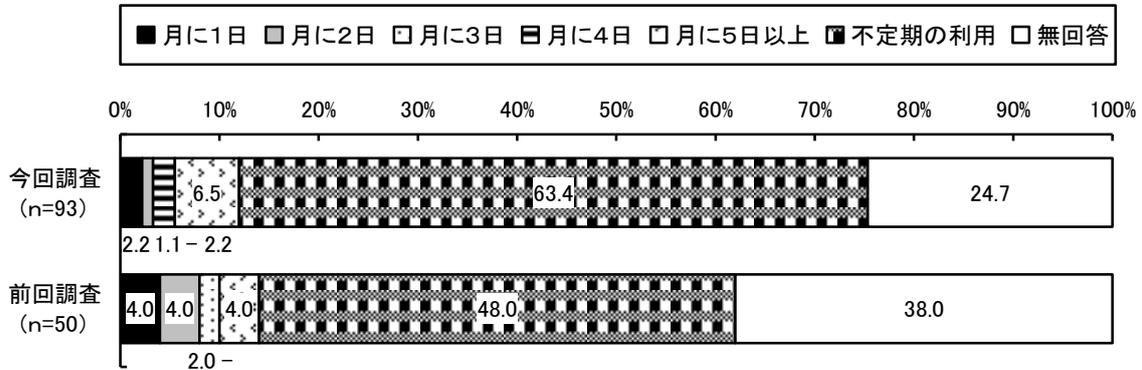


ファミリー・サポート・センターの利用目的としては、「仕事で送迎が難しいときに利用している」の割合が29.0%で最も高く、次いで「主たる保育サービスとして利用している」が15.1%、「祖父母や知人友人等に預かってもらえないときに利用している」が14.0%となっている。

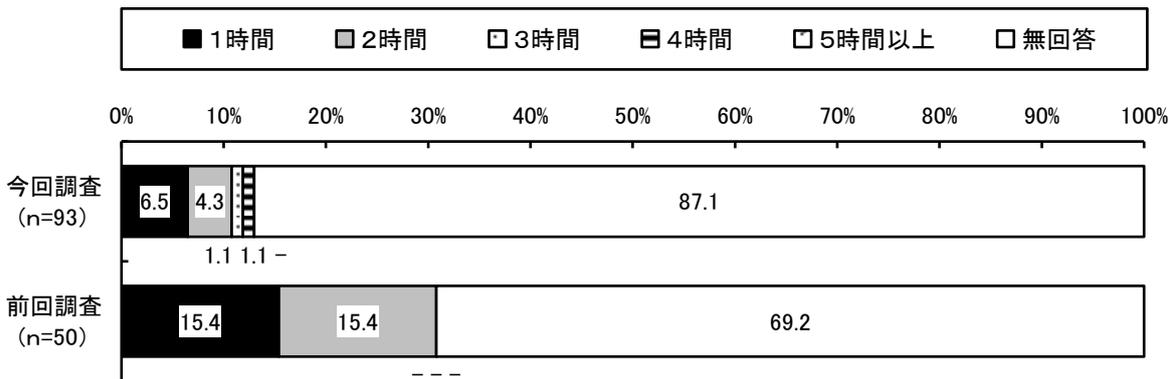
2. ファミリー・サポート・センターの利用頻度

問38-3 どれくらいの頻度で利用していますか。
 (枠内に数字を記入、不定期の場合は、不定期に○)
 ※1日に2回以上利用する場合も1日とカウントしてください。

図表111 ファミリー・サポート・センターの利用頻度



図表112 ファミリー・サポート・センターの1回当たり利用時間



ファミリー・サポート・センターの利用頻度については、「不定期の利用」の割合が63.4%で最も高く、次いで「月に5日以上」が6.5%、「月に1日」、「月に4日」が2.2%、「月に2日」が1.1%となっている。

前回調査と比較すると、「不定期の利用」の割合は15.4ポイント増加している。

また、1回当たり利用時間は、「1時間」の割合が6.5%で最も高く、次いで「2時間」が4.3%、「3時間」及び「4時間」が1.1%となっている。

前回調査と比較すると1回当たり利用時間は、「1時間」の割合は8.9ポイント減少し、「2時間」の割合は11.1ポイント減少している。

Ⅲ 小学生の保護者調査結果

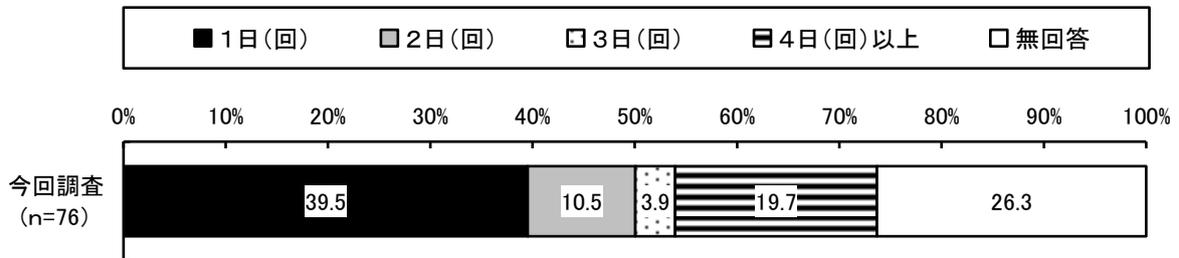
3. ファミリー・サポート・センターを今後利用したい月当たり回数

問38-1で「9. ファミリー・サポート・センター」を選んだ方にうかがいます。

問38-4 今後、どの程度利用したいと思いますか。(枠内に数字を記入)

※1日に2回以上利用する場合も1日とカウントしてください。

図表113 ファミリー・サポート・センターを今後利用したい月当たり回数



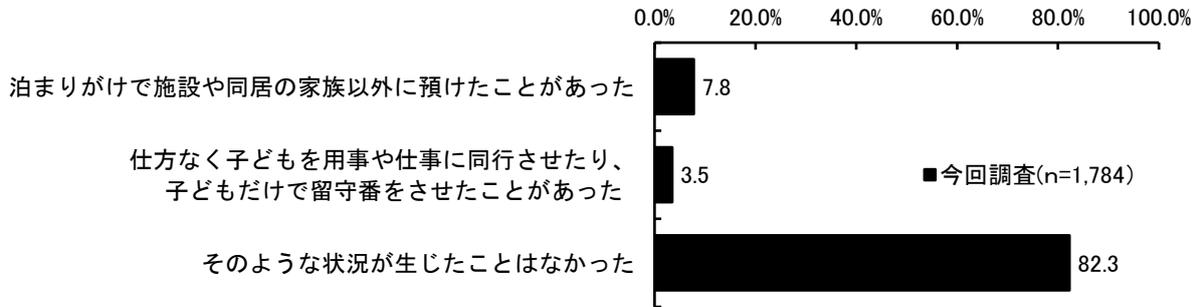
ファミリー・サポート・センターを今後利用したい月当たり回数は、「1日(回)」の割合が39.5%で最も高く、次いで「4日(回)以上」が19.7%、「2日(回)」が10.5%となっている。

第10章 子どもショートステイの利用について

1. 家族以外に泊まりがけで預けたり、用事や仕事に同行させた経験

問39 この1年間に、保護者の用事・仕事・病気などにより、あて名のお子さんを、施設や同居の家族以外に泊まりがけで預けたり、仕方なく用事や仕事に同行させたりしたことがありましたか。あてはまるものすべてに○をし、その宿泊数（1年間の合計）を枠内に記入してください。

図表114 家族以外に泊まりがけで預けたり、用事や仕事に同行させた経験



図表115 施設や同居の家族以外に泊まりがけで預けた日数、用事や仕事に同行させた日数

	標本数 (人)	(単位: %)							
		1日	2 ~ 3日	4 ~ 5日	6 ~ 10日	11 ~ 30日	31 ~ 50日	51 日 以上	無 回 答
施設や同居の家族以外に泊まりがけで預けた日数	140	24.3	29.3	12.9	18.6	12.1	1.4	0.7	0.7
用事や仕事に同行させたり、子どもだけで留守番をさせた日数	62	16.1	27.4	16.1	6.5	4.8	1.6	-	27.4

施設や同居の家族以外に泊まりがけで預けたり用事や仕事に同行させた経験については、「そのような状況が生じたことはなかった」の割合が82.3%で最も高くなっている。

施設や同居の家族以外に泊まりがけで預けた泊数については、「2~3日」の割合が29.3%で最も高く、次いで「1日」が24.3%、「6~10日」が18.6%、「4~5日」が12.9%、「11~30日」が12.1%、となっている。

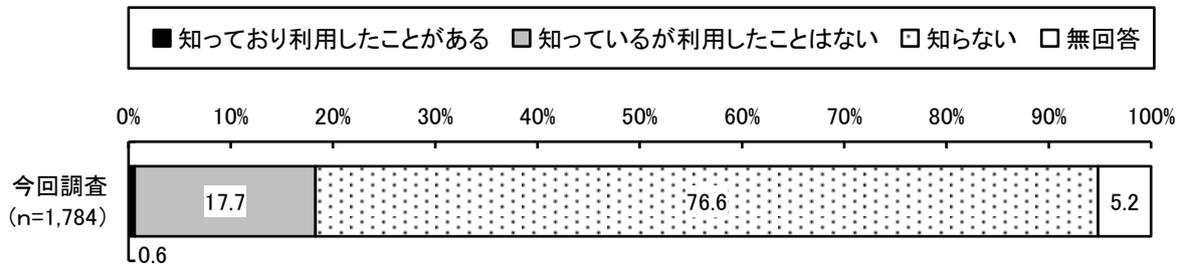
用事や仕事に同行させたり、子どもだけで留守番をさせた泊数については、「2~3日」の割合が27.4%で最も高く、次いで「1日」及び「4~5日」が16.1%となっている。

Ⅲ 小学生の保護者調査結果

2. 子どもショートステイの認知

問39-1 子どもの預け先として「子どもショートステイ」があることを知っていますか。
(○は1つ)

図表116 子どもショートステイの認知度と利用経験



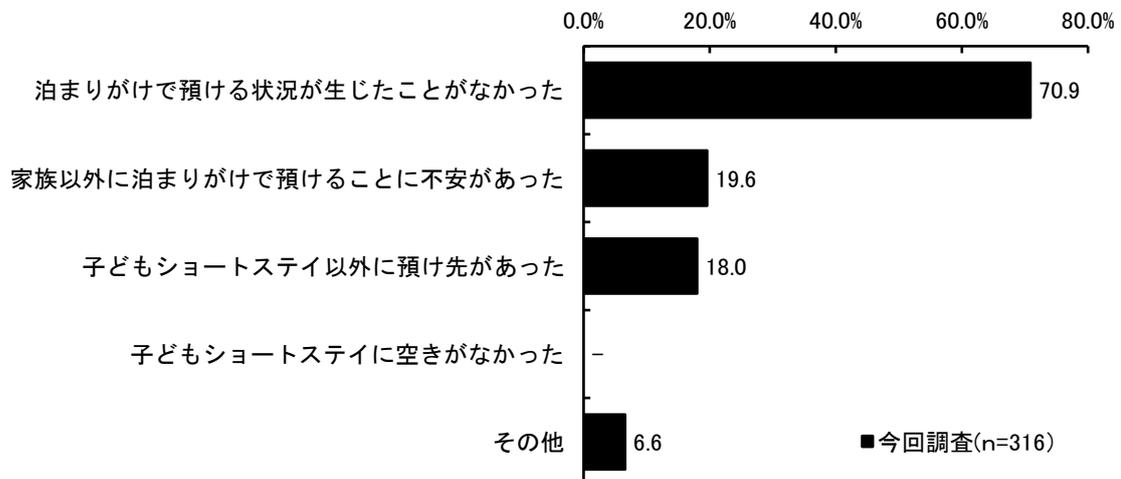
子どもショートステイの認知については、「知らない」の割合が76.6%で最も高く、「知っているが利用したことはない」が17.7%となっている。

3. 子どもショートステイを利用したことがない理由

問39-1で「2」に回答した方にうかがいます。

問39-2 子どもの預け先として子どもショートステイを利用したことがない理由は何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

図表117 子どもショートステイを利用したことがない理由



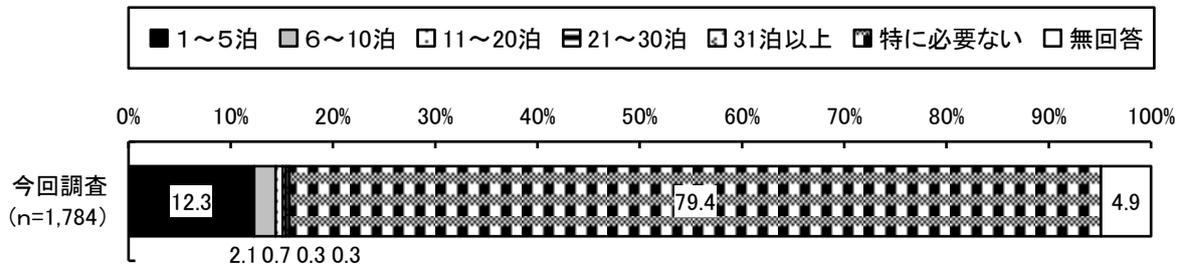
子どもショートステイを利用したことがない理由としては、「泊まりがけで預ける状況が生じたことがなかった」の割合が70.9%で最も高く、次いで「家族以外に泊まりがけで預けることに不安があった」が19.6%、「子どもショートステイ以外に預け先があった」が18.0%となっている。

4. 家族以外の施設等に年間何泊預けたいか

すべての方にかがいます。

問39-3 あて名のお子さんについて、保護者の育児疲れや育児不安により、泊まりがけで年間何泊くらい家族以外の施設等に預けたいと思いますか。(〇は1つ)

図表118 家族以外の施設等に年間何泊預けたいか



家族以外の施設等に年間預けたい泊数については、「特に必要ない」の割合が79.4%で最も高く、次いで「1～5泊」が12.3%となっている。

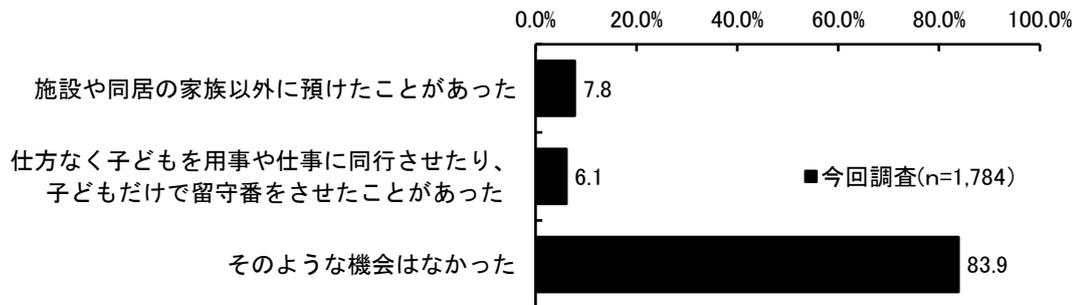
Ⅲ 小学生の保護者調査結果

5. 夜間に施設や同居の家族以外に預けたり、用事や仕事に同行させたことの有無

すべての方に向かっていきます。

問39-4 この1年間に、保護者の用事・仕事・病気などにより、夜間（19時～22時頃）にあて名のお子さんを、同居の家族以外の誰かに預けたり用事や仕事に同行させたりしたことがありますか。あてはまるものすべてに○をし、その日数（1年間の合計日数）を枠内に記入してください。

図表119 夜間に施設や同居の家族以外に預けたり、用事や仕事に同行させたことの有無



図表120 夜間に施設や同居の家族以外に預けた日数・夜間に用事や仕事に同行させた日数

(単位:%)

	標本数 (人)	1日	2 ～ 3日	4 ～ 5日	6 ～ 10日	11 ～ 30日	31 ～ 50日	51 日以上	無回答
夜間に施設や同居の家族以外に預けた日数	139	23.7	30.9	8.6	15.1	13.7	1.4	4.3	2.2
夜間に用事や仕事に同行させたり、子どもだけで留守番をさせた日数	108	14.8	28.7	14.8	20.4	11.1	3.7	4.6	1.9

夜間に家族以外に預けたり、用事や仕事に同行させたことがあるかについては、「そのような機会はなかった」の割合が83.9%で最も高くなっている。

施設や同居の家族以外に預けた日数については、「2～3日」の割合が30.9%で最も高く、次いで「1日」が23.7%、「6～10日」が15.1%、「11～30日」が13.7%となっている。

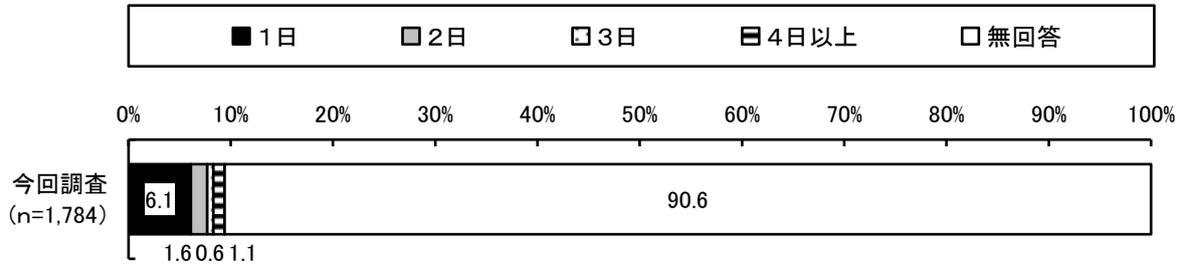
用事や仕事に同行させたり、子どもだけで留守番をさせた日数については、「2～3日」の割合が28.7%で最も高く、次いで「6～10日」が20.4%、「1日」及び「4～5日」が14.8%、「11～30日」が11.1%となっている。

6. 夜間に子どもを預かるサービスの利用希望日数（月）

すべての方にかがいます。

問39-5 夜間（19時～22時頃）に施設等でお子さんを預かる市のサービスがあれば利用したいと思いませんか。（希望がある場合のみ、枠内に数字を記入）

図表121 夜間に子どもを預かるサービスの利用希望日数（月）



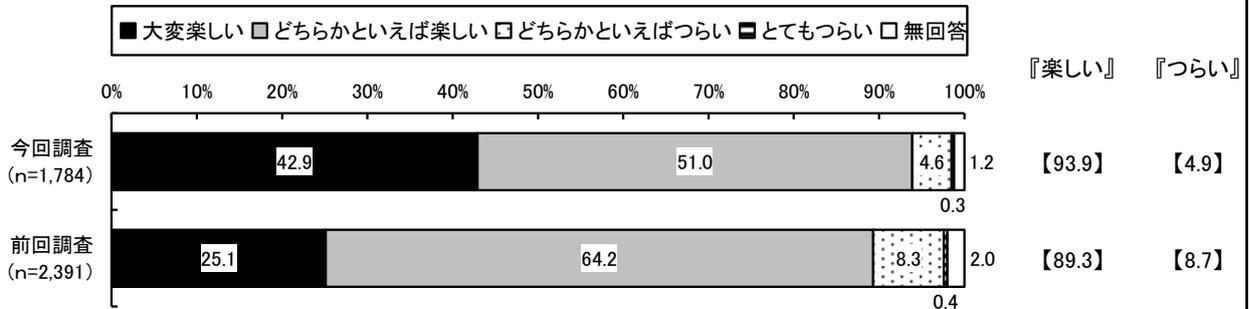
夜間に子どもを預かるサービスの月当たり利用希望日数は、「1日」が6.1%、「2日」が1.6%、「3日」が0.6%、「4日以上」が1.1%となっている。

第11章 子ども・子育て支援について

1. 子育てを楽しんでいる割合

問40 あなたは、あて名のお子さんの子育てが楽しいですか。(○は1つ)

図表122 子育てを楽しんでいる割合



子育てが楽しいと感じる割合については、『楽しい』（「大変楽しい」と「どちらかといえば楽しい」を合わせた割合）は93.9%となっている。

前回調査と比較すると、「大変楽しい」の割合は17.8ポイント増加している。

平日と休日いずれも子どもと過ごす時間が長くなるにつれて『楽しい』の割合が概ね高くなっている。

平日と休日いずれも子どもと過ごす時間の評価が『十分』の場合は『楽しい』の割合が高くなり、『不足している』場合は『つらい』の割合が概ね高くなる。

世帯年収別にみると、世帯年収が高い世帯ほど『楽しい』の割合が高くなっている。

子育てを主に行っている人別にみると、『楽しい』の割合は〔父母ともに〕で95.4%、〔主に母親〕で92.4%となっている。

図表123 子どもと過ごす時間別、子どもと過ごす時間の評価別 子育てを楽しんでいる割合

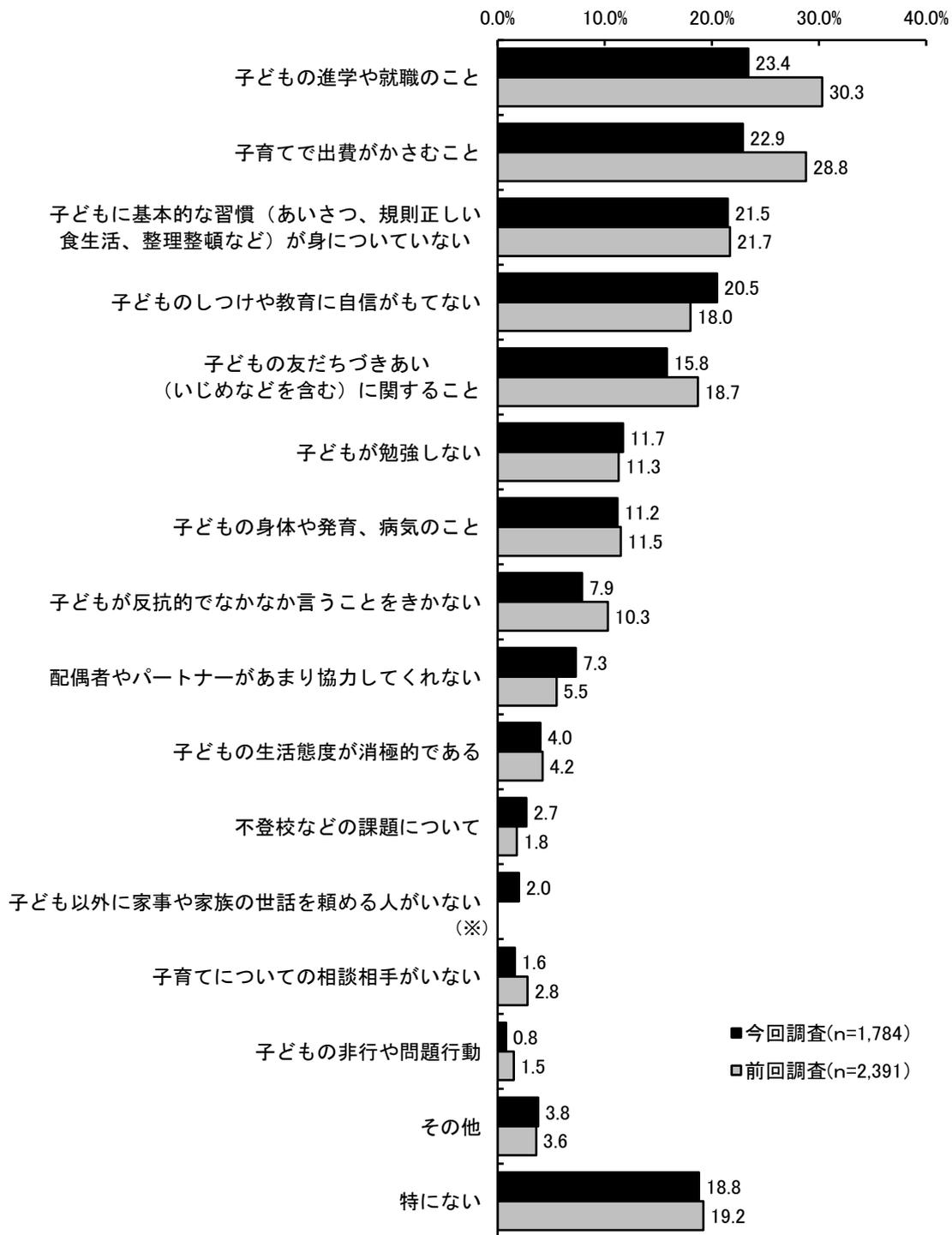
(単位:%)

		標本数(人)	大変楽しい	どちらかといえば楽しい	どちらかといえばつらい	とてもつらい	無回答	『楽しい』	『つらい』
全体		1,784	42.9	51.0	4.6	0.3	1.2	93.9	4.9
子どもと過ごす時間別(平日)	ほとんどない	47	29.8	53.2	17.0	-	-	83.0	17.0
	30分程度	159	37.7	56.0	3.1	1.3	1.9	93.7	4.4
	1～2時間程度	766	40.3	53.4	5.2	0.3	0.8	93.7	5.5
	3～4時間程度	512	46.9	48.0	3.9	0.4	0.8	94.9	4.3
	5～6時間程度	212	48.6	49.1	1.9	-	0.5	97.7	1.9
	7時間以上	69	52.2	40.6	4.3	-	2.9	92.8	4.3
	無回答	19	15.8	47.4	10.5	-	26.3	63.2	10.5
全体		1,784	42.9	51.0	4.6	0.3	1.2	93.9	4.9
子どもと過ごす時間別(休日)	ほとんどない	11	18.2	63.6	18.2	-	-	81.8	18.2
	30分程度	18	33.3	38.9	22.2	5.6	-	72.2	27.8
	1～2時間程度	219	32.4	60.7	3.7	0.5	2.7	93.1	4.2
	3～4時間程度	377	38.7	54.4	5.3	0.5	1.1	93.1	5.8
	5～6時間程度	473	40.2	53.7	5.3	0.2	0.6	93.9	5.5
	7時間以上	664	51.8	44.3	3.3	0.2	0.5	96.1	3.5
	無回答	22	27.3	45.5	4.5	-	22.7	72.8	4.5
全体		1,784	42.9	51.0	4.6	0.3	1.2	93.9	4.9
子どもと過ごす時間の評価別(平日)	『十分』	1,016	45.0	50.2	3.3	0.2	1.3	95.2	3.5
	『不足している』	756	40.3	52.4	6.2	0.5	0.5	92.7	6.7
	無回答	12	25.0	33.3	8.3	-	33.3	58.3	8.3
全体		1,784	42.9	51.0	4.6	0.3	1.2	93.9	4.9
子どもと過ごす時間の評価別(休日)	『十分』	1,379	45.3	50.1	3.5	0.3	0.9	95.4	3.8
	『不足している』	392	35.2	54.6	8.4	0.5	1.3	89.8	8.9
	無回答	13	23.1	38.5	7.7	-	30.8	61.6	7.7
全体		1,784	42.9	51.0	4.6	0.3	1.2	93.9	4.9
世帯年収別	200万円未満	64	35.9	53.1	7.8	1.6	1.6	89.0	9.4
	200～300万円未満	104	38.5	52.9	5.8	1.9	1.0	91.4	7.7
	300～400万円未満	145	37.9	53.8	7.6	0.7	-	91.7	8.3
	400～500万円未満	203	41.4	52.2	4.9	0.5	1.0	93.6	5.4
	500～700万円未満	385	44.2	49.6	5.2	0.3	0.8	93.8	5.5
	700～1,000万円未満	478	45.4	50.2	3.1	-	1.3	95.6	3.1
	1,000万円以上	321	43.3	52.3	4.0	-	0.3	95.6	4.0
	無回答	84	44.0	45.2	2.4	-	8.3	89.2	2.4
全体		1,784	42.9	51.0	4.6	0.3	1.2	93.9	4.9
子育てを主にしている人別	父母ともに	957	46.3	49.1	3.9	0.2	0.5	95.4	4.1
	主に母親	778	38.8	53.6	5.4	0.5	1.7	92.4	5.9
	主に父親	17	47.1	47.1	5.9	-	-	94.2	5.9
	主に祖父母	10	40.0	50.0	10.0	-	-	90.0	10.0
	その他	7	42.9	57.1	-	-	-	100.0	-
	無回答	15	33.3	40.0	6.7	-	20.0	73.3	6.7

2. 子育てに関して悩んでいること・気になること

問41 あなたが子育てに関して、悩んでいることや気になることはありますか。(○は3つまで)

図表124 子育てに関して悩んでいること・気になること



(※)今回調査のみにある選択肢

子育てに関して悩んでいること・気になることについては、「子どもの進学や就職のこと」の割合が23.4%で最も高く、次いで「子育てで出費がかさむこと」が22.9%、「子どもに基本的な習慣（あいさつ、規則正しい食生活、整理整頓など）が身につけていない」が21.5%、「子どものしつけや教育に自信がもてない」が20.5%、「特にない」が18.8%、「子どもの友だちづきあい（いじめなどを含む）に関すること」が15.8%、「子どもが勉強しない」が11.7%、「子どもの身体や発育、病気のこと」が11.2%となっている。

選択肢に相違があるが前回調査と比較すると、「子育てで出費がかさむこと」の割合は5.9ポイント減少し、「子どもの進学や就職のこと」の割合は6.9ポイント減少している。

子どもの学年別にみると、小学校4～6年生では「子どもの進学や就職のこと」の割合が小学校1～3年生に比べて12.4ポイント高くなっている。

世帯分類別にみると、ひとり親では「子育てで出費がかさむこと」の割合が他の世帯に比べてやや高くなっている。

世帯年収別にみると、概ね世帯年収が高い世帯ほど「特にない」の割合が高くなっている。

子育てを楽しんでいる割合別にみると、『つらい』では「子どものしつけや教育に自信がもてない」、「子どもが反抗的でなかなか言うことをきかない」、「子どもの身体や発育、病気のこと」の割合が『楽しい』に比べて10ポイント以上高くなっている。

図表125 子どもの学年別、世帯分類別、世帯年収別、子育てを楽しんでいる割合別
子育てに関して悩んでいること・気になること（1/2）

		(単位:%)									
	標本数(人)	が食(子どもに基本な習慣)	自信がもてないしつけや教育に	手が育てないについての相談相	ま配り協力やパートナーがあ	子どもが勉強しない	子どもの進学や就職のこと	か子どもが反抗的でなかなか言うことをきかない	的である生活態度が消極	関(子どもの友だちづきあいに)	
全体	1,784	21.5	20.5	1.6	7.3	11.7	23.4	7.9	4.0	15.8	
子どもの学年別	小学校1～3年生	889	22.9	24.9	1.7	7.4	10.9	17.2	8.0	4.3	18.7
	小学校4～6年生	878	19.9	15.9	1.4	7.3	12.5	29.6	7.6	3.9	12.9
	無回答	17	23.5	23.5	5.9	5.9	11.8	29.4	17.6	-	11.8
全体	1,784	21.5	20.5	1.6	7.3	11.7	23.4	7.9	4.0	15.8	
世帯分類別	三世帯	40	20.0	15.0	-	10.0	22.5	20.0	2.5	-	22.5
	核家族	1,519	21.1	20.1	1.1	7.9	11.3	23.5	8.0	4.3	15.7
	ひとり親	122	18.9	25.4	4.9	-	12.3	27.0	10.7	2.5	13.1
	ひとり親三世帯	18	44.4	27.8	11.1	-	11.1	16.7	-	11.1	22.2
	その他	66	30.3	19.7	3.0	10.6	15.2	15.2	4.5	3.0	18.2
無回答	19	21.1	21.1	5.3	-	5.3	36.8	10.5	-	10.5	
全体	1,784	21.5	20.5	1.6	7.3	11.7	23.4	7.9	4.0	15.8	
世帯年収別	200万円未満	64	17.2	17.2	6.3	6.3	14.1	21.9	9.4	3.1	6.3
	200～300万円未満	104	26.9	13.5	4.8	5.8	13.5	26.0	10.6	1.9	13.5
	300～400万円未満	145	16.6	24.8	2.1	11.0	11.0	24.8	9.0	6.2	17.9
	400～500万円未満	203	20.7	22.7	1.5	11.3	11.8	19.2	9.4	2.5	17.2
	500～700万円未満	385	23.4	22.6	1.0	6.5	11.4	20.8	5.2	4.7	21.6
	700～1,000万円未満	478	19.9	20.3	1.0	5.9	10.0	23.2	7.7	4.6	13.4
	1,000万円以上	321	24.6	19.3	0.9	7.8	15.3	26.2	10.0	3.7	13.4
無回答	84	16.7	14.3	1.2	4.8	6.0	32.1	3.6	2.4	14.3	
全体	1,784	21.5	20.5	1.6	7.3	11.7	23.4	7.9	4.0	15.8	
と子育てを楽しんでいる割合別	『楽しい』	1,675	21.3	19.6	1.6	6.9	11.8	23.8	6.7	4.0	15.8
	『つらい』	88	28.4	39.8	2.3	15.9	12.5	19.3	30.7	5.7	17.0
	無回答	21	4.8	9.5	-	4.8	4.8	14.3	9.5	-	4.8

Ⅲ 小学生の保護者調査結果

図表126 子どもの学年別、世帯分類別、世帯年収別、子育てを楽しいと感じる割合別
子育てに関して悩んでいること・気になること（2/2）

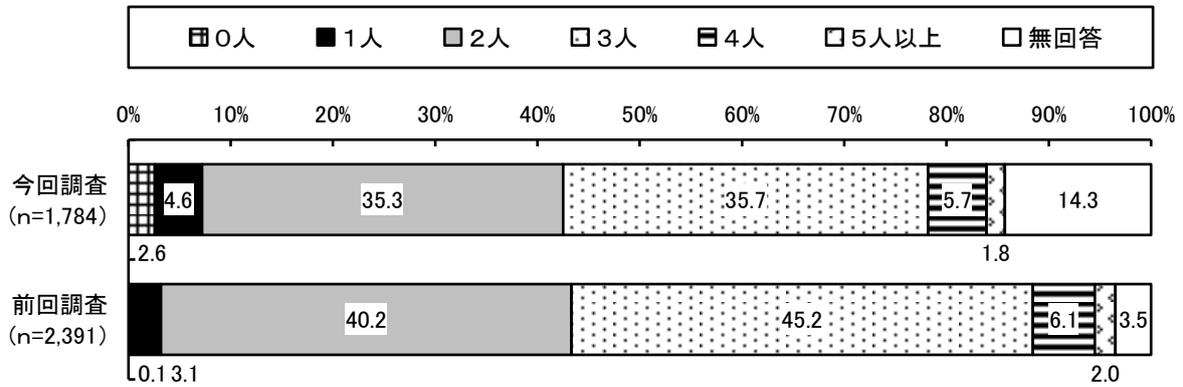
(単位:%)

		標本数(人)	不登校などの課題について	子どもの身体や発育、病	子どもの非行や問題行動	子どもの世話を頼める人がいない	子育てで出費がかさむこと	その他	特にな	無回答
全体		1,784	2.7	11.2	0.8	2.0	22.9	3.8	18.8	3.8
子どもの学年別	小学校1～3年生	889	2.7	9.7	1.0	2.2	21.9	3.6	19.0	3.0
	小学校4～6年生	878	2.6	12.6	0.7	1.6	24.0	4.0	18.5	4.6
	無回答	17	5.9	11.8	-	5.9	11.8	-	23.5	5.9
全体		1,784	2.7	11.2	0.8	2.0	22.9	3.8	18.8	3.8
世帯分類別	三世帯	40	-	27.5	-	-	22.5	-	20.0	2.5
	核家族	1,519	2.8	10.9	0.9	1.9	22.6	3.6	19.6	3.3
	ひとり親	122	2.5	11.5	0.8	4.1	27.0	4.9	15.6	7.4
	ひとり親三世帯	18	-	-	5.6	-	22.2	5.6	11.1	-
	その他	66	4.5	7.6	-	-	25.8	6.1	10.6	3.0
無回答	19	-	21.1	-	5.3	5.3	5.3	5.3	31.6	
全体		1,784	2.7	11.2	0.8	2.0	22.9	3.8	18.8	3.8
世帯年収別	200万円未満	64	4.7	14.1	1.6	6.3	29.7	6.3	14.1	9.4
	200～300万円未満	104	2.9	10.6	1.0	1.9	26.9	3.8	13.5	5.8
	300～400万円未満	145	2.8	9.7	-	1.4	26.9	4.8	15.2	2.1
	400～500万円未満	203	2.5	12.8	1.5	0.5	27.1	2.5	15.3	2.0
	500～700万円未満	385	2.9	10.4	1.3	3.4	24.2	2.3	19.2	2.6
	700～1,000万円未満	478	2.1	12.3	0.8	1.7	23.0	5.0	18.8	4.8
	1,000万円以上	321	3.7	9.0	0.3	1.2	15.9	3.7	23.7	1.2
	無回答	84	-	13.1	-	1.2	15.5	2.4	22.6	14.3
全体		1,784	2.7	11.2	0.8	2.0	22.9	3.8	18.8	3.8
子育てを楽しいと感じる割合別	『楽しい』	1,675	2.4	10.7	0.7	1.9	23.2	3.5	19.9	2.9
	『つらい』	88	5.7	21.6	4.5	3.4	19.3	8.0	1.1	8.0
	無回答	21	9.5	4.8	-	4.8	14.3	4.8	-	61.9

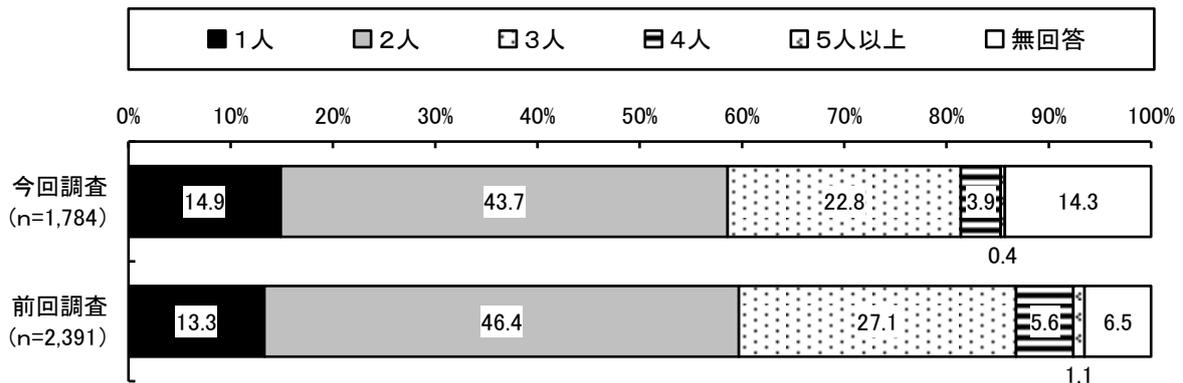
3. ほしいと思っている子どもの人数、実際に予定している子どもの人数

問42 あなたにとって、ほしいと思っている子どもの数、実際に予定している子どもの数は何人ですか。(枠内に数字を記入)

図表127 ほしいと思っている子どもの人数



図表128 実際に予定している子どもの人数



ほしいと思っている子どもの人数については、「3人」の割合が35.7%で最も高く、次いで「2人」が35.3%となっている。

前回調査と比較すると、「3人」の割合は9.5ポイント減少している。

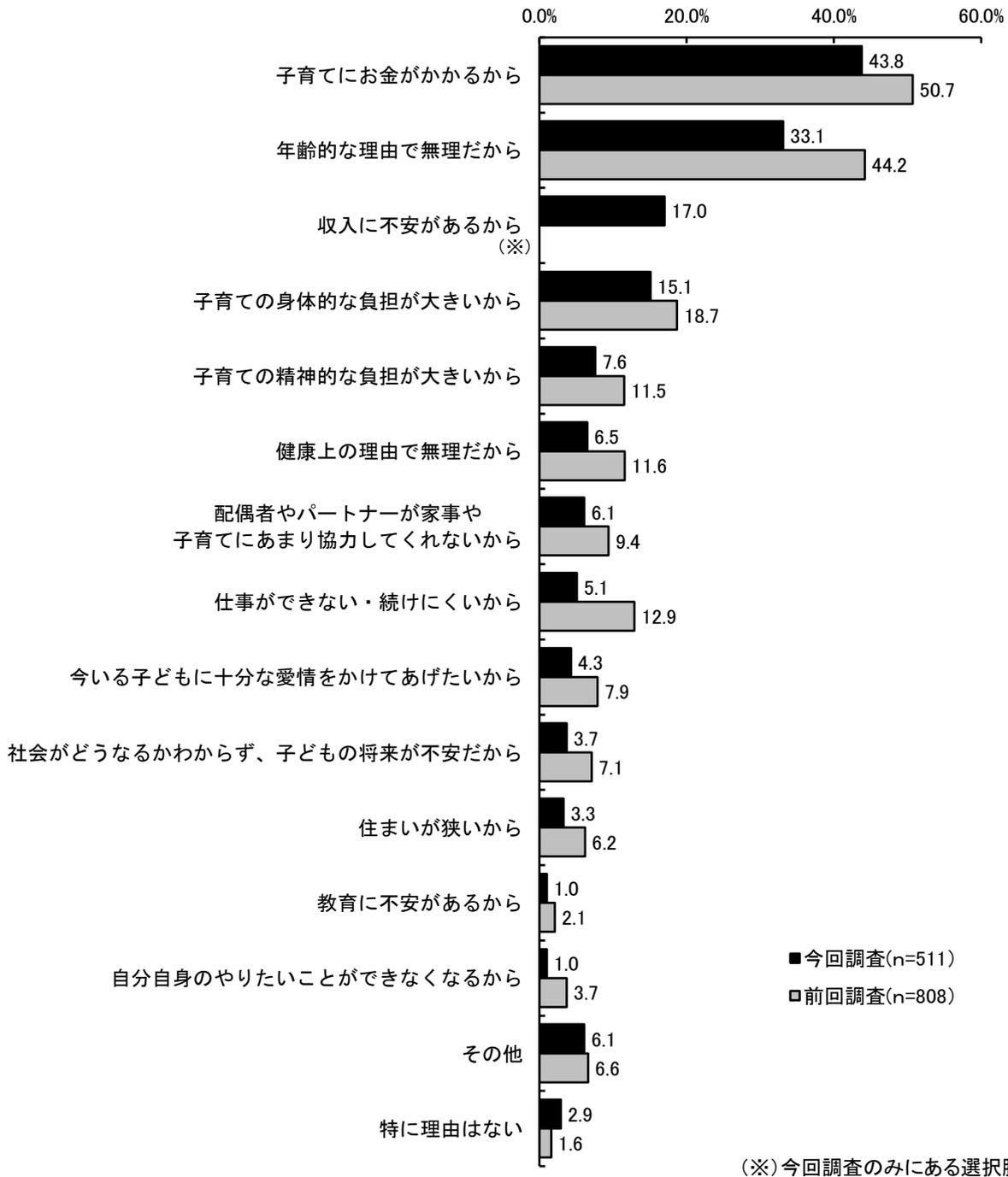
また、実際に予定している子どもの人数については、「2人」の割合が43.7%で最も高く、次いで「3人」が22.8%、「1人」が14.9%となっている。

4. ほしい人数よりも予定している人数が少ない理由

問42で「ほしいと思っている子どもの数」よりも「実際に予定している子どもの数」が少ない方にうかがいます。

問42-1 その理由は何ですか。(〇は2つまで)

図表129 ほしい人数よりも予定している人数が少ない理由



ほしい人数より予定している人数が少ない理由としては、「子育てにお金がかかるから」の割合が43.8%で最も高く、次いで「年齢的な理由で無理だから」が33.1%、「収入に不安があるから」が17.0%、「子育ての身体的な負担が大きいから」が15.1%となっている。

選択肢に相違があるが前回調査と比較すると、「健康上の理由で無理だから」の割合は5.1ポイント減少し、「子育てにお金がかかるから」の割合は6.9ポイント減少し、「仕事ができない・続けにくいから」の割合は7.8ポイント減少し、「年齢的な理由で無理だから」の割合は11.1ポイント減少している。

調査の回答者の年代別にみると、30代では「子育てにお金がかかるから」の割合が最も高く、40代以上では「年齢的な理由で無理だから」の割合が最も高くなっている。

母親の就労状況別にみると、いずれの場合でも「子育てにお金がかかるから」の割合が最も高くなっている。

世帯年収別にみると、400～500万円未満では「子育てにお金がかかるから」の割合が他の世帯年収に比べて高くなっている。

図表130 調査の回答者の年代別、母親の就労状況別、世帯年収別
ほしい人数よりも予定している人数が少ない理由（1／2）

(単位:%)

		標本数(人)	子育ての身体的な負担が大きいから	子育ての精神的な負担が大きいから	配りや偶々子育てにパートナーが協力ができないから	子育てにお金がかかるから	収入に不安があるから	住まいが狭いから	教育に不安があるから	年齢的な理由で無理だから
全体		511	15.1	7.6	6.1	43.8	17.0	3.3	1.0	33.1
調査の回答者の年代別	10代	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	20代	5	-	20.0	-	60.0	20.0	-	-	-
	30代	146	17.1	16.4	7.5	52.1	17.1	5.5	0.7	5.5
	40代以上	351	14.2	4.0	5.7	39.9	17.1	2.6	1.1	44.7
	回答しない	4	-	-	-	50.0	25.0	-	-	75.0
	無回答	4	50.0	-	-	75.0	-	-	-	25.0
全体		511	15.1	7.6	6.1	43.8	17.0	3.3	1.0	33.1
母親の就労状況別	フルタイムで就労	216	15.3	7.9	7.9	38.0	18.1	4.2	-	31.9
	パート・アルバイト等で就労	182	18.1	7.7	4.9	49.5	19.2	1.6	1.6	29.7
	以前は就労していたが、現在は就労していない	92	7.6	7.6	3.3	50.0	12.0	4.3	2.2	44.6
	これまで就労したことがない	10	20.0	10.0	20.0	30.0	-	10.0	-	20.0
	無回答	11	18.2	-	-	27.3	18.2	-	-	27.3
全体		511	15.1	7.6	6.1	43.8	17.0	3.3	1.0	33.1
世帯年収別	200万円未満	22	-	4.5	4.5	36.4	45.5	4.5	-	13.6
	200～300万円未満	27	-	3.7	14.8	40.7	33.3	3.7	-	7.4
	300～400万円未満	44	4.5	4.5	4.5	43.2	31.8	2.3	2.3	38.6
	400～500万円未満	56	16.1	8.9	10.7	60.7	21.4	3.6	-	26.8
	500～700万円未満	127	18.9	11.0	2.4	48.8	17.3	3.1	-	32.3
	700～1,000万円未満	123	14.6	6.5	4.9	40.7	11.4	3.3	2.4	37.4
	1,000万円以上	95	23.2	8.4	9.5	31.6	3.2	4.2	-	43.2
	無回答	17	11.8	-	-	58.8	17.6	-	5.9	23.5

Ⅲ 小学生の保護者調査結果

図表131 調査の回答者の年代別、母親の就労状況別、世帯年収別
ほしい人数よりも予定している人数が少ない理由（2／2）

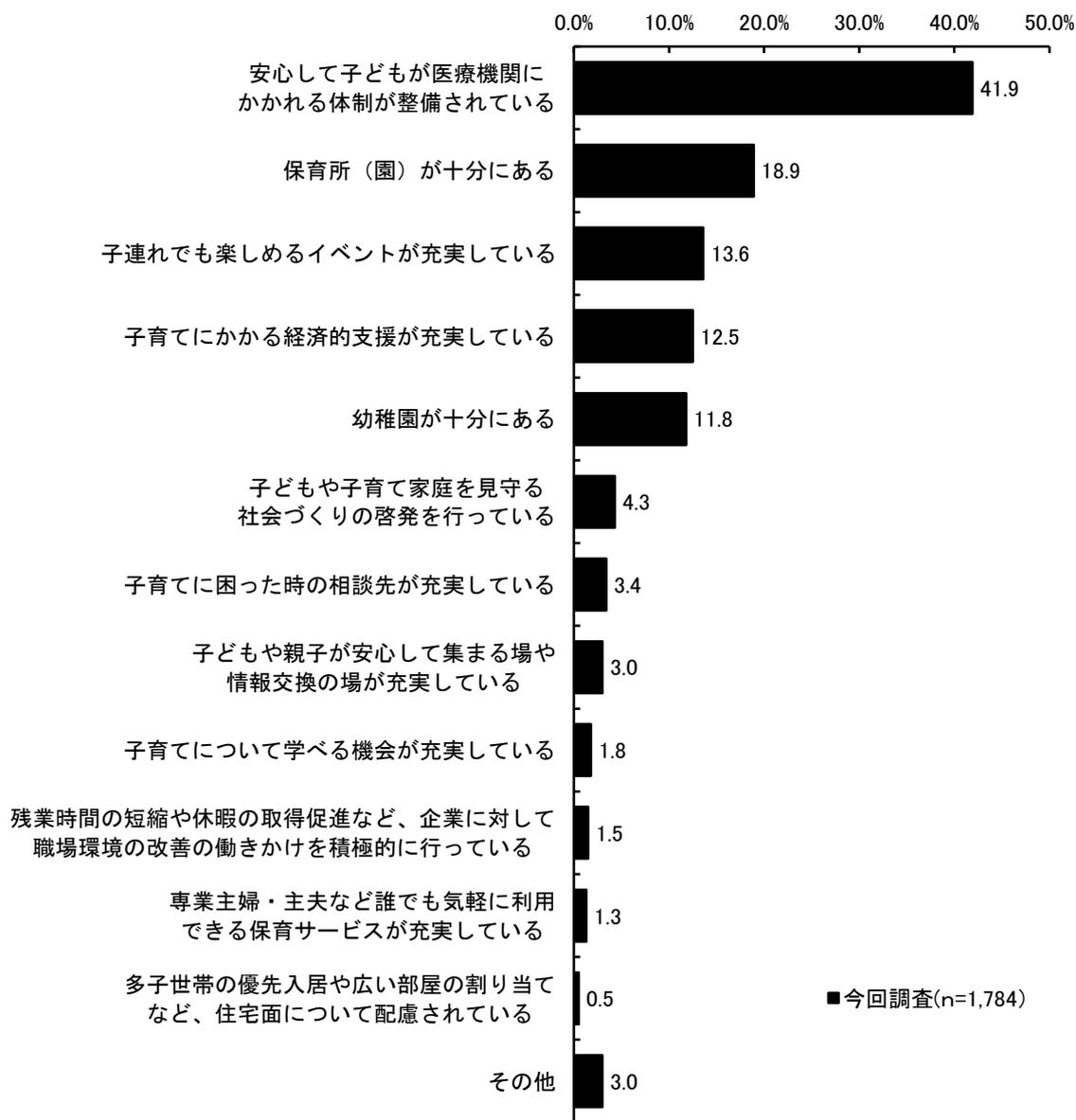
（単位：％）

		標 本 数 （ 人 ）	ら健康上の理由で無理だから	く仕事ができない・続けにくいから	が自分自身のやりたいことができないから	情今をかける子どもに十分ならずから	だ社会がどうなるかわからず、子どもの将来が不安だから	その他	特に理由はない	無回答
全 体		511	6.5	5.1	1.0	4.3	3.7	6.1	2.9	8.2
調 査 の 年 代 別 回 答 者 の	10代	1	-	100.0	-	-	-	-	-	-
	20代	5	-	-	-	-	-	-	40.0	-
	30代	146	6.2	6.8	2.1	6.2	6.8	6.2	2.7	11.6
	40代以上	351	6.8	4.3	0.6	3.7	2.3	6.3	2.6	7.1
	回答しない	4	-	-	-	-	-	-	-	-
	無回答	4	-	-	-	-	25.0	-	-	-
全 体		511	6.5	5.1	1.0	4.3	3.7	6.1	2.9	8.2
母 親 の 就 労 状 況 別	フルタイムで就労	216	3.7	7.9	0.5	4.6	3.2	7.9	3.7	8.8
	パート・アルバイト等で就労	182	6.0	3.3	1.6	4.9	3.8	3.8	2.2	8.8
	以前は就労していたが、現在は就労していない	92	13.0	2.2	1.1	3.3	5.4	6.5	2.2	2.2
	これまで就労したことがない	10	20.0	-	-	-	-	10.0	-	10.0
	無回答	11	-	9.1	-	-	-	-	9.1	36.4
全 体		511	6.5	5.1	1.0	4.3	3.7	6.1	2.9	8.2
世 帯 年 収 別	200万円未満	22	9.1	-	4.5	4.5	-	18.2	4.5	9.1
	200～300万円未満	27	7.4	3.7	-	3.7	-	18.5	11.1	7.4
	300～400万円未満	44	4.5	6.8	-	-	2.3	-	-	18.2
	400～500万円未満	56	3.6	3.6	-	1.8	7.1	7.1	3.6	5.4
	500～700万円未満	127	3.1	2.4	2.4	7.9	1.6	5.5	2.4	8.7
	700～1,000万円未満	123	8.9	4.9	0.8	2.4	4.1	4.1	2.4	8.9
	1,000万円以上	95	10.5	10.5	-	5.3	4.2	2.1	3.2	4.2
	無回答	17	-	5.9	-	5.9	17.6	23.5	-	5.9

5. 福岡市が行っている子ども施策で満足している点

問43 福岡市が行っている子ども施策について、満足している点がありますか。(〇は3つまで)

図表132 福岡市が行っている子ども施策で満足している点



福岡市が行っている子ども施策で満足している点については、「安心して子どもが医療機関にかかれる体制が整備されている」の割合が41.9%で最も高く、次いで「保育所（園）が十分にある」が18.9%、「子連れでも楽しめるイベントが充実している」が13.6%、「子育てにかかる経済的支援が充実している」が12.5%、「幼稚園が十分にある」が11.8%となっている。

子どもの学年別にみると、小学校1～3年生では「保育所（園）が十分にある」の割合が小学校4～6年生に比べて6.6ポイント高くなっている。

母親の就労状況別にみると、いずれの場合でも「安心して子どもが医療機関にかかれる体制が整備されている」の割合が最も高くなっている。

Ⅲ 小学生の保護者調査結果

図表133 子どもの学年別、母親の就労状況別、世帯分類別
福岡市が行っている子ども施策で満足している点

(単位:%)

	標本数(人)	保育所(園)が十分に ある	幼稚園が十分に ある	専業主婦・主夫など誰で も軽易に利用できる保育 サービスが充実している	子育てにかかっている 経済的支援が充実している	子どもや親子が安心して 集まる場や情報交換の場 が充実している	子育てについて学べる機 会が充実している	子育てに困った時の相談 先が充実している	子ども連れでも楽しめるイベ ントが充実している
全体	1,784	18.9	11.8	1.3	12.5	3.0	1.8	3.4	13.6
子どもの 学年別	小学校1～3年生	889	22.3	13.6	1.5	14.1	3.3	2.1	14.3
	小学校4～6年生	878	15.7	10.0	1.3	11.2	2.7	1.5	12.9
	無回答	17	5.9	5.9	-	-	-	5.9	11.8
全体	1,784	18.9	11.8	1.3	12.5	3.0	1.8	3.4	13.6
母親の 就労状況 別	フルタイムで就労	707	26.4	4.7	0.8	13.6	2.4	1.4	11.0
	パート・アルバイト等で就労	668	16.5	16.0	1.9	11.1	2.8	2.1	15.7
	以前は就労していたが、 現在は就労していない	312	9.0	17.0	1.6	11.9	4.8	1.9	15.4
	これまで就労したことがない	33	9.1	18.2	-	24.2	3.0	-	21.2
	無回答	64	14.1	17.2	-	12.5	1.6	3.1	6.3
全体	1,784	18.9	11.8	1.3	12.5	3.0	1.8	3.4	13.6
世帯分 類別	三世代	40	27.5	12.5	-	10.0	2.5	2.5	12.5
	核家族	1,519	18.8	12.6	1.4	12.6	3.1	1.8	14.2
	ひとり親	122	17.2	4.1	1.6	14.8	2.5	1.6	8.2
	ひとり親三世代	18	11.1	5.6	-	11.1	5.6	-	11.1
	その他	66	27.3	12.1	-	10.6	1.5	1.5	12.1
	無回答	19	-	-	-	5.3	-	5.3	10.5

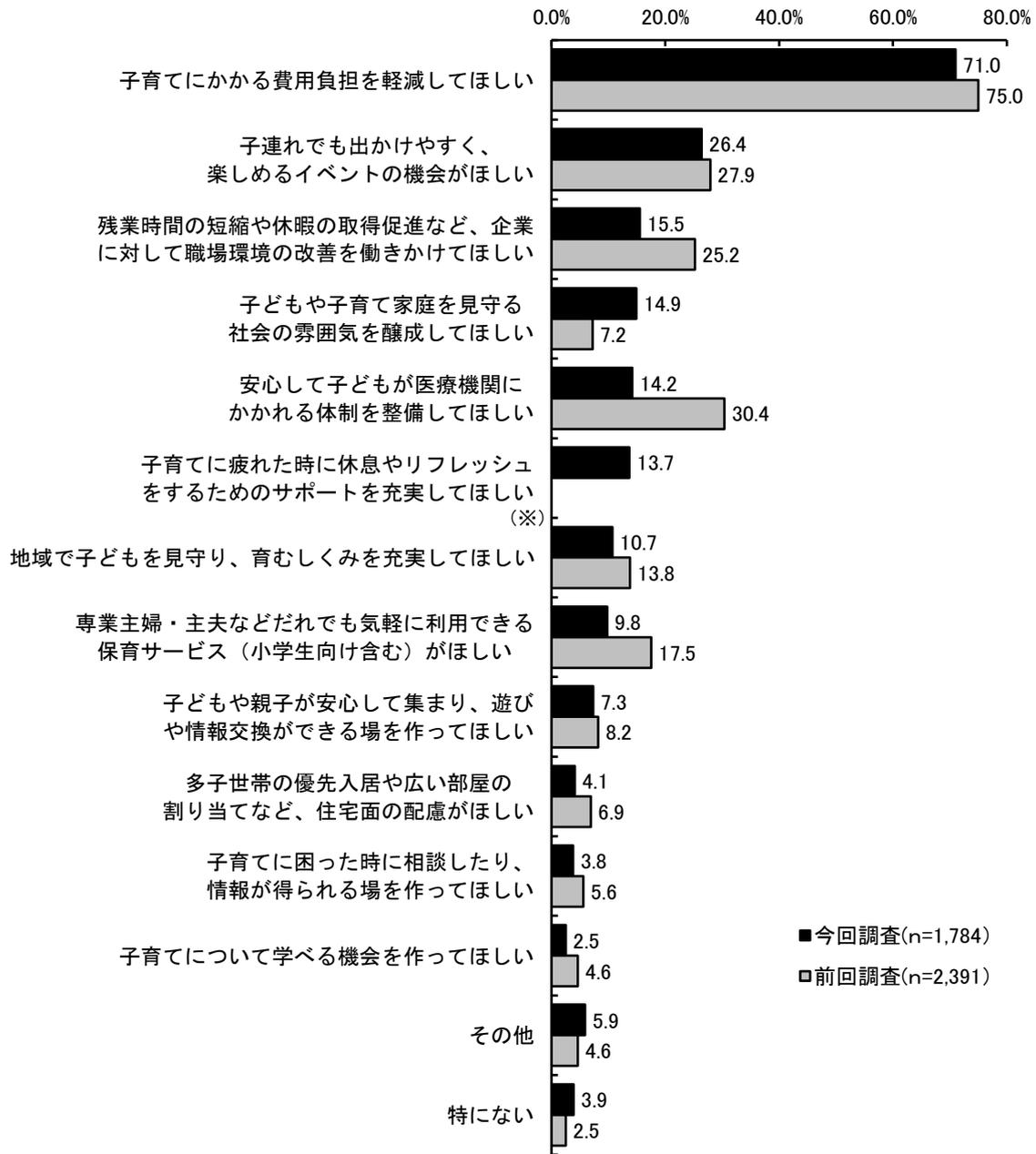
(単位:%)

	標本数(人)	安全にかける子どもが医療 整備	住い る面 積に 関係 する 優 待 制 度 が 充 実 し て い る	多 子 世 帯 の 優 待 制 度 が 充 実 し て い る	住 居 の 改 修 費 の 支 援 が 充 実 し て い る	得 業 時 間 の 短 縮 や 休 暇 取 り の 機 会 が 充 実 し て い る	残 業 時 間 の 短 縮 や 休 暇 取 り の 機 会 が 充 実 し て い る	子 ど も や 子 育 て の 家 庭 を 見 守 る 機 会 が 充 実 し て い る	そ の 他	無 回 答
全体	1,784	41.9	0.5	1.5	4.3	3.0	26.2			
子どもの 学年別	小学校1～3年生	889	40.6	0.7	1.3	3.4	3.0	25.3		
	小学校4～6年生	878	43.4	0.3	1.7	5.4	3.0	26.9		
	無回答	17	35.3	-	-	-	5.9	41.2		
全体	1,784	41.9	0.5	1.5	4.3	3.0	26.2			
母親の 就労状況 別	フルタイムで就労	707	38.0	0.8	2.1	4.0	4.2	28.0		
	パート・アルバイト等で就労	668	44.5	0.3	1.2	4.5	2.5	22.9		
	以前は就労していたが、 現在は就労していない	312	46.8	0.3	0.6	4.8	1.6	27.9		
	これまで就労したことがない	33	42.4	-	6.1	3.0	3.0	21.2		
	無回答	64	34.4	-	-	4.7	1.6	35.9		
全体	1,784	41.9	0.5	1.5	4.3	3.0	26.2			
世帯分 類別	三世代	40	50.0	2.5	2.5	-	-	25.0		
	核家族	1,519	42.5	0.4	1.5	4.3	2.8	25.5		
	ひとり親	122	34.4	1.6	0.8	4.9	4.9	33.6		
	ひとり親三世代	18	50.0	-	-	5.6	-	27.8		
	その他	66	33.3	-	1.5	6.1	4.5	27.3		
	無回答	19	47.4	-	5.3	-	10.5	36.8		

6. 充実してほしい子育て施策

問44 あなたは、どのような子育て施策の充実を図ってほしいですか。(〇は3つまで)

図表134 充実してほしい子育て施策



(※)今回調査のみにある選択肢

充実してほしい子育て施策については、「子育てにかかる費用負担を軽減してほしい」の割合が71.0%で最も高く、次いで「子連れでも出かけやすく、楽しめるイベントの機会がほしい」が26.4%、「残業時間の短縮や休暇の取得促進など、企業に対して職場環境の改善を働きかけてほしい」が15.5%となっている。

選択肢に相違があるが前回調査と比較すると、「子どもや子育て家庭を見守る社会の雰囲気を醸成してほしい」の割合は7.7ポイント増加し「安心して子どもが医療機関にかかれる体制を整備してほしい」の割合は16.2ポイント減少している。

Ⅲ 小学生の保護者調査結果

子どもの学年別にみると、小学校1～3年生では「子連れでも出かけやすく、楽しめるイベントの機会がほしい」の割合が小学校4～6年生に比べて9.0ポイント高くなっている。

母親の就労状況別にみると、フルタイムで就労している場合では「残業時間の短縮や休暇の取得促進など、企業に対して職場環境の改善を働きかけてほしい」の割合が他の就労状況に比べて高くなっている。

世帯分類別にみると、ひとり親では「残業時間の短縮や休暇の取得促進など、企業に対して職場環境の改善を働きかけてほしい」の割合が他の世帯に比べて高くなっている。

図表135 子どもの学年別、母親の就労状況別、世帯分類別 充実してほしい子育て施策

		標本数(人)	子育てにかかるといえる費用負担を軽減してほしい	子どもや親の遊ばせや情報交換がしやすい	子どもや親の遊ばせや情報交換がしやすい	子どもや親の遊ばせや情報交換がしやすい	子どもや親の遊ばせや情報交換がしやすい	子どもや親の遊ばせや情報交換がしやすい	子どもや親の遊ばせや情報交換がしやすい	子どもや親の遊ばせや情報交換がほしい
全体		1,784	71.0	7.3	26.4	10.7	3.8	9.8	13.7	14.2
子どもの学年別	小学校1～3年生	889	71.7	9.1	31.0	10.2	3.6	12.1	16.6	14.2
	小学校4～6年生	878	70.2	5.6	22.0	11.4	4.0	7.4	10.4	14.5
	無回答	17	76.5	-	11.8	-	-	5.9	29.4	-
全体		1,784	71.0	7.3	26.4	10.7	3.8	9.8	13.7	14.2
就労状況の別	フルタイムで就労	707	68.6	7.8	26.2	11.7	3.8	6.6	12.4	14.6
	パート・アルバイト等で就労	668	74.9	6.9	27.4	10.3	4.5	9.3	14.4	14.5
	以前は就労していたが、現在は就労していない	312	69.2	7.1	25.3	10.6	2.2	18.3	14.1	14.1
	これまで就労したことがない	33	72.7	6.1	27.3	9.1	-	12.1	27.3	6.1
	無回答	64	64.1	7.8	23.4	4.7	4.7	6.3	10.9	10.9
全体		1,784	71.0	7.3	26.4	10.7	3.8	9.8	13.7	14.2
世帯分類別	三世帯	40	72.5	-	25.0	2.5	-	12.5	7.5	2.5
	核家族	1,519	71.2	7.8	27.1	11.4	3.6	9.9	13.3	14.9
	ひとり親	122	72.1	4.1	20.5	7.4	4.9	7.4	19.7	13.1
	ひとり親三世帯	18	83.3	5.6	5.6	5.6	11.1	11.1	11.1	-
	その他	66	63.6	6.1	27.3	7.6	6.1	7.6	13.6	13.6
無回答		19	57.9	5.3	31.6	10.5	-	10.5	21.1	-

		標本数(人)	住居の環境がよい	多世帯の優待など	取得時間の短縮や休業の促進など	子どもや親の遊ばせや情報交換がほしい						
全体		1,784	4.1	15.5	14.9	2.5	5.9	3.9	4.4			
子どもの学年別	小学校1～3年生	889	3.8	16.1	14.1	3.0	5.1	2.6	4.2			
	小学校4～6年生	878	4.4	14.9	15.7	2.1	6.8	5.2	4.3			
	無回答	17	-	17.6	11.8	-	-	-	23.5			
全体		1,784	4.1	15.5	14.9	2.5	5.9	3.9	4.4			
就労状況の別	フルタイムで就労	707	4.4	20.7	16.5	1.6	6.4	4.0	4.7			
	パート・アルバイト等で就労	668	4.3	11.8	14.1	3.1	5.4	3.1	3.4			
	以前は就労していたが、現在は就労していない	312	3.5	13.5	14.4	3.2	4.2	4.5	4.2			
	これまで就労したことがない	33	3.0	3.0	9.1	3.0	15.2	9.1	3.0			
	無回答	64	1.6	14.1	9.4	3.1	9.4	4.7	14.1			
全体		1,784	4.1	15.5	14.9	2.5	5.9	3.9	4.4			
世帯分類別	三世帯	40	-	10.0	22.5	2.5	7.5	10.0	5.0			
	核家族	1,519	3.9	15.0	15.0	2.2	5.7	3.6	3.9			
	ひとり親	122	9.8	23.8	10.7	4.1	5.7	4.9	6.6			
	ひとり親三世帯	18	-	27.8	27.8	-	5.6	5.6	-			
	その他	66	-	13.6	10.6	9.1	7.6	4.5	7.6			
無回答		19	5.3	10.5	15.8	-	10.5	-	21.1			

第12章 自由意見

◆最後に、福岡市の子ども施策に関する取り組みについて、ご意見等がありましたら、自由にご記入ください。

回答者524人から、889件の意見が挙げられている。
主な項目を整理すると、以下のとおりである。

図表136 自由意見（1／4）

分 類	件数
小学校について	152
満足点・維持希望	2
学校内施設の開放	1
支援級・情緒級の充実	1
不満点・改善希望	150
不登校への支援について(フリースクールの充実等)	26
給食費の補助・無償化	25
教育内容の充実	19
支援級・情緒級の充実	13
教員の増員、処遇の改善	13
教員について(資質、教育など)	9
学区割の見直し	8
給食の充実	7
施設の整備(エアコンの設置、トイレ、図書室の充実等)	6
学校内施設の開放	5
休みの柔軟化(平日休み制度等)	2
その他	17
放課後児童クラブについて	24
満足点・維持希望	1
利用条件の緩和	1
不満点・改善希望	23
利用条件の緩和	16
支援員の質の向上	2
その他	5
公園や公共施設について	44
満足点・維持希望	4
美術館等の入場料無料	2
公園の管理・整備(安全の確保、遊具の充実等)	1
図書館の充実	1
不満点・改善希望	40
公園の管理・整備(安全の確保、遊具の充実等)	20
公園の増設・アクセス	9
公民館の充実	2
図書館の充実	1
その他	8

図表137 自由意見（2 / 4）

分 類	件数
児童会館など子どもの遊び場	31
不満足・改善希望	31
雨天時や猛暑日にも遊べる屋内の施設がほしい	12
児童会館の増設	11
子どもだけでも安心安全に過ごせる場所の提供	5
その他	3
相談、交流、情報	56
満足点・維持希望	7
イベントの充実、交流	6
育児相談窓口の充実	1
不満足・改善希望	49
情報の提供	19
イベントの充実、交流	17
育児相談窓口の充実	13
経済的支援について	304
満足点・維持希望	36
子ども医療費助成制度の拡充	32
多子家庭への助成	1
その他	3
不満足・改善希望	268
教育費や学用品代等の負担軽減	46
児童手当の増額・延長・所得制限撤廃	30
多子家庭への助成	27
子ども医療費助成制度の拡充	27
子ども習い事応援事業の対象拡大や充実	19
高校授業料無償化の所得制限撤廃	19
小学生以上の子ども達への助成	17
ひとり親家庭への助成	15
予防接種費用の助成	8
児童扶養手当の所得制限撤廃	6
就学援助の対象拡大	5
多胎児家庭への助成	2
住宅費の補助	2
特別児童扶養手当の所得制限撤廃	2
育児休業手当の増額	1
その他	42

図表138 自由意見（3 / 4）

分 類	件数
保健、医療	32
満足点・維持希望	1
医療制度の充実	1
不満点・改善希望	31
病児・病後児デイケアの受入れ体制などの充実	12
夜間・休日・緊急対応	6
小児科等の増設	4
心の病気に関する受入れ態勢の充実	1
その他	8
障がい児への支援	12
不満点・改善希望	12
療育施設の充実(増設、預かり時間の延長等)	5
発達相談の充実	2
発達が気になる子どもや知的・発達障がい児への支援充実	2
障がい児支援に関する情報提供	1
その他	2
交通、移動、安全	32
満足点・維持希望	2
公共交通機関の料金軽減	2
不満点・改善希望	30
道路・歩道の整備(通学路の安全確保)	17
犯罪抑制への取組み	6
公共交通機関の利便性(延伸や増便等)	4
公共交通機関の料金軽減	3
住環境、地域	17
満足点・維持希望	2
地域における理解・協力	1
地域内での交流	1
不満点・改善希望	15
地域における理解・協力	6
住宅	5
地域内での交流	3
地域による子育て環境の差	1
保育園について	28
満足点・維持希望	4
保育料の軽減・補助・無償化	4
不満点・改善希望	24
保育士の増員、処遇の改善	8
保育園の増設、待機児童の解消	7
保育園入園・継続条件の緩和	2
その他	7

Ⅲ 小学生の保護者調査結果

図表139 自由意見（4 / 4）

分 類	件数
幼稚園について	7
不満点・改善希望	7
質の向上	2
保育料の軽減・補助・無償化	2
増設	1
その他	2
その他	150
満足点・維持希望	36
市の子育てに対する施策や姿勢	19
子育てしやすい、住みやすい	10
おむつと安心定期便	6
わいわい広場	1
不満点・改善希望	110
仕事と子育ての両立支援	28
アンケートについて	15
保護者の負担軽減(PTA、子ども育成会等)	11
子ども食堂について	7
ファミリー・サポート・センター事業について	6
一時預かりの実施	4
市の子育てに対する施策や姿勢	3
保護者の教育について	3
子どもが病気の際に仕事を休める職場環境づくりやサポート	2
民間施設・店舗について	2
様々な手続きや申請を簡単にしてほしい(オンライン化等)	2
市職員の対応	1
おむつと安心定期便	1
その他	25
満足にも不満にも非該当	4
その他	4

IV 中学生・高校生等の保護者調査結果

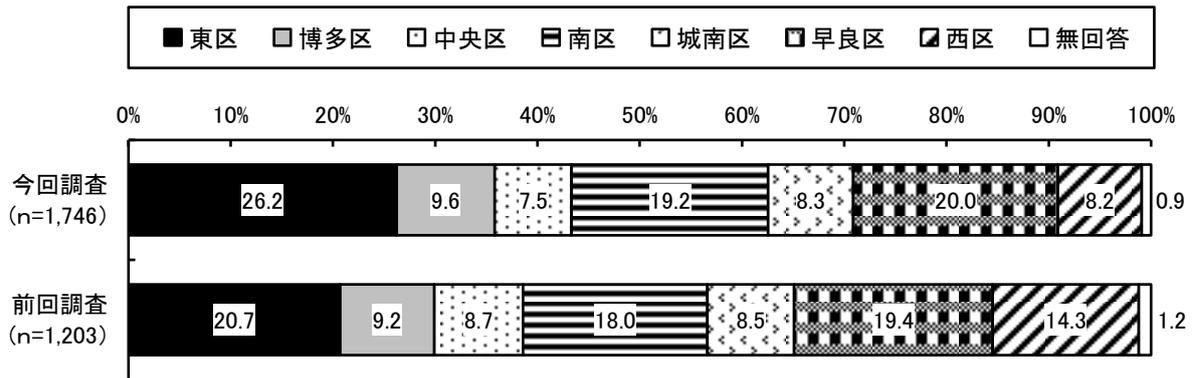
IV 中学生・高校生等の保護者調査結果

第1章 対象の子どもと家族の状況について

1. 居住区

問1 お住まいの区はどこですか。(〇は1つ)

図表1 居住区



居住区については、「東区」の割合が26.2%で最も高く、次いで「早良区」が20.0%で、以下「南区」が19.2%、「博多区」が9.6%、「城南区」が8.3%、「西区」が8.2%、「中央区」が7.5%となっている。

前回調査と比較すると、「東区」の割合は5.5ポイント増加し、「西区」の割合は6.1ポイント減少している。

図表2 子どもの世代別 居住区

(単位: %)

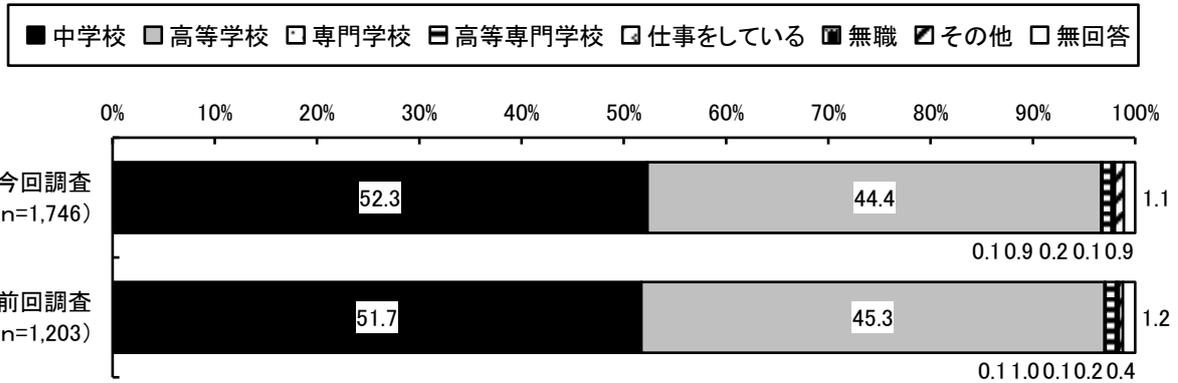
		標本数 (人)	東区	博多区	中央区	南区	城南区	早良区	西区	無回答
全体		1,746	26.2	9.6	7.5	19.2	8.3	20.0	8.2	0.9
子どもの世代別	中学生	913	26.0	7.0	7.8	19.8	8.0	19.5	11.8	0.1
	高校生世代	813	27.1	12.5	7.4	18.8	8.9	21.0	4.3	-
	無回答	20	5.0	5.0	-	5.0	-	5.0	5.0	75.0

IV 中学生・高校生等の保護者調査結果

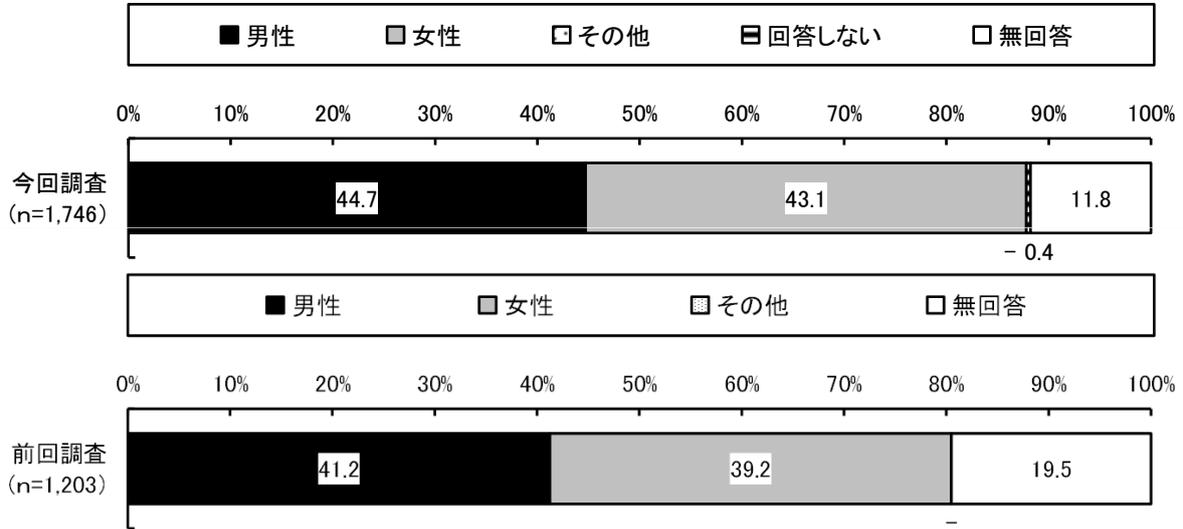
2. 子どもの所属・性別

問2 あて名のお子さんの所属と性別について、選んでください。(○は1つ)

図表3 所属



図表4 性別



子どもの所属については、「中学校」が52.3%、「高等学校」が44.4%、「高等専門学校」が0.9%、「仕事をしている」が0.2%、「専門学校」が0.1%、「無職」が0.1%となっている。
 子どもの性別については、「男性」が44.7%、「女性」が43.1%となっている。

図表5 子どもの世代別 所属・性別

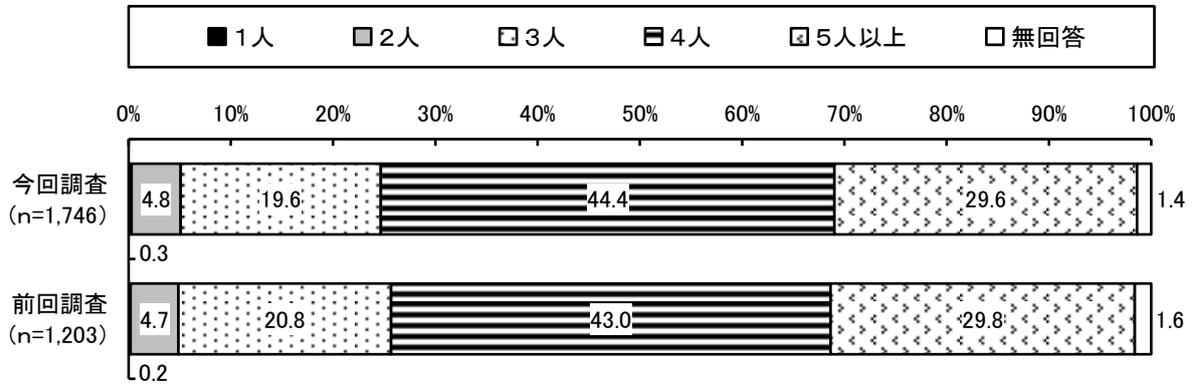
(単位: %)

	標本数 (人)	所 属								性 別				
		中学校	高等学校	専門学校	高等専門学校	仕事をしている	無職	その他	無回答	男性	女性	その他	回答しない	無回答
全 体	1,746	52.3	44.4	0.1	0.9	0.2	0.1	0.9	1.1	44.7	43.1	-	0.4	11.8
子 ども の 世 代 別	中学生	913	100.0	-	-	-	-	-	-	44.2	45.5	-	0.3	10.0
	高校生世代	813	-	95.4	0.1	1.8	0.4	0.2	2.0	46.2	41.5	-	0.5	11.8
	無回答	20	-	-	-	-	-	-	100.0	5.0	-	-	-	95.0

3. 子どもと同居している家族の人数

問3 あて名のお子さんの同居家族は何人ですか。(枠内に数字を記入)

図表6 子どもと同居している家族の人数



子どもと同居している家族の人数は、「4人」の割合が44.4%で最も高く、次いで「5人以上」が29.6%、「3人」が19.6%となっている。

図表7 子どもの世代別 子どもと同居している家族の人数

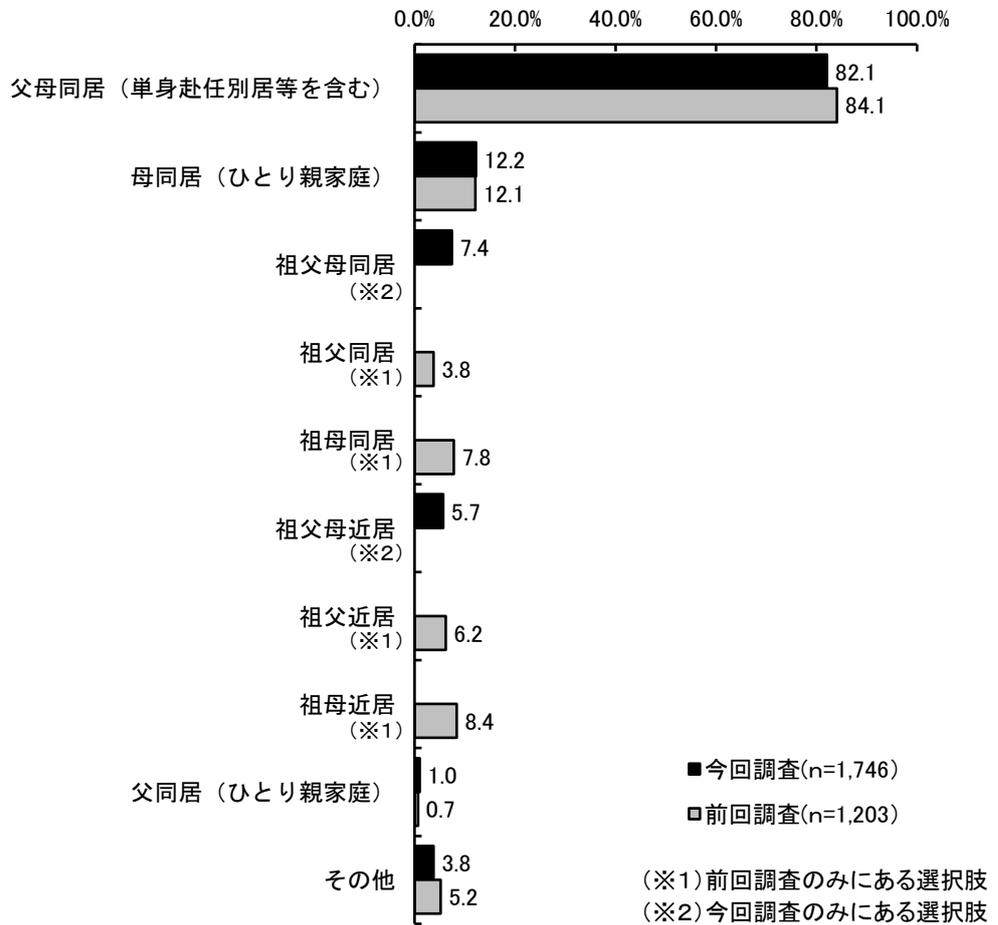
(単位: %)

		標本数 (人)	1人	2人	3人	4人	5人以上	無回答
全体		1,746	0.3	4.8	19.6	44.4	29.6	1.4
子どもの 世代別	中学生	913	0.2	3.7	18.4	42.5	34.6	0.5
	高校生世代	813	0.4	5.9	21.3	47.5	24.6	0.4
	無回答	20	-	5.0	5.0	5.0	5.0	80.0

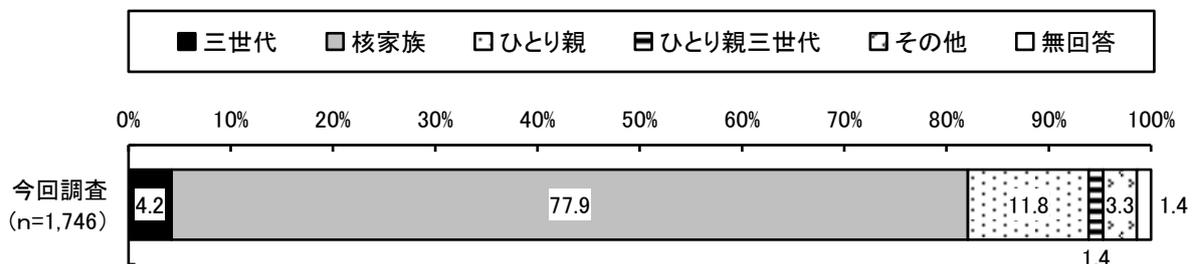
4. 子どもとの同居・近居の状況

問4 あて名のお子さんとの同居・近居の状況について選んでください。
 (あてはまるものすべてに○)
 あて名のお子さんからみた関係でお答えください。

図表8 子どもとの同居・近居の状況



図表9 世帯分類



子どもとの同居・近居の状況については、「父母同居 (単身赴任別居等を含む)」の割合が82.1%で最も高くなっている。『ひとり親家庭』は「母同居 (ひとり親家庭)」が12.2%、「父同居 (ひとり親家庭)」が1.0%で合わせて13.2%となっている。祖父母等の同居・近居の状況は、「祖父母同居」が7.4%、「祖父母近居」が5.7%となっている。

同居の状況から世帯を分類すると、「核家族」の割合が77.9%で最も高く、次いで「ひとり親」が11.8%、「三世代」が4.2%、「ひとり親三世代」が1.4%となっている。

子どもとの同居・近居の状況について子どもの世代別にみると、中学生では「父母同居（単身赴任別居等を含む）」の割合が高校生世代に比べて5.5ポイント高くなっている。また、高校生世代では「母同居（ひとり親家庭）」の割合が中学生に比べて5.4ポイント高くなっている。

また、世帯分類について子どもの世代別にみると、中学生では「核家族」の割合が高校生世代に比べて6.0ポイント高くなっている。また、高校生世代では「ひとり親」の割合が中学生に比べて5.2ポイント高くなっている。

図表10 子ども世代別 子どもとの同居・近居の状況

(単位: %)

		標本数 (人)	父母同居 (単身赴任別居 等を含む)	父同居 (ひとり親家庭)	母同居 (ひとり親家庭)	祖父母同居	祖父母近居	その他	無回答
全体		1,746	82.1	1.0	12.2	7.4	5.7	3.8	1.4
子どもの 世代別	中学生	913	85.5	0.8	9.7	6.8	6.7	3.3	0.8
	高校生世代	813	80.0	1.4	15.1	8.1	4.7	4.6	0.1
	無回答	20	15.0	-	5.0	5.0	-	-	80.0

図表11 子ども世代別 世帯分類

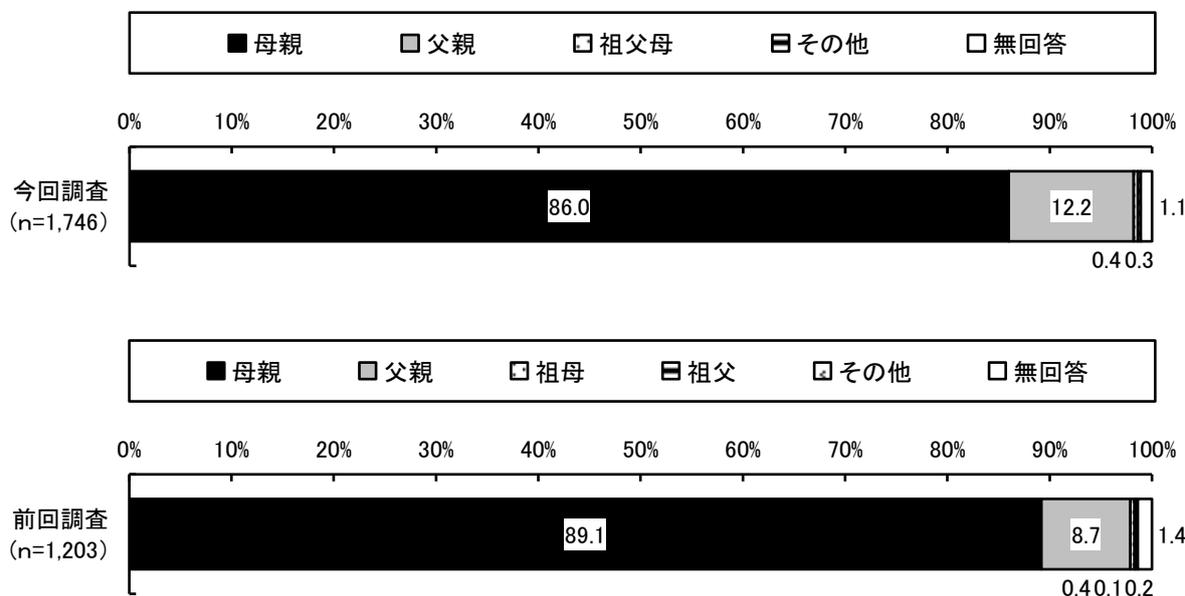
(単位: %)

		標本数 (人)	三世帯	核家族	ひとり親	ひとり親三世帯	その他	無回答
全体		1746	4.2	77.9	11.8	1.4	3.3	1.4
子どもの 世代別	中学生	913	4.1	81.5	9.4	1.1	3.2	0.8
	高校生世代	813	4.4	75.5	14.6	1.8	3.4	0.1
	無回答	20	5	10	5	-	-	80

5. 調査の回答者

問5 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。(○は1つ)
 あて名のお子さんからみた関係でお答えください。

図表12 調査の回答者



調査の回答者は、「母親」の割合が86.0%で最も高く、次いで「父親」が12.2%となっている。

図表13 子どもの世代別 調査の回答者

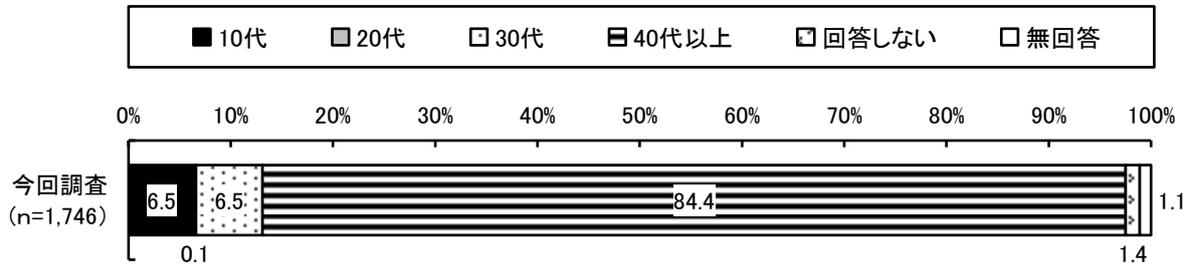
(単位: %)

		標本数 (人)	母親	父親	祖母	その他	無回答
全体		1,746	86.0	12.2	0.4	0.3	1.1
子どもの 世代別	中学生	913	85.9	13.1	0.4	0.3	0.2
	高校生世代	813	87.6	11.4	0.4	0.4	0.2
	無回答	20	25.0	-	-	-	75.0

6. 調査の回答者の年代

問6 この調査票にご回答いただく方の年代について、お答えください。(○は1つ)

図表14 調査の回答者の年代



調査の回答者の年代は、「40代以上」の割合が84.4%で最も高くなっている。

図表15 子どもの世代別 調査の回答者の年代

(単位: %)

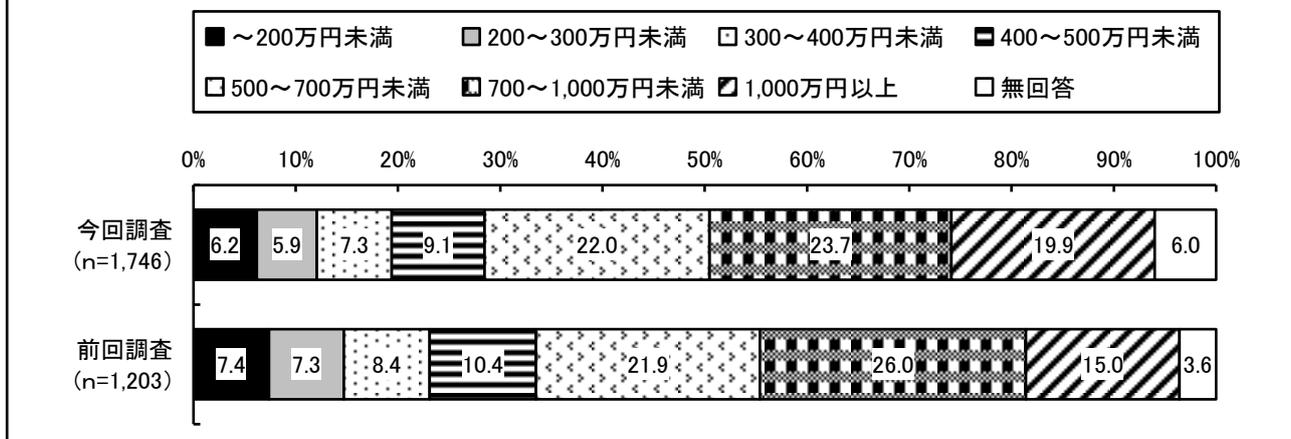
		標本数 (人)	10代	20代	30代	40代以上	回答しない	無回答
全体		1,746	6.5	0.1	6.5	84.4	1.4	1.1
子どもの世代別	中学生	913	5.8	-	9.1	83.9	0.9	0.3
	高校生世代	813	7.3	0.1	3.8	86.6	2.0	0.2
	無回答	20	5.0	-	-	20.0	-	75.0

IV 中学生・高校生等の保護者調査結果

7. 世帯年収

問7 世帯の年収をお伺いします。(○は1つ)

図表16 世帯年収



世帯の年収については、「700~1,000万円未満」の割合が23.7%で最も高く、次いで「500~700万円未満」が22.0%、「1,000万円以上」が19.9%、「400~500万円未満」が9.1%、「300~400万円未満」が7.3%、「~200万円未満」が6.2%、「200~300万円未満」が5.9%となっている。

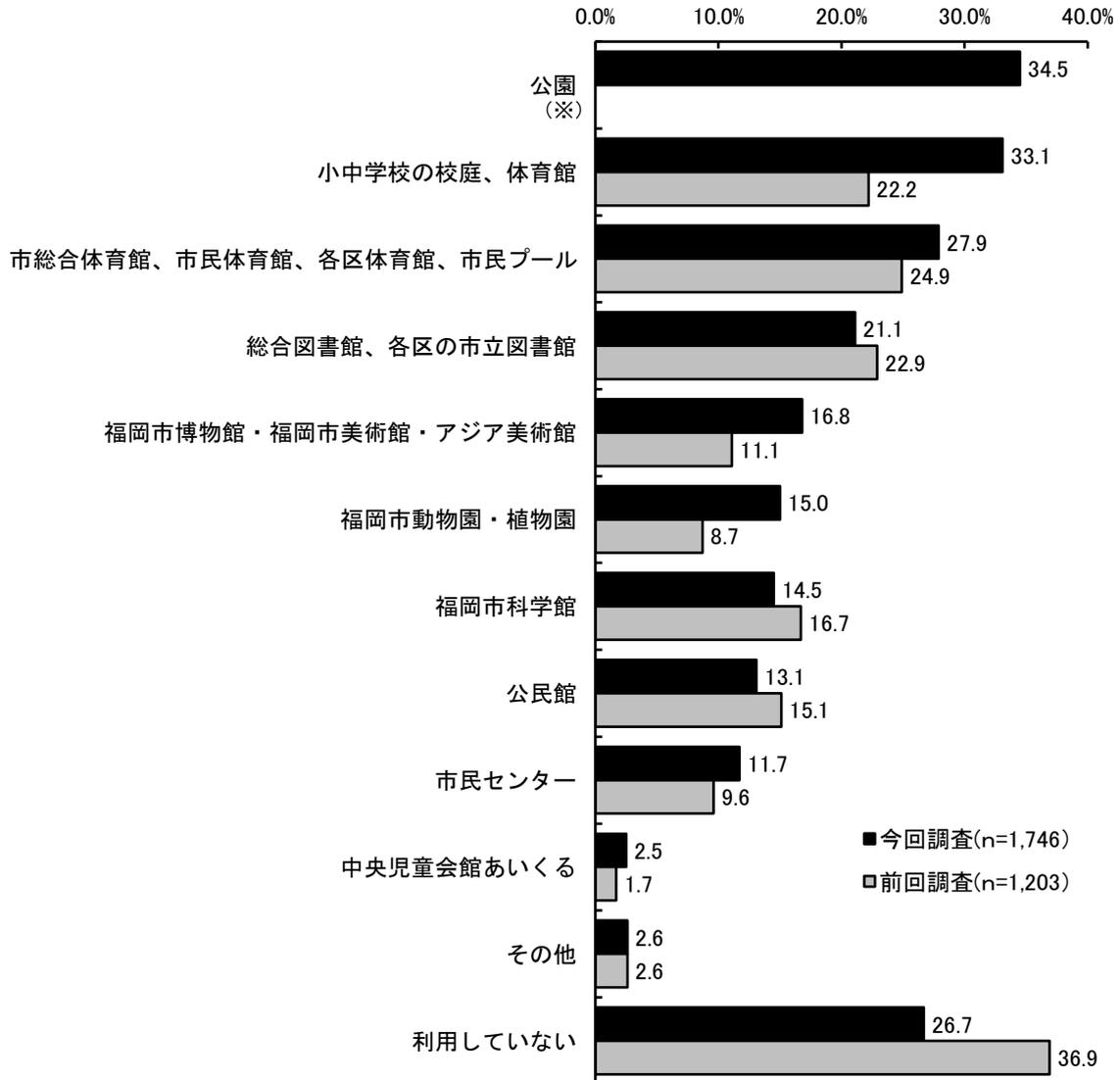
図表17 子どもの世代別 世帯年収

		標本数(人)	~200万円未満	200~300万円未満	300~400万円未満	400~500万円未満	500~700万円未満	700~1,000万円未満	1,000万円以上	無回答
全体		1,746	6.2	5.9	7.3	9.1	22.0	23.7	19.9	6.0
子どもの世代別	中学生	913	6.0	4.9	5.9	7.7	22.5	25.5	22.6	4.9
	高校生世代	813	6.4	6.9	9.0	10.9	22.0	22.0	17.2	5.5
	無回答	20	5.0	10.0	-	-	-	5.0	5.0	75.0

8. 過去1年間に子どもとともに利用した公共施設

問8 過去1年間にお子さんとともに利用した公共施設はどこですか。
(あてはまるものすべてに○)

図表18 過去1年間に子どもとともに利用した公共施設



(※)今回調査のみにある選択肢

過去1年間に子どもとともに利用した公共施設については、「公園」の割合が34.5%で最も高く、次いで「小中学校の校庭、体育館」が33.1%、「市総合体育館、市民体育館、各区体育館、市民プール」が27.9%、「総合図書館、各区の市立図書館」が21.1%、「福岡市博物館・福岡市美術館・アジア美術館」が16.8%、「福岡市動物園・植物園」が15.0%、「福岡市科学館」が14.5%、「公民館」が13.1%、「市民センター」が11.7%、「利用していない」が26.7%となっている。

選択肢に相違があるが前回調査と比較すると、「小中学校の校庭、体育館」の割合は10.9ポイント増加し、「福岡市動物園・植物園」の割合は6.3ポイント増加し、「福岡市博物館・福岡市美術館・アジア美術館」の割合は5.7ポイント増加し、「利用していない」の割合は10.2ポイント減少している。

IV 中学生・高校生等の保護者調査結果

子どもの世代別にみると、中学生では「小中学校の校庭、体育館」の割合が最も高く、高校生世代では「利用していない」の割合が最も高くなっている。

世帯分類別にみると、三世代では「市総合体育館、市民体育館、各区体育館、市民プール」、「小中学校の校庭、体育館」、「福岡市博物館・福岡市美術館・アジア美術館」、「公園」の割合が他の世帯に比べて高くなっている。

図表19 子どもの世代別、世帯分類別 過去1年間に子どもとともに利用した公共施設

(単位:%)

		標本数(人)	公民館	市民センター	総合図書館、各区の市立図書館	市、各区体育館、市民体育館	小中学校の校庭、体育館	福岡市博物館・福岡市美術館・アジア美術館	中央児童会館あいくる	福岡市科学館
全体		1,746	13.1	11.7	21.1	27.9	33.1	16.8	2.5	14.5
子どもの世代別	中学生	913	17.5	14.3	25.5	36.1	47.4	19.1	3.2	19.8
	高校生世代	813	8.4	9.0	16.6	19.3	17.8	14.5	1.7	8.7
	無回答	20	-	-	5.0	5.0	-	5.0	-	5.0
全体		1,746	13.1	11.7	21.1	27.9	33.1	16.8	2.5	14.5
世帯分類別	三世代	74	16.2	12.2	20.3	35.1	50.0	25.7	2.7	14.9
	核家族	1,360	13.5	12.2	22.0	29.0	34.1	17.3	2.8	15.0
	ひとり親	206	9.7	8.3	17.0	21.8	23.8	14.1	1.5	12.6
	ひとり親三世代	25	12.0	-	32.0	8.0	24.0	8.0	-	-
	その他	57	14.0	21.1	12.3	26.3	36.8	12.3	-	17.5
	無回答	24	4.2	-	20.8	20.8	4.2	4.2	-	8.3

(単位:%)

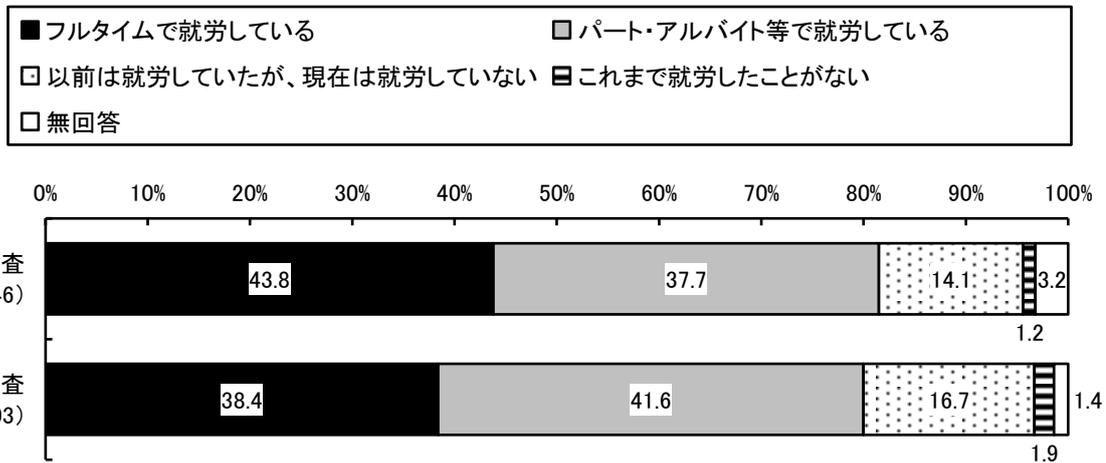
		標本数(人)	福岡市動物園・植物園	公園	その他	利用していない	無回答
全体		1,746	15.0	34.5	2.6	26.7	1.5
子どもの世代別	中学生	913	18.9	46.2	2.7	14.0	0.8
	高校生世代	813	10.8	21.9	2.5	41.5	0.6
	無回答	20	5.0	10.0	-	10.0	75.0
全体		1,746	15.0	34.5	2.6	26.7	1.5
世帯分類別	三世代	74	18.9	44.6	2.7	20.3	-
	核家族	1,360	15.3	35.3	2.6	26.6	0.6
	ひとり親	206	11.7	28.2	1.9	31.1	-
	ひとり親三世代	25	8.0	32.0	4.0	36.0	-
	その他	57	19.3	35.1	5.3	29.8	5.3
	無回答	24	12.5	12.5	-	-	66.7

第2章 保護者の就労状況について

1. 保護者の就労状況

問9 あなたの就労状況について選んでください。(○は1つ)

図表20 保護者の就労状況



調査に回答した保護者の就労状況については、「フルタイムで就労している」の割合が43.8%で最も高く、次いで「パート・アルバイト等で就労している」が37.7%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が14.1%となっている。

前回調査と比較すると、「フルタイムで就労している」の割合は5.4ポイント増加している。

調査の回答者別にみると、母親では「パート・アルバイト等で就労している」の割合が最も高く、父親では「フルタイムで就労している」の割合が最も高くなっている。

図表21 調査の回答者別、子どもの世代別 保護者の就労状況

(単位: %)

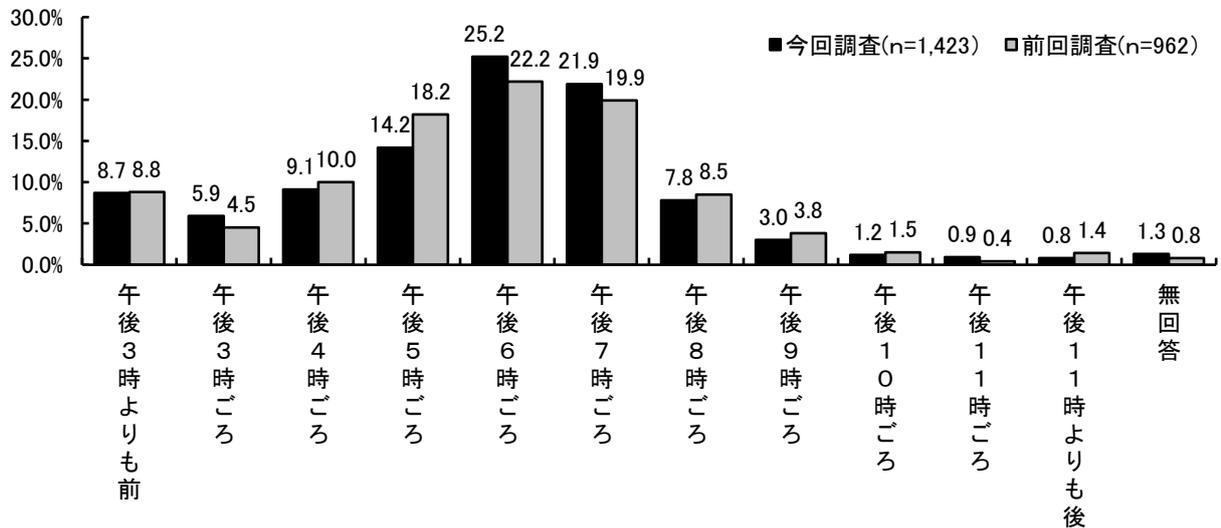
		標本数 (人)	フルタイムで就労している	パート・アルバイト等で就労している	以前は就労していたが、現在は就労していない	これまで就労したことがない	無回答
全体		1,746	43.8	37.7	14.1	1.2	3.2
調査の回答者別	母親	1,501	37.2	43.3	15.8	1.4	2.3
	父親	213	92.5	2.8	2.8	-	1.9
	祖父母	7	71.4	-	28.6	-	-
	その他	6	50.0	16.7	-	-	33.3
	無回答	19	-	10.5	5.3	-	84.2
全体		1,746	43.8	37.7	14.1	1.2	3.2
子どもの世代別	中学生	913	43.0	38.9	14.2	1.4	2.4
	高校生世代	813	45.4	37.1	14.1	1.0	2.3
	無回答	20	10.0	10.0	5.0	-	75.0

IV 中学生・高校生等の保護者調査結果

2. 保護者の平均的な帰宅時刻

問9で「1」または「2」を選んだ方にうかがいます。
問9-1 平均的な帰宅時刻について選んでください。(○は1つ)

図表22 保護者の平均的な帰宅時刻



調査に回答した保護者の平均的な帰宅時刻は、「午後6時ごろ」の割合が25.2%で最も高く、次いで「午後7時ごろ」が21.9%、「午後5時ごろ」が14.2%となっている。

保護者の就労状況別にみると、フルタイムで就労している場合では「午後7時ごろ」の割合が最も高く、パート・アルバイト等で就労している場合では「午後5時ごろ」の割合が最も高くなっている。

図表23 子どもの世代別、保護者の就労状況別 保護者の平均的な帰宅時刻

(単位: %)

	標本数(人)	午後3時よりも前	午後3時ごろ	午後4時ごろ	午後5時ごろ	午後6時ごろ	午後7時ごろ	午後8時ごろ	午後9時ごろ	午後10時ごろ	午後11時ごろ	午後11時よりも後	無回答	
全体	1,423	8.7	5.9	9.1	14.2	25.2	21.9	7.8	3.0	1.2	0.9	0.8	1.3	
子どもの世代別	中学生	748	10.4	5.6	10.8	14.3	24.7	21.0	6.6	2.1	1.6	1.1	0.9	0.8
	高校生世代	671	6.7	6.3	7.3	14.2	25.6	23.1	8.9	3.9	0.7	0.7	0.7	1.8
	無回答	4	25.0	-	-	-	25.0	-	50.0	-	-	-	-	-
全体	1,423	8.7	5.9	9.1	14.2	25.2	21.9	7.8	3.0	1.2	0.9	0.8	1.3	
保護者の就労状況別	フルタイムで就労	764	1.6	0.8	1.7	6.3	30.2	36.1	13.2	4.8	1.6	1.3	0.9	1.4
	パート・アルバイト等で就労	659	17.0	11.8	17.8	23.4	19.3	5.5	1.5	0.8	0.8	0.5	0.8	1.1

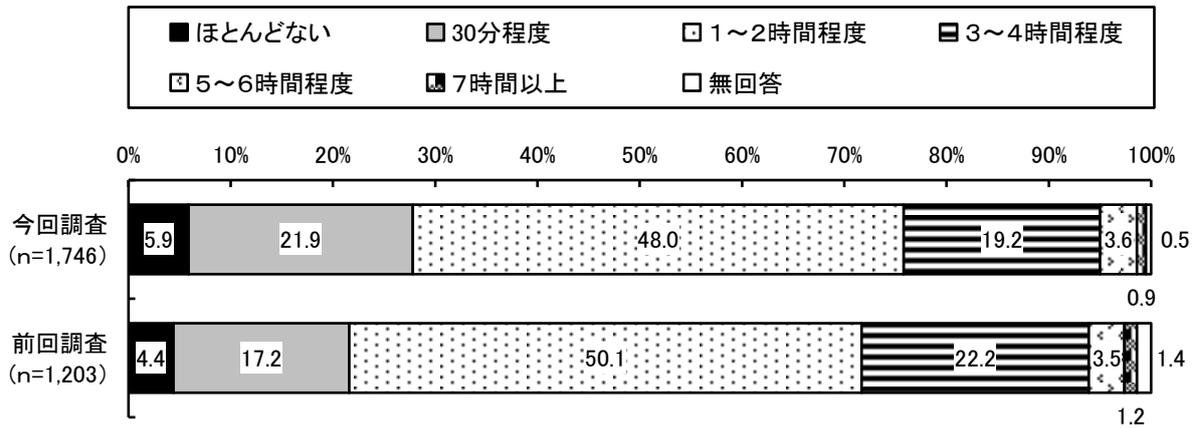
第3章 子どものことやしつけについて

1. 子どもとの過ごし方

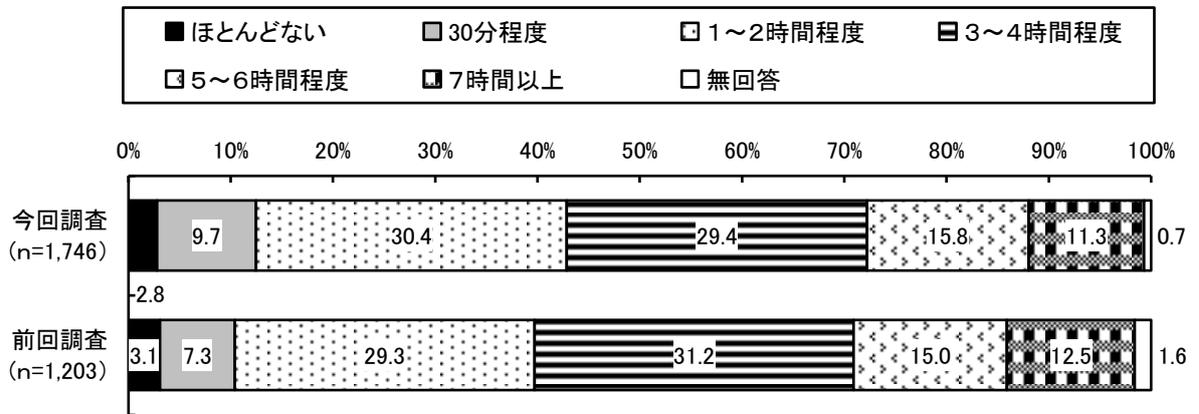
(1) 子どもと過ごす時間

問10 あなたは、あて名のお子さんと話したり、一緒に何かをしたりする時間が1日にどのくらいありますか（食事時間を含みます）。（平日・休日それぞれ〇は1つずつ）

図表24 子どもと過ごす時間（平日）



図表25 子どもと過ごす時間（休日）



平日に1日の中で子どもと一緒に過ごす時間については、「1~2時間程度」の割合が48.0%で最も高く、次いで「30分程度」が21.9%、「3~4時間程度」が19.2%となっている。

また、休日に1日の中で子どもと一緒に過ごす時間については、「1~2時間程度」の割合が30.4%で最も高く、次いで「3~4時間程度」が29.4%、「5~6時間程度」が15.8%、「7時間以上」が11.3%となっている。

IV 中学生・高校生等の保護者調査結果

子どもと過ごす時間について調査の回答者別にみると、平日、休日ともに母親では父親に比べて時間が長い傾向にある。

子どもの世代別にみると、平日、休日ともに中学生では高校生世代に比べて時間が長い傾向にある。

図表26 調査の回答者別、子どもの世代別 子どもと過ごす時間（平日）

(単位: %)

		標本数 (人)	ほとんどない	30分程度	1～2時間程度	3～4時間程度	5～6時間程度	7時間以上	無回答
全体		1,746	5.9	21.9	48.0	19.2	3.6	0.9	0.5
調査の 回答者別	母親	1,501	4.9	20.7	48.4	20.7	4.0	0.9	0.4
	父親	213	13.6	31.5	44.1	9.4	0.5	0.5	0.5
	祖父母	7	-	28.6	57.1	-	-	14.3	-
	その他	6	-	16.7	33.3	16.7	33.3	-	-
	無回答	19	-	10.5	63.2	15.8	-	-	10.5
全体		1,746	5.9	21.9	48.0	19.2	3.6	0.9	0.5
子どもの 世代別	中学生	913	4.1	20.4	48.4	21.4	4.3	1.0	0.5
	高校生世代	813	8.0	24.0	47.4	16.9	2.7	0.7	0.4
	無回答	20	5.0	10.0	55.0	15.0	10.0	-	5.0

図表27 調査の回答者別、子どもの世代別 子どもと過ごす時間（休日）

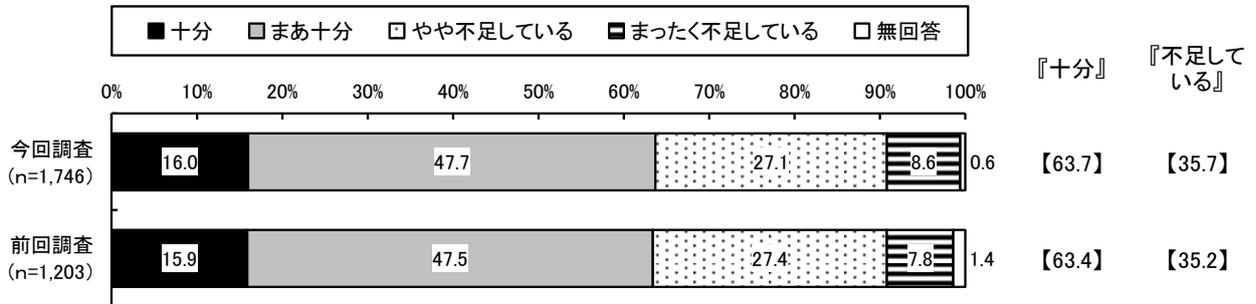
(単位: %)

		標本数 (人)	ほとんどない	30分程度	1～2時間程度	3～4時間程度	5～6時間程度	7時間以上	無回答
全体		1,746	2.8	9.7	30.4	29.4	15.8	11.3	0.7
調査の 回答者別	母親	1,501	2.5	8.8	30.0	29.4	16.4	12.2	0.7
	父親	213	5.2	16.0	34.7	27.2	11.7	5.2	-
	祖父母	7	-	14.3	28.6	42.9	-	14.3	-
	その他	6	-	16.7	-	16.7	50.0	16.7	-
	無回答	19	-	5.3	21.1	47.4	5.3	10.5	10.5
全体		1,746	2.8	9.7	30.4	29.4	15.8	11.3	0.7
子どもの 世代別	中学生	913	1.1	6.8	27.9	31.4	17.6	14.6	0.5
	高校生世代	813	4.8	13.0	33.2	26.8	13.8	7.6	0.7
	無回答	20	-	5.0	25.0	40.0	10.0	15.0	5.0

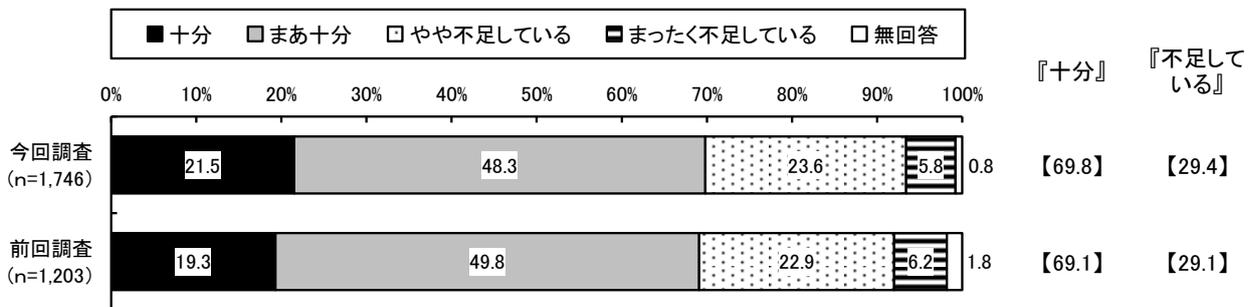
(2) 子どもと過ごす時間の評価

問11 あなたは、ご自分がお子さんと一緒に過ごしている時間は十分だと思いますか。
(平日・休日それぞれ○は1つつ)

図表28 子どもと過ごす時間の評価 (平日)



図表29 子どもと過ごす時間の評価 (休日)



平日に子どもと一緒に過ごす時間は十分かについては、『十分』（「十分」と「まあ十分」を合わせた割合）は63.7%となっている。
また、休日に子どもと一緒に過ごす時間は十分かについては、『十分』（「十分」と「まあ十分」を合わせた割合）は69.8%となっている。

平日に子どもと一緒に過ごす時間は十分かについて調査の回答者別にみると、『十分』の割合は母親で65.4%、父親で54.0%となっている。
保護者の就労状況別にみると、フルタイムで就労している場合では『不足している』の割合が他の就労状況に比べて高くなっている。
世帯分類別にみると、ひとり親及びひとり親三世代では『不足している』の割合が他の世帯に比べて高くなっている。

休日に子どもと一緒に過ごす時間は十分かについて調査の回答者別にみると、『十分』の割合は母親で70.7%、父親で63.4%となっている。
保護者の就労状況別にみると、フルタイムで就労している場合では『不足している』の割合が他の就労状況に比べて高くなっている。
世帯分類別にみると、ひとり親三世代では『不足している』の割合が他の世帯に比べて高くなっている。

図表30 調査の回答者別、保護者の就労状況別、世帯分類別
子どもと過ごす時間の評価（平日）

(単位:%)

		標本数(人)	十分	まあ十分	やや不足している	まったく不足している	無回答	『十分』	『不足している』
全体		1,746	16.0	47.7	27.1	8.6	0.6	63.7	35.7
調査の回答者別	母親	1,501	16.9	48.5	26.2	7.9	0.5	65.4	34.1
	父親	213	8.5	45.5	31.5	14.1	0.5	54.0	45.6
	祖父母	7	28.6	14.3	57.1	-	-	42.9	57.1
	その他	6	66.7	-	33.3	-	-	66.7	33.3
	無回答	19	10.5	36.8	36.8	5.3	10.5	47.3	42.1
全体		1,746	16.0	47.7	27.1	8.6	0.6	63.7	35.7
保護者の就労状況別	フルタイムで就労	764	11.3	40.2	34.7	13.4	0.5	51.5	48.1
	パート・アルバイト等で就労	659	18.1	55.2	21.4	4.7	0.6	73.3	26.1
	以前は就労していたが、現在は就労していない	246	23.2	52.8	19.1	4.9	-	76.0	24.0
	これまで就労したことがない	21	42.9	38.1	14.3	4.8	-	81.0	19.1
	無回答	56	16.1	42.9	30.4	7.1	3.6	59.0	37.5
全体		1,746	16.0	47.7	27.1	8.6	0.6	63.7	35.7
世帯分類別	三世帯	74	16.2	51.4	25.7	6.8	-	67.6	32.5
	核家族	1,360	16.8	49.4	26.0	7.3	0.5	66.2	33.3
	ひとり親	206	11.2	40.3	32.5	16.0	-	51.5	48.5
	ひとり親三世帯	25	16.0	24.0	44.0	16.0	-	40.0	60.0
	その他	57	17.5	42.1	24.6	14.0	1.8	59.6	38.6
	無回答	24	12.5	41.7	33.3	4.2	8.3	54.2	37.5

図表31 調査の回答者別、保護者の就労状況別、世帯分類別
子どもと過ごす時間の評価（休日）

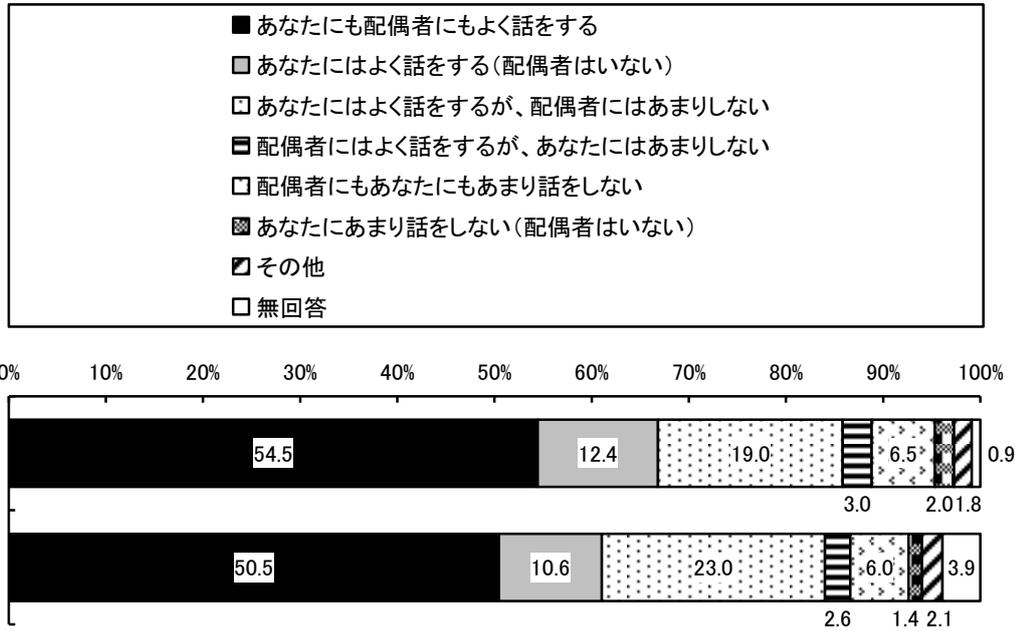
(単位:%)

		標本数(人)	十分	まあ十分	やや不足している	まったく不足している	無回答	『十分』	『不足している』
全体		1,746	21.5	48.3	23.6	5.8	0.8	69.8	29.4
調査の回答者別	母親	1,501	22.9	47.8	23.3	5.3	0.7	70.7	28.6
	父親	213	10.8	52.6	26.3	9.4	0.9	63.4	35.7
	祖父母	7	14.3	42.9	42.9	-	-	57.2	42.9
	その他	6	66.7	33.3	-	-	-	100.0	-
	無回答	19	15.8	52.6	15.8	5.3	10.5	68.4	21.1
全体		1,746	21.5	48.3	23.6	5.8	0.8	69.8	29.4
保護者の就労状況別	フルタイムで就労	764	16.8	47.6	27.4	7.5	0.8	64.4	34.9
	パート・アルバイト等で就労	659	22.9	49.9	21.9	4.4	0.9	72.8	26.3
	以前は就労していたが、現在は就労していない	246	28.5	47.2	19.5	4.9	-	75.7	24.4
	これまで就労したことがない	21	57.1	42.9	-	-	-	100.0	-
	無回答	56	25.0	46.4	19.6	5.4	3.6	71.4	25.0
全体		1,746	21.5	48.3	23.6	5.8	0.8	69.8	29.4
世帯分類別	三世帯	74	23.0	45.9	24.3	6.8	-	68.9	31.1
	核家族	1,360	21.9	49.7	22.1	5.6	0.7	71.6	27.7
	ひとり親	206	18.4	44.2	30.1	6.8	0.5	62.6	36.9
	ひとり親三世帯	25	20.0	24.0	52.0	4.0	-	44.0	56.0
	その他	57	22.8	42.1	26.3	7.0	1.8	64.9	33.3
	無回答	24	16.7	54.2	16.7	4.2	8.3	70.9	20.9

(3) 子どもとの会話の頻度

問12 あて名のお子さんは、あなたやあなたの配偶者と日ごろよく話をしますか。(○は1つ)

図表32 子どもとの会話の頻度



子どもとの会話の頻度については、「あなたにも配偶者にもよく話をする」の割合が54.5%で最も高く、次いで「あなたにはよく話をするが、配偶者にはあまりしない」が19.0%、「あなたにはよく話をする(配偶者はいない)」が12.4%となっている。

調査の回答者別にみると、母親では「あなたにはよく話をするが、配偶者にはあまりしない」の割合が父親に比べて18.0ポイント高くなっている。

世帯年収別にみると、世帯年収別が高い世帯ほど「あなたにも配偶者にもよく話をする」の割合が高くなっている。

図表33 調査の回答者別、子どもの世代別、世帯年収別 子どもとの会話の頻度

		標本数(人)	あなたにも配偶者にもよく話をする	あなたにはよく話をする(配偶者はいない)	あなたにはよく話をするが、配偶者にはあまりしない	配偶者にはよく話をするが、あなたにはあまりしない	配偶者にもあなたにもあまり話をしない	あなたにあまり話をしない(配偶者はいない)	その他	無回答
全体		1,746	54.5	12.4	19.0	3.0	6.5	2.0	1.8	0.9
調査の回答者別	母親	1,501	54.0	13.1	21.3	0.9	6.1	1.9	1.8	0.9
	父親	213	59.6	5.6	3.3	17.8	9.9	2.3	1.4	-
	祖父母	7	14.3	57.1	-	-	-	14.3	14.3	-
	その他	6	66.7	16.7	16.7	-	-	-	-	-
	無回答	19	52.6	10.5	21.1	-	5.3	-	-	10.5
全体		1,746	54.5	12.4	19.0	3.0	6.5	2.0	1.8	0.9
子どもの世代別	中学生	913	58.7	10.7	18.5	2.8	5.9	1.1	1.2	1.0
	高校生世代	813	49.7	14.5	19.3	3.2	7.1	3.0	2.5	0.7
	無回答	20	60.0	-	25.0	-	5.0	5.0	-	5.0
全体		1,746	54.5	12.4	19.0	3.0	6.5	2.0	1.8	0.9
世帯年収別	200万円未満	108	13.9	58.3	13.0	0.9	1.9	10.2	0.9	0.9
	200～300万円未満	103	26.2	47.6	11.7	1.9	2.9	6.8	2.9	-
	300～400万円未満	127	46.5	24.4	14.2	4.7	3.9	5.5	-	0.8
	400～500万円未満	159	56.0	12.6	17.6	2.5	6.3	1.9	1.9	1.3
	500～700万円未満	384	58.3	6.3	20.6	4.2	7.3	1.0	1.8	0.5
	700～1,000万円未満	413	62.5	4.1	20.1	3.1	7.5	0.5	1.7	0.5
	1,000万円以上	347	63.1	2.6	20.7	2.6	7.2	0.3	2.3	1.2
	無回答	105	58.1	2.9	23.8	1.0	8.6	-	1.9	3.8

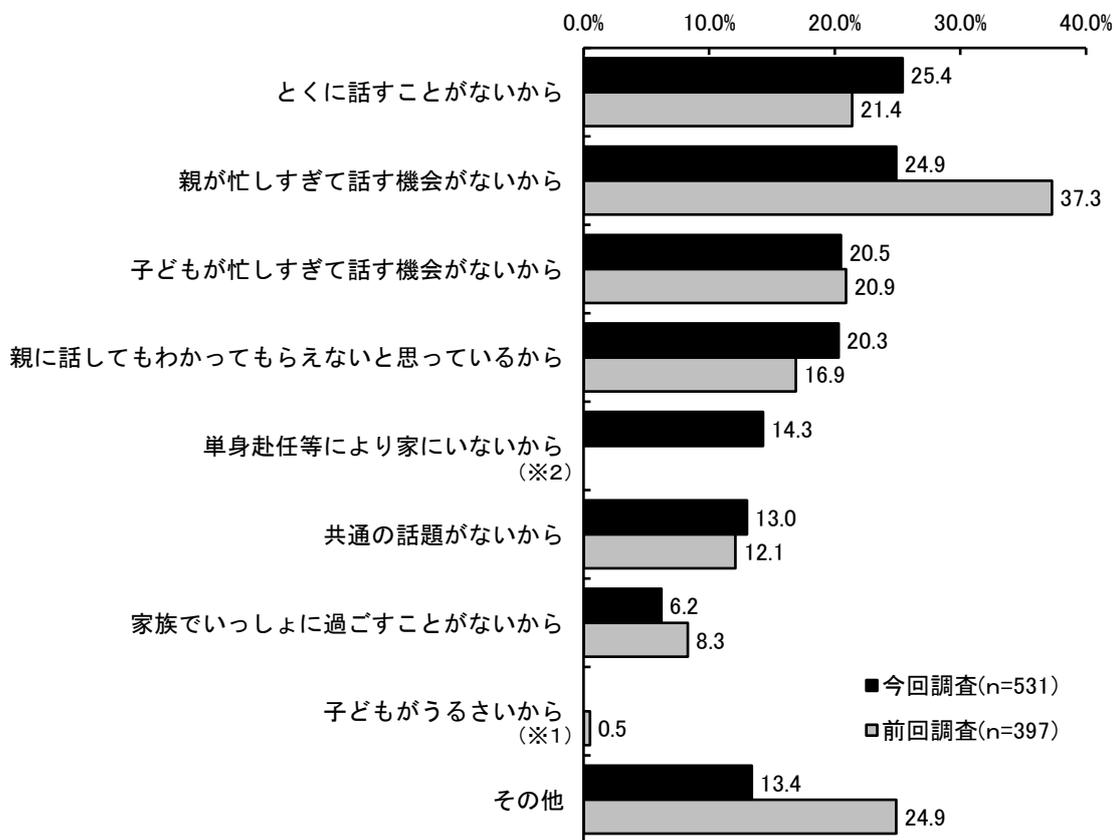
(4) 子どもとあまり話をしない理由

問12で「3」～「6」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。

問12-1 お子さんが、あなたや配偶者の方とあまり話をしない理由は何ですか。

(○は2つまで)

図表34 子どもとあまり話をしない理由



(※1) 前回調査のみにある選択肢

(※2) 今回調査のみにある選択肢

子どもとあまり話をしない理由については、「とくに話すことがないから」の割合が25.4%で最も高く、次いで「親が忙しすぎて話す機会がないから」が24.9%、「子どもが忙しすぎて話す機会がないから」が20.5%、「親に話してもわかってもらえないと思っているから」が20.3%、「単身赴任等により家にいないから」が14.3%、「共通の話題がないから」が13.0%となっている。

選択肢に相違があるが前回調査と比較すると、「親が忙しすぎて話す機会がないから」の割合は12.4ポイント減少している。

調査の回答者別にみると、母親では「とくに話すことがないから」の割合が最も高く、父親では「親が忙しすぎて話す機会がないから」の割合が最も高くなっている。

子どもの世代別にみると、高校生世代では「子どもが忙しすぎて話す機会がないから」の割合が中学生に比べて13.6ポイント高くなっている。

図表35 調査の回答者別、子どもの世代別 子どもとあまり話をしない理由

(単位:%)

		標本数(人)	親が忙しすぎて話す機会がないから	子どもが忙しすぎて話す機会がないから	共通の話題がないから	とくに話すことがないから	親に話してもわかっていないか	単身赴任等により家にいないから	家族でいっしょに過ごすことがないから	その他	無回答
全体		531	24.9	20.5	13.0	25.4	20.3	14.3	6.2	13.4	2.3
調査の回答者別	母親	453	24.1	20.8	12.4	25.8	20.8	16.1	6.0	13.7	1.5
	父親	71	29.6	21.1	18.3	22.5	18.3	2.8	7.0	11.3	7.0
	祖父母	1	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-
	その他	1	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-
	無回答	5	40.0	-	-	40.0	-	20.0	20.0	-	-
全体		531	24.9	20.5	13.0	25.4	20.3	14.3	6.2	13.4	2.3
子どもの世代別	中学生	259	26.3	13.9	12.0	24.3	20.5	17.4	5.8	14.3	2.3
	高校生世代	265	23.4	27.5	14.3	26.4	20.4	11.3	6.4	12.5	2.3
	無回答	7	28.6	-	-	28.6	14.3	14.3	14.3	14.3	-

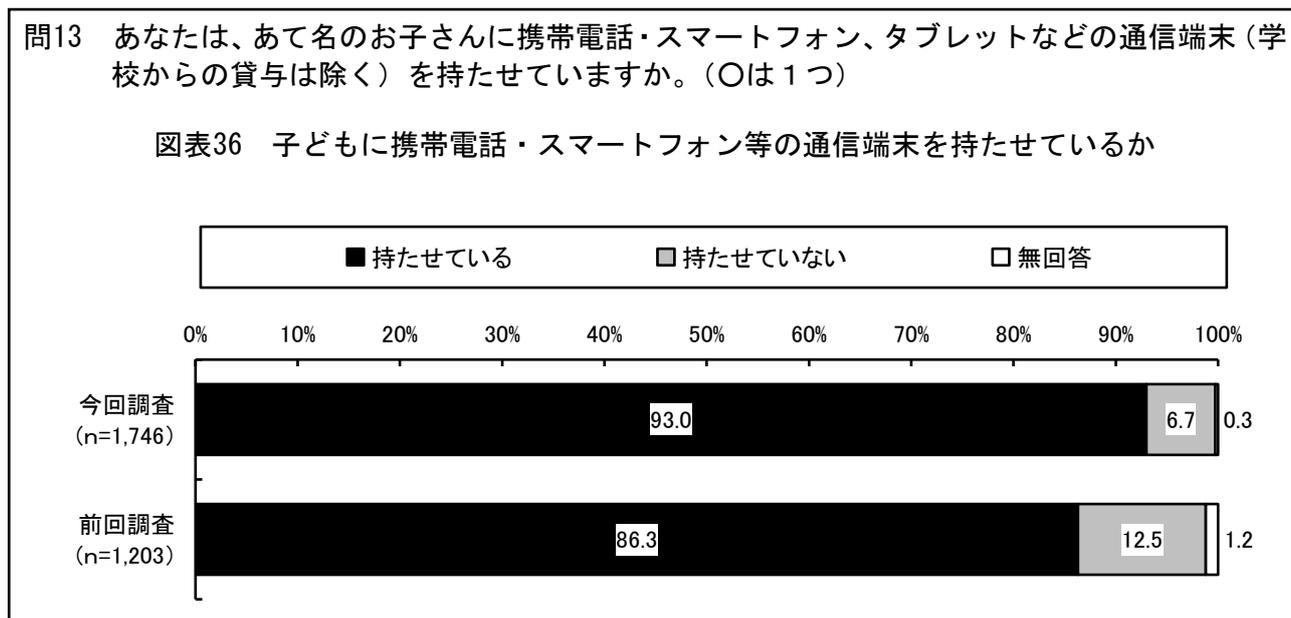
IV 中学生・高校生等の保護者調査結果

2. 携帯電話やインターネットの使用状況について

(1) 子どもに携帯電話・スマートフォン等の通信端末を持たせているか

問13 あなたは、あて名のお子さんに携帯電話・スマートフォン、タブレットなどの通信端末（学校からの貸与は除く）を持たせていますか。（○は1つ）

図表36 子どもに携帯電話・スマートフォン等の通信端末を持たせているか



子どもに携帯電話・スマートフォン等の通信端末を持たせているかについては、「持たせている」の割合が93.0%となっている。

前回調査と比較すると、「持たせている」の割合は6.7ポイント増加している。

子どもの世代別にみると、「持たせている」の割合は中学生で87.7%、高校生世代で98.9%となっている。

図表37 子どもの世代別 子どもに携帯電話・スマートフォン等の通信端末を持たせているか

(単位: %)

		標本数(人)	持たせている	持たせていない	無回答
全体		1,746	93.0	6.7	0.3
子どもの世代別	中学生	913	87.7	11.8	0.4
	高校生世代	813	98.9	1.0	0.1
	無回答	20	90.0	5.0	5.0

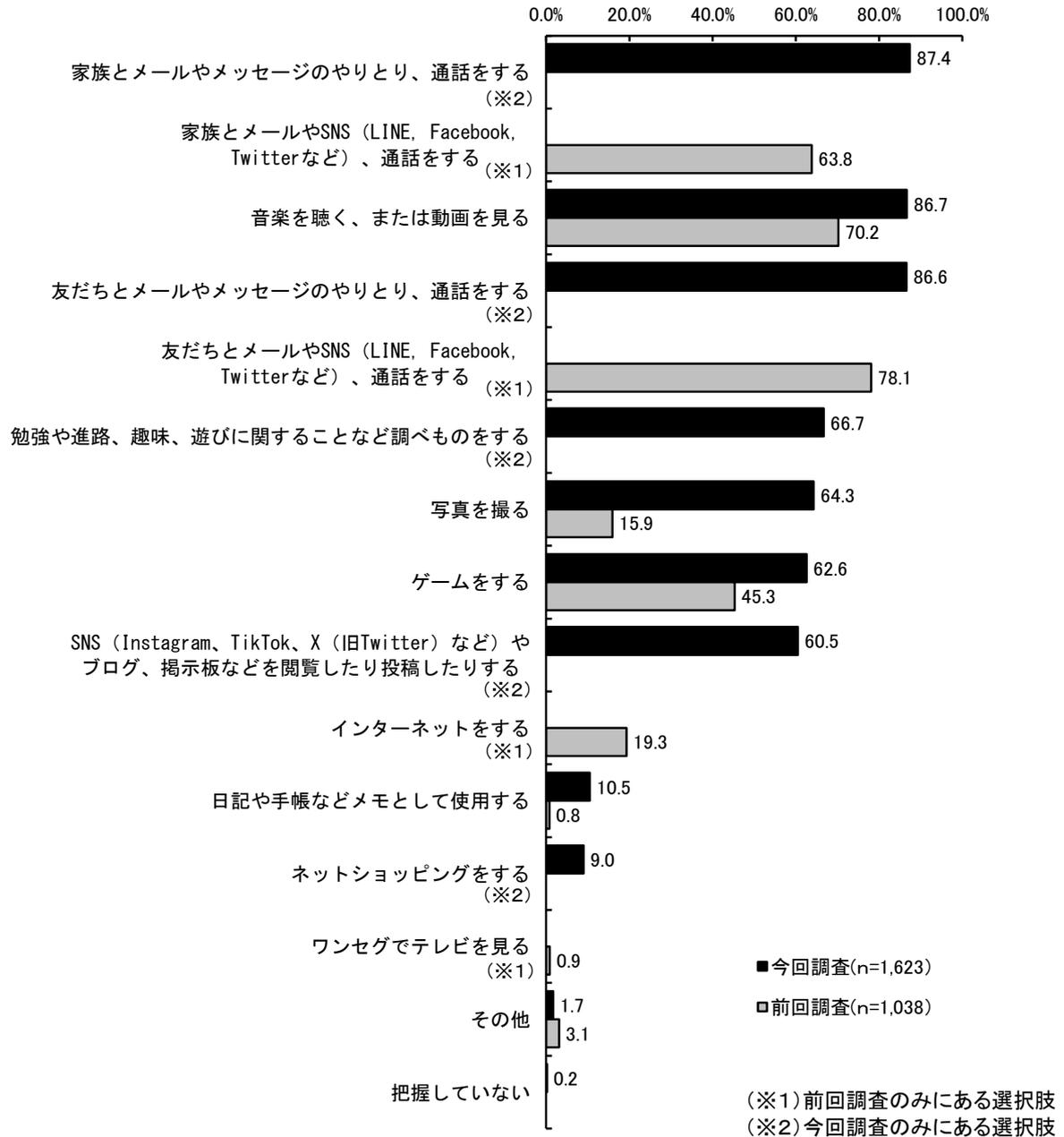
(2) 携帯電話やスマートフォン等の通信端末の使用目的

問13で「1. 持たせている」を選んだ方にうかがいます。

問13-1 あて名のお子さんは、携帯電話やスマートフォンやタブレットなどをどのような目的で使うことが多いですか。ご存知の範囲でお答えください。

(あてはまるものすべてに○)

図表38 携帯電話やスマートフォン等の通信端末の使用目的



携帯電話やスマートフォン等の通信端末の使用目的としては、「家族とメールやメッセージのやりとり、通話をする」の割合が87.4%で最も高く、次いで「音楽を聴く、または動画を見る」が86.7%、「友だちとメールやメッセージのやりとり、通話をする」が86.6%、「勉強や進路、趣味、遊びに関することなど調べものをする」が66.7%、「写真を撮る」が64.3%、「ゲームをする」が62.6%、「SNS (Instagram、TikTok、X (旧 Twitter) など) やブログ、掲示板などを閲覧したり投稿したりする」が60.5%、「日記や手帳などメモとして使用する」が10.5%となっている。

IV 中学生・高校生等の保護者調査結果

子どもの世代別にみると、高校生世代では「SNS (Instagram、TikTok、X (旧 Twitter) など) やブログ、掲示板などを閲覧したり投稿したりする」、「勉強や進路、趣味、遊びに関することなど調べものをする」、「ネットショッピングをする」の割合が中学生に比べて10ポイント以上高くなっている。

図表39 子どもの世代別、世帯分類別 携帯電話やスマートフォン等の通信端末の使用目的

(単位: %)

		標本数 (人)	家族とメールやメッセージを送る	友達とメールやメッセージを送る	等 (SNS (Instagram、TikTok、X (旧 Twitter) など) やブログ、掲示板などを閲覧・投稿したりする)	ゲームをする	音楽を聴く、または動画を見る	勉強や進路、趣味、遊びに関することなど調べものをする	写真を撮る	日記や手帳などメモとして使用する
全体		1,623	87.4	86.6	60.5	62.6	86.7	66.7	64.3	10.5
子どもの世代別	中学生	801	86.1	82.1	50.2	61.3	81.9	58.7	60.8	6.9
	高校生世代	804	88.6	91.5	71.8	64.2	91.9	75.2	68.5	14.4
	無回答	18	94.4	61.1	16.7	50.0	66.7	38.9	33.3	-
全体		1,623	87.4	86.6	60.5	62.6	86.7	66.7	64.3	10.5
世帯分類別	三世代	68	86.8	83.8	61.8	75.0	91.2	57.4	52.9	5.9
	核家族	1,260	87.5	86.8	59.7	60.9	86.7	67.6	64.8	10.5
	ひとり親	199	87.9	86.4	65.8	69.3	86.4	66.3	63.3	11.6
	ひとり親三世代	23	82.6	82.6	60.9	69.6	87.0	56.5	73.9	26.1
	その他	53	81.1	90.6	69.8	66.0	86.8	67.9	73.6	7.5
	無回答	20	100.0	75.0	30.0	45.0	75.0	50.0	45.0	10.0

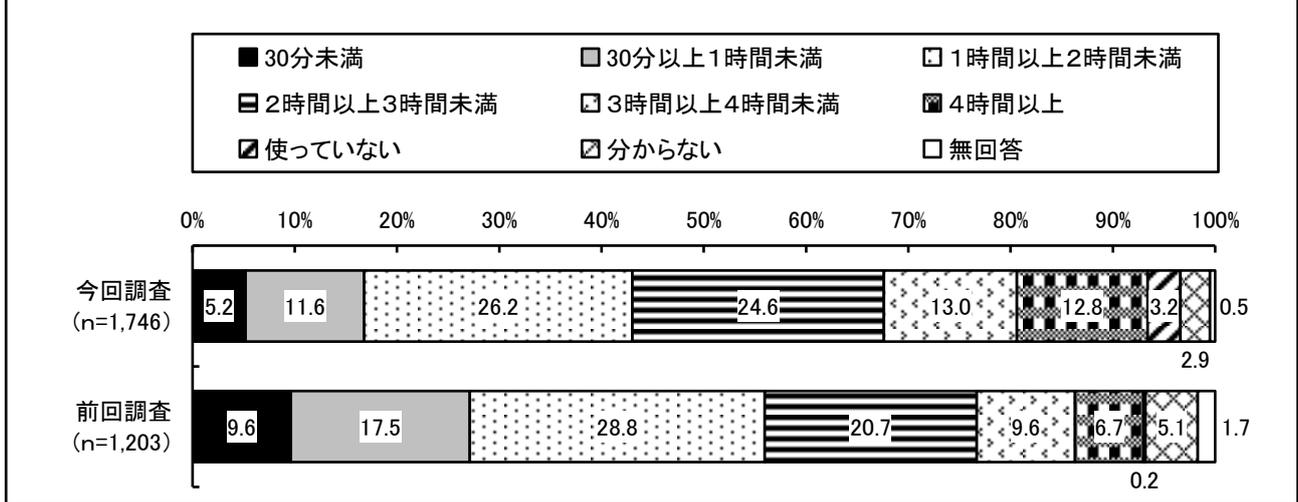
(単位: %)

		標本数 (人)	ネットショッピングをする	その他	把握していない	無回答
全体		1,623	9.0	1.7	0.2	0.1
子どもの世代別	中学生	801	2.2	1.2	-	-
	高校生世代	804	15.9	2.2	0.4	0.2
	無回答	18	-	-	-	-
全体		1,623	9.0	1.7	0.2	0.1
世帯分類別	三世代	68	2.9	2.9	-	-
	核家族	1,260	9.0	1.1	0.2	0.2
	ひとり親	199	10.6	5.5	-	-
	ひとり親三世代	23	13.0	-	-	-
	その他	53	9.4	1.9	-	-
	無回答	20	5.0	-	-	-

(3) 子どものインターネットやSNSの使用時間

問14① あて名のお子さんは、平日1日あたりどれくらいインターネットや SNS (Instagram、TikTok、X (旧 Twitter) など) を使用していますか。ご存知の範囲でお答えください。(〇は1つ)

図表40 子どものインターネットやSNSの使用時間



子どものインターネットやSNSの使用時間については、「1時間以上2時間未満」の割合が26.2%で最も高く、次いで「2時間以上3時間未満」が24.6%、「3時間以上4時間未満」が13.0%、「4時間以上」が12.8%、「30分以上1時間未満」が11.6%となっている。

前回調査と比較すると、「4時間以上」の割合は6.1ポイント増加し、「30分以上1時間未満」の割合は5.9ポイント減少している。

子どもの世代別にみると、中学生よりも高校生世代で使用時間が長い傾向にある。

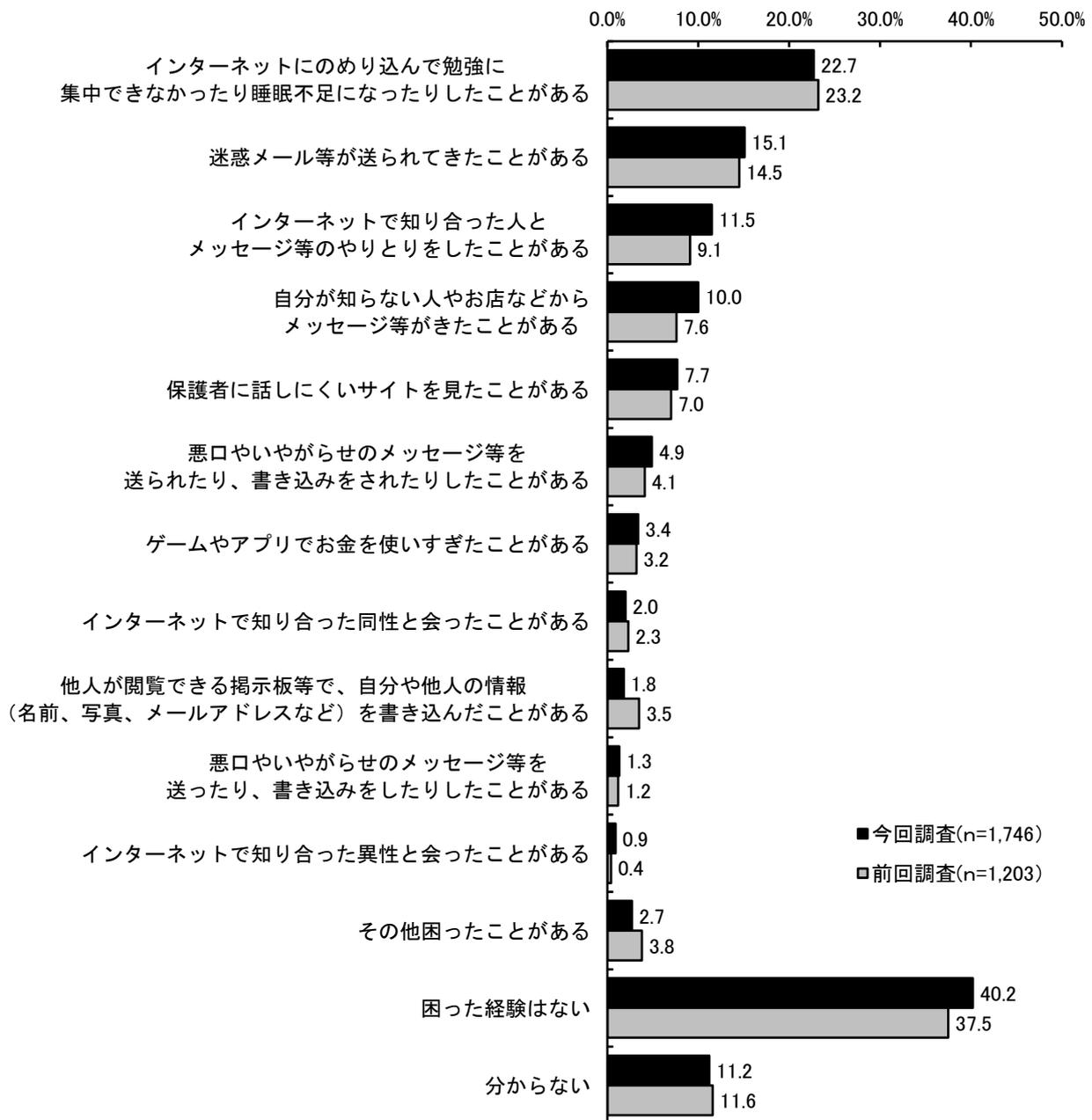
図表41 子どもの世代別 子どものインターネットやSNSの使用時間

		標本数(人)	30分未満	30分以上1時間未満	1時間以上2時間未満	2時間以上3時間未満	3時間以上4時間未満	4時間以上	使っていない	分からない	無回答
全体		1,746	5.2	11.6	26.2	24.6	13.0	12.8	3.2	2.9	0.5
子どもの世代別	中学生	913	6.8	14.9	29.9	23.0	10.4	8.8	4.4	1.4	0.4
	高校生世代	813	3.2	8.0	22.3	26.7	15.7	17.6	1.5	4.7	0.4
	無回答	20	15.0	5.0	15.0	15.0	20.0	5.0	20.0	-	5.0

(4) 子どものインターネット上やSNS上での経験

問14② あて名のお子さんは、インターネットや SNS (Instagram、TikTok、X (旧 Twitter) など) を使っていて以下のようなことを経験したことはありますか。ご存知の範囲でお答えください。(あてはまるものすべてに○)

図表42 子どものインターネット上やSNS上での経験



子どものインターネット上やSNS上での経験については、「困つた経験はない」の割合が40.2%で最も高く、次いで「インターネットにのめり込んで勉強に集中できなかつたり睡眠不足になつたりしたことがある」が22.7%、「迷惑メール等が送られてきたことがある」が15.1%、「インターネットで知り合った人とメッセージ等のやりとりをしたことがある」が11.5%となっている。

子どもの世代別にみると、高校生世代では「迷惑メール等が送られてきたことがある」の割合が中学生に比べて8.4ポイント高くなっている。

子どもの性・世代別にみると、高校生世代の女性では「迷惑メール等が送られてきたことがある」の割合が他の性・世代に比べて高くなっている。

図表43 子どもの世代別、子どもの性・世代別 子どものインターネット上やSNS上での経験

(単位:%)

		標本数(人)	迷惑メール等が送られてきたことがある	悪口やいやがらせのメッセージを送られたり、書き込みをされたりしたことがある	悪口やいやがらせのメッセージを送ったりしたこと	他人が閲覧できる掲示板(名前、写真など)を書き込んだことがある	他人が閲覧できる掲示板	保護者に話しにくいサイトをみたことがある	ゲームやアプリでお金を使いすぎたことがある	自分が知らない人やお店などからメッセージ等がきたことがある	迷惑メール等が送られてきたことがある	インターネット上で知り合いとやりとりをしたことがある
全体		1,746	4.9	1.3	1.8	7.7	3.4	10.0	15.1	11.5		
子どもの世代別	中学生	913	4.4	1.2	1.9	8.9	2.8	8.3	11.3	9.3		
	高校生世代	813	5.4	1.4	1.8	6.5	3.9	12.2	19.7	14.1		
	無回答	20	5.0	-	-	-	5.0	-	5.0	5.0		
全体		1,746	4.9	1.3	1.8	7.7	3.4	10.0	15.1	11.5		
子どもの性・世代別	中学生:男性	404	3.0	1.7	1.5	11.4	4.2	5.2	10.6	8.7		
	中学生:女性	415	5.5	1.0	2.4	6.3	1.4	10.4	11.6	9.9		
	中学生:その他	3	33.3	-	-	33.3	-	-	-	33.3		
	高校生世代:男性	376	5.6	1.1	2.1	9.8	6.4	10.6	15.4	13.0		
	高校生世代:女性	337	5.0	1.8	1.8	2.4	0.9	14.8	24.6	15.7		
	高校生世代:その他	4	25.0	-	-	25.0	-	-	25.0	25.0		
	無回答	207	4.8	0.5	1.0	7.2	4.3	10.1	15.0	10.1		

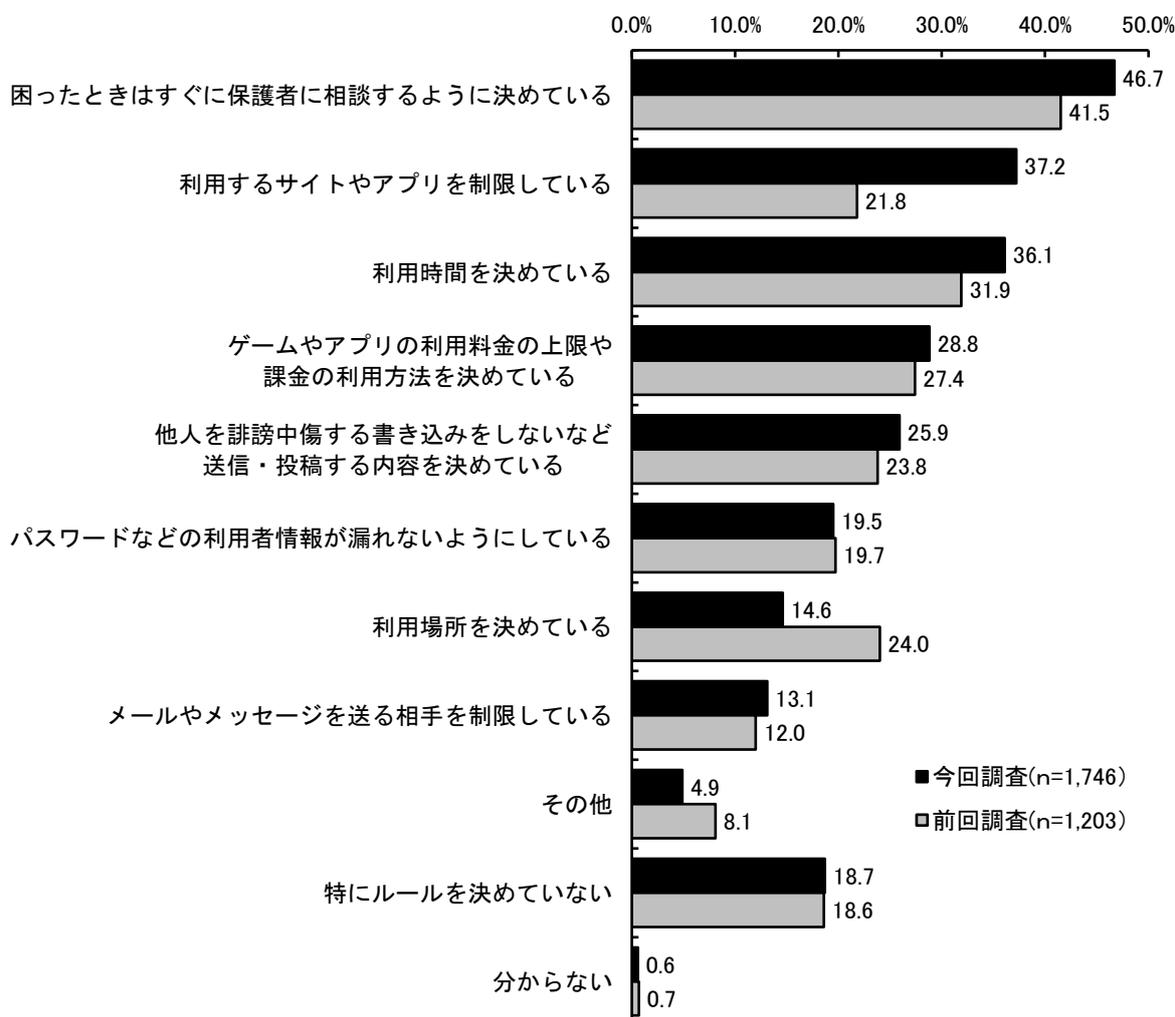
(単位:%)

		標本数(人)	インターネットで知り合った同性と会ったことがある	インターネットで知り合った異性と会ったことがある								
全体		1,746	2.0	0.9	22.7	2.7	40.2	11.2	2.6			
子どもの世代別	中学生	913	0.8	0.1	23.7	3.3	42.8	8.2	2.8			
	高校生世代	813	3.3	1.6	21.8	2.1	37.4	14.3	2.0			
	無回答	20	5.0	5.0	15.0	5.0	35.0	20.0	15.0			
全体		1,746	2.0	0.9	22.7	2.7	40.2	11.2	2.6			
子どもの性・世代別	中学生:男性	404	0.5	-	21.3	3.5	40.3	10.4	3.7			
	中学生:女性	415	1.2	0.2	25.1	2.4	45.1	6.5	2.2			
	中学生:その他	3	-	-	33.3	-	33.3	-	-			
	高校生世代:男性	376	1.3	1.6	22.9	1.6	35.4	18.1	2.7			
	高校生世代:女性	337	5.9	2.1	21.1	2.4	38.6	10.4	1.2			
	高校生世代:その他	4	-	-	25.0	-	50.0	-	-			
	無回答	207	1.4	0.5	22.7	4.8	41.5	11.1	3.4			

(5) 家庭でのインターネットやSNSの使い方のルール

問15 あなたの家では、インターネットやSNS（Instagram、TikTok、X（旧Twitter）など）の使い方について何かルールはありますか。（あてはまるものすべてに○）

図表44 家庭でのインターネットやSNSの使い方のルール



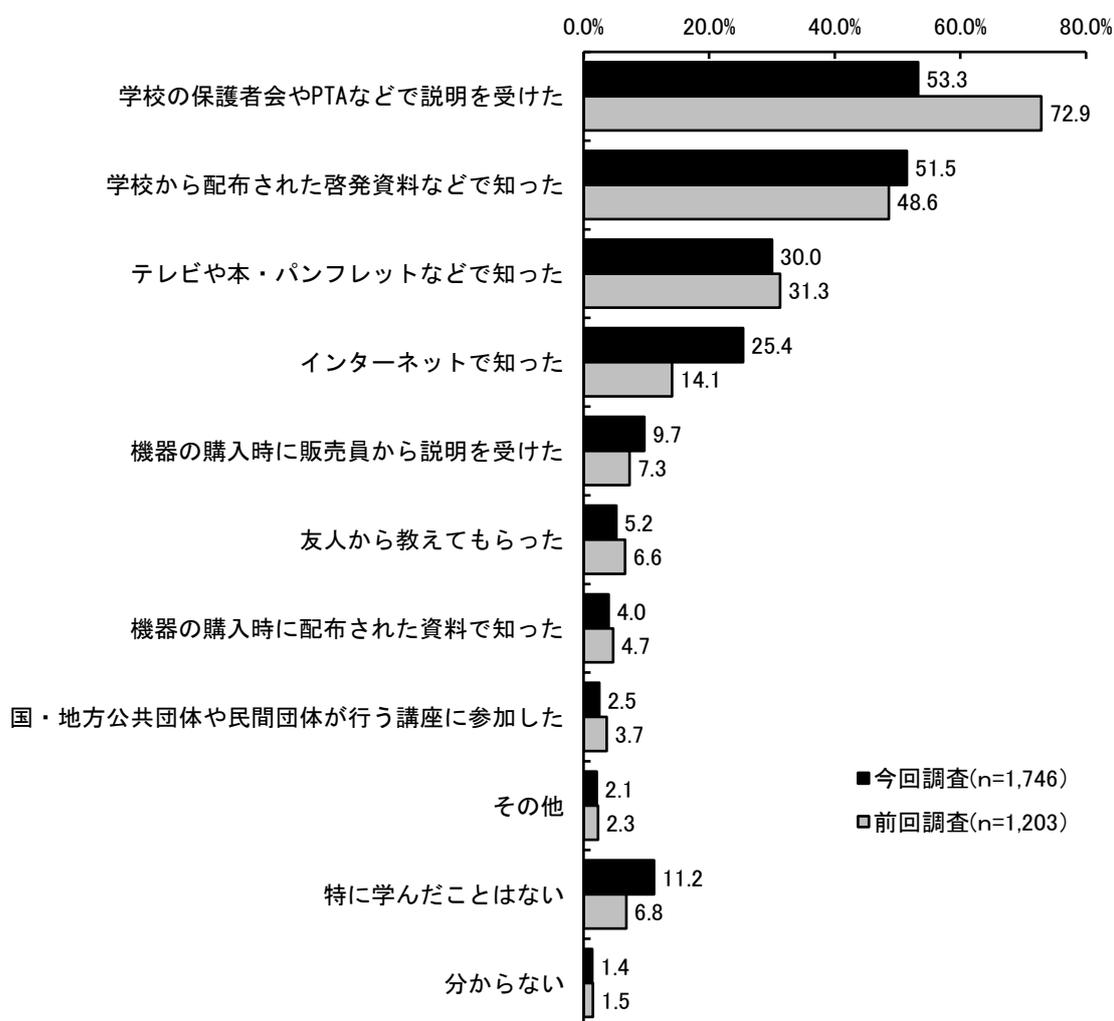
家庭でのインターネットやSNSの使い方のルールについては、「困ったときはすぐに保護者に相談するように決めている」の割合が46.7%で最も高く、次いで「利用するサイトやアプリを制限している」が37.2%、「利用時間を決めている」が36.1%、「ゲームやアプリの利用料金の上限や課金の利用方法を決めている」が28.8%、「他人を誹謗中傷する書き込みをしないなど送信・投稿する内容を決めている」が25.9%、「パスワードなどの利用者情報が漏れないようにしている」が19.5%、「特にルールを決めていない」が18.7%、「利用場所を決めている」が14.6%、「メールやメッセージを送る相手を制限している」が13.1%となっている。

前回調査と比較すると、「利用するサイトやアプリを制限している」の割合は15.4ポイント増加し、「困ったときはすぐに保護者に相談するように決めている」の割合は5.2ポイント増加し、「利用場所を決めている」の割合は9.4ポイント減少している。

(6) インターネットの危険性について学んだ経験

問16 あなたは、青少年に不適切なサイト（出会い系やアダルトサイトなど）やネットいじめの問題などインターネットの危険性について、これまでに説明を受けたり学んだりしたことがありますか。（あてはまるものすべてに○）

図表45 インターネットの危険性について学んだ経験



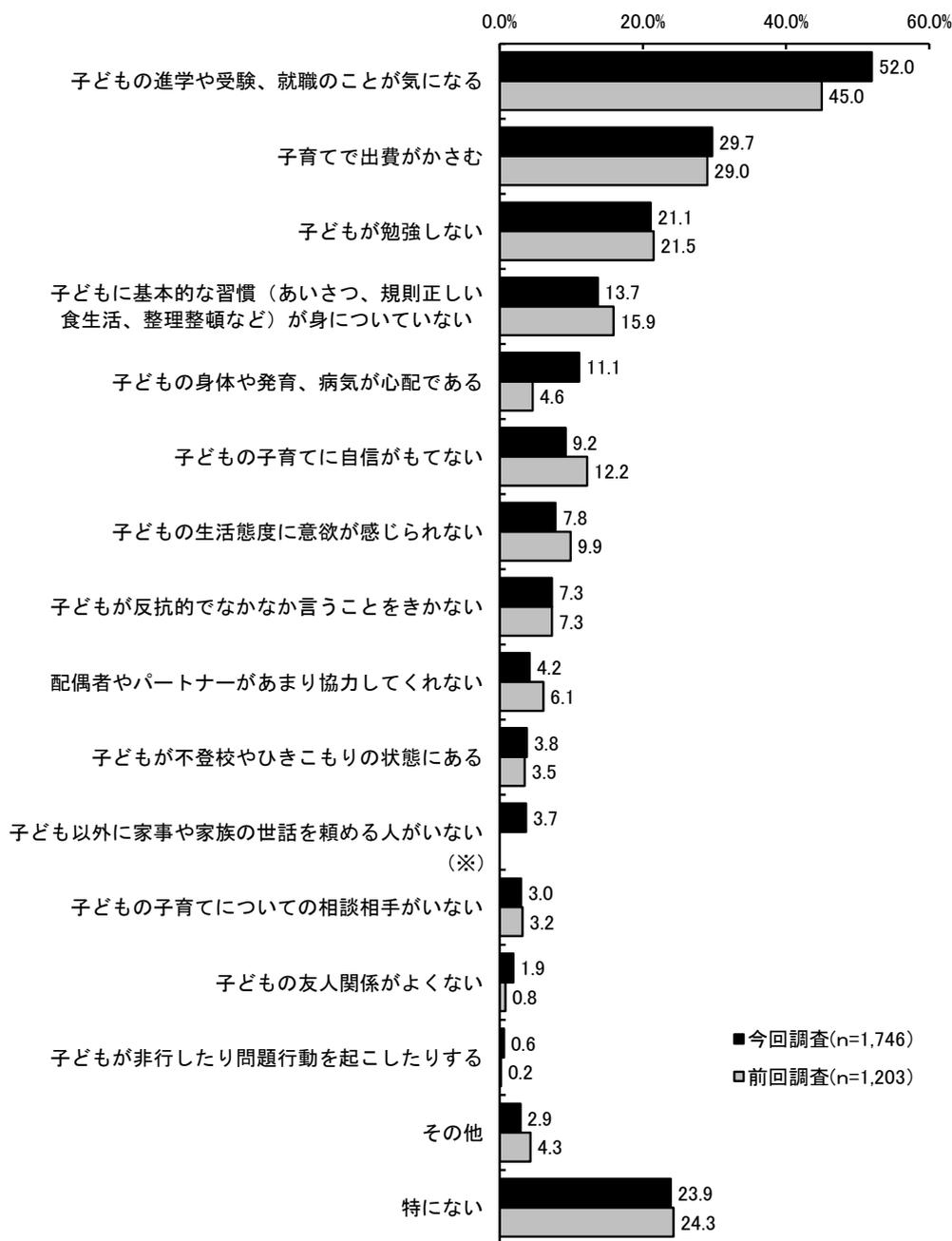
インターネットの危険性について学んだ経験については、「学校の保護者会や PTA など説明を受けた」の割合が53.3%で最も高く、次いで「学校から配布された啓発資料などで知った」が51.5%、「テレビや本・パンフレットなどで知った」が30.0%、「インターネットで知った」が25.4%、「特に学んだことはない」が11.2%となっている。

前回調査と比較すると、「インターネットで知った」の割合は11.3ポイント増加し、「学校の保護者会や PTA など説明を受けた」の割合は19.6ポイント減少している。

3. 子育てに関して悩んでいること・気になること

問17 あなたはあて名のお子さんの子育てについて、何か悩みや心配ごとはありますか。
(あてはまるものすべてに○)

図表46 子育てに関して悩んでいること・気になること



(※)今回調査のみにある選択肢

子育てに関して悩んでいること・気になることについては、「子どもの進学や受験、就職のことが気になる」の割合が52.0%で最も高く、次いで「子育てで出費がかさむ」が29.7%、「特にない」が23.9%、「子どもが勉強しない」が21.1%、「子どもに基本的な習慣（あいさつ、規則正しい食生活、整理整頓など）が身につけていない」が13.7%、「子どもの身体や発育、病気が心配である」が11.1%となっている。

選択肢に相違があるが前回調査と比較すると、「子どもの進学や受験、就職のことが気になる」の割合は7.0ポイント増加し、「子どもの身体や発育、病気が心配である」の割合は6.5ポイント増加している。

子どもの世代別にみると、中学生では「子どもが勉強しない」の割合が高校生世代に比べて8.0ポイント高くなっている。

子どもの性・世代別にみると、高校生世代の男性では「子どもの進学や受験、就職のことが気になる」の割合が他の性・世代に比べて高くなっている。また、中学生及び高校生世代の男性では「子どもが勉強しない」の割合が女性に比べて高くなっている。

世帯分類別にみると、ひとり親及びひとり親三世代では「子育てで出費がかさむ」の割合が他の世帯に比べて高くなっている。

図表47 子どもの世代別、子どもの性・世代別、世帯分類別
子育てに関して悩んでいること・気になること

(単位:%)

		標本数(人)	子どもが勉強しない	子どもが反社会的で反抗的でない	子どもの進学や受験、就職のことが気になる	子どもが勉強しない	子どもが勉強しない	子どもが勉強しない	子どもが勉強しない	子どもが勉強しない	子どもが勉強しない
全体		1,746	13.7	9.2	3.0	4.2	21.1	52.0	11.1	7.8	3.8
子どもの世代別	中学生	913	16.8	11.6	3.4	4.8	25.0	50.4	12.2	8.3	4.9
	高校生世代	813	10.6	6.5	2.6	3.4	17.0	53.6	9.7	7.4	2.7
	無回答	20	-	5.0	-	5.0	15.0	60.0	15.0	5.0	-
全体		1,746	13.7	9.2	3.0	4.2	21.1	52.0	11.1	7.8	3.8
性・世代別	中学生:男性	404	16.3	12.6	3.2	2.7	32.2	51.5	13.1	8.9	4.7
	中学生:女性	415	16.6	9.6	3.9	6.5	18.1	49.6	10.8	7.2	5.8
	中学生:その他	3	33.3	33.3	-	-	33.3	33.3	-	33.3	-
	高校生世代:男性	376	12.2	6.6	2.9	3.5	24.5	59.8	9.0	8.2	3.2
	高校生世代:女性	337	8.6	5.0	2.4	3.6	10.1	49.3	10.4	6.5	2.4
	高校生世代:その他	4	-	25.0	-	25.0	-	50.0	25.0	25.0	-
	無回答	207	13.5	12.1	1.9	4.3	17.9	48.3	12.1	7.7	1.9
全体		1,746	13.7	9.2	3.0	4.2	21.1	52.0	11.1	7.8	3.8
世帯分類別	三世代	74	16.2	5.4	-	5.4	20.3	55.4	12.2	2.7	8.1
	核家族	1,360	14.1	9.6	2.4	4.6	21.3	51.7	11.0	7.9	3.2
	ひとり親	206	14.6	11.2	9.2	1.5	22.8	54.9	11.2	8.7	6.8
	ひとり親三世代	25	16.0	-	4.0	4.0	24.0	60.0	8.0	12.0	8.0
	その他	57	1.8	3.5	-	1.8	15.8	43.9	12.3	8.8	3.5
無回答	24	-	4.2	-	4.2	12.5	45.8	8.3	8.3	-	

(単位:%)

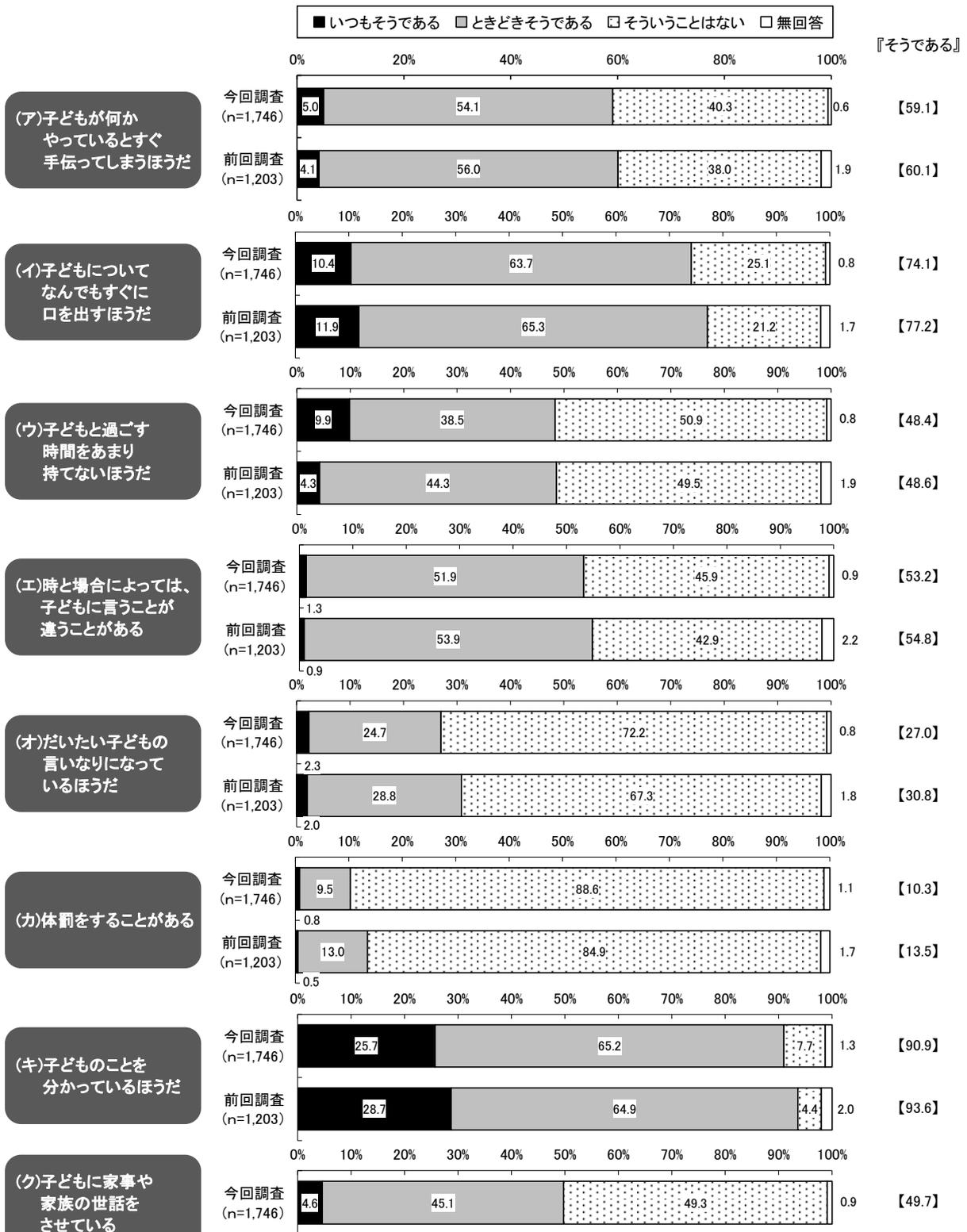
		標本数(人)	子どもが勉強しない							
全体		1,746	1.9	7.3	0.6	3.7	29.7	2.9	23.9	1.7
子どもの世代別	中学生	913	2.0	9.6	0.8	3.5	27.5	3.0	22.5	1.4
	高校生世代	813	1.8	4.7	0.5	3.7	32.0	2.7	25.8	1.6
	無回答	20	-	5.0	-	10.0	40.0	5.0	10.0	15.0
全体		1,746	1.9	7.3	0.6	3.7	29.7	2.9	23.9	1.7
性・世代別	中学生:男性	404	1.0	9.7	0.5	3.0	30.9	2.7	20.0	1.2
	中学生:女性	415	3.1	10.1	1.0	4.1	25.3	2.9	23.6	1.4
	中学生:その他	3	-	66.7	-	-	-	-	33.3	-
	高校生世代:男性	376	2.9	5.1	0.8	3.5	34.0	2.9	20.5	1.6
	高校生世代:女性	337	1.2	3.0	0.3	3.9	29.7	2.7	30.6	1.2
	高校生世代:その他	4	-	25.0	-	-	50.0	-	50.0	-
	無回答	207	0.5	6.8	0.5	4.3	28.5	3.4	26.6	3.9
全体		1,746	1.9	7.3	0.6	3.7	29.7	2.9	23.9	1.7
世帯分類別	三世代	74	1.4	4.1	-	-	20.3	1.4	24.3	1.4
	核家族	1,360	1.6	7.6	0.4	2.9	29.0	2.6	24.1	1.3
	ひとり親	206	3.9	6.3	2.4	11.2	37.9	5.8	19.4	1.5
	ひとり親三世代	25	-	12.0	-	-	44.0	-	24.0	-
	その他	57	3.5	8.8	-	-	21.1	1.8	35.1	5.3
無回答	24	-	-	4.2	4.2	33.3	-	20.8	16.7	

4. 日ごろのしつけや態度

(1) 子どもに対する日ごろのしつけ（態度）について

問18 あて名のお子さんに対する、あなたの日ごろのしつけ（態度）はどのようにされていますか。（(ア)～(ク)について、それぞれ〇は1つずつ）

図表48 子どもに対する日ごろのしつけ（態度）について



※(ウ)は前回調査では「子どもにあまりかまってやれないほうだ」。また、(ク)は今回調査のみにある項目

子どもに対する日ごろのしつけ（態度）として『そうである』（「いつもそうである」と「ときどきそうである」を合わせた割合）をみると、

＜（ア）子どもが何かやっているとすぐ手伝ってしまうほうだ＞は、59.1%であり、前回調査とほぼ同様の結果となっている。

＜（イ）子どもについてなんでもすぐに口を出すほうだ＞は、74.1%であり、前回調査からやや減少している。

＜（ウ）子どもと過ごす時間をあまり持てないほうだ＞は、48.4%であり、前回調査とほぼ同様の結果となっている。

＜（エ）時と場合によっては子どもに言うことが違うことがある＞は、53.2%であり、前回調査とほぼ同様の結果となっている。

＜（オ）だいたい子どもの言いなりになっているほうだ＞は、27.0%であり、前回調査からやや減少している。

＜（カ）体罰をすることがある＞は、10.3%であり、前回調査からやや減少している。

＜（キ）子どものことを分かっているほうだ＞は、90.9%であり、前回調査とほぼ同様の結果となっている。

＜（ク）子どもに家事や家族の世話をさせている＞は、49.7%となっている。

『そうである』の割合について子どもの世代別にみると、中学生では＜（イ）子どもについてなんでもすぐに口を出すほうだ＞、＜（エ）時と場合によっては子どもに言うことが違うことがある＞、＜（カ）体罰をすることがある＞が高校生世代に比べて5ポイント以上高くなっている。

図表49 子どもの世代別 子どもに対する日ごろのしつけ（態度）について【（ア）～（エ）】

(単位:%)

	標本数(人)	(ア)子どもが何かやっているとすぐ 手伝ってしまうほうだ					(イ)子どもについてなんでもすぐに 口を出すほうだ					
		いつも そうである	ときどき そうである	そういう ことはない	無 回答	『 そうである 』	いつも そうである	ときどき そうである	そういう ことはない	無 回答	『 そうである 』	
		全体	1,746	5.0	54.1	40.3	0.6	59.1	10.4	63.7	25.1	0.8
子どもの 世代別	中学生	913	4.4	56.2	38.9	0.5	60.6	11.3	65.6	22.5	0.7	76.9
	高校生世代	813	5.7	51.7	42.1	0.6	57.4	9.7	61.4	28.0	0.9	71.1
	無回答	20	5.0	60.0	30.0	5.0	65.0	-	70.0	25.0	5.0	70.0

(単位:%)

	標本数(人)	(ウ)子どもと過ごす時間をあまり持てない ほうだ					(エ)時と場合によっては子どもに言うことが違う ことがある					
		いつも そうである	ときどき そうである	そういう ことはない	無 回答	『 そうである 』	いつも そうである	ときどき そうである	そういう ことはない	無 回答	『 そうである 』	
		全体	1,746	9.9	38.5	50.9	0.8	48.4	1.3	51.9	45.9	0.9
子どもの 世代別	中学生	913	8.7	40.1	50.7	0.5	48.8	1.5	54.7	43.0	0.8	56.2
	高校生世代	813	11.1	36.9	51.0	1.0	48.0	1.1	48.8	49.2	0.9	49.9
	無回答	20	15.0	30.0	50.0	5.0	45.0	-	50.0	45.0	5.0	50.0

IV 中学生・高校生等の保護者調査結果

図表50 子どもの世代別 子どもに対する日ごろのしつけ（態度）について【(オ)～(ク)】

(単位:%)

	標本数(人)	(オ)だいたい子どもの言いなりにになっているほうだ					(カ)体罰をすることがある					
		いつもそうである	ときどきそうである	そういうことはない	無回答	『そうである』	いつもそうである	ときどきそうである	そういうことはない	無回答	『そうである』	
全体	1,746	2.3	24.7	72.2	0.8	27.0	0.8	9.5	88.6	1.1	10.3	
子どもの世代別	中学生	913	2.0	23.1	74.2	0.8	25.1	1.0	11.8	86.2	1.0	12.8
	高校生世代	813	2.7	26.7	69.9	0.7	29.4	0.6	6.8	91.6	1.0	7.4
	無回答	20	-	15.0	80.0	5.0	15.0	-	15.0	75.0	10.0	15.0

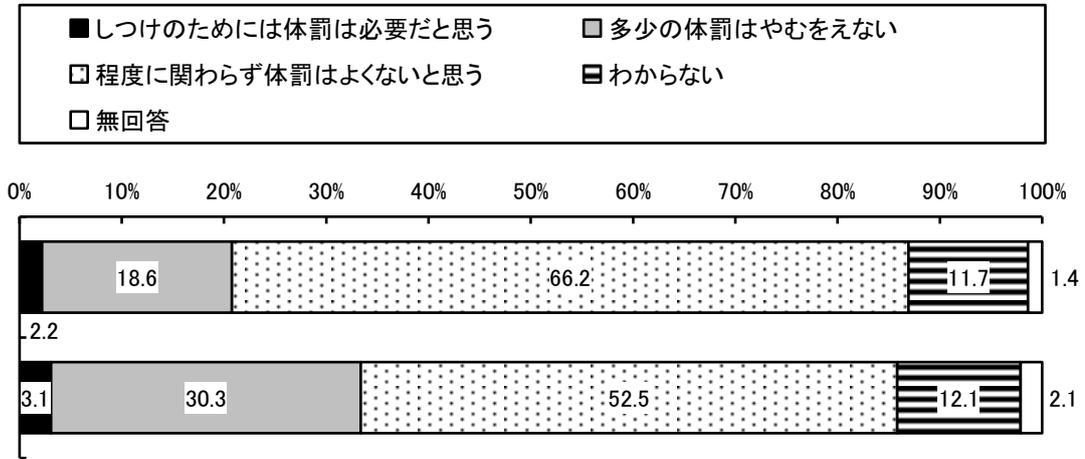
(単位:%)

	標本数(人)	(キ)子どものことを分かっているほうだ					(ク)子どもに家事や家族の世話をさせている					
		いつもそうである	ときどきそうである	そういうことはない	無回答	『そうである』	いつもそうである	ときどきそうである	そういうことはない	無回答	『そうである』	
全体	1,746	25.7	65.2	7.7	1.3	90.9	4.6	45.1	49.3	0.9	49.7	
子どもの世代別	中学生	913	23.2	66.5	9.1	1.2	89.7	5.3	46.1	47.8	0.9	51.4
	高校生世代	813	28.5	64.0	6.2	1.4	92.5	3.7	44.2	51.3	0.9	47.9
	無回答	20	25.0	60.0	10.0	5.0	85.0	15.0	40.0	40.0	5.0	55.0

(2) 家庭での子どもへの体罰についての考え方

問19 家庭でのお子さんへの体罰について、あてはまる考えを選んでください。(○は1つ)

図表51 家庭での子どもへの体罰についての考え方



家庭での子どもへの体罰についての考え方としては、「程度に関わらず体罰はよくないと思う」の割合が66.2%で最も高く、次いで「多少の体罰はやむをえない」が18.6%、「わからない」が11.7%となっている。

前回調査と比較すると、「程度に関わらず体罰はよくないと思う」の割合は13.7ポイント増加し、「多少の体罰はやむをえない」の割合は11.7ポイント減少している。

図表52 子どもの世代別 家庭での子どもへの体罰についての考え方

(単位:%)

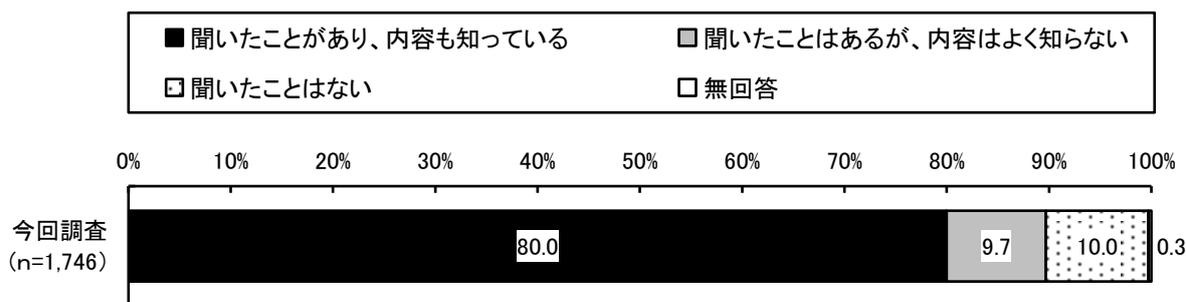
		標本数(人)	しつけのためには体罰は必要だと思う	多少の体罰はやむをえない	程度に関わらず体罰はよくないと思う	わからない	無回答
全体		1,746	2.2	18.6	66.2	11.7	1.4
子どもの世代別	中学生	913	2.0	18.2	66.5	12.0	1.3
	高校生世代	813	2.5	18.8	65.9	11.4	1.4
	無回答	20	-	25.0	60.0	10.0	5.0

5. ヤングケアラーについて

(1) 「ヤングケアラー」という言葉の認知度

問20 あなたは、「ヤングケアラー」という言葉を聞いたことがありますか。(○は1つ)
 ※「ヤングケアラー」とは、本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを、日常的に行っている子どものこととされています。

図表53 「ヤングケアラー」という言葉の認知度

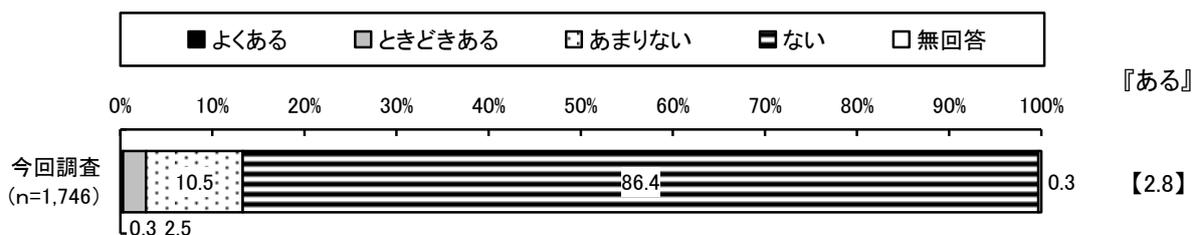


「ヤングケアラー」という言葉を聞いたことがあるかについては、「聞いたことがあり、内容も知っている」の割合が80.0%で最も高くなっている。

(2) 子どもが家事や家族の世話等でやりたいことができないことがあるか

問21 あて名のお子さんは、家事や家族の世話をする中で、お子さん自身のことをする時間が取れなかったり、やりたいこと（勉強・部活動・遊び・睡眠等）ができなかったりすることがありますか。(○は1つ)

図表54 子どもが家事や家族の世話等でやりたいことができないことがあるか

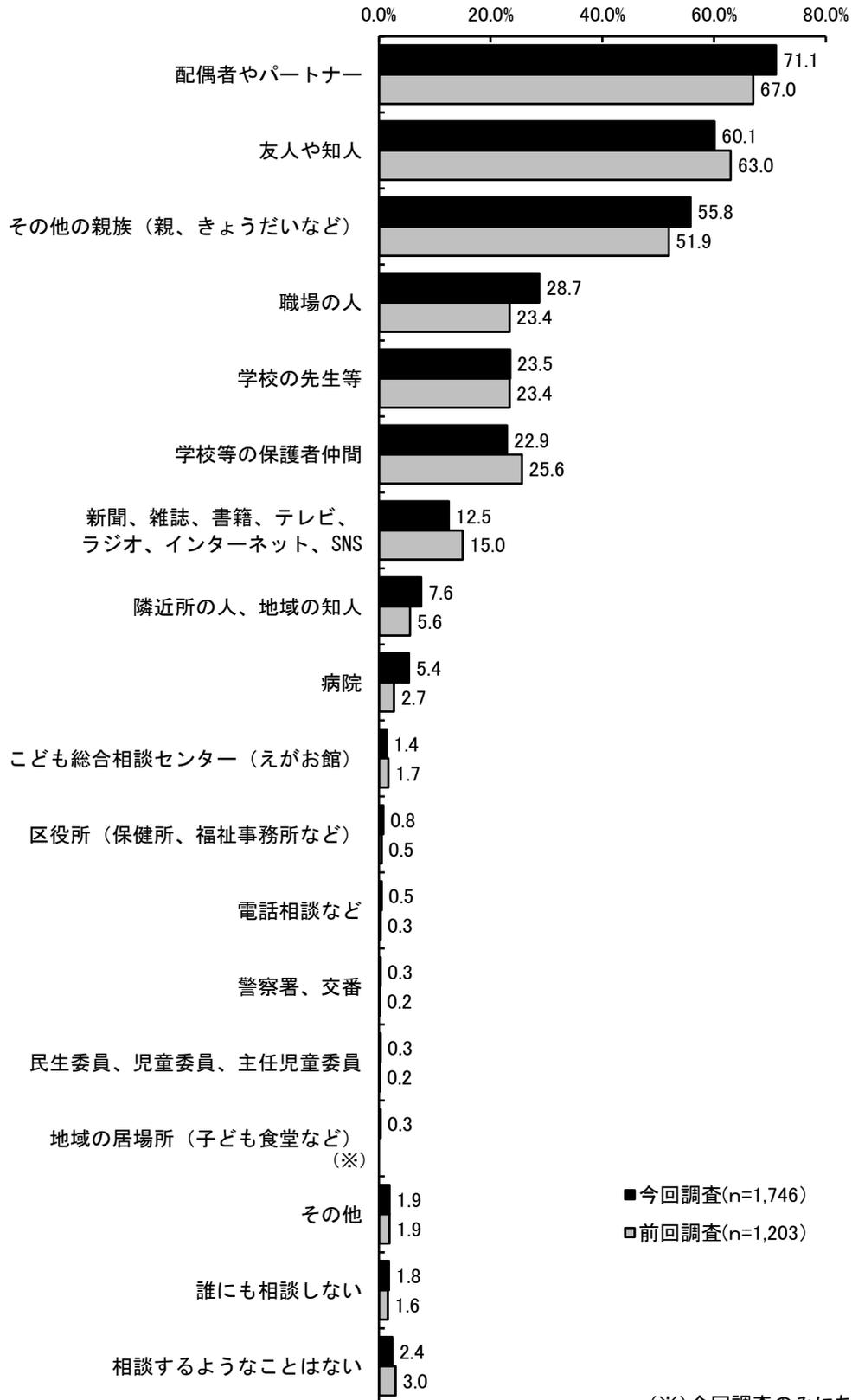


家事や家族の世話のために子どもがやりたいことができないことなどの有無について、『ある』（「よくある」と「ときどきある」を合わせた割合）は2.8%となっている。

6. 子育てについての相談相手

問22 あなたがあて名のお子さんの子育てについて、悩みや心配ごとを相談したり、参考にした
りしているものは誰（何）ですか。（あてはまるものすべてに○）

図表55 子育てについての相談相手



(※) 今回調査のみにある選択肢

IV 中学生・高校生等の保護者調査結果

子育てに関して悩んでいること・気になることの相談先や参考になっているものについては、「配偶者やパートナー」の割合が71.1%で最も高く、次いで「友人や知人」が60.1%、「その他の親族（親、きょうだいなど）」が55.8%、「職場の人」が28.7%、「学校の先生等」が23.5%、「学校等の保護者仲間」が22.9%、「新聞、雑誌、書籍、テレビ、ラジオ、インターネット、SNS」が12.5%となっている。

選択肢に相違があるが前回調査と比較すると、「職場の人」の割合は5.3ポイント増加している。

調査の回答者別にみると、母親では「その他の親族（親、きょうだいなど）」、「友人や知人」、「職場の人」、「学校等の保護者仲間」の割合が父親に比べて10ポイント以上高くなっている。

子どもの世代別にみると、中学生では「配偶者やパートナー」の割合が高校生世代に比べて6.7ポイント高くなっている。

図表56 調査の回答者別、子どもの世代別 子育てについての相談相手

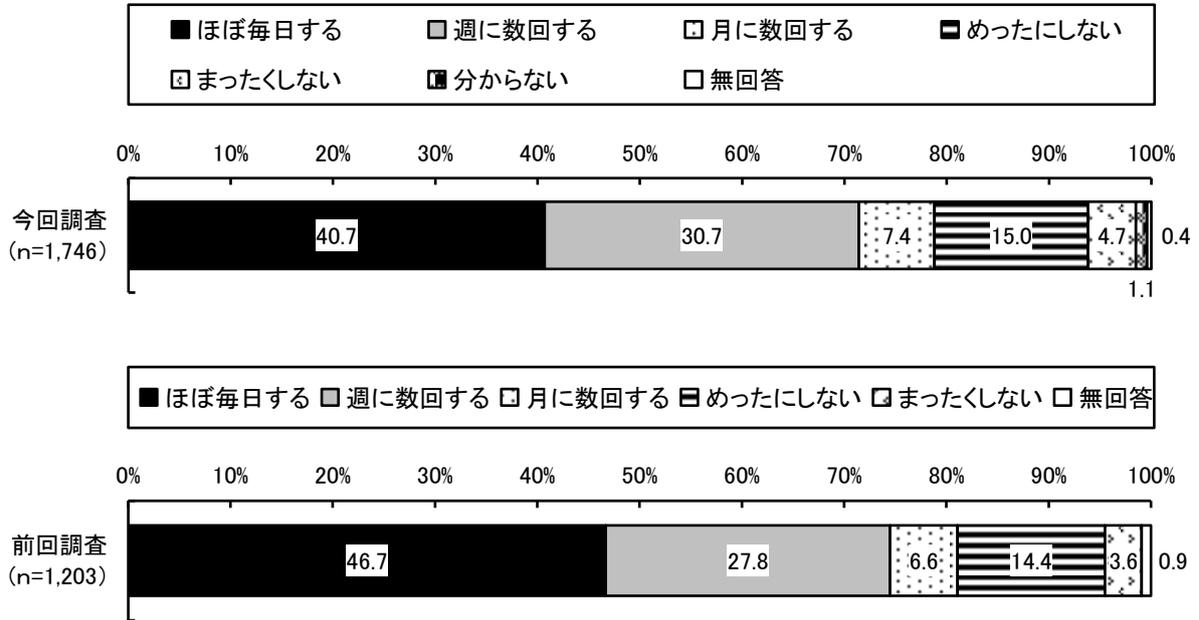
		(単位:%)										
		標本数(人)	配偶者やパートナー	その他の親族(親、きょうだいなど)	友人や知人	隣近所の人、地域の知人	職場の人	学校等の保護者仲間	学校の先生等	区役所(保健所、福祉事務所など)	子ども総合相談センター(えがお館)	病院
全体		1,746	71.1	55.8	60.1	7.6	28.7	22.9	23.5	0.8	1.4	5.4
調査の回答者別	母親	1,501	71.0	59.4	64.7	8.1	30.5	25.2	24.1	0.7	1.4	5.7
	父親	213	77.5	31.5	27.7	3.3	18.3	7.0	19.7	1.4	0.5	3.3
	祖父母	7	28.6	42.9	28.6	-	-	-	14.3	-	14.3	-
	その他	6	33.3	33.3	50.0	-	-	33.3	33.3	-	33.3	16.7
	無回答	19	42.1	57.9	73.7	15.8	21.1	26.3	21.1	-	-	5.3
全体		1,746	71.1	55.8	60.1	7.6	28.7	22.9	23.5	0.8	1.4	5.4
子どもの世代別	中学生	913	74.5	56.0	61.2	8.0	29.9	24.3	25.4	0.9	1.4	6.4
	高校生世代	813	67.8	56.0	58.7	6.8	27.4	21.2	21.4	0.6	1.2	4.3
	無回答	20	55.0	40.0	65.0	20.0	25.0	30.0	25.0	5.0	10.0	5.0

		(単位:%)										
		標本数(人)	警察署、交番	民生委員、児童委員、主任児童委員	地域の居場所(子ども食堂など)	電話相談など	テレビ、ラジオ、インターネット、SNS	新聞、雑誌、書籍、テレビ	その他	誰にも相談しない	相談するようなことはない	無回答
全体		1,746	0.3	0.3	0.3	0.5	12.5	1.9	1.8	2.4	0.3	
調査の回答者別	母親	1,501	0.3	0.3	0.2	0.6	11.7	2.1	1.8	1.8	0.2	
	父親	213	0.5	-	0.5	-	18.8	0.5	1.9	6.1	-	
	祖父母	7	-	-	-	-	-	-	-	14.3	-	
	その他	6	-	-	-	-	-	16.7	-	16.7	-	
	無回答	19	-	-	5.3	-	21.1	-	-	-	10.5	
全体		1,746	0.3	0.3	0.3	0.5	12.5	1.9	1.8	2.4	0.3	
子どもの世代別	中学生	913	0.3	0.4	0.5	0.5	13.8	1.5	1.6	2.0	0.3	
	高校生世代	813	0.2	0.1	-	0.5	10.9	2.2	2.0	3.0	0.1	
	無回答	20	-	-	-	-	20.0	5.0	-	-	5.0	

7. 子どもの自宅での学習状況

問23 お子さんは自宅で学習をしていますか。(○は1つ)

図表57 子どもの自宅での学習状況



子どもの自宅での学習状況については、「ほぼ毎日する」の割合が40.7%で最も高く、次いで「週に数回する」が30.7%、「めったにしない」が15.0%となっている。

中学生の自宅での学習状況について世帯分類別にみると、核家族では「ほぼ毎日する」の割合が他の世帯に比べて高くなっている。

世帯年収別にみると、200万円未満では「めったにしない」の割合が他の世帯年収に比べて高くなっている。

高校生世代の自宅での学習状況について世帯分類別にみると、核家族では「ほぼ毎日する」の割合が他の世帯に比べて高くなっている。

世帯年収別にみると、概ね世帯年収が低い世帯ほど「めったにしない」と「まったくしない」を合わせた割合が高くなっている。

図表58 世帯分類別、世帯年収別 子どもの自宅での学習状況（中学生）

(単位: %)

		標本数 (人)	ほぼ毎日 する	週に 数回する	月に 数回する	めったに しない	まったく しない	分からない	無回答
全体		913	42.4	32.7	6.2	14.3	4.1	0.1	0.1
世帯分類別	三世代	37	37.8	35.1	8.1	8.1	8.1	2.7	-
	核家族	744	44.2	33.1	5.1	14.0	3.6	-	-
	ひとり親	86	29.1	32.6	14.0	18.6	5.8	-	-
	ひとり親三世代	10	20.0	40.0	20.0	20.0	-	-	-
	その他	29	41.4	24.1	6.9	20.7	6.9	-	-
	無回答	7	71.4	14.3	-	-	-	-	14.3
全体		913	42.4	32.7	6.2	14.3	4.1	0.1	0.1
世帯年収別	200万円未満	55	23.6	30.9	12.7	27.3	5.5	-	-
	200～300万円未満	45	44.4	24.4	8.9	15.6	6.7	-	-
	300～400万円未満	54	50.0	27.8	3.7	14.8	3.7	-	-
	400～500万円未満	70	41.4	34.3	5.7	11.4	7.1	-	-
	500～700万円未満	205	41.5	36.6	6.3	10.2	4.9	0.5	-
	700～1,000万円未満	233	44.2	32.2	6.4	13.7	3.4	-	-
	1,000万円以上	206	45.1	34.0	3.9	14.6	2.4	-	-
	無回答	45	37.8	26.7	8.9	22.2	2.2	-	2.2

図表59 世帯分類別、世帯年収別 子どもの自宅での学習状況（高校生世代）

(単位: %)

		標本数 (人)	ほぼ毎日 する	週に 数回する	月に 数回する	めったに しない	まったく しない	分からない	無回答
全体		813	38.6	28.5	8.7	15.9	5.4	2.2	0.6
世帯分類別	三世代	36	25.0	30.6	5.6	19.4	11.1	8.3	-
	核家族	614	41.5	28.2	9.0	14.2	4.4	2.3	0.5
	ひとり親	119	26.9	31.1	6.7	26.1	9.2	-	-
	ひとり親三世代	15	33.3	40.0	6.7	13.3	6.7	-	-
	その他	28	46.4	17.9	17.9	7.1	3.6	3.6	3.6
	無回答	1	-	-	-	-	-	-	100.0
全体		813	38.6	28.5	8.7	15.9	5.4	2.2	0.6
世帯年収別	200万円未満	52	9.6	32.7	15.4	26.9	13.5	1.9	-
	200～300万円未満	56	28.6	30.4	3.6	17.9	17.9	-	1.8
	300～400万円未満	73	39.7	23.3	9.6	23.3	2.7	1.4	-
	400～500万円未満	89	40.4	19.1	7.9	18.0	7.9	5.6	1.1
	500～700万円未満	179	37.4	30.7	9.5	16.2	4.5	0.6	1.1
	700～1,000万円未満	179	40.2	34.6	8.4	10.1	3.4	3.4	-
	1,000万円以上	140	47.1	25.7	8.6	12.9	2.9	2.1	0.7
	無回答	45	51.1	24.4	6.7	15.6	-	2.2	-

8. 不登校・ひきこもりの経験

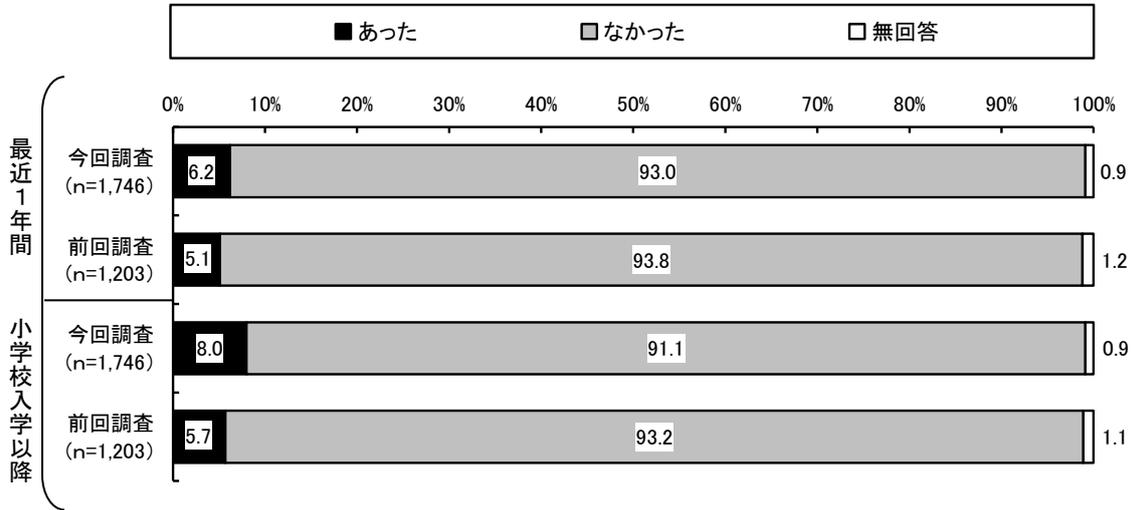
問24 お子さんは次の経験がありますか。

(それぞれについて、「あった」「なかった」のいずれかに○)

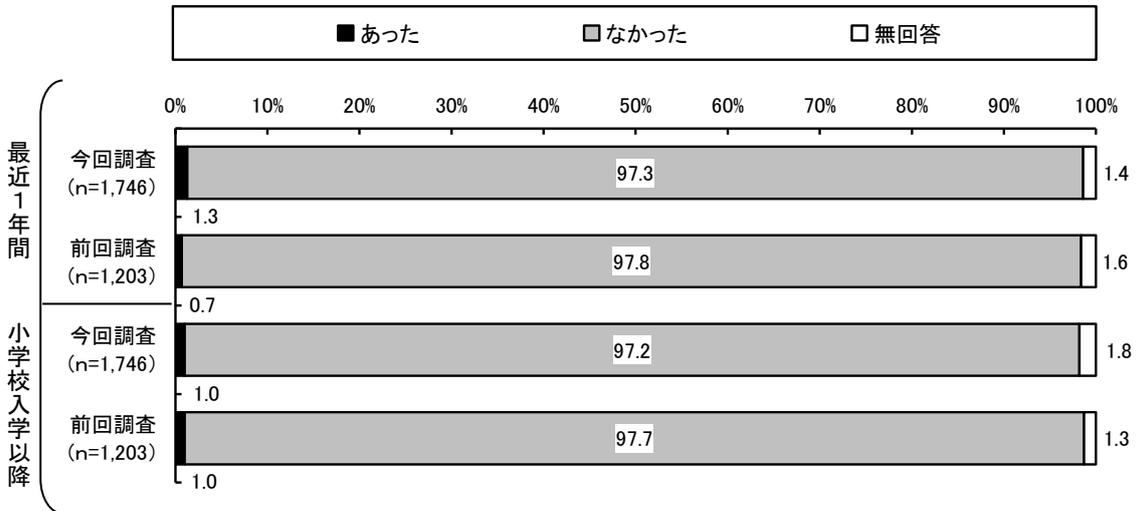
不登校 : 病気やケガ以外の理由でおおむね年間30日以上学校を欠席したこと

ひきこもり : おおむね半年以上ほとんど外出せず自宅内にこもっている状態

図表60 不登校の経験



図表61 ひきこもりの経験



不登校の経験について「あった」の割合は最近1年間では6.2%、小学校入学以降では8.0%となっている。

ひきこもりの経験について「あった」の割合は最近1年間では1.3%、小学校入学以降では1.0%となっている。

中学生の不登校・ひきこもりの経験について世帯分類別にみると、最近1年間で不登校の経験があった割合は三世帯が18.9%、ひとり親が11.6%であり、核家族に比べ高くなっている。また、小学校入学以降で不登校の経験があった割合は三世帯で16.2%、ひとり親で15.1%となっている。

世帯年収別にみると、最近1年間で不登校の経験があった割合は200万円未満が12.7%、400～500万円未満が12.9%であり、他の世帯年収に比べ高くなっている。また、小学校入学以降で不登校の経験があった割合は200万円未満で14.5%、300～400万円未満で11.1%となっている。

IV 中学生・高校生等の保護者調査結果

高校生世代の不登校・ひきこもりの経験について世帯分類別にみると、最近1年間で不登校の経験があった割合はひとり親が10.9%であり、その他の世帯分類に比べ高くなっている。また、小学校入学以降で不登校の経験があった割合はひとり親で16.0%となっている。

世帯年収別にみると、最近1年間で不登校の経験があった割合は200万円未満が11.5%であり、その他の世帯年収に比べ高くなっている。また、小学校入学以降で不登校の経験があった割合は200万円未満で21.2%となっている。

図表62 世帯分類別、世帯年収別 不登校・ひきこもりの経験（中学生）

(単位:%)

	標本数(人)	不登校の経験		ひきこもりの経験		
		最近1年間にあった	小学校入学以降にあった	最近1年間にあった	小学校入学以降にあった	
全体	913	7.0	7.4	1.1	0.7	
世帯分類別	三世代	37	18.9	16.2	-	-
	核家族	744	6.2	6.5	1.2	0.8
	ひとり親	86	11.6	15.1	1.2	-
	ひとり親三世代	10	-	-	-	-
	その他	29	3.4	3.4	-	-
	無回答	7	-	-	-	-
全体	913	7.0	7.4	1.1	0.7	
世帯年収別	200万円未満	55	12.7	14.5	1.8	-
	200～300万円未満	45	4.4	6.7	-	-
	300～400万円未満	54	3.7	11.1	-	-
	400～500万円未満	70	12.9	8.6	-	1.4
	500～700万円未満	205	4.4	4.9	1.5	0.5
	700～1,000万円未満	233	8.6	7.3	0.9	0.9
	1,000万円以上	206	6.8	8.3	1.9	1.0
	無回答	45	2.2	2.2	-	-

図表63 世帯分類別、世帯年収別 不登校・ひきこもりの経験（高校生世代）

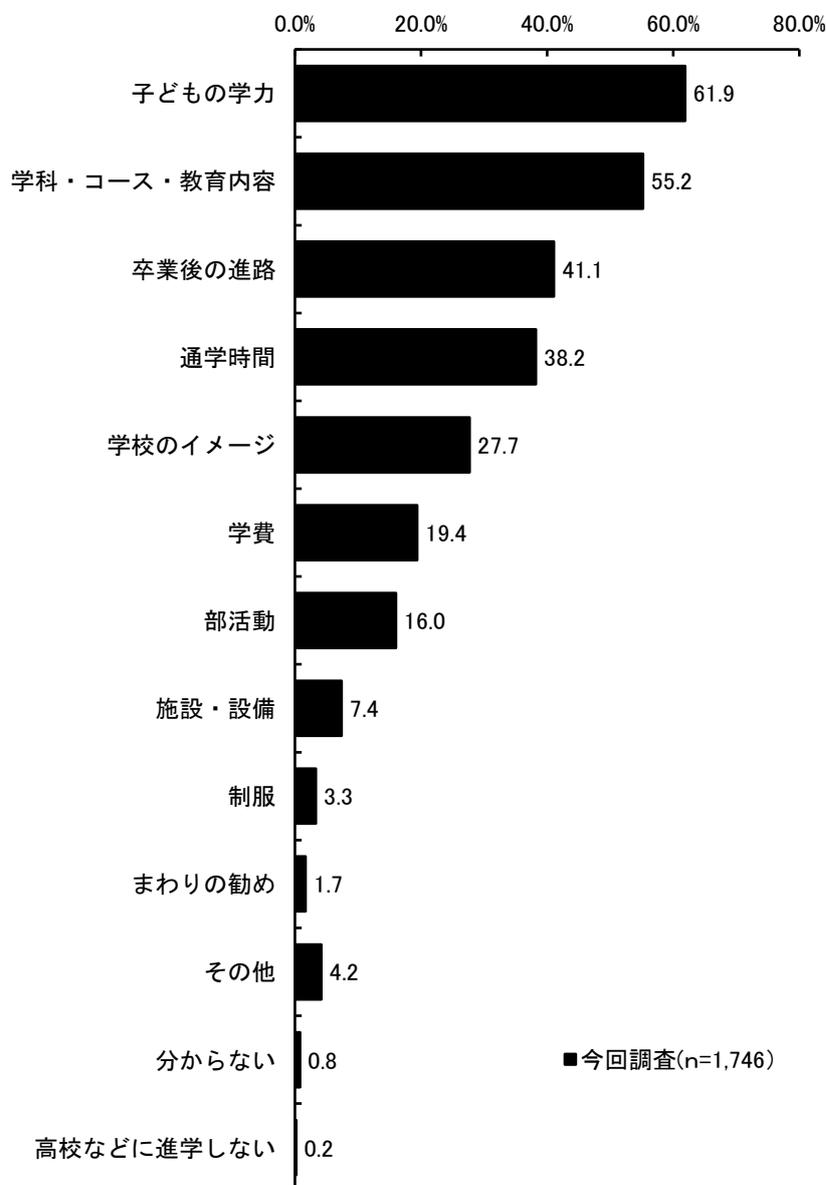
(単位:%)

	標本数(人)	不登校の経験		ひきこもりの経験		
		最近1年間にあった	小学校入学以降にあった	最近1年間にあった	小学校入学以降にあった	
全体	813	5.4	8.6	1.5	1.4	
世帯分類別	三世代	36	5.6	8.3	2.8	-
	核家族	614	4.6	7.3	1.3	0.8
	ひとり親	119	10.9	16.0	2.5	4.2
	ひとり親三世代	15	6.7	13.3	-	-
	その他	28	-	3.6	-	3.6
	無回答	1	-	-	-	-
全体	813	5.4	8.6	1.5	1.4	
世帯年収別	200万円未満	52	11.5	21.2	1.9	1.9
	200～300万円未満	56	7.1	14.3	1.8	3.6
	300～400万円未満	73	6.8	4.1	2.7	1.4
	400～500万円未満	89	4.5	10.1	-	1.1
	500～700万円未満	179	5.0	7.8	1.7	1.1
	700～1,000万円未満	179	5.6	7.8	2.8	1.7
	1,000万円以上	140	4.3	6.4	-	0.7
	無回答	45	-	4.4	-	-

9. 子どもが高校などを選ぶときに大切にしている（した）こと

問25 お子さんが高校などを選ぶときに大切にしている（した）ことは次のどれですか。
（○は3つまで）

図表64 子どもが高校などを選ぶときに大切にしている（した）こと



子どもが高校などを選ぶときに大切にしている（した）ことについては、「子どもの学力」の割合が61.9%で最も高く、次いで「学科・コース・教育内容」が55.2%、「卒業後の進路」が41.1%、「通学時間」が38.2%、「学校のイメージ」が27.7%、「学費」が19.4%、「部活動」が16.0%となっている。

IV 中学生・高校生等の保護者調査結果

世帯年収別にみると、300万円未満では「学科・コース・教育内容」の割合は5割未満となっている。また、概ね世帯年収が高い世帯ほど「卒業後の進路」の割合が高くなっている。

図表65 世帯年収別 子どもが高校などを選ぶときに大切にすること

(単位:%)

	標本数(人)	学校のイメージ	学科・コース・教育内容	子どもの学力	卒業後の進路	通学時間	制服	部活動	施設・設備	
全体	1,746	27.7	55.2	61.9	41.1	38.2	3.3	16.0	7.4	
世帯年収別	200万円未満	108	24.1	48.1	60.2	27.8	37.0	5.6	13.9	8.3
	200～300万円未満	103	22.3	45.6	67.0	39.8	41.7	2.9	17.5	6.8
	300～400万円未満	127	25.2	59.1	58.3	37.8	33.1	3.1	18.1	4.7
	400～500万円未満	159	24.5	57.2	57.9	38.4	39.0	1.9	12.6	4.4
	500～700万円未満	384	27.9	57.8	59.9	39.1	40.9	4.2	16.7	9.6
	700～1,000万円未満	413	28.6	54.5	62.0	40.2	36.8	2.9	18.6	6.1
	1,000万円以上	347	32.0	56.2	68.6	49.9	34.9	2.9	14.4	9.8
無回答	105	25.7	53.3	53.3	46.7	47.6	3.8	12.4	4.8	

(単位:%)

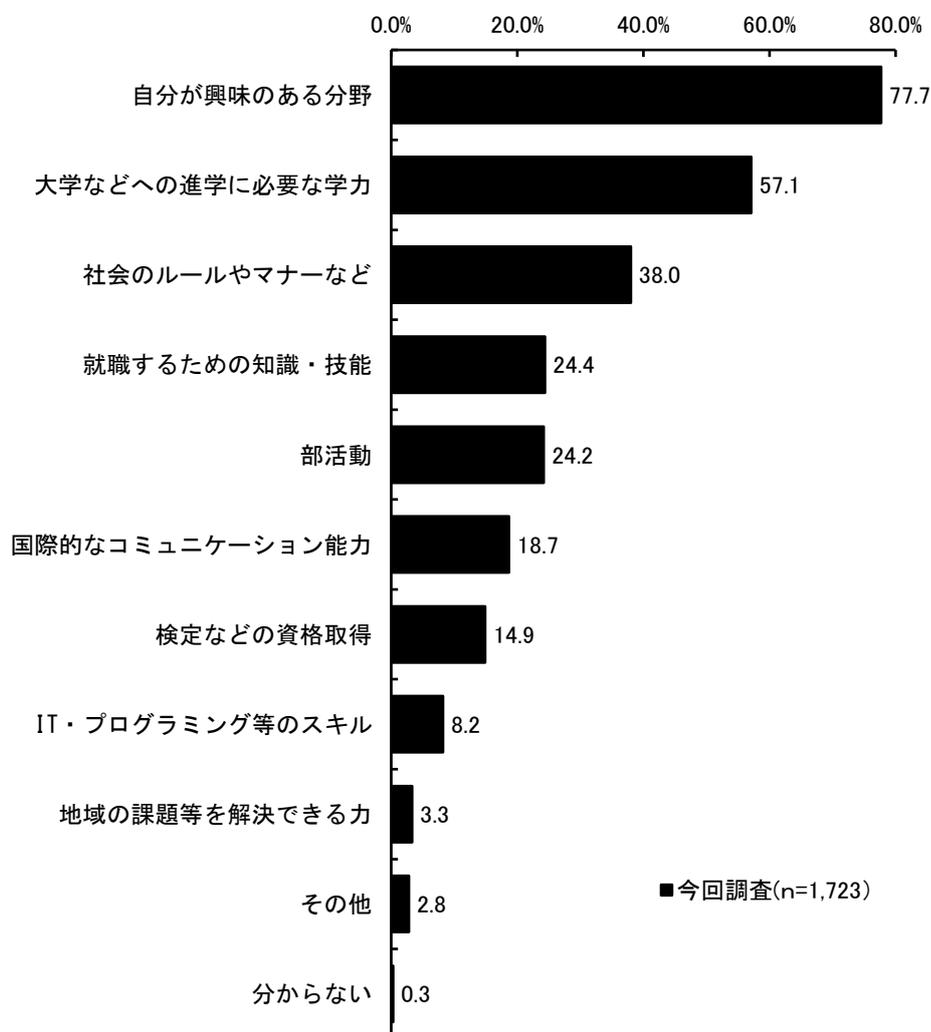
	標本数(人)	まわりの勧め	学費	その他	分からない	高校などに進学しない	無回答
全体	1,746	1.7	19.4	4.2	0.8	0.2	1.1
世帯年収別	200万円未満	108	1.9	28.7	5.6	0.9	0.9
	200～300万円未満	103	1.9	30.1	3.9	1.0	1.0
	300～400万円未満	127	3.9	30.7	4.7	0.8	0.8
	400～500万円未満	159	1.3	23.9	3.8	0.6	1.3
	500～700万円未満	384	2.6	20.1	2.3	1.0	1.0
	700～1,000万円未満	413	0.7	17.9	5.1	1.0	0.5
	1,000万円以上	347	1.2	9.2	4.3	0.3	0.3
無回答	105	1.0	15.2	5.7	1.0	6.7	

10. 高校で学んでほしいこと

問25で「1」～「12」のいずれかを選んだ方にうかがいます。

問25-1 お子さんに高校などで学んでほしいことは次のどれですか。(〇は3つまで)

図表66 高校で学んでほしいこと



高校で学んでほしいことについては、「自分が興味のある分野」の割合が77.7%で最も高く、「大学などへの進学に必要な学力」が57.1%、「社会のルールやマナーなど」が38.0%、「就職するための知識・技能」が24.4%、「部活動」が24.2%、「国際的なコミュニケーション能力」が18.7%、「検定などの資格取得」が14.9%となっている。

IV 中学生・高校生等の保護者調査結果

世帯年収別にみると、200万円未満では「大学などへの進学に必要な学力」の割合が他の世帯年収に比べて低く、「就職するための知識・技能」の割合が他の世帯年収に比べて高くなっている。

図表67 世帯年収別 高校で学んでほしいこと

(単位:%)

		標本数(人)	自分が興味のある分野	大学などへの進学に必要な学力	就職するための知識・技能	地域の課題等を解決できる	社会のルールやマナーなど	国際的なコミュニケーション能力	IT・プログラミング等のスキル	部活動
全体		1,723	77.7	57.1	24.4	3.3	38.0	18.7	8.2	24.2
世帯年収別	200万円未満	107	78.5	24.3	40.2	5.6	37.4	12.1	11.2	17.8
	200～300万円未満	101	74.3	47.5	31.7	3.0	42.6	14.9	8.9	21.8
	300～400万円未満	126	75.4	42.9	32.5	3.2	48.4	14.3	7.1	22.2
	400～500万円未満	155	80.0	45.2	31.6	1.9	30.3	14.8	9.0	16.1
	500～700万円未満	380	81.8	58.2	24.5	2.9	38.2	18.7	8.9	22.6
	700～1,000万円未満	411	79.1	59.9	22.4	3.6	39.7	16.5	7.8	28.5
	1,000万円以上	345	71.0	74.8	14.5	3.5	35.7	27.2	7.5	27.5
	無回答	98	80.6	62.2	20.4	3.1	33.7	20.4	5.1	25.5

(単位:%)

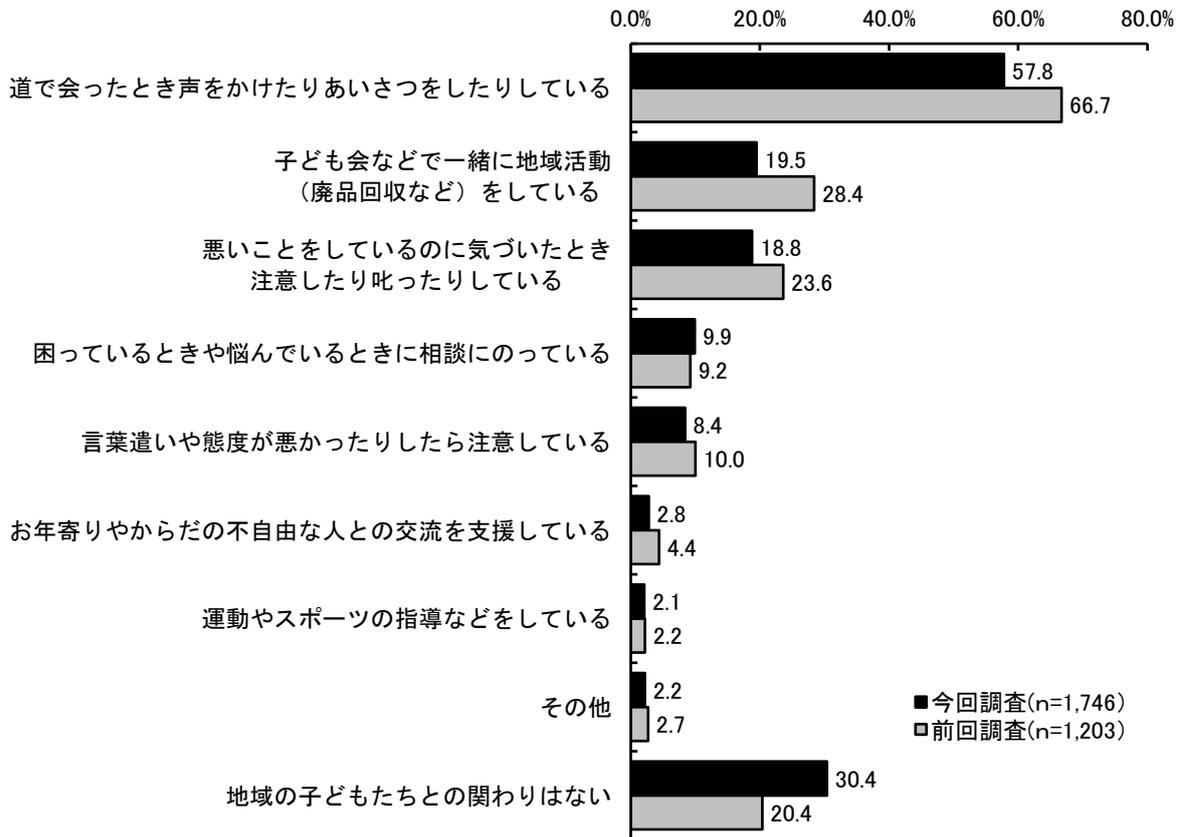
		標本数(人)	検定などの資格取得	その他	分からない	無回答
全体		1,723	14.9	2.8	0.3	0.2
世帯年収別	200万円未満	107	25.2	2.8	-	-
	200～300万円未満	101	20.8	4.0	1.0	-
	300～400万円未満	126	17.5	1.6	-	-
	400～500万円未満	155	22.6	1.9	0.6	-
	500～700万円未満	380	15.8	2.6	0.3	0.3
	700～1,000万円未満	411	11.2	3.6	0.2	0.5
	1,000万円以上	345	9.6	2.0	-	0.3
	無回答	98	13.3	4.1	1.0	-

第4章 地域について

1. 地域の子ども達とのかかわりについて

問26 あなたと地域の子ども達とのかかわりについておたずねします。あなたは、ふだん地域の子ども達に対して、次のようなことをしていますか。(あてはまるものすべてに○)

図表68 地域の子ども達とのかかわりについて



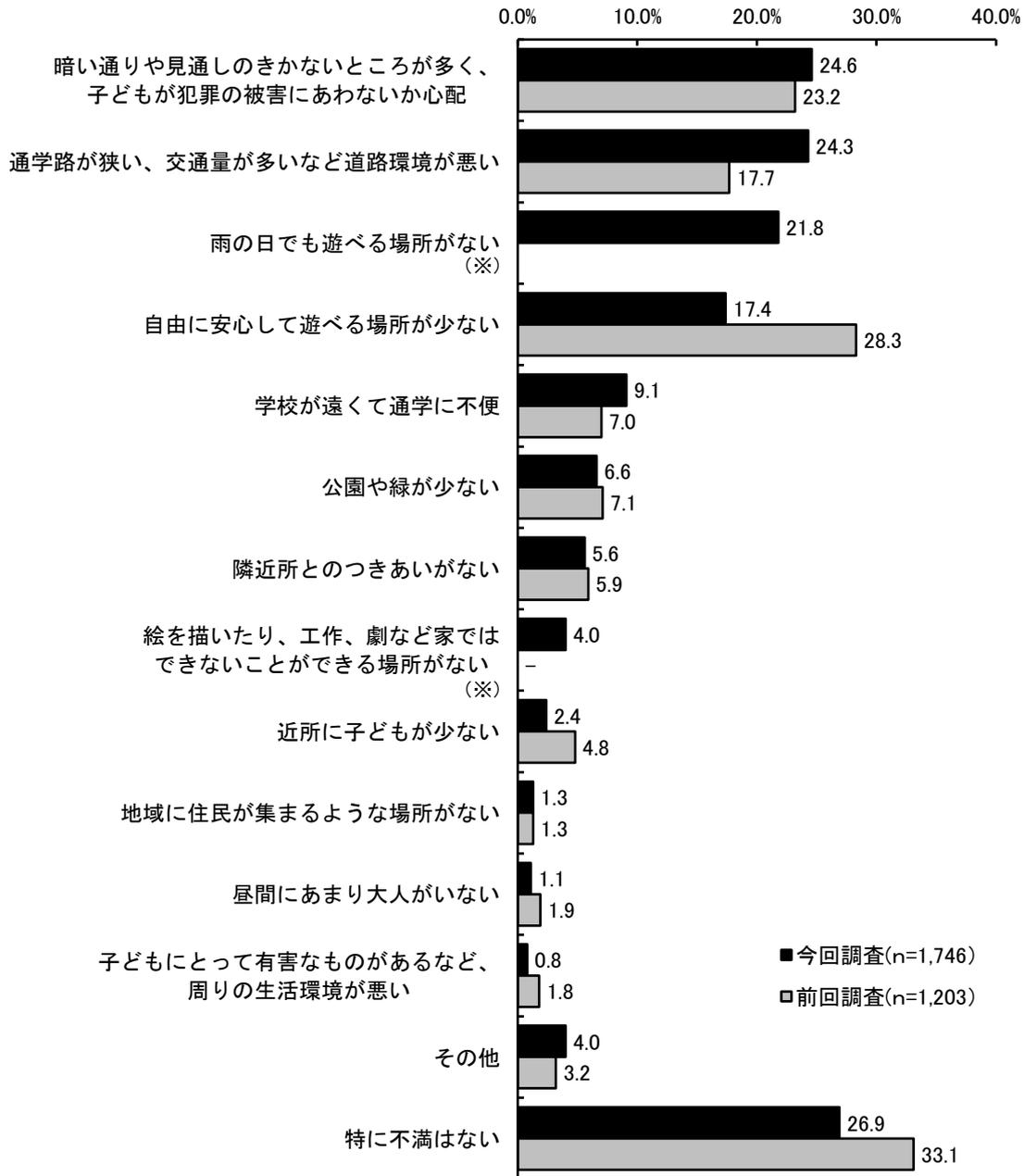
地域の子ども達とのかかわりについて、「道で会ったとき声をかけたりあいさつをしたりしている」の割合が57.8%で最も高く、次いで「地域の子どもたちとの関わりはない」が30.4%、「子ども会などで一緒に地域活動(廃品回収など)をしている」が19.5%、「悪いことをしているのに気づいたとき注意したり叱ったりしている」が18.8%となっている。

前回調査と比較すると、「地域の子どもたちとの関わりはない」の割合は10.0ポイント増加し、「道で会ったとき声をかけたりあいさつをしたりしている」及び「子ども会などで一緒に地域活動(廃品回収など)をしている」の割合は8.9ポイント減少している。

2. 居住地区の子育て環境で不満なこと

問27 お住まいの地域の子育て環境に関する不満について、あなたの考えに近いものを選んでください。(○は2つまで)

図表69 居住地区の子育て環境で不満なこと



(※)今回調査のみにある選択肢

住んでいる地域の子育て環境に関する不満については、「特に不満はない」の割合が26.9%で最も高く、次いで「暗い通りや見通しのきかないところが多く、子どもが犯罪の被害にあわないか心配」が24.6%、「通学路が狭い、交通量が多いなど道路環境が悪い」が24.3%、「雨の日でも遊べる場所がない」が21.8%、「自由に安心して遊べる場所が少ない」が17.4%となっている。

選択肢に相違があるが前回調査と比較すると、「通学路が狭い、交通量が多いなど道路環境が悪い」の割合は6.6ポイント増加し、「特に不満はない」の割合は6.2ポイント減少し、「自由に安心して遊べる場所が少ない」の割合は10.9ポイント減少している。

図表70 居住区別、子どもの世代別 居住地区の子育て環境で不満なこと

(単位:%)

		標本数(人)	多 通 学 路 が 狭 い 、 交 通 量 が	い か 心 配 な い と 犯 罪 の 被 害 に あ わ な い	暗 い と り や 見 通 し の き か な い	学 校 が 遠 く て 通 学 に 不 便	活 動 場 所 が 悪 い	子 ど も に と つ て 有 害 な も の が あ る な ど	公 園 や 緑 が 少 な い	自 由 に 安 心 し て 遊 べ る 場 所 が 少 な い	雨 の 日 で も 遊 べ る 場 所 が な い	絵 を 描 け な い 、 工 作 、 劇 が あ ら ず な ど の 場 所 が な い
全 体		1,746	24.3	24.6	9.1	0.8	6.6	17.4	21.8	4.0		
居 住 区 別	東区	458	28.4	26.0	8.7	0.7	7.2	16.8	23.1	3.9		
	博多区	167	29.3	25.1	9.6	4.8	6.6	20.4	20.4	2.4		
	中央区	131	26.0	20.6	13.0	0.8	11.5	22.1	17.6	3.1		
	南区	335	24.2	25.7	10.4	0.6	4.8	14.3	23.9	5.4		
	城南区	145	29.0	24.8	5.5	-	7.6	17.9	18.6	4.1		
	早良区	350	19.7	21.7	6.3	-	6.0	17.7	19.7	4.6		
	西区	144	13.2	25.0	13.2	-	6.3	18.8	26.4	2.1		
	無回答	16	6.3	50.0	12.5	-	-	-	18.8	-		
全 体		1,746	24.3	24.6	9.1	0.8	6.6	17.4	21.8	4.0		
子 ど も の 世 代 別	中学生	913	25.6	24.5	11.4	0.9	7.7	17.4	23.7	5.0		
	高校生世代	813	23.4	24.4	6.3	0.7	5.7	17.7	19.6	2.8		
	無回答	20	5.0	40.0	20.0	-	-	-	25.0	-		

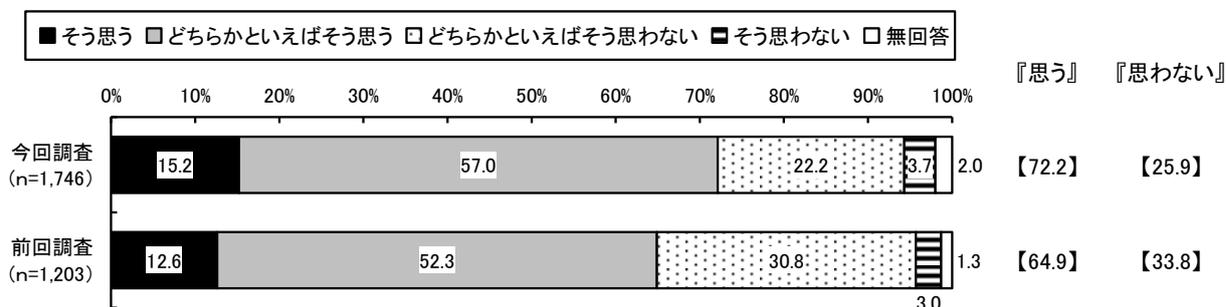
(単位:%)

		標本数(人)	い 屋 間 に あ ま り 大 人 が い な い	近 所 に 子 ど も が 少 な い	地 域 に 住 民 が 集 ま る よ う な 場 所 が な い	隣 近 所 と の つ き あ い が な い	そ の 他	特 に 不 満 は な い	無 回 答
全 体		1,746	1.1	2.4	1.3	5.6	4.0	26.9	1.8
居 住 区 別	東区	458	1.5	2.2	1.3	7.2	3.1	25.5	1.1
	博多区	167	0.6	5.4	0.6	7.8	5.4	19.2	2.4
	中央区	131	0.8	3.1	1.5	6.1	2.3	29.0	3.8
	南区	335	1.5	1.5	0.9	4.2	3.9	26.3	1.8
	城南区	145	1.4	1.4	1.4	2.8	4.8	26.9	-
	早良区	350	0.6	1.1	0.6	5.4	3.7	33.1	1.7
	西区	144	0.7	4.9	3.5	4.2	6.3	25.0	2.1
	無回答	16	6.3	6.3	6.3	6.3	6.3	18.8	12.5
全 体		1,746	1.1	2.4	1.3	5.6	4.0	26.9	1.8
子 ど も の 世 代 別	中学生	913	0.7	2.1	1.8	6.8	3.9	24.9	1.0
	高校生世代	813	1.6	2.7	0.6	4.2	3.9	29.4	2.3
	無回答	20	5.0	5.0	5.0	10.0	5.0	15.0	15.0

3. 今の子どもたちは健全に育っていると思うか

問28 あなたは、今の子どもたちは健全に育っていると思いますか。(○は1つ)

図表71 今の子どもたちは健全に育っていると思うか



今の子どもたちは健全に育っていると思うかについては、『思う』（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合）は72.2%、『思わない』（「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を合わせた割合）は25.9%となっている。

前回調査と比較すると、『思う』の割合は7.3ポイント増加している。

図表72 子どもの世代別 今の子どもたちは健全に育っていると思うか

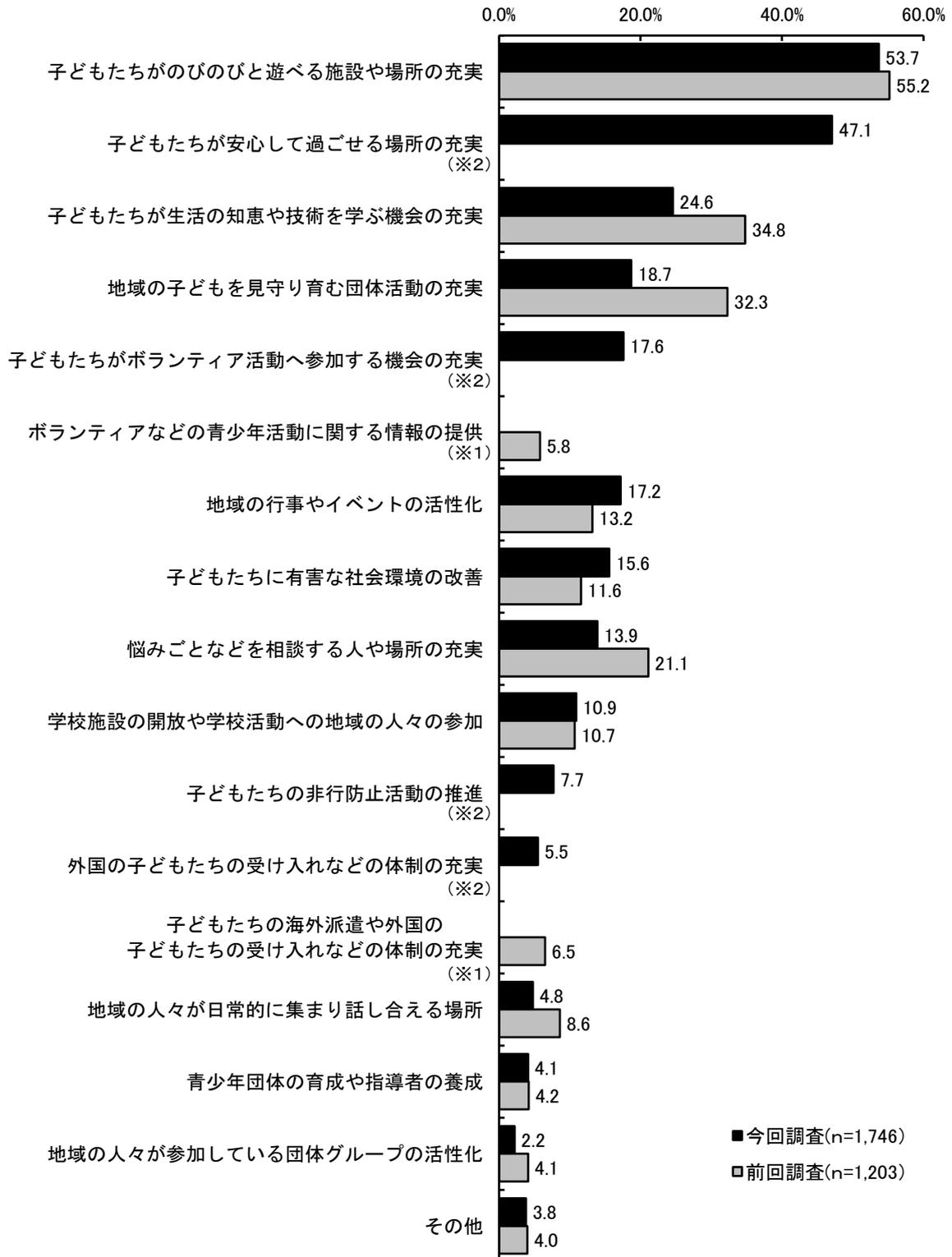
(単位: %)

		標本数 (人)	そう 思う	ど ち ら か と い え ば そ う 思 う	ど ち ら か と い え ば そ う 思 わ ない	そ う 思 わ ない	無 回 答	『 思 う 』	『 思 わ ない 』
全 体		1,746	15.2	57.0	22.2	3.7	2.0	72.2	25.9
子 ど も の 世 代 別	中学生	913	16.5	57.6	20.5	3.9	1.4	74.1	24.4
	高校生世代	813	13.5	56.6	24.2	3.2	2.5	70.1	27.4
	無回答	20	20.0	45.0	15.0	10.0	10.0	65.0	25.0

4. 地域で子どもを健全に育むために特に必要だと思うこと

問29 あなたは、子どもたちが健全に成長していくためには、あなたの地域ではどのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)

図表73 地域で子どもを健全に育むために特に必要だと思うこと



(※1) 前回調査のみにある選択肢
(※2) 今回調査のみにある選択肢

IV 中学生・高校生等の保護者調査結果

子どもたちの健全な成長に地域で必要だと思うことについては、「子どもたちがのびのびと遊べる施設や場所の充実」の割合が53.7%で最も高く、次いで「子どもたちが安心して過ごせる場所の充実」が47.1%、「子どもたちが生活の知恵や技術を学ぶ機会の充実」が24.6%、「地域の子どもの見守り育む団体活動の充実」が18.7%、「子どもたちがボランティア活動へ参加する機会の充実」が17.6%、「地域の行事やイベントの活性化」が17.2%、「子どもたちに有害な社会環境の改善」が15.6%、「悩みごとなどを相談する人や場所の充実」が13.9%、「学校施設の開放や学校活動への地域の人々の参加」が10.9%となっている。

選択肢に相違があるが前回調査と比較すると、「悩みごとなどを相談する人や場所の充実」の割合は7.2ポイント減少し、「子どもたちが生活の知恵や技術を学ぶ機会の充実」の割合は10.2ポイント減少し、「地域の子どもの見守り育む団体活動の充実」の割合は13.6ポイント減少している。

図表74 子どもの世代別 地域で子どもを健全に育むために特に必要だと思うこと

(単位:%)

	標本数(人)	地域の子どもを見守り育む団体活動の充実	子どもたちがボランティア活動へ参加する機会の充実	青少年団体の育成や指導	地域の行事やイベントの活性化	地域のグループが参加して活躍している	外国人などの体制の充実	学校施設の開放や学校活動への地域の人々の参加	子どもたちがのびのびと遊べる施設や場所の充実
全体	1,746	18.7	17.6	4.1	17.2	2.2	5.5	10.9	53.7
子どもの世代別	中学生	913	17.9	17.5	4.1	15.1	1.5	5.6	53.9
	高校生世代	813	19.6	17.6	4.2	19.3	2.8	5.2	53.4
	無回答	20	20.0	20.0	5.0	25.0	10.0	15.0	55.0

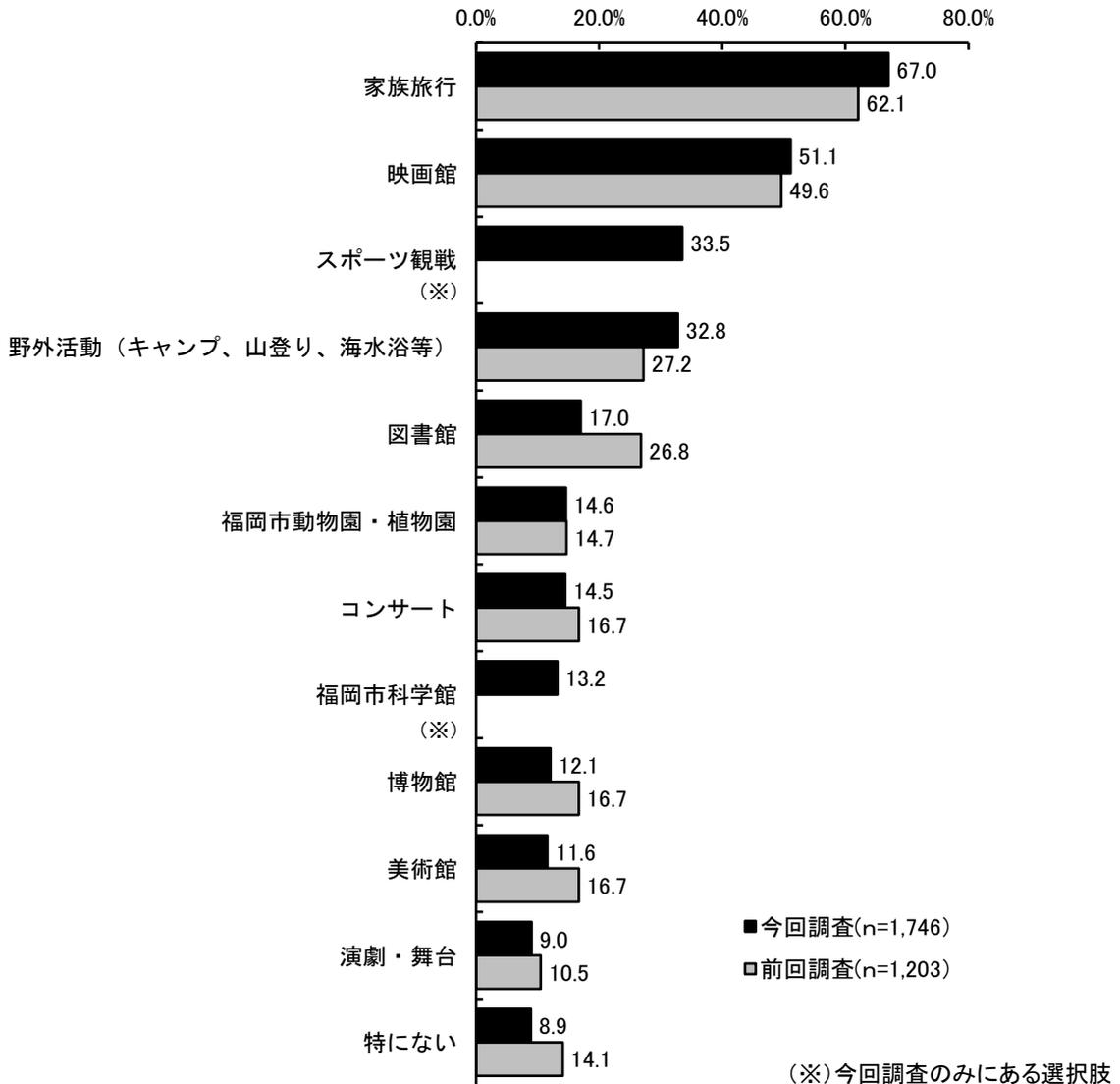
(単位:%)

	標本数(人)	子どもたちが安心して過ごせる場所の充実	子どもたちが生活の知恵や技術を学ぶ機会の充実	地域の人々が日常的に集まり話し合える場所	悩みごとなどを相談する人や場所の充実	子どもたちに有害な社会環境の改善	子どもたちの非行防止活動の推進	その他	無回答
全体	1,746	47.1	24.6	4.8	13.9	15.6	7.7	3.8	3.5
子どもの世代別	中学生	913	48.0	26.6	4.7	13.3	8.5	4.3	2.7
	高校生世代	813	46.1	22.3	4.7	14.6	6.4	3.2	4.2
	無回答	20	50.0	25.0	10.0	15.0	20.0	5.0	10.0

5. 子どもと保護者の体験

問30 過去1年間に、お子さんと次のような体験をしたり行ったりしたことがありますか。
(あてはまるものすべてに○)

図表75 過去1年間に子どもとしたり、行ったところ



過去1年間に子どもとしたり、行ったところについては、「家族旅行」の割合が67.0%で最も高く、次いで「映画館」が51.1%、「スポーツ観戦」が33.5%、「野外活動(キャンプ、山登り、海水浴等)」が32.8%、「図書館」が17.0%、「福岡市動物園・植物園」が14.6%、「コンサート」が14.5%、「福岡市科学館」が13.2%、「博物館」が12.1%、「美術館」が11.6%となっている。

選択肢に相違があるが前回調査と比較すると、「野外活動(キャンプ、山登り、海水浴等)」の割合は5.6ポイント増加し、「美術館」の割合は5.1ポイント減少し、「特にない」の割合は5.2ポイント減少し、「図書館」の割合は9.8ポイント減少している。

子どもの世代別にみると、中学生では「家族旅行」、「野外活動(キャンプ、山登り、海水浴等)」、「図書館」、「福岡市科学館」、「福岡市動物園・植物園」、「映画館」の割合が高校生世代に比べて10ポイント以上高くなっている。

世帯分類別にみると、ひとり親では「家族旅行」、「野外活動(キャンプ、山登り、海水浴等)」、「スポーツ観戦」の割合が他の世帯に比べて低くなっている。

世帯年収別にみると、200万円未満では「特にない」の割合が他の世帯年収に比べて高くなっている。

IV 中学生・高校生等の保護者調査結果

図表76 子どもの世代別、世帯分類別、世帯年収別 子どもと保護者の体験

(単位:%)

		標本数(人)	家族旅行	野外活動(キャンプ、山登り、海水浴等)	スポーツ観戦	図書館	博物館	美術館	福岡市科学館	福岡市動物園・植物園
全体		1,746	67.0	32.8	33.5	17.0	12.1	11.6	13.2	14.6
子どもの世代別	中学生	913	74.2	42.2	35.9	21.8	14.6	12.4	19.1	19.3
	高校生世代	813	59.4	22.4	31.1	11.8	9.5	10.7	6.9	9.3
	無回答	20	50.0	30.0	20.0	10.0	10.0	15.0	5.0	15.0
全体		1,746	67.0	32.8	33.5	17.0	12.1	11.6	13.2	14.6
世帯分類別	三世代	74	66.2	29.7	36.5	16.2	14.9	14.9	16.2	13.5
	核家族	1,360	69.8	33.7	35.1	17.6	12.4	11.4	13.5	14.6
	ひとり親	206	51.5	25.7	23.3	14.1	11.2	11.7	12.1	13.6
	ひとり親三世代	25	60.0	32.0	28.0	20.0	12.0	12.0	4.0	16.0
	その他	57	63.2	33.3	33.3	7.0	10.5	12.3	10.5	15.8
無回答	24	62.5	54.2	29.2	29.2	4.2	12.5	12.5	20.8	
全体		1,746	67.0	32.8	33.5	17.0	12.1	11.6	13.2	14.6
世帯年収別	200万円未満	108	39.8	26.9	16.7	8.3	7.4	9.3	9.3	13.9
	200～300万円未満	103	47.6	31.1	29.1	11.7	14.6	11.7	9.7	15.5
	300～400万円未満	127	66.1	29.9	28.3	9.4	10.2	10.2	8.7	9.4
	400～500万円未満	159	57.2	32.7	28.9	10.1	8.2	9.4	11.3	18.2
	500～700万円未満	384	66.7	31.0	29.7	16.4	13.5	11.7	12.5	12.5
	700～1,000万円未満	413	71.2	33.4	40.0	22.8	13.1	11.6	16.0	16.5
	1,000万円以上	347	81.3	37.8	40.6	21.0	14.1	13.8	15.9	15.6
	無回答	105	67.6	32.4	33.3	17.1	7.6	11.4	12.4	12.4

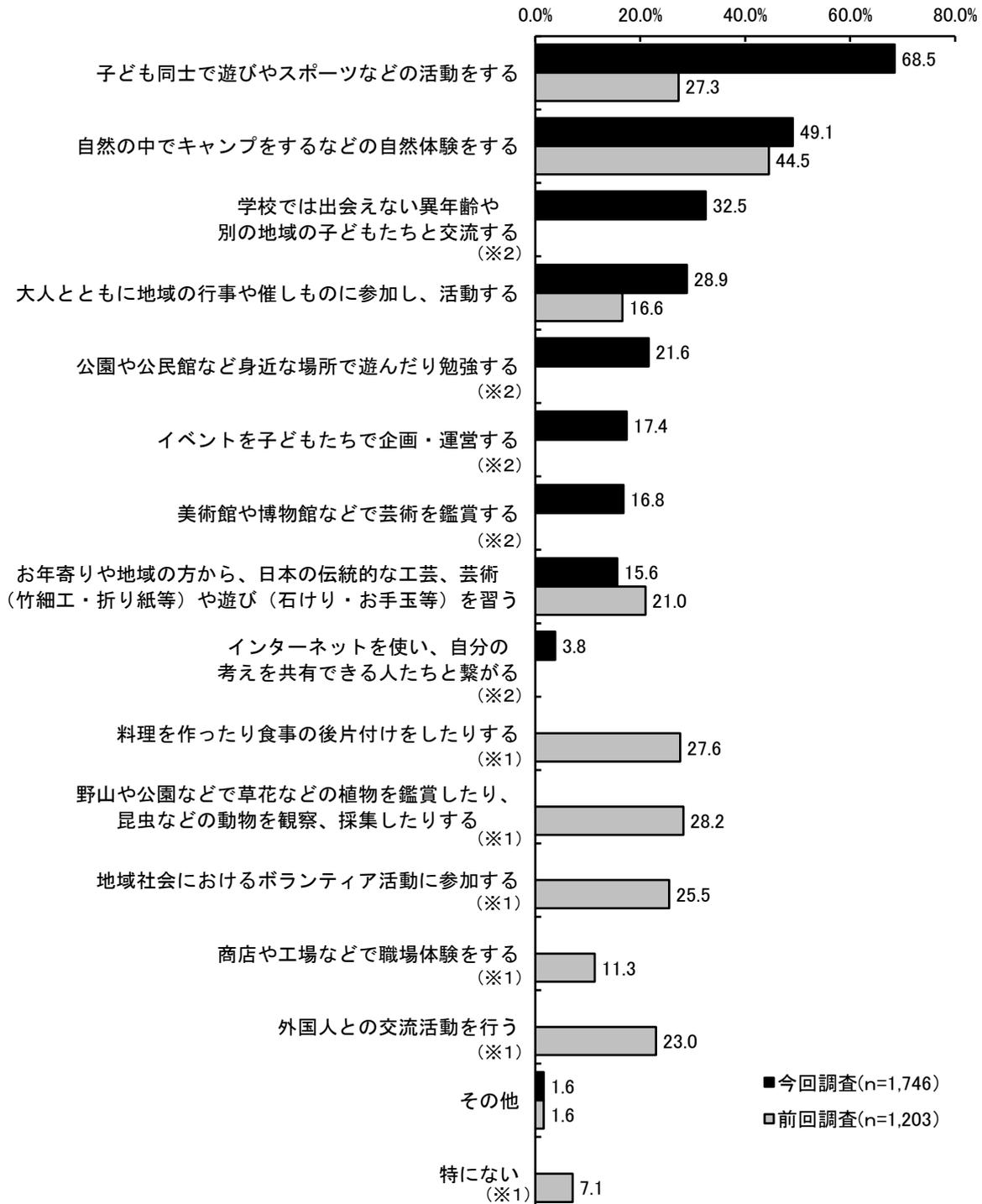
(単位:%)

		標本数(人)	映画館	演劇・舞台	コンサート	特にない	無回答
全体		1,746	51.1	9.0	14.5	8.9	1.1
子どもの世代別	中学生	913	60.8	9.5	12.7	4.5	1.0
	高校生世代	813	40.7	8.6	16.5	13.7	1.0
	無回答	20	30.0	-	15.0	15.0	15.0
全体		1,746	51.1	9.0	14.5	8.9	1.1
世帯分類別	三世代	74	58.1	8.1	13.5	8.1	-
	核家族	1,360	50.7	9.3	15.0	7.8	1.0
	ひとり親	206	51.0	7.8	11.2	15.5	1.0
	ひとり親三世代	25	56.0	8.0	20.0	16.0	-
	その他	57	50.9	12.3	12.3	10.5	1.8
無回答	24	45.8	-	16.7	4.2	16.7	
全体		1,746	51.1	9.0	14.5	8.9	1.1
世帯年収別	200万円未満	108	46.3	4.6	6.5	21.3	1.9
	200～300万円未満	103	46.6	9.7	10.7	11.7	1.9
	300～400万円未満	127	48.8	8.7	6.3	10.2	2.4
	400～500万円未満	159	42.1	3.8	10.1	11.3	0.6
	500～700万円未満	384	51.8	8.3	14.3	9.1	0.3
	700～1,000万円未満	413	52.8	8.7	15.7	7.3	1.0
	1,000万円以上	347	57.3	14.1	22.5	5.2	0.6
	無回答	105	46.7	7.6	12.4	5.7	4.8

6. 子どもが健全に成長するために、必要だと思う体験

問31 あなたは、子どもが健全に成長するためには、子どもたちにどのような体験が必要だと思いますか。(〇は3つまで)

図表77 子どもが健全に成長するために、必要だと思う体験



(※1) 前回調査のみにある選択肢
(※2) 今回調査のみにある選択肢

IV 中学生・高校生等の保護者調査結果

子どもが健全に成長するために、必要だと思う体験については、「子ども同士で遊びやスポーツなどの活動をする」の割合が68.5%で最も高く、次いで「自然の中でキャンプをするなどの自然体験をする」が49.1%、「学校では出会えない異年齢や別の地域の子もたちと交流する」が32.5%、「大人とともに地域の行事や催しものに参加し、活動する」が28.9%、「公園や公民館など身近な場所で遊んだり勉強する」が21.6%、「イベントを子どもたちで企画・運営する」が17.4%、「美術館や博物館などで芸術を鑑賞する」が16.8%、「お年寄りや地域の方から、日本の伝統的な工芸、芸術（竹細工・折り紙等）や遊び（石けり・お手玉等）を習う」が15.6%となっている。

選択肢に相違があるが前回調査と比較すると、「子ども同士で遊びやスポーツなどの活動をする」の割合は41.2ポイント増加し、「大人とともに地域の行事や催しものに参加し、活動する」の割合は12.3ポイント増加し、「お年寄りや地域の方から、日本の伝統的な工芸、芸術（竹細工・折り紙等）や遊び（石けり・お手玉等）を習う」の割合は5.4ポイント減少している。

子どもの世代別にみると、中学生では「子ども同士で遊びやスポーツなどの活動をする」の割合が高校生世代に比べて10.3ポイント高くなっている。

図表78 子どもの世代別 子どもが健全に成長するために、必要だと思う体験

(単位:%)

	標本数(人)	子ども同士で遊びや活動をする	大人とともに地域の行事や催しものに参加し、活動する	芸、芸術や遊びを習う	お年寄りや地域の方から、日本の伝統的な工芸、芸術を鑑賞する	自然の中で自然体験をする	美術館や博物館などで芸術を鑑賞する	公園や公民館など身近な場所で遊んだり勉強する	年齢や別の地域の子もたちと交流する	学校では出会えない異年齢の子もたちと交流する	企画・運営する子どもたち
全体	1,746	68.5	28.9	15.6	16.8	49.1	16.8	21.6	32.5	17.4	
子どもの世代別	中学生	913	73.5	26.2	17.1	51.3	16.2	23.8	34.4	15.9	
	高校生世代	813	63.2	31.9	13.9	46.7	17.2	18.7	30.6	19.1	
	無回答	20	55.0	35.0	20.0	45.0	30.0	40.0	25.0	20.0	

(単位:%)

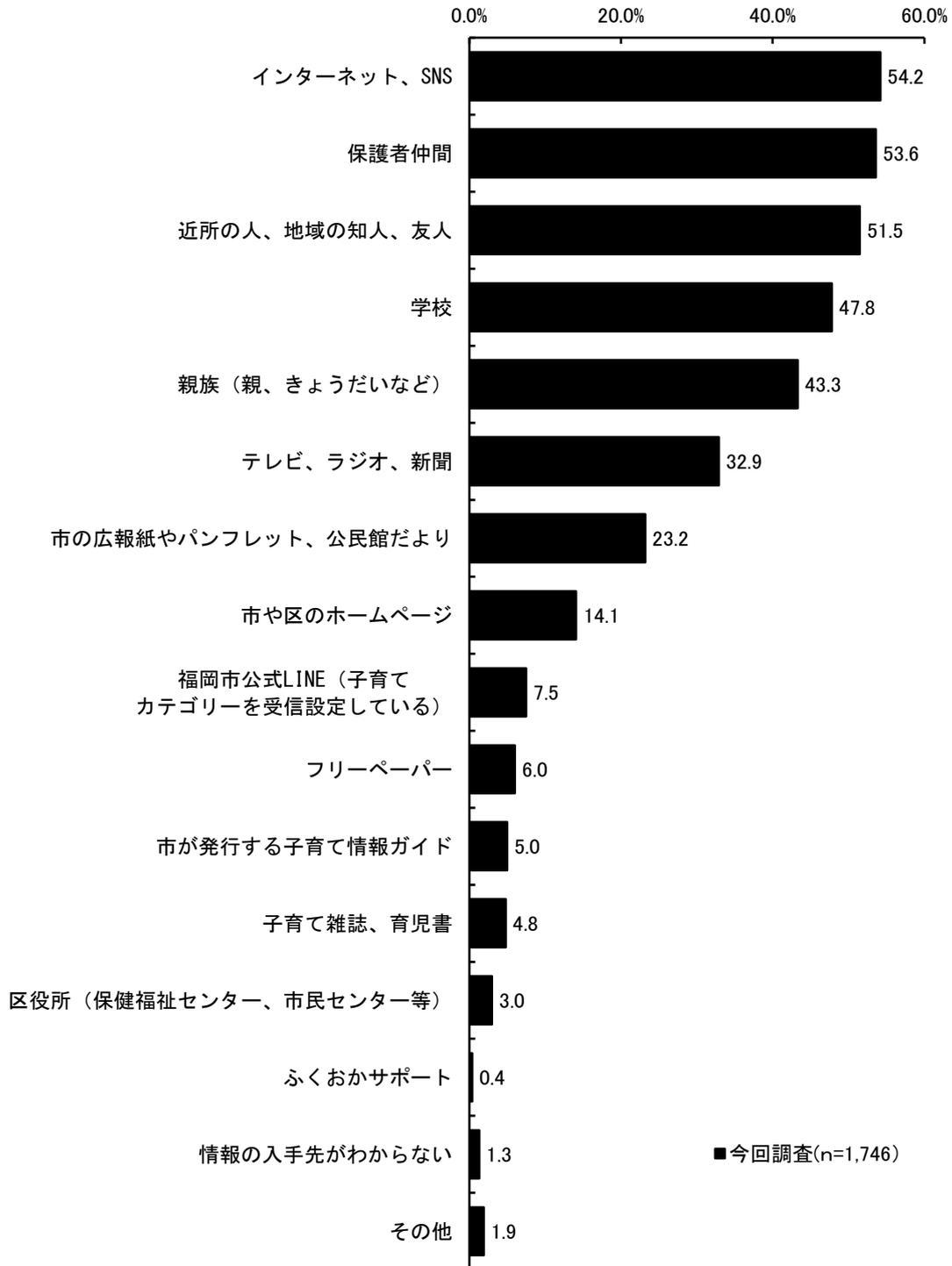
	標本数(人)	自分たちの考えを共有できるインターネットを使う	その他	無回答	
全体	1,746	3.8	1.6	2.7	
子どもの世代別	中学生	913	3.1	1.4	2.0
	高校生世代	813	4.6	1.8	3.3
	無回答	20	10.0	-	15.0

第5章 子ども・子育て支援について

1. 子育てに関する情報の入手先

問32 子育てに関する情報をどこから入手していますか。(あてはまるものすべてに○)

図表79 子育てに関する情報の入手先



子育てに関する情報の入手先については、「インターネット、SNS」の割合が54.2%で最も高く、次いで「保護者仲間」が53.6%、「近所の人、地域の知人、友人」が51.5%、「学校」が47.8%、「親族（親、きょうだいなど）」が43.3%、「テレビ、ラジオ、新聞」が32.9%、「市の広報紙やパンフレット、公民館だより」が23.2%、「市や区のホームページ」が14.1%となっている。

IV 中学生・高校生等の保護者調査結果

調査の回答者別にみると、母親では「近所の人、地域の知人、友人」、「保護者仲間」の割合が父親に比べて20ポイント以上高くなっている。

子どもの世代別にみると、中学生では「学校」の割合が高校生世代に比べて8.6ポイント高くなっている。

母親の就労状況別にみると、以前は就労していたが、現在は就労していない場合では「テレビ、ラジオ、新聞」、「市の広報紙やパンフレット、公民館だより」の割合が他の就労状況に比べて高くなっている。

図表80 調査の回答者別、子どもの世代別、保護者の就労状況別 子育てに関する情報の入手先

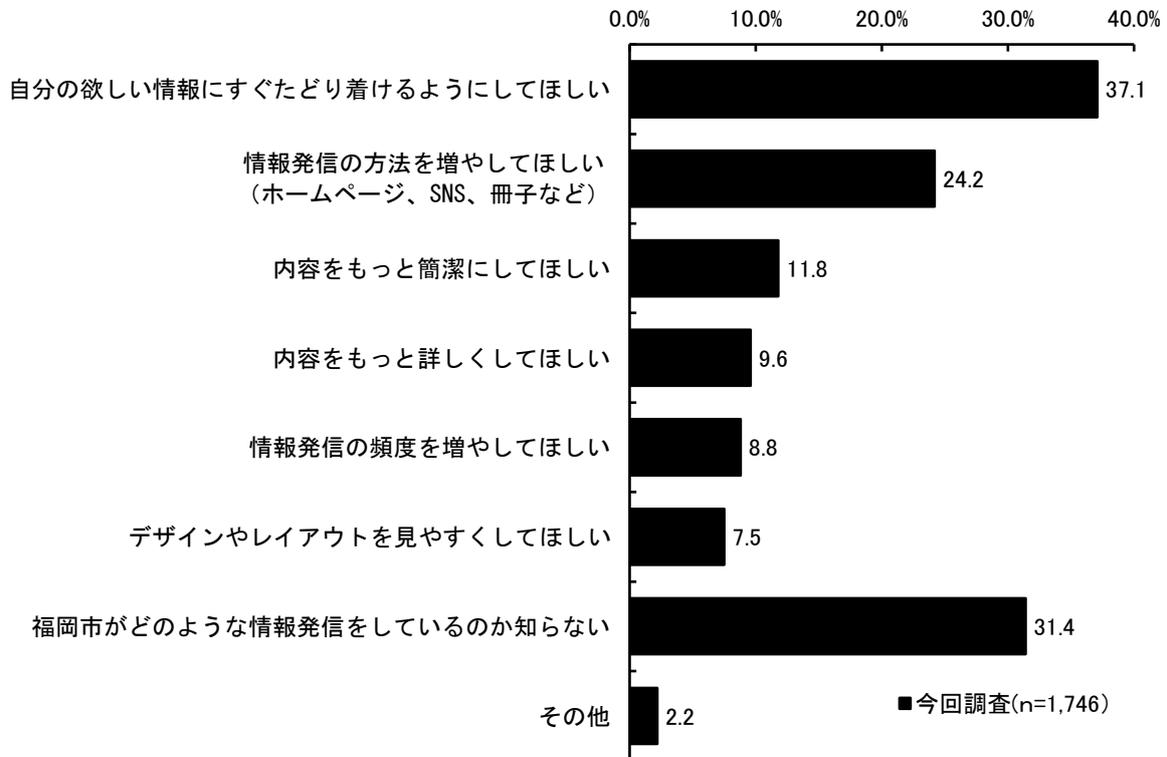
		(単位:%)									
		標本数(人)	親族(親、きょうだいなど)	近所の人、地域の知人、友人	学校	保護者仲間	インターネット、SNS	市や区のホームページ	福岡市公式LINE(子育てカテゴリ)を受信設定している)	ふくおかサポート	テレビ、ラジオ、新聞
全体		1,746	43.3	51.5	47.8	53.6	54.2	14.1	7.5	0.4	32.9
調査の回答者別	母親	1,501	43.6	54.6	48.2	56.5	54.9	14.3	8.1	0.3	32.8
	父親	213	42.3	31.0	45.5	34.3	52.1	13.6	4.7	1.4	34.7
	祖父母	7	42.9	-	57.1	14.3	14.3	14.3	-	-	42.9
	その他	6	66.7	66.7	33.3	66.7	66.7	16.7	-	-	16.7
	無回答	19	21.1	52.6	36.8	47.4	31.6	-	-	-	26.3
全体		1,746	43.3	51.5	47.8	53.6	54.2	14.1	7.5	0.4	32.9
子どもの世代別	中学生	913	44.2	53.7	51.8	56.5	56.1	13.7	8.5	0.4	32.4
	高校生世代	813	42.8	49.2	43.2	50.6	52.5	14.9	6.4	0.4	33.5
	無回答	20	20.0	50.0	50.0	40.0	35.0	-	5.0	-	35.0
全体		1,746	43.3	51.5	47.8	53.6	54.2	14.1	7.5	0.4	32.9
保護者の就労状況別	フルタイムで就労	764	44.4	45.2	47.1	48.4	56.0	16.0	7.7	0.8	30.4
	パート・アルバイト等で就労	659	42.6	57.5	46.7	59.9	52.8	13.1	6.8	0.2	32.9
	以前は就労していたが、現在は就労していない	246	44.7	55.3	53.7	51.6	54.9	13.4	9.3	-	40.2
	これまで就労したことがない	21	42.9	38.1	57.1	52.4	61.9	4.8	9.5	-	19.0
	無回答	56	30.4	57.1	39.3	57.1	39.3	7.1	3.6	-	41.1

		(単位:%)								
		標本数(人)	区役所(保健福祉センター等)	市の広報紙やパンフレット、公民館だより	市が発行する子育て情報ガイド	子育て雑誌、育児書	フリーペーパー	情報の入手先がわからない	その他	無回答
全体		1,746	3.0	23.2	5.0	4.8	6.0	1.3	1.9	1.7
調査の回答者別	母親	1,501	2.9	23.8	4.9	4.5	6.1	1.0	1.7	1.4
	父親	213	4.7	21.1	6.1	7.5	4.7	3.3	3.3	1.4
	祖父母	7	-	-	14.3	-	14.3	14.3	-	14.3
	その他	6	-	-	-	-	-	-	-	-
	無回答	19	-	15.8	-	-	10.5	-	5.3	21.1
全体		1,746	3.0	23.2	5.0	4.8	6.0	1.3	1.9	1.7
子どもの世代別	中学生	913	3.7	23.7	5.8	4.8	6.0	1.4	2.2	1.2
	高校生世代	813	2.2	23.0	4.3	4.8	6.0	1.2	1.5	1.8
	無回答	20	5.0	10.0	-	-	5.0	-	5.0	15.0
全体		1,746	3.0	23.2	5.0	4.8	6.0	1.3	1.9	1.7
保護者の就労状況別	フルタイムで就労	764	3.1	21.7	5.6	5.5	5.5	1.4	2.4	1.6
	パート・アルバイト等で就労	659	2.6	22.5	4.9	4.1	6.8	1.2	1.7	1.2
	以前は就労していたが、現在は就労していない	246	3.3	31.7	3.7	4.1	5.3	1.2	1.2	-
	これまで就労したことがない	21	-	14.3	-	4.8	9.5	4.8	-	4.8
	無回答	56	7.1	17.9	7.1	5.4	5.4	-	1.8	14.3

2. 子育て施策に関する福岡市の情報発信で改善してほしい点

問33 子育て施策に関する福岡市の情報発信について、改善してほしいと思う点がありますか。
 (〇は3つまで)

図表81 子育て施策に関する福岡市の情報発信で改善してほしい点

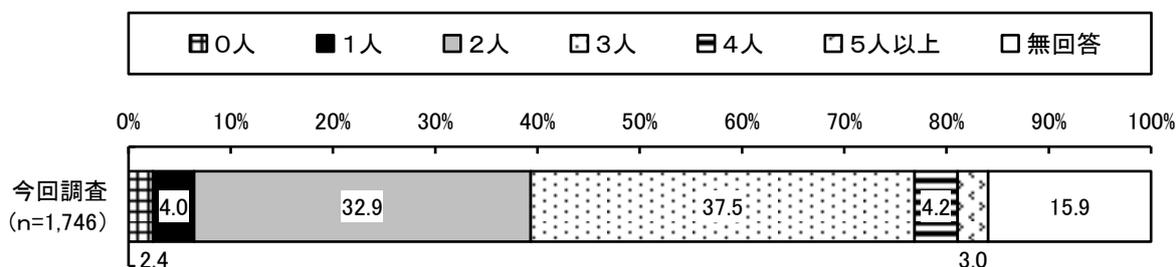


子育て施策に関する福岡市の情報発信で改善してほしい点については、「自分の欲しい情報にすぐたどり着けるようにしてほしい」の割合が37.1%で最も高く、次いで「福岡市がどのような情報発信をしているのか知らない」が31.4%、「情報発信の方法を増やしてほしい（ホームページ、SNS、冊子など）」が24.2%、「内容をもっと簡潔にほしい」が11.8%となっている。

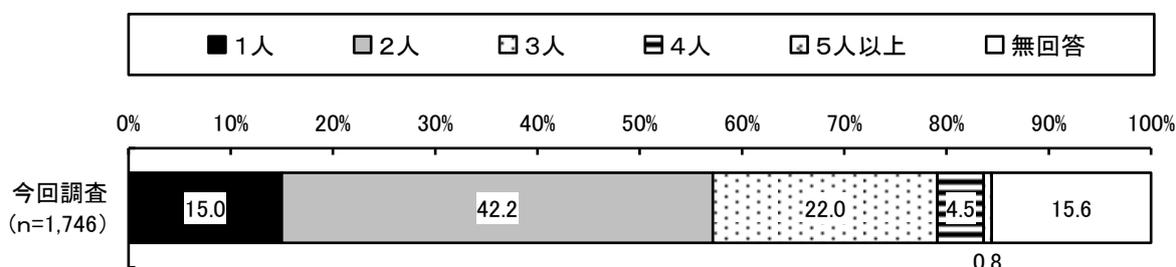
3. ほしいと思っている子どもの人数、実際に予定している子どもの人数

問34 あなたにとって、ほしいと思っている子どもの数、実際に予定している子どもの数は何人ですか。(枠内に数字を記入)

図表82 ほしいと思っている子どもの人数



図表83 実際に予定している子どもの人数



ほしいと思っている子どもの人数については、「3人」の割合が37.5%で最も高く、次いで「2人」が32.9%となっている。

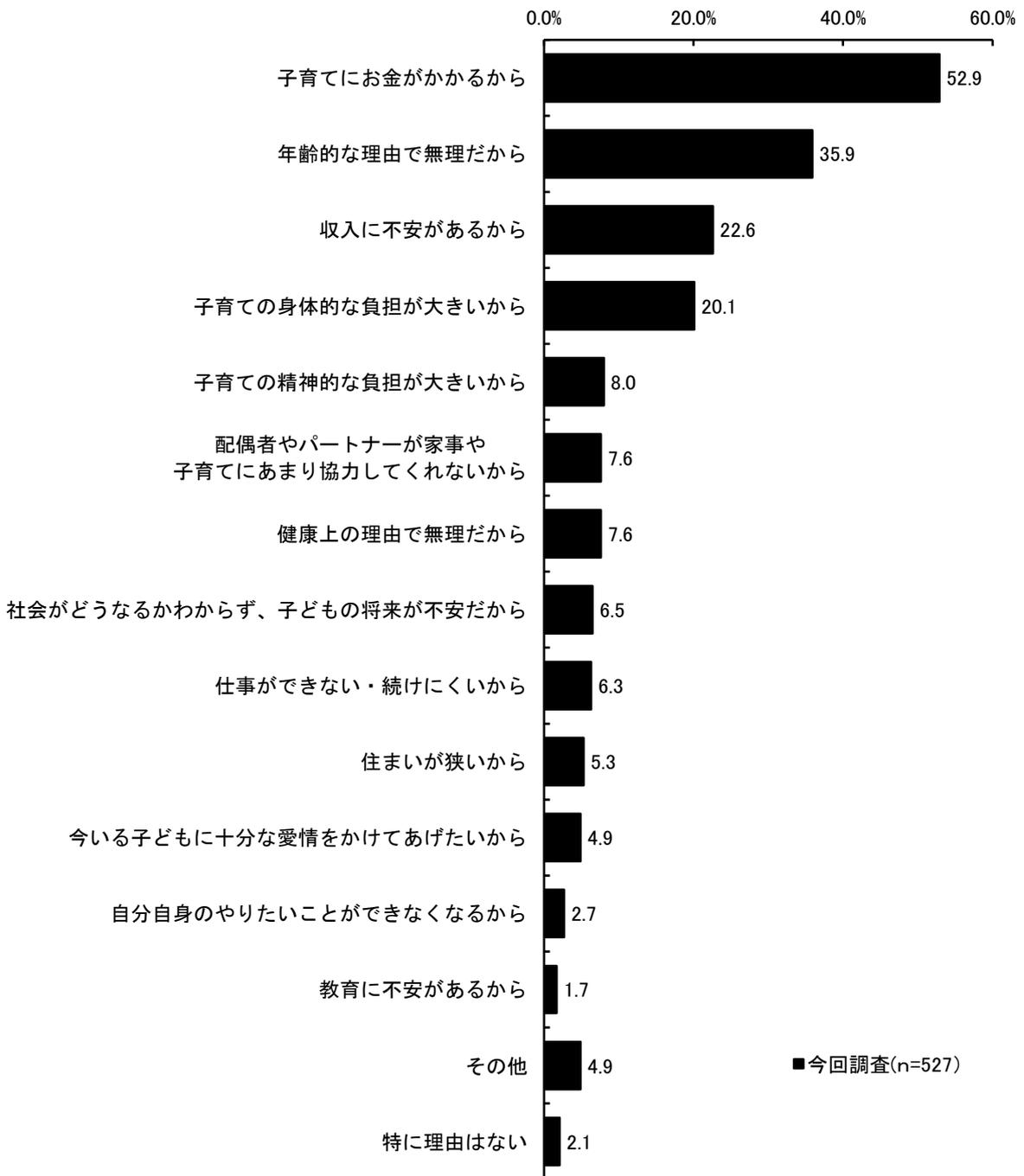
また、実際に予定している子どもの人数については、「2人」の割合が42.2%で最も高く、次いで「3人」が22.0%、「1人」が15.0%となっている。

4. ほしい人数よりも予定している人数が少ない理由

問34で「ほしいと思っている子どもの数」よりも「実際に予定している子どもの数」が少ない方にうかがいます。

問34-1 その理由はどのようなことですか。(〇は2つまで)

図表84 ほしい人数よりも予定している人数が少ない理由



ほしい人数よりも予定している人数が少ない理由としては、「子育てにお金がかかるから」の割合が52.9%で最も高く、次いで「年齢的な理由で無理だから」が35.9%、「収入に不安があるから」が22.6%となっている。

IV 中学生・高校生等の保護者調査結果

調査の回答者の年代別にみると、30代及び40代以上では「子育てにお金がかかるから」の割合が最も高くなっている。

世帯年収別にみると、500～700万円未満では「子育てにお金がかかるから」の割合が他の世帯年収に比べて高くなっている。

図表85 調査の回答者の年代別、世帯年収別
ほしい人数よりも予定している人数が少ない理由

(単位:%)

		標本数(人)	子育ての身体的な負担が大きいから	子育ての精神的な負担が大きいから	配りや偶々やパートナーが協力してくれないから	子育てにお金がかかるから	収入に不安があるから	住まいが狭いから	教育に不安があるから	年齢的な理由で無理だから
全体		527	20.1	8.0	7.6	52.9	22.6	5.3	1.7	35.9
調査の回答者の年代別	10代	29	27.6	10.3	13.8	44.8	27.6	6.9	3.4	44.8
	20代	1	-	-	-	100.0	100.0	-	-	-
	30代	38	28.9	13.2	7.9	60.5	34.2	10.5	2.6	7.9
	40代以上	446	19.1	7.6	7.0	52.5	21.3	4.9	1.6	37.4
	回答しない	8	25.0	-	12.5	62.5	12.5	-	-	50.0
無回答		5	-	-	20.0	60.0	20.0	-	-	40.0
全体		527	20.1	8.0	7.6	52.9	22.6	5.3	1.7	35.9
世帯年収別	200万円未満	34	17.6	8.8	8.8	41.2	52.9	2.9	-	29.4
	200～300万円未満	33	18.2	6.1	9.1	51.5	30.3	15.2	-	27.3
	300～400万円未満	39	23.1	12.8	5.1	53.8	28.2	5.1	2.6	30.8
	400～500万円未満	55	14.5	-	7.3	56.4	41.8	5.5	-	29.1
	500～700万円未満	128	21.9	8.6	5.5	62.5	22.7	7.0	0.8	33.6
	700～1,000万円未満	127	22.0	6.3	6.3	52.8	15.7	3.1	2.4	41.7
	1,000万円以上	94	20.2	11.7	9.6	43.6	4.3	2.1	3.2	41.5
	無回答	17	11.8	11.8	23.5	47.1	23.5	11.8	5.9	41.2

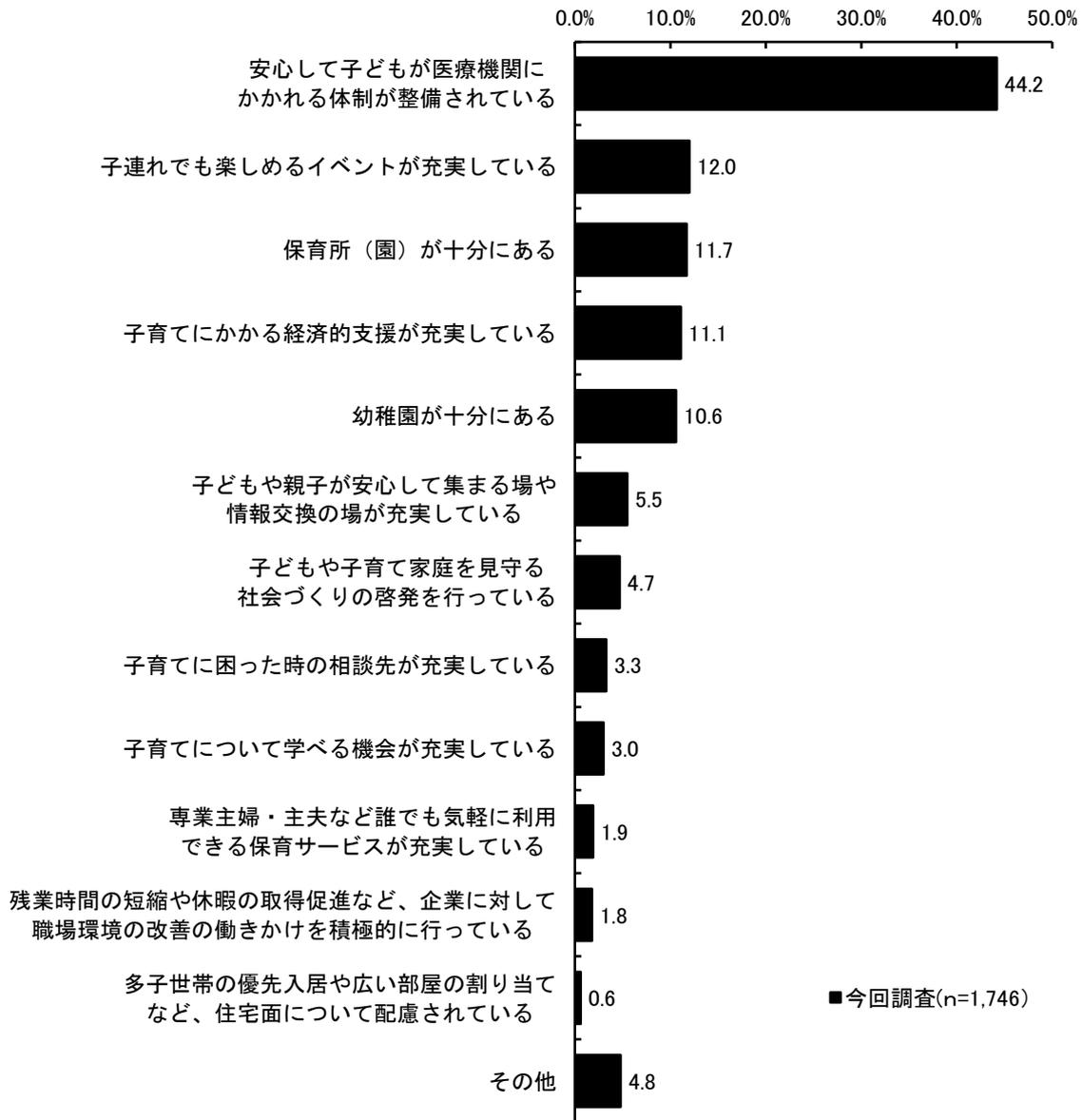
(単位:%)

		標本数(人)	健康上の理由で無理だから	仕事からできない・続けにくいから	自分自身のやりたいことができないから	今いる子どもに十分な愛情をかけてあげたいから	だから子どもがどうなるかわからず、社会がどうなるかわからず	その他	特に理由はない	無回答
全体		527	7.6	6.3	2.7	4.9	6.5	4.9	2.1	0.4
調査の回答者の年代別	10代	29	6.9	3.4	3.4	-	6.9	6.9	-	-
	20代	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	30代	38	2.6	18.4	5.3	13.2	5.3	2.6	5.3	-
	40代以上	446	8.1	5.4	2.5	4.5	6.5	5.2	2.0	0.4
	回答しない	8	12.5	-	-	-	-	-	-	-
無回答		5	-	20.0	-	20.0	20.0	-	-	-
全体		527	7.6	6.3	2.7	4.9	6.5	4.9	2.1	0.4
世帯年収別	200万円未満	34	8.8	2.9	5.9	8.8	8.8	5.9	-	-
	200～300万円未満	33	12.1	6.1	-	3.0	6.1	21.2	3.0	-
	300～400万円未満	39	2.6	2.6	-	2.6	5.1	10.3	2.6	-
	400～500万円未満	55	3.6	9.1	5.5	7.3	10.9	-	5.5	-
	500～700万円未満	128	12.5	5.5	2.3	3.1	7.0	4.7	1.6	0.8
	700～1,000万円未満	127	6.3	6.3	3.1	3.9	3.1	3.9	1.6	-
	1,000万円以上	94	5.3	8.5	2.1	7.4	6.4	2.1	2.1	1.1
	無回答	17	5.9	5.9	-	5.9	11.8	-	-	-

5. 福岡市が行っている子ども施策で満足している点

問35 福岡市が行っている子ども施策について、満足している点がありますか。(〇は3つまで)

図表86 福岡市が行っている子ども施策で満足している点



福岡市が行っている子ども施策で満足している点については、「安心して子どもが医療機関にかかれる体制が整備されている」の割合が44.2%で最も高く、次いで「子連れでも楽しめるイベントが充実している」が12.0%、「保育所(園)が十分にある」が11.7%となっている。

調査の回答者別にみると、母親では「子連れでも楽しめるイベントが充実している」の割合が父親に比べて5.2ポイント高くなっている。

子どもの世代別にみると、中学生では「安心して子どもが医療機関にかかれる体制が整備されている」の割合が高校生世代に比べて11.9ポイント高くなっている。

世帯分類別にみると、三世帯では「安心して子どもが医療機関にかかれる体制が整備されている」の割合が他の世帯に比べて高くなっている。

IV 中学生・高校生等の保護者調査結果

図表87 調査の回答者別、子どもの世代別、世帯分類別
福岡市が行っている子ども施策で満足している点

(単位:%)

		標本数(人)	保育所(園)が十分にあり	幼稚園が十分にある	専業主婦・主夫など誰か一人に利用できる保育サービスが充実している	子育てにかかる経済的支援が充実している	子どもや親子が安心して集まる場や情報交換の場が充実している	子育てについて学べる機会が充実している	子育てに困った時の相談先が充実している	子ども連れでも楽しめるイベントが充実している
全体		1,746	11.7	10.6	1.9	11.1	5.5	3.0	3.3	12.0
回答者別	母親	1,501	11.5	10.7	1.7	10.9	5.7	2.9	3.7	12.7
	父親	213	11.3	10.8	2.8	11.7	3.3	2.3	1.4	7.5
	祖父母	7	14.3	-	14.3	14.3	14.3	14.3	-	-
	その他	6	50.0	16.7	16.7	33.3	16.7	16.7	-	33.3
	無回答	19	21.1	-	-	5.3	5.3	5.3	-	5.3
全体		1,746	11.7	10.6	1.9	11.1	5.5	3.0	3.3	12.0
子どもの世代別	中学生	913	11.7	11.4	1.4	12.6	5.8	2.7	3.0	12.5
	高校生世代	813	11.3	10.0	2.5	9.5	5.2	3.1	3.7	11.6
	無回答	20	25.0	-	-	5.0	5.0	10.0	5.0	5.0
全体		1,746	11.7	10.6	1.9	11.1	5.5	3.0	3.3	12.0
世帯分類別	三世帯	74	14.9	12.2	-	8.1	1.4	4.1	2.7	13.5
	核家族	1,360	10.9	11.8	2.1	9.8	6.0	2.9	3.2	12.6
	ひとり親	206	9.7	3.4	1.5	15.5	2.9	1.5	4.9	7.8
	ひとり親三世帯	25	24.0	12.0	4.0	28.0	-	4.0	8.0	4.0
	その他	57	22.8	5.3	1.8	22.8	10.5	8.8	-	17.5
	無回答	24	25.0	8.3	-	8.3	4.2	4.2	-	4.2

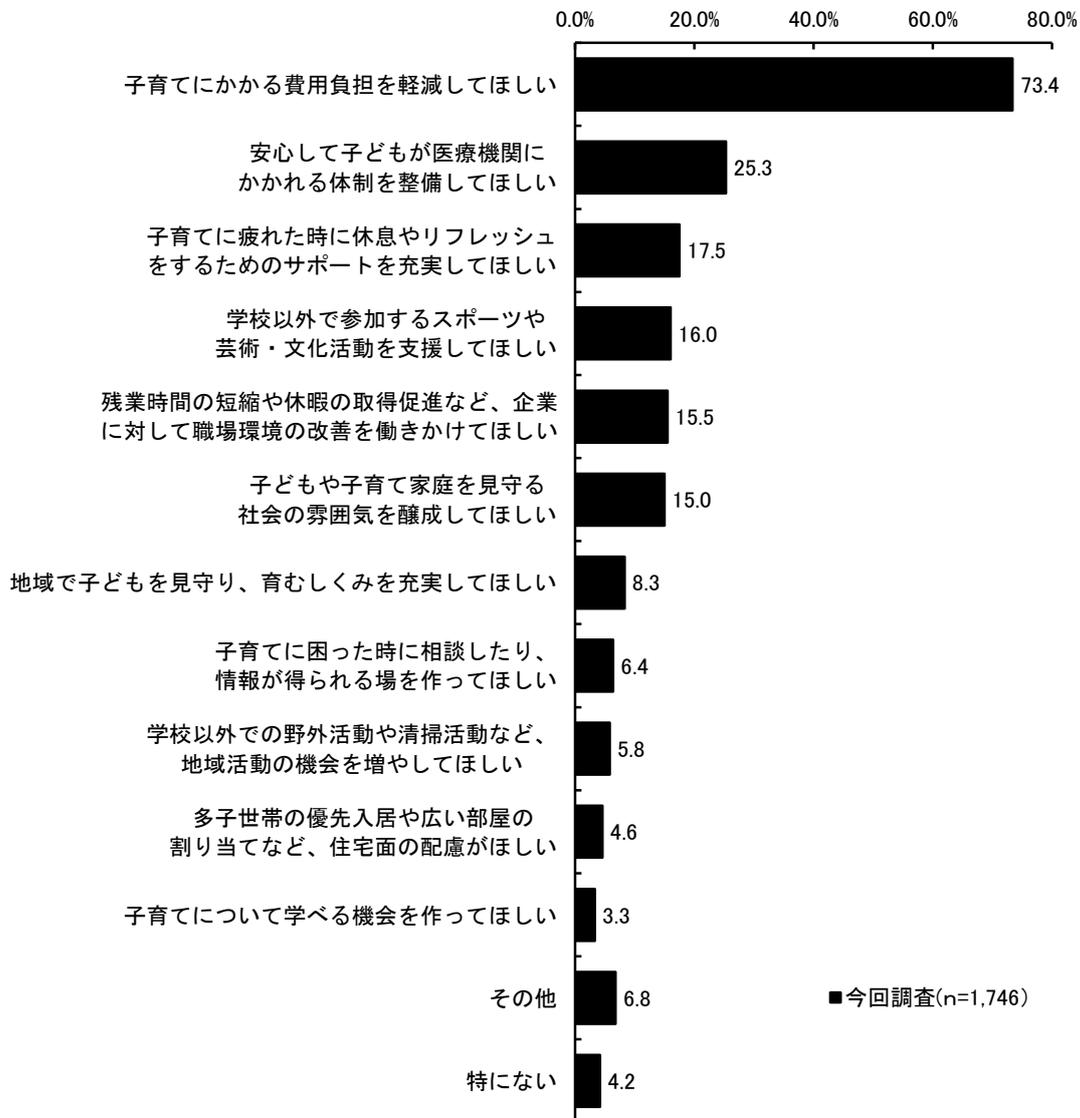
(単位:%)

		標本数(人)	安全にかかるといわれる子どもが医療機関で安心して過ごせる体制が整備されている	多世代同居の環境が整っている	子育ての負担を軽減する環境が整っている	残業時間短縮や休日取得などの取組が実施されている	子どもや子育ての家庭を見守る社会づくりが行われている	その他	無回答
全体		1,746	44.2	0.6	1.8	4.7	4.8	27.7	
回答者別	母親	1,501	44.4	0.6	1.6	4.5	4.7	27.6	
	父親	213	44.1	-	3.8	5.2	4.7	26.8	
	祖父母	7	42.9	-	-	14.3	-	28.6	
	その他	6	66.7	-	-	-	16.7	-	
	無回答	19	21.1	5.3	-	10.5	5.3	47.4	
全体		1,746	44.2	0.6	1.8	4.7	4.8	27.7	
子どもの世代別	中学生	913	49.9	0.7	1.5	4.7	4.9	23.3	
	高校生世代	813	38.0	0.5	2.2	4.4	4.7	32.0	
	無回答	20	30.0	-	-	15.0	-	50.0	
全体		1,746	44.2	0.6	1.8	4.7	4.8	27.7	
世帯分類別	三世帯	74	52.7	-	-	4.1	4.1	23.0	
	核家族	1,360	45.4	0.4	2.1	4.7	4.4	26.5	
	ひとり親	206	37.4	1.9	1.0	3.4	6.8	35.4	
	ひとり親三世帯	25	28.0	-	-	8.0	8.0	28.0	
	その他	57	43.9	1.8	1.8	7.0	7.0	24.6	
	無回答	24	25.0	-	-	8.3	-	50.0	

6. 充実してほしい子育て施策

問36 あなたは、どのような子育て施策の充実を図ってほしいですか。(〇は3つまで)

図表88 充実してほしい子育て施策



充実してほしい子育て施策については、「子育てにかかる費用負担を軽減してほしい」の割合が73.4%で最も高く、次いで「安心して子どもが医療機関にかかれる体制を整備してほしい」が25.3%、「子育てに疲れた時に休息やリフレッシュをするためのサポートを充実してほしい」が17.5%となっている。

調査の回答者別にみると、母親では「子育てに疲れた時に休息やリフレッシュをするためのサポートを充実してほしい」の割合が父親に比べて6.6ポイント高くなっている。また、父親では「安心して子どもが医療機関にかかれる体制を整備してほしい」の割合が母親に比べて5.1ポイント高くなっている。

子どもの世代別にみると、高校生世代では「安心して子どもが医療機関にかかれる体制を整備してほしい」の割合が中学生に比べて8.1ポイント高くなっている。

世帯分類別にみると、三世帯では「子育てにかかる費用負担を軽減してほしい」、「学校以外で参加するスポーツや芸術・文化活動を支援してほしい」の割合が他の世帯に比べて高くなっている。

IV 中学生・高校生等の保護者調査結果

図表89 調査の回答者別、子どもの世代別、世帯分類別 充実してほしい子育て施策

(単位:%)

	標本数(人)	子育てにかかる費用負担を軽減してほしい	地域で子どもを見守り、子育ての充実を希望する	学校以外での地域活動や清掃活動など、地域の活性化を促進してほしい	学校以外で参加するスポーツや芸術文化活動を支援してほしい	子育てに関する情報が得られる場を作り、困った時に相談したり、情報交換の場を作りたい	子育てに疲れた時に休息の時間を確保してほしい	安心して子育てができる体制を整備してほしい	多世帯の優先入居や、広い部屋の割り当てなど、住居の配慮を希望する	
全体	1,746	73.4	8.3	5.8	16.0	6.4	17.5	25.3	4.6	
回答者別	母親	1,501	73.4	7.7	5.4	16.1	6.8	18.3	24.9	4.6
	父親	213	74.6	10.3	9.4	17.4	3.8	11.7	30.0	5.2
	祖父母	7	28.6	14.3	-	-	-	14.3	-	-
	その他	6	50.0	50.0	-	-	16.7	33.3	50.0	-
	無回答	19	78.9	15.8	5.3	10.5	5.3	15.8	10.5	5.3
全体	1,746	73.4	8.3	5.8	16.0	6.4	17.5	25.3	4.6	
子どもの世代別	中学生	913	72.0	8.8	6.4	17.7	6.4	16.8	21.7	5.6
	高校生世代	813	74.7	7.6	5.2	14.1	6.5	18.5	29.8	3.6
	無回答	20	85.0	15.0	10.0	15.0	5.0	15.0	10.0	5.0
全体	1,746	73.4	8.3	5.8	16.0	6.4	17.5	25.3	4.6	
世帯分類別	三世帯	74	82.4	6.8	2.7	25.7	9.5	21.6	20.3	-
	核家族	1,360	73.1	8.2	5.9	15.8	6.5	16.9	26.9	4.3
	ひとり親	206	74.3	7.8	5.8	14.1	5.3	19.9	19.4	10.2
	ひとり親三世帯	25	60.0	4.0	12.0	16.0	-	8.0	16.0	4.0
	その他	57	66.7	12.3	7.0	15.8	7.0	26.3	22.8	-
	無回答	24	83.3	20.8	4.2	16.7	8.3	8.3	16.7	4.2

(単位:%)

	標本数(人)	取得時間の短縮や休業中の働き方改善を促す環境の整備を希望する	子どもや子育ての負担を軽減する社会環境の整備を希望する	子育てに関する情報を得る機会を作りたい	その他	特になし	無回答	
全体	1,746	15.5	15.0	3.3	6.8	4.2	3.4	
回答者別	母親	1,501	15.8	15.2	3.5	7.3	3.9	3.3
	父親	213	13.6	13.6	2.3	4.2	5.6	3.3
	祖父母	7	14.3	-	-	-	28.6	28.6
	その他	6	-	33.3	-	-	-	-
	無回答	19	21.1	15.8	5.3	5.3	-	10.5
全体	1,746	15.5	15.0	3.3	6.8	4.2	3.4	
子どもの世代別	中学生	913	16.6	15.8	4.4	8.1	3.5	3.2
	高校生世代	813	13.9	14.3	2.0	5.4	4.9	3.7
	無回答	20	30.0	10.0	10.0	5.0	5.0	5.0
全体	1,746	15.5	15.0	3.3	6.8	4.2	3.4	
世帯分類別	三世帯	74	12.2	10.8	2.7	6.8	2.7	2.7
	核家族	1,360	16.0	15.7	3.6	6.3	4.1	3.2
	ひとり親	206	14.1	13.1	1.5	11.2	5.3	2.9
	ひとり親三世帯	25	16.0	4.0	-	4.0	4.0	12.0
	その他	57	10.5	15.8	3.5	5.3	5.3	5.3
	無回答	24	20.8	16.7	8.3	4.2	-	8.3

子育てに関して悩んでいること・気になること別にみると、〔子育てで出費がかさむ〕では「子育てにかかる費用負担を軽減してほしい」、〔子どもが不登校やひきこもりの状態にある〕では「子育てに困った時に相談したり、情報が得られる場を作ってほしい」の割合が他に比べて高くなっている。

図表90 子育てに関して悩んでいること・気になること別
充実してほしい子育て施策（1／2）

(単位:%)

	標本数(人)	子育てにかかる費用負担を軽減してほしい	地域で子どもを見守り、子育てに困った時に相談できる場を作りたい	学校外での地域活動や清掃活動を増やしてほしい	学校外で参加する活動を支援してほしい	子育てに困った時に相談できる場を作りたい	子育てに疲れた時に休息をとりたい	安心して子育てができる体制を整備してほしい	多世帯の優先入居や、広い部屋の割り当てなど、住環境の改善してほしい	
全体	1,746	73.4	8.3	5.8	16.0	6.4	17.5	25.3	4.6	
子育てに関して悩んでいること・気になること別	子どもに基本的な習慣	239	71.1	10.5	9.6	17.6	11.3	26.8	20.9	4.6
	子どもの子育てに自信がもてない	160	78.1	5.0	6.9	10.0	18.1	26.9	24.4	5.6
	子どもの子育てについての相談相手がない	52	76.9	1.9	5.8	11.5	19.2	23.1	25.0	9.6
	配偶者やパートナーがあまり協力してくれない	73	71.2	5.5	11.0	13.7	19.2	26.0	26.0	9.6
	子どもが勉強しない	369	74.0	9.2	6.8	17.3	8.9	19.5	22.2	6.0
	子どもの進学や受験、就職のことが気になる	908	76.8	7.9	7.6	16.6	8.5	19.5	27.4	4.3
	子どもの身体や発育、病気が心配である	193	74.6	9.8	7.8	15.0	11.9	23.3	28.5	3.6
	子どもの生活態度に意欲が感じられない	137	73.7	6.6	9.5	16.8	14.6	24.1	24.1	5.8
	子どもが不登校やひきこもりの状態にある	67	62.7	13.4	6.0	13.4	23.9	23.9	17.9	1.5
	子どもの友人関係がよくない	33	72.7	3.0	12.1	12.1	6.1	21.2	6.1	12.1
	子どもが反抗的でなかなか言うことをきかない	127	73.2	7.9	8.7	13.4	11.0	21.3	24.4	3.9
	子どもが非行したり問題行動を起こしたりする	11	72.7	-	18.2	45.5	9.1	18.2	9.1	18.2
	子ども以外に家事や家族の世話を頼める人がいない	64	76.6	-	4.7	14.1	14.1	28.1	23.4	9.4
	子育てで出費がかさむ	519	87.9	6.0	6.4	15.6	4.6	17.3	29.5	7.9
	その他	50	74.0	6.0	18.0	14.0	6.0	28.0	18.0	6.0
特になし	417	67.6	8.9	1.9	15.8	3.8	13.7	23.5	3.4	
無回答	29	72.4	3.4	6.9	17.2	3.4	6.9	20.7	3.4	

図表91 子育てに関して悩んでいること・気になること別
充実してほしい子育て施策（2/2）

(単位: %)

	標本数 (人)	き取得残 かけて職促業 ては場進時 ほし環な短 い境の縮 の企や休 改善業や をに暇 働対の	守子 てほども ほし社や いしいの 子育 育て 困家 気庭 を醸を 成見	会子 を作育 つてて つてつ てほい て学 べ る 機	その他	特 に な い	無 回 答	
全 体	1,746	15.5	15.0	3.3	6.8	4.2	3.4	
子 育 て に 関 し て 悩 ん で い る こ と ・ 気 に な る こ と 別	子どもに基本的な習慣	239	17.2	19.2	3.8	8.4	3.3	2.5
	子どもの子育てに自信がもてない	160	25.0	16.9	6.9	8.1	1.9	3.8
	子どもの子育てについての相談相手がない	52	23.1	11.5	5.8	17.3	1.9	-
	配偶者やパートナーがあまり協力してくれない	73	16.4	19.2	5.5	11.0	2.7	1.4
	子どもが勉強しない	369	19.5	15.4	3.3	8.1	3.8	1.6
	子どもの進学や受験、就職のことが気になる	908	17.4	16.6	4.1	6.7	2.6	2.1
	子どもの身体や発育、病気が心配である	193	20.2	21.2	4.7	9.3	2.1	1.0
	子どもの生活態度に意欲が感じられない	137	13.9	18.2	4.4	4.4	5.8	1.5
	子どもが不登校やひきこもりの状態にある	67	9.0	16.4	6.0	10.4	4.5	3.0
	子どもの友人関係がよくない	33	21.2	15.2	3.0	12.1	6.1	6.1
	子どもが反抗的でなかなか言うことをきかない	127	25.2	15.7	4.7	9.4	2.4	3.9
	子どもが非行したり問題行動を起こしたりする	11	36.4	9.1	9.1	9.1	-	-
	子ども以外に家事や家族の世話を頼める人がいない	64	20.3	10.9	-	17.2	4.7	1.6
	子育てで出費がかさむ	519	16.4	14.5	1.5	8.3	1.3	2.7
	その他	50	20.0	24.0	2.0	14.0	4.0	6.0
特にない	417	11.0	13.2	2.4	5.8	7.4	4.3	
無回答	29	13.8	6.9	3.4	3.4	-	17.2	

第6章 自由意見

◆最後に、福岡市の子ども施策に関する取り組みについて、ご意見等がありましたら、自由にご記入ください。

回答者448人から、719件の意見が挙げられている。
主な項目を整理すると、以下のとおりである。

図表92 自由意見（1／3）

分 類	件数
学校について	122
不満点・改善希望	122
不登校について(フリースクールの充実等)	22
教育内容の充実	15
給食費の補助・無償化	15
教員について(資質、教育など)	14
部活動について	8
教員の増員、待遇の充実	7
支援級、情緒級の充実	6
施設の整備(エアコンの設置、トイレ、図書室の充実等)	6
給食の充実や時間の確保	6
学内での子どもの居場所の充実	4
教員・学校・教育委員会の対応	3
タブレット・スマートフォンの活用	3
休みの柔軟化(平日休み制度等)	3
学区割の見直し	2
その他	8
公園や公共施設について	59
満足点・維持希望	2
公園の管理・整備(安全の確保、遊具の充実等)	1
美術館等の入場料	1
不満点・改善希望	57
多様な公園の増設(ボール遊びができる等)	20
自習室の充実	12
公園の管理・整備(安全の確保、遊具の充実等)	5
公民館の充実	8
体育館の充実	1
その他	11
児童会館など子どもの遊び場	15
不満点・改善希望	15
子どもだけでも安心安全に過ごせる場所の提供	7
児童会館の増設	4
雨天時や猛暑日などにも遊べる屋内の施設の設置	3
周辺的环境、アクセス	1

図表93 自由意見（2／3）

分 類	件数
相談、交流、情報	25
満足点・維持希望	2
イベントの充実、交流	2
不満点・改善希望	23
情報の提供	12
育児相談窓口の充実	6
イベントの充実、交流	5
経済的支援について	325
満足点・維持希望	40
子ども医療費助成制度の拡充	33
子ども習い事応援事業	4
ひとり親家庭への助成	2
就学援助のオンライン申請	1
不満点・改善希望	285
教育費や学用品代等の負担軽減	47
子ども医療費助成制度の拡充	44
中高生以上の子どもへの助成	38
多子家庭への助成	27
児童手当の増額、延長、所得制限撤廃	25
高校授業料無償化の所得制限撤廃	21
ひとり親家庭への助成	13
奨学金の充実	6
子ども習い事応援事業の対象拡大や充実	5
ひとり親家庭に限らない助成	5
児童扶養手当の所得制限撤廃	4
多胎児家庭への助成	3
就学援助の対象拡大	3
その他	44
保健、医療	9
不満点・改善希望	9
医療体制の充実(夜間診療や感染症対応等)	4
病児・病後児デイケアの受入れ体制などの充実	3
医療、介護に携わる人たちの処遇の改善	1
保護者教育の充実	1
障がい児への支援	12
不満点・改善希望	12
発達相談の充実	2
障がい児に対する理解	2
発達が気になる子どもや知的・発達障がい児への支援充実	1
障がい児の支援に関する情報提供	1
障がい児も安心して遊べる施設の設置	1
その他	5

図表94 自由意見（3／3）

分 類	件数
交通、移動、安全	27
満足点・維持希望	1
公共交通機関の料金軽減	1
不満点・改善希望	26
公共交通機関の料金軽減	10
道路・歩道の整備(通学路の安全確保)	8
犯罪抑制への取組み	4
公共交通機関の利便性(延伸や増便等)	3
公共交通機関の設備	1
住環境、地域	21
満足点・維持希望	1
地域における理解・協力	1
不満点・改善希望	20
地域内での交流	9
地域における理解・協力	6
治安	3
住宅	2
保育園について	10
満足点・維持希望	1
保育料の軽減・補助・無償化	1
不満点・改善希望	9
保育士の増員、待遇の充実	5
保育園の増設、待機児童の解消、利用条件の緩和等	3
入園について相談できる窓口の充実	1
その他	94
満足点・維持希望	19
市の子育てに対する施策や姿勢	14
子育てしやすい、住みやすい	5
不満点・改善希望	75
仕事と子育ての両立支援	13
その他市の施策・事業に対する意見、要望	12
アンケートについて	7
保護者の負担軽減(PTA、子ども育成会等)	5
様々な手続きや申請を簡単にしてほしい(オンライン化等)	3
インターネットやSNS利用について	3
市職員の対応	3
放課後児童クラブについて	2
子ども食堂について	2
保護者の教育について	2
児童虐待について	2
一時預かり、ショートステイについて	1
ファミリー・サポート・センター事業について	1
民間施設・店舗について	1
その他	18

V 調査票

福岡市子ども・子育て支援に関するニーズ調査 (乳幼児の保護者の方)

福岡市子ども・子育て支援の充実のため、ぜひアンケートにご協力ください。

- ◇ このアンケートは、住民基本台帳(令和5年9月1日時点)から無作為で選び、お送りしています。
- ◇ ご回答いただいた内容は、福岡市子ども・子育て支援策の検討にのみ利用させていただきます。他の目的に利用することは一切ございません。
- ◇ **回答が難しかったり、答えたくない質問については、無理にご回答いただく必要はありません。**可能な範囲でお答えください。

ご記入にあたってのお願い

- (1) 保護者の方が記入してください。
- (2) 封筒のあて名のお子さんについてお答えください。
- (3) 回答は、選択肢に○をつけてお選びいただく場合と、数字などをご記入いただく場合があります。
- (4) 回答が「その他」にあてはまる場合は、その番号を○で囲み、() 内になるべく具体的にその内容を記入してください。
- (5) **回答は郵送もしくはオンラインでの1回限りです。**誤りがないか確認のうえ、提出してください。
- (6) このアンケートについてご不明な点がありましたら、下記問合せ先までご連絡ください。

郵送で回答する場合

- (1) 回答の記入は、なるべく黒または青のボールペンや鉛筆を使ってください。
- (2) 記入が終わりましたら、同封の返信用封筒に入れ、**11月30日(木)までに**ポストに投函してください。返信用封筒に切手は不要です。
- (3) 調査票や返信用封筒に、記入者の住所や氏名は書かないでください。

オンラインで回答する場合

- (1) パソコン、タブレット、スマートフォンで調査専用画面にアクセスしていただき、画面の指示に従って回答してください。なお、回答の際にはインターネット通信料がかかりますので、ご了承ください。
- (2) 途中で一時保存する場合は、回答ページ下部の「一時保存」ボタンを押すと、再開用 URL が発行されます。(回答データの保存期間は7日間です) **再開用 URL は必ず覚えてください。**

調査専用画面 URL

<https://src3.webcas.net/form/pub/src2/fukuokakodomo1>



問合せ先

福岡市子ども未来局 ことも政策部 ことも政策課
 電話：092-707-1019 FAX：092-733-5534
 メール：kodomoiseisaku.CB@city.fukuoka.lg.jp
 担当：森、岩倉
 ※電話受付時間：平日9時～17時 30分

あて名のお子さんとはご家族の状況について

問1 お住まいの区はどこですか。(Oは1つ)

- | | | | |
|--------|--------|--------|-------|
| 1. 東区 | 2. 博多区 | 3. 中央区 | 4. 南区 |
| 5. 城南区 | 6. 早良区 | 7. 西区 | |

問2 あて名のお子さんの生年月月をご記入ください。(枠内に数字を記入)

平成/令和	年	月	生まれ
-------	---	---	-----

問3 あて名のお子さんを含め、お子さん(年齢は問いません)は何人いらっしゃいますか。(枠内に数字を記入)

お子さんの人数	人	(あて名のお子さんを含む)
---------	---	---------------

問4 あて名のお子さんとの同居の状況について、お答えください。(あてはまるものすべてにO) あて名のお子さんからみられた関係でお答えください。

- | | |
|----------------------|------------|
| 1. 父母同居 (単身赴任別居等を含む) | 4. 祖父母同居 |
| 2. 父同居 (ひとり親家庭) | 5. 祖父母近居 |
| 3. 母同居 (ひとり親家庭) | 6. その他 () |

問5 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。(Oは1つ) あて名のお子さんからみられた関係でお答えください。

- | | | | |
|-------|-------|--------|------------|
| 1. 母親 | 2. 父親 | 3. 祖父母 | 4. その他 () |
|-------|-------|--------|------------|

問6 この調査票にご回答いただく方の年代について、お答えください。(Oは1つ)

- | | | |
|----------|----------|--------|
| 1. 10代 | 2. 20代 | 3. 30代 |
| 4. 40代以上 | 5. 回答しない | |

問7 世帯の年収をお伺いします。(Oは1つ)

- | | |
|----------------|------------------|
| 1. ～200万円未満 | 5. 500～700万円未満 |
| 2. 200～300万円未満 | 6. 700～1,000万円未満 |
| 3. 300～400万円未満 | 7. 1,000万円以上 |
| 4. 400～500万円未満 | |

問8 ご家庭において、あて名のお子さんの子育て(教育を含む)を主にやっているのはどなたですか。あて名のお子さんからみられた関係でお答えください。(Oは1つ)

- | | | |
|----------|------------|---------|
| 1. 父母ともに | 2. 主に母親 | 3. 主に父親 |
| 4. 主に祖父母 | 5. その他 () | |

問9 あて名のお子さんの母親・父親の1週間の家事・育児時間はどれくらいですか。

(1週間の時間を合計して枠内に記入)

※「育児時間」とは、子どもの身の回りの世話のほか、遊び相手になること、勉強をみてあげることなど、子どもと一緒に過ごす時間をいいます。

《母親》

家事時間	時間	分/週	【育児時間】	時間	分/週
------	----	-----	--------	----	-----

《父親》

家事時間	時間	分/週	【育児時間】	時間	分/週
------	----	-----	--------	----	-----

問10 あて名のお子さんの朝食のとり方はどうですか。(○は1つ)

- 毎日食べる
- 週に3~4回食べる
- 週に1~2回しか食べない
- ほとんど食べない
- 離乳前

問11 忙しいときなど、何らかの理由で子どもにテレビ、ビデオ、携帯・スマートフォン、パソコン・タブレットなどを見せかけておくことがありますか。ゲームをさせておくことも含みます。(○は1つ)

- よく見せている
- 時々そうしている
- ほとんどない
- 全くない

問12 あて名のお子さんには、平均すると1日どれくらいの時間、テレビ、ビデオ、携帯・スマートフォン、パソコン・タブレットなどを見ている時間がありますか。ゲームをしている時間も含みます。(○は1つ)

- 見ていない
- 1時間未満
- 1時間以上~2時間未満
- 2時間以上~3時間未満
- 3時間以上~4時間未満
- 4時間以上~5時間未満
- 5時間以上

問13 あて名のお子さんは、平均すると1日何時間くらい、外で遊びますか。(平日・休日それぞれ○は1つ)

《平日》

- 外で遊ばない
- 30分未満
- 30分以上~1時間未満
- 1時間以上~2時間未満
- 2時間以上~3時間未満
- 3時間以上~4時間未満
- 4時間以上~5時間未満
- 5時間以上

《休日》

- 外で遊ばない
- 30分未満
- 30分以上~1時間未満
- 1時間以上~2時間未満
- 2時間以上~3時間未満
- 3時間以上~4時間未満
- 4時間以上~5時間未満
- 5時間以上

あて名のお子さんの保護者の就労状況について

ここでは、この区分によりご回答ください。
フルタイム・・・1週5日程度・1日8時間程度の就労
パート・アルバイト等・・・フルタイム以外

問14 母親の現在の就労状況(自営業、家族従事者含む)について、お答えください。(○は1つ)
【該当されない場合は記入は不要です】

- フルタイムで就労している
- フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である
- パート・アルバイト等で就労している
- パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
- 以前は就労していたが、現在は就労していない
- これまで就労したことがない

問14で「1」~「4」に○をつけた方にうかがいます。

問14-1 1週当たりの就労日数、1日当たりの就労時間(残業時間を含む)をお答えください。
(枠内に数字を記入)

一定でない場合はもともとも多いパターンについて、産休・育休・介護休業中の方は休業に入る前の状況について、お答えください。

1週当たり	日	1日当たり	時間
-------	---	-------	----

問14-2 家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。(枠内に時間を記入。(例)18時)

一定でない場合はもともとも多いパターンについて、産休・育休・介護休業中の方は休業に入る前の状況について、お答えください。

家を出る時刻	時	分	帰宅時刻	時	分
--------	---	---	------	---	---

【24時間で記入 例:18時】

問14で「3」または「4」に○をつけた方にうかがいます。

問14-3 フルタイムへの転換希望についてお答えください。(○は1つ)

- フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある
- フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
- パート・アルバイト等の就労を続けることを希望
- パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい

→問14で「5」または「6」に○をつけた方にかがいます。

問14-4 就労への希望についてお答えください。(○は1.2。枠内に数字を記入)

1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)

2. 1年より先、もしくは一番下の子どもが 歳になったところに就労したい

3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい

→ 希望する就労形態

1. フルタイム

2. パートタイム、アルバイト等

→ 1週当たり 日 1日当たり 時間

問15 父親の現在の就労状況(自営業、家族従事者含む)について、お答えください。(○は1.2)

1. フルタイムで就労している

2. フルタイムで就労しているが、育休・介護休業中である

3. パート・アルバイト等で就労している

4. パート・アルバイト等で就労しているが、育休・介護休業中である

5. 以前は就労していたが、現在は就労していない

6. これまで就労したことがない

問15で「1」～「4」に○をつけた方にかがいます。

問15-1 1週当たりの就労日数、1日当たりの就労時間(残業時間を含む)をお答えください。

(枠内に数字を記入)

一定でない場合はもっとも多いパターンについて、育休・介護休業中の方は休業に入る前の状況についてお答えください。

1. 週当たり 日 1日当たり 時間

問15-2 家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。(枠内に時間を記入(例)18時)

一定でない場合はもっとも多いパターンについて、育休・介護休業中の方は休業に入る前の状況についてお答えください。

家を出る時刻 時 分 帰宅時刻 時 分

[24時間制で記入 例:18時]

→問15で「3」または「4」に○をつけた方にかがいます。

問15-3 フルタイムへの転換希望についてお答えください。(○は1.2)

1. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある

2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない

3. パート・アルバイト等の就労を続けることを希望

4. パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい

→問15で「5」または「6」に○をつけた方にかがいます。

問15-4 就労への希望についてお答えください。(○は1.2。枠内に数字を記入)

1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)

2. 1年より先、もしくは一番下の子どもが 歳になったところに就労したい

3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい

→ 希望する就労形態

1. フルタイム

2. パートタイム、アルバイト等

→ 1週当たり 日 1日当たり 時間

育児休業など職場の面立支援制度について

問16～問16-8 は、あて名のお子さんの母親・父親それぞれの状況をお答えください。

問16 あて名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。(それぞれ○は1.2)

	母親	父親
1. 取得した(取得中である)	1	1
2. 取得していない	2	2
3. 妊娠・出産を機に離職した	3	3
4. 働いていなかった	4	4

⇒問16-1へ
⇒問16-7へ
⇒問16-8へ
⇒問17へ

→問16で「1.取得した(取得中である)」と回答した方にかがいます。

問16-1 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。(それぞれ○は1.2)

	母親	父親
1. 育児休業取得後、職場に復帰した	1	1
2. 現在も育児休業中であり、職場に復帰予定である	2	2
3. 育児休業中に離職した、または離職予定である	3	3

⇒問16-2へ
⇒問17へ
⇒問16-8へ

問16-2 育児休業は、「実際」にお子さん何ヶ月から何ヶ月の間、取得されましたか。
また、「希望」は何ヶ月から何ヶ月の間取りましたか。(枠内に数字を記入)

	母親	父親
実際の取得期間	→	→
希望の取得期間	→	→

歳 ヶ月～ 歳 ヶ月
歳 ヶ月～ 歳 ヶ月
歳 ヶ月～ 歳 ヶ月
歳 ヶ月～ 歳 ヶ月

問 16-1で「1. 復帰した」と回答した方にうかがいます。

問 16-3 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所（園）入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。（それぞれ○は1.2）

※年度初めでの認可保育所（園）入所を希望して、1月～2月頃復帰して一時的に認可外保育所（園）に入所した場合なども「1」に当てはまります。また、年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育所（園）に入所できなかったという場合も「1」を選択してください。

	母親	父親
1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった	1	1
2. それ以外だった	2	2

問 16-4 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。（それぞれ○は1.2）

	母親	父親
1. 利用した	1	1
2. 利用したかったが、利用しなかった・できなかった	2	2
3. 利用する必要がなかった (フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった)	3	3
4. その他 ()	4	4

問 16-4で「2. 利用しなかったが、利用しなかった・できなかった」と回答した方にうかがいます。

問 16-5 短時間勤務制度を利用しなかった（利用できなかった）理由はなぜですか。
(特内にあてはまるものすべてを記入)

《母親》

《父親》

↑ あてはまる番号をいくつでも記入してください。>

↑ あてはまる番号をいくつでも記入してください。>

- 職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めがなかった）
- 短時間勤務制度を利用できなかったことを知らなかった
- 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった
- 仕事が忙しかった
- 短時間勤務にすると給与が減額される
- 短時間勤務にする保育所（園）の入所申請の優先順位が下がる
- 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した
- 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、子どもをみとくれる人がいた
- 子育てや家事に専念するため退職した
- その他 ()

育児休業からの復帰時期について、希望の復帰時期と実際の復帰が異なる方にうかがいます。

問 16-6 希望の時期に職場復帰しなかった理由についてお答えください。

(1) 「希望」より早く復帰した方（それぞれあてはまるものすべてに○）

	母親	父親
1. 希望する保育所（園）に入るため	1	1
2. 配偶者や家族の希望があったため	2	2
3. 経済的な理由で早く復帰する必要があるため	3	3
4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため	4	4
5. その他 ()	5	5

(2) 「希望」より遅く復帰した方（それぞれあてはまるものすべてに○）

	母親	父親
1. 希望する保育所（園）に入れなかったため	1	1
2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため	2	2
3. 配偶者や家族の希望があったため	3	3
4. 職場の受け入れ体制が整っていなかったため	4	4
5. 子どもをみとくれる人がいなかったため	5	5
6. その他 ()	6	6

問 16-7 「2. 取得していない」と回答した方にうかがいます。

問 16-7 育児休業を取得されなかった理由はなぜですか。（特内にあてはまるものすべてを記入）

《母親》

《父親》

↑ あてはまる番号をいくつでも記入してください。>

↑ あてはまる番号をいくつでも記入してください。>

- 職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）
- 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった
- 育児休業を取得できなかったことを知らなかった
- 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった
- 仕事が忙しかった
- （産休後に）仕事に早く復帰したかった
- 仕事に戻るのが難しそうだった
- 昇給・昇格などが遅れそうだった
- 収入減となり、経済的に苦しくなる
- 保育所（園）などに預けることができた
- 配偶者が育児休業制度を利用した
- 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった
- 子育てや家事に専念するため退職した
- 産前産後の休暇（産前6週間、産後8週間）を取得できなかったことを知らず、退職した
- その他 ()

問 18 あて名のお子さんの子育てをすすめる上で、気軽に相談できる人、また、相談できる場所についてお答えください。(Oは1つ)

1. たくさんいる (ある)
 2. 少しはいる (ある)
 3. あまりいない (ない)
 4. まったくいない (ない)

問 18で「1」または「2」に○をつけた方にうかがいます。
 問 18-1 お子さんの子育てに関して、気軽に相談できる先についてお答えください。
 (あてはまるものすべてに○)

1. 配偶者・パートナー
 2. その他の親族 (親、きょうだいなど)
 3. 友人や知人
 4. 隣近所の人、地域の知人
 5. 職場の人
 6. 保育所 (園)・幼稚園の保護者仲間
 7. 子育てサークルの仲間
 8. 保育所 (園) の保育士
 9. 幼稚園の先生
 10. 区役所 (保健所、福祉事務所など)
 11. 子ども総合相談センター (えがお館)
 12. 子どもプラザ・子育て交流サロン
 13. 病院
 14. 民生委員、児童委員、主任児童委員
 15. 地域の居場所 (子ども食堂など)
 16. 民間の電話相談
 17. インターネットや育児書で解決策を探す
 18. SNS (Instagram、X (旧 Twitter) など)
 19. その他 ()

すべての方にうかがいます。
 問 19 子育ての相談ができる身近な場所として、どこであれば立ち寄りやすいと思いますか。
 (あてはまるものすべてに○)

1. 保育所 (園)、幼稚園
 2. 区役所
 3. 子ども総合相談センター (えがお館)
 4. 子どもプラザ
 5. 公民館
 6. 地域の居場所 (子ども食堂)
 7. いきいきセンター (地域包括支援センター)
 8. その他 ()
 9. 特に相談する必要性を感じない

問 20 いま子育てについてどんな情報を得たいと思っていますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 子の食事や栄養
 2. 子の発育や病気
 3. 子のしつけや勉強
 4. 保育所 (園) や幼稚園
 5. 子どもの一時預かり
 6. 子どもの遊び場や施設
 7. 子連れで参加できるイベント
 8. 育児サークル
 9. 子育ての講座や講演会など
 10. 子育て相談窓口
 11. 子育ての手当てや公的助成
 12. 応急手当講習
 13. その他 ()

問 16で「3. 妊娠・出産を機に離職した」と回答した方および、
 問 16-1で「3. 育児休業中に離職した、または離職予定である」と回答した方にうかがいます。
 問 16-8 仕事と家庭の両立を支援する保育サービスや環境が整っていたら、就労を継続しましたが、
 (Oは1つ)

1. 保育サービスを活用して利用できている見込みがあれば、継続して就労していた
 2. 職場において育児休業制度等の仕事と家庭の両立支援制度が整い、働き続けやすい環境が整っていれば、継続して就労していた
 3. 保育サービスと職場の両立支援環境がどちらも整っていれば、継続して就労していた
 4. 配偶者や親族等の理解が得られていれば、継続して就労していた
 5. いずれにしてもやめていた
 6. その他 ()

あて名のお子さんの子育て環境について

問 17 日頃、または緊急時に、あて名のお子さんを見てももらえる親族・知人についてお答えください。
 (あてはまるものすべてに○)

1. 日常的に、祖父母等の親族にみてももらえる
 2. 緊急時もしくは用事の際には、祖父母等の親族にみてももらえる
 3. 日常的に、友人・知人にみてももらえる
 4. 緊急時もしくは用事の際には、友人・知人にみてももらえる
 5. いずれもいない

問 17で「1」～「4」に○をつけた方にうかがいます。
 問 17-1 親族や友人・知人にお子さんを見てもらうときの気持ちについてお答えください。
 (あてはまるものすべてに○)

1. 心配することなく、安心して子どもを見てももらえる
 2. 親族や友人・知人の身体的負担が大きく心配である
 3. 親族や友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である
 4. 子どもの安全が守られているか、不安がある
 5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、不安がある
 6. その他 ()

問 21 子育てに関する情報をどこから入手していますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 親族 (親、きょうだいなど)
2. 近所の人、地域の人、友人
3. 保育所 (園)、幼稚園、学校
4. 保護者仲間
5. インターネット、SNS
6. 市や区のホームページ
7. 福岡市公式LINE (子育てカテゴリを受信設定している)
8. ふくおかサポート
9. テレビ、ラジオ、新聞
10. 区役所 (保健福祉センター、市民センター等)
11. 子どもブラザ・子育て交流サロン
12. 市の広報紙パンフレットや公民館だより
13. 市が発行する子育て情報ガイド
14. 子育て雑誌、育児書
15. フリーペーパー
16. 情報の入手先がわからない
17. その他 ()

問 22 子育て施策に関する福岡市の情報発信について、改善してほしいと思う点はありませんか。(○は3つまで)

1. 情報発信の方法を増やしてほしい (ホームページ、SNS、冊子など)
2. 自分の欲しい情報をすぐたどり着けるようにしてほしい
3. デザインやレイアウトを見やすくしてほしい
4. 情報発信の頻度を増やしてほしい
5. 内容をもっと簡潔にほしい
6. 内容をもっと詳しくしてほしい
7. 福岡市がどのような情報発信をしているのかわからない
8. その他 ()

地域の子育て支援について

すべての方にうかがいます。

問 23 福岡市のサービスや市が支援している活動で、現在利用しているものはありませんか。(あてはまるものすべてに○)

※サービスや事業によっては、お住まいの地域で実施されていないものもあります。

1. 区役所 (保健福祉センター) や公民館での子育て教室や子育て講座
2. 公民館等で行われる母子巡回健康相談
3. 区役所 (保健福祉センター) の訪問指導
4. 区役所 (保健福祉センター) での相談 (電話含む、6を除く)
5. 産休明けサポート
6. 子育て支援コンシェルジュ
7. こども総合相談センターでの相談 (電話含む)
8. 認可保育所 (園) の子育て支援事業 (園庭解放・相談・講座・イベント)
9. 幼稚園の子育て支援事業 (園庭解放・相談・講座・イベント)
10. ファミリー・サポートセンター
11. シルバー人材センター子育て支援事業
12. 中央児童会館の子育て支援事業
13. 子どもブラザ (市内14か所)
14. 子育て交流サロン (公民館等で、子育てサポーターが見守る中、乳幼児親子が自由に過ごせる場所)
15. 育児サークルなど自主的な活動
16. 地域の居場所 (子ども食堂など)
17. 子どもショートステイ
18. 利用しているものはない

問 23 で「13 (子どもブラザ)」～「15 (育児サークル)」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。

問 23-1 あて名のお子さんと、どの程度利用していますか。(枠内におおよその利用回数を記入)
また、今後利用を増やしたいと思いませんか。

	現在の利用状況	今後の利用希望
1. 子どもブラザ (市内14か所)	1週当たり <input type="text"/> 回 または 1ヶ月当たり <input type="text"/> 回	1. 今後利用を増やしたい ⇒ (週 <input type="text"/> 回または月 <input type="text"/> 回) 2. 利用を増やしたいとは思わない
2. 子育て交流サロン	1週当たり <input type="text"/> 回 または 1ヶ月当たり <input type="text"/> 回	1. 今後利用を増やしたい ⇒ (週 <input type="text"/> 回または月 <input type="text"/> 回) 2. 利用を増やしたいとは思わない
3. 育児サークルなど自主的な活動	1週当たり <input type="text"/> 回 または 1ヶ月当たり <input type="text"/> 回	1. 今後利用を増やしたい ⇒ (週 <input type="text"/> 回または月 <input type="text"/> 回) 2. 利用を増やしたいとは思わない

問 23 で「13 (子どもプラザ)」または「14 (子育て交流サロン)」に○をつけなかった方 (利用していない方) に向かいます。

問 23-2 現在、利用していない理由についてお答えください。
(あてはまるものすべてに○) ※利用している場合は、回答不要です。

利用しない理由	子どもプラザ	子育て交流サロン
1. 利用する時間がない	1	1
2. 利用の仕方がわからない	2	2
3. 開館・開催している曜日や時間が利用しづらい	3	3
4. 場所が遠いので利用しづらい	4	4
5. 知人がいないので行きづらい	5	5
6. 親同士の付き合いがわずらわしい	6	6
7. 外出するのが面倒	7	7
8. 子どもプラザや子育て交流サロンについて知らなかった	8	8
9. 子どもが大きくなって必要ない	9	9
10. 特に利用する必要性を感じない	10	10
11. その他 (具体的に:)	11	11

すべての方向かかいます。

問 24 福岡市のサービスや市が支援している活動で、利用していないサービスのうち、今後利用したいサービスはありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 区役所 (保健福祉センター) や公民館の子育て講座
2. 公民館等で行われる母子巡回健康相談
3. 区役所 (保健福祉センター) の訪問指導
4. 区役所 (保健福祉センター) での相談 (電話含む、6を除く)
5. 産休明けサポート
6. 子育て支援コンシェルジュ
7. 子ども総合相談センターでの相談 (電話含む)
8. 認可保育所 (園) の子育て支援事業 (園庭解放・相談・講座・イベント)
9. 幼稚園の子育て支援事業 (園庭解放・相談・講座・イベント)
10. ファミリー・サポートセンター
11. シルバー人材センター子育て支援事業
12. 中央児童会館の子育て支援事業
13. 子どもプラザ (市内14か所)
14. 子育て交流サロン
15. 育児サークルなど自主的な活動
16. 地域の居場所 (子ども食堂など)
17. 子どもジョイントステイ
18. 利用したいものはない

問 24 で「13 (子どもプラザ)」～「15 (育児サークル)」のいずれかに○をつけた方向かかっています。

問 24-1 あて名のお子さんと、子どもプラザや子育て交流サロン、育児サークルについて、今後の程度利用したいと思えますか (枠内におおよその利用回数を記入)

	今後の利用希望
1. 子どもプラザ (市内14か所)	1週当たり <input type="text"/> 回または1ヶ月当たり <input type="text"/> 回
2. 子育て交流サロン	1週当たり <input type="text"/> 回または1ヶ月当たり <input type="text"/> 回
3. 育児サークルなど自主的な活動	1週当たり <input type="text"/> 回または1ヶ月当たり <input type="text"/> 回

あて名のお子さんの平日の定期的な保育所等の利用状況について

ここでいう「定期的な保育所等」とは、月単位で定期的にご利用しているものを指します。

問 25 あて名のお子さんは、平日どのような保育所等を利用していますか。年間を通じて「定期的」に利用しているものについてお答えください。(あてはまるものすべてに○)

1. 幼稚園……通常の教育時間（4時間程度）の利用
2. 幼稚園預かり保育……通常の教育時間を延長して預かる事業
3. 認定こども園（教育利用）……幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設で4時間程度の利用
4. 幼稚園3歳未満児受入れ促進事業……保育が必要な生後3か月～2歳児を幼稚園で預かる事業
5. 認可保育所……国が定める基準に適合した保育施設
6. 認定こども園（保育利用）……幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設で8時間程度の利用
7. 小規模保育事業、家庭的保育事業……比較的小規模な環境で運営する、国が定める基準に適合した保育施設
8. 企業主導型保育事業、事業所内保育事業……企業が従業員や地域の子どものために運営する、国が定める基準に適合した保育施設
9. 居宅訪問型保育事業……ベビーシッターが家庭を訪問して保育する事業
10. その他の認可外保育施設等
11. その他（ ）
12. 利用していない

問 25-2 「1～10」に○をつけた方にかがいます。

問 25-1 平日に定期的に利用している保育所等について、全部あわせてどのくらい利用していますか。また、希望としてどのくらい利用したいですか。(枠内に数字を記入。時間は、(例)9時～18時のように24時間制で記入)

《現在》

1 週当たり 日 1 日当たり 時間 (時～ 時)
【24時間制で記入 例：9時～18時】

《希望》

1 週当たり 日 1 日当たり 時間 (時～ 時)
【24時間制で記入 例：9時～18時】

問 25-2 平日に定期的に保育所等を利用している主な理由についてお答えください。(あてはまるものすべてに○)

1. 現在就労しているため
2. 就労予定がある／求職中であるため
3. 子どもの教育や発達のため
4. 家族・親族などを介護しているため
5. 自身に病気や障がいがあるため
6. 自身が学生であるため
7. その他 ()

問 25 で「12. 利用していない」に○をつけた方にかがいます。

問 25-3 利用していない理由についてお答えください。(あてはまるものすべてに○)

1. 子どもの母親か父親のいずれかがみている
2. 子どもの祖父父母や親族がみている
3. 近所の人や父母の友人・知人がみている
4. 利用したいが、保育所等に空きがない
5. 利用したいが、経済的な理由で利用できない
6. 利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない → 時まで
空いていければ利用したい
7. 利用したいが、質や場所など、納得できる保育所等がない
8. 子どもがまだ小さいため (歳くらいになったら利用しようと考えている)
9. その他 ()

すべての方にかがいます。

問 26 現在、利用している・利用していないにかかわらず、あて名のお子さんの平日の保育所等として、「定期的」に「利用したいと考えるもの」について、お答えください。(あてはまるものすべてに○)

1. 幼稚園……通常の教育時間の利用
2. 幼稚園預かり保育……通常の教育時間を延長して預かる事業
3. 認定こども園（教育利用）……幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設で4時間程度の利用
4. 幼稚園3歳未満児受入れ促進事業……保育が必要な生後3か月～2歳児を幼稚園で預かる事業
5. 認可保育所……国が定める基準に適合した保育施設
6. 認定こども園（保育利用）……幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設で8時間程度の利用
7. 小規模保育事業、家庭的保育事業……比較的小規模な環境で運営する、国が定める基準に適合した保育施設
8. 企業主導型保育事業、事業所内保育事業……企業が従業員や地域の子どものために運営する、国が定める基準に適合した保育施設
9. 居宅訪問型保育事業……ベビーシッターが家庭を訪問して保育する事業
10. その他の認可外保育施設等
11. その他 ()
12. 利用したいサービスはない

問 26 で「1～4」に○をつけ、かつ「5～10のいずれかに1つ以上」○をつけた方にかがいます。

問 26-1 特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合も含む）の利用を強く希望しますか。(○は1,2)

1. はい
2. いいえ

すべての方にかかっています。

問 27 現在、国において、月一定時間の範囲内で、保護者が仕事をしなくても保育所等を時間単位等で利用できる「こども館でも通園制度（仮称）」の検討を進めています。

このような制度があった場合、利用したいと思いますか。（○は1つ）

※なお、これらの施設の利用には、一定の利用者負担が発生する可能性があります。

1. 利用したい
2. 利用したいと思わない
3. 幼稚園や保育所等に定期的に預けているため必要ない
4. 分からない

-> 問 27 で「1. 利用したい」に○をつけた方にかかっています。

問 27-1 「こども館でも通園制度（仮称）」について、どのような利用を希望しますが、（希望する時間帯、日数を枠内に記入）

《利用したい時間帯》

□	時から	□	時まで	【24時間制で記入 例：9時～18時】
---	-----	---	-----	---------------------

《利用したい日数》（○は1つ。希望する日数を枠内に記入。）

1. 週	□	日くらい	2. 月	□	日くらい
------	---	------	------	---	------

あて名のお子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な保育所等の利用希望について

問 28 あて名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な保育所等の利用希望はありますか。一時的な利用は除きます。

（土曜・日祝日それぞれ○は1つ。希望時間を枠内に記入。（例）9～18時）

※ 保育所等には、幼稚園、保育所（園）、認可外保育施設などを指し、親族・知人による預かりは含みません。

《土曜日》

1. 利用する必要はない
2. ほぼ毎週利用したい
3. 月に1・2回は利用したい

⇒ 利用したい時間帯

□	時から	□	時まで
---	-----	---	-----

【24時間制で記入 例：9時～18時】

《日曜・祝日》

1. 利用する必要はない
2. ほぼ毎週利用したい
3. 月に1・2回は利用したい

⇒ 利用したい時間帯

□	時から	□	時まで
---	-----	---	-----

【24時間制で記入 例：9時～18時】

↓ ↓ ↓

問 28 で「3. 月に1・2回は利用したい」に○をつけた方にかかっています。

問 28-1 毎週ではなく、月に1・2回だけ利用したい理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

1. 月に数回仕事が入るため
2. 平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため
3. 親族の介護や手伝いが必要のため
4. リフレッシュ等のため
5. その他（ ）

「幼稚園」を利用されている方にかかっています。

問 29 あて名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休業期間中の保育所等の利用を希望しますか。（○は1つ。希望時間を枠内に記入。（例）9～18時）

※なお、これらの施設の利用には、一定の利用者負担が発生します。

1. 利用する必要はない
2. 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい
3. 休みの期間中、週に数日利用したい

⇒ 利用したい時間帯

□	時から	□	時まで
---	-----	---	-----

【24時間制で記入 例：9時～18時】

問 30-1 で「1」～「5」のいずれかに回答した方にうかがいます。

問 30-2 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設を利用したい」と思われましたか。
(○は1つ。枠内に日数を記入)

※病児・病後児のための保育施設の利用には、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい → 日
2. 利用したいとは思わない

→問 30-2 で「2. 利用したいとは思わない」に○をつけた方にうかがいます。

問 30-3 利用したいと思わない理由についてお答えください。(あてはまるものすべてに○)

1. 預け先が遠く、預けづらい
2. 利用可能時間日数が短いなど利用しづらい
3. 病児・病後児を他人に看てもらうのは不安
4. 子どもが不安がる・子どもがかかわりそう
5. 利用する必要がない
6. その他 ()

問 30-1 で「3」～「8」のいずれかに回答した方にうかがいます。

問 30-4 「仕事を休む」以外の対応を行った理由についてお答えください。(あてはまるものすべてに○)

1. 職場の休暇制度が整っていない
2. 子の看護を理由に休みがとりづらい雰囲気が職場にある
3. 自営業なので休めない
4. 外せない仕事があるなど、業務の都合
5. 経済的な理由で休めない
6. その他 ()

病児・病後児保育を利用した (利用しようとした) 方にうかがいます。

問 31 利用申し込みをした際に、空きがないという理由で断られたことがありますか。(○は1つ)

1. あった
2. なかった

問 29 で「3. 休みの期間中、週に数日利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

問 29-1 毎日ではなく、週に数日だけ利用したい理由は何か。(あてはまるものすべてに○)

1. 週に数回仕事が入るため
2. 預けている間に、普段済ませられない用事をまとめて済ませるため
3. 親族の介護や手伝いが必要なため
4. リフレッシュ等のため
5. その他 ()

**あて名のお子さんの病気の療養の際の対応について
(平日の保育所等を利用する方のみ)**

平日、定期的に保育所等を利用していると答えた方 (問 25 で 1～10 に○をつけた方) に
うかがいます。

⇒ 利用していない方は、問 32 へお進みください。

問 30 この1年間に、あて名のお子さんが病気やけがで普段利用している施設・事業が利用できなかったことはありますか。(○は1つ)

1. あった
2. なかった

問 30 で「1. あった」に○をつけた方にうかがいます。

問 30-1 あて名のお子さんが病気やけがで普段利用している保育所等が利用できなかった場合に、この1年間に行った対応についてお答えください。
(あてはまるものすべてに○。枠内にそれぞれの日数を記入。半日程度の場合も1日とカウント。)

1年間の対応		日数
1	母親が仕事を休んだ	日
2	父親が仕事を休んだ	日
3	(同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった	日
4	ベビーシッターを利用した	日
5	やむをえず子どもだけでもだけで留守番をさせた	日
6	母親又は父親のうち就労していない方が子どもをみた	日
7	病児・病後児保育 (病児・病後児デイケア) を利用した	日
8	その他 ()	日

⇒問 30-4 へ

あて名のお子さんの一時的な預かり等の利用について

問32 利用している事業に〔現在の利用日数〕を記入してください。
また、今後利用したい事業（現在利用している事業を含む）に〔今後の利用希望日数〕を記入し、〔利用希望の理由〕をア～エから1つ選んで○をしてください。

※各事業の利用には、一定の利用料がかかります

事業	現在の利用日数（年間）	今後の利用希望日数（年間）	利用希望の理由
1. 一時預かり（私用など理由を問わずに保育所(園)などに子どもを保育する事業）	日	日	ア. 私用・リフレッシュ イ. 冠婚葬祭、学校行事、通院 ウ. 不定期の就労 エ. その他（ ）
2. 幼稚園の預かり保育（通常の就園時間を延長して預かる事業のうち不定期に利用する場合のみ）	日	日	ア. 私用・リフレッシュ イ. 冠婚葬祭、学校行事、通院 ウ. 不定期の就労 エ. その他（ ）
3. ファミリー・サポーター・センター（地域住民が子どもを預かる事業）	日	日	ア. 私用・リフレッシュ イ. 冠婚葬祭、学校行事、通院 ウ. 不定期の就労 エ. その他（ ）
4. ベビーシッター	日	日	ア. 私用・リフレッシュ イ. 冠婚葬祭、学校行事、通院 ウ. 不定期の就労 エ. その他（ ）
5. その他（ ）	日	日	ア. 私用・リフレッシュ イ. 冠婚葬祭、学校行事、通院 ウ. 不定期の就労 エ. その他（ ）
6. 利用していない			

問32で「1」～「5」のいずれかを利用している方にかがいます。

問32-1 一時的にお子さんを預ける場合、どういった環境が望ましいと思われませんか。（あてはまるものすべてに○）

1. 幼稚園や保育所（園）などの日ごろから子どもを教育・保育しているところ	
2. 概ね20人未満の小規模な環境で子どもを保育しているところ	
3. ファミリー・サポーター・センターなど、地域の方等が子育て家庭等の近くの場所で保育するところ	
4. その他（ ）	

問32で「6. 利用していない」に○をつけた方にかがいます。

問32-2 現在利用していない理由は何ですか。（事業ごとに、あてはまるものすべてに○）
また、〔今後の利用希望日数〕を記入し、〔利用希望の理由〕をア～エから1つ選んで○をしてください。
利用希望がない場合は利用希望日数に「0」を記入してください。

事業	利用していない理由	今後の利用希望日数（年間）	利用希望の理由
1. 一時預かり（私用など理由を問わずに保育所(園)等に一時預かる子どもを保育する事業）	1. 近くで利用できる場所がない 2. 事業の利便性（立地や利用時間・日数）がよくない 3. 利用料が高い 4. 事業をよく知らない 5. 特に利用する必要がない 6. その他（ ）	日	ア. 私用・リフレッシュ イ. 冠婚葬祭、学校行事、通院 ウ. 不定期の就労 エ. その他（ ）
2. 幼稚園の預かり保育（通常の就園時間を延長して預かる事業のうち不定期に利用する場合のみ）	1. 近くで利用できる場所がない 2. 事業の利便性（立地や利用時間・日数）がよくない 3. 利用料が高い 4. 事業をよく知らない 5. 特に利用する必要がない 6. その他（ ）	日	ア. 私用・リフレッシュ イ. 冠婚葬祭、学校行事、通院 ウ. 不定期の就労 エ. その他（ ）
3. ファミリー・サポーター・センター（地域住民が子どもを預かる事業）	1. 近くで利用できる場所がない 2. 事業の利便性（立地や利用時間・日数）がよくない 3. 利用料が高い 4. 事業をよく知らない 5. 特に利用する必要がない 6. その他（ ）	日	ア. 私用・リフレッシュ イ. 冠婚葬祭、学校行事、通院 ウ. 不定期の就労 エ. その他（ ）
4. ベビーシッター	1. 近くで利用できる場所がない 2. 事業の利便性（立地や利用時間・日数）がよくない 3. 利用料が高い 4. 事業をよく知らない 5. 特に利用する必要がない 6. その他（ ）	日	ア. 私用・リフレッシュ イ. 冠婚葬祭、学校行事、通院 ウ. 不定期の就労 エ. その他（ ）

あて名のお子さんの宿泊を伴う一時預かり等の利用について

すべての方にうかがいます。

問 33 この1年間に、保護者の用事・仕事・病気などにより、あて名のお子さんを、施設や同居の家族以外に泊まりがけで預けたり、仕方なく用事や仕事に同行させたりしたことがありますか。
あてはまるものすべてに○をし、その宿泊数（1年間の合計）を枠内に記入してください。

1. 泊まりがけで施設や同居の家族以外に預けたことがあった	泊数	泊
※ 1年間の合計		
2. 仕方なく子どもを用事や仕事に同行させたことがあった	泊数	泊
※ 1年間の合計		
3. そのような状況が生じたことはなかった		

すべての方にうかがいます。

問 33-1 子どもの預け先として「子どもショートステイ」があることを知っていますか。(○は1つ)

1. 知っており利用したことがある	
2. 知っているが利用したことはない	
3. 知らない	

問 33-2 「2」と答えた方にうかがいます

問 33-2 子どもの預け先として子どもショートステイを利用したことがない理由は何ですか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 泊まりがけで預ける状況が生じたことがなかった	
2. 子どもショートステイ以外に預け先があった	
3. 家族以外に泊まりがけで預けることに不安があった	
4. 子どもショートステイに空きがなかった	
5. その他 ()	

すべての方にうかがいます。

問 33-3 あて名のお子さんについて、保護者の育児疲れや育児不安により、泊まりがけで年間何泊くらい施設以外の施設等に預けたいと思いますか。(○は1つ)

1. 1～5泊	2. 6～10泊	3. 11～20泊
4. 21～30泊	5. 31泊以上～	6. 特に必要ない

**あて名のお子さんが5歳以上である方に、うかがいます。
小学校就学後の放課後の過ごし方について**

⇒ あて名のお子さんが5歳未満の方は、問35へ
問 34 あて名のお子さんについて、放課後（平日の小学校終了後）をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。(あてはまるものすべてに○。それぞれ枠内に日数を記入)
また、学童保育（放課後児童クラブ）の場合には、希望時間もお答えください。(枠内に日数を記入。(例)18時)

場 所	日数 (小学校1～3年生)	日数 (小学校4～6年生)
1. 自宅	週 <input type="text"/> 日くらい	週 <input type="text"/> 日くらい
2. 祖父母、友人知人宅	週 <input type="text"/> 日くらい	週 <input type="text"/> 日くらい
3. 学童保育 (放課後児童クラブ) ※1	週 <input type="text"/> 日くらい → 下校時から <input type="text"/> 時まで	週 <input type="text"/> 日くらい → 下校時から <input type="text"/> 時まで
4. 習い事	週 <input type="text"/> 日くらい	週 <input type="text"/> 日くらい
5. わいわい広場 ※2	週 <input type="text"/> 日くらい	週 <input type="text"/> 日くらい
6. ファミリー・サポート・センター	週 <input type="text"/> 日くらい	週 <input type="text"/> 日くらい
7. その他 (公民館、公園など)	週 <input type="text"/> 日くらい	週 <input type="text"/> 日くらい

※1「学童保育(放課後児童クラブ)」…保護者が就労等により居間家庭にいない場合などに、放課後児童支援員の下、子どもの生活の場を提供するものです。一定の利用料がかかります。

※2「わいわい広場」…放課後にいったん家に帰ることなく、小学校の校庭等で、大人の見守りのもと自由に遊べる場を提供するものです。実施校に在籍するすべての児童が無料で利用できます。

問 34 「3. 学童保育 (放課後児童クラブ)」に○をつけた方にうかがいます。

問 34-1 あて名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日、長期休業中(夏休み各休みなど)に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。(○は1つ。枠内に時間帯を記入。(例)9時～18時)

※事業の利用には、一定の利用料がかかります。

《土曜日》

1. 低学年 (1～3年生) の間は利用したい	利用したい時間帯
2. 高学年 (4～6年生) にも利用したい	<input type="text"/> 時から <input type="text"/> 時まで [24時間制で記入 例: 9時～18時]
3. 利用する必要はない	

《日曜日・祝日》

1. 低学年 (1～3年生) の間は利用したい	利用したい時間帯
2. 高学年 (4～6年生) にも利用したい	<input type="text"/> 時から <input type="text"/> 時まで [24時間制で記入 例: 9時～18時]
3. 利用する必要はない	

《長期休業》

1. 低学年 (1～3年生) の間は利用したい	利用したい時間帯
2. 高学年 (4～6年生) にも利用したい	<input type="text"/> 時から <input type="text"/> 時まで [24時間制で記入 例: 9時～18時]
3. 利用する必要はない	

子どもや子育て支援に関する意見

問 35 あなたは、子育てが楽しいですか。(○は1つ)

- | | |
|----------------|----------------|
| 1. 大変楽しい | 3. どちらかというとつらい |
| 2. どちらかといえば楽しい | 4. とてもつらい |

問 36 子育てに関して不安や負担などはお感じですか。(○は1つ)

- | | |
|------------------|-------------|
| 1. 不安や負担を感じる | 4. 感じない |
| 2. 多少は不安や負担を感じる | 5. なんともいえない |
| 3. あまり不安や負担は感じない | |

問 37 あなたにとって、ほしいと思っている子どもの数、実際に予定している子どもの数は何人ですか。
(枠内に数字を記入)

《ほしいと思っている子どもの数》

□□□□ 人

《実際に予定している子どもの数》

□□□□ 人

問 37 で「ほしいと思っている子どもの数」よりも、「実際に予定している子どもの数」が少ない方が多いです。

問 37-1 その理由はどのようなことですか。(○は2つまで)

- | | |
|-----------------------------------|-------------------------------|
| 1. 子育ての身体的な負担が大きいかから | 11. 自分自身のやりたいことができなくなるから |
| 2. 子育ての精神的な負担が大きいかから | 12. 今いる子どもにも十分な愛情をかけてあげたいから |
| 3. 配偶者やパートナーが家事や子育てにあまり協力してくれないから | 13. 社会がどうなるかわからず、子どもの将来が不安だから |
| 4. 子育てにお金がかかるから | 14. その他 () |
| 5. 収入に不安があるから | 15. 特に理由はない |
| 6. 住まいが狭いから | |
| 7. 教育に不安があるから | |
| 8. 年齢的な理由で無理だから | |
| 9. 健康上の理由で無理だから | |
| 10. 仕事ができない、続けにくいから | |

問 38 子育てに関して、日ごろ悩んでいること、または気になることはありますか。(○は3つまで)

- | | |
|-------------------------------|---|
| 1. 子どもの食事や栄養に関すること | 11. 子どもを叱りすぎているように感じる |
| 2. 子どもの病気や発育・発達に関すること | 12. 子育てのストレスがたまって、子どもに手をあげたり、世話をしなかつたりしてしまうこと |
| 3. 子どものくせや性格に関すること | 13. 子育てに関する情報の配属者・パートナーの協力が少ないこと |
| 4. 子どものしつけに関すること | 14. 子育てをしているうちに世の中から取り残されるような気がする |
| 5. 子どもの教育に関すること | 15. 仕事や自分のやりたいことが十分にできないこと |
| 6. 子どもの遊ばせ方に関すること | 16. 子どもを通じた親同士の付き合いに関すること |
| 7. 子どもの友だちづきあい(いじめ等を含む)に関すること | 17. その他 () |
| 8. 子育てで出費がかさむこと | |
| 9. 子育てによる身体の疲れが大きいこと | |
| 10. 子どもとの時間を十分にとれないこと | |

問 39 家の近くの子ども遊び場について、日ごろ感じていることがありますか。(○は3つまで)

- | | |
|--------------------------------|--------------------------------|
| 1. 思いきり遊ぶために十分な広さがない | 8. 遊び場に行っても子どもと同じ歳くらいの遊び仲間がいない |
| 2. ボール遊びができないなど禁止事項が多い | 9. 遊び場周辺の道路が危険である |
| 3. 遊具などの種類が充実していない | 10. 遊び場やその周辺の見通しが悪くて、安心して遊べない |
| 4. 遊具が古くて危険である | 11. 緑などの自然が少ない |
| 5. トイレがない | 12. 近くに遊び場がない |
| 6. 清潔でない | 13. 雨の日に遊べる場所がない |
| 7. いつも閑散としていて寂しい感じがする | 14. その他 () |
| 8. 遊び場に行っても子どもと同じ歳くらいの遊び仲間がいない | 15. 特に感じることはない |
| 9. 遊び場周辺の道路が危険である | |
| 10. 遊び場やその周辺の見通しが悪くて、安心して遊べない | |
| 11. 緑などの自然が少ない | |
| 12. 近くに遊び場がない | |
| 13. 雨の日に遊べる場所がない | |
| 14. その他 () | |
| 15. 特に感じることはない | |

問 40 市内においてお子さんと外出する際、困ること・困ったことは何ですか。(○は3つまで)

1. 歩道や信号がない通りが多く、安全に心配がある
2. 歩道の段差などがベビーカーや自転車等の移動に妨げになっている
3. 公共交通機関がベビーカーでの移動に十分配慮されていない
4. お店や施設がベビーカーでの移動に十分配慮されていない
5. トイレがオムツ換えや親子での利用に十分配慮されていない
6. 授乳する場所や必要な設備が少ない
7. 小さな子どもとの食事に配慮された場所が少ない
8. 買い物や用事の合間の気分転換に、子どもを遊ばせる場所が少ない
9. 緑や広い歩道が少ないなど、まち並みにゆとりとうるおいがない
10. 暗い通りや見通しのきかないところが多く、子どもが犯罪の被害にあわないか心配
11. 周囲の人が子ども連れを迷惑そうにみる
12. 荷物や子どもにも手をとられて困っている時に手を貸してくれる人が少ない
13. その他 (具体的に：)
14. 特に困る・困ったことはない

問 41 福岡市が行っている子ども施策について、満足している点はありませんか。(○は3つまで)

1. 保育所(園)が十分にある
2. 幼稚園が十分にある
3. 専業主婦・主夫など誰でも気軽に利用できる保育サービスが充実している
4. 子育てにかかる経済的支援が充実している
5. 子どもや親子が安心して集まる場や情報交換の場が充実している
6. 子育てについて学ぶ機会が充実している
7. 子育てに困った時の相談先が充実している
8. 子連れでも楽しめるイベントが充実している
9. 安心して子どもが医療機関にかかれる体制が整備されている
10. 多子世帯の優先入居や広い部屋割りなど、住宅面について配慮されている
11. 残業時間の短縮や休暇の取得促進など、企業に対して職場環境の改善を働きかけを積極的に行っている
12. 子どもや子育てで家庭を見守る社会づくりの啓発を行っている
13. その他 (具体的に：)

問 42 あなたは、どのような子育て施策の充実を図ってほしいですか。(○は3つまで)

1. 子育てにかかる費用負担の軽減
2. 子どもや親子が安心して集まり、遊びや情報交換ができる場を作ってほしい
3. 子連れでも出かけやすく、楽しめるイベントの機会がほしい
4. 地域で子どもを見守り、青むしくみを充実してほしい
5. 子育てに困った時に相談したり、情報が得られる場を作ってほしい
6. 保育所(園)を増やしてほしい
7. 幼稚園を増やしてほしい
8. 専業主婦・主夫など誰でも気軽に利用できる保育サービスがほしい
9. 安心して子どもが医療機関にかかれる体制を整備してほしい
10. 多子世帯の優先入居や広い部屋の割り当てなど、住宅面の配慮がほしい
11. 残業時間の短縮や休暇の取得促進など、企業に対して職場環境の改善を働きかけてほしい
12. 子どもや子育てで家庭を見守る社会の雰囲気醸成してほしい
13. 子育てについて学ぶ機会を作ってほしい
14. その他 ()
15. 特にない

◆教育・保育環境の充実や子育て支援など、福岡市の子ども施策に関する取り組みに関して福岡市へのご意見がございましたら、自由にご記入ください。

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございます。同封の返信用封筒に入れて、切手は貼らずに投函してください。

福岡市子ども・子育て支援に関するニーズ調査

(小学生の保護者の方)

福岡市の子ども・子育て支援の充実のため、ぜひアンケートにご協力ください。

- ◇ このアンケートは、住基本台帳(令和5年9月1日時点)から無作為で選び、お送りしています。
- ◇ ご回答いただいた内容は、福岡市の子ども・子育て支援策の検討にのみ利用させていただきます。他の目的に利用することは一切ございません。
- ◇ 回答が難しかったり、答えたくない質問については、無理にご回答いただく必要はありません。可能な範囲でお答えください。

ご記入にあたってのお願い

- (1) 保護者の方が記入してください。
- (2) 封筒のあて名のお子さんについてお答えください。
- (3) 回答は、選択肢に○をつけてお選びいただく場合と、数字などをご記入いただく場合があります。
- (4) 回答が「その他」にあてはまる場合は、その番号を○で囲み、() 内になるべく具体的にその内容を記入してください。
- (5) 回答は郵送もしくはオンラインでの1回限りです。
提出する際には、誤りがないか確認のうえ、提出してください。
- (6) このアンケートについてご不明な点がありましたら、下記問合せ先までご連絡ください。

郵送で回答する場合

- (1) 回答の記入は、なるべく黒または青のボールペンや鉛筆を使ってください。
- (2) 記入が終わりましたら、同封の返信用封筒に入れ、**11月30日(木)まで**にポストに投函してください。返信用封筒に切手は不要です。
- (3) 調査票や返信用封筒に、記入者の住所や氏名は書かないでください。

オンラインで回答する場合

- (1) パソコン、タブレット、スマートフォンで調査専用画面にアクセスしていただき、画面の指示に従って回答してください。なお、回答の際にはインターネット通信料がかかりますので、ご了承ください。
- (2) 途中で一時保存する場合は、回答ページ下部の「一時保存」ボタンを押すと、再購用URLが発行されます。(回答データの保存期間は7日間です) **再購用URLは必ず控えてください。**

◇調査専用画面URL

<https://src3.webcas.net/form/pub/src2/fukuokakodomo2>



問合せ先

福岡市子ども未来局こども政策課
 電話：092-707-1019 FAX：092-733-5534
 メール：kodomoseisaku.cb@city.fukuoka.lg.jp
 担当：森、岩倉
 ※電話受付時間：平日9時～17時30分

お子さんとご家族の状況について

問 1 お住まいの区はどこですか。(Oは1つ)

- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 1. 東 区 | 2. 博多区 | 3. 中央区 | 4. 南 区 |
| 5. 城南区 | 6. 早良区 | 7. 西 区 | |

問 2 あて名のお子さんは何年生ですか。(Oは1つ)

- | | | |
|-----------|-----------|-----------|
| 1. 小学校1年生 | 2. 小学校2年生 | 3. 小学校3年生 |
| 4. 小学校4年生 | 5. 小学校5年生 | 6. 小学校6年生 |

問 3 あて名のお子さんを含め、お子さん(年齢は問いません)は何人いらっしゃいますか。(枠内に数字を記入)

お子さんの人数	人 (あて名のお子さんを含む)
---------	-----------------

問 4 ご家庭において、あて名のお子さんの子育て(教育を含む)を主にしている方はどなたですか。あて名のお子さんから見た関係でお答えください。(Oは1つ)

- | | | |
|----------|------------|---------|
| 1. 父母ともに | 2. 主に母親 | 3. 主に父親 |
| 4. 主に祖父母 | 5. その他 () | |

問 5 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。(Oは1つ)あて名のお子さんからみた関係でお答えください。

1. 母親	2. 父親	3. 祖父母	4. その他 ()
-------	-------	--------	------------

問 6 この調査票にご回答いただく方の年代について、お答えください。(Oは1つ)

- | | | |
|----------|----------|--------|
| 1. 10代 | 2. 20代 | 3. 30代 |
| 4. 40代以上 | 5. 回答しない | |

問 7 世帯の年収をお伺いします。(Oは1つ)

- | | |
|----------------|------------------|
| 1. ～200万円未満 | 5. 500～700万円未満 |
| 2. 200～300万円未満 | 6. 700～1,000万円未満 |
| 3. 300～400万円未満 | 7. 1,000万円以上 |
| 4. 400～500万円未満 | |

問 8 あて名のお子さんとの同居・近居の状況について、選んでください。(あてはまるものすべてにO)あて名のお子さんからみた関係でお答えください。

1. 父母同居(単身赴任別居等を含む)	4. 祖父母同居
2. 父同居(ひとり親家庭)	5. 祖父母近居
3. 母同居(ひとり親家庭)	6. その他 ()

問9 あて名のお子さんの母親と父親の1週間の家事・育児時間はどれくらいですか。
(1週間の時間を合計して枠内に記入)

※「育児時間」とは、子どもの身の回りの世話や遊び相手、勉強をみてあげることなど、子どもと一緒に過ごす時間をいいます。

《母親》

【家事時間】 時間 分/週 【育児時間】 時間 分/週

《父親》

【家事時間】 時間 分/週 【育児時間】 時間 分/週

問10 あなたは、あて名のお子さんと一緒に何かをしたり、相手をしたりしている時間が1日にどのくらいありますか。食事時間を含みます。(平日・休日それぞれに○は1つずつ)

《平日》

1. ほとんどない 2. 30分程度 3. 1～2時間程度
4. 3～4時間程度 5. 5～6時間程度 6. 7時間以上

《休日》

1. ほとんどない 2. 30分程度 3. 1～2時間程度
4. 3～4時間程度 5. 5～6時間程度 6. 7時間以上

問11 あなたは、ご自分があて名のお子さんと一緒に過ごしている時間は十分だと思えますか。
(平日・休日それぞれに○は1つずつ)

《平日》

1. 十分 2. まあ十分 3. やや不足している 4. まったく不足している

《休日》

1. 十分 2. まあ十分 3. やや不足している 4. まったく不足している

問12 あて名のお子さんに対する、あて名の日ごろのしつけ(態度)はどのようにされていますか。
(①～⑧について、それぞれに○は1つずつ)

	いつも そうである	ときどき そうである	そういう ことはない
① 子どもが何かやっているときすぐ手伝ってしまうほうだ	1	2	3
② 子どもについてなんでもすぐに口を出すほうだ	1	2	3
③ 子どもにあまりかまわってやれないほうだ	1	2	3
④ 時と場合によっては、子どもに言うことが違うことがある	1	2	3
⑤ だいたい子どもの言いなりになっているほうだ	1	2	3
⑥ 体罰をすることがある	1	2	3
⑦ 子どもに家事や家族の世話をさせている	1	2	3
⑧ 子どものことを分かっているほうだ	1	2	3

問13 あなたが子育てについて不安に思ったり、困ったりすることやわからないことがある場合、誰(どこ)に相談されますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 配偶者やパートナー
2. その他の親族(親、きょうだいなど)
3. 友人や知人
4. 隣近所の人、地域の知人
5. 職場の人
6. 学校等の保護者仲間
7. 学校の先生等
8. 区役所(保健所、福祉事務所など)
9. ことも総合相談センター(えがお館)
10. 病院
11. 警察署、交番
12. 民生委員、児童委員、主任児童委員
13. 地域の居場所(子ども食堂など)
14. 民間の電話相談
15. インターネットや育児書で解決策を探す
16. その他()
17. 相談相手がいない
18. 相談することがない

あて名のお子さんの保護者の就労状況について

ここでは、この区分によりご回答ください。
フルタイム・・・1週5日程度・1日8時間程度の就労
パート・アルバイト等・・・フルタイム以外

問14 母親の現在の就労状況(自営業、家族従事者含む)について、お答えください。
(○は1つ。枠内に数字を記入)【該当されない場合は記入は不要です】

1. 就労している(フルタイム:産休・育休・介護休業中は含まない)
→1週当たりの平均就労時間 時間 働いている日の平均的な帰宅時刻 時
【24時間制で記入 例:18時】

2. 就労している(フルタイムだが産休・育休業・介護休業中)
3. 就労している(パートタイム、アルバイト等)
→1週当たり 日、1日当たり 時間
→フルタイムへの転換希望がありますか。 [1. ある(すぐにも又は1年以上内に) 2. ある(いずれは) 3. ない]

4. 以前は就労していたが、現在は就労していない
5. これまでに就労したことがない

すべての方にうかがいます。

問 15 父親の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）について、お答えください。
（○は1つ。枠内に数字を記入）【該当しない場合は記入不要です。】

1. 就労している（フルタイム：育児・介護休業中は含まない）	時間	働いている日の平均的な帰宅時刻	時間
→1週当たりの平均就労時間は			【24時間制で記入 例18時】
2. 就労している（フルタイムだが育児・介護休業中）			
3. 就労している（パートタイム、アルバイト等）			
→1週当たり	日、1日当たり	時間	
→フルタイムへの転換希望がありますか。			
			1. ある（すぐにも又は1年以内に） 2. ある（いずれは） 3. ない
4. 以前は就労していたが、現在は就労していない			
5. これまでに就労したことがない			

問 15 で「4」または「5」を選んだ方にうかがいます。

問 15-1 就労への希望についてお答えください。（○は1つ）

1. すぐにも又は1年以内に希望がある	
2. 1年より先で、子どもがある程度大きくなったら就労したい	
3. ない	

問 15-1 で「1. すぐにも又は1年以内に希望がある」を選んだ方にうかがいます。

問 15-2 希望する就業の形態はどのようなものですか。（○は1つ。枠内に数字を記入）

1. フルタイムによる就労		時間
2. パートタイム、アルバイト等による就労 ⇒ 1週あたり	日・1日あたり	

問 15-3 現在働いていない理由としてもっとも近いものを選んでください。（○は1つ）

1. 子どもが小さいうちは、自分が家にいてあげたい
2. 働きながら子育てのできる適当な仕事がない
3. 自分の知識、能力にあう仕事がない
4. 家族の考え（親族の理解が得られない）など就労する環境が整っていない
5. 現在就活中だが、適当な仕事が見つからない
6. 健康上の理由のため
7. その他（ ）

問 15-1 で「2. 1年より先で、子どもがある程度大きくなったら就労したい」を選んだ方にうかがいます。

問 15-4 あて名のお子さんも含めて、一番年齢の低い子が何歳になったら就労を希望されますか。
（枠内に数字を記入）

歳になったとき

問 14-1 で「4」または「5」を選んだ方にうかがいます。

問 14-2 就労への希望についてお答えください。（○は1つ）

1. すぐにも又は1年以内に希望がある	
2. 1年より先で、子どもがある程度大きくなったら就労したい	
3. ない	

問 14-1 で「1. すぐにも又は1年以内に希望がある」を選んだ方にうかがいます。

問 14-2 希望する就労の形態はどのようなものですか。（○は1つ。枠内に数字を記入）

1. フルタイムによる就労		時間
2. パートタイム、アルバイト等による就労 ⇒ 1週あたり	日・1日あたり	

問 14-3 現在働いていない理由としてもっとも近いものを選んでください。（○は1つ）

1. 子どもが小さいうちは、自分が家にいてあげたい
2. 働きながら子育てのできる適当な仕事がない
3. 自分の知識、能力にあう仕事がない
4. 家族の考え（親族の理解が得られない）など就労する環境が整っていない
5. 現在就活中だが、適当な仕事が見つからない
6. 健康上の理由のため
7. その他（ ）

問 14-1 で「2. 1年より先で、子どもがある程度大きくなったら就労したい」を選んだ方にうかがいます。

問 14-4 あて名のお子さんも含めて、一番年齢の低い子が何歳になったら就労を希望されますか。
（枠内に数字を記入）

歳になったとき

子育てに関する情報について

問16 あなたは、いま子育てについてどんな情報を得たいと思っていますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 子どもの食事や栄養について
2. 子どもの発育や病気にについて
3. 子どものしつけや勉強について
4. 習い事や学習塾について
5. 子どもの遊び場や施設について
6. 子どもの一時的預かりについて
7. 子どもが参加できるイベントについて
8. 家庭教育に関する講座や講演会などについて
9. 子育ての相談窓口について
10. 子育ての手当や公的助成について
11. その他 ()

問17 あなたは、子育てについて知りたい情報を何から得ていますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 親族(親、きょうだいなど)
2. 近所の人、知人、友人
3. 小学校
4. 保護者仲間
5. インターネット
6. 市や区のホームページ
7. 福岡市公式LINE(子育てカテゴリーを受信設定している)
8. ふくおかサポート
9. テレビ、ラジオ、新聞
10. 区役所(保健福祉センター、市民センター等)
11. 市の広報紙やパンフレット、公民館日より
12. 市が発行する子育て情報ガイド
13. 子育て雑誌、育児書
14. フリーページ
15. 情報の入手先がわからない
16. その他 ()

問18 子育て施策に関する福岡市の情報発信について、改善してほしいと思う点がありますか。(○は3つまで)

1. 情報発信の方法を増やしてほしい(ホームページ、SNS、冊子など)
2. 自分の欲しい情報にすぐたどり着けるようにしてほしい
3. デザインやレイアウトを見やすくしてほしい
4. 情報発信の頻度を増やしてほしい
5. 内容をもっと簡潔にしてほしい
6. 内容をもっと詳しくしてほしい
7. 福岡市がどのような情報発信をしているのかわからない
8. その他 ()

お子さんの日常の生活について

問19 あて名のお子さんの朝食のとり方はどうですか。(○は1つ)

1. 毎日食べる
2. 週に3～4回食べる
3. 週に1～2回食べる
4. ほとんど食べない

問20 普段、あて名のお子さんの寝る時刻と起きる時刻は何時頃ですか。(枠内に数字を記入)

寝る時刻	時頃	起きる時刻	時頃
【24時間制で記入 例:21時】			

問21 平日の放課後や休日、あて名のお子さんは、主にどのように過ごされていますか。(時間帯ごとに、最も多いものをそれぞれ1つずつ選び、下の表に番号を記入)

放課後～17時	17～18時	18～19時	19時以降	休日

《時間帯ごとに最も多い番号を1つ記入してください。》

1. 学校にいる
2. わいわい広場で遊んでいる
3. 放課後児童クラブで過ごす
4. 保護者や祖父母など家族・親族と過ごす
5. 家でひとりで過ごす
6. 家事や家族の世話をしている
7. 友だちの家にいる
8. 公園などで友だちと遊んでいる
9. 公民館や図書館など公共の施設にいる(施設名:)
10. 地域の居場所(子ども食堂や地域の学習会など)で過ごしている
11. クラブ活動や地域活動(子ども会活動やスポーツ活動)をする
12. 習い事や学習塾に行っている
13. その他 ()

問22 あて名のお子さんは、普段、放課後に子どもだけ(きょうだい含む)で留守番をすることがありますか。(○は1つ)

1. ある ⇒ [1. 1時間以内 2. 1～2時間 3. 2～3時間 4. 3時間以上]
2. ない

問23 あて名のお子さんは、平均すると1日にどれくらいの時間、外で遊びますか。(平日・休日それぞれに○は1つずつ)

《平日》

1. 外で遊ばない
2. 30分未満
3. 30分以上～1時間未満
4. 1時間以上～2時間未満
5. 2時間以上～3時間未満
6. 3時間以上～4時間未満
7. 4時間以上～5時間未満
8. 5時間以上

《休日》

1. 外で遊ばない
2. 30分未満
3. 30分以上～1時間未満
4. 1時間以上～2時間未満
5. 2時間以上～3時間未満
6. 3時間以上～4時間未満
7. 4時間以上～5時間未満
8. 5時間以上

問24 あて名のお子さんは自宅で学習をしていますか。(○は1つ)

1. ほぼ毎日する
2. 週に数回する
3. 月に数回する
4. めったにしない
5. まったくしない

遊び場や地域の子育て環境について

問 25 あて名のおおさんは次の経験がありますか。(それぞれについて、「あった」「なかった」「なかつた」のいずれかに○)
 不登校 : 病気やケガ以外の理由でおおむね年間 30 日以上学校を欠席したこと
 ひきこもり : おおむね半年以上ほとんど外出せず自宅内にこもっている状態

《最近 1 年間》	あった	なかつた
(ア) 不登校	1	2
(イ) ひきこもり	1	2

《小学校入学以降》	あった	なかつた
(ア) 不登校	1	2
(イ) ひきこもり	1	2

問 26 あなたは、「ヤングケアラー」という言葉を聞いたことがありますか。(○は 1 つ)

※「ヤングケアラー」とは、本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを、日常的に行っている子ども
 のこととされています。

1. 聞いたことがあります、内容も知っている
2. 聞いたことはあるが、内容はよく知らない
3. 聞いたことはない

問 27 あて名のおおさんは、家事や家族の世話をすることで、お子さん自身のことをする時間が取れなかったり、やりたいこと(勉強・部活動・遊び・睡眠等)ができなかったりすることがありますか。(○は 1 つ)

1. よくある	2. とまどきある	3. あまりない	4. ない
---------	-----------	----------	-------

問 28 あて名のおおさんは、ご家庭でパソコンや携帯電話、スマートフォン、タブレットなどでインターネットを使っていますか。(○は 1 つ)

1. はい	2. いいえ
-------	--------

問 29 あて名のおおさんは、平均すると 1 日どれくらいの時間、テレビやパソコン、スマートフォン、タブレットなどで動画を見たりゲームをしたりしていますか。(平日・休日それぞれに○は 1 つずつ)

《平日》	5. 3 時間以上～4 時間未満
1. 見ていない	6. 4 時間以上～5 時間未満
2. 1 時間未満	7. 5 時間以上
3. 1 時間以上～2 時間未満	
4. 2 時間以上～3 時間未満	

《休日》	5. 3 時間以上～4 時間未満
1. 見ていない	6. 4 時間以上～5 時間未満
2. 1 時間未満	7. 5 時間以上
3. 1 時間以上～2 時間未満	
4. 2 時間以上～3 時間未満	

問 30 過去 1 年間にあて名のおおさんとともに利用した公共施設はどこですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 公民館
2. 市民センター
3. 総合図書館・各区の市立図書館
4. 市総合体育館、市民体育館、各区体育館、市民プール
5. 小中学校の校庭、体育館
6. 福岡市博物館・福岡市美術館・アジア美術館
7. 中央児童会館あいくる
8. 福岡市科学館
9. 福岡市動物園・植物園
10. 公園
11. その他 ()
12. 利用していない

問 31 過去 1 年間に、あて名のおおさんと次のような体験をしたり行ったりしたことがありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 家族旅行
2. 野外活動(キャンプ、山登り、海水浴等)
3. スポーツ観戦
4. 図書館
5. 博物館
6. 美術館
7. 科学館
8. 動物園・植物園
9. 映画館
10. 演劇・舞台
11. コンサート
12. 特になし

問 32 あて名のおおさんは、地域の子どもたちが活動する団体(子ども会など)へ入っていますか。(○は 1 つ。「1」を選んだ場合は、入っている団体に○をつける)

1. 現在入っている
 (① 子ども会 ② その他、地域単位で活動する団体(サークルやスポーツクラブなど))
2. 入っていたが退会した
3. これまで入ったことがない
4. 町内に団体があることを知らない
5. 町内に団体がない

問 32 で「1. 現在入っている」を選んだ方にうかがいます。

問 32-1 地域の子どもたちが活動する団体（子ども会など）に入った理由は何か。○は3つまで

1. 地域全体で見守られている安心感があるから
2. 地域の方とのつながりが増えるから
3. 子どもに社交性が身につく、社会的になるなど、成長するから
4. 団体の行事や活動が面白そうだったから
5. 友達が増え、子どもが活発になるから
6. その他 ()

問 32 で「2」または「3」を選んだ方にうかがいます。

問 32-2 地域の子どもたちが活動する団体（子ども会など）に入っていない理由は何か。○は3つまで

1. 習い事などで時間が足りないから
2. 習い事など他の活動で充実しているから
3. 団体の行事や活動に魅力を感じないから
4. 保護者への負担（行事への参加、役員への就任など）が大きいため
5. 休日は家族だけの時間を過ごしたいから
6. 団体のことをよく知らないから
7. その他 ()

すべての方にうかがいます。

問 33 お住まいの地域の子育て環境で不満なことは何か。○は3つまで

1. 通学路が狭い、交通量が多いなど道路環境が悪い
2. 暗い通りや見通しのきかないところが多く、子どもが犯罪の被害にあわないか心配
3. 学校が遠くて通学に不便
4. 子どもにとって有害なものがあるなど、周りの生活環境が悪い
5. 公園や緑が少ない
6. 自由に安心して遊べる場所が少ない
7. 雨の日でも遊べる場所がない
8. 絵を描いたり、工作、劇など家でできないことができる場所がない
9. 屋間にあまり大人が少ない
10. 近所に子どもが少ない
11. 地域に住民が集まるような場所がない
12. 隣近所とのつきあいがいいがない
13. その他 ()
14. 特に不満はない

問 34 あなたは、地域で子どもを健全に育むために、特にどのようなことが必要だと思いますか。○は3つまで

1. 地域の子どもを見守り育む団体活動等の充実
2. 子どもたちがボランティア活動へ参加する機会の充実
3. 青少年団体の育成や指導者の養成
4. 地域の行事やイベントの活性化
5. 地域の人々が参加している団体グループの活性化
6. 外国の子どもたちの受け入れなどの体制の充実
7. 学校施設の開放や学校活動への地域の人々の参加
8. 子どもたちがのびのびと遊べる施設や場所の充実
9. 子どもたちが安心して過ごせる場所の充実
10. 子どもたちが生活の知恵や技術を学ぶ機会の充実
11. 地域の人々が日常的に集まり話し合える場所
12. 悩みごとなどを相談する人や場所の充実
13. 子どもたちに有害な社会環境の改善
14. 子どもたちの非行防止活動の推進
15. その他 ()

問 35 あなたは、子どもが健全に成長するためには、子どもたちにもどのような体験が必要だと思いますか。○は3つまで

1. 子ども同士で遊びやスポーツなどの活動をする
2. 大人とともに地域の行事や催しものに参加し、活動する
3. お年寄りや地域の方から、日本の伝統的な工芸、芸術（竹細工・折り紙等）や遊び（石けり・お手玉等）を習う
4. 自然の中でキャンプをするなどの自然体験をする
5. 美術館や博物館などで芸術を鑑賞する
6. 公園や公民館など身近な場所ですんだり勉強する
7. 学校では出会えない異年齢や別の地域の子どもたちと交流する
8. イベントを子どもたちで企画・運営する
9. インターネットを使い、自分の考えを共有できる人たちと繋がる
10. その他 ()

放課後児童クラブ等の利用について

問 36 あて名のお子さんについて、現在、放課後児童クラブ（旧・留守家庭子ども会）を利用していますか。
 (○は1つ)

1. 利用している
 2. 利用していない

※「放課後児童クラブ」とは、保護者が仕事などにより昼間家庭にいない児童を対象に、遊びと生活の場を提供し、児童の健全な育成を図る事業です。

問 36 で「1. 利用している」を選んだ方にうかがいます。

問 36-1 ① 放課後児童クラブ（旧・留守家庭子ども会）の利用日数はどれくらいですか。(枠内に数字を記入)

週 日くらい ⇒ うち土曜日の利用 (1. ある 2. ない)

② 利用している理由を選んでください。(○は1つ)

【お子さんの子育てを主にしている方が】

1. 就労しているから
2. 妊娠中である又は出産後間もないから
3. 家族・親族などを介護しなければならぬから
4. 病気や障がいを持っているから
5. 学生だから
6. その他 ()

問 36 で「2. 利用していない」を選んだ方にうかがいます。

問 36-2 利用していない理由を選んでください。(○は1つ)

【お子さんの子育てを主にしていない方が】

1. 現在就労していないから
2. (放課後児童クラブ（旧・留守家庭子ども会）を知らなかったから
3. 放課後児童クラブ（旧・留守家庭子ども会）が身近な場所でないから
4. 放課後児童クラブ（旧・留守家庭子ども会）の開所時間が短いから
5. 放課後児童クラブ（旧・留守家庭子ども会）は利用料がかかるから
6. 就労しているが、子どもは放課後のクラブ活動や習い事をしていないから
7. 放課後の短時間ならば子どもだけで留守番させても大丈夫だと思うから
8. 他の施設に預けているから
9. 祖父母等の親族（同居含む）や知人に預けているから
10. 父親または母親が子どもより早く家に帰ることができるから
11. その他 ()

お子さんの病気の時の対応について

問 37 この1年間に、あて名のお子さんが病気で学校を休まなければならなかったことはありませんか。(○は1つ)

1. あった
 2. なかった

問 37 で「1. あった」を選んだ方にうかがいます。

問 37-1 この1年間の対処はどのようになされましたか。

(あてはまるものすべてに○。枠内にそれぞれの日数を記入。半日程度についても1日としてカウント。)
 ※「病児・病後児保育」とは、お子さんが病気の際、保護者の仕事の都合などで、自宅で看病できない場合、病院等の病児デイケアルームで預かる制度。

1年間の対処方法	日数
1 母親が仕事を休んだ	日
2 父親が仕事を休んだ	日
3 親族・知人（同居人を含む）に預けた	日
4 ベビーシッターを頼んだ	日
5 子どもだけで留守番をさせた	日
6 就労していない保護者がみた	日
7 病児・病後児保育（病児・病後児デイケア）を利用した	日
8 その他 ()	日

⇒問 37-4へ

問 37-1 で「1」～「5」のいずれかに回答した方にうかがいます。

問 37-2 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設を利用したい」と思われましたか。

(○は1つ。枠内に日数を記入)

※病児・病後児のための保育施設の利用には、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

1. できれば病児・病後児保育施設を利用したい → 日

2. 利用したいとは思わない

問 37-2 で「2. 利用したいとは思わない」に○をつけた方にうかがいます。

問 37-3 利用したいと思わない理由についてお答えください。(あてはまるものすべてに○)

1. 預け先が遠く、預けづらい
 2. 利用可能時間日数が短いなど利用しづらい
 3. 病児・病後児を他人に看てもらうのは不安
 4. 子どもが不安がる・子どもがかわいそう
 5. 利用する必要がない
 6. その他 ()

問 37-1 で「3」～「8」のいずれかに回答した方にかがいます。

問 37-4 「仕事を休む」以外の対応を行った理由についてお答えください。(あてはまるものすべてに○)

1. 職場の休暇制度が整っていない
2. 子の看護を理由に休みがとれづらい雰囲気がある
3. 自営業なので休めない
4. 外せない仕事があるなど、業務の都合
5. 経済的な理由で休めない
6. その他 ()

病児・病後児保育を利用した(利用しようとした)方にかがいます。

問 37-5 利用申し込みをした際に、望がないという理由で断られたことがありましたか。(○は1つ)

1. あった
2. なかった

子育て支援サービスの認知度・利用の意向について

問 38 福岡市のサービスや市が支援しているサービスについて、利用したことはありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 区役所、公民館、市民センターなどの子育て教室、講座
2. 区役所での相談 (電話含む)
3. こども総合相談センターでの相談 (電話含む)
4. ヤングケアラー相談窓口での相談 (電話含む)
5. 区役所、公民館、市民センターなどでの子ども向け事業
6. 科学館での子ども向け事業
7. 中央児童会館の子育て支援や子ども向け事業
8. 子どもショートステイ
9. ファミリー・サポート・センター
10. 地域の居場所 (子ども食堂など)
11. 利用しているものはない

問 38-1 福岡市のサービスや市が支援しているサービスについて、利用していないサービスのうち

今後利用したいサービスはありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 区役所、公民館、市民センターなどの子育て教室、講座
2. 区役所での相談 (電話含む)
3. こども総合相談センターでの相談 (電話含む)
4. ヤングケアラー相談窓口での相談 (電話含む)
5. 区役所、公民館、市民センターなどでの子ども向け事業
6. 科学館での子ども向け事業
7. 中央児童会館の子育て支援や子ども向け事業
8. 子どもショートステイ
9. ファミリー・サポート・センター
10. 地域の居場所 (子ども食堂など)
11. 利用したいと思うものは特にない

ファミリー・サポート・センターの利用について

問 38 で「9. ファミリー・サポート・センター」を選んだ方にかがいます。

問 38-2 どのような目的で利用していますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 主たる保育サービスとして利用している
2. 仕事で送迎が難しいときに利用している
3. 放課後児童クラブなどの利用で足りない時間を補う目的で利用している (朝・夕等)
4. 放課後児童クラブなどの送り迎えに利用している
5. 祖父母や知人友人等に預かってもらえないときに利用している
6. 冠婚葬祭等や買い物等の外出の際に利用している
7. 子育てのリフレッシュのために利用している
8. その他 ()

問 38-3 どれくらいの頻度で利用していますか。(枠内に数字を記入、不定期の場合は、不定期に○)

※ 1日に2回以上利用する場合は1日とカウントしてください。

月に	日くらい	1回あたり	時間程度	・ 不定期の利用
				【不定期の場合は○で囲んでください】

問 38-1 で「9. ファミリー・サポート・センター」を選んだ方にかがいます。

問 38-4 今後、どの程度利用したいと願いますか。(枠内に数字を記入)

※ 1日に2回以上利用する場合は1日とカウントしてください。

月に	日 (回) くらい

子どもショートステイの利用について

すべての方にうかがいます。

問 39 この1年間に、保護者の用事・仕事・病氣などにより、あて名のお子さんを、施設や同居の家族以外に泊まりがけで預けたり、仕方なく用事や仕事に同行させたりしたことがありますか。
あてはまるものすべてに○をし、その宿泊数（1年間の合計）を枠内に記入してください。

1. 泊まりがけで施設や同居の家族以外に預けたことがあった	泊	→	泊数	→	泊
※1年間の合計					
2. 仕方なく子どもを用事や仕事に同行させたり、子どもだけで留守番をさせたことがあった					
	泊	→	泊数	→	泊
※1年間の合計					
3. そのような状況が生じたことはなかった					

すべての方にうかがいます。

問 39-1 子どもの預け先として「子どもショートステイ」があることを知っていますか。(○は1つ)

1. 知っており利用したことがある	
2. 知っているが利用したことはない	
3. 知らない	

問 39-2 「2」に回答した方にうかがいます。

問 39-2 子どもの預け先として子どもショートステイを利用したことがない理由は何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 泊まりがけで預ける状況が生じたことがなかった
2. 子どもショートステイ以外に預け先があった
3. 家族以外に泊まりがけで預けることに不安があった
4. 子どもショートステイに空きがなかった
5. その他 ()

すべての方にうかがいます。

問 39-3 あて名のお子さんについて、保護者の育児疲れや育児不安により、泊まりがけで年間何泊くらい家族以外の施設等に預けたいと思いますか。(○は1つ)

1. 1～5泊	2. 6～10泊	3. 11～20泊
4. 21～30泊	5. 31泊以上～	6. 特に必要ない

すべての方にうかがいます。

問 39-4 この1年間に、保護者の用事・仕事・病氣などにより、夜間（19時～22時頃）にあて名のお子さんを、同居の家族以外の誰かに預けたり用事や仕事に同行させたりしたことがありますか。
あてはまるものすべてに○をし、その日数（1年間の合計日数）を枠内に記入してください。

1. 施設や同居の家族以外に預けたことがあった	日数	→	日数	→	日
※1年間の合計					
2. 仕方なく子どもを用事や仕事に同行させたり、子どもだけで留守番をさせたことがあった					
	日数	→	日数	→	日
※1年間の合計					
3. そのような機会はなかった					

すべての方にうかがいます。

問 39-5 夜間（19時～22時頃）に施設等でお子さんを預かる市のサービスがあれば利用したいと思いませんか。
(希望がある場合のみ、枠内に数字を記入)

月に		日くらい
※1日に2回以上利用する場合は1日とカウントしてください		

子ども・子育て支援について

問 40 あなたは、あて名のお子さんの子育てが楽しいですか。(○は1つ)

1. 大変楽しい	2. どちらかといえば楽しい
3. どちらかといえばつらい	4. とてもつらい

問 41 あなたが子育てに関して、悩んでいることや気になることはありますか。(○は3つまで)

1. 子どもに基本的な習慣（あいさつ、規則正しい食生活、整理整頓など）が身につけていない
2. 子どものしつけや教育に自信がもてない
3. 子育てについての相談相手がいない
4. 配偶者やパートナーがあまり協力してくれない
5. 子どもが勉強しない
6. 子どもの進学や就職のこと
7. 子どもが反抗的でなかなか言うことをきかない
8. 子どもの生活態度が消極的である
9. 子どもの友だちづきあい（いじめなどを含む）に関すること
10. 不登校などの課題について
11. 子どもの身体や発育、病気のこと
12. 子どもの非行や問題行動
13. 子ども以外に家事や家族の世話を頼める人がいない
14. 子育てで出費がかさむこと
→ (主にどのようなかことに消費していますか：)
15. その他 ()
16. 特にない

問 42 あなたにとって、ほしいと思っっている子どもの数、実際に予定している子どもの数は何人ですか。

(枠内に数字を記入)

《ほしいと思っっている子どもの数》

 人

《実際に予定している子どもの数》

 人

問 42-1 「ほしいと思っっている子どもの数」よりも「実際に予定している子どもの数」が少ない方がいます。

問 42-1 その理由は何か。(○は2つまで)

1. 子育ての身体的な負担が大きいため
2. 子育ての精神的な負担が大きいため
3. 配偶者やパートナーが家事や子育てにあまり協力してくれないから
4. 子育てにお金がかかるから
5. 収入に不安があるから
6. 住まいが狭いから
7. 教育に不安があるから
8. 年齢的な理由で無理だから
9. 健康上の理由で無理だから
10. 仕事ができない・続けにくいから
11. 自分自身のやりたいことができなくなるから
12. 今いる子どもにも十分な愛情をかけてあげたいから
13. 社会がどうなるかわからず、子どもの将来が不安だから
14. その他 ()
15. 特に理由はない

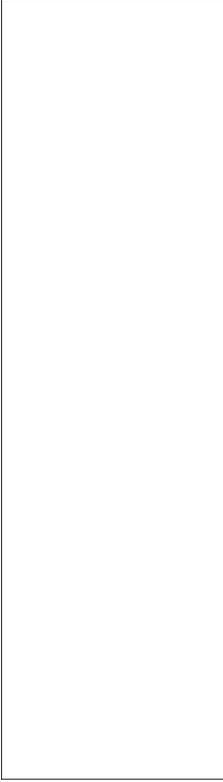
問 43 福岡市が行っている子ども施策について、満足している点はありますか。(○は3つまで)

1. 保育所 (園) が十分にある
2. 幼稚園が十分にある
3. 専業主婦・主夫など誰でも気軽に利用できる保育サービスが充実している
4. 子育てにかかる経済的支援が充実している
5. 子どもや親子が安心して集まる場や情報交換の場が充実している
6. 子育てについて学べる機会が充実している
7. 子育てに困った時の相談先が充実している
8. 子連れでも楽しめるイベントが充実している
9. 安心して子どもが医療機関にかかれる体制が整備されている
10. 多世代の優先入居や広い部屋の割り当てなど、住宅面について配慮されている
11. 就業時間の短縮や休暇の取得促進など、企業に対して職場環境の改善の働きかけを積極的に
行っている
12. 子どもや子育てで家庭を見守る社会づくりの啓発を行っている
13. その他 ()

問 44 あなたは、どのような子育て施策の充実を図ってほしいですか。(○は3つまで)

1. 子育てにかかる費用負担を軽減してほしい
2. 子どもや親子が安心して集まり、遊びや情報交換ができる場を作してほしい
3. 子連れでも出かけやすく、楽しめるイベントの機会がほしい
4. 地域で子どもを見守り、育むしくみを充実してほしい
5. 子育てに困った時に相談したり、情報が得られる場を作してほしい
6. 専業主婦・主夫など誰でも気軽に利用できる保育サービス (小学生向け含む) がほしい
7. 子育てに疲れた時に休息やリフレッシュをするためのサポートを充実してほしい
8. 安心して子どもが医療機関にかかれる体制を整備してほしい
9. 多世代の優先入居や広い部屋の割り当てなど、住宅面の配慮がほしい
10. 就業時間の短縮や休暇の取得促進など、企業に対して職場環境の改善を働きかけてほしい
11. 子どもや子育てで家庭を見守る社会の雰囲気醸成してほしい
12. 子育てについて学べる機会を作してほしい
13. その他 ()
14. 特にない

◆ 最後に、福岡市の子ども施策に関する取り組みについて、ご意見等がありましたら、自由にご記入ください。



アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。
同封の返信用封筒に入れて、切手は貼らずに投函してください。

福岡市子ども・子育て支援に関するニーズ調査

(中学生・高校生等の保護者の方)

福岡市の子ども・子育て支援の充実のため、ぜひアンケートにご協力ください。

- ◇ このアンケートは、住民基本台帳(令和5年9月1日時点)から無作為で選び、お送りしています。
- ◇ ご回答いただいた内容は、福岡市の子ども・子育て支援策の検討にのみ利用させていただきます。他の目的に利用することは一切ございません。
- ◇ 回答が難しかったり、答えたくない質問については、無理にご回答いただく必要はありません。可能な範囲でお答えください。

ご記入にあたってのお願い

- (1) 保護者の方が記入してください。
- (2) 封筒のあて名のお子さんについてお答えください。
- (3) 回答は、選択肢に○をつけてお選びいただく場合と、数字などをご記入いただく場合があります。
- (4) 回答が「その他」にあてはまる場合は、その番号を○で囲み、() 内になるべく具体的にその内容を記入してください。
- (5) 回答は郵送もしくはオンラインでの1回限りです。提出する際には、誤りがないか確認のうえ、提出してください。
- (6) このアンケートについてご不明な点がありましたら、下記問合せ先までご連絡ください。

郵送で回答する場合

- (1) 回答の記入は、なるべく黒または青のボールペンや鉛筆を使ってください。
- (2) 記入が終わりましたら、同封の返信用封筒に入れ、**11月30日(木)まで**にポストに投函してください。返信用封筒に切手は不要です。
- (3) 調査票や返信用封筒に、記入者の住所や氏名を書く必要はありません。

オンラインで回答する場合

- (1) パソコン、タブレット、スマートフォンで調査専用画面にアクセスしていただき、画面の指示に従って回答してください。なお、回答の際にはインターネット通信料がかかりますので、ご了承ください。
- (2) 途中で一時保存する場合は、回答ページ下部の「一時保存」ボタンを押すと、再開URLが発行されます。(回答データの保存期間は7日間です) **再開URLは必ず控えてください。**

◇ 調査専用画面URL

<https://src3.webcas.net/form/pub/src2/fukuokakodomo3>



問合せ先

福岡市子ども未来局こども政策部こども政策課
 電話：092-707-1019 FAX：092-733-5534
 メール：kodomoseisaku.CB@city.fukuoka.lg.jp
 担当：森、岩倉
 ※電話受付時間：平日9時～17時30分

お子さんとご家族の状況について

問1 お住まいの区はどこですか。(○は1つ)

- | | | | |
|--------|--------|--------|-------|
| 1. 東区 | 2. 博多区 | 3. 中央区 | 4. 南区 |
| 5. 城南区 | 6. 早良区 | 7. 西区 | |

問2 あて名のお子さんの所属と性別について、選んでください。(○は1つ)

- 《所属》
- | | | |
|---------|------------|--------|
| 1. 中学校 | 4. 高等専門学校 | 7. その他 |
| 2. 高等学校 | 5. 仕事をしている | () |
| 3. 専門学校 | 6. 無職 | |
- 《性別》
- | | | | |
|-------|-------|--------|----------|
| 1. 男性 | 2. 女性 | 3. その他 | 4. 回答しない |
|-------|-------|--------|----------|

問3 あて名のお子さんの同居家族は何人ですか。(枠内に数字を記入)

	人家族 (あて名のお子さんを含む)
--	-------------------

問4 あて名のお子さんとの同居・近居の状況について選んでください。(あてはまるものすべてに○) あて名のお子さんからみられた関係でお答えください。

- | | |
|----------------------|------------|
| 1. 父母同居 (単身赴任別居等を含む) | 4. 祖父母同居 |
| 2. 父同居 (ひとり親家庭) | 5. 祖父母近居 |
| 3. 母同居 (ひとり親家庭) | 6. その他 () |

問5 この調査票にご回答いただく方とはななですか。(○は1つ) あて名のお子さんからみられた関係でお答えください。

- | | | | |
|-------|-------|--------|------------|
| 1. 母親 | 2. 父親 | 3. 祖父母 | 4. その他 () |
|-------|-------|--------|------------|

問6 この調査票にご回答いただく方の年代について、お答えください。(○は1つ)

- | | | |
|----------|----------|--------|
| 1. 10代 | 2. 20代 | 3. 30代 |
| 4. 40代以上 | 5. 回答しない | |

問7 世帯の年収をお伺いします。(○は1つ)

- | | |
|----------------|------------------|
| 1. ～200万円未満 | 5. 500～700万円未満 |
| 2. 200～300万円未満 | 6. 700～1,000万円未満 |
| 3. 300～400万円未満 | 7. 1,000万円以上 |
| 4. 400～500万円未満 | |

問8 過去1年間にお子さんとともに利用した公共施設はどこですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 公民館
2. 市民センター
3. 総合図書館、各区の市立図書館
4. 市総合体育館、市民体育館、各区体育館、市民プール
5. 小中学校の校庭、体育館
6. 福岡市博物館・福岡市美術館・アジア美術館
7. 中央児童会館あいくる
8. 福岡市科学館
9. 福岡市動物園・植物園
10. 公園
11. その他()
12. 利用していない

保護者の就労状況について

ここでは、この区分によりご回答ください。
フルタイム・・・1週5日程度・1日8時間程度の就労
パート・アルバイト等・・・フルタイム以外

問9 あなたの就労状況について選んでください。(○は1つ)

1. フルタイムで就労している
2. パート・アルバイト等で就労している
3. 以前は就労していたが、現在は就労していない
4. これまで就労したことがない

問9で「1」または「2」を選んだ方にうかがいます。

問9-1 平均的な帰宅時刻について選んでください。(○は1つ)

1. 午後3時よりも前
2. 午後3時ごろ
3. 午後4時ごろ
4. 午後5時ごろ
5. 午後6時ごろ
6. 午後7時ごろ
7. 午後8時ごろ
8. 午後9時ごろ
9. 午後10時ごろ
10. 午後11時ごろ
11. 午後11時よりも後

お子さんのことやしつけについて

問10 あなたは、あて名のお子さんと話したり、一緒に何かをしたりする時間が1日にどのくらいありますか(食事時間を含みます)。(平日・休日それぞれ○は1つずつ)

《平日》

1. ほとんどない
2. 30分程度
3. 1～2時間程度
4. 3～4時間程度
5. 5～6時間程度
6. 7時間以上

《休日》

1. ほとんどない
2. 30分程度
3. 1～2時間程度
4. 3～4時間程度
5. 5～6時間程度
6. 7時間以上

問11 あなたは、ご自分がお子さんと一緒に過ごしている時間は十分だと思いますか。(平日・休日それぞれ○は1つずつ)

《平日》

1. 十分
2. まあ十分
3. やや不足している
4. まったく不足している

《休日》

1. 十分
2. まあ十分
3. やや不足している
4. まったく不足している

問12 あて名のお子さんは、あなたやあなたの配偶者と日ごろよく話をしますか。(○は1つ)

1. あなたにも配偶者にもよく話をする
2. あなたにはよく話をする(配偶者はいない)
3. あなたにはよく話をするが、配偶者にはあまりしない
4. 配偶者にはよく話をするが、あなたにはあまりしない
5. 配偶者にもあなたにもあまり話をしない
6. あなたにあまり話をしない(配偶者はいない)
7. その他()

問12で「3」～「6」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。

問12-1 お子さんが、あなたや配偶者の方とあまり話をしない理由は何ですか。(○は2つまで)

1. 親が忙しすぎて話す機会がないから
2. 子どもが忙しすぎて話す機会がないから
3. 共通の話題がないから
4. とくに話すことがないから
5. 親に話してもわかってもらえないと思っているから
6. 単身赴任等により家にいないから
7. 家族でいっしょに過ごすことがないから
8. その他()

問 13 あなたは、あて名のお子さんに携帯電話・スマートフォン、タブレットなどの通信端末（学校からの貸与は除く）を持たせていますか。（○は1.□は2.）

1. 持たせている 2. 持たせていない

問 13 で「1. 持たせている」を選んだ方にうかがいます。

問 13-1 あて名のお子さんは、携帯電話やスマートフォンやタブレットなどをどのような目的で使うことが多いですか。ご存知の範囲でお答えください。（あてはまるものすべてに○）

1. 家族とメールやメッセージのやりとり、通話をする

2. 友だちとメールやメッセージのやりとり、通話をする

3. SNS (Instagram, TikTok, X (旧 Twitter) など) やブログ、掲示板などを閲覧したり投稿したりする

4. ゲームをする

5. 音楽を聴く、または動画を見る

6. 勉強や進路、趣味、遊びに関することなど調べものをする

7. 写真を撮る

8. 日記や手帳などメモとして使用する

9. ネットショッピングをする

10. その他 ()

11. 把握していない

すべての方にうかがいます。

問 14 ①あて名のお子さんは、平日1日あたりどれくらいインターネットやSNS (Instagram, TikTok, X (旧 Twitter) など) を使用していますか。ご存知の範囲でお答えください。（○は1.□は2.）

《お子さんのインターネットやSNSの使用時間》

1. 30分未満 5. 3時間以上4時間未満

2. 30分以上1時間未満 6. 4時間以上

3. 1時間以上2時間未満 7. 使っていない

4. 2時間以上3時間未満 8. 分からない

②あて名のお子さんは、インターネットやSNS (Instagram, TikTok, X (旧 Twitter) など) を使っていて以下のようなことを経験したことはありませんか。ご存知の範囲でお答えください。（あてはまるものすべてに○）

《お子さんのインターネット上やSNS上での経験》

1. 悪口やいやがらせのメッセージ等を送られたり、書き込みをされたりしたことがある

2. 悪口やいやがらせのメッセージ等を送ったり、書き込みをしたりしたことがある

3. 他人が閲覧できる掲示板等で、自分や他人の情報（名前、写真、メールアドレスなど）を書き込んだことがある

4. 保護者に話にくいサイトを見たことがある

5. ゲームやアプリでお金を使いすぎたことがある

6. 自分が知らない人やお店などからメッセージ等がきたことがある

7. 迷惑メール等が送られてきたことがある

8. インターネットで知り合った人とメッセージ等のやりとりをしたことがある

9. インターネットで知り合った同性と会ったことがある

10. インターネットで知り合った異性と会ったことがある

11. インターネットにのめり込んで勉強に集中できなくなったり睡眠不足になったりしたことがある

12. その他困ったことがある（具体的に：）

13. 困った経験はない

14. 分からない

問 15 あなたの家では、インターネットやSNS (Instagram, TikTok, X (旧 Twitter) など) の使い方について何かルールはありますか。（あてはまるものすべてに○）

1. 利用時間を決めていない

2. 利用場所を決めている

3. メールやメッセージを送る相手を制限している

4. 利用するサイトやアプリを制限している

5. 他人を誹謗中傷する書き込みをしないなど送信・投稿する内容を決めている

6. パスワードなどの利用者情報が漏れないようにしている

7. ゲームやアプリの利用料金の上限や課金の利用方法を決めている

8. 困ったときはすぐに保護者に相談するように決めている

9. その他 ()

10. 特にルールを決めていない

11. 分からない

問16 あなたは、青少年に不適切なサイト（出会い系やアダルトサイトなど）やネットいじめの問題などインターネットの危険性について、これまでに説明を受けたり学んだりしたことがありますか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|----------------------------|--|
| 1. 学校の保護者会やPTAなどで説明を受けた | |
| 2. 学校から配布された啓発資料などで知った | |
| 3. 国・地方公共団体や民間団体が行う講座に参加した | |
| 4. 機器の購入時に販売員から説明を受けた | |
| 5. 機器の購入時に配布された資料で知った | |
| 6. 友人から教えてもらった | |
| 7. テレビや本・パンフレットなどで知った | |
| 8. インターネットで知った | |
| 9. その他（ ） | |
| 10. 特に学んだことはない | |
| 11. 分からない | |

問17 あなたはあて名のお子さんの子育てについて、何か悩みや心配ことはありますか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|--|--|
| 1. 子どもに基本的な習慣（あいさつ、規則正しい食生活、整理整頓など）が身につけていない | |
| 2. 子どもの子育てに自信がもてない | |
| 3. 子どもの子育てについての相談相手がいらない | |
| 4. 配偶者やパートナーがあまり協力してくれない | |
| 5. 子どもが勉強しない | |
| 6. 子どもの進学や受験、就職のことが気になる | |
| 7. 子どもの身体や発育、病気が心配である | |
| 8. 子どもの生活態度に意欲が感じられない | |
| 9. 子どもが不登校やひきこもりの状態にある | |
| 10. 子どもが友人関係がよくない | |
| 11. 子どもが反抗的でなかなか言うことをきかない | |
| 12. 子どもが非行したり問題行動を起こしたりする | |
| 13. 子ども以外に家事や家族の世話を頼める人がいない | |
| 14. 子育てで出費がかさむ | |
| 15. その他（ ） | |
| 16. 特にない | |

問18 あて名のお子さんに対する、あなたの日ごりのしつけ（態度）はどのようにされていますか。（ア）～（ク）について、それぞれ○は1つずつ

	いつも そうである	ときどき そうである	そういう ことはない
(ア) 子どもが何かやっているときすぐ手伝ってしまおう	1	2	3
(イ) 子どもについてなんでもすぐに口を出さう	1	2	3
(ウ) 子どもと過ごす時間をあまり持たない	1	2	3
(エ) 時と場合によっては子どもに言うことが違う	1	2	3
(オ) だいたい子どもの言いなりになっている	1	2	3
(カ) 体罰をすることがある	1	2	3
(キ) 子どものことを分かっている	1	2	3
(ク) 子どもに家事や家族の世話をさせている	1	2	3

問19 家庭でのお子さんへの体罰について、あてはまる考えを選んでください。（○は1つ）

- | | |
|----------------------|--|
| 1. しつけのためには体罰は必要だと思う | |
| 2. 多少の体罰はやむをえない | |
| 3. 程度に関わらず体罰はよくないと思う | |
| 4. わからない | |

問20 あなたは、「ヤングケアラー」という言葉を聞いたことがありますか。（○は1つ）

※「ヤングケアラー」とは、本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話を、日常的に行っている子どものこととされています。

- | | |
|------------------------|--|
| 1. 聞いたことがあり、内容も知っている | |
| 2. 聞いたことはあるが、内容はよく知らない | |
| 3. 聞いたことはない | |

問21 あて名のお子さんは、家事や家族の世話をすることで、お子さん自身のことをする時間が取れなかったり、やりたいこと（勉強・部活動・遊び・睡眠等）ができなかったりすることがありますか。（○は1つ）

- | | | | |
|---------|-----------|----------|-------|
| 1. よくある | 2. ときどきある | 3. あまりない | 4. ない |
|---------|-----------|----------|-------|

問 25 お子さんが高校などを選ぶときに大切にすることはいずれかですか。(○は3つまで)

1. 学校のイメージ	8. 施設・設備
2. 学科・コース・教育内容	9. まわりのゆめ
3. 子どもの学力	10. 学費
4. 卒業後の進路	11. その他 ()
5. 通学時間	12. 分からない
6. 制服	13. 高校などに進学しない
7. 部活動	

⇒問 26へ

問 25で「1」～「12」のいずれかを選んだ方にうかがいます。

問 25-1 お子さんに高校などで学んでほしいことは次のどれですか。(○は3つまで)

1. 自分が興味のある分野	7. IT・プログラミング等のスキル
2. 大学などへの進学に必要な学力	8. 部活動
3. 就職するための知識・技能	9. 検定などの資格取得
4. 地域の課題等を解決できる力	10. その他 ()
5. 社会のルールやマナーなど	11. 分からない
6. 国際的なコミュニケーション能力	

地域について

問 26 あなたと地域の子ども選とのかかわりについておたずねします。あなたは、ふだん地域の子ども選に対して、次のようなことをしていますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 道で会ったとき声をかけたりあいさつをしたりしている	
2. 困っているときや悩んでいるときに相談にのっている	
3. 言葉遣いや態度が悪かったりしたら注意している	
4. 悪いことをしているのに気づいたとき注意したり叱ったりしている	
5. 子ども会などで一緒に地域活動(廃品回収など)をしている	
6. 運動やスポーツの指導などをしている	
7. お年寄りやからだの不自由な人との交流を支援している	
8. その他 ()	
9. 地域の子どもたちとの関わりはない	

問 22 あなたが名のお子さんの子育てについて、悩みや心配ごとを相談したり、参考にしたりしているものは誰(何)ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 配偶者やパートナー	
2. その他の親族(親、きょうだいなど)	
3. 友人や知人	
4. 隣近所の人、地域の知人	
5. 職場の人	
6. 学校等の保護者仲間	
7. 学校の先生等	
8. 区役所(保健所、福祉事務所など)	
9. ことごと総合相談センター(えがお館)	
10. 病院	
11. 警察署、交番	
12. 民生委員、児童委員、主任児童委員	
13. 地域の居場所(子ども食堂など)	
14. 電話相談など	
15. 新聞、雑誌、書籍、テレビ、ラジオ、インターネット、SNS	
16. その他 ()	
17. 誰にも相談しない	
18. 相談するようことはない	

問 23 お子さんは自宅で学習をしていますか。(○は1つ)

1. ほぼ毎日する	4. めったにしない
2. 週に数回する	5. まったくしない
3. 月に数回する	6. 分からない

問 24 お子さんは次の経験がありますか。(それぞれについて、「あった」「なかった」のいずれかに○)

不登校 : 病気やケガ以外の理由でおおむね年間30日以上学校を欠席したこと
ひきこもり : おおむね半年以上ほとんど外出せず自宅内にこもっている状態

《最近1年間》	あった	なかった
(ア) 不登校	1	2
(イ) ひきこもり	1	2

《小学校入学以降》

	あった	なかった
(ア) 不登校	1	2
(イ) ひきこもり	1	2

問 27 お住まいの地域の子育て環境に関する不満について、あなたの考えに近いものを選んでください。(〇は2つまで)

1. 通学路が狭い、交通量が多いなど道路環境が悪い
2. 暗い通りや見通しのきかないところが多く、子どもが犯罪の被害にあわないか心配
3. 学校が遠くて通学に不便
4. 子どもにとって有害なものがあるなど、周りの生活環境が悪い
5. 公園や緑が少ない
6. 自由に安心して遊べる場所が少ない
7. 雨の日でも遊べる場所がない
8. 絵を描いたり、工作、劇など家でできないことのできる場所がない
9. 昼間にあまり大人がいない
10. 近所に子どもが少ない
11. 地域に住民が集まるような場所がない
12. 隣近所とのつきあいがいい
13. その他 ()
14. 特に不満はない

問 28 あなたは、今の子どもたちは健全に育っていると思いますか。(〇は1つ)

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらかといえばそう思わない
4. そう思わない

問 29 あなたは、子どもたちが健全に成長していくためには、あなたの地域ではどのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)

1. 地域の子どもを見守り育む団体活動の充実
2. 子どもたちがボランティア活動へ参加する機会の充実
3. 青少年団体の育成や指導者の養成
4. 地域の行事やイベントの活性化
5. 地域の人々が参加している団体グループの活性化
6. 外国の子どもたちがの受け入れなどの体制の充実
7. 学校施設の開放や学校活動への地域の人々の参加
8. 子どもたちがのびのびと遊べる施設や場所の充実
9. 子どもたちが安心して過ごせる場所の充実
10. 子どもたちが生活の知恵や技術を学ぶ機会の充実
11. 地域の人々が日常的に集まり話し合える場所
12. 悩みごとなどを相談する人や場所の充実
13. 子どもたちに有害な社会環境の改善
14. 子どもたちの非行防止活動の推進
15. その他 ()

問 30 過去1年間に、お子さんと次のような体験をしたり行ったりしたことがありますか。(あてはまるものすべてに〇)

1. 家族旅行
2. 野外活動 (キャンプ、山登り、海水浴等)
3. スポーツ観戦
4. 図書館
5. 博物館
6. 美術館
7. 科学館
8. 動物園・植物園
9. 映画館
10. 演劇・舞台
11. コンサート
12. 特にない

問 31 あなたは、子どもが健全に成長するためには、子どもたちにどのような体験が必要だと思いますか。(〇は3つまで)

1. 子ども同士で遊びやスポーツなどの活動をする
2. 大人とともに地域の行事や催しものに参加し、活動する
3. お年寄りや地域の方から、日本の伝統的な工芸、芸術 (竹細工・折り紙等) や遊び (石けり・お手玉等) を習う
4. 自然の中でキャンプをするなどの自然体験をする
5. 美術館や博物館などで芸術を鑑賞する
6. 公園や公民館など身近な場所ですぐに遊んだり勉強する
7. 学校では出会えない異年齢や別の地域の子どもたちと交流する
8. イベントを子どもたちで企画・運営する
9. インターネットを使い、自分の考えを共有できる人たちと繋がる
10. その他 ()

子ども・子育て支援について

問 32 子育てに関する情報をどこから入手していますか。(あてはまるものすべてに〇)

1. 親族 (親、きょうだいなど)
2. 近所の人、地域の知人、友人
3. 学校
4. 保護者仲間
5. インターネット、SNS
6. 市や区のホームページ
7. 福岡市公式LINE (子育てカテゴリを受信設定している)
8. ふくおかサポート
9. テレビ、ラジオ、新聞
10. 区役所 (保健福祉センター、市民センター等)
11. 市の広報紙やパンフレット、公民館日より
12. 市が発行する子育て情報ガイド
13. 子育て雑誌、育児書
14. フリーペーパー
15. 情報の入手先がわからない
16. その他 ()

問 33 子育て施策に関する福岡市の情報発信について、改善してほしいと思う点はありませんか。(〇は3つまで)
(〇は3つまで)

<ol style="list-style-type: none"> 1. 情報発信の方法を増やしてほしい (ホームページ、SNS、冊子など) 2. 自分の欲しい情報にすぐたり着けるようにしてほしい 3. デザインやレイアウトを見やすくしてほしい 4. 情報発信の頻度を増やしてほしい 5. 内容をもっと簡潔にしてほしい 6. 内容をもっと詳しくしてほしい 7. 福岡市がどのような情報発信をしているのかわからない 8. その他 ()
--

問 34 あなたにとって、ほしいと思っている子どもの数、実際に予定している子どもの数は何人ですか。
(枠内に数字を記入)

《ほしいと思っている子どもの数》 人

《実際に予定している子どもの数》 人

問 34で「ほしいと思っている子どもの数」よりも「実際に予定している子どもの数」が少ない方が
がいます。

問 34-1 その理由はどのようなことですか。(〇は2つまで)

<ol style="list-style-type: none"> 1. 子育ての身体的な負担が大きいため 2. 子育ての精神的な負担が大きいため 3. 配偶者やパートナーが家事や子育てにあまり協力してくれないから 4. 子育てにお金がかかるから 5. 収入に不安があるから 6. 住まいが狭いから 7. 教育に不安があるから 8. 年齢的な理由で無理だから 9. 健康上の理由で無理だから 10. 仕事ができない・続けにくいから 11. 自分自身のやりたいことができなくなるから 12. 今いる子どもに十分な愛情をかけてあげたいから 13. 社会がどうなるかわからず、子どもの将来が不安だから 14. その他 () 15. 特に理由はない

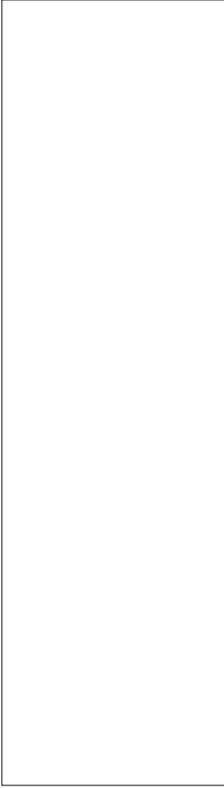
問 35 福岡市が行っている子ども施策について、満足している点はありませんか。(〇は3つまで)

<ol style="list-style-type: none"> 1. 保育所 (園) が十分にある 2. 幼稚園が十分にある 3. 専業主婦・主夫など誰でも気軽に利用できる保育サービスが充実している 4. 子育てにかかる経済的支援が充実している 5. 子どもや親子が安心して集まる場や情報交換の場が充実している 6. 子育てについて学べる機会が充実している 7. 子育てに困った時の相談先が充実している 8. 子連れでも楽しめるイベントが充実している 9. 安心して子どもが医療機関にかかれる体制が整備されている 10. 多子世帯の優先入居や広い部屋の割り当てなど、住宅面について配慮されている 11. 残業時間の短縮や休暇の取得促進など、企業に対して職場環境の改善の働きかけを積極的に行っている 12. 子どもや子育て家庭を見守る社会づくりの啓発を行っている 13. その他 ()
--

問 36 あなたは、どのような子育て施策の充実を図ってほしいですか。(〇は3つまで)

<ol style="list-style-type: none"> 1. 子育てにかかる費用負担を軽減してほしい 2. 地域で子どもを見守り、育むしくみを充実してほしい 3. 学校以外での野外活動や清掃活動など、地域活動の機会を増やしてほしい 4. 学校以外で参加するスポーツや芸術・文化活動を支援してほしい 5. 子育てに困った時に相談したり、情報が得られる場を作してほしい 6. 子育てに疲れた時に休息やリフレッシュをするためのサポートを充実してほしい 7. 安心して子どもが医療機関にかかれる体制を整備してほしい 8. 多子世帯の優先入居や広い部屋の割り当てなど、住宅面の配慮がほしい 9. 残業時間の短縮や休暇の取得促進など、企業に対して職場環境の改善を働きかけてほしい 10. 子どもや子育て家庭を見守る社会の雰囲気醸成してほしい 11. 子育てについて学べる機会を作してほしい 12. その他 () 13. 特になし

◆ 最後に、福岡市の子ども施策に関する取り組みについて、ご意見等がありましたら、自由にご記入ください。



アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。
同封の返信用封筒に入れて、切手は貼らずに投函してください。

子ども・子育て支援に関するニーズ調査報告書
【乳幼児・小学生・中高生等の保護者】

令和6年9月発行

発行 福岡市こども未来局

〒810-8620 福岡市中央区天神一丁目8番1号

TEL (092) 707-1019

FAX (092) 733-5534